

科目名称	基礎ゼミ I		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Freshmen Seminar I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	各担当教員	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	佐々木・三田・臼井・榎本・大貫・工藤・本間・渡邊・田代・明田 川・依田・保坂・米金・篠・堀邊・三宅・山崎・李・橋本	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	前期 月曜日 09:00～10:30 月曜日 14:40～16:10 後期 月曜日 09:00～10:30 月曜日 14:40～16:10	研究室	10-504
授業概要	初年次の基礎科目として4年間の学びの原点となる内容です。大学生活の入り口に立った皆さんが次の課題を達成することを指導・支援します。1. 知性や教養の本質と大学で学ぶことの意義を理解し、自己の学修課題を見出す。2. 大学での学びに求められる基礎的なリテラシーと、他者との協働・コミュニケーションのスキルを深める。3. 充実した学生生活を送るための知識と基本的態度を身に付ける。発表やディスカッションなどを多く取り入れ積極的に授業に参加するマインドを養います。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学での学びについて理解し、学び取った基本的学修スキルを自分なりに用いることができる。 ・2年次に所属する学類（専攻）について理解し、その研究分野について自ら進んで学ぼうとすることができる。 		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第1回</p> <p>予習：シラバス該当ページを熟読し、質問や相談事項があれば確認しておいてください。</p> <p>授業：前期ガイダンス（教科書 第1章 pp.2-4）（発表）</p> <p>復習：教科書第1章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。</p> <p>第2回</p> <p>予習：教科書第2章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。</p> <p>授業：大学での学び（教科書 第2章 pp.5-8）</p> <p>復習：教科書第2章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。また Web メールでの「署名設定」「転送設定」「プロフィール管理」を実施してください</p> <p>第3回</p> <p>予習：教科書第3章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。</p> <p>授業：人間総合学群の学び（全体授業）（教科書 第3章 pp.9-14）</p> <p>復習：教科書第3章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。</p> <p>第4回</p> <p>予習：教科書第4章を熟読し、不明点を確認しておいてください。</p> <p>授業：学内ツアー（教科書 第4章 p.15）（フィールドワーク）</p> <p>復習：各部署の名称・担当業務・位置を「学生生活ガイド」等で再確認してください。課題（感想・質問）を提出してください。</p> <p>第5回</p> <p>予習：教科書第5章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。</p> <p>授業：図書館の使い方、文献・資料の探し方（教科書 第5章 pp.17-20）（フィールドワーク）</p> <p>復習：教科書第5章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。</p> <p>第6回</p> <p>予習：教科書第6章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。</p> <p>授業：講義の聞き方、メモ・ノートのとり方（教科書 第6章 pp.21-24）（実習）</p> <p>復習：教科書第6章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。</p> <p>第7回</p> <p>予習：教科書第7章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。</p> <p>授業：論理的に考える、問いを立てる（教科書 第7章 pp.25-28）（ディスカッション）</p> <p>復習：教科書第7章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。</p> <p>第8回</p> <p>予習：教科書第8章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。</p> <p>授業：レポートの書き方1：レポートとは（教科書 第8章 pp.29-34）</p> <p>復習：教科書第8章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。</p> <p>第9回</p> <p>予習：教科書第9章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。</p> <p>授業：レポートの書き方2：アウトライン（教科書 第9章 pp.35-40）</p> <p>復習：教科書第9章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。</p> <p>第10回</p> <p>予習：教科書第10章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。</p> <p>授業：レポートの書き方3：書式・引用（教科書 第10章 pp.41-47）</p> <p>復習：教科書第10章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。</p> <p>第11回</p> <p>予習：教科書第11章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。</p> <p>授業：レポートの書き方4：レポートの意義（教科書 第11章 pp.48-49）</p> <p>復習：教科書第11章と授業ノートを再読し、課題（感想・質問）を提出してください。またレポート課題未提出の方は完成させてください。</p>			

第 12 回
 予習 : 教科書第 12 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。
 授業 : ミニレポートのふりかえり (教科書 第 12 章 p.50)
 復習 : 教科書第 12 章を再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。

第 13 回
 予習 : 教科書第 13 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。
 授業 : 学術的文章に親しむ 1 : 本との出会い (教科書 第 13 章 pp.51-54) (ディスカッション)
 復習 : 教科書第 13 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。

第 14 回
 予習 : 教科書第 14 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。
 授業 : 学術的文章に親しむ 2 : 読書の意義 (教科書 第 14 章 p.55) (ディスカッション)
 復習 : 教科書第 14 章と授業ノートを再読し、課題 (感想・質問) を提出してください。

第 15 回
 予習 : 前期中の自分の“成長”を書き出してみてください。
 授業 : 前期ふりかえり (教科書 第 15 章 p.56)
 復習 : 前期の成果をふりかえりましょう。

授業開始前学習	教科書該当ページ (および事前配布資料) を熟読してください。							
授業内課題の フィードバックの方法	提出された毎回の授業に関する質問などについては、次回授業の冒頭において適宜講評および説明を行います。							
テキスト・教材	人間総合学群編『基礎ゼミ I』(駒沢女子大学教科書シリーズ)							
参考書	授業を通じて適時紹介します。							
評価の基準と方法	各回の課題 (70% : 授業の感想・質問等) および課題提出物 (30% : ミニレポート・作文) により総合的に評価します。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○	○	◎	○				
関連科目								
その他								
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	基礎ゼミⅡ		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Freshmen Seminar Ⅱ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	各担当教員	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	佐々木・三田・臼井・榎本・大貫・工藤・本間・渡邊・田代・明田 川・依田・保坂・米金・篠・堀邊・三宅・山崎・李・橋本	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	前期 月曜日 09:00～10:30 月曜日 14:40～16:10 後期 月曜日 09:00～10:30 月曜日 14:40～16:10	研究室	10-504
授業概要	「基礎ゼミⅠ」に続き、初年次の基礎科目として 4 年間の学びの原点となる内容です。皆さんが次の課題を達成することを指導・支援します。1. 知性や教養の本質と大学で学ぶことの意義を理解し、自己の学修課題を見出す。2. 大学での学びに求められる基礎的なりテラシーと、他者との協働・コミュニケーションのスキルを深める。3. 充実した学生生活を送るための知識と基本的態度を身に付ける。ディスカッションやグループワーク、プレゼンテーションなどに取り組んでもらいます。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学での学びについて理解し、学び取った基本的学修スキルを自分なりに用いることができる。 ・2 年次に所属する学類（専攻）について理解し、その研究分野について自ら進んで学ぼうとすることができる。 		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第 1 回</p> <p>予習：教科書第 1 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。</p> <p>授業：後期ガイダンス（教科書 第 1 章 pp.2-4 ）（ディスカッション）</p> <p>復習：教科書第 1 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。</p> <p>第 2 回</p> <p>予習：教科書第 2 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。</p> <p>授業：ICT メディアの活用（教科書 第 2 章 pp.5-8）</p> <p>復習：教科書第 2 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。</p> <p>第 3 回</p> <p>予習：教科書第 3 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。</p> <p>授業：ディスカッション 1：準備（教科書 第 3 章 pp.9-12）（ディスカッション）</p> <p>復習：教科書第 3 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。</p> <p>第 4 回</p> <p>予習：教科書第 4 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。</p> <p>授業：ディスカッション 2：実施 1（教科書 第 4 章 p.13）（ディスカッション）</p> <p>復習：教科書第 4 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。</p> <p>第 5 回</p> <p>予習：教科書第 5 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。</p> <p>授業：ディスカッション 3：実施 2（教科書 第 5 章 p.14）（ディスカッション）</p> <p>復習：教科書第 5 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。</p> <p>第 6 回</p> <p>予習：教科書第 6 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。</p> <p>授業：学類進級ガイダンス（教科書 第 6 章 pp.15-18）</p> <p>復習：教科書第 6 章およびガイダンス資料を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。</p> <p>第 7 回</p> <p>予習：教科書第 7 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。</p> <p>授業：文献の読み方 1（教科書 第 7 章 pp.19-22）</p> <p>復習：教科書第 7 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。</p> <p>第 8 回</p> <p>予習：教科書第 8 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。</p> <p>授業：文献の読み方 2（教科書 第 8 章 pp.23-26）</p> <p>復習：教科書第 8 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。</p> <p>第 9 回</p> <p>予習：教科書第 9 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。</p> <p>授業：文献の読み方 3（教科書 第 9 章 pp.27-30）</p> <p>復習：教科書第 9 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。</p> <p>第 10 回</p> <p>予習：教科書第 10 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。</p> <p>授業：プレゼンテーション 1：グループ・テーマの設定（教科書 第 10 章 pp.31-34）（グループワーク）</p> <p>復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 10 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。</p> <p>第 11 回</p> <p>予習：教科書第 11 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。</p> <p>授業：プレゼンテーション 2：資料収集（教科書 第 11 章 pp.35-36）（グループワーク）</p> <p>復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 11 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。</p>			

第 12 回
 予習：教科書第 12 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。
 授業：プレゼンテーション 3：スライド等の作成（教科書 第 12 章 pp.37-40）（グループワーク）
 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 12 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。

第 13 回
 予習：教科書第 13 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。
 授業：プレゼンテーション 4：発表原稿の準備（教科書 第 13 章 pp.41-42）（グループワーク・プレゼンテーション）
 復習：プレゼンテーションの準備を進めてください。教科書第 13 章を再読し、課題（感想・質問）を提出してください。

第 14 回
 予習：教科書第 14 章を熟読し、不明点や質問事項を確認しておいてください。
 授業：プレゼンテーション発表（教科書 第 14 章 pp.42-43）（プレゼンテーション）
 復習：プレゼンテーションを振り返り、課題（感想・質問）を提出してください。

第 15 回
 予習：1 年間の自分の“進化”“成長”を書き出してみてください。
 授業：後期ふりかえり（教科書 第 15 章 p.44）
 復習：教科書全体と授業ノートを再読してください。

授業開始前学習	教科書該当ページ（および事前配布資料）を熟読してください。							
授業内課題の フィードバックの方法	提出された毎回の授業に関する質問などについては、次回授業の冒頭において適宜講評および説明を行います。							
テキスト・教材	人間総合学群編『基礎ゼミ II』（駒沢女子大学教科書シリーズ）							
参考書	授業を通じて随時紹介します。							
評価の基準と方法	各回の課題（70%：授業の感想・質問等）および課題提出物（30%：プレゼンテーション資料・作文）により総合的に評価します。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○	○	◎	○				
関連科目								
その他	授業の内容欄に示した教科書のページ数は準備中のものです。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	仏教学 I		
科目分類	100-110-11 (J)	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Buddhism I	授業区分	講義
科目責任者	各担当教員	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	佐々木・小早川・山本・岡本	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	前期 月曜日 09:00～10:30 月曜日 14:40～16:10 後期 月曜日 09:00～10:30 月曜日 14:40～16:10	研究室	10-504
授業概要	本講義では、駒沢女子大学の建学の精神「行学一如」「正念」とその基礎となる仏教の開祖・釈尊の生涯と教え、さまざまな日本の仏教文化について概説する。日本文化の形成に大きな影響を与えた仏教が今を生きる私たちにどのように関わり合っているのか、仏教学 I の学びを現代社会に活かす視点をもって授業をすすめる。本講義の学びを通じて、今後の人生の指針となる教養と作法を身につけるとともに、仏教の観点から「人間」をより深く理解する契機とする。授業では課題解決型学習を行う。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 建学の精神、および仏教の開祖釈尊の生涯と教えを理解することができる。 2. 日本の仏教文化について広く理解し、その特質を説明することができる。 3. 駒沢女子大学で学ぶ意義をみずから説明することができる。 		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第 1 回】 予習：教科書（4 頁～9 頁）を読んでおく 授業：ガイダンス 駒澤学園の歴史、建学の精神 復習：建学の精神をこれからの学生生活に照らし合わせまとめる</p> <p>【第 2 回】 予習：世界の三大宗教を調べておく 授業：宗教の成立と世界の宗教 復習：日本人の宗教観についてまとめる</p> <p>【第 3 回】 予習：教科書（12 頁～18 頁）を読み、語句の意味を調べておく 授業：古代インドの宗教と釈尊の誕生（花まつり） 復習：駒澤学園の仏教行事「花まつり」の意義をまとめる</p> <p>【第 4 回】 予習：教科書（18-19 頁）を読み、語句の意味を調べておく 授業：青年期の釈尊（四苦八苦）と出家（課題解決型授業） 復習：「四苦八苦」の要点をまとめる</p> <p>【第 5 回】 予習：教科書（20 頁,28-29 頁）を読み、語句の意味を調べておく 授業：6 年間の苦行と「中道」の教え 復習：「中道」の教えの要点をまとめる</p> <p>【第 6 回】 予習：教科書（64-74 頁）を読み、坐禅の作法を調べておく 授業：坐禅実習 坐禅の作法と意義を学ぶ 復習：坐禅の意義と礼儀作法の要点をまとめる</p> <p>【第 7 回】 予習：教科書（21 頁,27-28 頁）を読み、語句の意味を調べておく 授業：釈尊の悟り（成道）と「縁起」の教え 復習：駒澤学園の仏教行事「成道会」「摂心会」の意義をまとめる</p> <p>【第 8 回】 予習：教科書（22 頁,29-31 頁）を読み、語句の意味を調べておく 授業：初転法輪と「四諦八正道」の教え 復習：「四諦八正道」の教えの要点をまとめる</p> <p>【第 9 回】 予習：「祇園精舎」「竹林精舎」について調べておく 授業：釈尊の伝道とさまざまな「対機説法」 復習：「応病与薬」と「対機説法」についてまとめる</p> <p>【第 10 回】 予習：教科書（23-24 頁,32-35 頁）を読み、語句の意味を調べておく 授業：釈尊の入滅（涅槃）と「諸行無常」の教え 復習：駒澤学園の仏教行事「涅槃会」の意義をまとめる</p> <p>【第 11 回】 予習：教科書（64-74 頁）を読み、坐禅の心得（調身・調息・調心）を調べておく 授業：坐禅実習 坐禅と礼儀作法 復習：坐禅の三つの心得についてまとめる</p>			

<p>【第12回】 予習：教科書（25-26頁、36-37頁）を読み、語句の意味を調べておく 授業：釈尊滅後の仏教の展開（結集～大乘仏教） 復習：大乘仏教の「菩薩」についてまとめる</p> <p>【第13回】 予習：日本文化と仏教の関係について調べておく 授業：仏教と日本の文化（課題解決型授業） 復習：仏教と日本文化の特徴をまとめる</p> <p>【第14回】 予習：仏教に由来する習慣・風習について調べておく 授業：日常に息づく仏教の教え 復習：日常の仏教の教えをまとめる</p> <p>【第15回】 予習：仏教学Ⅰで学んだ事項の要点を振り返る 授業：仏教学Ⅰの学びの総括、駒澤学園の仏教行事の意義、仏教と現代社会 復習：仏教学Ⅰの学びや駒沢女子大学での学びの意義をまとめる</p>

授業開始前学習	担当教員の指示に基づき、教科書の指定された頁ならびに配付資料を読んでおくこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業で課した提出物（レポート等）は次回の授業で総評する。また、必要に応じて個別にフィードバックする。							
テキスト・教材	『仏教学』（駒沢女子大学教科書）を基礎テキストとして用いる。その他、必要に応じてプリントを配付する。							
参考書	『英文対訳 道元禅師の典座教訓』（駒沢学園） その他、必要に応じて指示する。							
評価の基準と方法	授業での提出物（30%）とテスト・レポート（70%）で総合的に評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△				△
関連科目								
その他	坐禅実習は予定表に注意し、あらかじめ確認の上、服装を整えて参加すること。 板書事項はもらさずノートに書き写すように努力すること。建学の精神の学びの場である学燈会や摂心会などの学校行事には積極的に参加して、幅広い教養を身につけてほしい。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容	曹洞宗の僧侶としての実務経験有り。その経験を生かして建学の精神や釈尊の教え等を講じる。							

科目名称	仏教学Ⅱ		
科目分類	100-110-11 (J)	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Buddhism II	授業区分	講義
科目責任者	各担当教員	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	佐々木・小早川・山本・岡本	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	前期 月曜日 14:40～16:10 水曜日 14:40～16:10 後期 月曜日 14:40～16:10 水曜日 14:40～16:10	研究室	10-506
授業概要	本講義は、駒沢女子大学の建学の精神「行学一如」「正念」と、その基礎となる曹洞宗の開祖・道元禅師の生涯と教え、さまざまな日本の禅文化について概説する。日本文化に大きな影響を与えた禅の教えが今を生きる私たちの日常生活にどのように関わり合ってくるのか、仏教学Ⅱ（禅）の学びを現代社会に活かす視点をもって授業をすすめる。本講義の学びを通じて、今後の人生の指針となる教養と作法を身につけるとともに、禅の観点から「人間」をより深く理解する契機とする。授業では課題解決型学習を行う。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 建学の精神、および道元禅師の生涯と教えを理解することができる。 2. 日本の禅文化について広く理解し、その特質を説明することができる。 3. 駒沢女子大学で学ぶ意義をみずから説明することができる。 		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：仏教学Ⅰで学んだことを振り返る 授業：ガイダンス 建学の精神と仏教学Ⅰの復習 復習：駒沢女子大学と永平寺・道元禅師の関係についてまとめる</p> <p>【第2回】 予習：教科書（40-44頁）を読み、語句の意味を調べておく 授業：中国における仏教（禅宗）の展開 復習：中国禅宗の特徴についてまとめる</p> <p>【第3回】 予習：教科書（46-49頁）を読み、語句の意味を調べておく 授業：日本における仏教の展開1（仏教伝来～平安時代） 復習：平安時代の仏教の特徴についてまとめる</p> <p>【第4回】 予習：教科書（49-51頁）を読み、語句の意味を調べておく 授業：日本における仏教の展開2（平安後期～鎌倉時代） 復習：鎌倉時代の仏教の特徴についてまとめる</p> <p>【第5回】 予習：教科書（56頁）を読み、語句の意味を調べておく 授業：道元禅師の誕生と出家 復習：駒澤学園の仏教行事「誕生記念日」の意義をまとめる</p> <p>【第6回】 予習：教科書（56-57頁）を読み、語句の意味を調べておく 授業：道元禅師、比叡山と建仁寺での修行（課題解決型授業） 復習：天台本覚法門に対する道元禅師の疑念をまとめる</p> <p>【第7回】 予習：教科書（64-74頁）を読み、坐禅の作法を調べておく 授業：坐禅実習 坐禅の作法と意義を学ぶ 復習：坐禅の意義と礼儀作法の要点をまとめる</p> <p>【第8回】 予習：教科書（57-58頁）を読み、語句の意味を調べておく 授業：道元禅師の入宋求法と二人の典座の教え 復習：典座の教えと禅修行の要点をまとめる</p> <p>【第9回】 予習：予習：教科書（58頁）を読み、語句の意味を調べておく 授業：道元禅師、如浄禅師のもとでの大悟 復習：「身心脱落」と「只管打坐」についてまとめる</p> <p>【第10回】 予習：教科書（58-59頁）を読み、語句の意味を調べておく 授業：道元禅師、帰朝後の教化 復習：道元禅師の修証観の特色をまとめる</p> <p>【第11回】 予習：教科書（60-61頁）を読み、語句の意味を調べておく 授業：道元禅師の教えと実践 復習：道元禅師の仏教観の特色をまとめる</p>			

【第12回】
 予習：教科書（59頁）を読み、語句の意味を調べておく
 授業：道元禅師の永平寺創建と示寂
 復習：駒澤学園の仏教行事「追善記念日」の意義をまとめる

【第13回】
 予習：禅と日本の文化の関係について調べておく
 授業：禅と日本の文化（課題解決型授業）
 復習：禅文化の特徴をまとめる

【第14回】
 予習：永平寺など禅道場の修行について調べておく
 授業：日常に息づく禅の教え
 復習：禅の教えから日常生活を振り返る

【第15回】
 予習：仏教学Ⅱで学んだ要点を振り返る
 授業：仏教学Ⅱの学びの総括、駒澤学園の仏教行事の意義、禅と現代社会
 復習：仏教学Ⅱの学びや駒沢女子大学での学びの意義を振り返る

授業開始前学習	担当教員の指示に基づき、教科書の指定された頁ならびに配付資料を読んでおくこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業で課した提出物（レポート等）は次回の授業で総評する。また、必要に応じて個別にフィードバックする。							
テキスト・教材	『仏教学』（駒沢女子大学教科書）を基本テキストとして用いる。その他、必要に応じてプリントを配付する。							
参考書	『英文対訳 道元禅師の典座教訓』（駒沢学園） その他、必要に応じて指示する。							
評価の基準と方法	授業での提出物（30%）とテスト・レポート（70%）で総合的に評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△				△
関連科目								
その他	坐禅実習は予定表に注意し、あらかじめ確認の上、服装を整えて参加すること。 板書事項はもらさずノートに書き写すように努力すること。建学の精神の学びの場である学燈会や摂心会などの学校行事には積極的に参加して、幅広い教養を身につけてほしい。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容	曹洞宗の僧侶としての実務経験有り。その経験を生かして建学の精神や道元禅師の教え等を講じる。							

科目名称	仏教学Ⅲ		
科目分類	100-130-12 (J)	単位数	履修ガイド参照
英文名称	BuddhismⅢ	授業区分	講義
科目責任者	廣瀬 良文	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	廣瀬 良文	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	<p>紀元前 5 世紀ごろインドにおこった仏教は、シルクロード・中国を経て紀元後 4 世紀ごろに日本に伝来した。その間、地域ごとの文化や信仰を吸収して多様な仏教文化を形成した。今日における日本の文化のなかにもインドや中国の仏教文化の影響を色濃く見ることができる。また一方で日本独自に展開した仏教文化も多く見出せる。本講義では多種多様な仏教文化について、思想や歴史、芸術や人間、文化遺産などさまざまな分野からその特質を考察し、あわせて現代社会における仏教文化の意義について考えていく。授業では課題解決型学習を行う。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本の文化に大きな影響を与えた仏教文化について広く理解し、その特質を説明することができる。 2. 建学の精神「行学一如」を深く理解し、日々の生活で実践することができる。 		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第 1 回】 予習：仏教学Ⅰで学んだことを振り返る 授業：仏教学Ⅰおよび建学の精神（行学一如）の復習 復習：釈尊の生き方と「行学一如」の関係をまとめる</p> <p>【第 2 回】 予習：「六道輪廻」「地獄の思想」について調べておく 授業：インドの仏教文化 復習：インドの仏教文化の特色についてまとめる</p> <p>【第 3 回】 予習：「ガンダーラ美術」について調べておく 授業：インドの仏教芸術 復習：インドの仏教芸術の特色についてまとめる</p> <p>【第 4 回】 予習：『六方礼経』について調べておく 授業：インド仏教に見られる人間関係 復習：インド仏教に見られる人間関係の特色についてまとめる</p> <p>【第 5 回】 予習：菩薩の信仰について調べておく 授業：中国の仏教文化 復習：中国の仏教文化の特徴についてまとめる</p> <p>【第 6 回】 予習：シルクロードの仏教遺跡について調べておく 授業：中国の仏教芸術 復習：中国の仏教芸術の特徴についてまとめる</p> <p>【第 7 回】 予習：『父母恩重経』について調べておく 授業：中国仏教に見られる人間関係（課題解決型授業） 復習：中国仏教に見られる人間関係の特色についてまとめる</p> <p>【第 8 回】 予習：「神仏習合」について調べておく 授業：日本の仏教文化 1 復習：神仏習合に見られる日本の仏教文化の特色についてまとめる</p> <p>【第 9 回】 予習：「先祖供養」に関する年中行事について調べておく 授業：日本の仏教文化 2 復習：先祖供養に見られる日本の仏教文化の特色についてまとめる</p> <p>【第 10 回】 予習：「ことわざ」に見られる仏教の言葉を調べておく 授業：日本の仏教文化 3 復習：日常生活に溶け込んだ仏教文化についてまとめる</p> <p>【第 11 回】 予習：日本にある仏教の世界遺産について調べておく 授業：日本の仏教芸術 復習：日本の仏教芸術の特徴についてまとめる</p>			

<p>【第12回】 予習：仏教に由来する日本の昔話を調べておく 授業：日本仏教に見られる人間関係 復習：日本仏教に見られる人間関係の特色についてまとめる</p> <p>【第13回】 予習：建学の精神「行学一如」について振り返る 授業：現代社会と「行学一如」 復習：現代社会における「行学一如」の意義をまとめる</p> <p>【第14回】 予習：「行学一如」を自分の経験に照らし合わせ説明できるようにしておく 授業：日常生活における「行学一如」の生き方（課題解決型授業） 復習：「行学一如」と各自の生き方を照らし合わせ、その意義を深める</p> <p>【第15回】 予習：仏教学Ⅲで学んだ事項の要点を振り返る 授業：仏教学Ⅲの学びの総括、仏教文化と現代社会 復習：仏教学Ⅲで学んだことの要点をまとめる</p>								
授業開始前学習	仏教学Ⅰで学んだ仏教文化に関する興味・関心を深め、それに関連する書籍に目を通しておくこと。							
授業内課題の フィードバックの方法	授業で課題もしくは感想を提出してもらった場合、次回の授業で総評する。							
テキスト・教材	特定のテキストは使用せず、必要に応じて資料を配付する。							
参考書	『仏教学』（駒沢女子大学教科書） 奈良康明編著『日本の仏教を知る事典』（東京書籍、1994年）、その他、必要に応じて指示する。							
評価の基準と方法	授業での提出物（30%）とテスト・レポート（70%）で総合的に評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△				△
関連科目	仏教学Ⅰ							
その他								
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容	曹洞宗の僧侶としての実務経験有り。その経験を生かして仏教の思想・文化について講義する。							

科目名称	仏教学Ⅳ		
科目分類	100-130-12 (J)	単位数	履修ガイド参照
英文名称	BuddhismⅣ	授業区分	講義
科目責任者	廣瀬 良文	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	廣瀬 良文	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	達磨大師により中国に伝えられた禅は、隋唐期に独自の思想的発展をとげ、日本の鎌倉期には栄西や道元によって将来された。日本では臨済・曹洞・黄檗の各宗がそれぞれの禅風をおこすとともに、茶道や芸術、文芸や建築にいたるまで日本独自の禅文化を形成し、さらに近代には日本の禅文化は「ZEN」として世界に広まり、今なお世界の人々に多くの影響を与えている。本講義では多種多様な禅文化について、思想や歴史、芸術や人間、文化遺産などさまざまな分野からその特質を考察し、あわせて現代社会における禅文化の意義について考えていく。授業では課題解決型学習を行う。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 日本の文化に大きな影響を与えた禅文化について広く理解し、その特質を説明することができる。 建学の精神「正念」を深く理解し、日々の生活で実践することができる。 		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：仏教学Ⅱで学んだことを振り返る 授業：仏教学Ⅱおよび建学の精神（正念）の復習 復習：道元禅師の生き方と「正念」の関係をもとめる</p> <p>【第2回】 予習：釈尊の坐禅について調べておく 授業：インドの禅文化 復習：インドの禅文化の特色についてまとめる</p> <p>【第3回】 予習：達磨大師の禅について調べておく 授業：中国の禅文化 1 復習：達磨大師に関連する禅文化の特色についてまとめる</p> <p>【第4回】 予習：中国禅宗の特色について調べておく 授業：中国の禅文化 2 復習：中国禅宗の特色と文化遺産についてまとめる</p> <p>【第5回】 予習：日本臨済宗について調べておく 授業：日本臨済宗の禅 復習：臨済禅の特色と文化遺産についてまとめる</p> <p>【第6回】 予習：日本曹洞宗について調べておく 授業：日本曹洞宗の禅 復習：曹洞禅の特色と文化遺産についてまとめる</p> <p>【第7回】 予習：日本黄檗宗について調べておく 授業：日本黄檗宗の禅 復習：黄檗禅の特色と文化遺産についてまとめる</p> <p>【第8回】 予習：禅と茶道の関係について調べておく 授業：日本の禅文化 1 復習：茶道に見られる禅文化の特色についてまとめる</p> <p>【第9回】 予習：禅と美術の関係について調べておく 授業：日本の禅文化 2（課題解決型授業） 復習：禅を表現した芸術の特色についてまとめる</p> <p>【第10回】 予習：禅と関連する文芸作品を調べておく 授業：日本の禅文化 3 復習：禅の影響を受けた文芸作品の特色についてまとめる</p> <p>【第11回】 予習：鈴木大拙について調べておく 授業：世界のZEN文化 1 復習：鈴木大拙のZENの特色についてまとめる</p>			

【第12回】
 予習：鈴木俊隆について調べておく
 授業：世界のZEN文化1
 復習：世界におけるZENの広がりについてまとめる

【第13回】
 予習：建学の精神「正念」について振り返る
 授業：現代社会と「正念」
 復習：現代社会における「正念」の意義をまとめる

【第14回】
 予習：「正念」を自分の経験に照らし合わせ説明できるようにしておく
 授業：日常生活における「正念」の生き方（課題解決型授業）
 復習：「正念」と各自の生き方を照らし合わせ、その意義を深める

【第15回】
 予習：仏教学Ⅳで学んだ事項の要点を振り返る
 授業：仏教学Ⅳの学びの総括、仏教文化と現代社会
 復習：仏教学Ⅳで学んだことの要点をまとめる

授業開始前学習	仏教学Ⅱで学んだ禅文化に関する興味・関心を深め、それに関連する書籍に目を通しておくこと。							
授業内課題の フィードバックの方法	授業で課題もしくは感想を提出してもらった場合、次回の授業で総評する。また、必要に応じて個別に回答する。							
テキスト・教材	特定のテキストは使用せず、必要に応じて資料を配付する。							
参考書	『仏教学』（駒沢女子大学教科書） 田上太秀編著『禅の思想辞典』（東京書籍、2008年）、その他、必要に応じて指示する。							
評価の基準と方法	授業での提出物（30%）とテスト・レポート（70%）で総合的に評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△				△
関連科目	仏教学Ⅱ							
その他								
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容	曹洞宗の僧侶としての実務経験有り。その経験を生かして禅の思想・文化について講義する。							

科目名称	駒沢女子大学入門		
科目分類	100-130-11 (J)	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Introduction for Komazawa Women's University Studies	授業区分	講義
科目責任者	安藤嘉則	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	安藤・石川・皆川	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	本講義は、駒沢女子大学の学生としてのアイデンティティーの確立と本学の教育目標で掲げる「現代社会に活躍する女性の人材育成」を理解することを目的とする。具体的には駒沢女子大学の建学の精神や教育理念、創立者・山上曹源の生涯と教え、学園の沿革史、さらに現在、本学が立地する稲城市の自然と歴史などを講義する。この授業では課題解決型学習を行う。		
到達目標	1, 駒沢女子大学の建学の精神ならびに教育理念を理解できる。 2, 本学の学生としてのアイデンティティーを確立することができる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：シラバスで授業内容を確認する 授業：駒沢女子大学の建学の精神理念と教育の特色 復習：授業で学んだ事項をノートにまとめる</p> <p>【第2回】 予習：駒沢女子大学の学校行事について調べる 授業：駒沢女子大学の教育理念と教育の特色 復習：授業で学んだ事項をノートにまとめる</p> <p>【第3回】 予習：駒沢学園 HP で学内施設について調べる 授業：駒沢女子大学の学校行事 復習：授業で学んだ事項をノートにまとめる</p> <p>【第4回】 予習：第1回から第3回に学んだ事項を振り返る 授業：駒沢女子大学の建学の精神と教育について考える（課題解決型学習） 復習：考えたことをレポートにまとめる</p> <p>【第5回】 予習：駒沢学園の創立者・山上曹源の生涯を調べる 授業：駒沢学園の創立者・山上曹源の生涯 復習：授業で学んだ事項をノートにまとめる</p> <p>【第6回】 予習：駒沢学園の創立者・山上曹源の教育を調べる 授業：駒沢学園の創立者・山上曹源の教育 復習：授業で学んだ事項をノートにまとめる</p> <p>【第7回】 予習：駒沢学園 HP で駒沢学園の創立から戦前の歴史を調べる 授業：駒沢学園の歴史1～創立から戦前の歩み～ 復習：授業で学んだ事項をノートにまとめる</p> <p>【第8回】 予習：駒沢学園 HP で駒沢学園の戦後から現代までの歴史を調べる 授業：駒沢学園の歴史2～戦後から現代の歩み～ 復習：授業で学んだ事項をノートにまとめる</p> <p>【第9回】 予習：第5回から第8回の授業で学んだ事項を振り返る 授業：創立者と学園の歴史について考える（課題解決型学習） 復習：考えたことをレポートにまとめる</p> <p>【第10回】 予習：本学が立地する稲城市について調べる 授業：稲城の自然 復習：授業で学んだことをノートにまとめる</p> <p>【第11回】 予習：稲城の古代から中世の歴史を調べる 授業：稲城の歴史と文化財1 復習：授業で学んだ事項をノートにまとめる</p>			

<p>【第12回】 予習：稲城の近世から現代までの歴史を調べる 授業：稲城の歴史と文化財2 復習：授業で学んだ事項をノートにまとめる</p> <p>【第13回】 予習：第10回から第12回の授業で学んだ事項を振り返る 授業：稲城の自然と歴史について考える(課題解決型学習) 復習：考えたことをレポートにまとめる</p> <p>【第14回】 予習：第1回から第13回の授業で学んだ事項を振り返る 授業：駒女検定と駒女の魅力について考える(課題解決型学習) 復習：ディスカッションの結果をもとに自分の考えをノートにまとめる</p> <p>【第15回】 予習：ノートから第14回までの授業で学んだ事項を振り返り、自分なりに総括する 授業：総括 レポート作成(課題解決型学習) 復習：この授業を通じて学んだことを総括し、自分の考えをまとめる</p>								
授業開始前学習	駒沢女子大学のHP・大学案内などの本学に関する記事を読んでおく授業が理解しやすい。							
授業内課題の フィードバックの方法	授業で提出するレポートについては、単元のまとめの授業で講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	『駒沢女子大学入門』(駒沢女子大学教科書シリーズ)							
参考書	『駒沢学園六十周年史』、『駒沢学園創立七十周年記念誌』、『わが古里の花なれば—駒沢学園八十年史—』、『駒沢学園九十年史』							
評価の基準と方法	平常点、レポート、駒女検定で行う。配点(100点満点における)は平常点(提出物)30点、レポート50点 駒女検定20点とする。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△				△
関連科目	「仏教学Ⅰ」の仏教の開祖釈尊の生涯と教え、「仏教学Ⅱ」の道元の生涯や教えは、本科目の建学の精神や学校行事、創立者や学園の歴史を理解する上で、必要になる科目である。							
その他	授業の進捗状況によって、内容を変更する場合がある。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 60 時間 (4 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容	本科目は複数の担当者が協同で指導する科目であり、担当教員のうち、皆川義孝は大学史・文化財保護業務の実務経験を有している。本科目では、その経験を生かし、第10回～第13回は稲城の自然、歴史と文化財について講義する。							

科目名称	日本文化入門 I		
科目分類	100-120-11	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Introduction to Japanese Cultural Studies I	授業区分	講義
科目責任者	下川 雅弘	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	下川 雅弘	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	前期 月曜日 13:00～14:30 水曜日 13:00～14:30 後期 月曜日 13:00～14:30 水曜日 13:00～14:30	研究室	10-706
授業概要	この授業では、日本の文化の専門的学習を行うために必要な基礎知識と方法を身に付ける。具体的には、文化的景観（地域の人々の生活・生業や風土により形成された景観）の価値が評価された日本各地の世界遺産を事例とし、それを通して日本のさまざまな文化事象及び日本人の物の考え方について考察する。この授業によって、日本の文化に対する考えを深めるきっかけとする。授業では課題解決型学習・発表を行う。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の世界遺産や文化的景観に関する自分の調査内容を適切にまとめることができる。 ・日本の文化を育んできた日本人の特質について自分なりの考えを説明することができる。 		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第 1 回】 予習：シラバスを読み、学習内容を確認する 授業：世界遺産「法隆寺地域の仏教建造物」から考える日本の木造建築文化 復習：考察課題をフォームで提出する</p> <p>【第 2 回】 予習：世界遺産と無形文化遺産についてテキストを読んでおく 授業：未来に伝えたい日本の文化（課題解決型学習）／世界遺産と無形文化遺産 復習：授業内容の整理課題をフォームで提出する</p> <p>【第 3 回】 予習：世界遺産と文化的景観についてテキストを読んでおく 授業：世界遺産と文化的景観 復習：授業内容の整理課題をフォームで提出する</p> <p>【第 4 回】 予習：世界遺産レジユメの書き方についてテキストを読んでおく 授業：世界遺産「白川郷・五箇山の合掌造り集落」から考える文化的景観とその保存／レジユメの書き方① 復習：授業内容の整理課題をフォームで提出する</p> <p>【第 5 回】 予習：ブルーノ・タウト『日本美の再発見』についてプリントを読んでおく 授業：ブルーノ・タウト『日本美の再発見』を読む（課題解決型学習）／レジユメの書き方② 復習：考察課題をフォームで提出する</p> <p>【第 6 回】 予習：文化的景観を守る意義についてテキストを読んでおく 授業：文化的景観を守る意義 復習：授業内容の整理課題をフォームで提出する</p> <p>【第 7 回】 予習：世界遺産レジユメ（世界遺産の概要部分）を提出する 授業：世界遺産レジユメ（世界遺産の考察部分）の執筆とアドバイス 復習：世界遺産レジユメ（世界遺産の考察部分）を書き進める</p> <p>【第 8 回】 予習：里地・里山という文化的景観についてテキストを読んでおく 授業：里地・里山という文化的景観 復習：授業内容の整理課題をフォームで提出する</p> <p>【第 9 回】 予習：谷戸と棚田の文化的景観についてテキストを読んでおく 授業：谷戸と棚田の文化的景観 復習：授業内容の整理課題と考察課題をフォームで提出する</p> <p>【第 10 回】 予習：世界文化遺産と世界自然遺産についてテキストを読んでおく 授業：文化的景観を未来にどう伝えるか（課題解決型学習）／世界文化遺産と世界自然遺産 復習：授業内容の整理課題をフォームで提出する</p> <p>【第 11 回】 予習：世界遺産レジユメを提出する 授業：世界遺産レジユメの修正とアドバイス 復習：世界遺産レジユメを完成させ、発表に使用する写真をアップする</p>			

<p>【第12回】 予習：世界遺産レジメ集を読んでおく 授業：世界遺産レジメ集を読む①（世界遺産「宗像・沖ノ島と関連遺産群」）（発表） 復習：発表にコメントを寄せる</p> <p>【第13回】 予習：世界遺産レジメ集を読んでおく 授業：世界遺産レジメ集を読む②（世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」）（発表） 復習：発表にコメントを寄せる</p> <p>【第14回】 予習：世界遺産レジメ集を読んでおく 授業：世界遺産レジメ集を読む③（世界遺産「石見銀山遺跡とその文化的景観」）（発表） 復習：発表にコメントを寄せる／ミニレポートをフォームで提出する</p> <p>【第15回】 予習：日本文化入門の学びを振り返る 授業：世界遺産から考える日本の文化（課題解決型学習） 復習：日本文化入門の学びを総括する</p>								
授業開始前学習	日本の文化や自然に関する図書を読んでおくと、授業が理解しやすい。							
授業内課題の フィードバックの方法	毎回の事前学習課題に対して、次回の授業時に受講者からの回答を紹介し、コメント・講評を行う。							
テキスト・教材	プリントを配付する。							
参考書	授業中に指示する。							
評価の基準と方法	事前学習課題60%、発表30%、ミニレポート10%で評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○	△					
関連科目								
その他	授業の進捗状況等により、内容を変更することがある。 この授業では、稲城市内の文化的景観を体感するため、授業時間内に正課学外活動（大学近隣の谷戸・里山訪問等）を行う可能性がある。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	日本文化入門Ⅱ		
科目分類	100-120-11	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Introduction to Japanese Cultural Studies Ⅱ	授業区分	講義
科目責任者	木内 英実	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	木内 英実	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	前期 火曜日 13:00～14:30 水曜日 10:40～12:10 後期 火曜日 13:00～14:30 水曜日 10:40～12:10	研究室	10-620
授業概要	この授業では、日本の文化の専門的学習を行うために必要な基礎知識と方法を身に付ける。具体的には、日本の世界遺産・文化遺産・民俗文化財を考察の対象とし、それを通して日本のさまざまな文化事象及び日本人の物の考え方について考察する。この授業によって、日本の文化に対する考えを深めるきっかけとする。また、この授業では、各自の調査内容について意見交換を行う。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の民俗文化財である日本昔話（日本五大昔話：桃太郎・かちかち山・猿蟹合戦・舌切り雀・花咲爺や「今昔物語」天竺部、「遠野物語」収録作品等）と日本の世界遺産及び文化遺産に関する自分の調査内容を適切にまとめることができる。 ・日本の文化を育んできた日本人の特質について自分なりの考えを説明することができる。 		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：日本の昔話について自分が知っていることをまとめておく 授業：日本の民俗文化財「日本昔話－伝承文学と日本民俗学の源泉－」にみる日本の自然と文化 1 復習：本授業の概要を把握し、提出課題を完成させる</p> <p>【第2回】 予習：発展学習の課題を選定し、資料を収集する 授業：日本の民俗文化財「日本昔話－伝承文学と日本民俗学の源泉－」にみる日本の自然と文化 2 復習：ミニレポートを作成する</p> <p>【第3回】 予習：ミニレポートを準備する 授業：日本の民俗文化財「日本昔話－伝承文学と日本民俗学の源泉－」にみる日本の自然と文化 3（意見交換） 復習：各自のミニレポートについて感想をまとめる</p> <p>【第4回】 予習：日本昔話に関する古代・中古の文学作品について知っていることをまとめておく 授業：日本の民俗文化財「日本昔話－伝承文学と日本民俗学の源泉－」と日本の文学 1 復習：授業内容に関する感想や質問をまとめる</p> <p>【第5回】 予習：日本昔話に関する中世・近世の文学作品について知っていることをまとめておく 授業：日本の民俗文化財「日本昔話－伝承文学と日本民俗学の源泉－」と日本の文学 2 復習：授業内容に関する感想や質問をまとめる</p> <p>【第6回】 予習：日本昔話に関する近代・現代の文学作品について知っていることをまとめておく 授業：日本の民俗文化財「日本昔話－伝承文学と日本民俗学の源泉－」と日本の文学 3 復習：授業内容に関する感想や質問をまとめる</p> <p>【第7回】 予習：日本昔話に関する海外の文学作品について知っていることをまとめておく 授業：日本の民俗文化財「日本昔話－伝承文学と日本民俗学の源泉－」と日本の文学 4 復習：授業内容に関する感想や質問をまとめる</p> <p>【第8回】 予習：各自の興味に応じて発展的な中間レポートを準備する 授業：中間レポートを作成する 復習：課題を完成させる</p> <p>【第9回】 予習：中間レポートを完成させる 授業：受講者の中間レポートを読み、新たな知識を得る（意見交換） 復習：中間レポートへの感想をまとめる</p> <p>【第10回】 予習：最終レポートを準備する 授業：世界遺産・文化遺産「古都奈良の文化財」「古都京都の文化財」にみる日本の文化 1 復習：自分の課題のテーマ設定を行う</p> <p>【第11回】 予習：資料を読む 授業：世界遺産・文化遺産「古都奈良の文化財」「古都京都の文化財」にみる日本の文化 2 復習：最終レポートに向けた準備を行う</p>			

<p>【第 12 回】 予習 : 奈良・京都の文化財について知っていることをまとめておく 授業 : 世界遺産・文化遺産「古都奈良の文化財」「古都京都の文化財」にみる日本の文化 3 復習 : 最終レポートを完成させる</p> <p>【第 13 回】 予習 : ディスカッション (意見交換) にむけて準備する 授業 : 世界遺産・文化遺産「古都奈良の文化財」「古都京都の文化財」と日本の文化 4 (意見交換) 復習 : 最終レポートへの感想や意見をまとめる</p> <p>【第 14 回】 予習 : ディスカッション (意見交換) に向けて準備する 授業 : 世界遺産・文化遺産「古都奈良の文化財」「古都京都の文化財」と日本の文化 5 (意見交換) 復習 : 最終レポートへの感想や意見をまとめる</p> <p>【第 15 回】 予習 : 日本の昔話について調査した資料を整える 授業 : これまでのまとめと最終レポート作成 復習 : 授業の内容を振り返る</p>

授業開始前学習	日本の昔話、文化や自然に関する図書を読んでおく、授業が理解しやすい。							
授業内課題の フィードバックの方法	授業内容に関する課題を複数回課す。次回以降の授業時に簡単なコメントを付し、返却する。							
テキスト・教材	特定のテキストは使用せず、必要に応じてプリントを配付する。							
参考書	授業中に指示する。							
評価の基準と方法	各回の授業における提出課題 70%、レポート 30%で評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○	△					
関連科目								
その他	第 13 回～第 15 回は時期的に冬休みを挟むため、実際のカレンダーに合わせての進行とすることがある。詳しくは授業時に指示する。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 60 時間 (4 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	人間関係入門 I		
科目分類	100-120-11	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Introduction to Human Relations Studies I	授業区分	講義
科目責任者	大貫恵佳	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	石田・大貫・倉住・田澤	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	<p>テーマ：人間関係研究への招待 前編 人間文化学類人間関係専攻の学問分野のうち「応用心理学」「広告とビジネス企画」「社会学」「身体文化論」について、それぞれの分野のエッセンスを紹介する。人間・文化・社会をめぐるさまざまな現象や諸課題を 4 分野ではどのように捉えることができるのか、どのような理解と発想が可能なのか、それぞれの学問的特徴を理解するとともに、学的魅力にふれてもらいたい。</p>		
到達目標	「応用心理学」「広告とビジネス企画」「社会学」「身体文化論」の各分野について、研究の対象・方法・基本的な考え方を理解し、人間・文化・社会に対する各分野のアプローチの違いをイメージできるようになることを目標とする。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第 1 回】 予習：シラバスを熟読し、質問や相談事項があれば整理しておく 授業：人間関係専攻の学び / 教員紹介 復習：1 年次の学びについて調べ、質問をまとめておく</p> <p>【第 2 回】 応用心理学 1：応用心理学とは、新型コロナウイルスと心理学 予習：新型コロナウイルス流行に伴う自粛期間中に何を感じどう過ごしたか振り返る 復習：不安から引き起こされる日常的な行動を考えてみる</p> <p>【第 3 回】 応用心理学 2：やる気をコントロールする 予習：やる気を起こすためにどのような方法を使用しているか考える 復習：普段の学習の中で動機づけ調整方略を使用してみる</p> <p>【第 4 回】 応用心理学 3：感情を知り、コミュニケーションの重要性を知る（グループワーク） 予習：普段自分はどうような感情を感じやすいか考える 復習：感情に関する気付きを実生活に活かしてみる</p> <p>【第 5 回】 応用心理学 4：ストレスとうまく付き合う 予習：「ストレス」について辞書等を使用して調べる 復習：普段の生活の中でストレス対処方略とポジティブリフレーミングを実践してみる</p> <p>【第 6 回】 予習：日記を書いてくる 授業：ビジネス企画 1：日常を記す 復習：文で表現する</p> <p>【第 7 回】 予習：日記を書いてくる 授業：ビジネス企画 2：物語を作る 復習：絵と文で表現する</p> <p>【第 8 回】 予習：日記を書いてくる 授業：ビジネス企画 3：情報を伝える 復習：写真と文で表現する</p> <p>【第 9 回】 予習：日記を書いてくる 授業：ビジネス企画 4：メディアで表現する 復習：動画と文で表現する</p>			

<p>【第 10 回】 予習：自分の「自己紹介文」を考えてみる 授業：社会学入門 1：自己と他者への関心／「問い」の重要性（ディスカッション） 復習：友人の「自己紹介」への質問を考える</p> <p>【第 11 回】 予習：自己と他者の多面性を理解する 授業：社会学入門 2：役割と自己（1）～自己と他者 復習：配布資料をもとに、自己論の基礎を理解する</p> <p>【第 12 回】 予習：自身の所属している集団はどこか考える 授業：社会学入門 3：役割と自己（2）～集団と社会化 復習：配布資料をもとに、過剰な社会化の事例を考える</p> <p>【第 13 回】 予習：自分の「理想の家族」を考える 授業：社会学入門 4：近代社会とは～家族のあり方 復習：多様な家族のあり方を考える</p> <p>【第 14 回】 予習：論理的思考やロジカルシンキングの本を図書館・書店等で探して概要を把握する 授業：身体文化論 1：論理的な考え方に親しむ 復習：配布資料や自筆ノートを見直して授業内容の理解を深める</p> <p>【第 15 回】 予習：高校数学で学習した集合論を中心に各種の考え方復習する 授業：身体文化論 2：真理の探究方法としての論理学 復習：配布資料や自筆ノートを見直して授業内容の理解を深める</p>
--

授業開始前学習								
授業内課題の フィードバックの方法	課題提出を求める場合は、次回授業以降に全体の講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	とくに指定しない。必要に応じて適宜、資料を配布する。							
参考書	竹田青嗣『現象学は思考の原理である』（ちくま新書、2004 年）。その他、授業内で適宜、紹介する。							
評価の基準と方法	平常点（受講取組みの積極性・課題提出）（60 %）、各担当者（4 名）による課題（40 %）をもとに総合的に評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○	△	○	○	◎			
関連科目	教養教育科目の「心理学 I II」「社会学 I II」と関連し、「人間関係の基礎」（2 年前期、専攻必修科目）への橋渡しとなる科目である。							
その他	「コミュニケーション」を共通の具体的研究事例に含めながら、4 名の教員によるオムニバス形式（一部「人間関係入門 II」（後期）に続いてそれぞれ 4 講ずつを担当）で進める。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	人間関係入門Ⅱ		
科目分類	100-120-11	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Introduction to Human Relations Studies Ⅱ	授業区分	講義
科目責任者	榎本 環	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	石田・臼井・榎本・楠田	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	<p>テーマ：人間関係研究への招待 後編 人間文化学類人間関係専攻の学問分野のうち「身体文化論」「メディア論」「国際関係論」「現代社会学」について、それぞれの分野のエッセンスを紹介する。人間・文化・社会をめぐるさまざまな現象や諸課題を4分野ではどのように捉えることができるのか、どのような理解と発想が可能なのか、それぞれの学問的特徴を理解するとともに、学的魅力にふれてもらいたい。</p>		
到達目標	<p>「身体文化論」「メディア論」「国際関係論」「現代社会学」の各分野について、研究の対象・方法・基本的な考え方を理解し、人間・文化・社会に対する各分野のアプローチの違いをイメージできるようになることを目標とする。</p>		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】担当：石田 予習：高校で学習した倫理の教科書・参考書や哲学の入門書に目を通す 授業：身体文化論 3（「入門Ⅰ」に続き）：真理の探究方法としての哲学 復習：授業で説明した哲学者の考え方を使得物事を見て気付いたことをノートに記入する</p> <p>【第2回】担当：石田 予習：現象学についての資料を探して読む 授業：身体文化論 4：現象学という方法と応用例 復習：配布資料や自筆ノートを見直して授業内容の理解を深める、授業で紹介した書籍を読む、論理パズルを解く</p> <p>【第3回】担当：楠田 予習：「近代化」、「メディア」とは何か調べる 授業：メディア論 1：近代化とメディア 復習：近代化にメディアが果たした役割について考える</p> <p>【第4回】担当：楠田 予習：「グローバル化」とは何か調べる 授業：メディア論 2：グローバル化とメディア 復習：グローバル化にメディアが果たした役割について考える</p> <p>【第5回】担当：楠田 予習：身の回りの空間に広がるメディアをリストアップする 授業：メディア論 3：都市とメディア 復習：予習で作成したリストをバージョンアップさせる</p> <p>【第6回】担当：楠田 予習：普段の生活で自分自身がどのようなソーシャルメディアとどのように関わっているか書き出す 授業：メディア論 4：ソーシャルメディア 復習：スマホのなかに広がる社会について考える</p> <p>【第7回】担当：臼井 予習：国際関係論と国際政治学の違いについて考え、授業に臨む 授業：国際関係論 1：国際関係論の分析対象を知る 復習：配布資料を再読み、授業内容を振り返る</p> <p>【第8回】担当：臼井 予習：新聞を読んで、現在問題となっている国際問題を書きとめ、授業に臨む 授業：国際関係論 2：歴史を学ぶことの重要性を知る 復習：授業内容を振り返り、理解を深める</p> <p>【第9回】担当：臼井 予習：身の回りにある MADE IN JAPAN 以外のモノを書きとめ、授業に臨む 授業：国際関係論 3：グローバル化の進む国際社会 復習：授業内容を振り返り、理解を深める</p>			

<p>【第10回】担当：臼井 予習：国際化を意識した事象を書きとめ、授業に臨む 授業：国際関係論 4：平和の学問としての国際関係論 復習：4回の授業を振り返り、当該分野の専門書を読んでみる</p> <p>【第11回】担当：榎本(環) 予習：社会学とはどのような学問か、入門書・Web等でリサーチしてみる 授業：現代社会学 1：「社会学」という学問 復習：配布資料を再読み、不明点を整理する（次回授業時に質問する）</p> <p>【第12回】担当：榎本(環) 予習：「ロードサイドビジネス」「ショッピングモール」について調べておく 授業：現代社会学 2：郊外社会と消費文化 復習：授業内で紹介された参考文献を読んでみる</p> <p>【第13回】担当：榎本(環) 予習：「自由」の概念について百科事典等で調べておく 授業：現代社会学 3：人間関係と「自由」（ディスカッション） 復習：配布資料を再読み、不明点を整理する（次回授業時に質問する）</p> <p>【第14回】担当：榎本(環) 予習：女性の労働環境をめぐる諸問題について Web 等で調べておく 授業：現代社会学 4：職場組織と女性のキャリア（ディスカッション） 復習：配布資料を再読み、不明点を整理する（次回授業時に質問する）</p> <p>【第15回】担当：榎本(環)ほか 予習：学生便覧や大学広報物を通じて人間関係専攻および専攻 2～4 年次のカリキュラムについて調べ、質問や相談事項を整理しておく 授業：総括：人間関係専攻について / 履修計画に向けて 復習：全 15 回の配布資料を再読み、人間関係専攻の学びについての理解を整理する</p>								
授業開始前学習	『現象学は思考の原理である』（竹田青嗣）、およびメディア論、国際関係論、社会学についての入門書を読んでおく授業が理解しやすい。							
授業内課題のフィードバックの方法	課題提出を求める場合は、次回授業以降に全体の講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	とくに指定しない。必要に応じて適宜、資料を配布する。							
参考書	竹田青嗣『現象学は思考の原理である』（ちくま新書、2004年）。その他、授業内で適宜、紹介する。							
評価の基準と方法	平常点（受講取組みの積極性・課題提出）（60%）、各担当者（4名）による課題（40%）をもとに総合的に評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○	△	○	○	◎			
関連科目	教養教育科目の「世界と平和の歴史ⅠⅡ」「社会学ⅠⅡ」と関連し、「人間関係の基礎」（2年前期、専攻必修科目）への橋渡しとなる科目である。							
その他	「コミュニケーション」を共通の具体的研究事例に含めながら、4名の教員によるオムニバス形式（4名が、一部「人間関係入門Ⅰ」に続いてそれぞれ4講ずつを担当）を進める。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語コミュニケーション入門 I		
科目分類	100-120-11	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Introduction to English Communication Studies I	授業区分	講義
科目責任者	工藤 俊	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	浅川・工藤(俊)・福王・ブラウ・アラザ・松山	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	本講義では、英語に関連する様々な学問領域の基礎を学ぶ。具体的には、英語学・英語教育・英語圏文化・英語圏文学・英語の多様性・国際社会研究といった、英語に関連する学問分野の基礎を学ぶ。同時に、聞く・読む・書く・話すといった、総合的な英語力を身につけることも目指す。		
到達目標	英語に関連する様々な学問分野の基礎知識を習得できる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>※ペアワークまたはグループワークを含む回がある。</p> <p>【第 1 回】 予習：英語コミュニケーション専攻の科目について調べる 授業：教員自己紹介・オリエンテーション 復習：各教員の専門分野で興味を持った分野について調べる</p> <p>【第 2 回】 予習：テーマに沿って質問事項をまとめる 授業：英語関連学問分野に関するレクチャー1 復習：学習した内容についてのまとめを行う</p> <p>【第 3 回】 予習：テーマに沿って質問事項をまとめる 授業：英語関連学問分野に関するレクチャー2 復習：学習した内容についてのまとめを行う</p> <p>【第 4 回】 予習：レポートおよび論文の書き方を調べる 授業：レポートおよび論文についての説明 復習：学習した内容についてのまとめを行う</p> <p>【第 5 回】 予習：テーマに沿って質問事項をまとめる 授業：英語関連学問分野に関するレクチャー3 復習：学習した内容についてのまとめを行う</p> <p>【第 6 回】 予習：テーマに沿って質問事項をまとめる 授業：英語関連学問分野に関するレクチャー4 復習：学習した内容についてのまとめを行う</p> <p>【第 7 回】 予習：テーマに沿って質問事項をまとめる 授業：英語関連学問分野に関するレクチャー5 復習：学習した内容についてのまとめを行う</p> <p>【第 8 回】 予習：テーマに沿って質問事項をまとめる 授業：英語関連学問分野に関するレクチャー6 復習：学習した内容についてのまとめを行う</p> <p>【第 9 回】 予習：テーマに沿って質問事項をまとめる 授業：英語関連学問分野に関するレクチャー7 復習：学習した内容についてのまとめを行う</p> <p>【第 10 回】 予習：テーマに沿って質問事項をまとめる 授業：英語関連学問分野に関するレクチャー8 復習：学習した内容についてのまとめを行う</p> <p>【第 11 回】 予習：テーマに沿って質問事項をまとめる 授業：英語関連学問分野に関するレクチャー9 復習：学習した内容についてのまとめを行う</p> <p>【第 12 回】 予習：テーマに沿って質問事項をまとめる 授業：英語関連学問分野に関するレクチャー10 復習：学習した内容についてのまとめを行う</p>			

<p>【第13回】 予習：テーマに沿って質問事項をまとめる 授業：英語関連学問分野に関するレクチャー11 復習：学習した内容についてのまとめを行う</p> <p>【第14回】 予習：テーマに沿って質問事項をまとめる 授業：英語関連学問分野に関するレクチャー12 復習：学習した内容についてのまとめを行う</p> <p>【第15回】 予習：前期の授業で学んだことを振り返る 授業：前期の総括と後期に向けて 復習：前期のまとめをする</p>								
授業開始前学習	事前に与えられた課題について、書籍や各種メディアを適切に使用し、授業内容理解のための準備を行う。							
授業内課題の フィードバックの方法	毎時、学生が提出した課題を担当した教員がチェックし、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	授業中に適宜参考資料を配布する							
参考書	授業中に適宜参考資料を配布する							
評価の基準と方法	授業参加度：15%、各教員より課される課題：85%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	各回の授業に、積極的に参加すること。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	英語コミュニケーション入門Ⅱ		
科目分類	100-120-11	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Introduction to English Communication Studies Ⅱ	授業区分	講義
科目責任者	工藤 俊	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	浅川・工藤(俊)・福王・ブラウ・アラザ・松山	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	本講義では、「英語コミュニケーション入門Ⅰ」に引き続き、英語に関連する様々な学問領域についてさらに深く学ぶ。具体的には、英語学・英語教育・英語圏文化・英語圏文学・英語の多様性・国際社会研究といった、英語に関連する学問分野を学ぶ。また、総合的な英語力を身につけることも継続して目指す。		
到達目標	英語に関連する様々な学問分野の深い知識を習得できる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>※ペアワークまたはグループワークを含む回がある。</p> <p>【第1回】 予習：英語コミュニケーション専攻の科目について調べる 授業：教員自己紹介・オリエンテーション 復習：各教員の専門分野で興味を持った分野について調べる</p> <p>【第2回】 予習：テーマに沿って質問事項をまとめる 授業：英語関連学問分野に関するレクチャー1 復習：学習した内容についてのまとめを行う</p> <p>【第3回】 予習：テーマに沿って質問事項をまとめる 授業：英語関連学問分野に関するレクチャー2 復習：学習した内容についてのまとめを行う</p> <p>【第4回】 予習：テーマに沿って質問事項をまとめる 授業：英語関連学問分野に関するレクチャー3 復習：学習した内容についてのまとめを行う</p> <p>【第5回】 予習：テーマに沿って質問事項をまとめる 授業：英語関連学問分野に関するレクチャー4 復習：学習した内容についてのまとめを行う</p> <p>【第6回】 予習：テーマに沿って質問事項をまとめる 授業：英語関連学問分野に関するレクチャー5 復習：学習した内容についてのまとめを行う</p> <p>【第7回】 予習：テーマに沿って質問事項をまとめる 授業：英語関連学問分野に関するレクチャー6 復習：学習した内容についてのまとめを行う</p> <p>【第8回】 予習：テーマに沿って質問事項をまとめる 授業：英語関連学問分野に関するレクチャー7 復習：学習した内容についてのまとめを行う</p> <p>【第9回】 予習：テーマに沿って質問事項をまとめる 授業：英語関連学問分野に関するレクチャー8 復習：学習した内容についてのまとめを行う</p> <p>【第10回】 予習：テーマに沿って質問事項をまとめる 授業：英語関連学問分野に関するレクチャー9 復習：学習した内容についてのまとめを行う</p> <p>【第11回】 予習：テーマに沿って質問事項をまとめる 授業：英語関連学問分野に関するレクチャー10 復習：学習した内容についてのまとめを行う</p> <p>【第12回】 予習：テーマに沿って質問事項をまとめる 授業：英語関連学問分野に関するレクチャー11 復習：学習した内容についてのまとめを行う</p>			

<p>【第13回】 予習：テーマに沿って質問事項をまとめる 授業：英語関連学問分野に関するレクチャー12 復習：学習した内容についてのまとめを行う</p> <p>【第14回】 予習：テーマに沿って質問事項をまとめる 授業：英語関連学問分野に関するレクチャー13 復習：学習した内容についてのまとめを行う</p> <p>【第15回】 予習：後期の授業で学んだことを振り返る 授業：後期の総括と次年度に向けて 復習：後期のまとめをする</p>								
授業開始前学習	事前に与えられた課題について、書籍や各種メディアを適切に使用し、授業内容理解のための準備を行う。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎時、学生が提出した課題を担当した教員がチェックし、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	授業中に適宜参考資料を配布する							
参考書	授業中に適宜参考資料を配布する							
評価の基準と方法	授業参加度：15%、各教員より課される課題：85%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	各回の授業に、積極的に参加すること。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	観光文化入門 I		
科目分類	100-120-11 (J)	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Introduction to Culture and Tourism I	授業区分	講義
科目責任者	田代真人	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	鮫島・張・杉野・田代・羽鳥・本間・渡邊(光)	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	人間総合学群、観光文化学類の「観光文化入門 I」科目は、観光・文化・産業という3つのキーワードを柱に、講義を構成している。受講生には、国と国を結ぶ「観光」を通じて国際人になって、さらに国境を越えた問題意識を「異文化理解」という観点から共有できるグローバルな人材として成長してほしいと願っている。その思いを込めた「観光文化入門 I」は、1年次の教養教育でありながら2～4年次の専門教育へと橋渡しをする、輪講形式の人間総合学群の共通専門科目である。		
到達目標	本講義を通じて、2年次に所属する学類と研究分野を自ら進んで学べる力を養う。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】担当 教員全員 予習：シラバスを読んでおく 授業：授業概要・観光文化入門 I の全体内容・評価方法の説明 復習：配布された授業資料を復習する。</p> <p>【第2回】担当 張 予習：シラバスの該当ページと事前配布資料を熟読する。 授業：駒沢女子大学で学ぶ「観光学」 復習：配布された授業資料を復習する。</p> <p>【第3回】担当 杉野 予習：シラバスの該当ページと事前配布資料を熟読する。 授業：身近な教材で英語を学ぶ：「観光の英語」入門 復習：配布された授業資料を復習する。</p> <p>【第4回】担当 杉野 予習：事前課題に取り組む。 授業：世界遺産から見える世界：「世界遺産研究」入門 復習：配布された授業資料を復習する。</p> <p>【第5回】担当 渡邊 予習：シラバスの該当ページと事前配布資料を熟読する。 授業：観光のメディアと視覚効果 復習：配布された授業資料を復習する。</p> <p>【第6回】担当 渡邊 予習：シラバスの該当ページと事前配布資料を熟読する。 授業：観光の PR メディアと心理 復習：配布された授業資料を復習する。</p> <p>【第7回】担当 田代 予習：シラバスの該当ページと事前配布資料を熟読する。 授業：観光地を紹介するメディアの編集について① 復習：配布された授業資料を復習する。</p> <p>【第8回】担当 田代 予習：シラバスの該当ページと事前配布資料を熟読する。 授業：観光地を紹介するメディアの編集について② 復習：配布された授業資料を復習する。</p> <p>【第9回】担当 鮫島 予習：シラバスの該当ページと事前配布資料を熟読する。 授業：旅行業実務論入門 ～旅行を仕事にすることの魅力～ 復習：配布された授業資料を復習する。</p> <p>【第10回】担当 鮫島 予習：シラバスの該当ページと事前配布資料を熟読する。 授業：観光マーケティング論入門 ～ディズニーリゾートの舞台裏～ 復習：配布された授業資料を復習する。</p> <p>【第11回】担当 張 予習：シラバスの該当ページと事前配布資料を熟読する。 授業：世界の観光地と統合型リゾート(IR)を考える。(グループ・ディスカッション) 復習：配布された授業資料を復習する。</p> <p>【第12回】担当 本間 予習：シラバスの該当ページと事前配布資料を熟読する。 授業：旅行商品企画と観光地域振興① 復習：配布された授業資料を復習する。</p>			

<p>【第13回】担当 本間 予習：シラバスの該当ページと事前配布資料を熟読する。 授業：旅行商品企画と観光地域振興② 復習：配布された授業資料を復習する。</p> <p>【第14回】担当 羽鳥 予習：シラバスの該当ページと事前配布資料を熟読する。 授業：アメリカ旅入門（政治の街としてのワシントンDC） 復習：配布された授業資料を復習する。</p> <p>【第15回】担当 教員全員 予習：シラバスの該当ページと事前配布資料を熟読する。 授業：期末学習レポート、全体授業の総括 復習：配布された授業資料を復習する。</p>								
授業開始前学習	シラバスの該当ページおよび事前配布資料を熟読する。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎回の授業において作成・提出される授業課題レポートに対し、次回の授業で講評と質問に対する回答を行う。							
テキスト・教材	各講義担当教員が個別に指定（配布プリントなど）							
参考書	授業の中で、適宜紹介する。							
評価の基準と方法	各教員が担当する全14回の授業で、授業レポート70点（各回5点×14回）、期末レポート30点、合計100点で評価する。10回以上の出席と、レポート評価が60%以上であることが単位取得の条件である。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○				◎			△
関連科目	「観光文化入門Ⅱ」							
その他								
予習・復習の所要時間	講義時間30時間（2時間×15週）＋予習・復習時間60時間（4時間×15週）							
実務経験を活かした教育内容	本科目は複数の担当者がオムニバス形式で指導する科目であり、担当教員のうち、田代は広告・出版編集者の実務経験を、渡邊はメディア業の実務経験を、鯨島・本間は旅行業の実務経験を有している。本科目では、その経験を活かして講義を行う予定である。							

科目名称	観光文化入門Ⅱ		
科目分類	100-120-11 (J)	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Introduction to Culture and Tourism II	授業区分	講義
科目責任者	本間 准	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	鮫島・張・杉野・田代・羽鳥・本間・渡邊(光)	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	この科目は2部構成からなる。第1部(第1回～第8回)は観光文化学類専任教員によるオムニバス授業。観光文化学類の専門科目の橋渡しとなる授業を行う。第2部(第9回～第14回)は観光ホスピタリティ産業の最前線で活躍する実務家による授業を行う。ゲスト講師から業界の仕組みや仕事内容を学び、学生諸君の将来の進路設計の一助とすることを目的とする。2年次以降に観光文化学類を選択する学生は履修することを勧める。		
到達目標	①観光文化学類の専門科目を理解する ②観光ホスピタリティ産業の仕組みと仕事を学ぶ ③レポート類を通して調べる力・考える力・文章力を向上させる		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習(予習・復習)			
<p>【第1回】担当：専任教員全員 予習：シラバスを読んでおく 授業：授業の概要と方針・評価方法の説明 復習：授業を振り返り、授業レポートを提出する</p> <p>【第2回】担当：鮫島 予習：シラバスの該当ページと事前配布資料を熟読する 授業：観光政策論入門「SDGsと持続可能な観光」 復習：授業を振り返り、授業レポートを提出する</p> <p>【第3回】担当：本間 予習：シラバスの該当ページと事前配布資料を熟読する 授業：旅行業務取扱管理者試験入門 復習：授業を振り返り、授業レポートを提出する</p> <p>【第4回】担当：羽鳥 予習：シラバスの該当ページと事前配布資料を熟読する 授業：アメリカ旅入門(文化の街としてのワシントンDC) 復習：授業を聞いて授業レポートを提出する</p> <p>【第5回】担当：田代 予習：シラバスの該当ページと事前配布資料を熟読する 授業：メディア編集入門「観光地の魅力を伝えるには」 復習：授業を振り返り、授業レポートを提出する</p> <p>【第6回】担当：渡邊 予習：シラバスの該当ページと事前配布資料を熟読する 授業：観光のPRとメディア入門「メディアと視覚効果」 復習：授業を振り返り、授業レポートを提出する</p> <p>【第7回】担当：張 予習：シラバスの該当ページと事前配布資料を熟読する 授業：韓国旅入門 復習：授業を振り返り、授業レポートを提出する</p> <p>【第8回】担当：杉野 予習：シラバスの該当ページと事前配布資料を熟読する 授業：国際儀礼入門「要人接遇から学ぶおもてなし」《ディスカッション》 復習：授業を振り返り、授業レポートを提出する</p> <p>【第9回】担当：本間 予習：ゲスト企業ホームページや記事を読み質問を考える 授業：旅行業入門(旅行会社のゲスト講師による講義)《ディスカッション》 復習：授業を振り返り、授業レポートを提出する</p>			

<p>【第 10 回】担当：本間 予習：ゲスト企業ホームページや記事を読み質問を考える 授業：航空業入門（航空会社のゲスト講師による講義）《ディスカッション》 復習：授業を振り返り、授業レポートを提出する</p> <p>【第 11 回】担当：鮫島 予習：ゲスト企業ホームページや記事を読み質問を考える 授業：宿泊業入門（宿泊施設のゲスト講師による講義）《ディスカッション》 復習：授業を振り返り、授業レポートを提出する</p> <p>【第 12 回】担当：鮫島 予習：ゲスト企業ホームページや記事を読み質問を考える 授業：観光施設業入門（テーマパークのゲスト講師による講義）《ディスカッション》 復習：授業を振り返り、授業レポートを提出する</p> <p>【第 13 回】担当：本間 予習：ゲスト企業ホームページや記事を読み質問を考える 授業：観光メディア業入門（出版社のゲスト講師による講義）《ディスカッション》 復習：授業を振り返り、授業レポートを提出する</p> <p>【第 14 回】担当：鮫島 予習：ゲスト企業ホームページや記事を読み質問を考える 授業：プライダル業入門（プライダル業のゲスト講師による講義）《ディスカッション》 復習：授業を振り返り、授業レポートを提出する</p> <p>【第 15 回】担当：張、本間、鮫島 予習：これまでの授業を振り返り、期末レポートを準備する。 授業：観光文化入門Ⅱのふりかえり《ディスカッション》 復習：授業を振り返り、授業レポートを提出する</p> <p>※講師の業務上の都合により登壇者の変更または回が変更になる場合がある。</p>
--

授業開始前学習	シラバスをよく読み、観光文化入門Ⅱの授業内容を理解する							
授業内課題の フィードバックの方法	毎回、授業終了時に授業レポートの提出を義務付ける。次回授業時に講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	授業の中で配付する。							
参考書	青木義英・廣岡裕一・神田孝治『観光入門～観光の仕事・学習・研究をつなぐ』新曜社							
評価の基準と方法	毎回授業時に提出する小レポート1回4点×15回（60%）、期末レポート（40%）の2つから総合点として評価する。期末レポートのテーマ及び提出期限は授業内で指示する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○				◎	△		○
関連科目	本科目は、教養教育科目として位置づけられているので1年次から履修できる。観光関連実務科目の入門として活用すれば有意義な内容である。また2年次に観光文化学類を選択希望する学生は履修することを勧める。							
その他	第9回から第14回のゲスト講師の具体的な会社名と氏名は第1回授業時に紹介する。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容	第1部は観光文化学類の専任教員の実務経験に基づいた講義を行う。また第2部は観光ホスピタリティ産業で活躍する実務家による講義を行う。							

科目名称	☆心理学入門（心理学概論）Ⅰ／心理学入門Ⅰ		
科目分類	100-121-11（2022年～入学者） 100-120-11（～2021年入学者）	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Introduction to Psychology Ⅰ	授業区分	講義
科目責任者	丸山 慎	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	丸山 慎	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	前期 水曜日 13:00～14:30 木曜日 10:40～12:10 後期 水曜日 13:00～14:30 木曜日 10:40～12:10	研究室	10-718
授業概要	私たちの認知や行動のメカニズムを明らかにするために心理学はどのような貢献ができるのだろうか。本授業の目標は、“こころ”をめぐる科学としての心理学の発展の歴史と基本的な知見・方法について知ることである。そのために心理学の基本的なトピックを概観する（特に「学習」や「発達」に関する領域については重点的に取り上げる予定）。		
到達目標	心理学の基礎的な知識やロジックを正確に理解し、それを身近な出来事の分析に応用することができるようになること。		
アクティブ・ラーニング 型授業	無		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
【第1回】 予習：教科書 p.3-8 までを読んでくること 授業：心理学の世界を概観する（1）「心を科学する方法」とは（初回につきイントロダクションとして講義の概要・評価方法などの説明も行う） 復習：教科書の該当ページおよび配布したレジュメを読み返し、心理学的なロジックについて理解すること			
【第2回】 予習：教科書 p.9-18 までを読んでくること 授業：心理学の世界を概観する（2）乳児や動物を対象とした研究のロジックを知る 復習：教科書の該当ページおよびレジュメを読み返し、心理学的なロジックについて理解すること			
【第3回】 予習：教科書 p.19-27 までを読んでくること 授業：行動の基本様式とは？ 復習：教科書の該当ページおよびレジュメを読み返し、行動の基本様式について理解すること			
【第4回】 予習：教科書 p.27-39 までを読んでくること 授業：行動の間接化、シンボル機能について 復習：教科書の該当ページおよびレジュメを読み返し、行動の間接化、シンボル機能を理解すること			
【第5回】 予習：教科書 p.39-45 までを読んでくること 授業：「心の理論」について 復習：教科書の該当ページおよびレジュメを読み返し、「心の理論」について理解すること			
【第6回】 予習：教科書 p.47-54 までを読んでくること 授業：遺伝か、環境か 復習：教科書の該当ページおよびレジュメを読み返し、行動や心理が発達する要因について理解すること			
【第7回】 予習：教科書 p.54-61 までを読んでくること 授業：初期経験と認知発達および発達障害について 復習：教科書の該当ページおよびレジュメを読み返し、特にピアジェの認知発達理論について理解すること			
【第8回】 予習：教科書 p.65-70 までを読んでくること 授業：学習（1）心理学における「学習」とは？ 復習：教科書の該当ページおよびレジュメを読み返し、心理学的な「学習」の意味について理解すること			
【第9回】 予習：教科書 p.70-80 までを読んでくること 授業：学習（2）心理学における学習研究のいろいろ 復習：教科書の該当ページおよびレジュメを読み返し、「学習」をめぐる様々な研究成果を理解すること			
【第10回】 予習：教科書 p.80-87 までを読んでくること 授業：記憶（1）「記憶」の種類とその研究方法について 復習：教科書の該当ページおよびレジュメを読み返し、「記憶」の種類と研究方法を理解すること			
【第11回】 予習：教科書 p.87-100 までを読んでくること 授業：記憶（2）「記憶」の方略および神経学的な基礎 復習：教科書の該当ページおよびレジュメを読み返し、記憶の方略および神経学的な基礎を理解すること			
【第12回】 予習：教科書 p.101-116 までの指定箇所を読んでくること 授業：感覚・知覚（1）精神物理学的方法とは？ 復習：教科書の該当ページおよびレジュメを読み返し、感覚・知覚研究のパラダイムを理解すること			

<p>【第13回】 予習：教科書 p.117-139 までの指定箇所を読んでくること 授業：感覚・知覚（2）感覚・知覚研究の拡がり-錯視や感覚間協応などについて- 復習：教科書の該当ページおよびレジュメを読み返し、感覚・知覚に関する研究成果を理解すること</p> <p>【第14回】 予習：教科書 p.139-164 までの指定箇所を読んでくること 授業：感覚・知覚（3）感覚・知覚のまとめ/前期のまとめ 復習：教科書の該当ページおよびレジュメを読み返し、前期の授業で扱った内容について整理すること</p> <p>【第15回】 予習：確認テストの実施要領を理解しておく（実施要領は授業内で提示する） 授業：確認テストを実施 復習：前期に配布された資料等を読み返し、理解を定着させる</p>								
授業開始前学習	教科書の各授業回の該当箇所には目を通しておくこと。							
授業内課題の フィードバックの方法	授業内で講評する機会を設け、重要と思われるポイントについて振り返りを行う。							
テキスト・教材	鹿取廣人/杉本敏夫/鳥居修晃/河内十郎（編）『心理学 第5版補訂版』（東京大学出版会）							
参考書	授業内で適宜指示する。							
評価の基準と方法	確認テスト 70 点と平常点（授業内容に即した小レポートの提出 20%と授業への参加態度 10%）を総合して最終的な評価とする。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	△	○		○	△		
関連科目	心理学に関連する科目はすべて。							
その他	本授業は、「心理学入門Ⅱ（後期科目）」に続いていくように構成されている。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	☆心理学入門（心理学概論）Ⅱ／心理学入門Ⅱ		
科目分類	100-121-11（2022年～入学者） 100-120-11（～2021年入学者）	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Introduction to Psychology II	授業区分	講義
科目責任者	丸山 慎	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	飯田・富士原	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	前期の心理学入門Ⅰに引き続き、心理学の基礎的知識の習得が目標となるが、2年次以降、心理学をより深めて学習していくためのガイダンスも兼ねる。具体的には、思考・言語、動機付け、知能とパーソナリティ、社会的行動について学び、心理学は個人の内界ばかりでなく対人相互的、社会相互的にとらえることが重要であり、そのような視点を持つことによって、様々な応用が可能な学問であることを理解してもらう。学生には、テキストを精読し、分からない言葉は、心理学辞典などで調べて授業に臨むことを求めたい。		
到達目標	心理学の基礎的な理論を学び、それらがどのように社会的な場面で活用されるのかを理解すると同時に、今後の専門的な学びのための全体的な見通しを持つことができるようになる。		
アクティブ・ラーニング型授業	無		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第1回～第7回 富士原担当</p> <p>【第1回】 予習：心理学入門Ⅰの学習を整理しておく。 授業：学習のガイダンス 復習：思考と言語に関する心理学研究史を調べる。</p> <p>【第2回】 予習：第1回で指示したテキストの精読と下調べ 授業：問題解決、問題解決と認知的発達（テキスト pp 165-173） 復習：認知の発達に関する理論を調べる。</p> <p>【第3回】 予習：第2回で指示したテキストの精読と下調べ 授業：知識、推論と発見（テキスト pp 174-186） 復習：論理的推論を妨害する要因についてまとめる。</p> <p>【第4回】 予習：第3回で指示したテキストの精読と下調べ 授業：非言語的・言語的コミュニケーション、言語の特性（テキスト pp 187-200） 復習：人のコミュニケーションの特徴をまとめる。</p> <p>【第5回】 予習：第4回で指示したテキストの精読と下調べ 授業：脳損傷と高次機能の障害（テキスト pp 200-208） 復習：大脳半球機能差について調べる。</p> <p>【第6回】 予習：第5回で指示したテキストの精読と下調べ 授業：食と性の動機づけ、基本的情動（テキスト pp 209-222） 復習：情動に関する理論を調べる。</p> <p>【第7回】 予習：第6回で指示したテキストの精読と下調べ 授業：親和動機づけなど（テキスト pp 222-234） 単元テスト(1回から7回) 復習：第1回～第7回授業内容に関する感想レポートを作成する。</p> <p>第8回～第15回 飯田担当</p> <p>【第8回】 予習：テキスト（pp244-251）の精読と下調べ 授業：『個人差』①パーソナリティの分類（類型論と特性論）と検査法（テキスト pp244-251） 復習：類型論と特性論の違いについてまとめる。</p> <p>【第9回】 予習：テキスト（pp251-263）の精読と下調べ 授業：『個人差』②パーソナリティの発達と不適応・障害（テキスト pp251-263） 復習：パーソナリティの不適応・障害について、理論による違いについてまとめる。</p> <p>【第10回】 予習：テキスト（pp235-244）の精読と下調べ 授業：『個人差』③知能の測定、知能の因子（テキスト pp235-244） 復習：ビネー式知能検査とウェクスラー式の知能検査の違いについてまとめる。</p>			

<p>【第 11 回】 予習 : 第 8~10 回の重要ポイントの復習 (テキスト pp235-263) 授業 : 『個人差』まとめと確認 (小テスト) (テキスト pp235-263) 復習 : 小テストの復習</p> <p>【第 12 回】 予習 : テキスト (pp265-275) の精読と下調べ 授業 : 『社会行動』①社会行動の発達と社会的認知 (テキスト pp265-275) 復習 : 自我と自己の違いについてまとめる。</p> <p>【第 13 回】 予習 : テキスト (pp275-279) の精読と下調べ 授業 : 『社会行動』②態度と説得、社会的影響 (テキスト pp275-279) 復習 : 認知的不協和の例を考える。</p> <p>【第 14 回】 予習 : テキスト (pp279-294) の精読と下調べ 授業 : 『社会行動』③対人魅力と対人関係 (テキスト pp279-294) 復習 : 集団になることによってどのような問題があるかまとめる。</p> <p>【第 15 回】 予習 : 第 12~14 回の重要ポイントの復習 (テキスト pp265-294) 授業 : 『社会行動』まとめと確認 (小テスト) (テキスト pp265-294) 復習 : 小テストの復習</p>								
授業開始前学習	心理学入門 I の授業で学んだ知識を整理しておくこと。							
授業内課題の フィードバックの方法	レポートや小テストを課した場合には、適宜、当該テーマのポイントを解説していく。							
テキスト・教材	鹿取廣人、杉本敏夫、鳥居修晃 編 『心理学』 (東京大学出版会)							
参考書								
評価の基準と方法	前半 (富士原) が 50% (授業内課題・復習課題 25%・単元テスト 25%)、後半 (飯田) が 50% (小テスト 20%、レポート 20%、コメント点 10%) の配分で総合評価する。出席 3 分の 2 以上が単位取得の前提条件である。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	△	○		○			
関連科目								
その他								
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 60 時間 (4 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	住空間デザイン入門 I		
科目分類	100-120-11	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Introduction to Living Space Design I	授業区分	講義
科目責任者	佐藤 勉	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	李・佐藤(勉)・茂木	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	住空間に関する講義を通してデザインの基礎を習得しながら、自分の考えを表現すること、伝達すること、批評することなどを学び、主体的な学習方法を体得します。 生活（暮らし）のための空間をトータルにデザインする「リビングデザイン」について幅広く客観的に展望し学びます。4年間で何をどのように学び、そして将来の自分がリビングデザイナーとしての専門性を持って社会とどのように向き合っていくかをイメージします。		
到達目標	自分の考えの表現、伝達、他者への批評を行えるよう、主体的な学習方法を体得すること。またこれらを通じて自己の能力を発見し、高められるようになる。 建築、インテリア、プロダクトデザイン、陶芸、立体織の各分野が目指す基礎的なデザイン内容と領域を理解しイメージできるようになる。同時にそれぞれの分野の特徴と差異を理解する事を目標とする。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第1回 予習：履修ガイド学科該当ページの熟読 授業：ガイダンス 復習：ガイダンスのふりかえり</p> <p>第2回 予習：「住空間デザイン入門交流会」予備調査 授業：「住空間デザイン入門交流会」課題説明（グループワーク） 復習：「住空間デザイン入門交流会」企画準備</p> <p>第3回 予習：「住空間デザイン入門交流会」準備 授業：「住空間デザイン入門交流会」実施（グループワーク） 復習：「住空間デザイン入門交流会」報告レポート作成</p> <p>第4回 予習：建築デザインについて考える 授業：「住空間と建築デザイン（講義）」、「日本の暮らし」課題出題 復習：配布資料のふりかえり</p> <p>第5回 予習：「日本の暮らし」事前準備 授業：住空間デザイン学類の教員紹介1、「日本の暮らし」資料作成 復習：「日本の暮らし」調査資料のまとめ</p> <p>第6回 予習：「日本の暮らし」発表内容の整理 授業：住空間デザイン学類の教員紹介2、「日本の暮らし」見学时調査項目発表（グループ発表） 復習：「日本の暮らし」見学时調査項目の整理</p> <p>第7回 予習：「日本の暮らし」見学会事前準備 授業：「日本の暮らし」江戸東京たてもの園見学会実施（フィールドワーク） 復習：「日本の暮らし」見学会調査結果まとめ</p> <p>第8回 予習：「日本の暮らし」プレゼン資料準備 授業：「日本の暮らし」プレゼン制作作業 復習：「日本の暮らし」プレゼン資料作成、レポート作成</p> <p>第9回 予習：「日本の暮らし」クラス発表資料作成 授業：「日本の暮らし」プレゼンテーション発表会（グループ発表・プレゼンテーション） 復習：「日本の暮らし」クラス発表整理、レポート作成</p> <p>第10回 予習：インテリアデザインについて考える 授業：「住空間とインテリアデザイン（講義）」、「店舗のインテリアを考える」課題出題 復習：配布資料のふりかえり</p> <p>第11回 予習：「店舗のインテリアを考える」事前準備 授業：住空間デザイン学類の教員紹介3、「店舗のインテリアを考える」調査資料作成 復習：「店舗のインテリアを考える」調査資料のまとめ</p> <p>第12回 予習：「店舗のインテリアを考える」事前準備 授業：住空間デザイン学類の教員紹介4、「店舗のインテリアを考える」発表資料作成 復習：「店舗のインテリアを考える」発表資料のまとめ</p> <p>第13回 予習：「店舗のインテリアを考える」クラス発表資料作成 授業：「店舗のインテリアを考える」プレゼンテーション発表会（プレゼンテーション） 復習：「店舗のインテリアを考える」クラス発表整理、レポート作成</p> <p>第14回 予習：家具デザインについて考える 授業：「住空間と家具デザイン（講義）」、住空間デザインに関わる資格について 復習：配布資料のふりかえり</p>			

<p>第 15 回 予習：前期のふりかえり 授業：住空間デザイン学類の教員紹介 5、夏休み課題出題 復習：夏休み課題</p>								
授業開始前学習	<p>大学で学ぶための基本的な姿勢や心構えやについて、履修ガイドの該当する項目を熟読すること。 日本人のくらしや住まいについて、書籍やインターネットを通して基本的な知識を得ること。</p>							
授業内課題の フィードバックの方法	<p>各課題の実施後に講評を行う。</p>							
テキスト・教材	<p>資料・プリント等を適宜配布する。</p>							
参考書	<p>資料等を適宜配布・紹介する。</p>							
評価の基準と方法	<p>提出物、受講態度などにより評価する。 評価は提出物 70%、受講態度など 30%。</p>							
ディプロマポリシー	<p>自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける</p>		<p>自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける</p>		<p>社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける</p>		<p>文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける</p>	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○	○	◎		△			
関連科目								
その他	<p>「日本のくらし」江戸東京たてもの園 見学会は 3 時間程度行われる。 見学会を実施するかどうかは、その時の状況に応じて判断する。 見学会の交通費は自己負担となる。見学先での記録道具としてスマートフォンやデジタルカメラなどを用意すること。</p>							
予習・復習の 所要時間	<p>講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）</p>							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	住空間デザイン入門Ⅱ		
科目分類	100-120-11	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Introduction to Living Space Design Ⅱ	授業区分	講義
科目責任者	佐藤 勉	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	李・佐藤(勉)・茂木	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	見学会や共同作業などを通してデザインの基礎を実践しながら、自分の考えを表現すること、伝達すること、批評することなどを学び、主体的な学習の方法を体得する。 生活(暮らし)のための空間をトータルにデザインする「リビングデザイン」について幅広く客観的に展望し学びます。将来の自分が、リビングデザイナーとしての専門性を持って社会と向き合っていくために必要な、調査力・分析力や表現力を実践から学びます。ディスカッションやグループ発表などのグループワーク及び、プレゼンテーションやフィールドワークを行う。		
到達目標	自分の考えの表現、伝達、他者への批評を行えるよう、主体的な学習方法を体得する。またこれらを通じて自己の能力を発見し、高められるようになる。 与えられた課題に対して調査を行い、その結果を分析して独自の結論を導き出せるようになる。またその結論をプレゼンテーションして他者に伝えることを目標とする。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
第1回	予習：夏休み課題の確認 授業：「本の魅力を伝える」出題 復習：「本の魅力を伝える」表現方法の検討		
第2回	予習：住空間デザイン学類の学びやコースについて調べる 授業：住空間デザイン学類の教員紹介7、プレゼンテーションの方法について 復習：配布資料のふりかえり		
第3回	予習：「本の魅力を伝える」発表準備 授業：「本の魅力を伝える」発表会（プレゼンテーション） 復習：「本の魅力を伝える」発表のふりかえり		
第4回	予習：「日本の住まい（団地とは何か）」予備調査 授業：「日本の住まい（団地とは何か）」課題出題 復習：「日本の住まい（団地とは何か）」事前調査レポート		
第5回	予習：「日本の住まい（団地とは何か）」事前調査レポート発表準備 授業：「日本の住まい（団地とは何か）」事前調査レポート発表（プレゼンテーション） 復習：「日本の住まい（団地とは何か）」発表のふりかえり		
第6回	予習：住空間デザイン学類の学びやコースについて調べる 授業：住空間デザイン学類の教員紹介8 復習：配布資料のふりかえり		
第7回	予習：「日本の住まい（団地とは何か）」見学準備 授業：「日本の住まい（団地とは何か）」見学会 復習：「日本の住まい（団地とは何か）」見学会ふりかえり		
第8回	予習：「日本の住まい（団地とは何か）」プレゼンシート準備 授業：「日本の住まい（団地とは何か）」プレゼンシート制作作業 復習：「日本の住まい（団地とは何か）」レポート作成		
第9回	予習：「日本の住まい（団地とは何か）」プレゼンシート制作準備 授業：「日本の住まい（団地とは何か）」プレゼンシート制作作業 復習：「日本の住まい（団地とは何か）」レポート作成		
第10回	予習：「日本の住まい（団地とは何か）」発表準備 授業：「日本の住まい（団地とは何か）」発表会（グループ発表・プレゼンテーション） 復習：「日本の住まい（団地とは何か）」発表のふりかえり		
第11回	予習：「まち歩き」予備調査 授業：「まち歩き」課題出題 復習：「まち歩き」事前調査レポート		
第12回	予習：「フィールドワーク」とは何か調べる 授業：「フィールドワーク」の案内 復習：講義のふりかえり		
第13回	予習：「まち歩き」事前調査レポート発表準備 授業：「まち歩き」事前調査レポート発表（グループ発表）、冬休み課題出題 復習：「まち歩き」事前調査レポート発表のふりかえり、冬休み課題		
第14回	予習：「まち歩き」発表準備 授業：「まち歩き」発表会（プレゼンテーション） 復習：「まち歩き」発表会ふりかえり		

<p>第 15 回 予習 : これまでの学修内容をふりかえる 授業 : 春休み課題出題、後期授業アンケート実施 復習 : 春休み課題</p>								
授業開始前学習	前期の住空間デザイン入門 I で出題された夏休み課題を見直しておくこと。 現在居住しているの地域や歴史について、書籍やインターネットを通して基本的な知識を得ること。							
授業内課題の フィードバックの方法	各課題の実施後に講評を行う。							
テキスト・教材	資料・プリント等を適宜配布する。							
参考書	資料等を適宜紹介する。							
評価の基準と方法	提出物、受講態度などにより評価する。 評価は提出物 70%、受講態度など 30%。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○	○	◎		△			
関連科目								
その他	<p>正課学外活動として見学会が土日または祝日のいずれかに実施される。 見学会を実施するかどうかは、その時の状況に応じて判断する。 交通費は自己負担、見学先によっては入場料がかかる場合がある。 見学先での記録道具としてスマートフォンやデジタルカメラなどを用意すること。</p>							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 60 時間 (4 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	☆哲学／人間と思想 I		
科目分類	100-120-11	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Philosophy／Humans and Thought I	授業区分	講義
科目責任者	鈴木 由加里	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	鈴木 由加里	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	人間とはどのような存在なのか、人間の本質はどのようなものなのか、を考察することがテーマである。古代ギリシアから中世までの哲学的知識を講義する予定である。学んだ学説や概念を使って、現代的な問題についての考察、演習問題を行う予定である。		
到達目標	考える材料として西洋哲学を歴史的に学び、かつ現代社会の情報を踏まえつつ、学生が自分で考察ができるようになることが達成目標。		
アクティブ・ラーニング型授業	無		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>1 予習：シラバスの内容を吟味し、自分の興味対象がどこにあるのかを考えてくる 授業：人間と思想を学ぶということについて 授業の進め方評価基準などについて資料を配付 論述課題を実施 復習：自分がすでにもっている「人間」についてのイメージをまとめる</p> <p>2 予習：人間とはどのような存在であるか 授業：人間学と哲学（映像資料を利用） 復習：授業で扱ったテーマについて考察を深めておく</p> <p>3 予習：ギリシアの歴史について調べておく 授業：ギリシア哲学 I 古代ギリシアの世界 復習：自然学とは何かをまとめておく</p> <p>4 予習：アテネの民主制について調べておく 授業：ギリシア哲学 II 自然哲学からソクラテスへ 復習：ソクラテスの刑死の意味を考えよう</p> <p>5 予習：プラトンの時代のギリシア世界について調べておく 授業：プラトンの思想 復習：イデア論について問題点をまとめておく</p> <p>6 予習：マケドニアとギリシアについての歴史を調べておく 授業：ヘレニズム期の哲学と文化 復習：アリストテレスと学問についてまとめる</p> <p>7 予習：コスモポリタンの意味を調べておく 授業：ヘレニズム期の思想 復習：ストア派についてまとめる</p> <p>8 予習：ヨーロッパ文化の特性を自分なりに語れるようにしておく 授業：ヘレニズムとヘブライズム 復習：文化論の意義について考えておく</p> <p>9 予習：『創世記』第一章の内容を調べておく 授業：原始キリスト教 宗教と人間について 復習：贖い、福音という言葉の説明できるようにする</p> <p>10 予習：宗教の力について考えておく 授業：キリスト教とローマ帝国 人生と哲学について 復習：布教活動の意味について再考しておく</p> <p>11 予習：中世の定義を調べておく 授業：中世ヨーロッパの人間観 復習：歴史区分の意味について再考しておく</p> <p>12 予習：現代における宗教の意義について考えてくる 授業：宗教と死について 復習：死の概念の違いを再解釈する</p> <p>13 予習：キリスト教と世俗権力について調べておく 授業：中世キリスト教神学と哲学 復習：キリスト教の多様さを再確認すること</p> <p>14 予習：「近代」という概念を調べておく 授業：古代・中世の人間観と現代の人間観について考察をする 復習：人文主義の意義について考えておく。</p> <p>15 予習：各自ノート及びレジュメ参考文献などを味読しておくこと 授業 1 回から 14 回までの 授業内容確認レポートあるいはテスト形式での質問に答える (授業内でレポート作成) 復習：授業内容について不十分なところを補っておく</p>			
* 学生の知識レベル興味関心に応じて内容を変更する可能性もある。			

授業開始前学習	<p>課題提出などで、GWE(Google Workspace for Education)など PC 操作を必要とするシステムを使用予定である。パソコンの基本的な知識 (Web の閲覧、メールの送受信、ファイルの種類についての知識など) を学んでおいて欲しい。</p> <p>授業内容に関しては、西洋の哲学史についての話になるので、常識のレベルでの西洋の歴史について学んでおいてもらいたい。</p>							
授業内課題の フィードバックの方法	<p>基本的に、フィードバックは、GWE(Google Workspace for Education)を利用。</p> <p>レポート課題は、Google Classroom を利用して、出題、回収。また、連絡も Google Classroom を利用。遠隔授業になった場合、GWE(Google Workspace for Education)を通じてオンデマンドで行う。クラス記号など詳細は「クラスプロフィール」を通じて連絡をする予定。「クラスプロフィール」の使い方を確認しておくこと。</p>							
テキスト・教材	<p>GWE(Google Workspace for Education)Google Classroom にて、授業に必要な講義内容のレジュメと資料を PDF 形式ファイルで配付。各資料を DL したものをプリントアウトするか、PC やタブレットなどデジタル機器でノートイクをするか、各自の学習方法にあわせて使用すること。</p>							
参考書	<p>熊野 純彦 『西洋哲学史 古代から中世へ』岩波新書 2006</p> <p>その他 授業中に適宜指示する</p>							
評価の基準と方法	<p>GWE(Google Workspace for Education)において、課題を提出してもらう。課題を全部提出することが単位取得の前提条件。全て提出した場合のみ、各回の点数と授業内容確認テストの点数を合計し、100 点換算の上成績評価を行う。課題の詳細は授業時に説明。</p>							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△		○		
関連科目	人間と思想							
その他								
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 60 時間 (4 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	☆人間と思想／人間と思想Ⅱ		
科目分類	100-120-11	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Humans and Thought／Humans and Thought Ⅱ	授業区分	講義
科目責任者	鈴木 由加里	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	鈴木 由加里	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	近代以降の西洋哲学についての知識を深めつつ、人間はどのような存在として考えられてきたかということを考える。倫理や道徳に関する現代的なテーマについてもとりあげて、知識を増やし、哲学的知識を実践で役立てる方法を講義する予定である。		
到達目標	哲学史を覚えるだけでなく、その知識を活用して、現代社会における様々な事象や社会問題との関連の中で人間について考察を深めていくことができるようになること。		
アクティブ・ラーニング型授業	無		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>1 予習：シラバスの内容を吟味し、自分の興味対象がどこにあるのかを考えてくる 授業：現代的視点で人間について考えることについて及び授業説明 授業の進め方評価基準などについて資料を配付 授業内で論述課題を行う 復習：自分がすでにもっている「人間」についてのイメージをまとめる</p> <p>2 予習：近代という言葉からイメージするものを考えてくる 授業：近代とは何か 復習：日本語で西洋のことについて学ぶことの意味について考える</p> <p>3 予習：自分が考える「科学的」ということの意味を考えること 授業：科学革命と人間 復習：現代の科学は人間の何を明らかにしているのかを考える</p> <p>4 予習：人権とは何か、箇条書きにしてくる 授業：近代市民社会の成立 歴史的経緯と「市民」「社会」の意味 復習：現代社会における人権侵害の事例を調べる</p> <p>5 予習：人間にとって許されないこととは何かを考えてくる 授業：人間と悪についての小論文作成 復習：自分が言葉にできなかったことをもう一度考えてみよう</p> <p>6 予習：17世紀のヨーロッパ史について調べてくる 授業：デカルトと理性的存在としての人間について 復習：理性とは何かを考えてみよう</p> <p>7 予習：30年戦争の原因と結果を説明できるようにしておく 授業：17世紀ヨーロッパの哲学について バスカルについて 復習：人間の弱さと強さについて考える</p> <p>8 予習：17世紀のイギリスのことを調べておく 授業：イギリスの経験論 思考の方法 復習：授業内で学んだ概念を原語と日本語訳を覚え、活用できるようにしておく</p> <p>9 予習：「啓蒙」という漢字の意味を調べておくこと 授業：啓蒙主義 ①「百科全書派」とヴォルテール 復習：「リスボン大地震」について調べてみよう</p> <p>10 予習：権力と啓蒙について考えておく 授業：啓蒙主義 ② 啓蒙専制君主について 復習：ルソーの思想についてまとめておく</p> <p>11 予習：人間の定義と自分の違いについて考えてみる 授業：18世紀から19世紀の思想 自由と平等を中心に 復習：ジェンダーという概念を正しく理解しておく</p> <p>12 予習：「女性」の権利について調べておく 授業：「人間と女性」について 復習：「人間」＝女性なのか、ということを考えてみる</p> <p>13 予習：日本の社会について考えてこよう 授業：現代の人間観 ①ジェンダー概念について 復習：自分と全く異なった人間観を持つ人たちとどうやって向き合うかを考える</p> <p>14 予習：マイノリティという言葉について調べておく 授業：現代の人間観 ②「性的マイノリティ」について 復習：小テストで答えられなかったところを復習しておく</p> <p>15 予習：これまでのノート及び資料の味読をしておく 授業：授業内容確認レポートもしくはテスト形式での質問（授業内でレポート作成） 復習：授業内容について不十分なところを補っておく</p>			
* 学生の知識レベル興味関心理解度に応じて内容と講義の日程を変更する可能性がある。			

授業開始前学習	ルネサンス以降の西洋の歴史について概略を学んでおくこと。							
授業内課題の フィードバックの方法	基本的に、フィードバックは、GWE(Google Workspace for Education)を利用。 対面授業の場合は、リアクションペーパーは手書き。授業時に回収し、返却はなし。 レポート課題は、Google Classroom を利用して、出題、回収。また、連絡も Google Classroom を利用。遠隔授業の場合の場合は、GWE(Google Workspace for Education)を通じて行う。クラス記号など詳細は「クラスプロフィール」を通じて連絡をする予定。							
テキスト・教材	GWE(Google Workspace for Education)Google Classroom にて、授業に必要な講義内容のレジメと資料を PDF 形式ファイルで配付。各資料を DL したものをプリントアウトするか、PC やタブレットなどデジタル機器でノートテイクをするか、各自の学習方法にあわせて使用すること。							
参考書	授業概要のレジメやスライドで指示							
評価の基準と方法	GWE(Google Workspace for Education)において、課題を提出してもらう。課題を全部提出することが単位取得の前提条件。全て提出した場合のみ、各回の点数と授業内容確認テストの点数を合計し、100 点換算の上成績評価を行う。課題の詳細は授業時に説明。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△		○		
関連科目	哲学 人間と思想 I							
その他								
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 60 時間 (4 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	人間と文化 I		
科目分類	100-120-11	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Humans and Culture I	授業区分	講義
科目責任者	石田 仁志	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	石田 仁志	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	明治維新から始まったとされる日本の近代社会というのは、一言で言えば、西欧の都市文化を移入することであった。この授業では、明治から昭和にかけての日本近代の短編小説を読解することを通じて、日本近代における都市化と文学との関連、そして、そこに描かれる「人間」の喜怒哀楽、幸福、孤独、家族意識、死生観などを捉えていく。そのことを通して、日本近代における「人間」の価値観の変容を学んでいく。授業は講義形式を中心とするが、受講状況によっては学生自身による小説の研究発表、ディスカッションを行うこともありうる。また、事前に講義動画を視聴してもらい、教室ではディスカッションを行うこともありうる。		
到達目標	日本近代の都市化と日本人の価値観の変容について、具体的テキストを挙げて、その基本的な変遷と相互関係について理解し、説明できるようになる。		
アクティブ・ラーニング型授業	無		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 ガイダンス（都市と文学との関係） 予習： 指定した教科書の末尾の「〈都市論〉へのいざない」を読んでくる。 授業： 教科書に収録された短編小説を概観する。 復習： 授業内容をまとめ直す。</p> <p>【第2回】 明治期の都市と文学 1 予習： 泉鏡花「夜行巡査」を読んで、自分なりの感想を考えてくる。 授業： 泉鏡花「夜行巡査」読解 復習： 授業で紹介した小説を読み直す。</p> <p>【第3回】 明治期の都市と文学 2 予習： 樋口一葉「十三夜」を読んで、自分なりの感想を考えてくる。 授業： 樋口一葉「十三夜」読解 復習： 授業で紹介した小説を読み直す。</p> <p>【第4回】 明治期の都市と文学 3 予習： 田山花袋「少女病」を読んで、自分なりの感想を考えてくる。 授業： 田山花袋「少女病」読解 復習： 授業で紹介した小説を読みなおす。</p> <p>【第5回】 明治期の都市と文学 4 予習： 国木田独歩「窮死」を読んで、自分なりの感想を考えてくる。 授業： 国木田独歩「窮死」読解 復習： 授業で紹介した小説を読みなおす。</p> <p>【第6回】 明治期の都市と文学 5 予習： 谷崎潤一郎「秘密」を読んで、自分なりの感想を考えてくる。 授業： 谷崎潤一郎「秘密」読解 復習： 授業で紹介した小説を読み直す。</p> <p>【第7回】 大正期の都市と文学 1 予習： 志賀直哉「小僧の神様」を読んで、自分なりの感想を考えてくる。 授業： 志賀直哉「小僧の神様」読解 復習： 授業で紹介した小説を読み直す。</p> <p>【第8回】 大正期の都市と文学 2 予習： 芥川龍之介「舞踏会」を読んで、自分なりの感想を考えてくる。 授業： 芥川龍之介「舞踏会」読解 復習： 授業で紹介した小説を読み直す。</p> <p>【第9回】 昭和期の都市と文学 1 予習： 横光利一「街の底」を読んで、自分なりの感想を考えてくる。 授業： 横光利一「街の底」読解 復習： 授業で紹介した小説を読みなおす。</p> <p>【第10回】 昭和期の都市と文学 2 予習： 中野重治「交番前」を読んで、自分なりの感想を考えてくる。 授業： 中野重治「交番前」読解 復習： 授業で紹介した小説を読み直す。</p> <p>【第11回】 昭和期の都市と文学 3 予習： 堀辰雄「水族館」を読んで、自分なりの感想を考えてくる。 授業： 堀辰雄「水族館」読解 復習： 授業で紹介した小説を読み直す。</p>			

<p>【第 12 回】昭和期の都市と文学 4 予習：江戸川乱歩「目羅博士」を読んで、自分なりの感想を考えてくる。 授業：江戸川乱歩「目羅博士」読解 復習：授業で紹介した小説を読みなおす。</p> <p>【第 13 回】昭和期の都市と文学 5 予習：織田作之助「木の都」を読んで、自分なりの感想を考えてくる。 授業：織田作之助「木の都」読解 復習：授業で紹介した小説を読み直す。</p> <p>【第 14 回】昭和期の都市と文学 6 予習：三島由紀夫「橋づくし」を読んで、自分なりの感想を考えてくる。 授業：三島由紀夫「橋づくし」読解 復習：授業で紹介した小説を読み直す。</p> <p>【第 15 回】まとめ 予習：第 2 回から第 14 回の授業内容を振り返る。 授業：日本近代文学における都市と文学、日本人の価値観の変化 復習：授業内容をまとめる。</p>								
授業開始前学習	教科書に指定した本に収録されている小説をさっと目を通しておく。近代社会における都市化の影響について、自分なりに調べたみる。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業終了後に、毎回、小レポートを提出してもらいます。また、そのレポートにうち、優れた内容のものや興味深い視点を有するものなどは授業を通じて内容を紹介し、学生たちの理解度の深まりを確認していきます。							
テキスト・教材	東郷克己・吉田司雄編『〈都市〉文学を読む』（鼎書房、2,000 円 + 税） ISBN978-4-907282-28-8							
参考書								
評価の基準と方法	授業での小レポート等の課題成績（70%）、授業への参加状況（30%）の総合評価による。単位認定は、総合評価で 60%以上の成績をとった者に限る。提出物を 5 回以上未提出の場合は失格。提出物の遅刻提出は減点する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△				
関連科目								
その他								
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	人間と文化Ⅱ		
科目分類	100-120-11	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Humans and Culture Ⅱ	授業区分	講義
科目責任者	石田 仁志	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	石田 仁志	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	日本の近代・現代社会の家族関係や東日本大震災と文学文化との関連について、具体的な小説の中にそれらがどのように描かれているかを学ぶ。		
到達目標	日本の近代・現代社会におけるトピックスと文学テキストとの関連について、理解して説明できる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 ガイダンス；〈家族〉小説とは？ 予習：自分にとって〈家族〉とは何かを考える。 授業：〈家族〉の社会的な定義、戦後日本社会における家族意識の変化を講義する。 復習：授業内容をまとめる。</p> <p>【第2回】 日本の家族小説（介護小説）1 予習：有吉佐和子『恍惚の人』を読んでくる。 授業：老人介護と文学 復習：授業内容をまとめ、小レポートを執筆する。</p> <p>【第3回】 日本の家族小説（介護小説）2 予習：現代の母娘の関係の在り方について調べる。 授業：篠田節子『長女たち』・中島京子『長いお別れ』を読む 復習：授業内容をまとめ、小レポートを執筆する。</p> <p>【第4回】 日本の家族小説（高度経済成長）3 予習：山田太一『岸辺のアルバム』（前半）を読んでくる。 授業：高度経済成長と家族小説：家族意識の解体 復習：授業内容をまとめ、小レポートを執筆する。</p> <p>【第5回】 日本の家族小説（高度経済成長）4 予習：山田太一『岸辺のアルバム』（後半）を読んでくる。 授業：高度経済成長と家族小説：情緒的家族の再編 復習：授業内容をまとめ、小レポートを執筆する。</p> <p>【第6回】 日本の家族小説（離婚・いじめ）5 予習：干刈あがた『ウホッホ探検隊』『黄色い髪』を読んでくる。 授業：いじめ問題と家族小説 復習：授業内容をまとめ、小レポートを執筆する。</p> <p>【第7回】 日本の家族小説（再婚・ステップファミリー）6 予習：ステップファミリーについて調べる。 授業：重松清『幼子われらに生まれ』を読む（映画も取り扱う） 復習：授業内容をまとめ、小レポートを執筆する。</p> <p>【第8回】 日本の家族小説（引きこもり）7 予習：村上龍『最後の家族』を読んでくる。 授業：戦後家族の転換点 復習：授業内容をまとめ、小レポートを執筆する。</p> <p>【第9回】 日本の家族小説（まとめ）8 予習：第2回から第8回までの授業内容を振り返る。 授業：戦後・現代の日本の家族小説は何かということについて、グループ・ディスカッションをおこなう。（ディスカッション） 復習：授業内容をまとめ、小レポートを執筆する。</p> <p>【第10回】 震災後文学1 予習：川上弘美『神様 2011』を読んでくる。 授業：震災への怒り、変貌する物語世界。 復習：震災後文学1についてまとめる。</p> <p>【第11回】 震災後文学2 予習：和合亮一『詩の礫』を読んでくる。 授業：新しい詩歌の形式、地震と言葉。 復習：震災後文学2についてまとめる。</p> <p>【第12回】 震災後文学3 予習：多和田葉子『献灯使』・桐野夏生『バラカ』、高橋源一郎『恋する原発』を読んでくる。 授業：震災後のディストピア小説 復習：震災後文学3についてまとめる。</p>			

<p>【第13回】震災後文学4 予習：いとうせいこう『想像ラジオ』・玄侑宗久『光の山』を読んでくる。 授業：震災の死・鎮魂と文学 復習：震災後文学4についてまとめる。</p> <p>【第14回】震災後文学5 予習：垣谷美雨『女たちの避難所』、吉村萬吉『ボラード病』を読んでくる。 授業：震災とジェンダー、同調圧力 復習：震災後文学5についてまとめる。</p> <p>【第15回】まとめ 予習：家族、震災と文学との関係について整理する。森絵都・吉田尚令『希望の牧場』を読んでくる。 授業：震災が日本の社会や文学文化に与えた影響について、グループ・ディスカッションを行う。(ディスカッション) 復習：人間社会と文学文化との相関関係についてまとめる。</p>								
授業開始前学習	予習として提示した小説を読んでおく。読めない場合でもどのような小説家は調べておく。							
授業内課題のフィードバックの方法	基本的には、毎回、課題レポートを提出してもらう。ただし、授業の進行状況を鑑みて、回数は調整することがあります。フィードバックについては、可能な限り、毎回行いますが、できない場合はまとめて行います。							
テキスト・教材	特定の教科書はありません。取り上げる小説については、各自で文庫本や単行本を入手するようにしてください。							
参考書								
評価の基準と方法	授業後の課題レポート（80％）、授業内での発言など発言（20％）、期末レポートは原則として課さないが、学生の履修状況等によっては課すこともありうる。詳しくは業内で説明する。授業後レポートを 1/3 以上未提出の場合は、失格とする。単位認定は総合評価において 60％以上の成績を得た者に与える。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△				
関連科目								
その他	読んでくるように指示する小説類は各自で揃える。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	生命の科学		
科目分類	100-120-11	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Life Science	授業区分	講義
科目責任者	鞠子 典子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	鞠子 典子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	<p>「そもそも私とはなにか？」から問を発し、「私」が生まれてきた道筋である生命の進化を学び、「私」を構成している分子や細胞、DNAについて触れ、生物のからだのつくりや仕組みといった生命科学の基礎知識について学ぶ。さらに生命科学分野の進歩とりわけバイオテクノロジーの医療応用に伴って多様な問題が生じているが、それらの問題解決への道筋、そして我々の未来について考えていく。授業内容には女性という視点を取り入れ分かり易く講義する。授業の進め方としては、Pワポによる講義だけでなく、教室内で行える簡単な実験・実習などを交えながら、講義内容を具体的に理解できるように工夫していく。</p>		
到達目標	<p>生命とは何かを生物学的に学び、生命の操作に関する諸問題について自分の意見をもてるようになる。またヒトや女性について生物学的に理解し、自分の生き方に自信と責任をもてるようになる。</p>		
アクティブ・ラーニング型授業	無		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
第1回	<p>授業：生命のことを知らずして、現代社会は生きられない 予習：「生命」に関する話題についてネットで検索してみよう 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する</p>		
第2回	<p>授業：私たちの体は細胞からできている 予習：今回のキーワードである「細胞説」について調べる 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する</p>		
第3回	<p>授業：私たちが生きるためにしていることは自然法則に逆らうことだった!? 予習：今回のキーワードである「エントロピー」について調べる 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する</p>		
第4回	<p>授業：自分のコピーをつくり、増やすしくみについて学ぶ 予習：「遺伝の法則」について復習しておこう 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する</p>		
第5回	<p>授業：DNA・遺伝子・ゲノムの違いが分かりますか 予習：今回のキーワードである「セントラルドグマ」について調べる 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する</p>		
第6回	<p>授業：「環境が私たちを変える」、そのしくみが分かってきた 予習：今回のキーワードである「エピジェネティクス」について調べる 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する</p>		
第7回	<p>授業：ウイルスが生物も生態系も進化させる 予習：「巨大ウイルス」に関する最新的话题を検索しておこう 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する</p>		
第8回	<p>授業：ヒトの遺伝子改変はどこまで許されるのか 予習：「ゲノム編集技術」に関する最新的话题を検索しておこう 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する</p>		
第9回	<p>授業：遺伝子組み換え大豆を使った納豆をあなたは食べますか？ 予習：「GM 作物・食品」の利用の是非について家族に尋ねておく 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する</p>		
第10回	<p>授業：「知っておきたい女性のための生命科学」～生物進化はメスが基本～ 予習：「XY 染色体」について調べる 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する</p>		
第11回	<p>授業：「知っておきたい女性のための生命科学」～妊娠、出産、母性～ 予習：「出生前診断」に関する話題について調べる 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する</p>		

<p>第 12 回 授業：「知っておきたい女性のための生命科学」～母子の栄養と子どもの健康～ 予習：厚生労働省の HP に掲載されている「低出生体重児保健指導マニュアル」に目を通しておく 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する</p> <p>第 13 回 授業：「知っておきたい女性のための生命科学」～ワクチン接種の是非論～ 予習：「子宮頸がん」について調べる 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する</p> <p>第 14 回 授業：「知っておきたい女性のための生命科学」～不妊治療について考える～ 予習：「生殖補助医療」について調べる 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する</p> <p>第 15 回 授業：「生命の科学」で学んだことを復習し、生命の科学リテラシーの必要性について自分の意見をまとめる 予習：生命の科学 総括と試験範囲の説明 復習：試験に向けた勉強をする</p>								
授業開始前学習	常日頃から、授業と関連する話題に強い関心をもってニュースや新聞記事と接すること。							
授業内課題の フィードバックの方法	ワンポイントで復習できる課題の講評及び解答は次の回の講義にて行います。							
テキスト・教材	教科書は指定せず、資料を配布します。							
参考書	「生命科学の静かなる革命」福岡伸一著(インターナショナル新書) 「好きになる人間生物学」吉田邦久著(講談社サイエンティフィク) この他、講義の中で適宜書籍を紹介しします。							
評価の基準と方法	試験 70%、平常点(授業に臨む姿勢・提出物) 30%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△				
関連科目								
その他	授業の理解度などを勘案し、授業テーマの順序や内容を多少変更することがあります。講義で分からないことがある場合は、そのままにせず、いつでも質問してください。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 60 時間 (4 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	倫理学		
科目分類	100-120-11	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Ethics	授業区分	講義
科目責任者	鈴木 由加里	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	鈴木 由加里	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	本講義では、倫理学の概要と現代における倫理的テーマを考察する。現代社会に生きる個々人が直面する倫理的な判断をしなければならぬ具体的な諸問題を紹介し、それぞれに対して論議できるようになることを目的としたい。		
到達目標	平等や正義に関する哲学的知識を身につけ、現実的な問題について議論できるようになることが到達目標。		
アクティブ・ラーニング型授業	無		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
1	<p>予習：シラバスの内容を吟味し、自分の興味対象がどこにあるのかを考えてくる 授業：倫理学を学ぶにあたって。レポートの書き方や単位取得条件及び勉強の仕方について説明する。 論述課題を実施 復習：配布したレジメを読む</p>		
2	<p>予習：配布した資料を読む 授業：倫理学の課題 復習：問題群を確認</p>		
3	<p>予習：配付資料を読んでくる 授業：倫理学の歴史 ①古代ギリシア 復習：倫理学の歴史について知識を確認する</p>		
4	<p>予習：配布資料を読んでくる 授業：倫理学の歴史 ②近代 復習：倫理学の歴史についての知識を確認する</p>		
5	<p>予習：自由の価値について自分の考えをまとめる 授業：自由について① J・S・ミルの『自由論』を読む 復習：ミルとハリエット・テイラーについて確認する</p>		
6	<p>予習：ミル自由主義の問題点を確認する 授業：自由について② 復習：自由が批判されるケースの確認</p>		
7	<p>予習：功利主義という言葉調べてくる 授業：功利主義について 復習：功利主義と倫理の関係について確認</p>		
8	<p>予習：19世紀以降の歴史を確認してくる 授業：倫理学の現代的展開 科学と倫理 復習：科学の中立性について考える</p>		
9	<p>予習：技術なしの生活を考えてみる 授業：科学技術と倫理 復習：科学技術の問題点を確認</p>		
10	<p>予習：医療に対する不満を考えてくる 授業：医療と倫理① 医療の課題 復習：医療における課題の具体像を確認</p>		
11	<p>予習：終末期に何をしたいか考える 授業：医療と倫理② 人間の尊厳について 復習：尊厳ある死について確認</p>		
12	<p>予習：日本における法的な自由の定義を調べる 授業：再び自由の問題について 復習：自由の価値について確認する</p>		
13	<p>予習：意見の対立についての具体的なケースを考えてくる 授業：相対主義という問題 復習：倫理的に生きることについて考察する</p>		
14	<p>予習：ノートと配布した資料、参考文献を読んで理解しておく 授業 補足 授業内容確認レポート（授業内でレポート作成） 復習：授業内容について不十分なところを補っておく</p>		
15	<p>予習：ノートと配布した資料、参考文献を読んで理解しておく 授業：授業内容確認小テスト（ノート レジメ 持ち込み可） 復習：小テストで答えられなかったところを復習しておく</p>		

授業開始前学習	この授業では、課題の提出などで GWE(Google Workspace for Education)を使用する可能性がある。使用法を各自学習しておくこと。基本的なパソコンの操作を学んでおくこと。Web の閲覧、ファイルの種類の違いや、ワープロソフトの使用法、メールの送受信など基本的な操作ができるようにしておくこと。							
授業内課題の フィードバックの方法	基本的に、フィードバックは、GWE(Google Workspace for Education)を利用。 対面授業の場合は、リアクションペーパーは手書き。授業時に回収し、返却はなし。 レポート課題は、Google Classroom を利用して、出題、回収。また、連絡も Google Classroom を利用。クラス記号など詳細は「クラスプロファイル」を通じて連絡をする予定。「クラスプロファイル」の使い方を確認しておくこと。							
テキスト・教材	授業概要についてのレジメと資料を授業項目ごとに配布。参考文献や必要な資料は授業時に配布もしくはデジタル版へのリンクを指示する。							
参考書	各テーマごとにレジメで指示。ブックリスト配布を配布するので、図書館などを利用し、より多くの参考文献に目を通して欲しい。							
評価の基準と方法	GWE(Google Workspace for Education)において、課題を提出してもらう。課題を全部提出することが単位取得の前提条件。全て提出した場合のみ、各回の点数と授業内容確認テストの点数を合計し、100 点換算の上成績評価を行う。課題の詳細は授業時に説明。不備のあるレポートには再提出を指示する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△		○		
関連科目	特になし							
その他								
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 60 時間 (4 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	人権の基礎		
科目分類	100-120-11	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Introduction to Human Rights	授業区分	講義
科目責任者	福王 守	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	福王 守	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	前期 火曜日 09:00～10:30 木曜日 10:30～12:00 後期 火曜日 09:00～10:30 木曜日 10:30～12:00	研究室	10-614
授業概要	今日の日本の法社会は、ヨーロッパの近代市民社会を模範としています。一人ひとりの個人を人格の担い手として尊重すること、すなわち「人間の尊厳」は市民社会の実現目標かつ基本的な価値観として捉えられてきました。特に、「自由」や「平等」は人間の尊厳の具体的な内容をなす基本的な「人権」として捉えられ、今日に至っています。このことを踏まえ、本講義ではまず人権の本質と内容について理解します。その上で、今日における様々な人権問題を国内社会と国際社会を比較しつつ法的な観点から考察します。		
到達目標	市民社会における客観的な判断基準としての「法」の役割を踏まえ、異なる意見を踏まえつつ筋道を立てて未解決の人権問題を考える力を身につけることを目標とします。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
※ 毎回の授業後には、「問題解決型学習」の手段として課題レポートを作成してもらい、次回授業時にこれに対する解説と質問への回答を行います。			
【第1回】 予習：本科目シラバスおよびテキスト目次 1～11 頁の講読 授業：「人権の基礎」とは：授業の目的・内容・学習方法について【テキスト 目次 1～11 頁】 復習：テキスト目次 1～11 頁の再読、【第1回】授業ノートおよび配布プリントの整理			
【第2回】 予習：テキスト 3 頁の講読およびキーワードの確認 授業：市民社会と法：法の役割と日本の法体系の起源 【テキスト 3 頁】 復習：テキスト 3 頁の再読、【第2回】授業ノートおよび配布プリントの整理			
【第3回】 予習：テキスト 11～12 頁の講読およびキーワードの確認 授業：人権の背景：近代市民社会と人間の尊厳 【テキスト 11～12 頁】 復習：テキスト 11～12 頁の再読、【第3回】授業ノートおよび配布プリントの整理			
【第4回】 予習：テキスト 12～13 頁の講読およびキーワードの確認 授業：人権の背景：近代市民国家と個人の尊厳 【テキスト 12～13 頁】 復習：テキスト 12～13 頁の再読、【第4回】授業ノートおよび配布プリントの整理			
【第5回】 予習：テキスト 17～22 頁、27～30 頁の講読およびキーワードの確認 授業：国内社会と人権：日本国憲法と基本的人権 【テキスト 17～22 頁、27～30 頁】 復習：テキスト 17～22 頁、27～30 頁の再読、【第5回】授業ノートおよび配布プリントの整理			
【第6回】 予習：テキスト 53～54 頁、103～106 頁の講読およびキーワードの確認 授業：国内社会と人権：自由権 【テキスト 53～54 頁、103～106 頁】 復習：テキスト 53～54 頁、103～106 頁の再読、【第6回】授業ノートおよび配布プリントの整理			
【第7回】 予習：テキスト 161～175 頁の講読およびキーワードの確認 授業：国内社会と人権：社会権 【テキスト 161～175 頁】 復習：テキスト 161～175 頁の再読、【第7回】授業ノートおよび配布プリントの整理			
【第8回】 予習：テキスト 73～81 頁、167～168 頁の講読およびキーワードの確認 授業：国内社会と人権：環境と人権 【テキスト 73～81 頁、167～168 頁】 復習：テキスト 73～81 頁、167～168 頁の再読、【第8回】授業ノートおよび配布プリントの整理			
【第9回】 予習：テキスト 54～58 頁、288～289 頁の講読およびキーワードの確認 授業：国内社会と人権：外国人の人権 【テキスト 54～58 頁、288～289 頁】 復習：テキスト 54～58 頁、288～289 頁の再読、【第9回】授業ノートおよび配布プリントの整理			
【第10回】 予習：第2回～9回までのテキスト全学習頁の講読およびキーワードの確認 授業：これまでの授業の総括と発展学習の手引：授業全体の体系的整理と論証に向けて（課題解決型学習）【テキスト全学習頁】 復習：テキスト全学習頁の再読、【第10回】授業ノートおよび配布プリントの整理			
【第11回】 予習：テキスト 281～282 頁の講読およびキーワードの確認 授業：国際社会と人権：国際社会の構造的特徴 【テキスト 281～282 頁】 復習：テキスト 281～282 頁の再読、【第11回】授業ノートおよび配布プリントの整理			

<p>【第12回】 予習：テキスト 282～283 頁の講読およびキーワードの確認 授業：国際社会と人権：国際人権保障のあゆみと国連の役割 【テキスト 282～283 頁】 復習：テキスト 282～283 頁の再読、【第12回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p> <p>【第13回】 予習：テキスト 283～286 頁の講読およびキーワードの確認 授業：国際社会と人権：国際人権章典 【テキスト 283～286 頁】 復習：テキスト 283～286 頁の再読、【第13回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p> <p>【第14回】 予習：テキスト 291～294 頁の講読およびキーワードの確認 授業：国際社会と人権：国際人権保障をめぐる課題と日本 【テキスト 291～294 頁】 復習：291～294 頁の再読、【第14回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p> <p>【第15回】 予習：テキスト目次 1～11 頁の講読およびキーワードの確認 授業：これまでの授業の総括と発展学習の手引：授業全体の体系的整理と論証に向けて（課題解決型学習）【テキスト全学習頁】 復習：テキスト全学習頁の再読、【第15回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p>
--

授業開始前学習	テレビや新聞の社会面・政治面の報道に、少しでも多く接する機会をもって下さい。必ずどこかで授業理解の助けになります。							
授業内課題のフィードバックの方法	適宜次回の授業冒頭において課題レポートに対する講評と質問への回答を述べます。また第10回および15回目において、レポート課題全般に関する講評と個々の問題解決に向けた助言等を行います。							
テキスト・教材	古野豊秋・畑尻剛編『新・スタンダード憲法（第4版補訂版）』（尚学社、2016年） 『ポケット六法（令和5年版）』（有斐閣、2022年）							
参考書	授業を通じて適宜紹介します。							
評価の基準と方法	・15回のレポートの総合点で評価します（10点×15回＝150点を100点満点に換算）。 ・単位取得の前提として、すべての授業回数のうち10回以上の提出が必要です。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○	◎		△				
関連科目	法学を基礎として、法と社会および日本国憲法が構成されています。							
その他								
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	女性の人権		
科目分類	100-120-11	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Human Rights for Women	授業区分	講義
科目責任者	佐藤 美由紀	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	佐藤 美由紀	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	人が社会生活を営む上で最も基本的な人と人との関係を規定する規範としての法学を通して、市民と法との関わり方、という観点から、日本の法のあり方について検討する。日常の社会生活での具体的問題、特に「女性の権利」に関わる問題を素材に、法的なものの考え方（リーガルマインド）を説明し、現代の法がどのようなことを定めているのか、またそれはどのように形成されてきたのか、さらには、どのように評価するべきかを考察する。		
到達目標	①憲法の基本的な考え方を理解する。 ②社会における法律の役割を理解する。 ③自分の考え思考を他者に説明できる。 ④「女性と人権」に関する問題についての法律問題を発見し、その法的解釈を自分の言葉で説明できる。		
アクティブ・ラーニング型授業	無		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 テーマ「民主主義と基本的人権」 授業の目的、内容、学習方法についての説明 （予習）講義の時間を使ってこの授業でのルールを作ります。①授業中の私語の禁止は授業中のルールとしますので、それ以外のルールを授業開始までに一つ考えてみてください。 （復習）多数決による法決定の問題点について各自検討し自分の言葉で意見を述べられるようにする。</p> <p>【第2回】近代憲法における女性に関する人権の位置づけ （予習）授業中に適示指示します。 （復習）立憲主義について授業の内容を自分なりに整理する。</p> <p>【第3回】近代憲法における女性に関する人権の位置づけ （予習）授業中に適示指示します。 （復習）立憲主義における女性の権利の問題点について、ノートにまとめ、自分なりに説明ができるようにする。</p> <p>【第4回】日本国憲法における女性に関する人権保障の形成 （予習）授業中に適示指示します。 （復習）日本国憲法において形成された女性に関する人権保障の規定について、ノートにまとめ、自分なりに説明ができるようにする。</p> <p>【第5回】女性の権利救済と、合理的差別論における女性差別の認容 （予習）教科書15章を熟読する （復習）「合理的区別」と「差別」の違いについて、自分なりに説明ができるようにする。</p> <p>【第6回】政治的平等（憲法44条） （予習）教科書第3章を熟読する （復習）女性の政治参加の問題点について、自分なりの考えを述べられるようにする。</p> <p>【第7回】家族関係における平等：（家庭内暴力） （予習）教科書第13章を熟読する （復習）家庭内暴力の問題を自分なりに整理して、自分の考えを述べられるようにする。</p> <p>【第8回】家族関係における平等（離婚・再婚禁止期間） （予習）教科書第11勝を熟読する （復習）再婚禁止期間についての問題を自分なりに理解し、自分の考えを述べられるようにする。</p> <p>【第9回】家族関係における平等（夫婦別姓制） （予習）教科書第10章を熟読する （復習）夫婦別姓制についての問題を自分なりに理解し、自分の考えを述べられるようにする。</p> <p>【第10回】表現活動と女性の権利 （予習）授業中に適示指示します。 （復習）表現の自由の重要性を自分の言葉で説明できるようにする。</p> <p>【第11回】職場環境における平等 （予習）教科書第6章、第14章を熟読する。 （復習）職場環境に関する問題点を自分なりに整理できるようにする。</p>			

<p>【第12回】職業選択と女性 (予習)教科書第8章 第16章を熟読する (復習)授業中に適示指示します。</p> <p>【第13回】刑事被害者と女性 (予習)教科書第7章を熟読する (復習)授業中に適示指示します。</p> <p>【第14回】刑事事件と女性 (予習)授業中に適示指示します。 (復習)授業中に適示指示します。</p> <p>【第15回】女性の人権と女性の権利：授業全体の体系的整理・レポートの講評 (予習)授業中に適示指示します。 (復習)授業中に適示指示します。</p>								
授業開始前学習	テレビや新聞の社会面、政治面、インターネットニュース等の報道に、少しでも多く接するようにしてください。時々時事ネタのお話をします。							
授業内課題のフィードバックの方法	不定期に、授業内容の理解等の確認のため、ミニテスト、授業内レポートを実施し、翌週以降で解説します。							
テキスト・教材	六法『ポケット六法』有斐閣、『デイリー六法』三省堂、『法学六法』信山社のいずれか 安西文雄/巻美矢紀/穴戸常寿・著『憲法学読本』有斐閣							
参考書	『憲法判例百選Ⅰ』（第7版）有斐閣 『憲法判例百選Ⅱ』（第7版）有斐閣 ■講義の中で適時指定する。 ■学習方法について 横田明美著『カフェパウゼで法学を～対話で見つけるく学び方』弘文堂 ⇒法学部生向けの本ですが、大学での講義の受け方、時間の使い方、メールの作成方法、レポートや卒業論文の作成方法、自習の仕方等が説明されている本ですので、ぜひ一度、通読してみてください。							
評価の基準と方法	単位取得の前提としてすべての授業日数のうち 60%以上の出席が必要です。評価については、授業態度（30%）、授業内レポート（20%）、レポート課題の評価（50%）とします。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○	◎		△				
関連科目								
その他								
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	心理学 I		
科目分類	100-120-11 (J)	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Psychology I	授業区分	講義
科目責任者	田口 香代子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	田口 香代子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	<p>心理学の基礎となる知識や諸理論について概説する。心理学 I では主に認知、学習等の基礎的な領域と、発達及びパーソナリティについて学習する。はじめに人は外界からどのように情報を得ているのか（第 2 回）、情報はどのように整理されるのか（第 3 回）、人の行動の成り立ちについて学ぶ（第 4 回、5 回）。次に乳幼児から高齢期までの心身の成長や変化の特徴（第 6 回、9-10 回）及び発達障害（第 7 回、8 回）について学ぶ。その後、人の個性や特徴の捉え方について学び（第 11-13 回）、授業全体を通して人の心や行動に関する理解を深める。その他、第 14 回では心理療法の 1 つである「認知行動療法」について学ぶ。</p>		
到達目標	<p>心理学の基本的な知識を習得することを目標とする。また、人の心や行動について心理学的観点から理解し、説明することができるようになる。</p>		
アクティブ・ラーニング型授業	無		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第 1 回】 予習： テキスト p.1 の「PSYCHOLOGY」を読んでおく 授業： ガイダンス、心理学とは（第 1 章）※pp.8-20「心理学の歴史」を除く 復習： キーワードをまとめておく</p> <p>【第 2 回】 予習： テキスト pp.169-170 及び pp.187-188 の「PSYCHOLOGY」を読んでおく 授業： 感覚と知覚－人は外界からどのように情報を得ているのか－（第 10 章、第 11 章） 復習： キーワードをまとめておく</p> <p>【第 3 回】 予習： テキスト pp.205-206 の「PSYCHOLOGY」を読んでおく 授業： 記憶のメカニズム－過去の経験を保持する仕組み－（第 12 章） 復習： キーワードをまとめておく</p> <p>【第 4 回】 予習： テキスト p.221 の「PSYCHOLOGY」を読んでおく 授業： 学習と言語－新しい行動の学習と言語の獲得－（第 13 章） 復習： キーワードをまとめておく</p> <p>【第 5 回】 予習： テキスト p.87 の「PSYCHOLOGY」を読んでおく 授業： 動機づけと情動－何が人を動かすのか－（第 5 章） 復習： キーワードをまとめておく</p> <p>【第 6 回】 予習： テキスト p.51 の「PSYCHOLOGY」を読んでおく 授業： 心の発達－乳幼児期の心理－（第 3 章）※pp.67-68「発達障害とその支援」を除く 復習： キーワードをまとめておく</p> <p>【第 7 回】 予習： 注意欠如・多動性障害、限局性学習症について調べておく 授業： 発達障害の理解と支援 1：注意欠如・多動性障害、限局性学習症（第 3 章の pp.67-68） 復習： キーワードをまとめておく</p> <p>【第 8 回】 予習： 自閉スペクトラム症について調べておく 授業： 発達障害の理解と支援 2：自閉スペクトラム症（第 3 章の pp.67-68） 復習： キーワードをまとめておく</p> <p>【第 9 回】 予習： テキスト p.72「人間は一生発達する」、p.80「ケース 2」を読んでおく 授業： 児童期・青年期の心理（第 4 章の pp.71-81） 復習： キーワードをまとめておく</p> <p>【第 10 回】 予習： テキスト p.84「本章のサマリー」を読んでおく 授業： 成人期・高齢期の心理（第 4 章の pp.81-84） 復習： キーワードをまとめておく</p> <p>【第 11 回】 予習： テキスト p.120「本章のサマリー」を読んでおく 授業： パーソナリティの理解と測定 1：質問紙法（第 6 章の pp.106-107、pp.112-113） 復習： キーワードをまとめておく</p>			

<p>【第12回】 予習： テキスト p.105 の「PSYCHOLOGY」を読んでおく 授業： パーソナリティの理解と測定 2： 投映法（第6章の p.111-112「投映法で性格をはかる」） 復習： キーワードをまとめておく</p> <p>【第13回】 予習： テキスト p.119「健康な性格とは何だろうか」を読んでおく 授業： パーソナリティの理論（第6章の pp.106-107、pp.113-120） 復習： キーワードをまとめておく</p> <p>【第14回】 予習： 認知行動療法について調べておく 授業： 認知行動療法（資料配付） 復習： キーワードをまとめておく</p> <p>【第15回】 予習： これまで学んだ内容を復習しておく 授業： キーワードの確認・整理 復習： キーワードをまとめておく</p>

授業開始前学習								
授業内課題のフィードバックの方法	授業の最後にリアクションペーパーの提出を求め、次の授業で全体に向けてフィードバックする。							
テキスト・教材	<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト：長谷川寿一・東條正城・大島尚・丹野義彦・廣中直行 著『はじめて出会う心理学 第3版』2020年発行（有斐閣） ・テキストの他に適宜資料を配布します 							
参考書								
評価の基準と方法	レポート70%、平常点（授業態度）30%を基準とし、総合的に評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△				
関連科目								
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・人の心や行動に関心を持ち、積極的な姿勢で受講することを期待します。 ・必要に応じて授業計画の一部を変更して講義を行うことがあります。 ・心理学ⅠとⅡを履修することによって心理学を全体的に学ぶ構成となっているため、通年で履修することが望ましい。 							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容	心理臨床に関わる講義内容については、教育機関、医療機関における心理臨床経験を活かし、講義を行う。							

科目名称	心理学 I		
科目分類	100-120-11	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Psychology I	授業区分	講義
科目責任者	朴 建映	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	朴 建映	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	心理学は、さまざまな科学的方法を駆使して、心についての研究を行う学問である。この授業では、心理学の主要な研究を紹介し、心理学の基礎的な知識と考え方を身に付ける。心理学 I では、環境に適応していくうえで心がどのように役立っているのかを考える。この授業で扱うテーマは発達を中心に、授業の後半では情動、性格、知能等に触れ、個人差や心の適応について考える。		
到達目標	心理学 I では、主に人間の発達について学び、赤ちゃんがさまざまな経験を通して心身ともに発達し大人になっていく過程を理解し、自分の言葉で説明できるようになることを目標とする。受講者は子どもの発達において大切なことは何であるか、自分の意見を述べるができるようになることが求められる。また、心の働きを知ることを通して、自分自身のストレスやメンタルヘルスについて考える。		
アクティブ・ラーニング型授業	無		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第 1 回】 予習：テキスト 1～29 ページを読む 授業：心理学とはどのような学問か 復習：授業で配布したプリントをもとにテキストを読み直し、これまでの心理学の流れを整理する</p> <p>【第 2 回】 予習：テキスト 33～50 ページを読む 授業：ヒトの心のユニークさはどこにあるか 復習：授業で配布したプリントをもとにテキストを読み直す。身近な動物の行動を観察し、ヒトとの違いを考える</p> <p>【第 3 回】 予習：テキスト 51～56 ページを読む 授業：人間の赤ちゃんの特徴(新生児期を中心に) テキスト 51～56 ページ 復習：授業で配布したプリントをもとにテキストを読み直し、人間の赤ちゃんの特徴について考える</p> <p>【第 4 回】 予習：テキスト 51～56 ページを読む 授業：乳幼児期の特徴(知覚・認知) テキスト 51～56 ページ 復習：授業で配布したプリントを見直して乳幼児期の発達について確認し、身近な子どもを観察する</p> <p>【第 5 回】 予習：テキスト 57～60 ページを読む 授業：愛着の発達とは テキスト 57～60 ページ 復習：授業で配布したプリントをもとにテキストを読み直し、愛着の重要性について確認する</p> <p>【第 6 回】 予習：テキスト 60～66 ページを読む 授業：言葉と認知の発達 テキスト 60～66 ページ 復習：授業で配布したプリントをもとにテキストを読み直し、言葉の発達について確認する</p> <p>【第 7 回】 予習：テキスト 67～70 ページを読む 授業：発達障害とは テキスト 67～70 ページ 復習：授業で配布したプリントをもとにテキストを読み直し、発達障害にはどのような種類があるのかを整理する</p> <p>【第 8 回】 予習：テキスト 71～85 ページを読む 授業：ライフサイクル(青年期を中心に) テキスト 71～85 ページ 復習：授業で配布したプリントをもとにテキストを読み直し、青年期について理解する</p> <p>【第 9 回】 予習：テキスト 87～96 ページを読む 授業：動機づけ テキスト 87～96 ページ 復習：授業で配布したプリントをもとにテキストを読み直し、動機づけについてまとめる</p> <p>【第 10 回】 予習：テキスト 97～104 ページを読む 授業：情動 テキスト 97～104 ページ 復習：授業で配布したプリントをもとにテキストを読み直し、情動について考える</p> <p>【第 11 回】 予習：テキスト 105～121 ページを読む 授業：性格とは テキスト 105～121 ページ 復習：授業で配布したプリントをもとにテキストを読み直し、それぞれの性格の違いについて考える</p>			

<p>【第12回】 予習：テキスト123～136ページを読む 授業：知能 テキスト123～136ページ 復習：授業で配布したプリントをもとにテキストを読み直し、知能についての疑問点を整理する</p> <p>【第13回】 予習：テキスト137～150ページを読む 授業：ストレスとメンタルヘルス テキスト137～150ページ 復習：授業で配布したプリントをもとにテキストを読み直し、日常生活におけるストレスについて考える</p> <p>【第14回】 予習：テキスト151～165ページを読む 授業：カウンセリングと心理療法 テキスト151～165ページ 復習：授業で配布したプリントをもとにテキストを読み直し、さまざまな心理療法について調べてみる</p> <p>【第15回】 予習：1回～14回の授業で扱った内容について、教科書とプリントで復習する 授業：前期の授業を通してどんなことを学んできたのかふりかえる 復習：理解が十分でない部分について確認し、興味がある内容についてはさらに調べてみる</p>								
授業開始前学習	特になし							
授業内課題の フィードバックの方法	毎回課題の提出を求め、次の授業の最初に主な回答や興味深い意見の紹介等を行う。							
テキスト・教材	長谷川寿一・東條正城・大島尚・丹野義彦・廣中直行著『はじめて出会う心理学 第3版』有斐閣アルマ この他に適宜資料を配布する							
参考書	授業内で適宜紹介する							
評価の基準と方法	授業態度(2点満点×15回=30点)と学期末の課題(70点)により評価する							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△				
関連科目								
その他								
予習・復習の 所要時間	講義時間 30時間(2時間×15週) + 予習・復習時間 60時間(4時間×15週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	心理学Ⅱ		
科目分類	100-120-11 (J)	単位数	履修ガイド参照
英文名称	PsychologyⅡ	授業区分	講義
科目責任者	田口 香代子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	田口 香代子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	<p>心理学の基礎となる知識や諸理論について概説する。心理学Ⅱでは主に臨床及び社会心理学の領域について学習する。心 の問題と心理学的援助の方法について理解を深めた後（第2回-9回）、他者の理解や他者からの影響、心と社会の関係 について学び（第10回、13回、14回）、授業全体を通して人の心や行動に関する理解を深める。 その他、ストレスへの対処法（第3回）や円滑な人間関係を築くコミュニケーション（第11回、12回）等、日常生活で実 際に役立つ応用的なテーマを取り上げる。</p>		
到達目標	<p>心理学の基本的な知識を習得することを目標とする。また、人の心や行動について心理学的観点から理解し、説明することが できるようになる。</p>		
アクティブ・ラーニン グ型授業	無		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習： テキスト pp.27-28「本章のサマリー」を読んでおく 授業： ガイダンス、心理学とは（第1章）※pp.8-20「心理学の歴史」を中心に講義 復習： キーワードをまとめておく</p> <p>【第2回】 予習： テキスト pp.137-138 の「PSYCHOLOGY」を読んでおく 授業： ストレスとメンタルヘルス（第8章）※pp.143-149を除く 復習： キーワードをまとめておく</p> <p>【第3回】 予習： 自分のストレスについて整理しておく 授業： ストレスマネジメントーストレスへの対処ー（資料配布） 復習： キーワードをまとめておく、ワークを実践する</p> <p>【第4回】 予習： 精神疾患について調べておく 授業： 精神疾患（資料配布） 復習： キーワードをまとめておく</p> <p>【第5回】 予習： テキスト p.164「本章のサマリー」を読んでおく 授業： 心理療法1：精神分析療法（第8章のpp.143-147、第9章のpp.152-155） 復習： キーワードをまとめておく</p> <p>【第6回】 予習： テキスト pp.151-152「あなたはカウンセラー」を読んでおく 授業： 心理療法2：クライエント中心療法（第9章のpp.159-162） 復習： キーワードをまとめておく</p> <p>【第7回】 予習： テキスト p.164「本章のサマリー」を読んでおく 授業： 心理療法3：行動療法、認知療法（第8章のpp.147-149、第9章のpp.155-159） 復習： キーワードをまとめておく</p> <p>【第8回】 予習： 箱庭療法について調べておく 授業： 心理療法4：箱庭療法（資料配布） 復習： キーワードをまとめておく</p> <p>【第9回】 予習： 治療的家庭教師について調べておく 授業： 治療的関係とは（資料配布） 復習： キーワードをまとめておく</p> <p>【第10回】 予習： テキスト p.317（「本章のサマリー」）の2行目以降を読んでおく 授業： 対人認知ー他者の理解と他者への好意-（第17章のpp.309-316） 復習： キーワードをまとめておく</p> <p>【第11回】 予習： コミュニケーションの種類について調べておく 授業： コミュニケーション（資料配布） 復習： キーワードをまとめておく</p>			

<p>【第12回】 予習：自身の自己表現の特徴や傾向について整理しておく 授業：アサーション・トレーニングー円滑な人間関係を築くコミュニケーションー（資料配布） 復習：キーワードをまとめておく</p> <p>【第13回】 予習：テキスト p.303 の「PSYCHOLOGY」を読んでおく 授業：他者の存在と心ー人の行動は他者からどのような影響を受けるのかー（第17章の pp.303-309, pp.312-313） 復習：キーワードをまとめておく</p> <p>【第14回】 予習：テキスト pp.319-320 の「PSYCHOLOGY」を読んでおく 授業：心と社会（第18章） 復習：キーワードをまとめておく</p> <p>【第15回】 予習：これまで学んだ内容を確認しておく 授業：キーワードの確認 復習：キーワードをまとめておく</p>								
授業開始前学習								
授業内課題のフィードバックの方法	授業の最後にリアクションペーパーの提出を求め、次の授業で全体に向けてフィードバックする。							
テキスト・教材	<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト：長谷川寿一・東條正城・大島尚・丹野義彦・廣中直行 著『はじめて出会う心理学 第3版』2020年発行（有斐閣） ・テキストの他に適宜資料を配付します 							
参考書								
評価の基準と方法	レポート70%、平常点（授業態度）30%を基準とし、総合的に評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△				
関連科目								
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・人の心や行動に関心を持ち、積極的な姿勢で受講することを期待します。 ・必要に応じて授業計画の一部を変更して講義を行うことがあります。 ・心理学 I と II を履修することによって心理学を全体的に学ぶ構成となっているため、通年で履修することが望ましい。 							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容	心理臨床に関わる講義内容については、教育機関、医療機関における心理臨床経験を活かし、講義を行う。							

科目名称	心理学Ⅱ		
科目分類	100-120-11	単位数	履修ガイド参照
英文名称	PsychologyⅡ	授業区分	講義
科目責任者	朴 建映	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	朴 建映	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	心理学は、さまざまな科学的方法を駆使して、心についての研究を行う学問である。この授業では、心理学の主要な研究を紹介し、心理学の基礎的な知識と考え方を身に付ける。心理学Ⅱでは、知覚や記憶、学習といった基本的な心のメカニズムについて説明する。また、他者および集団との相互作用においてどのような心の活動が生じているのかも説明する。		
到達目標	心理学Ⅱの前半では、知覚、記憶、学習といった私たちの行動を支える基本的なシステムがどのようなしくみで成り立っているのか理解し、自分の言葉で説明できるようになることを目標とする。また授業の後半では、推論や問題解決といった能動的な認知活動、社会的な相互作用についても理解を深め、具体例を挙げて説明できるようになる。		
アクティブ・ラーニング型授業	無		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：169～185ページを読む 授業：「感覚」テキスト169～185ページ 復習：授業で配布したプリントをもとにテキストを読み直し、様々な感覚の働きについて整理する</p> <p>【第2回】 予習：テキスト187～198ページを読む 授業：「知覚」1 形の知覚 テキスト187～198ページ 復習：授業で配布したプリントをもとにテキストを読み直し、形の知覚や錯視について確認する</p> <p>【第3回】 予習：テキスト198～204ページを読む 授業：「知覚」2 動きの知覚、恒常性 テキスト198～204ページ 復習：授業で配布したプリントをもとにテキストを読み直し、知覚の恒常性について理解する</p> <p>【第4回】 予習：テキスト205～210ページを読む 授業：「記憶」1 記憶の過程 テキスト205～210ページ 復習：授業で配布したプリントをもとにテキストを読み直し、記憶の過程の基本的な考え方を復習する</p> <p>【第5回】 予習：テキスト210～216ページを読む 授業：「記憶」2 短期記憶と長期記憶 テキスト210～216ページ 復習：授業で配布したプリントをもとにテキストを読み直し、短期記憶と長期記憶の違いについて整理する</p> <p>【第6回】 予習：テキスト216～220ページを読む 授業：「記憶」3 知識とスキーマ テキスト216～220ページ 復習：授業で配布したプリントをもとにテキストを読み直し、日常生活で用いられているスキーマについて整理する</p> <p>【第7回】 予習：テキスト221～228ページを読む 授業：「学習」1 古典的条件づけ テキスト221～228ページ 復習：授業で配布したプリントをもとにテキストを読み直し、古典的条件づけについて整理する</p> <p>【第8回】 予習：テキスト228～242ページを読む 授業：「学習」2 オペラント条件づけ・観察学習 テキスト228～242ページ 復習：授業で配布したプリントをもとにテキストを読み直し、オペラント条件づけについて整理する</p> <p>【第9回】 予習：テキスト243～250ページを読む 授業：「思考」1 推論 テキスト243～250ページ 復習：授業で配布したプリントをもとにテキストを読み直し、日常生活で行われている推論について考える</p> <p>【第10回】 予習：テキスト251～261ページを読む 授業：「思考」2 問題解決 テキスト251～261ページ 復習：授業で配布したプリントをもとにテキストを読み直し、人間の問題解決能力について考える</p> <p>【第11回】 予習：テキスト263～283ページを読む 授業：「脳と心」テキスト263～283ページ 復習：授業で配布したプリントをもとにテキストを読み直し、脳の構造と心的機能の関連について整理する</p> <p>【第12回】 予習：テキスト285～301ページを読む 授業：「脳損傷と心の働き」テキスト285～301ページ</p>			

<p>復習：授業で配布したプリントをもとにテキストを読み直し、脳損傷によって生じる認知機能の障害について整理する 【第13回】 予習：テキスト303～309ページを読む 授業：「社会の中の人」1 他者による影響(同調・服従) テキスト303～309ページ 復習：授業で配布したプリントをもとにテキストを読み直し、他者との関わりで生じる行動の変化について確認する 【第14回】 予習：テキスト309～337ページを読む 授業：「社会の中の人」3 他者の認知、ステレオタイプ 「心と社会」他者との協調と信頼 テキスト309～337ページ 復習：授業で配布したプリントをもとにテキストを読み直し、差別や偏見をなくすにはどうすればよいか考える 【第15回】 予習：1回～14回の授業で扱った内容について、教科書とプリントで復習する 授業：後期の授業を通してどんなことを学んできたのかふりかえる 復習：理解が十分でない部分について確認し、興味がある内容についてはさらに調べてみる</p>								
授業開始前学習	特になし							
授業内課題の フィードバックの方法	毎回課題の提出を求め、次の授業の最初に主な回答や興味深い意見の紹介等を行う。							
テキスト・教材	長谷川寿一・東條正城・大島尚・丹野義彦・廣中直行著『はじめて出会う心理学 第3版』有斐閣アルマ この他に適宜資料を配布する							
参考書	授業内で適宜紹介する							
評価の基準と方法	授業態度(2点満点×15回=30点)と学期末の課題(70点)により評価する							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△				
関連科目								
その他								
予習・復習の 所要時間	講義時間 30時間(2時間×15週) + 予習・復習時間 60時間(4時間×15週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	生涯学習論 I		
科目分類	100-121-11	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Life-Long Education Studies I	授業区分	講義
科目責任者	山本 双葉	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	山本 双葉	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	前期 水曜日 11:00～14:00 後期 木曜日 11:00～14:00	研究室	16-316
授業概要	<p>本授業は、生涯学習の意義・目的や定義を学び、生涯学習社会の実現について討論することから始める。また、生涯学習の基礎理論や歴史的背景を学び、生涯学習の多様な在り方についての理解を深める。そして、国際社会が目指す人間像や生涯「学修」の特性を踏まえ、自身の長期的な学修課題について考察を深めていく。そのため、講義毎に「学びのドキュメンテーション」を作成することを求める。自身の学修プロセスの記録や振り返りを通じ、学修課題の明確化に役立ててほしい。</p>		
到達目標	<p>本授業では、生涯学習の基礎理論や歴史的背景を学びながら、自発的意志に基づく「学修」の特性を体得することを目指す。具体的な到達目標として、以下の4点を挙げる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生涯学習の歴史的背景や基礎理論に関する知識を修得することができる 2. 現代的課題に応じた生涯学習の内容を理解することができる 3. 生涯学習における多様な学習方法を理解することができる 4. 生涯学習の意義や目的を踏まえ、自発的意思に基づく「学修」の特性を体得することができる 		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：「生涯学習」の意味を調べ、ノートにまとめる 授業：生涯学習の意義・目的と定義を学ぶ 復習：生涯学習を学ぶ意味を振り返る</p> <p>【第2回】 予習：「生涯学習社会」の意味を調べ、ノートにまとめる 授業：生涯学習社会の実現について考察する 復習：生涯学習社会の果たす役割について整理する</p> <p>【第3回】 予習：学校や家庭、地域社会で受けてきた教育による自分の育ちを振り返り、身に付けた力をノートに書き出す 授業：学校教育・家庭教育・社会教育の関連性を学ぶ 復習：生涯学習が行われる場所の違いによる学修内容の違いを整理する</p> <p>【第4回】 予習：社会人や高齢者が取り組んでいる生涯学習活動について調べ、ノートにまとめる 授業：生涯学習の基礎理論①を学ぶ（教育学、成人教育学、教育老年学） 復習：「ペダゴジー」「アンドラゴジー」「ジェロゴジー」の意味の違いを整理する</p> <p>【第5回】 予習：「リカレント教育」について調べ、ノートにまとめる 授業：生涯学習の基礎理論②を学ぶ（統合・循環・解放の理論） 復習：「統合」「解放」「循環」による生涯学習の基礎理論を整理する</p> <p>【第6回】 予習：「ライフサイクル理論」について調べ、ノートにまとめる 授業：生涯にわたる人間形成の理論を学ぶ（ライフサイクル理論、発達課題など） 復習：孔子やコメニウスの発達観、エリクソンやハヴィグアートの発達理論を整理する</p> <p>【第7回】 予習：「寺子屋」や「私塾」について調べ、ノートにまとめる 授業：日本における生涯学習の誕生と展開を学ぶ 復習：日本における生涯学習の展開について時代別に整理する</p> <p>【第8回】 予習：イギリスの「コーヒーハウス」について調べ、ノートにまとめる 授業：欧米における生涯学習の誕生と展開を学ぶ 復習：ドイツ・フランス・イギリス・アメリカ・ブラジルにおける生涯学習の展開を整理する</p> <p>【第9回】 予習：Well-Being について調べ、ノートにまとめる 授業：現代の生涯学習の内容を学ぶ①（生きがい、身体・精神的健康、まちづくり） 復習：「生きがい」「身体・精神的健康」「まちづくり」の生涯学習について整理する</p> <p>【第10回】 予習：少子高齢化社会の課題について調べ、ノートにまとめる 授業：現代の生涯学習の内容を学ぶ②（少子高齢化、消費・環境問題、男女共同参画、国際化） 復習：「少子高齢化」「消費・環境問題」「男女共同参画」「国際化」の生涯学習について整理する</p>			

<p>【第11回】 予習：これまで受けてきた授業について振り返り、理解しやすかった授業の特徴をノートに書き出す 授業：生涯学習の多様な学習方法を学ぶ①（学習方法の種類、講義型・討論型） 復習：講義型・討論型による学習の長所と短所を整理する</p> <p>【第12回】 予習：これまで参加してきた体験活動をノートに書き出す【グループワーク】 授業：生涯学習の多様な学習方法を学ぶ②（体験型・実験型・ブレインストーミング） 復習：体験型・実験型・ブレインストーミングによる学習の長所と短所を整理する</p> <p>【第13回】 予習：「キー・コンピテンシー」の意味を調べ、ノートにまとめる 授業：生涯学習社会が目指す人間像を学ぶ①（国際的な能力基準「キー・コンピテンシー」） 復習：現在の自己の能力と「キー・コンピテンシー」を比較する</p> <p>【第14回】 予習：「社会人基礎力」の意味を調べ、ノートにまとめる 授業：生涯学習社会が目指す人間像を学ぶ②（職業能力の育成「社会人基礎力」） 復習：現在の自己の能力と「社会人基礎力」を比較する</p> <p>【第15回】 予習：これまでの授業で取り上げた内容を振り返り、疑問点をノートにまとめておく 授業：自発的意思に基づく「学修」の特性を振り返る（自身の学修課題の明確化）及び最終試験 復習：自身の興味・関心が高い事柄について生涯学習を進める</p>								
授業開始前学習	生涯学習に関する書籍を講読する							
授業内課題の フィードバックの方法	講義毎に小レポートを実施する（翌週の講義内にて、適宜、講評する）。							
テキスト・教材	香川正弘・鈴木真理・佐々木英和編『よくわかる生涯学習』（ミネルヴァ書房）							
参考書	関口礼子・小池源吾・西岡正子・鈴木志元・堀薫夫著『新しい時代の生涯学習』（有斐閣アルマ）							
評価の基準と方法	講義毎の小レポート（60%）、最終試験（40%）							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎				○	○		
関連科目	学芸員養成課程と教職課程に位置づく本科目は、他の博物館に関する科目や教職科目と関連している。特に、生涯学習の意義・目的、生涯学習社会の理念を踏まえた学びが展開される科目との有機的関連性は高い。							
その他	図書館や博物館など、生涯学習の拠点となる身近な施設を訪れること 日常生活の中から湧き出た疑問を解決するクセをつけること							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	生涯学習論Ⅱ		
科目分類	100-121-11	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Life-Long Education StudiesⅡ	授業区分	講義
科目責任者	山本 双葉	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	山本 双葉	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	前期 水曜日 11:00～14:00 後期 木曜日 11:00～14:00	研究室	16-316
授業概要	<p>本授業では、生涯学習に関する法制度や行政による振興政策、生涯学習を支える施設や職員の役割を学びながら、自身の学修課題を設定し、生涯学習を進める事業計画案（生涯学習プログラム）を開発・宣伝する活動を行う（自身の学修課題に基づく課題解決型学習とプレゼンテーションを行う）。</p> <p>特に、生涯学習における「青少年教育」を題材とした講義では、生涯学習支援者としての役割の理解を深めるため、体験活動の意義や青少年教育施設の役割を学ぶだけでなく、学習成果の評価や振り返る方法についても学ぶ。</p>		
到達目標	<p>本授業では、生涯学習に関する法制度や行政の振興政策を学びながら、生涯学習支援者としての役割を自覚することを目指す。具体的な到達目標として、以下の4点を挙げる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生涯学習を支える制度（法律や行政の取り組み）に関する知識を修得することができる 2. 生涯学習を支える施設や職員の役割に関する知識を修得することができる 3. 生涯学習における青少年教育の重要性を理解することができる 4. 生涯学習プログラムの開発を通して、生涯学習支援者としての役割を自覚することができる 		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：生涯学習論Ⅰを振り返り、疑問点をノートにまとめる 授業：生涯学習における「学修」の特性を振り返る 復習：生涯学習の意義や目的、内容、方法等を整理する</p> <p>【第2回】 予習：日本国憲法と教育基本法から、生涯学習に関連する条文をノートに書き出す 授業：生涯学習の法制度を学ぶ①（日本国憲法・教育基本法・社会教育法・生涯学習振興法） 復習：日本国憲法、教育基本法、社会教育法、生涯学習振興法の内容を整理する</p> <p>【第3回】 予習：博物館法から、博物館運営に関する条文をノートに書き出す 授業：生涯学習の法制度を学ぶ②（図書館法・博物館法・少年自然の家法） 復習：図書館法、博物館法、少年自然の家法の内容を整理する</p> <p>【第4回】 予習：生涯学習の振興を担う管轄省庁を調べ、それらの役割をノートにまとめる 授業：生涯学習の振興を担う行政の仕組みと役割を学ぶ（文部科学省と教育委員会） 復習：生涯学習における文部科学省や教育委員会の役割を整理する</p> <p>【第5回】 予習：「SDGs」「早寝・早起き朝ごはん国民運動」「健康日本21」について調べ、ノートにまとめる 授業：国や自治体による生涯学習を学ぶ（SDGs、早寝・早起き・朝ごはん国民運動、健康日本21） 復習：厚生労働省、内閣府、経済産業省などの取り組みを整理する</p> <p>【第6回】 予習：身近な公民館で開催されている生涯学習について調べ、ノートに書き出す 授業：公民館（生涯学習センター）と公民館主事の役割を学ぶ 復習：公民館（生涯学習センター）と公民館主事の役割を整理する</p> <p>【第7回】 予習：身近な図書館を訪れ、自身の興味・関心の高い事柄について調べ、ノートにまとめる 授業：図書館と図書館司書の役割を学ぶ 復習：図書館と図書館司書の役割を整理する</p> <p>【第8回】 予習：身近な博物館を訪れ、代表的な展示物について調べ、ノートにまとめる 授業：博物館と博物館学芸員の役割を学ぶ 復習：博物館と博物館学芸員の役割を整理する</p> <p>【第9回】 予習：林間学校など、これまでに経験した自然体験活動や生活体験活動を振り返り、その目的をノートにまとめる 授業：生涯学習における青少年教育を学ぶ①（体験活動の意義） 復習：青少年の体験活動の意義を振り返る</p> <p>【第10回】 予習：少年自然の家の役割を調べ、ノートにまとめる 授業：生涯学習における青少年教育を学ぶ②（青少年教育施設の役割） 復習：少年自然の家の役割を振り返る</p>			

<p>【第 11 回】 予習 : 青少年の体験活動による育ちをノートに書き出す 授業 : 生涯学習における青少年教育を学ぶ③ (体験活動の教育的効果の評価と振り返り) 復習 : 青少年の体験活動の効果について整理する</p> <p>【第 12 回】 予習 : 自分の興味・関心が高い事項について、その内容やおもしろさをノートにまとめておく 授業 : 生涯学習プログラムを開発する④ (プログラムの構成要素) (課題探求型学習) 復習 : 生涯学習プログラムの構成要素を振り返る</p> <p>【第 13 回】 予習 : 自分の興味・関心が高い事項から得られる学びの段階をノートにまとめておく 授業 : 生涯学習プログラムを開発する② (自己の学修課題に基づき、プログラムを開発する) (課題探求型学習) 復習 : 生涯学習プログラムの開発手順を振り返る</p> <p>【第 14 回】 予習 : 開発した生涯学習プログラムの宣伝ポイントを考える 授業 : 生涯学習プログラムを宣伝する (事業計画案として、開発したプログラムを発表する) (発表) 復習 : 発表した生涯学習プログラムを振り返る</p> <p>【第 15 回】 予習 : これまでの授業で取り上げた内容を振り返り、疑問点をノートにまとめておく 授業 : 生涯学習支援者の役割を考える (自身の学修課題と学習計画の再設定) 復習 : 生涯学習に関する「制度」「施設や職員の役割」「生涯学習プログラム開発」を振り返る</p>								
授業開始前学習	前期に「生涯学習論 I」を履修した者は、「生涯学習論 I」の学習内容を振り返る 自身の興味・関心の高い事柄について調べる							
授業内課題の フィードバックの方法	・生涯学習プログラム (事業計画) 作成を課す (講義内にて、適宜、講評する)。 ・講義毎に小レポートを実施する (翌週の講義内にて、適宜、講評する)。							
テキスト・教材	香川正弘・鈴木眞理・佐々木英和編『よくわかる生涯学習』(ミネルヴァ書房)							
参考書	関口礼子・小池源吾・西岡正子・鈴木志元・堀薫夫著『新しい時代の生涯学習』(有斐閣アルマ)							
評価の基準と方法	講義毎の小レポート (48%) , 生涯学習プログラム (22%) , 小テスト (30%)							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎				○	○		
関連科目	本科目は、博物館に関する科目や教職科目と関連している。特に、生涯学習を支える制度や生涯学習プログラム作成による学びは、「教育制度」や「生徒指導 (進路指導)」等の科目との有機的関連性が高い。							
その他	図書館や博物館など、生涯学習の拠点となる身近な施設を訪れること。 日常生活の中から湧き出た疑問を解決するクセをつけること。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 60 時間 (4 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	社会福祉概論 I		
科目分類	100-120-11 (J)	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Introduction to Social Welfare I	授業区分	講義
科目責任者	森島 由紀子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	森島 由紀子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	社会福祉概論 I では、社会福祉論という領域の基本を学習します。授業では、まず、社会福祉論の基本的視点を紹介し、次に、社会福祉の歴史として、イギリスやアメリカを中心に学び、日本については、古代から現在に至るまでの流れを押さえます。そして、女性福祉、児童福祉、障害者福祉、高齢者福祉といった個別の福祉分野について、制度的な歴史や現代的問題について取り上げます。		
到達目標	社会福祉論の基本的理解を学習課題とし、社会福祉の諸現象に対して、その社会的要因や背景を探り、その改善や解決につながる働きかけを考察できることを目標とします。欧米や日本の社会福祉の大きな流れや個別分野の制度的な歴史をしっかりと押さえたうえで、現代の課題について理解し、改善・解決の道を考察する力を養います。		
アクティブ・ラーニング型授業	無		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第 1 回】 予習：シラバスの授業のテーマ・目標、授業内容の確認 授業：オリエンテーション 復習：授業のテーマ・目標、授業内容、授業の進め方の確認</p> <p>【第 2 回】 予習：資料 1 の講読 授業：社会福祉とは何か：社会福祉論の基本的視点 復習：社会福祉論の基本的視点のまとめ</p> <p>【第 3 回】 予習：資料 2 の講読 授業：社会福祉の歴史-欧米：イギリスの社会福祉の歴史 復習：イギリスの社会福祉のキーワードの確認</p> <p>【第 4 回】 予習：資料 2 と参考資料の講読 授業：社会福祉の歴史-欧米：アメリカ、その他の社会福祉の歴史 復習：欧米の社会福祉の歴史のまとめ</p> <p>【第 5 回】 予習：資料 3 の講読 授業：社会福祉の歴史-日本：古代から昭和初期 復習：昭和初期までの社会福祉のキーワードの確認</p> <p>【第 6 回】 予習：資料 3 と参考資料の講読 授業：社会福祉の歴史-日本：戦後から現在 復習：日本の社会福祉の歴史のまとめ</p> <p>【第 7 回】 予習：資料 4 の講読 授業：女性福祉 1：女性福祉の基本的視覚 復習：女性福祉のキーワードの確認</p> <p>【第 8 回】 予習：女性福祉の参考資料の講読、視聴 授業：女性福祉 2：女性福祉の現代的問題 復習：女性福祉の課題について自分の考えをまとめる</p> <p>【第 9 回】 予習：資料 5 の講読 授業：児童福祉 1：児童福祉の歴史 復習：児童福祉のキーワードの確認</p> <p>【第 10 回】 予習：児童福祉の参考資料の講読、視聴 授業：児童福祉 2：児童福祉の現代的問題 復習：児童福祉の課題について自分の考えをまとめる</p> <p>【第 11 回】 予習：資料 6 の講読 授業：障害者福祉 1：障害者福祉の歴史 復習：障害者福祉のキーワードの確認</p>			

<p>【第12回】 予習：障害者福祉の参考資料の講読、視聴 授業：障害者福祉2：障害者福祉の現代的問題 復習：障害者福祉の課題について自分の考えをまとめる</p> <p>【第13回】 予習：資料7の講読 授業：高齢者福祉1：高齢者福祉の歴史 復習：高齢者福祉のキーワードの確認</p> <p>【第14回】 予習：高齢者福祉の参考資料の講読、視聴 授業：高齢者福祉2：高齢者福祉の現代的問題 復習：高齢者福祉の課題について自分の考えをまとめる</p> <p>【第15回】 予習：今までの資料の講読、視聴 授業：これからの社会福祉 復習：これからの社会福祉の課題について自分の考えをまとめる</p>								
授業開始前学習	社会福祉の入門または概論について、本を読んでおくと授業が理解しやすい。							
授業内課題の フィードバックの方法	授業後半の個別福祉分野ではリアクションペーパーを課すが、翌週に何人かの意見・感想を紹介しながら講評を行い、個別の質問には回答します。							
テキスト・教材	特に指定しません。授業時に資料を配付します。							
参考書								
評価の基準と方法	定期試験（90%）、授業態度・リアクションペーパー（10%）							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	△		△	○	○		
関連科目								
その他	講義資料は前週までに配付しますので、予習に活用してください。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容	介護サービス相談員の実務経験を活かして、高齢者福祉の現状や課題について講義で触れます。また、社会福祉士の国家資格を有しているため、資格取得を目指す学生の相談にのります。							

科目名称	社会福祉概論Ⅱ		
科目分類	100-120-11 (J)	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Introduction to Social Welfare Ⅱ	授業区分	講義
科目責任者	森島 由紀子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	森島 由紀子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	社会福祉概論Ⅱでは、社会福祉の理念や倫理を学び、ソーシャルワークの実際として、社会福祉の実施体制や社会福祉援助技術について理解します。授業後半では、各自がソーシャルワーカーの立場に立って、個別援助技術（ケースワーク）および集団援助技術（グループワーク）の具体的な事例に取り組み、発表とディスカッションを行います。		
到達目標	社会福祉概論Ⅱでは、社会福祉援助技術に関する知識や技術を習得し、社会福祉援助活動に活用できる能力と態度を育てることを目標とします。各自がケースワークの事例とグループワークの事例に取り組み、発表とディスカッションを行うことで、社会福祉援助技術を実践的にとらえ、主体的に考えられるようにします。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：シラバスの授業のテーマ・目標、授業内容の確認 授業：オリエンテーション 復習：授業のテーマ・目標、授業内容の確認</p> <p>【第2回】 予習：資料1の講読 授業：社会福祉の理念：社会福祉の歴史と理念 復習：社会福祉の歴史や理念のキーワードの確認</p> <p>【第3回】 予習：資料2の講読 授業：社会福祉の実施体制 復習：社会福祉の実施体制の整理とまとめ</p> <p>【第4回】 予習：資料3の講読 授業：社会福祉援助の方法 復習：社会福祉援助方法のキーワードの確認</p> <p>【第5回】 予習：資料4の講読 授業：社会福祉援助の倫理 復習：社会福祉援助の倫理のキーワードの確認</p> <p>【第6回】 予習：資料5の講読 授業：個別援助技術（ケースワーク）とは－原則と過程 復習：原則・過程のキーワードの確認、ケースワークの方法についてまとめる</p> <p>【第7回】 予習：資料6の事例講読と質問への回答 授業：ケースワークの実際1－受面接（発表とディスカッション） 復習：受面接のキーワードの確認、他の学生の意見と比較しながら自分の考えをまとめる</p> <p>【第8回】 予習：資料6の事例講読と質問への回答 授業：ケースワークの実際2－事前評価（発表とディスカッション） 復習：事前評価のキーワードの確認、他の学生の意見と比較しながら自分の考えをまとめる</p> <p>【第9回】 予習：資料6の事例講読と質問への回答 授業：ケースワークの実際3－援助計画（発表とディスカッション） 復習：援助計画のキーワードの確認、他の学生の意見と比較しながら自分の考えをまとめる</p> <p>【第10回】 予習：資料6の事例講読と質問への回答 授業：ケースワークの実際4－介入・実践評価、終結（発表とディスカッション） 復習：介入・実践評価・終結のキーワードの確認、他の学生の意見と比較しながら自分の考えをまとめる</p> <p>【第11回】 予習：資料7の講読 授業：集団援助技術（グループワーク）とは－原則と過程 復習：原則・過程のキーワードの確認、グループワークの方法についてまとめる</p> <p>【第12回】 予習：資料8の事例講読と質問への回答 授業：グループワークの実際1－準備期（発表とディスカッション） 復習：準備期のキーワードの確認、他の学生の意見と比較しながら自分の考えをまとめる</p>			

<p>【第13回】 予習：資料8の事例講読と質問への回答 授業：グループワークの実際2ー開始期（発表とディスカッション） 復習：開始期のキーワードの確認、他の学生の意見と比較しながら自分の考えをまとめる</p> <p>【第14回】 予習：資料8の事例講読と質問への回答 授業：グループワークの実際3ー作業期（発表とディスカッション） 復習：作業期のキーワードの確認、他の学生の意見と比較しながら自分の考えをまとめる</p> <p>【第15回】 予習：資料8の事例講読と質問への回答 授業：グループワークの実際4ー終結期（発表とディスカッション） 復習：終結期のキーワードの確認、他の学生の意見と比較しながら自分の考えをまとめる</p>								
授業開始前学習	社会福祉の入門または概論について、本を読んでおくことと授業が理解しやすい。社会福祉概論Ⅰの履修者は配付資料を復習してください。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業後半では各自が具体的な事例に取り組み、回答を板書してもらいますが、回答内容についてコメントします。							
テキスト・教材	特に指定しません。授業時に資料を配付します。							
参考書								
評価の基準と方法	レポート（80%）、事例発表・ディスカッション（20%）							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	△		△	○	○		
関連科目								
その他	講義資料は事前に配付しますので、予習で講読（質問には回答）してください。受講者数によって事例の発表とディスカッションの方法を検討します。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容	介護サービス相談員の実務経験を活かして、社会福祉の理念、実施体制、援助におけるソーシャルワーカーの役割などについて、講義で触れます。また、社会福祉士の国家資格を有しているため、資格取得を目指す学生の相談にのります。							

科目名称	日本の歴史		
科目分類	100-120-11	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Japanese History	授業区分	講義
科目責任者	武廣 亮平	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	武廣 亮平	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	日本の古代から近世までの歴史について、各時代の歴史書や日記などの記録、宗教的な著作、絵画史料など幅広い史料をもとに考える。またそれぞれの史料が物語る時代の特性などもあわせて学ぶ。		
到達目標	日本史の各時代のさまざまな史料を素材に歴史を考察することで、歴史的なものの見方、考え方を身に付ける。学生各自が「歴史」をより深く学ぶことで培った視角や問題認識をもとに、現代日本社会の諸問題も考えることができるようになる。		
アクティブ・ラーニング型授業	無		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：シラバスの内容を確認する 授業：オリエンテーション（日本史のさまざまな史料） 復習：授業で紹介した史料の特徴の確認</p> <p>【第2回】 予習：「和」の文字を含む年号を5つ調べる 授業：史料にみえる年号 復習：授業内容のノート整理と要点の確認</p> <p>【第3回】 予習：中国の歴代王朝について調べる 授業：中国史料にみえる古代の日本 復習：授業内容のノート整理と要点の確認</p> <p>【第4回】 予習：六国史について調べる 授業：『日本書紀』に記された天皇 復習：授業内容のノート整理と要点の確認</p> <p>【第5回】 予習：平城京の時代の歴史を調べる 授業：『続日本紀』と奈良時代の政変 復習：授業内容のノート整理と要点の確認</p> <p>【第6回】 予習：律令制下の税制についてまとめる 授業：古代の木簡を読む 復習：授業内容のノート整理と要点の確認</p> <p>【第7回】 予習：摂関政治の特徴を調べる 授業：『小右記』にみる平安貴族の世界観 復習：授業内容のノート整理と要点の確認</p> <p>【第8回】 予習：未法思想について調べる 授業：『往生要集』と日本人の他界観 復習：授業内容のノート整理と要点の確認</p> <p>【第9回】 予習：平氏政権から鎌倉幕府の成立について調べる 授業：『吾妻鏡』にみる源頼朝の権力 復習：授業内容のノート整理と要点の確認</p> <p>【第10回】 予習：荘園の成立とその経営について調べる 授業：荘園絵図を読む 復習：授業内容のノート整理と要点の確認</p> <p>【第11回】 予習：承久の乱と建武の新政について調べる 授業：「後鳥羽上皇像」と「後醍醐天皇像」 復習：授業内容のノート整理と要点の確認</p> <p>【第12回】 予習：日本におけるイエズス会の活動をまとめる 授業：フロイス『日本史』にみる戦国時代の日本 復習：授業内容のノート整理と要点の確認</p>			

<p>【第13回】 予習：織田信長の統一事業についてまとめる 授業：史料にみる「本能寺の変」 復習：授業内容のノート整理と要点の確認</p> <p>【第14回】 予習：江戸の町の成立と発展を調べる 授業：江戸時代の災害記録—『むさしあぶみ』と『後見草』 復習：授業内容のノート整理と要点の確認</p> <p>【第15回】 予習：授業内容のノートの整理 授業：授業の総括 復習：歴史における史料の重要性について自分の意見をもとめる</p>								
授業開始前学習								
授業内課題の フィードバックの方法	授業内のレポートや課題は次回の授業時に講評を行う。個別の質問についても毎回授業終了時に対応する。							
テキスト・教材	テキストは特に指定せず、毎回プリントを配布する。							
参考書								
評価の基準と方法	平常点（授業時の提出物）40点、レポート40点、定期試験（20点）							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△				
関連科目								
その他								
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	世界の歴史		
科目分類	100-120-11	単位数	履修ガイド参照
英文名称	World History	授業区分	講義
科目責任者	山本 興一郎	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	山本 興一郎	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	本講義のテーマは、古代地中海世界からフランス革命前夜までのヨーロッパにおける、人々の政治参加に関わる概念や諸制度について学ぶことです。日本を含む近現代の人々が参照し、更には好むと好まざるとにかかわらず影響を受けることとなる概念・諸制度揺籃の地であるヨーロッパにおいて、当時の人々がどのようにそれらを認識し、運用していたのか。これらの疑問を考えることにより、本講義は受講生自身が持っている或いは利用している、権利概念や諸制度について、改めて考える機会を提供していきます。		
到達目標	人々の政治参加や諸制度をめぐる世界の歴史を正確に理解し、それらに関して自分の考えを述べるができるようになる。また、同じ名称の概念・用語・制度であっても、時代・場所・状況により相違点があることに気づき、その意味を理解することで、歴史的事実・認識に対する自身の考えを、多角的視点を踏まえたうえで表明できるようにすることを目標とする。		
アクティブ・ラーニング型授業	無		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：高等学校で使用した世界史の教科書を熟読しておくこと 授業：【地中海世界・ヨーロッパ世界とは】この授業の前提になる知識を学びます。 また、次回以降の業実施方法および評価方法を説明します。 復習：課題を行い、「前近代の歴史」に関して大枠の理解を深める</p> <p>【第2回】 予習：事前学習用リード文を読み該当する時代・地域・用語について大まかに理解しておくこと 授業：【古代地中海世界の展開1】古代ギリシアのポリス社会とオリエント諸文明の関係について学びます 復習：課題を行い、古代ギリシアとオリエント諸文明の関係性に関して理解を深める</p> <p>【第3回】 予習：事前学習用リード文を読み該当する時代・地域・用語について大まかに理解しておくこと 授業：【古代地中海世界の展開2】共和政ローマの成立と国制について学びます 復習：課題を行い、政治参加とローマ市民権に関して理解を深めること</p> <p>【第4回】 予習：事前学習用リード文を読み該当する時代・地域・用語について大まかに理解しておくこと 授業：【古代地中海世界の展開3】古代地中海世界の代表的勢力の特徴と、ローマの地中海世界への拡大について学びます 復習：課題を行い、諸勢力とローマ支配のあり方に関して理解を深めること</p> <p>【第5回】 予習：事前学習用リード文を読み該当する時代・地域・用語について大まかに理解しておくこと 授業：【古代地中海世界の展開4】ローマの内乱と帝政成立について学びます 復習：課題を行い、帝政の成立に関して理解を深めること</p> <p>【第6回】 予習：事前学習用リード文を読み該当する時代・地域・用語について大まかに理解しておくこと 授業：【古代地中海世界の展開5】帝政ローマの展開と「市民」の関係について学びます 復習：課題を行い、帝政と市民権の位置づけに関して理解を深めること</p> <p>【第7回】 予習：事前学習用リード文を読み該当する時代・地域・用語について大まかに理解しておくこと 授業：【古代末期の展開】古代と中世の断絶ではない、「古代末期」世界について概要を学びます 復習：課題を行い、後期帝政と市民権の位置づけ、そして一神教の発展に関して理解を深めること</p> <p>【第8回】 予習：事前学習用リード文を読み該当する時代・地域・用語について大まかに理解しておくこと 授業：【中世の展開1】中世前期の概要について学びます 復習：課題を行い、ポスト・ローマ世界に関して理解を深めること</p> <p>【第9回】 予習：事前学習用リード文を読み該当する時代・地域・用語について大まかに理解しておくこと 授業：【中世の展開2】中世ヨーロッパ世界の前提となる聖俗の関係について学びます 復習：課題を行い、古代とは異なる中世の政治参加に関して理解を深めること</p> <p>【第10回】 予習：事前学習用リード文を読み該当する時代・地域・用語について大まかに理解しておくこと 授業：【中世の展開3】中世を特徴づける封建社会と貴族・騎士について学びます 復習：課題を行い、封建社会とそこに生きる貴族・騎士という存在に関して理解を深めること</p> <p>【第11回】 予習：事前学習用リード文を読み該当する時代・地域・用語について大まかに理解しておくこと 授業：【中世の展開4】封建社会における都市の重要性について学びます 復習：課題を行い、王権と都市の関係に関して理解を深めること</p>			

<p>【第12回】 予習：事前学習用リード文を読み該当する時代・地域・用語について大まかに理解しておくこと 授業：【近世の展開1】：近世初期の宗教改革と「主権国家」論について学びます 復習：課題を行い、近世の政治参加に関して理解を深めること</p> <p>【第13回】 予習：事前学習用リード文を読み該当する時代・地域・用語について大まかに理解しておくこと 授業：【近世の展開2】：宗教戦争期における三部会（身分制議会）の活動について学びます 復習：課題を行い、宗教戦争と王権・三部会に関して理解を深めること</p> <p>【第14回】 予習：事前学習用リード文を読み該当する時代・地域・用語について大まかに理解しておくこと 授業：【近世の展開3】：近世社会と社団について学びます。また【レポート課題】を提示します 復習：課題を行い、絶対王政と社団の関係性に関して理解を深めること</p> <p>【第15回】 予習：【第1回】から【第14回】までの授業を復習しておくこと 授業：【ヨーロッパ世界の特徴と近現代の胎動】 復習：配布資料を熟読しておくこと</p>								
授業開始前学習	高等学校で使用した世界史の教科書や便覧・用語集等を熟読しておいてください。							
授業内課題の フィードバックの方法	・小課題については、提出締切日の1,2週後を目途に採点結果と適宜総評をGoogle Classroom 登録メールアドレスへ送信します。 課題・総評提示日等は、授業形態・学習状況により日程を変更する可能性があります。変更する場合は、必ず事前に受講者に伝達いたします。							
テキスト・教材	適宜資料を配布します。							
参考書	服部良久・南川高志・山辺規子（編著）（2007）『大学で学ぶ西洋史〔古代・中世〕』ミネルヴァ書房。 小山哲・上垣豊・山田史郎・杉本淑彦（編著）（2011）『大学で学ぶ西洋史〔近現代〕』ミネルヴァ書房。 池上俊一著（2021）『ヨーロッパ史入門—原型から近代への胎動』岩波ジュニア文庫。 池上俊一著（2022）『ヨーロッパ史入門—市民革命から現代へ』岩波ジュニア文庫。							
評価の基準と方法	レポート課題の成績50%と平常点50%（平常点は、適宜実施する小課題の点数で評価する）							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△				
関連科目								
その他	受講者数により授業の予定を変更することもあります。							
予習・復習の 所要時間	講義時間30時間（2時間×15週）＋予習・復習時間60時間（4時間×15週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	戦争と平和の歴史 I		
科目分類	100-120-11	単位数	履修ガイド参照
英文名称	History of Peace and War I	授業区分	講義
科目責任者	臼井 実稲子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	臼井 実稲子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	前期 月曜日 10:40～12:10 水曜日 10:40～12:10 後期 月曜日 10:40～12:10 水曜日 10:40～12:10	研究室	10-705
授業概要	戦争はなぜ繰り返されるのか？人類にとって戦争は避けられないものなのか？この問いに対する答えを求めて、20 世紀の国際関係を分析する。その歳、欧米の国際関係が中心となるが、19 世紀後半に国際社会で頭角を現すようになった日本についても言及する。 19 世紀後半から第二次世界大戦の終結までの国際関係が分析の対象となる。		
到達目標	国際関係史の基礎的知識および社会科学的思考方法の習得を目的とする。		
アクティブ・ラーニング型授業	無		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第 1 回】 予習：シラバスを読む 授業：イントロダクション 人類は戦争をさげられないのか？ 復習：初回の授業を踏まえ、戦争について自身の考えをまとめる</p> <p>【第 2 回】 予習：19 世紀の大国について調べる 授業：不穏な世紀末の国際社会 復習：19 世紀末の欧米の主要国についてまとめる</p> <p>【第 3 回】 予習：産業革命の影響について調べる 授業：20 世紀の幕開け 復習：イギリス王室と欧州諸国の王室の関係をまとめる</p> <p>【第 4 回】 予習：欧州諸国の植民地支配を地図で確認 授業：列強の植民地支配 復習：ヨーロッパ列強の植民地支配をまとめる</p> <p>【第 5 回】 予習：アジアにおける日本の植民地支配を地図で確認 授業：列強をモデルとした日本 明治・大正期の日本の大陸政策 復習：日本と欧州列強の植民地政策の相違をまとめる</p> <p>【第 6 回】 予習：欧州の同盟について調べる 授業：第一次世界大戦への道 復習：第一次大戦前後の世界の対立と協調の動きをまとめる</p> <p>【第 7 回】 予習：1914 年と 1919 年のヨーロッパの地図を確認 授業：第一次世界大戦 勃発と拡大 復習：第一次大戦の勃発要因と拡大の様相をまとめる</p> <p>【第 8 回】 予習：中東地域を地図で確認 授業：パレスチナ問題の起源 復習：パレスチナ問題の深淵を考える</p> <p>【第 9 回】 予習：20 世紀はじめの戦争における武器について調べる 授業：技術と戦争 大量殺戮兵器の登場 復習：現代の戦争における技術について考えをまとめる</p> <p>【第 10 回】 予習：革命前のロシアの状況について調べる 授業：ロシア革命の勃発と第一次世界大戦の終結 復習：第一次大戦終結後の条約についてまとめる</p> <p>【第 11 回】 予習：ヴェルサイユ体制について調べる 授業：国際協調主義 戦間期の束の間の平和 復習：ヴェルサイユ体制・ワシントン体制・ロカルノ体制を整理</p> <p>【第 12 回】 予習：第一次大戦後の対独条約について確認 授業：第二次世界大戦への道 世界恐慌とナチズムの台頭 復習：世界恐慌の影響についてまとめる</p>			

<p>【第 13 回】 予習 : 第二次世界大戦前のヒトラーの対外政策を確認 授業 : 第二次世界大戦の勃発 復習 : イギリスの宥和政策についてまとめる</p> <p>【第 14 回】 予習 : 日中戦争・太平洋戦争について自身の知るところをまとめる 授業 : アジア・太平洋戦争 復習 : 日本の戦争についてまとめる</p> <p>【第 15 回】 予習 : 日独の同盟関係を確認 授業 : ファシズムの敗退・第二次世界大戦の終結 復習 : 戦争について自身の考えをまとめる</p>								
授業開始前学習	これまで勉強した近現代史を確認							
授業内課題の フィードバックの方法	適宜、リアクションペーパーを用いる。							
テキスト・教材	毎授業時にレジユメを配布する							
参考書	適宜、授業内で指示する。							
評価の基準と方法	試験と平常点で評価する。試験で 60 点未満の場合、また、出席において不正が発覚した場合も単位取得はできない。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△				
関連科目								
その他								
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 60 時間 (4 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	戦争と平和の歴史Ⅱ		
科目分類	100-120-11	単位数	履修ガイド参照
英文名称	History of Peace and War II	授業区分	講義
科目責任者	臼井 実稲子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	臼井 実稲子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	前期 月曜日 10:40～12:10 水曜日 10:40～12:10 後期 月曜日 10:40～12:10 水曜日 10:40～12:10	研究室	10-705
授業概要	戦争はなぜ繰り返されるのか？人類にとって戦争は避けられないものなのか？この問いに対する答えを求めて、20世紀の国際関係を分析する。その歳、欧米の国際関係が中心となるが、19世紀後半に国際社会で頭角を現すようになった日本についても言及する。 第二次世界大戦後から冷戦の終結までの国際関係が分析の対象となる。		
到達目標	国際関係史の基礎的知識および社会科学的思考方法の習得を目的とする。 (1) 戦後の国際関係の流れをおおまかに説明することができる。 (2) どのような政治力学が働いて戦争が起きるのか（あるいは、終結するのか）を、具体的に説明することができるようになる。		
アクティブ・ラーニング型授業	無		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
以下を予定している。			
【第1回】 予習： シラバスを読む 授業： ガイダンス 勝者の世界分割 復習： ヤルタ会談における戦勝国の成果についてまとめる			
【第2回】 予習： 日本の植民地支配の現在への影響を考える 授業： 植民地支配と新たな戦争（1）中国・朝鮮半島・ヴェトナム 復習： 日本の植民地支配の理念と実際を理解する			
【第3回】 予習： インドと東南アジアの地図を確認しておく 授業： 植民地支配と新たな戦争（2）インド・東南アジア 復習： 日本と欧州の植民地宗主国の統治をまとめる			
【第4回】 予習： 中東地域の地図を確認しておく 授業： 新たな戦争のはじまり 中東 復習： 現在の中東情勢との関連をまとめる			
【第5回】 予習： 第二次世界大戦後から1950年までの国際情勢を確認しておく 授業： 冷戦（1）恐怖の均衡 復習： 核と国際政治についてまとめる			
【第6回】 予習： 第二次世界大戦後の欧州の状況を確認しておく 授業： 冷戦（2）分断された欧州 復習： 米ソと欧州諸国の関係をまとめる			
【第7回】 予習： 第二次大戦後のアメリカ政権を確認しておく 授業： 冷戦（3）キューバ危機 復習： キューバ危機から得た教訓をまとめる			
【第8回】 予習： 第二次大戦後の中国情勢を確認しておく 授業： 米ソデタントと中ソ対立 復習： 米ソ中の当時の国際関係をまとめる			
【第9回】 予習： 米ソ冷戦の中での欧州諸国の動きを確認しておく 授業： 戦争の無い欧州を目指して 復習： 現在の欧州統合の動きと比較する			
【第10回】 予習： ケネディ暗殺後のアメリカ政権を確認しておく 授業： アメリカの内憂外患 復習： アメリカの対外政策と国内政策の関係をまとめる			

<p>【第 11 回】 予習： インドシナ戦争からベトナム戦争の経緯を確認しておく 授業： アメリカと先進国の動揺 復習： ベトナム戦争が米国に与えた影響をまとめる</p> <p>【第 12 回】 予習： ソ連の 1970 年代から崩壊までの政権移行を確認しておく 授業： ソ連崩壊と東欧革命（1） 復習： ソ連崩壊後 30 年の現在のロシアをまとめる</p> <p>【第 13 回】 予習： ソ連によるアフガニスタン侵攻を確認しておく 授業： ソ連崩壊と東欧革命（3） 復習： アフガニスタン情勢についてまとめる</p> <p>【第 14 回】 予習： 東欧革命以前と以後の欧州の地図を確認しておく 授業： ソ連崩壊と東欧革命（2） 復習： 東欧革命の意義をまとめる</p> <p>【第 15 回】 予習： 現代の戦争・紛争を確認しておく 授業： 終わらない戦争 復習： 人類にとって戦争は不可避かを考え、まとめる</p>								
授業開始前学習	これまで勉強した近現代史を確認しておく。							
授業内課題の フィードバックの方法	適宜、リアクションペーパーを用いる。							
テキスト・教材	毎回授業時にレジュメを配布する。							
参考書	適宜、授業内で指示する。							
評価の基準と方法	試験と平常点で評価する。試験で 60 点未満の場合、また、出席において不正が発覚した場合も単位取得はできない。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△				
関連科目	戦争と平和の歴史 I							
その他								
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	西洋文化史		
科目分類	100-120-11 (2022年～入学者) 100-121-11 (～2021年入学者)	単位数	履修ガイド参照
英文名称	History of the Occidental Culture	授業区分	講義
科目責任者	河合 恵美	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	河合 恵美	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	ルネサンス以降の西洋社会における文化を衣・食・住の観点より学び、研究する。文化・生活に関連した装飾美術・工芸の分野にて、その発信地的役割を果たしたイギリス、フランスを中心に、バロック期から20世紀ミッド・センチュリーにおける装飾の歴史を俯瞰し、食であるテーブルウェア（陶磁器・銀器・ガラス）、住である建築と家具、衣であるモード（服飾）、ジュエリー、装飾小物などについて、映像・画像と共に、ものの見方、鑑定眼を身につけられるように研究する。		
到達目標	西洋装飾美術の様式や特徴に関し、その歴史と背景、代表的な建築・美術品・工芸品について理解できるようになる。7月に実施される西洋アンティーク鑑定検定試験協会主催「アンティーク検定試験」3級の合格を目標とする。		
アクティブ・ラーニング型授業	無		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>4/12 第1回 予習：シラバス全体を読み、装飾美術工芸とは何かを調べる 授業：美術（純粋美術）と装飾美術（応用美術）の定義、共通点と相違点について理解する 復習：西洋装飾美術工芸の世界を理解する</p> <p>4/19 第2回 予習：教科書 P12-21 を読み、「様式とは何か」について調べておく 授業：バロックからモダニズムまでの装飾様式の特徴を俯瞰する 復習：各様式の特徴について時代背景と共に理解する</p> <p>4/26 第3回 予習：教科書 P24-39 を読み、西洋の家具について調べておく 授業：西洋家具の成り立ち、変遷と歴史について学ぶ 復習：西洋家具の歴史と各時代の特徴について理解する</p> <p>5/10 第4回 予習：教科書 P66-71 を読み、陶磁器について調べておく 授業：西洋陶磁について、陶器・磁器それぞれの誕生の歴史と特徴を学ぶ 復習：陶磁器の歴史や種類について理解する</p> <p>5/17 第5回 予習：教科書 P110-115 を読み、ガラスについて調べておく 授業：ヴェネツィアガラス、ボヘミアガラス、クリスタルガラスについて学ぶ 復習：ガラスの歴史と種類、製法について理解する</p> <p>5/24 第6回 予習：教科書 P140-143 を読み、銀器について調べておく 授業：イギリスとフランスの銀器の刻印の読み方について学ぶ 復習：西洋における銀器の歴史、刻印について理解する</p> <p>5/31 第7回 予習：宝飾品（ジュエリー）について調べておく 授業：貴石の種類とジュエリーの歴史について学ぶ 復習：ジュエリーの歴史、ダイヤモンドの世界を理解する</p> <p>6/7 レポート1 出題 第8回 予習：モード（服飾）とジェンダーについて調べておく 授業：西洋モードの歴史と変遷について学ぶ 復習：生活様式の中でのモードの歴史を理解する</p> <p>6/14 第9回 予習：教科書 P19 を読みアール・ヌーヴォーについて調べておく 授業：アール・ヌーヴォー芸術と、その工芸品について学ぶ 復習：アール・ヌーヴォーの芸術様式を理解する</p> <p>6/21</p>			

<p>第 10 回 予習 : 教科書 P20 を読みアール・デコについて調べておく 授業 : アール・デコ様式と、その工芸品について学ぶ 復習 : アール・デコの芸術様式を理解する 6/28 レポート 1 の講評、レポート 2 出題 第 11 回 予習 : 教科書 P21 を読み北欧デザインについて調べておく 授業 : ミッド・センチュリーの家具工芸品について学ぶ 復習 : ミッド・センチュリーの家具工芸品を理解する 7/5 第 12 回 予習 : 19 世紀後半の万博について調べておく 授業 : 1851 年のロンドン博から 1900 年のパリ万博までを俯瞰する 復習 : 19 世紀後半の万博について、その意義と役割を理解する 7/12 第 13 回 予習 : 第 12 回までの授業につき復習をする 授業 : アンティーク検定対策 復習 : アンティーク検定試験に向けての総復習をする 7/19 第 14 回 予習 : テーブルウェアの歴史について調べておく 授業 : テーブルコーディネートの変遷について学ぶ 復習 : テーブルウェアの種類、テーブルコーディネートの歴史を理解する 7/26 レポート 2 の講評 第 15 回 予習 : 「アンティーク」とは何か、について調べておく 授業 : アンティーク、ヴィンテージ、コレクタブルなどの定義、その価値基準について学ぶ 復習 : アートマーケットにおける実情を理解する</p>								
授業開始前学習	本授業にて触れる時代・地域は 17 世紀～20 世紀のヨーロッパの生活文化史であるため、ルネサンス以降の世界史、西洋美術史の通史を読み、基本的知識を学んでおく、授業が理解しやすい。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業 8 回目、11 回目に提出するレポートについては、それぞれ授業 11 回目、15 回目に講評を行う。							
テキスト・教材	「西洋骨董鑑定の教科書」ジュディス・ミラー著 (パイ インターナショナル)							
参考書	「フランステーブルウェアの教科書」イネス・ウージェル著 (パイ インターナショナル) 「ヨーロッパの装飾と文様」海野弘著 (パイ インターナショナル) 「アール・ヌーヴォーの美術」岡部昌幸著 (東京美術)							
評価の基準と方法	定期試験は実施せず、授業内に行う 2 回のレポート (60%) および外部検定試験「アンティーク検定試験 3 級」等 (40%) とする。授業内でのリアクションペーパーも随時行い、成績は絶対評価で加点方式とする。 出席が 3 分の 2 以下の場合、また出席の改ざんが発覚した場合は成績にかかわらず単位取得不可。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○						
関連科目								
その他	「西洋骨董鑑定の教科書」: 3600 円 + 税 アンティーク検定試験 3 級: 受験料未定 (学生割引あり) 7 月 16 日 (日) に実施予定、本受験 (任意) は、成績評価の対象となる。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 60 時間 (4 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	日本美術史		
科目分類	100-121-11 (J)	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Japanese Art History	授業区分	講義
科目責任者	遠山 元浩	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	遠山 元浩	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	日本に於ける美術の流れを追えば、日本という文化の独自性が見えてくる。信仰や各種儀式から生まれた美、装飾性の多様さ、建築や工芸に見るデザインなど、日本人としての意識を、代表的な日本美術の作品を用いて解説しつつ、日本美術を紐解いていく。		
到達目標	まず、日本美術の変遷を時代ごとに理解する。そして、時代ごとに取り上げた美術品の分野、形態、その特徴や技法などを己の知識として身につける。併せて解説に使用した作品の意味や本質を理解する。日本美術の基礎を理解した上で、自分の中にある「日本の美」とは何なのか？を、導き出す事ができるようになる。		
アクティブ・ラーニング型授業	無		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：関心がある日本美術とは何か考察する。 授業：ガイダンス 日本美術とは 復習：日本美術にどのような特徴が顕著かまとめる。</p> <p>【第2回】 予習：美術の種類にはどんなものがあるのか確認する。 授業：美術品の分類と文化財 復習：美術の分類特徴をまとめる。</p> <p>【第3回】 予習：縄文・弥生の美術についてどんなものがあるのか確認する。 授業：縄文・弥生の美術 復習：縄文・弥生の美術の特徴をまとめる。</p> <p>【第4回】 予習：古代の美術についてどんなものがあるのか確認する。 授業：弥生・古墳・古代の美術 復習：弥生・古墳・古代の美術の特徴をまとめる。</p> <p>【第5回】 予習：飛鳥時代の美術についてどんなものがあるのか確認する。 授業：飛鳥時代の美術（仏教美術） 復習：飛鳥時代の美術の特徴をまとめる。</p> <p>【第6回】 予習：飛鳥から奈良の美術についてどんなものがあるのか確認する。 授業：飛鳥から奈良時代の美術 復習：飛鳥から奈良の美術の特徴をまとめる。</p> <p>【第7回】 予習：奈良から平安の歴史についてどんなものがあるのか確認する。 授業：奈良から平安時代の美術 復習：奈良から平安の美術の特徴をまとめる</p> <p>【第8回】 予習：平安から鎌倉についてどんなものがあるのか確認する。 授業：平安から鎌倉時代の美術（浄土美術） 復習：平安から鎌倉の美術の特徴をまとめる</p> <p>【第9回】 予習：鎌倉時代の美術についてどんなものがあるのか確認する。 授業：鎌倉時代の美術（やまと絵） 復習：鎌倉時代の美術の特徴をまとめる。</p> <p>【第10回】 予習：鎌倉時代の美術についてどんなものがあるのか確認する。 授業：鎌倉から室町時代の美術（垂迹絵画） 復習：鎌倉から室町時代の美術の特徴をまとめる。</p> <p>【第11回】 予習：中近世移行期についての歴史を確認する。 授業：中近世移行期の美術 復習：中近世移行期の美術の特徴を整理する。</p> <p>【第12回】 予習：江戸時代の歴史を確認する。 授業：江戸時代の美術（絵画） 復習：江戸時代の美術の特徴をまとめる。</p>			

<p>【第13回】 予習：美本美術の技法についてどんなものがあるのか確認する。 授業：日本美術の技術（絵画・工芸・彫刻） 復習：江戸の工芸彫刻の特徴をまとめる。</p> <p>【第14回】 予習：近世から近代の歴史について確認する。 授業：江戸から明治時代の美術 復習：江戸から明治の美術の特徴をまとめる</p> <p>【第15回】 予習：各時代の美術の特徴についてどんなものがあるのか確認する。 授業：学びの総括 復習：日本の美術の特徴をまとめる。</p>								
授業開始前学習	授業テキストや美術全集などなるべく多くの日本美術作品を見ておくこと							
授業内課題の フィードバックの方法	授業中必要と思われるタイミングに質疑応答時間を設ける 随時その内容に対して研究意欲を掘り下げられるよう、参考文献や実際の史料画像などを提示する							
テキスト・教材	『日本美術史 JAPANESE ART HISTORY』(美術出版ライブラリー 歴史編) 山下裕二・高岸輝（監修）美術出版社発行 これ以外に適宜プリント資料等を配付する事もある。							
参考書	講義中に参考資料等を紹介、配付資料には参考文献等を掲載する。							
評価の基準と方法	授業の平常点（30%）、課題レポート（70%）で総合的に評価する。 課題レポートは、指定された方法のみで受け付ける。 提出方法などの詳細は、授業終盤に授業の中で提示する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△				
関連科目								
その他	各回パワーポイントを使用している授業となるが、授業中に用いた美術作品や史料等は、図版集などを見て毎回確認をすること。また専門用語はその都度解説する。余裕のある時に、博物館・美術館・寺社仏閣などを訪れ、美術に接する機会を増やす努力をして欲しい。授業内容によっては必要と思われる最新史料の紹介、DVDや動画などを用いた視覚授業を実施することがあるので、予定がずれることも想定される。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容	遊行寺宝物館の現役館長である。収蔵品は国宝『一遍聖絵』重要文化財『後醍醐天皇御像』など多数。専門は日本美術。特に日本仏教美術中の時宗美術と得意とする。保存担当学芸員の資格を有して文化財保護活動にも従事する。これらの経験を活かして日本美術史を紐解いて行く。							

科目名称	比較文化		
科目分類	100-120-11	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Comparative Culture	授業区分	講義
科目責任者	井戸 桂子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	井戸 桂子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	前期 月曜日 14:30～16:00 火曜日 13:10～14:40 後期 火曜日 12:30～15:30	研究室	10-702
授業概要	日本人が、西洋文化・キリスト教文化に初めて接したときの「衝撃と憧憬と葛藤」は、どのようなものだったのでしょうか。16世紀後半から17世紀初頭の安土桃山時代から明治期において、具体例をあげて探求します。その際の資料としては、手紙・日記・文学作品を読み込みます。世界の中の日本を、歴史的にも、空間的にも、正確に把握することを目的とします。		
到達目標	日本を世界の中に置き、欧米人の考え方と、日本人の考え方の相違点を学び、日本人として世界と対峙することが出来るようになる。		
アクティブ・ラーニング型授業	無		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
履修者の人数などにより、第6回と第7回の項目をフレキシブルにする場合があります。			
【第1回】 予習：人間にとって、「西洋文化」とは何かを考える。 授業：はじめに。西洋文化の到来と日本。 復習：【第1回】 の授業を踏まえ、「近代ヨーロッパ人」という存在の意味を考える。			
【第2回】 予習：テキストから、キリスト教の起源と発展について調べる。 授業：16世紀後半から17世紀初頭の南蛮文化との出会い。その1）キリスト教の伝来。その背景。 復習：テキストで、なぜキリスト教が伝来したか確認。			
【第3回】 予習：テキストから、ザビエルについて調べる。 授業：その1）の続き ザビエルの来日の理由と滞日中の活動。 復習：テキストで、ザビエルの業績を確認。			
【第4回】 予習：テキストからきりしたん文学を考える。 授業：南蛮文化との出会い その2）日本でのキリスト教の布教と「きりしたん文学」について。「こんてむつすむん地」を読み始める。 復習：テキストの復習。			
【第5回】 予習：テキストの『こんてむつすむん地』の講読。 授業：2）の続き 『こんてむつすむん地』の「死のくはんねんについて」と『徒然草』を読み比べる。 復習：二つの文学の共通点相違点を、確認する。			
【第6回】 予習：江戸時代について、知っていることを列挙する。 授業：江戸時代の再評価。当時のオランダ文化への憧憬。 復習：テキストを読み返し、ケンペルや田沼時代について調べる。			
【第7回】 予習：テキストを予習。 授業：杉田玄白の『解体新書』と『蘭学事始』。課題小テスト（3）を行う。 復習：用語の確認。			
【第8回】 予習：テキストで、岩倉使節団の目的等を読む。 授業：西洋先進文明との出会い、岩倉使節団その1）派遣の目的、送別の辞を読み、その意気込みを読み解く。 復習：テキストの三条実美の送辞を講読し、その特徴をまとめる。			
【第9回】 予習：テキストの『特命全権大使米欧回覧実記』冒頭を読む。 授業：岩倉使節団その2）『特命全権大使米欧回覧実記』冒頭を読み、回覧先での様子を探求する。 復習：本日のテキストを読み、感想をノートに記す。			
【第10回】 予習：テキストの『特命全権大使米欧回覧実記』アメリカ編を読む。 授業：岩倉使節団 その3）『実記』アメリカ編を読み、米国への驚愕と批判を分析する。 復習：該当箇所を講読して、『実記』作者の久米邦武の分析を確認。			
【第11回】 予習：テキストの『特命全権大使米欧回覧実記』ヨーロッパ編を読む。 授業：岩倉使節団 その4）『米欧回覧実記』のヨーロッパ編から、一行の憧憬と分析を読み解く。 復習：『実記』ヨーロッパ編を再読し、コメントを書く。			

【第12回】
 予習：テキストの夏目漱石の年譜の確認。
 授業：夏目金之助のロンドン体験 その1) 苦闘の日々。その理由を考察。
 その2) 自己発見と作家漱石の誕生。
 復習：プリントまたはテキストで、夏目のロンドンの手紙と日記を再読。

【第13回】
 予習：テキストの『クレイグ先生』を読む。
 授業：その2)の後半。
 『クレイグ先生』を読み始める。
 復習：漱石の個人主義について考える。

【第14回】
 予習：テキストの『クレイグ先生』を読む。
 授業：『クレイグ先生』を読み、特徴を考える。
 復習：テキストを再読し、感想を書く。

【第15回】
 予習：これまでの配布プリント、またはテキストにより、全体の流れを把握しておく。
 授業：日本人が、西洋文化にどのように対処してきたか、まとめの考察をする。
 復習：自分はどうのように西洋の文化をとらえるか、自学する。

授業開始前学習	事前に履修すべき科目は、特にありません。 ただし、第一次資料（原文）を読むので、古文を含めた日本語の読解能力が必要です。							
授業内課題の フィードバックの方法	毎回の授業のあとに、Google Form でのテストを行います。その中に質問コーナーも設けます。その質問や感想に対して、次週にコメントします。							
テキスト・教材	駒沢女子大学教科書シリーズ「比較文化」							
参考書	授業中にその都度提示する。							
評価の基準と方法	授業参加態度 毎回の GoogleForm での小テスト 60% 最後のまとめ 40%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	△		○				
関連科目	日本史、世界史、国語、古文、異文化理解、交流論などに関する科目。							
その他	第一次資料（原文）を読みますので、根気が求められます。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	日本の文化		
科目分類	100-120-11	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Japanese Culture	授業区分	講義
科目責任者	佐々木 俊道	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	佐々木 俊道	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	前期 月曜日 09:00～10:30 月曜日 14:40～16:10 後期 月曜日 09:00～10:30 月曜日 14:40～16:10	研究室	10-504
授業概要	日本文化に多大な影響を与えた仏教文化を中心に授業を進めて行く。誰でも挨拶という言葉を知っており日常生活で実践し無意識に文化として身に付けている。しかし、それが仏教・禅から派生した言葉であることは、ほとんどの人が知らない。よって挨拶のように自然に身に付いている日本における日常の「かたち」や「こころ」の歴史的背景を理解する。さらに無意識に行っている様々な行為を意識下に置く事により自分自身の文化的背景を見直す事が出来るようになることを目標とする。この授業では課題解決型学習、ディスカッションを行う。		
到達目標	日本の文化に関わる目に見える「かたち」と、その背景にある「こころ」の本質を理解することができるようになる。こうした能力は、それぞれの問題意識に合わせて民俗学・歴史学・社会学といった個々の学問領域における方法論を駆使して様々な事象を分析することができるようになる。将来、理性と知性を身につけた心豊かな「教養人として未来に向けて「受け継いでいくべきもの」と「変えていかなければならないもの」を判断出来る人材となれることを目標とする。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：文化という言葉为国語辞典で調べておくこと。 授業：文化とは何か（文化の定義）・日本文化を学ぶことの意義を確認 復習：自分自身が無意識に学習して来た個別文化を確認しノートにまとめること。</p> <p>【第2回】 予習：日本という言葉为国語辞典で調べておくこと。 授業：「日本」とは、なぜ我が国は日本と呼ぶのか、また倭、大和とは何か 復習：日本の国を示す様々な言葉の違いを明確にしノートにまとめること。</p> <p>【第3回】 予習：仏教の影響を受けた個別文化について、文献で調べて箇条書きにメモしておくこと。 授業：日本文化と仏教の関係 復習：日常の仏教文化を確認しノートにまとめること。</p> <p>【第4回】 予習：縄文時代と弥生時代・古墳時代の個別文化を調べておくこと。 授業：仏教伝来以前の日本の信仰・カミとは何か・日本的アニミズム 復習：授業の要点をノートにまとめること。</p> <p>【第5回】 予習：文化人類学における原始宗教（マナ、アニミズム、シャーマニズム）について調べておくこと。 授業：仏教伝来以前の日本の信仰・シャーマニズム論から日本文化を考える、レポート提出（課題解決型学習） 復習：原始宗教とは何かをあらためてノートにまとめること。</p> <p>【第6回】 予習：日本の神道について『古事記』を中心に調べておくこと。 授業：仏教の伝来と飛鳥文化・日本人は外来の宗教である仏教をどのように受容したか 復習：日本人が外来文化をどのように需要してきたかを確認、ノートにまとめること。</p> <p>【第7回】 予習：奈良時代の仏教美術について調べておくこと。 授業：奈良仏教・国家仏教・鎮護国家の仏教・白鳳文化と天平文化 復習：この時代の好きな仏教美術についてノートにまとめること。さらに、それを口頭で説明出来るようにすること。</p> <p>【第8回】 予習：最澄の伝記を調べておくこと。 授業：日本天台宗・最澄の生涯と教え 復習：最澄の思想と日本文化史上の意義をノートにまとめること。</p> <p>【第9回】 予習：空海の伝記を調べておくこと。 授業：真言宗・空海の生涯と教え 復習：空海の思想とその文化史上の意義をノートにまとめること。</p> <p>【第10回】 予習：平安初期の仏教美術について調べておくこと。 授業：平安初期の文化・弘仁貞観文化 復習：この時代の好きな仏教美術について口頭で説明出来るようにしておくこと。</p> <p>【第11回】 予習：平安中期の仏教美術について調べておくこと。 授業：平安中期の文化・国風文化 復習：この時代の好きな仏教美術について口頭で説明出来るようにしておくこと。</p> <p>【第12回】</p>			

予習：平安末期の仏教美術について調べておくこと。
 授業：平安末期の文化・末法思想と浄土思想、レポート提出（課題解決型学習）
 復習：この時代の好きな仏教美術について口頭で説明出来るようにしておくこと。
 【第13回】
 予習：鎌倉仏教における浄土系について調べておくこと。
 授業：法然・親鸞の生涯と教え
 復習：浄土系思想の特徴を口頭で説明出来るようにしておくこと。
 【第14回】
 予習：鎌倉仏教における禅宗・日蓮宗について調べておくこと。
 授業：栄西・道元・日蓮の生涯と教え
 復習：禅宗と日蓮宗の思想について口頭で説明出来るようにしておくこと。
 【第15回】
 予習：仏教と祖先崇拜について調べておくこと。
 授業：仏教と祖先崇拜、課題レポート提出（課題解決型学習）
 復習：日本の葬祭儀礼とその背景について口頭で説明出来るようにしておくこと。

授業開始前学習	高校で使用した『日本史』の教科書・資料集・年表等で江戸時代までの日本史の流れを特に文化を中心に復習しておくこと。							
授業内課題の フィードバックの方法	授業にて生じた疑問点等をレポートに記入させる。それを適宜、クラスルームにて公開し個別の質問に回答しフィードバックする。							
テキスト・教材	『日本の文化』（駒沢女子大学講義ノートシリーズ）をテキストとして用い、その他、適宜、プリントを配付する。							
参考書	高校で使用した『日本史』教科書、資料集、年表。							
評価の基準と方法	3回の課題レポート（30%）と7回の確認テスト（70%）を行い、それぞれ10点満点とした合計点で順位を出しGPAに合わせて総合的に評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○						
関連科目								
その他	とにかく理解しやすいように、懇切丁寧に専門用語の解説をする。DVD等を用いて視覚的にも興味を持たせる。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30時間（2時間×15週）＋予習・復習時間 60時間（4時間×15週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	観光地理(日本)		
科目分類	100-120-11 (J)	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Tourism Geography (Japan)	授業区分	講義
科目責任者	本間 准	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	本間 准	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	前期 水曜日 10:40～12:10 木曜日 16:20～17:50 後期 水曜日 10:40～12:10 木曜日 16:20～17:50	研究室	10-720
授業概要	日本各地に存在する名所旧跡や観光施設などを知ることは観光を学ぶ基本となる。 まずは、何処にどのような観光地があるかを地図上で確認し、その観光地の魅力や歴史的背景も学ぶ。 旅行業務取扱管理者試験合格も意識して解説を進める。		
到達目標	①主な名所旧跡や観光施設が、どの都道府県・地域に所在し、魅力は何なのかを説明できる。 ②国内旅行業務取扱管理者試験科目 国内旅行実務の合格レベル（60パーセント）に達する力をつける。		
アクティブ・ラーニング 型授業	無		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>[第1回] 予習 47 都道府県の位置関係をテキストで確認 授業 オリエンテーション・都道府県と日本の世界遺産 テキスト2～19 頁 復習 日本の世界遺産を覚える</p> <p>[第2回] 予習 北海道 各観光地の名称と位置関係をテキストで確認 授業 北海道 テキスト 20 頁～40 頁 復習 主な名所、位置関係、名物料理・特産品を覚える</p> <p>[第3回] 予習 北東北 各観光地の名称と位置関係をテキストで確認 授業 北東北（青森・秋田・岩手） テキスト 41 頁～51、54 頁 復習 主な名所、位置関係、名物料理・特産品を覚える</p> <p>[第4回] 予習 南東北 各観光地の名称と位置関係をテキストで確認 授業 南東北（宮城・山形・新潟・福島） テキスト 52 項～53 項、55 頁～63 頁 復習 主な名所、位置関係、名物料理・特産品を覚える</p> <p>[第5回] 予習 北関東 各観光地の名称と位置関係をテキストで確認 授業 北関東（茨城・栃木・群馬・埼玉） テキスト 64 項～77 項 復習 主な名所、位置関係、名物料理・特産品を覚える</p> <p>[第6回] 予習 南関東 各観光地の名称と位置関係をテキストで確認 授業 南関東（東京・千葉・神奈川） テキスト 78 項～93 項 復習 主な名所、位置関係、名物料理・特産品を覚える</p> <p>[第7回] 予習 北陸 各観光地の名称と位置関係をテキストで確認 授業 北陸（富山・石川・福井・長野） テキスト 104 項～121 項 復習 主な名所、位置関係、名物料理・特産品を覚える</p> <p>[第8回] 予習 中部 各観光地の名称と位置関係をテキストで確認 授業 中部（山梨・静岡・愛知・岐阜） テキスト 122 項～133 項 復習 主な名所、位置関係、名物料理・特産品を覚える</p> <p>[第9回] 予習 北近畿・紀伊半島 各観光地の名称と位置関係をテキストで確認 授業 北近畿（大阪・京都・兵庫・奈良・滋賀） テキスト 134 項～157 項 復習 主な名所、位置関係、名物料理・特産品を覚える</p> <p>[第10回] 予習 紀伊半島 各観光地の名称と位置関係をテキストで確認 授業 紀伊半島（和歌山・三重） テキスト 158 項～164 項 復習 主な名所、位置関係、名物料理・特産品を覚える</p> <p>[第11回] 予習 中国 各観光地の名称と位置関係をテキストで確認 授業 中国（鳥取・島根・岡山・広島・山口） テキスト 166 項～178 項 復習 主な名所、位置関係、名物料理・特産品を覚える</p> <p>[第12回] 予習 四国 各観光地の名称と位置関係をテキストで確認 授業 四国（徳島・香川・愛媛・高知） テキスト 166 項～178 項 復習 主な名所、位置関係、名物料理・特産品を覚える</p>			

<p>[第 13 回] 予習 北九州 各観光地の名称と位置関係をテキストで確認 授業 北九州（福岡・佐賀・長崎・大分・熊本） テキスト 166 項～178 項 復習 主な名所、位置関係、名物料理・特産品を覚える</p> <p>[第 14 回] 予習 南九州・沖縄 各観光地の名称と位置関係をテキストで確認 授業 南九州・沖縄（熊本・宮崎・鹿児島・沖縄） テキスト 166 項～178 項 復習 主な名所、位置関係、名物料理・特産品を覚える</p> <p>[第 15 回] 予習 各県の観光地の名称を覚える 授業 【最終テスト】 最終テスト回答の解説 復習 出題された観光地などの所在地をテキストで確認する</p>								
授業開始前学習	TV の旅番組などを利用して観光地の知識を増やす。 旅行パンフレットも観光地を学ぶ有用なツールである。							
授業内課題の フィードバックの方法	授業内または翌週に解答・解説を行う。							
テキスト・教材	『旅地図 日本』(昭文社)							
参考書	『旅行業実務シリーズ 4 国内観光資源』（JTB 総合研究所） ※旅行業業務取扱管理者試験合格を目指す学生は購入を推奨する							
評価の基準と方法	小テスト 40%、最終テスト 50%、平常点 10%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○						
関連科目	後期に開講する観光地理（世界）の受講を推奨する。							
その他								
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容	旅行会社勤務により得た知見に基づいた講義を行う。							

科目名称	観光地理(世界)		
科目分類	100-120-11 (J)	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Tourism Geography (World)	授業区分	講義
科目責任者	本間 准	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	本間 准	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	前期 水曜日 10:40～12:10 木曜日 16:20～17:50 後期 水曜日 10:40～12:10 木曜日 16:20～17:50	研究室	10-720
授業概要	観光学の学びにおいては、国々・地域の観光地における歴史・文化・習慣・魅力を知ることが基本となる。多様な世界を知ることには教養を高めることにつながる。 まずは、何処にどのような観光地があるかを地図上で確認し、その観光地の魅力や歴史的背景も学ぶ。 総合旅行業務取扱管理者国家試験（海外実務）合格も意識した解説を進める。		
到達目標	主な国々・地域の文化や魅力を観光の観点から説明できるようになる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	無		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>[第1回] 予習 外国人旅行者の多い国上位10国を調べ、多い理由を考える。 授業 主な国々の位置関係・国勢と最近の観光情勢、日本とのつながり 復習 授業で配付した資料を再度確認</p> <p>[第2回] 予習 アジアの国々の名称と位置関係を地図帳で確認 授業 アジア地域の国々の観光資源 テキスト82頁～124頁 復習 主な観光地を把握し、説明できるようにする</p> <p>[第3回] 予習 地図帳で韓国の主な地名を確認 授業 韓国 86頁～90頁 復習 主な観光地を把握し、説明できるようにする</p> <p>[第4回] 予習 地図帳で中国の主な地名を確認 授業 台湾、中国、香港、マカオ テキスト92頁～108頁 復習 主な観光地を把握し、説明できるようにする</p> <p>[第5回] 予習 地図帳で国の位置、観光地を確認 授業 ベトナム、ミャンマー、カンボジア、タイ テキスト110頁～117頁 復習 主な観光地を把握し、説明できるようにする</p> <p>[第6回] 予習 地図帳で国の位置、観光地を確認 授業 マレーシア、シンガポール、インドネシア、インド、ネパール テキスト119頁～133頁 復習 主な観光地を把握し、説明できるようにする</p> <p>[第7回] 予習 ヨーロッパ各国の位置関係を地図帳で確認する 授業 ヨーロッパ地域の国々の観光資源、イギリス、オランダ、ベルギー テキスト66頁～74頁、36～37頁 復習 主な観光地を把握し、説明できるようにする</p> <p>[第8回] 予習 主な観光都市と位置を確認する 授業 イタリア、スペイン、ポルトガル テキスト44頁～53頁 38頁～43頁 復習 主な観光地を把握し、説明できるようにする</p> <p>[第9回] 予習 主な観光都市と位置を確認する 授業 北欧、ロシア テキスト76頁～79頁 62頁～64頁 復習 主な観光地を把握し、説明できるようにする</p> <p>[第10回] 予習 主な観光都市と位置を確認する 授業 ギリシャ、トルコ、エジプト テキスト54頁～59頁 142頁～144頁 152頁～153頁 復習 主な観光地を把握し、説明できるようにする</p> <p>[第11回] 予習 主な観光都市と位置を確認する 授業 スイス、フランス テキスト29頁、14頁～18頁 復習 主な観光地を把握し、説明できるようにする</p> <p>[第12回] 予習 主な観光都市と位置を確認する 授業 ドイツ、オーストリア、チェコ、テキスト22頁～28頁 32頁～33頁 復習 主な観光地を把握し、説明できるようにする</p>			

<p>〔第13回〕 予習 主な観光都市と位置を確認する 授業 オセアニア地域の国々 テキスト192頁～202頁 復習 主な観光地を把握し、説明できるようにする 〔第14回〕 予習 主な観光都市と位置を確認する 授業 北アメリカ地域、ハワイ テキスト156頁～179頁 203頁～206頁 復習 主な観光地を把握し、説明できるようにする 〔第15回〕 予習 各国の観光地を覚える 授業 【最終テスト】回答の解説 復習 出題された観光地を把握し、説明できるようにする</p>								
授業開始前学習	海外旅行パンフレット・世界遺産・世界の出来事など、日常生活でこれらの情報対象の国名・都市名がどこにあるかを確認する習慣を始めましょう。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業内課題のフィードバックの方法：授業内または翌週に解答・解説を行う。							
テキスト・教材	『旅地図 世界』（昭文社）							
参考書	『旅行実務シリーズ7 海外観光資源』（JTB 総合研究所）※総合旅行業務取扱管理者試験合格をめざす学生は購入を推奨する							
評価の基準と方法	小テスト40%、最終テスト50%、平常点（授業への貢献）10%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○						
関連科目	前期に開講する観光地理（日本）の受講を推奨する。							
その他	総合旅行業務取扱管理者試験合格をめざす学生は履修を推奨する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30時間（2時間×15週）＋予習・復習時間 60時間（4時間×15週）							
実務経験を活かした教育内容	旅行会社勤務の経験を活かし、現地の文化を紹介する講義を行う。							

科目名称	☆日本文学／日本の文学		
科目分類	100-120-11	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Japanese Literature	授業区分	講義
科目責任者	松村 良	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	松村 良	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	前期 水曜日 13:00～14:30 木曜日 13:00～14:30 後期 水曜日 13:00～14:30 木曜日 13:00～14:30	研究室	10-617
授業概要	芥川龍之介の短編小説「鼻」「芋粥」、太宰治の短編小説「魚服記」「道化の華」を読み、それぞれの作家についての基礎的な知識と、小説の読み方、作品へのアプローチの仕方について学ぶ。芥川と太宰の小説テキストの分析を通して、単なる感想に留まらない、文学研究の基礎と教養を身につけることを目的とする。この授業では課題解決型学習を行う。		
到達目標	文学研究の基礎である、作品の典拠との比較や、先行研究における問題点を把握できるようになる。登場人物の人間性や社会との関わり、小説の構成や語りについて、独自の論点を見つけ出せるようになる。さらに小説の読解を通して、自分の考えを論理的に説明できるようになる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：芥川龍之介と太宰治について知っていることをまとめておく 授業：授業の進め方について・芥川龍之介と太宰治に関する質問 復習：授業の進め方を理解し、質問に答える</p> <p>【第2回】 予習：芥川龍之介について調べておく 授業：芥川龍之介の生涯と作品について 復習：芥川龍之介について学んだことをまとめる</p> <p>【第3回】 予習：「鼻」を読み、内容を把握する 授業：「鼻」を読む1（教科書20～30頁、小説の内容と構成・典拠について・課題1提出）（課題解決型学習） 復習：小説の内容と構成、典拠について学んだことをまとめ、課題1に取り組む</p> <p>【第4回】 予習：前回の授業で学んだことを読み返す 授業：「鼻」を読む2（人物造型と語りの特徴） 復習：人物造型と語りの特徴について学んだことをまとめる</p> <p>【第5回】 予習：前回の授業で学んだことを読み返す 授業：「鼻」を読む3（小説の結末部の問題・課題1解説） 復習：「鼻」についての自分の意見をまとめる</p> <p>【第6回】 予習：「芋粥」を読み、内容を理解しておく 授業：「芋粥」を読む1（教科書32～59頁、小説の内容と構成・典拠について・課題2提出）（課題解決型学習） 復習：小説の内容と構成、典拠について学んだことをまとめ、課題2に取り組む</p> <p>【第7回】 予習：前回の授業で学んだことを読み返す 授業：「芋粥」を読む2（人物造型と語りの特徴） 復習：人物造型と語りの特徴について学んだことをまとめる</p> <p>【第8回】 予習：前回の授業で学んだことを読み返す 授業：「芋粥」を読む3（小説の結末部の問題・課題2解説） 復習：「芋粥」についての自分の意見をまとめる</p> <p>【第9回】 予習：太宰治について調べておく 授業：太宰治の生涯と作品について 復習：太宰治について学んだことをまとめる</p> <p>【第10回】 予習：「魚服記」を読み、内容を把握する 授業：「魚服記」を読む1（教科書84～95頁、小説の構成と語り・典拠について・課題3提出）（課題解決型学習） 復習：小説の構成と語り、典拠について学んだことをまとめ、課題3に取り組む</p> <p>【第11回】 予習：一章・二章を読み返し、内容について考える 授業：「魚服記」を読む2（一章・二章の特徴と内容読解） 復習：一章・二章について学んだことをまとめる</p> <p>【第12回】 予習：三章・四章を読み返し、内容について考える 授業：「魚服記」を読む3（三章・四章の特徴と内容読解・課題3解説） 復習：「魚服記」についての自分の意見をまとめる</p>			

<p>【第13回】 予習：「道化の華」を読み、内容を把握する 授業：「道化の華」を読む1（教科書135～206頁、私小説的手法と語りの問題・課題4提出）（課題解決型学習） 復習：私小説的手法と語りの問題について学んだことをまとめ、課題4に取り組む</p> <p>【第14回】 予習：前半部を読み直し、内容について考える 授業：「道化の華」を読む2（前半部の特徴と内容読解） 復習：前半部について学んだことをまとめる</p> <p>【第15回】 予習：後半部を読み直し、内容について考える 授業：「道化の華」を読む3（後半部の特徴と内容読解・課題4解説） 復習：「道化の華」についての自分の意見をまとめる</p>								
授業開始前学習	授業で扱う作品は事前に必ず読んでおくこと。文庫本に収録されている他の作品や、解説、年譜なども読んでおくことで授業の理解に役立つ。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業で取り上げる4つの作品については、それぞれ授業内課題を提出してもらう。それをもとに解説を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	芥川龍之介『羅生門・鼻』（新潮文庫）・太宰治『晩年』（新潮文庫）							
参考書	授業内で適宜紹介する。							
評価の基準と方法	授業内課題（40%）と、学期末レポート（60%）で評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○						
関連科目								
その他								
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	☆外国文学／ヨーロッパの文学		
科目分類	100-120-11	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Foreign Literature／European Literature	授業区分	講義
科目責任者	糟谷 恵次	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	糟谷 恵次	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	前期 木曜日 10:40～13:40 後期 月曜日 10:50～13:00 木曜日 12:10～13:00	研究室	10-604
授業概要	ヨーロッパ文学における個々の作品を取り上げながら、中世から現代に至る外国文学のテーマとその問題性を歴史的に概観する。		
到達目標	ヨーロッパの個々の文学作品を通史的に考察することで、中世から近世、現代に至る西欧の精神・思想の流れを把握する。		
アクティブ・ラーニング型授業	無		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：これまでに読んだ経験のある外国文学について確認してみる。 授業：ヨーロッパの歴史と文学（概要） 復習：初回に配布する資料1の復習</p> <p>【第2回】 予習：ヨーロッパの古代から中世の歴史を調べてみる。 授業：中世の文学（愛の抒情詩、『トリスタンとイゾルデ』） 復習：資料2の空所キーワードを確認しながら内容を再確認する。</p> <p>【第3回】 予習：狐物語について調べてみる。 授業：中世～ルネサンス（『狐物語』『テイル・オイレンシュピーゲル』） 復習：資料3の空所キーワードを確認しながら内容を再確認する。</p> <p>【第4回】 予習：ダンテについて調べてみる。 授業：中世～ルネサンス（ダンテの『神曲』と『新生』） 復習：資料4の空所キーワードを確認しながら内容を再確認する。</p> <p>【第5回】 予習：チョーサーの『カンタベリー物語』の一篇を読んでみる。 授業：中世～ルネサンス（『デカメロン』『カンタベリー物語』他） 復習：資料5の空所キーワードを確認しながら内容を再確認する。</p> <p>【第6回】 予習：資料6を通読し、シェイクスピアの四大悲劇について調べてみる。 授業：シェイクスピア（1）シェイクスピアとその作品について概観する。 復習：資料6の空所キーワードを確認しながら内容を再確認する。</p> <p>【第7回】 予習：シェイクスピア（2）『ロミオとジュリエット』の原作にふれてみる。 授業：『ロミオとジュリエット』前半を鑑賞する。 復習：資料6を参考にしながら、鑑賞したバルコニーシーンを再読。</p> <p>【第8回】 予習：シェイクスピア（3）『ロミオとジュリエット』の原作にふれてみる。 授業：『ロミオとジュリエット』後半を鑑賞する。 復習：資料6を参考にしながら、後半の別れの場面を再読。</p> <p>【第9回】 予習：ゲーテの詩を読んでみる。 授業：ゲーテ（1）（抒情詩、『若きヴェルターの悩み』） 復習：資料7前半の空所キーワードを確認しながら内容を再確認する。</p> <p>【第10回】 予習：資料で作品の梗概を読んでおく。 授業：ゲーテ（2）（『親和力』『ファウスト』） 復習：資料7後半の空所キーワードを確認しながら内容を再確認する。</p> <p>【第11回】 予習：資料8に挙げられているペローやグリム兄弟の童話を調べてみよう。 授業：寓話・童話の系譜（イソップ、ペロー、グリムの昔話） 復習：資料8の空所キーワードを確認しながら内容を再確認する。</p> <p>【第12回】 予習：資料9に挙げられている『変身』の冒頭部を読んでおく。 授業：カフカ（1）『変身』を読み解く 復習：資料9前半の空所キーワードを確認しながら内容を再確認する。</p> <p>【第13回】</p>			

<p>予習：資料9でカフカの短編作品を読んでおく。 授業：カフカ(2) 短編作品を読み解く 復習：資料9後半の空所キーワードを確認しながら内容を再確認する。 【第14回】 予習：グーテンベルクの活版印刷術について調べてみる。 授業：書物の歴史・読書の文化史 復習：資料10の空所キーワードを確認しながら内容を再確認する。 【第15回】 予習：ここまでの資料を読み直してみる。 授業：ヨーロッパ文学の歴史的流れの確認 復習：資料11の空所キーワードを確認しながら内容を再確認する。</p>								
授業開始前学習	可能なかぎり作品にふれておくこと。少なくとも資料にある梗概には必ず目を通しておく必要がある。							
授業内課題の フィードバックの方法	毎回行われる授業内容理解の確認課題に関しては次回の授業の冒頭で振り返る。							
テキスト・教材	初回時に資料を配布する。							
参考書	参考とすべき文学作品、評論、研究書等は配布資料に記載する。							
評価の基準と方法	毎回の授業の最後に行われる確認課題（60%）と期末レポート（40%）によって総合評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○						
関連科目								
その他								
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	日本の政治		
科目分類	100-120-11	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Japanese Politics	授業区分	講義
科目責任者	弥久保 宏	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	弥久保 宏	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	前期 水曜日 14:40～16:10 金曜日 13:00～14:30 後期 水曜日 14:40～16:10 金曜日 14:40～16:10	研究室	10-703
授業概要	日本の政治を戦後から今日まで、国会、政党、議員、官僚、政権交代にスポットライトを当て、その軌跡から日本政治の特徴を探ることが、この講義の目標です。私達の日常生活は、様々な局面で政治と密接に結びついています。ただ、そのことに気が付いているか、どうかの違いです。政治に対する無関心は、政治家や官僚任せの人生を送ることになります。未来に希望の持てる日本にする為に、今何をすべきかを受講生の皆さんと一緒に考えたいと思います。同時に、学生として知っておくべき時事問題を養います。		
到達目標	現在の日本の政治を戦後政治史から俯瞰できるようにする。		
アクティブ・ラーニング型授業	無		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：シラバスを読んでおくこと 授業：日本政治の見方とガイダンス（講義の進め方、試験と単位評価、受講にあたっての諸注意など） 復習：ガイダンスのポイントメモを作成</p> <p>【第2回】 予習：テキストの該当部分を読んでおく 授業：戦前の政治と戦争① 復習：講義のポイントメモを作成</p> <p>【第3回】 予習：テキストの該当部分を読んでおく 授業：戦前の政治と戦争② 復習：講義のポイントメモを作成</p> <p>【第4回】 予習：テキストの該当部分を読んでおく 授業：占領と民主化① 復習：講義のポイントメモを作成</p> <p>【第5回】 予習：テキストの該当部分を読んでおく 授業：占領と民主化② 復習：講義のポイントメモを作成</p> <p>【第6回】 予習：テキストの該当部分を読んでおく 授業：敗戦後の再出発① 復習：講義のポイントメモを作成</p> <p>【第7回】 予習：テキストの該当部分を読んでおく 授業：敗戦後の再出発② 復習：講義のポイントメモを作成</p> <p>【第8回】 予習：テキストの該当部分を読んでおく 授業：戦後政治モデルの形成―「55年体制」と60年安保① 復習：講義のポイントメモを作成</p> <p>【第9回】 予習：テキストの該当部分を読んでおく 授業：戦後政治モデルの形成―「55年体制」と60年安保② 復習：講義のポイントメモを作成</p> <p>【第10回】 予習：テキストの該当部分を読んでおく 授業：高度成長の時代―50年代後半から70年代後半① 復習：講義のポイントメモを作成</p> <p>【第11回】 予習：テキストの該当部分を読んでおく 授業：高度成長の時代―50年代後半から70年代後半② 復習：講義のポイントメモを作成</p>			

<p>【第 12 回】 予習 : テキストの該当部分を読んでおく 授業 : 戦後保守政治の再編① 復習 : 講義のポイントメモを作成</p> <p>【第 13 回】 予習 : テキストの該当部分を読んでおく 授業 : 戦後保守政治の再編② 復習 : 講義のポイントメモを作成</p> <p>【第 14 回】 予習 : テキストの該当部分を読んでおく 授業 : 混迷の時代から新しい政治へー 90 年代後半から現在 復習 : 講義のポイントメモを作成</p> <p>【第 15 回】 予習 : これまでの講義ポイントメモに目を通しておく 授業 : 前期の総括 復習 : これまでの講義メモをまとめる</p>								
授業開始前学習	新聞などのニュースメディアに日常的に接し、時事問題に対するアンテナを磨いておくこと。							
授業内課題の フィードバックの方法	予習学習の成果を授業で確認する。							
テキスト・教材	五十嵐仁 『18歳から考える日本の政治』 (法律文化社)							
参考書	随時紹介する。							
評価の基準と方法	単位の評価は、受講意欲 (授業中の質疑など) 4 割。定期試験 6 割。6 回以上の欠席や出席で不正行為を行った場合は、単位取得は認めない。遅刻は 3 回で 1 回の欠席扱いにする。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△				
関連科目	「世界の政治」、「政治と市民参加」							
その他	<重要事項> 履修登録は、ガイダンスの出席を義務づける。事情によりガイダンスを受けなかった場合は、研究室を訪ねて、ガイダンスの内容を了解した上で履修登録を行うこと。講義の録音は認めない。勝手に録音した場合は、機材を没収する。講義中のスマホや携帯電話の使用は厳禁。見つけ次第、没収し退室を命じる。また授業中に講義と関係のない他の作業を行った者も退室を命じる。履修登録にあたって、これらの事項を了解したうえで登録すること。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 60 時間 (4 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	世界の政治		
科目分類	100-120-11	単位数	履修ガイド参照
英文名称	World Politics	授業区分	講義
科目責任者	弥久保 宏	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	弥久保 宏	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	前期 水曜日 14:40～16:10 金曜日 13:00～14:30 後期 水曜日 14:40～16:10 金曜日 14:40～16:10	研究室	10-703
授業概要	国際社会における諸問題や日本のポジションを探るのがこの講義の目標です。国際社会で日本は“異質な国家”とみなされるケースが多々ありますが、なぜ日本は“異質”に思われるのか？日本が“異質”と思われる構造を国際政治における日本政治の特徴や日本国憲法の特徴から検証します。また、日本を取り巻く国際社会のアップデートな問題も取り上げるのでシラバスの内容と変わる場合がある。		
到達目標	国内外で起こる様々なニュースの基本的な知識を身につけ、事件の本質を見抜く力をつける。		
アクティブ・ラーニング型授業	無		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：シラバスを読んでおく、特に【その他】の重要事項を熟読のこと。 授業：世界の政治の学習方法とガイダンス（講義の進め方、試験や単位について、その他注意事項） 復習：学習方法やガイダンスの諸注意の理解</p> <p>【第2回】 予習：日本国憲法に目を通しておくこと 授業：日本国憲法の特異性 復習：講義のポイントメモの作成</p> <p>【第3回】 予習：テキストの該当部分を読んでおくこと 授業：日本の安全保障①日米安全保障条約 復習：講義のポイントメモの作成</p> <p>【第4回】 予習：テキストの該当部分を読んでおくこと 授業：日本の安全保障②安保関連法制 復習：講義のポイントメモの作成</p> <p>【第5回】 予習：テキストの該当部分を読んでおくこと 授業：日韓関係 復習：講義のポイントメモの作成</p> <p>【第6回】 予習：配布資料を読んでおくこと 授業：日本の領土問題①北方領土問題 復習：講義のポイントメモの作成</p> <p>【第7回】 予習：配布資料を読んでおくこと 授業：日本の領土問題②竹島問題 復習：講義のポイントメモの作成</p> <p>【第8回】 予習：配布資料を読んでおくこと 授業：日本の領土問題③尖閣諸島問題 復習：講義のポイントメモの作成</p> <p>【第9回】 予習：テキストの該当部分を読んでおくこと 授業：パレスチナ問題 復習：講義のポイントメモの作成</p> <p>【第10回】 予習：テキストの該当部分を読んでおくこと 授業：日本と世界の経済連携 RCEP と TPP 復習：講義のポイントメモの作成</p> <p>【第11回】 予習：テキストの該当部分を読んでおくこと 授業：日本と世界の消費税 復習：講義のポイントメモの作成</p> <p>【第12回】 予習：テキストの該当部分を読んでおくこと 授業：イギリスの EU 離脱 復習：講義のポイントメモの作成</p>			

<p>【第13回】 予習：拉致問題について調べておくこと 授業：北朝鮮と拉致問題 復習：講義のポイントメモの作成</p> <p>【第14回】 予習：テキストの該当部分を読んでおくこと 授業：地球温暖化と世界の二酸化炭素排出量 復習：講義のポイントメモの作成</p> <p>【第15回】 予習：これまでの講義のポイントメモをまとめる 授業：世界の政治での学習を深める方法 復習：定期試験に向けての準備</p>								
授業開始前学習	新聞などのニュースメディアに日常的に接し、時事問題に対するアンテナを磨いておくこと。							
授業内課題の フィードバックの方法	予習学習の成果を授業で確認する。							
テキスト・教材	時事問題リサーチ編著『2023-2024年版日本と世界の時事キーワード』ナツメ社、1200円							
参考書	随時紹介する。							
評価の基準と方法	単位の評価は、受講意欲（授業中の質疑など）4割。定期試験6割。6回以上の欠席や出席で不正行為を行った場合は、単位取得は認めない。遅刻は3回で1回の欠席扱いにする。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△				
関連科目	「日本の政治」、「政治と市民参加」							
その他	<重要事項> 履修登録は、ガイダンスの出席を義務づける。事情によりガイダンスを受けなかった場合は、研究室を訪ねて、ガイダンスの内容を了解した上で履修登録を行うこと。講義の録音は認めない。勝手に録音した場合は、機材を没収する。講義中のスマホや携帯電話の使用は厳禁。見つけ次第、没収し退室を命じる。また授業中に講義と関係のない他の作業を行った者も退出を命じる。履修登録にあたって、これらの事項を了解したうえで登録すること。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	政治と市民参加		
科目分類	100-120-11	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Politics and Citizenship	授業区分	講義
科目責任者	弥久保 宏	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	弥久保 宏	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	前期 水曜日 14:40～16:10 金曜日 13:00～14:30 後期 水曜日 14:40～16:10 金曜日 14:40～16:10	研究室	10-703
授業概要	時事問題に対する複眼的見方を身につける。身近なニュースを国家レベルやグローバルな視点で捉えたり、グローバルなニュースを日本及び身近な問題として俯瞰できる視野を育成する。日常起こる事件に対するアンテナ感度を高めよう。講義の内容上、アップデートな問題も取り上げるのでシラバスの内容と変わる場合がある。		
到達目標	日本で起こる時事問題について、新聞や雑誌の記事を読みこなせるようになり、社会問題に対して大学生として恥ずかしくない教養を身につける。従って、時事問題を単なる知識として捉えるのではなく、現状、背景、将来という三つの視点から捉える能力を養う。		
アクティブ・ラーニング型授業	無		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：シラバスを読んでおく、特に【その他】の重要事項を熟読のこと。 授業：時事問題の捉え方 復習：講義のポイントメモの作成</p> <p>【第2回】 予習：テキストの該当部分を読んでおくこと 授業：憲法改正論① 復習：講義のポイントメモの作成</p> <p>【第3回】 予習：テキストの該当部分を読んでおくこと 授業：憲法改正論② 復習：講義のポイントメモの作成</p> <p>【第4回】 予習：テキストの該当部分を読んでおくこと 授業：皇位継承問題 復習：講義のポイントメモの作成</p> <p>【第5回】 予習：テキストの該当部分を読んでおくこと 授業：2023年度予算と国際 復習：講義のポイントメモの作成</p> <p>【第6回】 予習：テキストの該当部分を読んでおくこと 授業：日本の原子力発電所 復習：講義のポイントメモの作成</p> <p>【第7回】 予習：テキストの該当部分を読んでおくこと 授業：日本の年金制度 復習：講義のポイントメモの作成</p> <p>【第8回】 予習：テキストの該当部分を読んでおくこと 授業：日本の人口問題 復習：講義のポイントメモの作成</p> <p>【第9回】 予習：テキストの該当部分を読んでおくこと 授業：男女格差 復習：講義のポイントメモの作成</p> <p>【第10回】 予習：テキストの該当部分を読んでおくこと 授業：検察審査会 復習：講義のポイントメモの作成</p> <p>【第11回】 予習：裁判員制度について事前に調べておくこと 授業：裁判委員制度 復習：講義のポイントメモの作成</p> <p>【第12回】 予習：テキストの該当部分を読んでおくこと 授業：旧統一教会問題 復習：講義のポイントメモの作成</p>			

<p>【第 13 回】 予習 : テキストの該当部分を読んでおくこと 授業 : LGBT 復習 : 講義のポイントメモの作成</p> <p>【第 14 回】 予習 : 配布プリントの内容を調べておく 授業 : 同性婚 復習 : 講義のポイントメモの作成</p> <p>【第 15 回】 予習 : これまでの講義のポイントをまとめる 授業 : 時事問題の発展学習に向けて 復習 : 後期のポイントメモを作成</p>								
授業開始前学習	毎日、新聞を読み、日本のニュースや事件に対してアンテナを張っておく。							
授業内課題の フィードバックの方法	予習学習の成果を授業内で確認する。							
テキスト・教材	ニュース・リテラシー研究所編 『2023-2024 年版 図解 まるわかり時事用語』 新星出版社、1000 円							
参考書	随時紹介する。							
評価の基準と方法	単位の評価は、受講意欲（授業中の質疑など）4 割。定期試験 6 割。6 回以上の欠席や出席で不正行為を行った場合は、単位取得は認めない。遅刻は 3 回で 1 回の欠席扱いにする。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△				
関連科目	「日本の政治」							
その他	<p><重要事項> 履修登録は、ガイダンスの出席を義務づける。事情によりガイダンスを受けなかった場合は、研究室を訪ねて、ガイダンスの内容を了解した上で履修登録を行うこと。講義の録音は認めない。勝手に録音した場合は、機材を没収する。講義中のスマホや携帯電話の使用は厳禁。見つけ次第、没収し退室を命じる。また授業中に講義と関係のない他の作業を行った者も退出を命じる。履修登録にあたって、これらの事項を了解したうえで登録すること。</p>							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	日本の経済		
科目分類	100-120-11	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Japanese Economy	授業区分	講義
科目責任者	羽田 翔	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	羽田 翔	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	日本経済の現状について、財政・金融面、産業まで幅広く、そして歴史、制度、経済理論、データによって多角的に捉え、日本経済が抱える課題について学修する。主に、最近特に注目されている格差問題や少子高齢化、環境問題と経済・産業との関係について取り上げる。		
到達目標	日本経済の現状について幅広く、そして歴史、制度、経済理論、データによって多角的に理解する能力を修得する。そして、現代の日本経済が抱える課題を認識することができるようになる。		
アクティブ・ラーニング型授業	無		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：シラバスに目を通しておきましょう。新聞、ニュースなどで経済の問題に触れるようにしてください。 授業：履修上の注意点。なぜ日本の経済について学ぶのか。 復習：シラバスを読み直し、履修に向けて必要なことを確認しましょう。</p> <p>【第2回】 予習：新聞、ニュースなどで経済の問題に触れるようにしてください。 授業：経済のルールを身に付けましょう。 ・稀少性、トレード・オフ、機会費用、限界、インセンティブ、取引、神の見えざる手、政府の介入、インフレーション、失業 復習：経済のルールを再確認してください。</p> <p>【第3回】 予習：需要とは何かを調べておきましょう。 授業：世の中の財やサービスの価格と取引量の決め方を学びましょう。（1） ・経済の三主体の関係。 ・需要曲線とシフト要因。 復習：価格と取引量の決め方を見直しておいてください。</p> <p>【第4回】 予習：供給とは何かを調べておきましょう。 授業：世の中の財やサービスの価格と取引量の決め方を学びましょう。（2） ・供給曲線の導出とシフト要因。 復習：価格と取引量の決め方を見直しておいてください。</p> <p>【第5回】 予習：政府の介入の市場への影響を調べておきましょう。 授業：世の中の財やサービスの価格と取引量の決め方を学びましょう。（3） ・均衡価格、均衡取引量、政府の介入（租税）と死荷重。 復習：租税の影響を整理しておいてください。</p> <p>【第6回】 予習：GDPとは何か調べておきましょう。 授業：国内士の経済を比較する基準を知りましょう。 ・GDP、構成要素、名目GDP、実質GDP 復習：GDPを構成する要素を整理しておきましょう。</p> <p>【第7回】 予習：経済成長とは何か調べておきましょう。 授業：景気が「良い」、「悪い」と判断される理由を知りましょう。 ・経済成長率、名目経済成長率、実質経済成長率 復習：経済成長率を求められるようにしておきましょう。</p> <p>【第8回】 予習：貨幣とは何か調べておきましょう。 授業：景気を良くする方法を考えてみましょう。（1） ・貨幣の機能。金融政策。 復習：金融政策を整理しておきましょう。</p>			

<p>【第 9 回】 予習：公債とは何か調べてみましょう。 授業：景気を良くする方法を考えてみましょう。（2） ・財政の仕組み，財政政策 ・公債発行の問題 復習：財政健全化の方法を考えてみましょう。</p> <p>【第 10 回】 予習：租税とは何か調べておきましょう。 授業：日本が抱える問題について知りましょう。（1） ・租税の仕組み。 ・所得税の計算方法。 復習：所得税の計算方法を復習しておきましょう。</p> <p>【第 11 回】 予習：賦課方式と積立方式とは何か調べておきましょう。 授業：日本が抱える問題について知りましょう。（2） ・少子高齢化，年金の仕組み，世代会計 復習：年金は持続可能か考えてみましょう。</p> <p>【第 12 回】 予習：自分の住む地域の人口推移を調べておきましょう。 授業：日本が抱える問題について知りましょう。（3） ・地域間格差，地方分権，補助金政策 復習：地域活性化の方法を考えてみましょう。</p> <p>【第 13 回】 予習：日本の CO2 排出目標について調べておきましょう。 授業：日本が抱える問題について知りましょう。（4） ・CO2 排出目標，ESG 投資，原子力発電 復習：環境問題と経済の両立を考えてみましょう。</p> <p>【第 14 回】 予習：第 1 回～第 13 回の内容を復習しておきましょう。 授業：授業のまとめと復習 ・テストの練習，説明 復習：注意事項を確認し，テストの準備をしましょう。</p> <p>【第 15 回】 予習：第 1 回～第 14 回の内容を再確認・復習しておきましょう。 授業：授業内試験 復習：Classroom に掲示された解答例をもとに復習しておきましょう。</p>								
授業開始前学習	最近注目される社会現象や経済問題を多く取り上げます。そのため、日常より新聞やニュースに触れ、興味関心を持つよう心がけてください。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業内で小テストなど課題を課した場合は、次回授業以降に解答例を Classroom に掲示します。							
テキスト・教材	特に教科書は指定しませんが、初歩的な経済学の入門書の中から気に入ったものを購入することをおすすめします。							
参考書	講義内で適宜紹介します。							
評価の基準と方法	講義内課題：40% 期末試験：60%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△				
関連科目	後期開講の「世界の経済」と合わせて受講することで、日本と世界における経済に関する諸問題について、理解がより深まります。そのため、「日本の経済」を受講後に「世界の経済」を受講することをおすすめします。どちらかを単独で受講しても問題ありません。							
その他	経済や経済学についての専門知識は必要ありませんが、各回の内容には継続性があるため、毎回の講義へ参加することが重要になります。また、受講生の人数などによっては講義内容を変更する可能性があります。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	世界の経済		
科目分類	100-120-11	単位数	履修ガイド参照
英文名称	World Economy	授業区分	講義
科目責任者	羽田 翔	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	羽田 翔	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	世界経済の現状について、経済学の基礎的手法や統計データなどを用いることにより学修する。最終的に、貿易政策や他国との関係、時事問題を理解する力を養う。		
到達目標	世界経済の現状について幅広く、歴史、制度、経済理論、データによって多角的に理解する能力を修得する。そして、現代の世界経済が抱える課題を認識することができるようになる。		
アクティブ・ラーニング型授業	無		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：シラバスに目を通しておきましょう。新聞、ニュースなどで経済の問題に触れるようにしてください。 授業：履修上の注意点、なぜ世界の経済について学ぶのか。 ・稀少性、トレード・オフ、機会費用、限界、インセンティブ、取引、神の見えざる手、政府の介入、インフレーション、失業 復習：シラバスを読み直し、履修に向けて必要なことを確認しましょう。</p> <p>【第2回】 予習：需要と供給とは何かを調べておきましょう。 授業：世の中の財やサービスの価格と取引量の決め方を学びましょう。（1） ・経済の三主体の関係 ・需要曲線とシフト要因 ・供給曲線の導出とシフト要因 復習：価格と取引量の決め方を見直しておいてください。</p> <p>【第3回】 予習：政府の介入の市場への影響を調べておきましょう。 授業：世の中の財やサービスの価格と取引量の決め方を学びましょう。（2） ・均衡価格、均衡取引量、政府の介入（租税）と死荷重 復習：租税の影響を整理しておいてください。</p> <p>【第4回】 予習：GDPとは何か調べておきましょう。 授業：国同士の経済を比較する基準を知りましょう。 ・GDP、構成要素、名目GDP、実質GDP、経済成長率、名目経済成長率、実質経済成長率 復習：GDPを構成する要素を整理しておきましょう。</p> <p>【第5回】 予習：比較優位とは何か調べておきましょう。 授業：貿易の利益について知りましょう。（1） ・比較優位、貿易の利益 復習：貿易の利益を整理しておきましょう。</p> <p>【第6回】 予習：どのような企業が輸出しているか調べておきましょう。 授業：貿易の利益について知りましょう。（2） ・輸出企業の特徴 復習：輸出企業の特徴を整理しておきましょう。</p> <p>【第7回】 予習：TPPとRCEPについて調べておきましょう。 授業：アジア地域の貿易について。 ・地域経済統合、ASEAN、TPP、RCEP、中国、生産ネットワーク 復習：アジア地域の貿易協定について整理しておきましょう。</p> <p>【第8回】 予習：日本とEU諸国の主要な貿易取引について調べておきましょう。 授業：ヨーロッパ・北米諸国との貿易について。 ・EU、EPA、USMCA 復習：日本とEUのEPAについて整理しておきましょう。</p>			

<p>【第 9 回】 予習：外国為替レートについて調べておきましょう。 授業：通貨と国際資金循環について。 ・国際通貨，外国為替レート，国際資金循環，通貨危機 復習：国際資金循環について整理しておきましょう</p> <p>【第 10 回】 予習：世界金融危機について調べておきましょう。 授業：世界経済が抱える問題について知りましょう。（1） ・サブプライムローン問題，リーマンショック，世界金融危機 復習：リーマンショック発生の理由について整理しておきましょう。</p> <p>【第 11 回】 予習：SDGs について調べておきましょう。 授業：世界経済が抱える問題について知りましょう。（2） ・発展途上国，貧困，経済開発，SDGs 復習：発展途上国への支援の方法を考えてみましょう。</p> <p>【第 12 回】 予習：デジタル課税について調べておきましょう。 授業：世界経済が抱える問題について知りましょう。（3） ・デジタル課税，海外進出，海外直接投資，法人税 復習：企業の海外進出について整理しておきましょう。</p> <p>【第 13 回】 予習：世界における COVID-19 の状況について調べておきましょう。 授業：世界経済が抱える問題について知りましょう。（4） ・COVID-19，ヒト・モノの移動，ワクチン 復習：自由貿易の利益についてもう一度考えてみましょう。</p> <p>【第 14 回】 予習：第 1 回～第 13 回の内容を復習しておきましょう。 授業：授業のまとめと復習 ・テストの練習，説明 復習：注意事項を確認し，テストの準備をしましょう。</p> <p>【第 15 回】 予習：第 1 回～第 14 回の内容を再確認・復習しておきましょう。 授業：授業内試験 復習：Classroom に掲示された解答例をもとに復習しておきましょう。</p>								
授業開始前学習	最近注目される社会現象や経済問題を多く取り上げます。そのため、日常より新聞やニュースに触れ、興味関心を持つよう心がけてください。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業内で小テストなど課題を課した場合は、次回授業以降に解答例を Classroom に掲示します。							
テキスト・教材	特に教科書は指定しませんが、初歩的な国際経済学の入門書の中から気に入ったものを購入することをおすすめします。							
参考書	必要に応じて講義内で適宜紹介します。							
評価の基準と方法	講義内課題：40% 期末試験：60%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△				
関連科目	前期開講の「日本の経済」と合わせて受講することで、日本と世界における経済に関する諸問題について、理解がより深まります。そのため、「日本の経済」を受講後に「世界の経済」を受講することをおすすめします。どちらかを単独で受講しても問題ありません。							
その他	経済や経済学についての専門知識は必要ありませんが、各回の内容には継続性があるため、毎回の講義へ参加することが重要になります。また、受講生の人数などによっては講義内容を変更する可能性があります。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	新聞と報道		
科目分類	100-120-11 (J)	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Newspaper and Media	授業区分	講義
科目責任者	佐々木 竜介	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	佐々木 竜介	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	新聞を題材に、ニュース報道の読み方、報道の背景、意義を理解する。記事を「読む」、報道の背景を「考える」、考察を「書く」ことを通じて、メディアリテラシーの第一歩とする。		
到達目標	記事ジャンルごとの文脈を理解することで新聞のリテラシー能力を身につけるとともに、新聞報道の意義と社会における役割りを再確認、他のメディアのリテラシー能力の礎とする。		
アクティブ・ラーニング型授業	無		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：新聞やインターネットにてニュースに接すること 授業：新聞とインターネットの特性の違いについて 復習：配布物の読み返し</p> <p>【第2回】 予習：新聞の閲読 授業：新聞の歴史（講義ノートP3-7） 復習：新聞の読み返し</p> <p>【第3回】 予習：配布資料の閲読 授業：新聞とは（講義ノートP8-10） 復習：配布物の読み返し</p> <p>【第4回】 予習：事件・事故報道への接触（新聞に限らず） 授業：新聞の事件・事故報道（講義ノートP11-14） 復習：事件・事故報道に関する課題（講義の最後に提示）の考察</p> <p>【第5回】 予習：社会問題報道への接触（新聞に限らず） 授業：新聞の社会問題報道（講義ノートP15-21） 復習：社会問題報道に関する課題（講義の最後に提示）の考察</p> <p>【第6回】 予習：政治報道への接触（新聞に限らず） 授業：新聞の政治報道（講義ノートP22-26） 復習：政治報道に関する課題（講義の最後に提示）の考察</p> <p>【第7回】 予習：生活報道への接触（新聞に限らず） 授業：新聞の生活報道（講義ノートP27-32） 復習：生活報道に関する課題（講義の最後に提示）の考察</p> <p>【第8回】 予習：経済報道への接触（新聞に限らず） 授業：新聞の経済報道（講義ノートP33-34） 復習：経済報道に関する課題（講義の最後に提示）の考察</p> <p>【第9回】 予習：国際報道への接触（新聞に限らず） 授業：新聞の国際報道（講義ノートP35-38） 復習：国際報道に関する課題（講義の最後に提示）の考察</p> <p>【第10回】 予習：スポーツ報道への接触（新聞に限らず） 授業：新聞のスポーツ報道（講義ノートP39-42） 復習：スポーツ報道への接触（新聞に限らず）</p> <p>【第11回】 予習：文化報道への接触（新聞に限らず） 授業：新聞の文化報道（講義ノートP43-46） 復習：文化報道に関する課題（講義の最後に提示）の考察</p> <p>【第12回】 予習：科学報道の閲読、課題の考察（新聞に限らず） 授業：新聞の科学報道（講義ノートP47-53） 復習：科学報道に関する課題（講義の最後に提示）の考察</p>			

<p>【第13回】 予習：資料の閲読、課題の考察（いずれも13回時に配布、提示） 授業：新聞報道の問題点（講義ノートP54-59） 復習：新聞報道の問題点に関する課題（講義の最後に提示）の考察</p> <p>【第14回】 予習：資料の閲読、課題の考察（いずれも14回時に配布、提示） 授業：新聞の取材活動（講義ノートP60-68） 復習：新聞の取材活動に関する課題（講義の最後に提示）の考察</p> <p>【第15回】 予習：講義全般の復習 授業：1年間の新聞報道を振り返る 復習：課題（講義の最後に提示）の考察</p>								
授業開始前学習	どのメディアに限らず、日常生活において主体的にニュースに接していると、講義の内容が理解しやすくなる。新聞に普段接していない人でも、興味を持つきっかけとして受講してほしい。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎回講義の冒頭と途中に記述式の課題を出題。Classroomを通じて評価を戻すとともに、次回講義時に、解答をいくつか選び紹介、講評する。							
テキスト・教材	講義ノートを使用（初回講義時に配布） また毎回を新聞記事配布し、そちらも講義に使用する。新聞記事は Google Classroom にもアップするので、講義に出られなかった人はダウンロードしておくこと。							
参考書	講義ノートの最終ページに記載							
評価の基準と方法	講義参加の積極性 40%、課題（毎回講義中に課題） 40%、レポート（期末に提出）20%で評価 単位取得には講義の2/3以上の出席とレポートの提出が必要							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△				
関連科目	「メディアと報道」は、新聞単体から5マスメディアに広げたメディアリテラシー講義の応用編であり、次年度以降に合わせて受講してほしい。							
その他	初回の講義にて評価や出席など、受講の注意事項を説明する。見逃した場合は、終了後に録画をアップさせるので、そちらを視聴のこと。 伝達事項はポータルサイト内のクラスプロフィールに掲出するとともに、資料は Google Classroom に本講義のクラスを作るので、そこで配布する。Classroom ではミニ課題の受け付けなどを行う他、個別質問も受け付け、回答もここで行う。 また、内容は変更されることがある。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容	現在新聞社に勤務しており、豊富な事例を生かして講義を行う。							

科目名称	グローバル共生論		
科目分類	100-120-11 (J)	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Global Symbiosis Studies	授業区分	講義
科目責任者	杉野 知恵	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	杉野 知恵	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	前期 火曜日 10:40～12:10 水曜日 10:40～12:10 後期 火曜日 10:40～12:10 水曜日 10:40～12:10	研究室	10-713
授業概要	近年、グローバル化の進展とともに国境を越えた人的交流が活発化している。2020年以降はCOVID-19の影響があるものの、海外に長期滞在する日本人や在留外国人の数は増加傾向にある。グローバル共生論では、①私たちの周りの「多文化」化に目を向けながら、②異なる文化、言語、宗教などを有する人々とのコミュニケーションの現状と課題を考察し、③グローバル時代の生き方や多文化・多様性との共生のあり方を学ぶ。		
到達目標	①日本や海外の移民や外国人に関する制度や課題について理解し、説明することができる。 ②異なる文化や言葉有する人々と共に生きていくためにはどのような工夫が必要なのか、自分なりの考えを述べるができる。 ③グループワークへの参加を通して、受講生の意見を批判的に考察し、また自ら論理的に意見を述べるができるようになる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第1回 予習：グローバリゼーションから何を連想するか考えておく。 授業：私たちの生活とグローバリゼーション 復習：シラバスを読み直し、本講義を受講するかどうか検討する。</p> <p>第2回 予習：「異文化」とは何か、自分なりの定義をする。 授業：異文化体験 復習：授業を振り返り、課題①に取り組む。</p> <p>第3回 予習：自分のカルチャーショック体験について考える。 授業：カルチャーショック・異文化適応 復習：授業を振り返り、課題②に取り組む。</p> <p>第4回 予習：差別・偏見がなぜ起きるのか考える。 授業：固定概念・ステレオタイプ 復習：授業を振り返り、課題③に取り組む。</p> <p>第5回 予習：配布資料を読んでおく。 授業：ロールプレイから考える多文化共生（勤労に対する価値観の違い）（グループワーク） 復習：授業を振り返り、課題④に取り組む。</p> <p>第6回 予習：配布資料を読んでおく。 授業：ロールプレイから考える多文化共生（言語や教育に対する価値観の違い）（グループワーク） 復習：授業を振り返り、課題⑤に取り組む。</p> <p>第7回 予習：事前配布記事を読んでおく。 授業：ロールプレイから考える多文化共生（エスニックマイノリティ）（グループワーク） 復習：授業を振り返り、課題⑥に取り組む。</p> <p>第8回 予習：事前配布記事を読んでおく。 授業：ロールプレイから考える多文化共生（グローバル・コモンス）（グループワーク） 復習：授業を振り返り、課題⑦に取り組む。</p> <p>第9回 予習：事前配布記事を読んでおく。 授業：多みんぞくニホン・在留資格（グループワーク） 復習：授業を振り返り、課題⑧に取り組む。</p> <p>第10回 予習：発表の準備をする 授業：エスニックタウン・クイズ 復習：授業を振り返り、課題⑨に取り組む。</p> <p>第11回 予習：事前配布記事を読んでおく。 授業：移民とエスニック・コミュニティ 復習：授業を振り返り、課題⑩に取り組む。</p>			

<p>第12回 予習：事前配布資料を読んでおく。 授業：外国人差別 復習：授業を振り返り、課題⑩に取り組む。</p> <p>第13回 予習：事前配布記事を読んでおく。 授業：海外での危機管理（グループワーク） 復習：授業を振り返り、課題⑩に取り組む。</p> <p>第14回 予習：グローバル・シティズンシップ（世界市民）に必要な素質・素養について考える。 授業：グローバル・シティズンシップ／国際結婚 復習：授業を振り返り、課題⑩に取り組む。</p> <p>第15回 予習：これまでの授業を振り返り、何を学んだかまとめておく。 授業：グローバル化、多文化化する社会で生きるために 復習：自分にとってのグローバル共生とはどのようなことか考える。</p>								
授業開始前学習	経済、社会、政治など様々な観点からのグローバリゼーションやコミュニケーションに関する講義を受講中又は受講済みであることが望ましい。							
授業内課題のフィードバックの方法	課題①～⑩については、Google クラスルームの Google フォームから授業週の金曜日中に提出したのに対し、翌週の授業の冒頭で全体を総括したフィードバックを行います。							
テキスト・教材	授業内でレジュメ・資料などを配布する。							
参考書	受講生の関心と必要に応じ、授業内で指示する。							
評価の基準と方法	授業内課題①～⑩（50％）、期末課題（「多文化化」や共生に関して国や地域が抱える課題やグローバルな時代における共生のあり方についての論述、授業内で指示する）（35％）及びエスニックタウン・クイズ課題（最大 15％＊）により総合的に判断する。 ＊エスニックタウン・クイズ課題（問題作成及び解説）は希望者のみとし、クイズの問題作成を行わない人の成績は 85 点が上限になります。要領等の詳細は授業内で説明します。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△				
関連科目	異文化理解、異文化交流、観光文化入門、国際協力実習、ボランティア英語など							
その他	多文化共生をテーマとする授業なので、学年・学類・学科の混成で多文化を模したグループワーク（GW）を行います。毎年初めは GW を苦手だと感じるようですが、コミュニケーション力が身につく成長できたと期末に GW を高く評価する学生が多くいます。 毎週、授業での活動に基づく課題（授業のテーマと関連した事項についてさらに調べたうえで、意見を述べる）があるので、欠席をすると課題に取り組めません。授業を欠席して課題のみ提出した場合や授業にのみ出席し課題を提出しない場合は、出席になりませんのでご注意ください。初回授業での説明をよく聞き、授業後必ず期限内に課題を提出してください。期限後の課題提出はシステム上でできなくなります。 授業の内外で新聞や資料をよく読むため、普段から「読む」習慣をつけておくこと。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容	外務省職員として、バングラデシュ、ヨルダン、スーダンの日本大使館やシカゴの日本総領事館での勤務や出張・観光で様々な国・地域を訪問した経験を活かし、異文化コミュニケーションやグローバルな時代の生き方、海外での危機管理についての講義を行う。							

科目名称	法学		
科目分類	100-120-11	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Law	授業区分	講義
科目責任者	福王 守	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	福王 守	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	前期 火曜日 09:00～10:30 木曜日 10:30～12:00 後期 火曜日 09:00～10:30 木曜日 10:30～12:00	研究室	10-614
授業概要	私たちの生活は、法によって規律されています。法は社会をよりよく営んでいくための手段です。その一方で、時にこれは私たちの生活を厳しく制限します。ゆえに、「秩序」と「正義」という相矛盾しがちな二つの目的について、いかに妥協点を模索するかが法の責務であるといわれます。前期の授業では、近代以降の市民社会のあゆみを踏まえて、「法とは何か」ということをていねいに伝えたいと思います。できるだけ、身近な裁判例なども紹介します。新聞やテレビの社会問題などについて、結論を急がずに考えるためのきっかけとなれば幸いです。		
到達目標	市民社会における客観的な判断基準としての「法」の役割を踏まえて、異なる意見を踏まえつつ筋道を立てて未解決の社会問題を考える力を身につけることを目標とします。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
※ 毎回の授業後には、「問題解決型学習」の手段として課題レポートを作成してもらい、次回授業時にこれに対する解説と質問への回答を行います。			
<p>【第1回】 予習：本科目シラバスおよびテキストiii～x頁の講読 授業：法学とは：この授業の目的・内容・学習方法について【テキストiii～x頁】 復習：テキストiii～x頁の再読、【第1回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p> <p>【第2回】 予習：テキスト7～21頁の講読およびキーワードの確認 授業：市民社会と法：法の特性と日本の法体系【テキスト7～21頁】 復習：テキスト7～21頁の再読、【第2回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p> <p>【第3回】 予習：テキスト210～219頁の講読およびキーワードの確認 授業：市民社会と法：近代市民社会の特徴と法的要請【テキスト210～219頁】 復習：テキスト210～219頁の再読、【第3回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p> <p>【第4回】 予習：テキスト21～32頁の講読およびキーワードの確認 授業：市民社会と法：法目的としての「秩序と正義」【テキスト21～32頁】 復習：テキスト21～32頁の再読、【第4回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p> <p>【第5回】 予習：テキスト49～59頁の講読およびキーワードの確認 授業：法のあり方：実定法の意義と問題点【テキスト49～59頁】 復習：テキスト49～59頁の再読、【第5回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p> <p>【第6回】 予習：テキスト59、130～132頁の講読およびキーワードの確認 授業：法のあり方：判例法と裁判【テキスト59、130～132頁】 復習：テキスト59、130～132頁の再読、【第6回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p> <p>【第7回】 予習：テキスト64～65頁の講読およびキーワードの確認 授業：法のあり方：条理と裁判【テキスト64～65頁】 復習：テキスト64～65頁の再読、【第7回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p> <p>【第8回】 予習：テキスト66～69頁の講読およびキーワードの確認 授業：法の適用：事実認定【テキスト66～69頁】 復習：テキスト66～69頁の再読、【第8回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p> <p>【第9回】 予習：テキスト69～75頁の講読およびキーワードの確認 授業：法の適用：法解釈における学説の対立【テキスト69～75頁】 復習：テキスト69～75頁の再読、【第9回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p> <p>【第10回】 予習：第2回～9回までのテキスト全学習頁の講読およびキーワードの確認 授業：これまでの授業の総括と発展学習の手引：授業全体の体系的整理と論証に向けて（問題解決型学習）【テキスト全学習頁】 復習：テキスト全学習頁の再読、【第10回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p> <p>【第11回】 予習：テキスト83～85頁の講読およびキーワードの確認 授業：法の体系：公法と私法の区分【テキスト83～85頁】 復習：テキスト83～85頁の再読、【第11回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p>			

<p>【第12回】 予習：テキスト85～88、219～221頁の講読およびキーワードの確認 授業：法の体系：公法と私法の分離と融合【テキスト85～88、219～221頁】 復習：テキスト85～88、219～221頁の再読、【第12回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p> <p>【第13回】 予習：テキスト157～179頁の講読およびキーワードの確認 授業：法の体系：社会法の特徴と種類【テキスト157～179頁】 復習：テキスト157～179頁の再読、【第13回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p> <p>【第14回】 予習：テキスト7157～179頁の講読およびキーワードの確認 授業：法の体系：社会法をめぐる今日の問題【テキスト157～179頁】 復習：テキスト157～179頁の再読、【第14回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p> <p>【第15回】 予習：テキストiii～x頁の講読およびキーワードの確認 授業：「法学」発展学習の手引き：授業全体の体系的整理と論証に向けて（問題解決型学習）【テキスト全学習頁】 復習：テキスト全学習頁の再読、【第15回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p>								
授業開始前学習	テレビや新聞の社会面・政治面の報道に、少しでも多く接する機会をもって下さい。必ずどこかで授業理解の助けになります。							
授業内課題のフィードバックの方法	適宜次回の授業冒頭において課題レポートに対する講評と質問への回答を述べます。また第10回および15回目において、レポート課題全般に関する講評と個々の問題解決に向けた助言等を行います。							
テキスト・教材	伊藤正巳・加藤一郎編『現代法学入門（第4版）』（有斐閣、2005年） 『ポケット六法（令和5年版）』（有斐閣、2022年）							
参考書	授業を通じて適宜紹介します。							
評価の基準と方法	<ul style="list-style-type: none"> ・15回のレポートの総合点で評価します（10点×15回＝150点を100点満点に換算）。 ・単位取得の前提として、すべての授業回数のうち10回以上の提出が必要です。 							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○	△		◎				
関連科目	法律学を学ぶ上で、最も基礎となる入門科目です。この授業に基づいて、発展科目としての「法と社会」が組み立てられています。また、日本国憲法Ⅰ・Ⅱも関連性をもって構成されています。							
その他								
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	法と社会		
科目分類	100-120-11	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Law and Society	授業区分	講義
科目責任者	福王 守	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	福王 守	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	前期 火曜日 09:00～10:30 木曜日 10:30～12:00 後期 火曜日 09:00～10:30 木曜日 10:30～12:00	研究室	10-614
授業概要	法は、人々が社会生活をよりよく営むための手段です。また一方で、法は私たちの生活を強く制約することがあります。あるべき法の姿を方向づけていくのは、私たち一人ひとりの考えに裏づけられた、世論です。この授業では、法と社会の関わりについて基本的な知識を伝えます。未解決な社会問題を考える際に、ひとつの手がかりを提供できれば幸いです。後期の授業では、個々の法のあり方を具体的に紹介した上で、後半において現代社会の抱える高齢社会の問題について考えます。		
到達目標	市民社会における客観的な判断基準としての「法」の役割を踏まえて、異なる意見を踏まえつつ筋道を立てて未解決の社会問題を考える力を身につけることを目標とします。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
※ 毎回の授業後には、「問題解決型学習」の手段として課題レポートを作成してもらい、次回授業時にこれに対する解説と質問への回答を行います。			
【第1回】 予習：本科目シラバスおよびテキストiii～x頁の講読 授業：法学とは：この授業の目的・内容・学習方法について【テキストiii～x頁】 復習：テキストiii～x頁の再読、【第1回】授業ノートおよび配布プリントの整理			
【第2回】 予習：テキスト7～21、83～85、210頁の講読およびキーワードの確認 授業：市民社会と法：日本法体系の今日的起源と特徴【テキスト7～21、83～85、210～219頁】 復習：テキスト7～21、83～85、210～219頁の再読、【第2回】授業ノートおよび配布プリントの整理			
【第3回】 予習：テキスト94～110頁の講読およびキーワードの確認 授業：国家の基本法：日本国憲法制定の背景【テキスト94～110頁】 復習：テキスト94～110頁の再読、【第3回】授業ノートおよび配布プリントの整理			
【第4回】 予習：テキスト94～110頁の講読およびキーワードの確認 授業：国家の基本法：日本憲法の抱える今日的課題【テキスト94～110頁】 復習：テキスト94～110頁の再読、【第4回】授業ノートおよび配布プリントの整理			
【第5回】 予習：テキスト141～156頁の講読およびキーワードの確認 授業：財産と家族：民法（財産法）について【テキスト141～156頁】 復習：テキスト141～156頁の再読、【第5回】授業ノートおよび配布プリントの整理			
【第6回】 予習：テキスト128～140頁の講読およびキーワードの確認 授業：財産と家族：民法（家族法）について【テキスト128～140頁】 復習：テキスト128～140頁の再読、【第6回】授業ノートおよび配布プリントの整理			
【第7回】 予習：テキスト111～127頁の講読およびキーワードの確認 授業：犯罪と刑罰：刑法について【テキスト111～127頁】 復習：テキスト111～127頁の再読、【第7回】授業ノートおよび配布プリントの整理			
【第8回】 予習：テキスト118～119頁の講読およびキーワードの確認 授業：犯罪と刑罰：未成年者の犯罪と処遇【テキスト118～119頁】 復習：テキスト118～119頁の再読、【第8回】授業ノートおよび配布プリントの整理			
【第9回】 予習：テキスト180～203頁の講読およびキーワードの確認 授業：国家と国際機構：国際法について【テキスト180～204頁】 復習：テキスト180～203頁の再読、【第9回】授業ノートおよび配布プリントの整理			
【第10回】 予習：第2回～9回までのテキスト全学習頁の講読およびキーワードの確認 授業：これまでの授業の総括と発展学習の手引：授業全体の体系的整理と論証に向けて（問題解決型学習）【テキスト全学習頁】 復習：テキスト全学習頁の再読、【第10回】授業ノートおよび配布プリントの整理			
【第11回】 予習：テキスト200～201頁の講読およびキーワードの確認 授業：国家と国際機構：国連とUNICEF【テキスト200～201頁】 復習：テキスト200～201頁の再読、【第11回】授業ノートおよび配布プリントの整理			

<p>【第12回】 予習：テキスト 157～179 頁の講読およびキーワードの確認 授業：福祉と法：社会法の意義 【テキスト 157～179 頁】 復習：テキスト 157～179 頁の再読、【第12回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p> <p>【第13回】 予習：テキスト 157～161 頁の講読およびキーワードの確認 授業：高齢社会と法：少子高齢社会と社会保障法 【テキスト 157～161 頁】 復習：テキスト 157～161 頁の再読、【第13回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p> <p>【第14回】 予習：テキスト 160～161 頁の講読およびキーワードの確認 授業：高齢社会と法：高齢者福祉のあゆみと課題 【テキスト 160～161 頁】 復習：テキスト 160～161 頁の再読、【第14回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p> <p>【第15回】 予習：テキスト iii～x 頁の講読およびキーワードの確認 授業：「法と社会」発展学習の手引き：授業全体の体系的整理と論証に向けて（問題解決型学習）【テキスト 全学習頁】 復習：テキスト全学習頁の再読、【第15回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p>								
授業開始前学習	テレビや新聞の社会面・政治面の報道に、少しでも多く接する機会をもって下さい。必ずどこかで授業理解の助けになります。							
授業内課題のフィードバックの方法	適宜次回の授業冒頭において課題レポートに対する講評と質問への回答を述べます。また第10回および15回目において、レポート課題全般に関する講評と個々の問題解決に向けた助言等を行います。							
テキスト・教材	伊藤正巳・加藤一郎編『現代法学入門（第4版）』（有斐閣、2005年） 『ポケット六法（令和5年版）』（有斐閣、2022年）							
参考書	授業を通じて適宜紹介します。							
評価の基準と方法	・15回のレポートの総合点で評価します（10点×15回=150点を100点満点に換算）。 ・単位取得の前提として、15回の授業のうち10回以上の提出が必要です。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○	△		◎				
関連科目	「法学」を基礎として、授業が組み立てられています。同授業を十分に参考にしてください。							
その他								
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	日本国憲法 I		
科目分類	100-121-11	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Japanese Constitution I	授業区分	講義
科目責任者	福王 守	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	福王 守	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	前期 火曜日 09:00～10:30 木曜日 10:30～12:00 後期 火曜日 09:00～10:30 木曜日 10:30～12:00	研究室	10-614
授業概要	日本国憲法とは、日本国のあり方を定めた基本法を意味します。これは、一人ひとりの国民を人格の担い手として尊重するという、例外を許さない価値観の下に作られました。なぜ、第二次世界大戦後にこの憲法は制定されたのでしょうか。そして、なぜ「基本的人権の尊重」、「国民主権」、および「平和主義」という 3 つの柱が立てられたのでしょうか。この授業では、はじめにこのような基本的な仕組みを歴史的に検証します。その上で、第 1 の柱である「基本的人権の尊重」について、急がずに具体例を踏まえつつ理解を深めたいと思います。		
到達目標	日本国における基本法である「日本国憲法」の役割を踏まえ、異なる意見を踏まえつつ筋道を立てて未解決の社会問題を考える力を身につけることを目標とします。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
※ 毎回の授業後には、「問題解決型学習」の手段として課題レポートを作成してもらい、次回授業時にこれに対する解説と質問への回答を行います。			
【第 1 回】 予習：本科目シラバスおよびテキスト目次 1～11 頁の講読 授業：「日本国憲法」とは：授業の目的・内容・学習方法について【テキスト 目次 1～11 頁】 復習：テキスト目次 1～11 頁の再読、第 1 回授業ノートおよび配布プリントの整理			
【第 2 回】 予習：テキスト 3 頁の講読およびキーワードの確認 授業：市民社会と法：法の役割と憲法の意義 【テキスト 3 頁】 復習：テキスト 3 頁の再読、第 2 回授業ノートおよび配布プリントの整理			
【第 3 回】 予習：テキスト 13～16 頁の講読およびキーワードの確認 授業：日本国憲法の背景：立憲主義と個人の尊厳 【テキスト 13～16 頁】 復習：テキスト 13～16 頁の再読、第 3 回授業ノートおよび配布プリントの整理			
【第 4 回】 予習：テキスト 17～26 頁の講読およびキーワードの確認 授業：日本国憲法の背景：戦後憲法制定の背景 【テキスト 17～26 頁】 復習：テキスト 17～26 頁の再読、第 4 回授業ノートおよび配布プリントの整理			
【第 5 回】 予習：テキスト 27～31 頁の講読およびキーワードの確認 授業：憲法の目的と趣旨：日本国憲法前文の意味 【テキスト 27～31 頁】 復習：テキスト 27～31 頁の再読、第 5 回授業ノートおよび配布プリントの整理			
【第 6 回】 予習：テキスト 32～43 頁の講読およびキーワードの確認 授業：憲法の目的と趣旨：平和主義原理と平和的生存権 【テキスト 32～43 頁】 復習：テキスト 32～43 頁の再読、第 6 回授業ノートおよび配布プリントの整理			
【第 7 回】 予習：テキスト 15、29、53 頁の講読およびキーワードの確認 授業：憲法の目的と趣旨：基本的人権尊重原理と人権の類型 【テキスト 15、29、53 頁】 復習：テキスト 15、29、53 頁の再読、第 7 回授業ノートおよび配布プリントの整理			
【第 8 回】 予習：テキスト 73～81 頁の講読およびキーワードの確認 授業：人権の基本：包括的基本権としての幸福追求権 【テキスト 73～81 頁】 復習：テキスト 73～81 頁の再読、第 8 回授業ノートおよび配布プリントの整理			
【第 9 回】 予習：テキスト 81～88 頁の講読およびキーワードの確認 授業：人権の基本：法の下での平等 【テキスト 81～88 頁】 復習：テキスト 81～88 頁の再読、第 9 回授業ノートおよび配布プリントの整理			
【第 10 回】 予習：第 2 回～9 回までのテキスト全学習頁の講読およびキーワードの確認 授業：これまでの授業の総括と発展学習の手引：授業全体の体系的整理と論証に向けて（課題解決型学習）【テキスト全学習頁】 復習：テキスト全学習頁の再読、【第 10 回】授業ノートおよび配布プリントの整理			
【第 11 回】 予習：テキスト 134～150 頁の講読およびキーワードの確認 授業：人身の自由：奴隷的拘束からの自由・適正手続と刑罰 【テキスト 134～150 頁】 復習：テキスト 134～150 頁の再読、第 11 回授業ノートおよび配布プリントの整理			

<p>【第 12 回】 予習 : テキスト 161～168 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 社会権 : 福祉国家思想と社会権 【テキスト 161～168 頁】 復習 : テキスト 161～168 頁の再読、第 12 回授業ノートおよび配布プリントの整理</p> <p>【第 13 回】 予習 : テキスト 162～168 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 社会権 : 生存権 【テキスト 162～168 頁】 復習 : テキスト 162～168 頁の再読、第 13 回授業ノートおよび配布プリントの整理</p> <p>【第 14 回】 予習 : テキスト 168～172 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 社会権 : 教育を受ける権利 【テキスト 168～172 頁】 復習 : 頁の再読、第 14 回授業ノートおよび配布プリントの整理</p> <p>【第 15 回】 予習 : テキスト目次 1～11 頁の講読およびキーワードの確認 授業 : 「日本国憲法 I」発展学習の手引き : 授業全体の体系的整理と論証に向けて (課題解決型学習) 【テキスト全学習頁】 復習 : テキスト全学習頁の再読、第 15 回授業ノートおよび配布プリントの整理</p>

授業開始前学習	テレビや新聞の社会面・政治面の報道に、少しでも多く接する機会をもって下さい。必ずどこかで授業理解の助けになります。							
授業内課題のフィードバックの方法	適宜次回の授業冒頭において課題レポートに対する講評と質問への回答を述べます。また第 10 回および 15 回目において、レポート課題全般に関する講評と個々の問題解決に向けた助言等を行います。							
テキスト・教材	古野豊秋・畑尻剛編『新・スタンダード憲法 (第 4 版補訂版)』(尚学社、2016 年) 『ポケット六法 (令和 5 年版)』(有斐閣、2022 年)							
参考書	授業を通じて適宜紹介します。							
評価の基準と方法	<ul style="list-style-type: none"> ・15 回のレポートの総合点で 100%評価します (10 点×15 回 = 150 点を 100 点満点に換算)。 ・単位取得のためには、すべての授業回数のうち出席を前提とした 10 回以上の提出が必要です。 							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○	△		◎				
関連科目	「法学」および「法と社会」を基礎として、授業が組み立てられています。よりよく授業理解を深めるためにも、同授業の履修を勧めます。							
その他								
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 60 時間 (4 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	日本国憲法Ⅱ		
科目分類	100-121-11	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Japanese Constitution Ⅱ	授業区分	講義
科目責任者	福王 守	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	福王 守	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	前期 火曜日 09:00～10:30 木曜日 10:30～12:00 後期 火曜日 09:00～10:30 木曜日 10:30～12:00	研究室	10-614
授業概要	現在の日本国憲法は、戦前に対する深い反省の下で制定されました。一人ひとりの国民を人格の担い手として尊重するために、憲法は国家の政治のあり方を定めています。この授業では、こうした国家統治の仕組みを中心に学びます。さらに、現在憲法をめぐる議論されている問題点についても触れていきます。結論を急がずに、私たちの社会における基本法のあり方を考えていきましょう。		
到達目標	日本国における基本法である「日本国憲法」の役割を踏まえ、異なる意見を踏まえつつ筋道を立てて未解決の社会問題を考える力を身につけることを目標とします。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
※ 毎回の授業後には、「問題解決型学習」の手段として課題レポートを作成してもらい、次回授業時にこれに対する解説と質問への回答を行います。			
【第1回】 予習：本科目シラバスおよびテキスト目次 1～11 頁の講読 授業：「日本国憲法」とは：この授業の目的・内容・学習方法【テキスト 目次 1～11 頁】 復習：テキスト目次 1～11 頁の再読、【第1回】授業ノートおよび配布プリントの整理			
【第2回】 予習：テキスト 3 頁の講読およびキーワードの確認 授業：市民社会と法：法の役割と憲法の意義【テキスト 3 頁】 復習：テキスト 3 頁の再読、【第2回】授業ノートおよび配布プリントの整理			
【第3回】 予習：テキスト 13～16 頁の講読およびキーワードの確認 授業：日本国憲法の背景：立憲主義と個人の尊厳【テキスト 13～16 頁】 復習：テキスト 13～16 頁の再読、【第3回】授業ノートおよび配布プリントの整理			
【第4回】 予習：テキスト 17～26 頁の講読およびキーワードの確認 授業：日本国憲法の背景：戦後憲法制定の背景【テキスト 17～26 頁】 復習：テキスト 17～26 頁の再読、【第4回】授業ノートおよび配布プリントの整理			
【第5回】 予習：テキスト 27～29 頁の講読およびキーワードの確認 授業：日本国憲法の目的と趣旨：憲法前文の意味【テキスト 27～29 頁】 復習：テキスト 27～29 頁の再読、【第5回】授業ノートおよび配布プリントの整理			
【第6回】 予習：テキスト 9～10、27～29 頁の講読およびキーワードの確認 授業：国民主権について：立憲民主主義と権力分立との関わりから【テキスト 9～10、27～29 頁】 復習：テキスト 9～10、27～29 頁の再読、【第6回】授業ノートおよび配布プリントの整理			
【第7回】 予習：テキスト 187～193 頁の講読およびキーワードの確認 授業：国会：立法機関としての地位と役割【テキスト 187～193 頁】 復習：テキスト 187～193 頁の再読、【第7回】授業ノートおよび配布プリントの整理			
【第8回】 予習：テキスト 193～207 頁の講読およびキーワードの確認 授業：国会：国会と議院の権能【テキスト 193～207 頁】 復習：テキスト 193～207 頁の再読、【第8回】授業ノートおよび配布プリントの整理			
【第9回】 予習：テキスト 208～214 頁の講読およびキーワードの確認 授業：内閣：行政機関としての地位と役割【テキスト 208～214 頁】 復習：テキスト 208～214 頁の再読、【第9回】授業ノートおよび配布プリントの整理			
【第10回】 予習：第2回～9回までのテキスト全学習頁の講読およびキーワードの確認 授業：これまでの授業の総括と発展学習の手引：授業全体の体系的整理と論証に向けて（課題解決型学習）【テキスト全学習頁】 復習：テキスト全学習頁の再読、【第10回】授業ノートおよび配布プリントの整理			
【第11回】 予習：テキスト 218～227 頁の講読およびキーワードの確認 授業：裁判所：司法機関としての地位と役割【テキスト 218～227 頁】 復習：テキスト 218～227 頁の再読、【第11回】授業ノートおよび配布プリントの整理			

<p>【第12回】 予習：テキスト227～234頁の講読およびキーワードの確認 授業：裁判所：司法権の独立と民主的統制【テキスト227～234頁】 復習：テキスト227～234頁の再読、【第12回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p> <p>【第13回】 予習：テキスト234頁の講読およびキーワードの確認 授業：裁判所：裁判員制度【テキスト234頁】 復習：テキスト234頁の再読、【第13回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p> <p>【第14回】 予習：テキスト235～248頁の講読およびキーワードの確認 授業：違憲審査制：憲法の保障と付随的違憲審査制【テキスト235～248頁】 復習：テキスト235～248頁の再読、【第14回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p> <p>【第15回】 予習：テキスト目次1～11頁の講読およびキーワードの確認 授業：「日本国憲法Ⅱ」発展学習の手引き：授業全体の体系的整理と論証に向けて【テキスト全学習頁】 復習：テキスト全学習頁の再読、【第15回】授業ノートおよび配布プリントの整理</p>

授業開始前学習	テレビや新聞の社会面・政治面の報道に、少しでも多く接する機会をもって下さい。必ずどこかで授業理解の助けになります。							
授業内課題のフィードバックの方法	適宜次回の授業冒頭において課題レポートに対する講評と質問への回答を述べます。また第10回および15回目において、レポート課題全般に関する講評と個々の問題解決に向けた助言等を行います。							
テキスト・教材	古野豊秋・畑尻剛編『新・スタンダード憲法（第4版補訂版）』（尚学社、2016年） 『ポケット六法（令和5年版）』（有斐閣、2022年）							
参考書	授業を通じて適宜紹介します。							
評価の基準と方法	<ul style="list-style-type: none"> ・15回のレポートの総合点で100%評価します（10点×15回＝150点を100点満点に換算）。 ・単位取得の前提として、すべての授業回数のうち10回以上の提出が必要です。 							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○	△		◎				
関連科目	「法学」および「法と社会」を基礎として授業が組み立てられています。よりよく授業理解を深めるためにも、同授業の履修を勧めます。							
その他								
予習・復習の所要時間	講義時間30時間（2時間×15週）＋予習・復習時間60時間（4時間×15週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	社会学 I		
科目分類	100-120-11	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Sociology I	授業区分	講義
科目責任者	平野 直子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	平野 直子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	「近代社会」という言葉は単に最近の社会ということではなく、社会の特定の様式のことを指している。社会学はこの「近代」を深く考察することから生まれたものであり、その基本的な考え方や方法を学ぶことで、われわれが普段当たり前と見なしている 21 世紀日本社会のあり方や諸問題を新たな視点で考えることができる。前期（「社会学 I」）はこの社会学の基本的な考え方を、「再帰性」をキーワードに、伝統や宗教などの具体的なトピックを上げながら解説していく。		
到達目標	社会学的な視点や方法の特徴を理解する。またそれを用いて「近代社会」としての現代日本社会の諸問題を理解し、深く考察する力を得る。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
第 1 回	予習：「社会」とは何か、授業前の自分の考えをまとめておく。 授業：授業の目的と進め方、社会学の関心について 復習：「社会」とは何か、授業をもとに自分なりにまとめる		
第 2 回	予習：配布資料「近代社会」の誕生と社会学を読む 授業：「近代社会」の誕生と社会学 復習：近代社会の成り立ちについて、授業をもとにまとめる		
第 3 回	予習：配布資料「近代」の特質についての諸議論を読む 授業：「近代」の特質についての諸議論 復習：「近代」の特質についての諸議論を、授業をもとにまとめる		
第 4 回	予習：配布資料「社会学の関心（1）デュルケム『自殺論』より その 1」を読む 授業：社会学の関心（1）デュルケム『自殺論』より その 1 復習：『自殺論』の関心と方法についてまとめる		
第 5 回	予習：配布資料「社会学の関心（2）デュルケム『自殺論』より その 2」を読む 授業：社会学の関心（2）デュルケム『自殺論』より その 2 復習：『自殺論』の中の社会学的視点についてまとめる		
第 6 回	予習：配布資料「社会学の関心（3）ウェーバー『プロテスタンティズムの精神と資本主義の精神』より その 1」を読む 授業：社会学の関心（3）ウェーバー『プロテスタンティズムの精神と資本主義の精神』より その 1 復習：ウェーバー社会学の特徴についてまとめる		
第 7 回	予習：配布資料「社会学の関心（4）ウェーバー『プロテスタンティズムの精神と資本主義の精神』より その 2」を読む 授業：社会学の関心（4）ウェーバー『プロテスタンティズムの精神と資本主義の精神』より その 2 復習：『プロテスタンティズムの精神と資本主義の精神』の中の社会学的視点についてまとめる		
第 8 回	予習：配布資料「伝統社会」と「近代」を読む 授業：「伝統社会」と「近代」 復習：「近代」についての議論をもとに、「そうではない社会」を考察しまとめる		
第 9 回	予習：配布資料「ハイモダニティとは」を読む 授業：「ハイモダニティとは」 復習：「ハイモダニティ」の社会の特徴についてまとめる		
第 10 回	予習：配布資料「社会学から見た宗教」を読む 授業：社会学から見た宗教 復習：社会学における宗教についての諸議論をまとめる		
第 11 回	予習：配布資料「新宗教と日本の 20 世紀」を読む 授業：新宗教と日本の 20 世紀 復習：新宗教の歩みと日本社会の変化についてまとめる		
第 12 回	予習：配布資料「現代社会と「宗教っぽいもの」（1）セラピー文化、心理学的化」を読む 授業：現代社会と「宗教っぽいもの」（1）セラピー文化、心理学的化 復習：周囲にセラピー的な言説を見つけ、そのはたらきを考える		
第 13 回	予習：配布資料「現代社会と「宗教っぽいもの」（2）消費社会と「スピリチュアル」」を読む 授業：現代社会と「宗教っぽいもの」（2）消費社会と「スピリチュアル」 復習：周囲で消費されている「宗教っぽいもの」を見つけ、そのはたらきを考える		
第 14 回	予習：配布資料「再帰的近代」とは」を読む 授業：「再帰的近代」とは 復習：近代社会における「再帰性」についての諸議論をまとめる		
第 15 回	予習：これまでの教材をすべて再読する 授業：「近代社会」としての現代日本 復習：「近代」についてのこれまでの議論をもとに、現代日本社会のあり方を考察する		

授業開始前学習	「近代」とはどのようなものか、授業前の自分の考えをまとめておく。							
授業内課題の フィードバックの方法	提出された授業内課題の回答とそれへのリプライは、文書にまとめて次の授業までに Google classroom にアップロードする。授業内でも紹介と解説を行い、受講者間で共有する。							
テキスト・教材	特に指定しない。適宜、教場で資料を配布する。							
参考書	授業中に随時紹介する。							
評価の基準と方法	原則として学期末の最終レポート（100%）によって評価するが、授業内課題の回答状況・提出状況を加味する場合がある。なお単位の取得には全授業回数の3分の2以上の出席を必要とする。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△				
関連科目								
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・講義は、原則として【授業内容】に記載したとおりに進める予定であるが、講義の進捗状況や社会情勢等の都合から変更する場合がある。 ・授業中の私語は禁止する。 							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	社会学Ⅱ		
科目分類	100-120-11	単位数	履修ガイド参照
英文名称	SociologyⅡ	授業区分	講義
科目責任者	平野 直子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	平野 直子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	「近代社会」という言葉は単に最近の社会ということではなく、社会の特定の様式のことを指している。社会学はこの「近代」を深く考察することから生まれたものであり、その基本的な考え方や方法を学ぶことで、われわれが普段当たり前と見なしている 21 世紀日本社会のあり方や諸問題を新たな視点で考えることができる。後期（「社会学Ⅱ」）は前期（「社会学Ⅰ」）に登場した「再帰性」というキーワードをもとに、家族、身体、医療をめぐる現代社会の問題について論じていく。		
到達目標	社会学的な視点や方法の特徴を理解する。またそれを用いて「近代社会」としての現代日本社会の諸問題を理解し、深く考察する力を得る。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
第 1 回	予習： 家族、身体、医療をめぐる近年の問題に関心に向けておく 授業： 授業の目的と進め方、社会の変化と家族、身体、医療 復習： 家族や医療、身体観が時代により変化しているか、どのような変化か、身近な人から話を聞く		
第 2 回	予習： 配布資料「社会学における「家族」」を読む 授業： 社会学における「家族」 復習： 社会学史における家族について、授業をもとにまとめる		
第 3 回	予習： 配布資料「近代家族」をめぐる諸議論を読む 授業： 「近代家族」をめぐる諸議論 復習： 近代家族をめぐる諸分野の議論について、授業をもとにまとめる		
第 4 回	予習： 配布資料「日本における「近代家族」」を読む 授業： 日本における「近代家族」 復習： 日本における「近代家族」の変遷についてまとめ、自分の家族観と比較する		
第 5 回	予習： 配布資料「恋愛と結婚の現在」を読む 授業： 恋愛と結婚の現在 復習： 授業で示された図表とそれに関する議論をもとに、現代日本社会における恋愛と結婚についてまとめる		
第 6 回	予習： 配布資料「親になること」の現在」を読む 授業： 「親になること」の現在 復習： 授業で示された図表を見直し、現代日本社会で「子どもを持つこと」の現状についてまとめる		
第 7 回	予習： 配布資料「ジェンダーと現代家族（1）」を読む 授業： ジェンダーと現代家族（1） 復習： 授業で示された図表から、ジェンダーと現代家族をめぐる諸問題についてまとめる		
第 8 回	予習： 配布資料「ジェンダーと現代家族（2）」を読む 授業： ジェンダーと現代家族（2） 復習： ジェンダーと現代家族をめぐる諸問題を、労働と家族という側面から考える		
第 9 回	予習： 配布資料「高齢社会と家族／消費社会と家族」を読む 授業： 高齢社会と家族／消費社会と家族 復習： 家族をめぐる情報やサービスの現代家族生活への影響についてまとめる		
第 10 回	予習： 配布資料「社会学における身体」を読む 授業： 社会学における身体 復習： 社会学における身体をめぐる議論の特徴についてまとめる		
第 11 回	予習： 配布資料「消費社会と身体（1）ライフスタイルの選択と消費」を読む 授業： 消費社会と身体（1）ライフスタイルの選択と消費 復習： 衣・食などライフスタイル選択に関わる消費と身体への影響について、自分の経験をもとに考え、まとめる		
第 12 回	予習： 配布資料「消費社会と身体（2）消費の舞台としての身体」を読む 授業： 消費社会と身体（2）消費の舞台としての身体 復習： ダイエットや健康などをめぐる消費活動とその身体への影響について、自分の経験をもとに考え、まとめる		
第 13 回	予習： 配布資料「専門家の知と身体（1）「近代」における専門家の役割」を読む 授業： 専門家の知と身体（1）「近代」における専門家の役割 復習： 「近代社会」における専門家の役割についてまとめる		
第 14 回	予習： 配布資料「専門家の知と身体（2）挑戦にあふ専門知」を読む 授業： 専門家の知と身体（2）挑戦にあふ専門知 復習： 「ハイモダニティ」のもとで専門家の知が問い直される仕組みについてまとめ、自分の考えを書き出す		
第 15 回	予習： これまでの教材をすべて再読する 授業： 後期近代社会としての現代日本社会 復習： これまでの議論をもとに、後期近代社会としての現代日本社会のあり方を考察する		

授業開始前学習	「近代」の特質に関する社会学の諸議論について、前期授業プリントもしくは社会学の入門書で確認しておく。							
授業内課題のフィードバックの方法	提出された授業内課題の回答とそれへのリプライは、文書にまとめて次の授業までに Google classroom にアップロードする。授業内でも紹介と解説を行い、受講者間で共有する。							
テキスト・教材	特に指定しない。適宜、教場で資料を配布する。							
参考書	授業中に随時紹介する。							
評価の基準と方法	原則として学期末の最終レポート（100%）によって評価するが、授業内課題の回答状況・提出状況を加味する可能性がある。なお単位の取得には全授業回数の3分の2以上の出席を必要とする。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△				
関連科目								
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・講義は、原則として【授業内容】に記載したとおりに進める予定であるが、講義の進捗状況や社会情勢等の都合から変更する場合がある。 ・授業中の私語は禁止する。 							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	数学の世界		
科目分類	100-120-11	単位数	履修ガイド参照
英文名称	World of Mathematics	授業区分	講義
科目責任者	川村 翔	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	川村 翔	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	本講義は人間総合学群の授業の一環として、後の専門分野の修得に不可欠な数学的な基礎知識、また社会生活における数学的知識を活用する応用力を身につける講義である。		
到達目標	高校までに学習した数学の内容について、他の専門授業や社会生活に求められる数学的知識を円滑に使用できるようになる。電卓の使用に慣れ、日常的に計算できるようになる。		
アクティブ・ラーニング型授業	無		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：シラバスを確認し、中学・高校の授業での未修・既修について各自把握しておく。 授業：ガイダンス 復習：ガイダンスで示された履修、課題提出方法等を確認しておく。</p> <p>【第2回】 予習：数と式について、一般参考書等で予習しておく。 授業：数と式（整式・因数分解） 復習：講義内容について確実な理解ができるようにしておく。</p> <p>【第3回】 予習：とくに前回の講義と密接に関連しているので、疑問点は解決しておく。 授業：数と式（一次方程式・連立方程式） 復習：講義内容について確実な理解ができるようにしておく。</p> <p>【第4回】 予習：関数について、一般参考書等で予習しておく。 授業：関数（一次関数、二次関数） 復習：講義内容について確実な理解ができるようにしておく。</p> <p>【第5回】 予習：とくに前回の講義と密接に関連しているので、疑問点は解決しておく。 授業：関数（二次方程式） 復習：講義内容について確実な理解ができるようにしておく。</p> <p>【第6回】 予習：図形の性質について、一般参考書等で予習しておく。 授業：図形の性質（合同・相似・三平方の定理） 復習：講義内容について確実な理解ができるようにしておく。</p> <p>【第7回】 予習：とくに前回の講義と密接に関連しているので、疑問点は解決しておく。 授業：図形の性質（円の性質） 復習：講義内容について確実な理解ができるようにしておく。</p> <p>【第8回】 予習：三角比の性質について、一般参考書等で予習しておく。 授業：図形と計量（三角比、三角関数） 復習：講義内容について確実な理解ができるようにしておく。</p> <p>【第9回】 予習：とくに前回の講義と密接に関連しているので、疑問点は解決しておく。 授業：図形と計量（三角形への応用） 復習：講義内容について確実な理解ができるようにしておく。</p> <p>【第10回】 予習：場合の数について、一般の参考書等で予習する。 授業：場合の数（順列・組合せ） 復習：講義内容について確実な理解ができるようにしておく。</p> <p>【第11回】 予習：確率について、一般の参考書等で予習する。 授業：確率 復習：講義内容について確実な理解ができるようにしておく。</p> <p>【第12回】 予習：整数の性質について、一般の参考書等で予習する。 授業：整数の性質（約数と倍数） 復習：講義内容について確実な理解ができるようにしておく。</p>			

<p>【第13回】 予習：第1回から第12回までに学習した内容を各自通読しておく。 授業：設計活動における計算演習 復習：講義内容について身近な環境から理解・計算をできるようにする。</p> <p>【第14回】 予習：第1回から第12回までに学習した内容を各自通読しておく。 授業：社会活動における計算演習1 復習：講義内容について身近な環境から理解・計算をできるようにする。</p> <p>【第15回】 予習：第1回から第12回までに学習した内容を各自通読しておく。 授業：社会活動における計算演習2 復習：講義全体を通して疑問点が残らないように、学習内容を確認しておく。</p>								
授業開始前学習	毎週の講義内容について予め予習資料を各自視聴・通読し予習する。							
授業内課題の フィードバックの方法	講義内の内容を復習や課題を通して確実に習得できるようにしておく。 課題提出の際に質疑事項を記載する項目を用意するので疑問点があれば記載すること。							
テキスト・教材	講義内で PDF 資料等、適宜資料を配布する。							
参考書	『サンダイヤル 基本チェックノート 高校数学の基本』啓林館							
評価の基準と方法	各講義の出席状況、講義後の課題提出、定期試験にて評価を行う。 配点比率は「出席【2】：課題【3】：定期試験【5】」とする。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○						
関連科目								
その他	テキスト、方眼ノート、電卓（千円以下でよい）を用意すること。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	物理の世界		
科目分類	100-120-11	単位数	履修ガイド参照
英文名称	World of Physics	授業区分	講義
科目責任者	中林 諒	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	中林 諒	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	本講義は人間総合学群の授業の一環として、日常生活や身近な環境における物理現象を理解し、物理学を身近に感じる視点を身に着ける、また後の専門分野の修得に必要な物理学の基礎知識を学習する講義である。		
到達目標	物理学を身近な現象として捉えられるようになる。 電卓の使用に慣れ、日常的に計算できるようになる。		
アクティブ・ラーニング型授業	無		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：シラバスを確認し、中学・高校の授業での未修・既修について各自把握しておく。 授業：ガイダンス 復習：ガイダンスで示された履修、課題提出方法等を確認しておく。</p> <p>【第2回】 予習：思いつく単位記号を書き出す 授業：物理学で扱う単位と数学的知識 復習：物理学における数学的知識をテキストなどで復習し不明点を解決しておく。</p> <p>【第3回】 予習：日常的な移動、時間について考察しておく。 授業：物体の運動（速さ・速度・変位・合成・相対） 復習：講義を基に、テキストを通読して復習する。</p> <p>【第4回】 予習：とくに前回の講義と密接に関連しているので、疑問点は解決しておく。 授業：物体の運動（加速度・重力加速度） 復習：講義を基に、テキストを通読して復習する。</p> <p>【第5回】 予習：身の回りの物に対する重さや移動について考察しておく。 授業：力学（力と運動） 復習：講義を基に、テキストを通読して復習する。</p> <p>【第6回】 予習：とくに前回の講義と密接に関連しているので、疑問点は解決しておく。 授業：力学（運動方程式・摩擦） 復習：講義を基に、テキストを通読して復習する。</p> <p>【第7回】 予習：日常的に物を動かす際の力について考察しておく。 授業：仕事とエネルギー（仕事の正負・仕事率） 復習：講義を基に、テキストを通読して復習する。</p> <p>【第8回】 予習：とくに前回の講義と密接に関連しているので、疑問点は解決しておく。 授業：仕事とエネルギー（運動エネルギー・保存） 復習：講義を基に、テキストを通読して復習する。</p> <p>【第9回】 予習：身の回りの環境で熱を感じる、与えることについて考察しておく。 授業：熱とエネルギー（熱量・比熱・保存） 復習：講義を基に、テキストを通読して復習する。</p> <p>【第10回】 予習：とくに前回の講義と密接に関連しているので、疑問点は解決しておく。 授業：熱とエネルギー（物質の三態・熱膨張・仕事） 復習：講義を基に、テキストを通読して復習する。</p> <p>【第11回】 予習：日常生活における音の高さ低さ、大きさについて考察しておく。 授業：音とは何か(波・音) 復習：講義を基に、テキストを通読して復習する。</p> <p>【第12回】 予習：身の回りの電気や電磁波を活用している物について考察しておく。 授業：電気とは何か(電気・電磁波) 復習：講義を基に、テキストを通読して復習する。</p>			

<p>【第13回】 予習： これまでに講義で学習したエネルギーに関わる事について考察しておく。 授業： 身の回りの物理学（エネルギーの利用と生活） 復習： 講義を基に、テキストを通読して復習する。</p> <p>【第14回】 予習： 日常生活の中で目にする建物の構造について考察しておく。 授業： 身の回りの物理学（構造物や防災技術） 復習： 講義を基に、テキストを通読して復習する。</p> <p>【第15回】 予習： 第1回から第14回の講義内容を各自復習しておく。 授業： まとめ 復習： テキスト、参考書の再読。とくに講義内で強調した点などを後の専門分野の講義に照らし合わせ独習する。</p>								
授業開始前学習	毎週に講義内容について予めテキストで各自通読し予習する。							
授業内課題の フィードバックの方法	講義内の内容を復習や課題を通して確実に習得できるようにしておく。 課題提出の際に質疑事項を記載する項目を用意するので疑問点があれば記載すること。							
テキスト・教材	初回授業で指示する。							
参考書	『視覚でとらえるフォトサイエンス 物理図録』数研出版							
評価の基準と方法	各講義の出席状況、講義後の課題提出、定期試験にて評価を行う。 配点比率は「出席【2】：課題【3】：定期試験【5】」とする。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○						
関連科目								
その他	テキスト、方眼ノート、電卓（千円以下でよい）を用意すること。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	生物と生命		
科目分類	100-120-11	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Biology and Life	授業区分	講義
科目責任者	鞠子 典子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	鞠子 典子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	生物学、生態学、人類学、環境科学をディシプリンとして、ヒトを中心とした生物と環境との関りを学ぶとともに、人間が営む脱生物学的活動が生態系サービスにどのような影響を与え、その結果引き起こされる環境問題についても学ぶ。さらに、人類存続が可能な関係を再構築するために「科学リテラシー」を身に着けることの必要性を理解する。授業の進め方としては、パワーポイントによる講義だけでなく、教室内で行える簡単な実験・実習などを交えながら、講義内容を具体的に理解できるように工夫していく。		
到達目標	ヒトとは何か、人間とは何かを理解し、人間の脱生物的活動によって生じた多種多様な環境問題の理解と解決に資する科学リテラシー・リスクリテラシーおよび人類存続を可能とするための規範やライフスタイルを大胆に発する能力を身につける。		
アクティブ・ラーニング型授業	無		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第1回 授業：「ヒト」と「人間」の違いが分かりますか 予習：「科学リテラシー」に関する記事を見つけて読むこと 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する</p> <p>第2回 授業：「生命」を探す旅に出てみよう 予習：「はやぶさ」のミッションや成果について JAXA の HP で調べる 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する</p> <p>第3回 授業：あなたは「環境」とは何かと問われたら答えられますか 予習：今回のキーワードとなる「主体環境系」について調べておこう 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する</p> <p>第4回 授業：生物とは「子を残すという至上命題」をもった戦略家である 予習：今回のキーワードとなる「適応度」について調べておこう 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する</p> <p>第5回 授業：平家物語で語る生物多様性 予習：「祇園精舎の鐘の声・・・ひとへに風の前の塵に同じ」の意味とは？ 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する</p> <p>第6回 授業：あなたは外国人に日本の自然と四季についてちゃんと語れますか 予習：キャンパスの周りの森を自然散策してみよう 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する</p> <p>第7回 授業：外来生物は本当に悪者なのだろうか 予習：「侵略的外来種」とは何かを調べておこう 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する</p> <p>第8回 授業：東京に石炭火力発電所があったころの環境について学ぶ 予習：「水俣病」はなぜ発生したのか、その理由について調べておこう 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する定</p> <p>第9回 授業：地球温暖化問題における真実とフェイク 予習：Youtube で映画「不都合な真実」の予告編を観ておこう 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する</p> <p>第10回 授業：環境については自己中であってはならない 予習：今回のキーワードとなる「世代間倫理」について調べておこう 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する</p> <p>第11回 授業：ヒトはどこから来て、どこへ向かうのか 予習：わたしたち「ホモ・サピエンス」の将来について考えておこう 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する</p> <p>第12回 授業：性の存在意義について考える 予習：「男脳と女脳」について調べておこう 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する</p>			

<p>第13回 授業：子どもをつくらないという選択について考える 予習：「少子化問題」について自分の意見を整理しておこう 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する</p> <p>第14回 授業：私たちがパンデミックから学ぶべきこと 予習：今回のキーワードとなる「パラサイト」について調べておこう 復習：ワンポイント・レビューで知識を固定する</p> <p>第15回 授業：生物と生命 総括と試験範囲の説明 予習：「生物と生命」で学んだことを復習し、生命の科学リテラシーの必要性について自分の意見をまとめる 復習：試験に向けた勉強をする</p>								
授業開始前学習	常日頃から、授業と関連する話題に強い関心をもってニュースや新聞記事と接すること。							
授業内課題のフィードバックの方法	ワンポイントで復習できる課題の講評及び解答は次の回の講義にて行います。							
テキスト・教材	教科書は指定せず、資料を配布します。							
参考書	「好きになる生物学」吉田邦久著（講談社サイエンティフィック） 「面白くてよくわかる！エコロジー」吉田久義著（アスペクト） この他講義の中で適宜書籍を紹介します。							
評価の基準と方法	試験70％，平常点（授業に臨む姿勢・提出物）30％							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○						
関連科目								
その他	授業の理解度などを勘案し、授業テーマの順序や内容を多少変更することがあります。講義で分からないことがある場合は、そのままにせず、いつでも質問してください。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	地球と宇宙		
科目分類	100-120-11 (J)	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Earth and Planetary Science	授業区分	講義
科目責任者	平井 隆之	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	平井 隆之	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	講義の前半は、地球や宇宙そのものを対象とした学問「地球惑星科学」について、身近な自然現象も絡めながら解説します。後半では、人類の生存圏を拡大する営みである「宇宙開発・探査」の歴史と最前線について解説します。また、地球と宇宙からさらに抽象度を高めた教養に関する様々なテーマについて紹介する予定です。		
到達目標	べき演算や概算を用いる地球惑星科学的な物事の考え方に触れ、親しみを持つようになる。 私たちが住んでいる地球を、太陽系・銀河系・宇宙全体の中に位置付けて考え、「地球人」であり「宇宙人」であるという自覚を持つ。 地球惑星科学および宇宙開発・探査における科学者・技術者の苦悩や栄光を知ることで、自身の人生を切り拓くヒントを得られるようになる。		
アクティブ・ラーニング型授業	無		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
【第1回】 予習：中学・高校理科の内容を見直しておくこと 授業：教養とは何か、地球惑星科学と宇宙開発・探査を学ぶ意義 復習：配布資料を見直しておくこと、質問は授業内課題提出時に付記すること			
【第2回】 予習：中学・高校理科の内容を見直しておくこと 授業：地球の形と大きさ 復習：配布資料を見直しておくこと、質問は授業内課題提出時に付記すること			
【第3回】 予習：前回講義でキーワード通知するのでネット検索などで調べておくこと 授業：プレートテクトニクスと地球観の変遷 復習：配布資料を見直しておくこと、質問は授業内課題提出時に付記すること			
【第4回】 予習：前回講義でキーワード通知するのでネット検索などで調べておくこと 授業：天体の活動1：火山活動 復習：配布資料を見直しておくこと、質問は授業内課題提出時に付記すること			
【第5回】 予習：前回講義でキーワード通知するのでネット検索などで調べておくこと 授業：天体の活動2：地震活動 復習：配布資料を見直しておくこと、質問は授業内課題提出時に付記すること			
【第6回】 予習：前回講義でキーワード通知するのでネット検索などで調べておくこと 授業：地球の歴史 復習：配布資料を見直しておくこと、質問は授業内課題提出時に付記すること			
【第7回】 予習：前回講義でキーワード通知するのでネット検索などで調べておくこと 授業：太陽系の成り立ち 復習：配布資料を見直しておくこと、質問は授業内課題提出時に付記すること			
【第8回】 予習：前回講義でキーワード通知するのでネット検索などで調べておくこと 授業：宇宙の成り立ち1：人類の宇宙観の変遷 復習：配布資料を見直しておくこと、質問は授業内課題提出時に付記すること			
【第9回】 予習：前回講義でキーワード通知するのでネット検索などで調べておくこと 授業：宇宙の成り立ち2：宇宙論入門 復習：配布資料を見直しておくこと、質問は授業内課題提出時に付記すること			

- 【第 10 回】
 予習 : 前回講義でキーワード通知するのでネット検索などで調べておくこと
 授業 : 宇宙開発・探査の歴史 1 : 黎明期からアポロ計画まで
 復習 : 配布資料を見直しておくこと、質問は授業内課題提出時に付記すること
- 【第 11 回】
 予習 : 前回講義でキーワード通知するのでネット検索などで調べておくこと
 授業 : 宇宙開発・探査の歴史 2 : 惑星探査のはじまりから現在の最前線まで
 復習 : 配布資料を見直しておくこと、質問は授業内課題提出時に付記すること
- 【第 12 回】
 予習 : 前回講義でキーワード通知するのでネット検索などで調べておくこと
 授業 : 宇宙のゴミ問題
 復習 : 配布資料を見直しておくこと、質問は授業内課題提出時に付記すること
- 【第 13 回】
 予習 : 前回講義でキーワード通知するのでネット検索などで調べておくこと
 授業 : 宇宙に生命はいるのか 1
 復習 : 配布資料を見直しておくこと、質問は授業内課題提出時に付記すること
- 【第 14 回】
 予習 : 前回講義でキーワード通知するのでネット検索などで調べておくこと
 授業 : 宇宙に生命はいるのか 2
 復習 : 配布資料を見直しておくこと、質問は授業内課題提出時に付記すること
- 【第 15 回】
 予習 : 前回講義でキーワード通知するのでネット検索などで調べておくこと
 授業 : 外部講師による特別講義
 復習 : 配布資料を見直しておくこと、質問は授業内課題提出時に付記すること

※外部講師による特別講義は実施可能か未定のため別の講義内容に変更する可能性があります。

授業開始前学習	中学・高校の理科を復習しておくことが望ましい。							
授業内課題の フィードバックの方法	毎回出題する授業内課題の提出（GWE ClassroomとGoogle フォームを利用予定）をもって出席とする。提出締切は次回講義の2日前までを予定している。課題の解説は次回講義冒頭およびGoogle フォームの解答集をもって行う。							
テキスト・教材	必要に応じて、講義内で適宜資料を配布する。							
参考書	必要に応じて、講義内で参考図書を紹介する。							
評価の基準と方法	平常点（授業態度・授業内課題の成績）60%，レポート課題（Google フォームを用いた課題）の成績40%による。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○						
関連科目								
その他	この講義では原則対面授業を実施予定ですが、新型コロナウイルス感染症の拡大状況によってはオンライン授業に切り替える可能性があります。 単に知識・情報の伝達だけでなく、地球惑星科学や宇宙開発・探査において普遍的に用いられる思考方法や、講師の個人的経験にも触れつつ、好きなことを見つけて出す方法や好きなことを仕事として推し進める方法などについて参考になるであろう情報を紹介します。これから社会に出て行こうとする学生皆さんのお役に立てれば幸いです。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容	宇宙航空研究開発機構（JAXA）や大学をはじめとした研究機関において宇宙開発・探査分野での理学観測機器開発と観測データを用いた地球惑星科学研究の実務経験あり。これらの実務経験に基づき、地球惑星科学や宇宙開発・探査工学に関する教養と人生に応用できる思考方法について講義する。							

科目名称	物質と化学		
科目分類	100-120-11	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Substance and Chemistry	授業区分	講義
科目責任者	高橋 大介	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	高橋 大介	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	現代の私たちが日常生活を送る際、多くの科学技術の恩恵を受けております。スマートフォンに代表される電子機器だけでなく、医薬品や化粧品、食料品や服などほぼ全てのモノには、何らかの科学技術が使われております。科学技術の中でも「化学」は身近な分野の一つです。先に挙げた物品だけでなく、自然界のほぼ全てのモノは化学物質の集合体でできています。この講義では「化学」とはどのようなものなのかを、化学の歴史に始まり、原子とはどのようなものなのか、どんな風につながることで様々な物質ができていくのかを解説していき、日常生活とどのように繋がりがああるかを考えながら学んでいきます。		
到達目標	化学に関連する知識を学び、客観的に物事を見る力や説明力を養うことで、実生活で多視点的に物事をみることができるようになり、新たな智慧やヒントを得ることを到達目標とする。		
アクティブ・ラーニング型授業	無		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：科学と化学の違い 授業：「科学」と「化学」 復習：科学と化学の類似点と違いを理解しまとめる</p> <p>【第2回】 予習：化学はどのように発展したか 授業：化学の歴史 復習：火の発見から周期表の完成までをまとめる</p> <p>【第3回】 予習：物質はどんなもので構成されているか 授業：原子とは何か 復習：原子の種類と特長についてまとめる</p> <p>【第4回】 予習：原子の種類と組み合わせ方 授業：原子の組み換え1 復習：純物質と混合物についてまとめる</p> <p>【第5回】 予習：原子の番号と表現方法 授業：原子の組み換え2 復習：元素記号と化学式についてまとめる</p> <p>【第6回】 予習：周期表とはどのようなものか 授業：周期表1 復習：原子核や電子殻についてまとめる</p> <p>【第7回】 予習：化学結合とは 授業：周期表2 復習：化学結合とイオンについてまとめる</p> <p>【第8回】 予習：無機とはどういう意味か 授業：無機物質1 復習：基本的な6つの非金属元素についてまとめる</p> <p>【第9回】 予習：非金属と金属とは 授業：無機物質2 復習：代表的な7つの金属元素についてまとめる</p> <p>【第10回】 予習：原子を量る方法 授業：物質質量1 復習：原子密度や単位などについてまとめる</p> <p>【第11回】 予習：物質を量る方法 授業：物質質量2 復習：モル(mol)濃度、理想気体や実体気体についてまとめる</p>			

<p>【第12回】 予習：「錆びる」とはどういう状態 授業：酸・塩基 復習：酸化や還元、pHについてまとめる</p> <p>【第13回】 予習：生物とは何か 授業：有機物1 復習：無機物と有機物の違いについてまとめる</p> <p>【第14回】 予習：有機的で複雑な化学物質について 授業：有機物2 復習：エタノールや水、炭素骨格や立体化学についてまとめる</p> <p>【第15回】 予習：化学のまとめ 授業：化学全体の壮観 復習：現在の化学技術や応用事例についてまとめる</p>								
授業開始前学習	高校までの基本的な化学知識があると理解しやすいですが、初めて化学に触れる前提で講義を進めていくため、必須ではありません。							
授業内課題の フィードバックの方法	課題の解答例は次回の講義の中で解説します。 質問等は毎回の課題時もしくはガイダンス時に説明する質問方法より適宜受け付けます。 回答は講義中もしくは個別に返信します。							
テキスト・教材	講義資料は電子データや紙媒体で配布しますので、特にありません。							
参考書	<p>“購入不要”ですが、初めてで不安な人は以下の本が参考になると思います。</p> <p>左巻健男著『一度読んだら絶対に忘れない化学の教科書』,SB クリエイト ISBN：978-4-8156-1747-9 定価 1,760 円</p>							
評価の基準と方法	<p>課題点：70[%] レポート（試験）点：30[%] ※課題はほぼ毎回だします ※レポート（試験）は1回もしくは2回の予定 出席：3/4以上の出席必須 正当理由のない「遅刻早退は0.5回、欠席は1回」と欠席にカウントします。</p>							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○						
関連科目								
その他	<p>覚えなければいけないものは、最低限に留めます。 実社会でほとんどの場合は資料を見て良いように、暗記するのではなく、「理解」を重視します。 できるだけ皆さんがわかりやすいような実例を交え、専門用語は極力使わずに進めます。 また、高校等で「化学」を履修しておらず、事前知識が無い人でも安心して受講してもらえるよう構成します。</p> <p>講義の中で生じた質問や意見はいつでも歓迎いたします。 状況により、授業内容や順序を変更する可能性があります。</p>							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	情報と科学		
科目分類	100-120-11	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Information Science	授業区分	講義
科目責任者	末木 俊之	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	末木 俊之	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	前期 火曜日 09:30～11:30 木曜日 09:30～11:30 後期 火曜日 09:30～11:30 木曜日 09:30～11:30	研究室	10-601
授業概要	<p>コンピュータを利用するための情報処理の基本的知識（情報の表現、情報量の単位、コンピュータの仕組みなど）を学ぶ。またパソコンがインターネットに容易に接続されるようになり、コンピュータ利用の多様化・利便性はどんどん高まってはいるが、逆に利用上の問題点も多い。情報取扱い上のモラル・法的知識、ネットワークの知識、インターネットの問題点とそれに対応するためのセキュリティに関する知識も扱う。</p> <p>授業および予習／復習では、各自グループスプレッドシート、シミュレーション、シミュレーションを動かした動画等を使用して課題に取り組むことがある。</p>		
到達目標	<p>文字・数値・画像情報を2進数、16進数で表現できるようになる。アナログ情報からデジタル情報が生み出される流れを理解し、デジタル化の作業ができるようになる。</p> <p>電子回路により計算の回路、メモリーなどが作られコンピュータが構成されていることを理解し、説明できるようになる。</p> <p>またインターネットのネットワークの基本的な仕組み、性質を理解し、その問題点を解決するための暗号技術を基盤とする電子署名などの知識を身に付けることを目標とする。</p>		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
第1回	<p>予習：教科書1頁から9頁、19頁から21頁を読むこと。</p> <p>授業：情報とコンピュータについて（教科書1頁から9頁、19頁から21頁）（シミュレーションを使った実習）</p> <p>復習：授業で使用する artisoc シミュレーションを使って慣れておくこと。</p>		
第2回	<p>予習：教科書55頁から59頁、83頁から85頁を読むこと。</p> <p>授業：情報の表現（文字情報）（教科書55頁から59頁、83頁から85頁）（シミュレーションを使った実習）</p> <p>復習：自分の名前の文字コードなど調べてみる。</p>		
第3回	<p>予習：教科書19頁から24頁を読むこと。</p> <p>授業：アナログとデジタル（教科書19頁から24頁）（シミュレーションを使った実習）</p> <p>復習：教科書74頁の課題3-②を自習すること。</p>		
第4回	<p>予習：教科書58頁から66頁を読むこと。</p> <p>授業：2進数、16進数、10進数（教科書58頁から66頁）（シミュレーションを使った実習）</p> <p>復習：教科書80頁、81頁の課題を自習すること。</p>		
第5回	<p>予習：教科書25頁から27頁を読むこと。</p> <p>授業：アナログ画像のデジタル化（教科書25頁から27頁）（グループスプレッドシート・シミュレーションを使った実習）</p> <p>復習：教科書77頁の課題4-⑦を自習すること。</p>		
第6回	<p>予習：教科書66頁から70頁を読むこと。</p> <p>授業：電子回路（教科書66頁から70頁）（シミュレーションを使った実習）</p> <p>復習：教科書81頁の課題6-⑧を自習すること。</p>		
第7回	<p>予習：教科書30頁から35頁を読むこと。</p> <p>授業：コンピュータの構成と歴史（教科書30頁から35頁）（実習）</p> <p>復習：教科書77頁の課題4-①から⑥を自習すること。</p>		
第8回	<p>予習：教科書36頁から54頁を読むこと。</p> <p>授業：コンピュータの基本構成（教科書36頁から54頁）（実習）</p> <p>復習：教科書78頁の課題を自習すること。</p>		
第9回	<p>予習：教科書10頁から15頁を読むこと。</p> <p>授業：インターネットネットワークの仕組み（教科書10頁から15頁）（シミュレーションを使った実習）</p> <p>復習：教科書73頁の課題を自習すること。</p>		
第10回	<p>予習：『コンピュータネットワーク入門』などの本を読むこと。</p> <p>授業：TCP/IP、IPアドレス（シミュレーションを使った実習）</p> <p>復習：『コンピュータネットワーク入門』などの本を読み理解を深めること。</p>		
第11回	<p>予習：教科書12頁から14頁を読むこと。</p> <p>授業：DNS、ドメイン名について（教科書12頁から14頁）（実習）</p> <p>復習：教科書73頁の課題2-③を自習すること。</p>		
第12回	<p>予習：配付ワープロ資料に目を通して置くこと。</p> <p>授業：インターネット上の脅威、セキュリティ</p> <p>復習：『インターネット取引は安全か』などの本を読み理解を深めること。</p>		
第13回	<p>予習：『暗号攻防史』の前半を読むこととする。</p> <p>授業：Webと暗号（エクセルを使った実習）</p> <p>復習：『暗号の数理』などの本を読み理解を深めること。</p>		
第14回	<p>予習：『インターネット取引は安全か』などの本で、公開鍵暗号について予習しておくこと。</p> <p>授業：暗号とセキュリティ（実習）</p> <p>復習：『暗号の数理』などの本を読み理解を深めること。</p>		

<p>第 15 回 予習 : 教科書 15 頁から 19 頁を読むこと。 授業 : 個人情報とプライバシー・著作権など (教科書 15 頁から 19 頁) 復習 : 教科書 73 頁の課題を自習すること。</p>								
授業開始前学習	「コンピュータ演習 I / 情報処理入門」でも情報処理の基礎知識を少し扱っている。同じ教科書を使っているので少し先に読み進めておくと分かりやすい。							
授業内課題の フィードバックの方法	2 進数の足し算、2 進数・10 進数・16 進数相互の変換など、学生が苦手な事柄について課題を出す。その結果に基づき、次の授業にて解説をする。							
テキスト・教材	楊国林、篠政之、明田川紀彦著『使って 学んで 知ろう PC のこころえ neo』(ポラーノ出版)。この他に classroom に、動画、スライドなどの資料を掲載する。							
参考書	西井美鷹、神崎洋治著『体系的に学ぶインターネットセキュリティ』(日経 B P 社)、小口正人著『コンピュータネットワーク入門』(サイエンス社)、五味俊夫著『インターネット取引は安全か』(文藝春秋社) など							
評価の基準と方法	最終的な成績評価を 100 点満点とすると、評価の点数配分は、平常点 (授業態度) 20 点、課題 80 点の配分とする。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○						
関連科目	1 年生前期の「コンピュータ演習 I / 情報処理入門」でもコンピュータの基本構成、情報の単位などの話が登場するが、この科目ではさらにコンピュータ・ネットワークについてより詳細に学ぶ。							
その他	理解を深めるため各自 1 台のコンピュータを使い授業を行う。10-27 教室を使う予定だが、履修者数多数の場合は履修制限を行うことがある。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 60 時間 (4 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	色彩と科学		
科目分類	100-120-11 (J)	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Chromatics and Science	授業区分	講義
科目責任者	稲葉 隆	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	稲葉 隆	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	色彩と人の関わりを、伝達・文化・創造・生活・産業・社会という多面的な視点でとらえ、学ぶ。そのために、知覚・認知心理学をベースとした色彩に関する知識を得るための講義と、実践的な表現技術として身につけるための演習とを毎回繰り返す。		
到達目標	色彩に関する基礎的な知識を学び、配色表現の技術を身につける。それらを生活、創作、実務の場において実践的に活用できるようにする。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：日常生活においてカラー・デザインがどのような役割を果たしているのかを考える。 授業：カラー・デザインの目的と役割 復習：自分自身の色彩感覚を客観的に把握する。</p> <p>【第2回】 予習：色が認知できる条件を考える。 授業：色彩の物理的・生理的特性（色が見えるしくみ） テキスト p42,75 【実習】 復習：光の性質、物の表面の性質、さらに視覚系と脳による認知という一連の流れを理解する。</p> <p>【第3回】 予習：色の名前にはどのようなものがあるかを調べる。 授業：色彩の伝え方（色名） テキスト p138 【実習】 復習：色名によるコミュニケーションの長所短所を理解する。</p> <p>【第4回】 予習：色を整理し記録するための客観的な方法を考える。 授業：色彩の分類と表記（表色系） テキスト p109,118,136-139 【実習】 復習：マンセル表色系（色相・明度・彩度）の成り立ちを理解する。</p> <p>【第5回】 予習：色に関するイリュージョンの事例を調べる。 授業：色による視覚的・生理的效果 テキスト p19,30,37,52,87,101 【実習】 復習：色による視覚的效果（対比、同化、恒常性）を整理して理解する。</p> <p>【第6回】 予習：色によって気持ちが左右されることがあるかを考える。 授業：色彩の心理的效果（色彩感情） テキスト p45,74,93 【実習】 復習：色が喚起する情緒的な印象を色の3属性との関連で考察する。</p> <p>【第7回】 予習：自然の中に見られる美しく、心地よい色の秩序について調べる。 授業：色彩構成の基礎（配色調和） テキスト p12,48,95,121,125 【実習】 復習：色彩が調和する基本条件を整理する。</p> <p>【第8回】 予習：複数の色相、あるいは複数のトーンで構成された配色の事例を探す。 授業：配色表現の基本技法①色相とトーン テキスト p67,134-135,141 【実習】 復習：配色のための色の選択方法の原則を理解し、実際に配色を作成する。</p> <p>【第9回】 予習：色相あるいはトーンが徐々に変化するように並べられた配色の事例を探す。 授業：配色表現の基本技法②セパレーションとグラデーション テキスト p82,142 【実習】 復習：選択した色の配置方法の原則を理解し、実際に配色を作成する。</p> <p>【第10回】 予習：ポスターやパッケージの色使いからどのような感性的な印象が感じられるかを考える。 授業：配色表現の基本技法③イメージ表現 テキスト p100,103 【実習】 復習：配色によるイメージ表現の重要性を認識し、テーマ別に配色を作成する。</p> <p>【第11回】 予習：自分と他者（家族や友人）の色の好みの共通点と相違点を考える。 授業：色彩嗜好 テキスト p112-113 【実習】 復習：グローバルにみた日本人の色彩嗜好の特徴を整理し考察する。</p> <p>【第12回】 予習：ファッションにおける魅力的なカラー表現の事例を探す。 授業：カラー・コーディネイト(ファッション) テキスト p31,33 【実習】 復習：カラー・コーディネイトの基本的な考え方を理解し、実際に試みる。</p>			

<p>【第13回】 予習：身近な製品で用いられているカラー・バリエーションの事例を調べる。 授業：カラー・バリエーション（プロダクト） テキスト p59【実習】 復習：目的に適した製品の色ぞろえの方法を理解した上で、色と質感・素材感の関係について整理する。</p> <p>【第14回】 予習：自宅や店舗の室内空間が、どのような色の製品によって構成されているかを調べる。 授業：カラー・プランニング（インテリア） テキスト p43,83【実習】 復習：暮らしを豊かにするインテリア空間のスタイルを整理し考察する。</p> <p>【第15回】 予習：日本らしい色彩について調べる。 授業：文化としてのカラー・デザイン テキスト p81【実習】 復習：カラー・ユニバーサル・デザインの事例を探し、その効果が有効か否かを考える。</p>								
授業開始前学習	生活の中で、普段は何気なく目にはしている「色」をできるだけ意識して見ること。							
授業内課題のフィードバックの方法	色彩教材（新デザイントーン 130 色紙）を使った 演習課題などについて随時講評する。							
テキスト・教材	『人気絵師の作品から学ぶ配色のヒミツ』（玄光社） 『新デザイントーン 130 色紙（B8 サイズ）』（日本カラーデザイン研究所）							
参考書	『配色手帳 増補・新版』（玄光社）							
評価の基準と方法	各回の講義への積極的な参加と演習課題 65%、総合演習課題（第10回を予定） 35%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○						
関連科目								
その他	1) 色彩教材『新デザイントーン 130 色紙（B8 サイズ）』は教科書販売期間に必ず入手しておくこと。基本的に個人向け販売されていない教材であり、これがないと演習課題が作成できないので注意する。 2) 以下のものを毎回授業で使用するので準備すること。①新デザイントーン 130 色紙(B8 サイズ)、②はさみ、③スティックタイプの固形のり、④ノート（罫線なし、白い用紙のノートやクロッキー帳など）、⑤筆記具（多色のボールペン、色鉛筆、マーカーなど）、⑥テキスト、以上							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容	プロダクト、建築、ブランドなど様々な分野の色彩計画業務をおこなっている。それらの実務経験を生かした講義と実践的な演習をおこなう。							

科目名称	統計の基礎		
科目分類	100-120-11	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Basic Statistics	授業区分	講義
科目責任者	田端 章明	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	田端 章明	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	この授業では統計学のなかでも、より基礎的な「記述統計学」の習得をテーマとします。記述統計学の狙いは、与えられたデータを、特徴がわかりやすくなるようにまとめることです。この授業では平均値のような単純なまとめ方からスタートして、より高度なまとめ方までを段階的に勉強していきます。		
到達目標	記述統計学の基礎を理解し、目的に応じてデータを適切にまとめ、知見を引き出せるようになること。これを到達目標とします。		
アクティブ・ラーニング型授業	無		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：このシラバスを読んでおくこと 授業：記述統計学とは何か 復習：シラバスと初回の授業を手がかりに、自分はこの授業を履修すべきかについて熟考すること</p> <p>【第2回】 予習：「次回予告レジュメ（1）」を読んでおくこと 授業：1変数の統計的分析（1） 代表値と散布度 復習：わからなかったところを解決しておくこと（自力で解決できなかったところは質問すること。以下、同様）</p> <p>【第3回】 予習：「次回予告レジュメ（2）」を読んでおくこと 授業：1変数の統計的分析（2） 標準化得点と偏差値、変動係数 復習：わからなかったところを解決しておくこと</p> <p>【第4回】 予習：授業内課題に向けて、復習しておくこと 授業：ここまでのまとめと授業内課題（1） 1変数の統計的分析について 復習：問題用紙を見ながら、自分の解答についてふりかえること</p> <p>【第5回】 予習：「次回予告レジュメ（3）」を読んでおくこと 授業：2変数の統計的分析（1） 共分散と相関係数 復習：わからなかったところを解決しておくこと</p> <p>【第6回】 予習：「次回予告レジュメ（4）」を読んでおくこと 授業：2変数の統計的分析（2） 相関関係と因果関係 復習：わからなかったところを解決しておくこと</p> <p>【第7回】 予習：授業内課題に向けて、復習しておくこと 授業：ここまでのまとめと授業内課題（2） 相関係数について 復習：問題用紙を見ながら、自分の解答についてふりかえること</p> <p>【第8回】 予習：「次回予告レジュメ（5）」を読んでおくこと 授業：量的変数と質的変数の違い、4つの尺度の区別 復習：わからなかったところを解決しておくこと</p> <p>【第9回】 予習：「次回予告レジュメ（6）」を読んでおくこと 授業：2変数の統計的分析（3） 2×2のクロス表の関連性指標 復習：わからなかったところを解決しておくこと</p> <p>【第10回】 予習：「次回予告レジュメ（7）」を読んでおくこと 授業：2変数の統計的分析（4） 2×2より大きなクロス表の関連性指標 復習：わからなかったところを解決しておくこと</p> <p>【第11回】 予習：授業内課題に向けて、復習しておくこと 授業：ここまでのまとめと授業内課題（3） クロス表について 復習：問題用紙を見ながら、自分の解答についてふりかえること</p> <p>【第12回】 予習：「次回予告レジュメ（8）」を読んでおくこと 授業：3変数の統計的分析（1） 多重クロス表の読み方 復習：わからなかったところを解決しておくこと</p>			

<p>【第13回】 予習：「次回予告レジュメ(9)」を読んでおくこと 授業：3変数の統計的分析(2) 偏相関係数 復習：わからなかったところを解決しておくこと</p> <p>【第14回】 予習：授業内課題に向けて、復習をしておくこと 授業：ここまでのまとめと授業内課題(4) 3変数の統計的分析について 復習：問題用紙を見ながら、自分の解答についてふりかえること</p> <p>【第15回】 予習：この回は、予習は不要 授業：記述統計学から推測統計学へ 復習：期末試験に向けて、勉強すること</p>								
授業開始前学習								
授業内課題の フィードバックの方法	授業内課題は翌週の授業で返却し、問題について解説します。							
テキスト・教材	テキストは指定しません。代わりに授業内容をまとめたレジュメを配布します。							
参考書	参考書は折に触れて紹介します。							
評価の基準と方法	コメントシート(30点満点)、授業内課題(40点満点)、期末試験(30点満点)で評価します。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○				◎	○	○	△
関連科目	同じ講師による後期開講科目「統計の応用」では、統計学のもう1つの柱である「推測統計学」について学びます。							
その他	授業での計算には電卓を使います。8ケタ以上表示でき、平方根(ルート)の計算ができる電卓を用意してください。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 60 時間 (4 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	統計の応用		
科目分類	100-120-11	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Applied Statistics	授業区分	講義
科目責任者	田端 章明	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	田端 章明	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	<p>同じ講師による「統計の基礎」の続編です。授業のテーマは「推測統計学のエッセンスに触れる」です。「推測統計学」とは、「限られたデータをもとにして、未知のデータも含む全体の傾向を推し測る（おしはかる）」ことを目的とした統計学です。</p> <p>最初の数週は基礎固めとして記述統計学について、推測統計学を学ぶのに必要な範囲を学習します。その後、推測統計学の主要な役割である、「統計的推定」と「統計的検定」について、じっくりと学習します。</p>		
到達目標	推測統計学の基礎を理解し、統計データを目にしたときに「この結果は統計的に意味があるのか」という判断ができるようになること。これを到達目標とします。		
アクティブ・ラーニング型授業	無		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：このシラバスを読んでおくこと 授業：推測統計学とは何か 復習：「自分にとってこの授業がプラスになるかどうか」を熟慮したうえで、履修を決めること</p> <p>【第2回】 予習：「次回予告レジュメ（1）」を読んでおくこと 授業：記述統計学の復習（1）：代表値と散布度 復習：授業でわからなかったところを解決すること（解決できない疑問は質問すること。以下、同様）</p> <p>【第3回】 予習：「次回予告レジュメ（2）」を読んでおくこと 授業：記述統計学の復習（2）：標準化得点と変動係数 復習：授業でわからなかったところを解決すること</p> <p>【第4回】 予習：授業内課題に向けて、今までの内容を復習しておくこと 授業：ここまでのまとめと授業内課題（1）：記述統計学のまとめと課題 復習：今までのレジュメを参照しながら、「自分の答えはあれでよかったか」とふりかえること</p> <p>【第5回】 予習：「次回予告レジュメ（3）」を読んでおくこと 授業：推測統計学（1）：確率分布とは何か 復習：授業でわからなかったところを解決すること</p> <p>【第6回】 予習：「次回予告レジュメ（4）」を読んでおくこと 授業：推測統計学（2）：確率分布表のしくみと使い方 復習：授業でわからなかったところを解決しておくこと</p> <p>【第7回】 予習：授業内課題に向けて、関係する内容を復習しておくこと 授業：ここまでのまとめと授業内課題（2）：確率分布のまとめと課題 復習：今までのレジュメを参照しながら、「自分の答えはあれでよかったか」とふりかえること</p> <p>【第8回】 予習：「次回予告レジュメ（5）」を読んでおくこと 授業：推測統計学（3）：統計的推定の方法1（標準化正規分布を使った平均値の区間推定） 復習：授業でわからなかったところを解決しておくこと</p> <p>【第9回】 予習：「次回予告レジュメ（6）」を読んでおくこと 授業：推測統計学（4）：統計的推定の方法2（t分布を使った平均値の区間推定） 復習：授業でわからなかったところを解決しておくこと</p> <p>【第10回】 予習：授業内課題に向けて、関係する内容を復習しておくこと 授業：ここまでのまとめと授業内課題（3）：統計的推定のまとめと課題 復習：今までのレジュメを参照しながら、「自分の答えはあれでよかったか」とふりかえること</p> <p>【第11回】 予習：「次回予告レジュメ（7）」を読んでおくこと 授業：推測統計学（5）：統計的検定の発想としくみ 復習：授業でわからなかったところを解決しておくこと</p> <p>【第12回】</p>			

予習：「次回予告レジュメ（8）」を読んでおくこと
 授業：推測統計学（6）：統計的検定の方法 1（カイ 2 乗検定）
 復習：授業でわからなかったところを解決しておくこと
 【第 13 回】
 予習：「次回予告レジュメ（9）」を読んでおくこと
 授業：推測統計学（7）：統計的検定の方法 2（t 検定）
 復習：授業でわからなかったところを解決しておくこと
 【第 14 回】
 予習：授業内課題に向けて、関係する内容を復習しておくこと
 授業：ここまでのまとめと授業内課題（4）：統計的検定のまとめと課題
 復習：今までのレジュメを参照しながら、「自分の答えはあれでよかったか」とふりかえること
 【第 15 回】
 予習：この回は予習は不要
 授業：より高度な統計的分析に向けて
 復習：期末試験に向けて勉強すること

授業開始前学習	前期開講科目の「統計の基礎」を履修しないでこの科目を履修する場合には、記述統計学の基礎（平均値・分散・標準偏差・標準化得点など）について勉強しておくこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業内課題は翌週の授業で返却し、問題について解説します。							
テキスト・教材	テキストは指定しません。代わりに授業の流れをまとめたレジュメを配布します。							
参考書	参考書は折に触れて紹介します。							
評価の基準と方法	コメントシート（30 点満点）、授業内課題（40 点満点）、期末試験（30 点満点）で評価します。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○				◎	○	○	△
関連科目	同じ講師による前期開講科目「統計の基礎」では、統計学のうち 1 つの柱である「記述統計学」について学びます。							
その他	授業での計算には電卓を使います。8 ケタ以上表示でき、平方根（ルート）の計算ができる電卓を用意してください。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	ボランティア実習 I							
科目分類	100-131-21	単位数	履修ガイド参照					
英文名称	Volunteer Practice I		授業区分	演習・実習・実技				
科目責任者	臼井 実稲子		必修・選択	履修ガイド参照				
担当教員	臼井 実稲子		開講時期	履修ガイド参照				
オフィスアワー	前期 月曜日 10:40～12:10 水曜日 10:40～12:10 後期 月曜日 10:40～12:10 水曜日 10:40～12:10		研究室	10-705				
授業概要	学外に人の輪を広げよう 国内（地域）ボランティア：駒沢学園女子中学・高等学校において教育ボランティア、稲城市および近隣地域の施設などで、地元密着型のボランティア活動をおこなう。							
到達目標	履修者が将来、国際社会、地域社会において有用な人材になる第一歩となることを目標とする。							
アクティブ・ラーニング型授業	有							
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）								
<p>本実習に該当する海外・地域ボランティアは以下を想定している。 海外ボランティア：休暇中に、履修者自身で選んだ学外の団体が行う海外ボランティアに2週間以上参加する。 地域ボランティア：地域に貢献するボランティアに定期的もしくは複数回参加する（45時間以上）</p> <p>課題学習と単位取得条件 海外ボランティア：①事前に担当教員と面談 ②事前にボランティア活動届を学生支援課に提出 ③参加証明書の提出 ④危機管理ガイダンスへの参加 ⑤ボランティア活動記録（ポータルサイトよりダウンロード）もしくは4000字程度のレポートの提出</p> <p>国内ボランティア：①担当教員による個別ガイダンスを受ける ②事前に担当教員と面談 ③事前にボランティア活動届を学生支援課に提出 ④ボランティア活動記録（ポータルサイトよりダウンロード）の提出</p>								
授業開始前学習	ポータルサイトの学生支援課のボランティア活動に関する注意事項を必ず確認すること							
授業内課題のフィードバックの方法	科目の性質上、通常の講義科目とは異なるため、提出されるボランティア活動記録によることになる							
テキスト・教材	ポータルサイトの学生支援課のボランティアに関する注意事項							
参考書	適宜指示する							
評価の基準と方法	単位取得条件を全てクリアした上で、活動記録（海外ボランティア活動の場合はレポートも可）により評価							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	△	○	△			△		○
関連科目	特になし							

<p>その他</p>	<p>【重要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科目登録を確定した時点で必ず、臼井研究室（10-705）を訪ねてください。 ・ボランティア活動届を学生支援課にボランティア活動開始前に必ず提出してください。 ・ボランティア活動届およびボランティア活動記録については、大学のポータルサイトに書式があります。 ・履修者のボランティア活動中の事故等について、責任を負うものではありません。
<p>予習・復習の 所要時間</p>	<p>講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）</p>
<p>実務経験を活かした 教育内容</p>	

科目名称	ボランティア実習Ⅱ							
科目分類	100-131-22	単位数	履修ガイド参照					
英文名称	Volunteer Practice II		授業区分	演習・実習・実技				
科目責任者	臼井 実穂子		必修・選択	履修ガイド参照				
担当教員	臼井 実穂子		開講時期	履修ガイド参照				
オフィスアワー	前期 月曜日 10:40～12:10 水曜日 10:40～12:10 後期 月曜日 10:40～12:10 水曜日 10:40～12:10		研究室	10-705				
授業概要	<p>本科目はボランティア実習Ⅰの履修後、さらに同種の活動を行おうとする学生が対象である。</p> <p>海外ボランティア 海外におけるボランティア活動を通して、履修者が多種多様な文化や習慣の違いを受け入れ、将来、国際社会のなかで生き抜く術を学ぶ。</p> <p>国内ボランティア 稲城市および近隣地域の施設などで、地元と密着型のボランティア活動を中心に行う。</p>							
到達目標	履修者が将来、国際社会、地域社会において有用な人材になる第一歩になることを目標とする							
アクティブ・ラーニング型授業	有							
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）								
<p>本実習に該当する海外・地域ボランティアは以下を想定している。</p> <p>海外ボランティア：休暇中に、履修者自身で選んだ学外の団体が行う海外ボランティアに2週間以上参加する。</p> <p>地域ボランティア：地域に貢献するボランティアに定期的もしくは複数回参加する（45時間以上）</p> <p>課題学習と単位取得条件</p> <p>海外ボランティア：①事前に担当教員と面談 ②事前にボランティア活動届を学生支援課に提出 ③参加証明書の提出 ④危機管理ガイダンスへの参加 ⑤ボランティア活動記録（ポータルサイトよりダウンロード）もしくは4000字程度のレポートの提出</p> <p>国内ボランティア：①担当教員による個別ガイダンスを受ける ②事前に担当教員と面談 ③事前にボランティア活動届を学生支援課に提出 ④ボランティア活動記録（ポータルサイトよりダウンロード）の提出</p>								
授業開始前学習	ポータルサイトの学生支援課のボランティア活動に関する注意事項を必ず確認すること。							
授業内課題のフィードバックの方法	科目の性質上、ボランティア活動記録を活用する							
テキスト・教材	ポータルサイトの学生支援課のボランティア活動に関する注意事項							
参考書	特になし							
評価の基準と方法	単位取得条件を全てクリアした上で、活動記録（海外ボランティア活動の場合はレポートも可）により評価							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	△	○	△			△		○
関連科目								
その他	<p>【重要】科目登録を確定した時点で必ず、臼井研究室（10-705）を訪ねてください。</p> <p>ボランティア実習Ⅰの単位取得者を対象とします。（段階科目）</p> <p>ボランティア活動届を学生支援課にボランティア活動開始前に必ず提出してください。</p> <p>ボランティア活動届およびボランティア活動記録については、大学のポータルサイトに書式があります。</p> <p>履修者のボランティア活動中の事故等について、責任を負うものではありません。</p>							

予習・復習の 所要時間	講義時間 60 時間 + 予習・復習時間 30 時間 (2 時間×15 週)
実務経験を活かした 教育内容	

科目名称	海外英語研修 I							
科目分類	100-130-21	単位数	履修ガイド参照					
英文名称	English Training Abroad I		授業区分	演習・実習・実技				
科目責任者	松山 響子		必修・選択	履修ガイド参照				
担当教員	浅川・井戸・工藤・中野(達)・福王・ブライアン・フザ・松山		開講時期	履修ガイド参照				
オフィスアワー	-		研究室	-				
授業概要	オーストラリアないしはニュージーランドにおいて 2 週間ホームステイをしながら、大学あるいは語学学校に通学し、英語の研修を受けます。研修を通して海外での生活や異文化に触れ、言語ばかりでなく総合的なコミュニケーションスキルの習得を目標としています。こうした体験を通してあらためて英語学習に対する動機を自分に問い直し、帰国後も語学学習に興味関心をもって臨めるようにしましょう。							
到達目標	英語の環境に身を置くことで、運用能力を高める。相手の意図を聞き取り、自分の意思を伝えることができる。ホームステイにより、現地の生活を実際に体験し、異文化を知る。							
アクティブ・ラーニング型授業	有							
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）								
<p>研修そのもの実施は 2023 年 2 月中旬以降約 2 週間、予定しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南半球における 2 月は夏であるため、充実した海外体験が可能であると考えています。 ・1 家庭につき日本人学生 1 名のみで 2 週間ホームステイすることになっています。 ・大学や語学学校へ通学しながら異文化を体験することとなります。 ・オーストラリアやニュージーランドの歴史や文化、地理といった講義も展開されます。 ・現地の人との交流や観光地への小旅行など、アクティビティも予定されています。 ・尚、帰国後レポート提出が求められます。 								
授業開始前学習	数回にわたり実施される説明会に必ず出席すること。							
授業内課題のフィードバックの方法	語学学校の指定に従って授業課題を終了すること。							
テキスト・教材	現地の語学学校にて配布されます。							
参考書								
評価の基準と方法	説明会への出席、現地の学校の成績、そして帰国後に提出されるレポートで成績を判断します。特に後期に開催される説明会には必ず出席のこと、出席が難しい場合は担当教員と要相談をしてください。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当			◎				△	○
関連科目	必修英語 A・B：海外での英語研修において必要とされる総合的な英語力を、当該授業で修得するため。 英会話 I・II：海外生活で必要とされる英語でのコミュニケーション能力を、当該授業で修得するため。							
その他	参加にあたっては 30 万円～40 万円程度の費用がかかります。受け身ではなく、自分から積極的に行動することが、海外研修を成功に導くカギです。 履修対象：1 年生～3 年生							
予習・復習の所要時間	講義時間 60 時間 + 予習・復習時間 30 時間（2 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	海外英語研修Ⅱ							
科目分類	100-130-22			単位数	履修ガイド参照			
英文名称	English Training Abroad Ⅱ			授業区分	演習・実習・実技			
科目責任者	松山 響子			必修・選択	履修ガイド参照			
担当教員	浅川・井戸・工藤・中野(達)・福王・ブライアン・フザ・松山			開講時期	履修ガイド参照			
オフィスアワー	-			研究室	-			
授業概要	オーストラリアないしはニュージーランドにおいて 2 週間ホームステイをしながら、大学あるいは語学学校に通学し、英語の研修を受けます。研修を通して海外での生活や異文化に触れ、言語ばかりでなく総合的なコミュニケーションスキルの習得を目標としています。こうした体験を通してあらためて英語学習に対する動機を自分に問い直し、帰国後も語学学習に興味関心をもって臨めるようにしましょう。							
到達目標	英語の環境に身を置くことで、運用能力を高める。相手の意図を聞き取り、自分の意思を伝えることができる。ホームステイにより、現地の生活を実際に体験し、異文化を知る。							
アクティブ・ラーニング型授業	有							
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）								
<p>研修そのもの実施は 2023 年 2 月中旬以降約 2 週間、予定しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南半球における 2 月は夏であるため、充実した海外体験が可能であると考えています。 ・1 家庭につき日本人学生 1 名のみで 2 週間ホームステイすることになっています。 ・大学や語学学校へ通学しながら異文化を体験することとなります。 ・オーストラリアやニュージーランドの歴史や文化、地理といった講義も展開されます。 ・現地の人との交流や観光地への小旅行など、アクティビティも予定されています。 ・尚、帰国後レポート提出が求められます。 								
授業開始前学習	数回にわたり実施される説明会に必ず出席すること。							
授業内課題のフィードバックの方法	語学学校の指定に従って授業課題を終了すること。							
テキスト・教材	現地の語学学校にて配布されます。							
参考書								
評価の基準と方法	説明会への出席、現地の学校の成績、そして帰国後に提出されるレポートで成績を判断します。特に後期に開催される説明会には必ず出席のこと、出席が難しい場合は担当教員と要相談をしてください。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当			◎				△	○
関連科目	必修英語 A・B：海外での英語研修において必要とされる総合的な英語力を、当該授業で修得するため。 英会話Ⅰ・Ⅱ：海外生活で必要とされる英語でのコミュニケーション能力を、当該授業で修得するため。							
その他	参加にあたっては 30 万円～40 万円程度の費用がかかります。受け身ではなく、自分から積極的に行動することが、海外研修を成功に導くカギです。 履修対象：1 年生～3 年生							
予習・復習の所要時間	講義時間 60 時間 + 予習・復習時間 30 時間（2 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	進路設計		
科目分類	100-110-11 (J)	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Career Planning	授業区分	講義
科目責任者	新井 香子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	新井 香子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	<p>本授業は、社会に羽ばたく準備として「キャリア（生き方や働き方）」を学ぶことが大きなテーマとなります。自分らしく生きるための考え方、目標をたて、行動するきっかけを作ります。自分のこと、取り巻く社会や生き方の多様性を知り対話を通じて今後の就職活動にむけての準備をしていきます。授業の序盤では主に自分の興味や価値観や大事にしていることを見つけ、一緒に学ぶ仲間の価値観を知ることで考え方の多様性を理解します。その後現代社会の状況理解、業種・職種・働き方などのさまざまな知識を習得し、後半では職業人に対するインタビューを実施しレポートに纏めることで職業理解を深めます。授業は「講義」⇒「個人ワーク」⇒「ディスカッション」「グループワーク」「発表」などを組み合わせアクティブラーニングで行います。</p>		
到達目標	「自分を知る、他者を知る、社会を知る」という3つのアプローチから、進路の明確化や働くことへの意欲の向上、自らのキャリアを考える機会を持つことを目標とします。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：学科シラバスに目を通しておくこと 授業：授業イントロダクション & キャリアデザインってなんだろう？（グループワーク、ディスカッション） 復習：授業時間内に明示</p> <p>【第2回】 予習：コミュニケーションするってなに？－授業時間内に明示 授業：人間関係づくり（グループワーク、実習） 復習：授業時間内に明示</p> <p>【第3回】 予習：自分を発見しよう－授業時間内に明示（資料配布など） 授業：自分を発見しよう（グループワーク、ディスカッション） 復習：授業時間内に明示</p> <p>【第4回】 予習：時間とお金について学ぶ－授業時間内に明示（資料配布など） 授業：時間とお金について学ぶ（グループワーク、ディスカッション） 復習：授業時間内に明示</p> <p>【第5回】 予習：「働く」をとりまく法について学ぶ－授業時間内に明示（資料配布など） 授業：法について学ぶ（グループワーク、ディスカッション） 復習：授業時間内に明示</p> <p>【第6回】 予習：職業人インタビュー事前学習(インタビュー記事を検索してくる) 授業：職業人インタビュー計画書作成（グループワーク・実習） 復習：授業時間内に明示</p> <p>【第7回】 予習：身近なもの（好きなもの）から職業を考える 授業：社会を知る① 社会のつながりと多様な職業を知る（グループワーク、プレゼンテーション） 復習：授業時間内に明示</p> <p>【第8回】 予習：業種&職業調査 授業：社会を知る② 業種と職種と働き方について学ぶ（グループワーク、プレゼンテーション） 復習：授業時間内に明示</p> <p>【第9回】 予習：「ライフイベント」と「働く」についての予備知識を考える 授業：ライフキャリアプランについて学ぶ（グループワーク、ディスカッション） 復習：授業時間内に明示</p> <p>【第10回】 予習：自分のロールモデルを探す(憧れの生き方について考えてみる) 授業：ロールモデルについて考える（プレゼンテーション、ディスカッション） 復習：授業時間内に明示</p> <p>【第11回】 予習：社会人基礎力について（資料配布） 授業：社会人基礎力（グループワーク、プレゼンテーション） 復習：授業時間内に明示</p> <p>【第12回】</p>			

<p>予習：社会で求められる人材について調べる（資料配布） 授業：社会で求められる人材について知る（グループワーク、プレゼンテーション） 復習：授業時間内に明示</p> <p>【第13回】 予習：メンタルヘルスについての基礎知識を得る（資料配布） 授業：活き活きとしたキャリアをつくるためのメンタルヘルス（グループワーク） 復習：授業時間内に明示</p> <p>【第14回】 予習：目標設定シートに記載することを考えてくる 授業：今後の大学生活～未来への目標設定（発表） 復習：授業時間内に明示</p> <p>【第15回】 予習：【第14回】授業までのワークの振り返りやレポートを見返す 授業：職業人インタビューのまとめ「報告会」（発表、ディスカッション） 復習：設定した目標に向けて実際に取り組みをはじめる</p>								
授業開始前学習	授業内容の予習を参照							
授業内課題のフィードバックの方法	授業内で理解した内容、気づいたこと、質問、感想などを毎回リアクションペーパーにまとめて提出する。記載内容については次の授業で講師がコメントをする。							
テキスト・教材	齊藤 博・上本 裕子著『大学1年からのキャリアデザイン実践 第2版』(八千代出版)							
参考書	必要に応じて授業内で紹介します。							
評価の基準と方法	平常点（ディスカッションやグループワークへの参加態度や貢献度といった授業態度、確認テスト、リアクションペーパー、課題提出物の内容など）（60%）とインタビュー・レポート（40%）を基本に総合評価をします。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		○	◎			○	
関連科目	2年次のキャリア関連授業							
その他	<p>講義構成（例）：事前準備してきた課題について自分の言葉で話してみる/ペア（10分）→グループディスカッション（45分）+全体シェア（15分）→講義&フィードバック（20分）</p> <p>■講義前：課題の事前学習を必ずしてくる ■講義中：4～5名1組のグループを組み、対話や協働作業などを行います。講義時間は学んだことをアウトプットする「学び合い・教え合い」などの協働的な学習の場であり、学んだことを体感する場となります。遅刻や欠席はグループのメンバーに迷惑が掛かります。毎回きちんと参加をして主体的にワークに取り組んでください。</p>							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容	民間企業で 20 年以上の社会人経験、行政・産業・学校・地域領域においてキャリアコンサルティングの面談や研修・ワークショップ・講演等の実務経験あり。国家資格キャリアコンサルタント 社会や企業で求められる心構えや能力について、インタラクティブなやりとりを通じて学びを促進する。							

科目名称	進路設計		
科目分類	100-110-11 (J)	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Career Planning	授業区分	講義
科目責任者	民部田 駒子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	民部田 駒子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	本授業は、大学卒業後を見据え、皆さん一人ひとりが納得のいく人生を送るために、「生き方」「働き方」「大学生活の過ごし方」を自分で考え、行動するきっかけをつくります。また、就職活動や社会人として必要になる心構えや能力について学び、社会に目を向け、自己理解を深め、多様な人たちと関わるコミュニケーションスキルを高めていきます。それにより大学生活をさらに充実させていくことを目指します。		
到達目標	① 自分を知る：自分の興味・強み・価値観を理解する ② 社会を知る：社会で求められる力、業界・企業・職業など多様な働き方を理解する ③ 自己理解と社会理解を深め、大学生活から将来に向けた目標設定ができる		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：学科シラバスに目を通す。テキスト第1章を読んでおく 授業：授業全体のガイダンス（進め方、評価方法、約束事）、キャリアデザインの考え方 復習：キャリアデザインがなぜ必要なのか理解したことを整理する</p> <p>【第2回】 予習：テキスト第12章を読んでおく 授業：コミュニケーションとは？（グループワーク） 復習：授業時間内に明示</p> <p>【第3回】 テキスト第2章を読んでおく 授業：これまでの自分を振り返る（グループワーク） 復習：授業時間内に明示</p> <p>【第4回】 予習：テキスト第3章を読んでおく 授業：人生における自分の役割（グループワーク） 復習：授業時間内に明示</p> <p>【第5回】 予習：テキスト第4章を読んでおく 授業：ライフイベントとお金について（グループワーク） 復習：授業時間内に明示</p> <p>【第6回】 予習：テキスト第5章を読んでおく 授業：社会と自分のキャリアの関連性（グループワーク） 復習：授業時間内に明示</p> <p>【第7回】 予習：テキスト第6章を読んでおく 授業：働くとは何か（グループワーク） 復習：授業時間内に明示</p> <p>【第8回】 予習：テキスト第7章を読んでおく 授業：働く上での法とルールについて（グループワーク） 復習：授業時間内に明示</p> <p>【第9回】 予習：働いている女性のインタビュー記事などを読み、発表準備をする（授業時間内に説明） 授業：女性の生き方・働き方について学ぶ（グループワーク） 復習：授業時間内に明示</p> <p>【第10回】 予習：世の中にどのような業界・企業・職種があるか調べておく（授業時間内に説明） 授業：業界・企業・職種について知る（グループワーク） 復習：業界・企業・職種についての理解を深める</p> <p>【第11回】 予習：興味のある業界・企業・職種について調べる（授業時間内に説明） 授業：調べた業界・企業・職種についての発表（プレゼンテーション）、社会人基礎力について 復習：授業時間内に明示</p>			

<p>【第12回】 予習：テキスト第8章を読んでおく 授業：社会で求められる人材と就職活動の基礎知識（グループワーク） 復習：授業時間内に明示</p> <p>【第13回】 予習：これまでの授業を振り返り、新たに気付いたこと、不明点を整理しておく（授業時間内に説明） 授業：自己理解、社会理解の統合（グループワーク） 復習：授業時間内に明示</p> <p>【第14回】 予習：第13回授業までのワークを振り返る、目標シートに記載することを考えてくる 授業：目標の立て方について学ぶ、今後の大学生活から将来に向けての目標設定 復習：目標シートを見直し、プレゼンテーションの準備をする</p> <p>【第15回】 予習：プレゼンテーションの準備をする 授業：今後の大学生活から将来に向けての目標発表（プレゼンテーション） 復習：プレゼンテーションの振り返り、設定した目標に向けて実際に取り組みをはじめる</p>								
授業開始前学習	なし							
授業内課題の フィードバックの方法	毎回の授業で得た気づき、感想、質問などをリアクションペーパーにまとめて提出。 提出されたリアクションペーパーに対して講師が次の授業にてコメントする。							
テキスト・教材	『大学生のキャリアデザイントレーニング』（晃洋書房）							
参考書	必要に応じて授業内で紹介します。							
評価の基準と方法	平常点（授業態度及び各回のリアクションペーパー内容の評価：60%）と提出課題（40%）を基準とし、総合的に判断します。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		○	◎			○	
関連科目	2年次のキャリア関連授業に連携します。							
その他	① 本授業は社会に出る準備の場です。基本的なマナー（あいさつ、言葉遣い、立ち振る舞い等）を守り、主体的に取り組みましょう。遅刻・私語厳禁です。 ② 毎回テキストのワークに取り組むため、必ず指定のテキストを手元に準備してください。また、グループディスカッションを通して、自己理解、他者理解を図っていきます。積極的に参加しましょう。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容	人材ビジネスや公共、教育領域でのキャリアコンサルタントとして様々な階層の人々の相談業務に携わる。 以上に加え、自身が家族や社会環境の変化に伴い、働き方を選択してきた経験を提供します。							

科目名称	進路設計		
科目分類	100-110-11 (J)	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Career Planning	授業区分	講義
科目責任者	松岡 友子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	松岡 友子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	「キャリア」とは「経歴・役割」のことです。現在の自分は過去の延長線上にあり、未来は現在の延長線上にあります。本授業ではまず「自分」を知り、自分と関わる「他者」を理解し、皆が生きていく「社会」に目を向けることをテーマとします。内容としては職業をキーワードに、個人ワーク・グループワーク・インタビューなど自ら主体的に学びます。そしてその中でコミュニケーション力やマナーの基礎を身につけ、どんなに変化が激しい時代にあっても自分のキャリアを自らデザインしていく力を身につけます。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分を知る」…自分の強み、克服したい弱み、価値観、興味、魅力に自信を持ち、正しく伝えることができる。 ・「他者を理解する」…自己開示と受容の重要性を理解し、協働の大切さと成果を理解する。 ・「社会に目を向ける」…日々変化する社会状況を積極的にとらえ、柔軟で多角的の視点を持つ。 ・生涯にわたって大切となるコミュニケーションとマナーの基礎を身につけることを目標とする。 		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：学科シラバス、テキスト「はしがき」「序」を読んでおく 授業：授業イントロダクション（ペアワーク・グループワーク） 復習：授業時間内に明示</p> <p>【第2回】 予習：テキスト「A」を読んでおく 授業：キャリアとは何か（グループワーク） 復習：授業時間内に明示</p> <p>【第3回】 予習：テキスト「第3講」を読んでおく 授業：自分ライフストーリー（グループワーク） 復習：授業時間内に明示</p> <p>【第4回】 予習：テキスト「第6講」を読んでおく 授業：ジョハリの窓（グループワーク） 復習：授業時間内に明示</p> <p>【第5回】 予習：テキスト「第12講」を読んでおく 授業：ライフキャリアとワークキャリア 復習：授業時間内に明示</p> <p>【第6回】 予習：テキスト「第8講～第11講」を読んでおく 授業：仕事とは何か（グループワーク） 復習：授業時間内に明示</p> <p>【第7回】 予習：インタビューする相手を考えておく 授業：インタビュー用意（グループワーク） 復習：授業時間内に明示</p> <p>【第8回】 予習：授業時間内に明示 授業：アクティブリスニングとインタビュー（ペアワーク） 復習：授業時間内に明示</p> <p>【第9回】 予習：テキスト「第17講」を読んでおく 授業：傾聴とアサーティブコミュニケーション（グループワーク） 復習：授業時間内に明示</p> <p>【第10回】 予習：授業時間内に明示 授業：言葉遣いと敬語（グループワーク） 復習：授業時間内に明示</p> <p>【第11回】 予習：テキスト「F」を読んでおく 授業：仕事の世界を考える（グループワーク） 復習：授業時間内に明示</p> <p>【第12回】</p>			

予習 : テキスト「G」を読んでおく
 授業 : ワーク・ライフ・バランス (グループワーク)
 復習 : 授業時間内に明示
 【第 13 回】
 予習 : テキスト「第 5 講」を読んでおく
 授業 : エゴグラム・交流分析 (グループワーク)
 復習 : 授業時間内に明示
 【第 14 回】
 予習 : テキスト「E」を読んでおく
 授業 : 社会人基礎力
 復習 : 授業時間内に明示
 【第 15 回】
 予習 : 全授業の振り返りとインタビューレポート発表
 授業 : インタビューレポートの発表 (グループワーク・プレゼンテーション)
 復習 : 授業時間内に明示

授業開始前学習	特にありませんが、職業人インタビューを行いますので、どなたにお願いするか考えておいてください。							
授業内課題の フィードバックの方法	提出物については、ポータルサイト提出分含め次回講義冒頭に総評と補足説明を行い、必要に応じて個別にコメント、回答します。							
テキスト・教材	<ul style="list-style-type: none"> ・西本 万映子・北浦 正行 編著『新版 キャリアデザインの教科書』 (労働調査会) ・随時、資料等を配布 							
参考書	松岡友子『誰とでも仲良くなれる敬語の使い方』(明日香出版社)							
評価の基準と方法	授業態度や課題提出物などの平常点 (60%) とインタビューレポート (40%) を基本とした総合評価とします。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		○	◎			○	
関連科目	2 年次のキャリア関連授業							
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストを忘れないようにしてください。 ・ノートを用意してください。 ・発表、共有の場としてペアワーク、グループワークを行います。ペアワーク、グループワークは「相手のため、仲間のため」に行うものです。主体的、積極的に参加してください。 ・他者とのコミュニケーションにマナーは不可欠です。特に明るいあいさつ、適切な言葉遣いを心がけましょう。 ・課題の提出状況、「職業人インタビュー」レポートを評価対象とします。 ・受講者の状況により、講義順序や内容が一部変更となる可能性があります。 							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 60 時間 (4 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容	TA (交流分析) カウンセラー、ハラスメント防止コンサルタント、企業研修講師の実務経験あり。企業や社会の現状、期待を学生に伝え、学生の気づきや疑問に答える双方向授業を行う。							

科目名称	進路設計		
科目分類	100-110-11 (J)	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Career Planning	授業区分	講義
科目責任者	小林 幸夫	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	小林 幸夫	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	本講義は、これからの人生、仕事、大学生活といった自分の進路（生き方）を考えるにあたって必要なプランを描くことを学びます。プランを描くためには目的や目標が必要になりますが、そのためには自分自身や社会を知り、課題の洗い出しかたや解決方法を考えることが重要になります。また、各種調査やグループワークを通して、気づきや視野を広げることの大切さも学びます。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ① 「自分を知る」ということを理解し、新たな気づきと現在の自分とのギャップから課題設定ができる。 ② 「意思決定」とは何かを理解し、意思決定するために必要な要因を見出すことができる。 ③ 目標を設定して、キャリアプランを描くことができる。 		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：シラバスに目を通す。「キャリア」「プラン」「デザイン」それぞれの言葉の定義を調べる 授業：授業のガイダンス（目標、ルールなど）、キャリア、プラン、デザインとは何か？キャリアプランとは何か？（ディスカッション） 復習：キャリアプランとキャリアデザインの意味をまとめる</p> <p>【第2回】 予習：「コミュニケーション」ならびに「コミュニケーション能力」とは何かを調べる 授業：話すことと聴くこと、言語と非言語、コミュニケーションで大切なことを学ぶ（ペアワーク、ディスカッション） 復習：コミュニケーションで意識すべきことをまとめる</p> <p>【第3回】 予習：ワークシートI-2を作成する 授業：現在の自分を理解し、過去から現在までを振り返る（ワーク、ディスカッション） 復習：気づいたこと、現在の自分の課題をまとめる</p> <p>【第4回】 予習：自分が自覚している性格や特徴を書き出す 授業：自分が自覚している自分と、他人が見る自分とのギャップを知る（グループワーク、ディスカッション） 復習：自分と他人のギャップ、ならびにギャップの理由と今後を考える</p> <p>【第5回】 予習：大学卒業までの大きな予定を書き出しておく 授業：プランニングの基礎を学ぶ：卒業までのプランを描く（グループワーク、発表） 復習：予習で考えたことと、授業で気づいたことの差を理解する</p> <p>【第6回】 予習：ワークシートII-5とII-7を実施する 授業：価値観と興味を知る（ディスカッション） 復習：テスト結果による気づきと、その活用方法を考える</p> <p>【第7回】 予習：ワークシートIII-1を作成する 授業：働くことの意義を考える（ディスカッション、発表） 復習：社会人になるための課題と、何のために働くかを言語化する</p> <p>【第8回】 予習：ワークシートIII-3を作成する 授業：企業イメージと実際を知る（ディスカッション、発表） 復習：先入観やステレオタイプの弊害を考える</p> <p>【第9回】 予習：「業種」と「職種」について調べ、それぞれどのようなものがあるかを調べる 授業：業種と職種の分類と、自分の関心に関連づける（ディスカッション、発表） 復習：仕事選択時に、業種と職種をどのように活用するかを考える</p> <p>【第10回】 予習：テキストP57-62を講読する 授業：社会人基礎力チェックを実施し、それぞれの課題を考える（ワーク、ディスカッション） 復習：社会人基礎力の課題を明らかにし、その解決方法をまとめる</p> <p>【第11回】 予習：ワークシートI-7とI-8を作成する 授業：キャリアプラン作成準備（グループワーク、ディスカッション） 復習：目標と動機を言語化する</p>			

<p>【第12回】 予習：葛藤とは何か調べ、過去に経験した決めることが難しかった葛藤を書き留めておく 授業：過去の後悔した意思決定の問題点、ならびに後悔しない意思決定に必要なことは何か（ディスカッション、発表） 復習：今後、遭遇するであろう意思決定に必要なことを考える</p> <p>【第13回】 予習：資格の分類や種類を調べ、取得したい資格と理由を考える 授業：資格はどのように活用されているか、資格取得で注意すべきことを考える（ディスカッション、発表） 復習：取得したい資格の理由と課題をまとめる</p> <p>【第14回】 予習：キャリアプラン発表準備をする 授業：キャリアプランの発表、発表者へのコメントをする 復習：キャリアプラン発表を振り返り、キャリアの課題をレポートにまとめる</p> <p>【第15回】 予習：キャリアプランの発表準備をする 授業：キャリアプランの発表、発表者へのコメントをする 復習：キャリアプラン発表を振り返り、キャリアの課題をレポートにまとめる</p>								
授業開始前学習	指定テキストを眺めておく。 「各回の授業内容と課題学習（予習・復習）」欄の【第1回】予習を参照する。							
授業内課題の フィードバックの方法	リアクションペーパーの内容で共有する必要があるものや、補足すべきことは、次回授業で説明します。また必要に応じて個別にコメントします。							
テキスト・教材	齊藤 博・上本裕子著『大学1年からのキャリアデザイン実践 第2版』（八千代出版）							
参考書	必要に応じて紹介します。							
評価の基準と方法	平常点（授業の参加態度やグループワークへの貢献度、予習の準備内容、リアクションペーパーなど）（60%）と、キャリアプラン（キャリアプラン発表、レポート）（40%）を基に、総合的に評価します。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		○	◎			○	
関連科目	2年次以降の就業力育成科目と関連します。							
その他	① テキストは、ワークを行うためにも必ず持参してください。 ② 授業に臨むためには予習は必須です。グループワークなどで必要になりますので必ず行ってください。 ③ 他人の意見を聴くことを心がけましょう。また自分の意見は、自信をもって伝えましょう。 ④ グループワークは、新たな気づきの場となりますので、積極的に参加しましょう。 ⑤ 授業の中で知ったクラスメイトの個人的な情報を、口外する（SNSへの投稿なども含む）ことは厳禁です。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容	長年の企業経験（システム開発、プロジェクトマネジメント、セールスプロモーション、リスクマネジメントなど）や、多様な世代への転職相談、社会人の学びの相談経験を活かした授業を行います。 キャリアコンサルタント、公認心理師、ファイナンシャルプランナー。							

科目名称	☆キャリアと教養演習 A / 社会と教養演習 A		
科目分類	100-130-22 (J)	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Career and Liberal Arts Exercises A / Seminar on Career A	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	永久 理恵	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	永久 理恵	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	本授業のテーマは、社会へ出ていく準備です。そのために「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」で構成される「社会人基礎力（＝3の能力／12の能力要素／3の視点）」に取り組みます。「ペアワーク」「グループワーク」「対話と討議」「ファシリテーション」「プレゼンテーション」などの演習を通じ、社会人として必要になる心構えと能力について学び、広く社会の課題についても考えます。変化の激しい時代に、自ら考え、答えを見つけていく「探求」にチームで取り組みます。視野を広げ、自己理解を深め、多様な人たちと関わるコミュニケーションスキルを高め、大学生活をさらに充実させていきましょう。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ■ 社会で必要とされている「社会人基礎力」について理解を深め、身につけるためのコツを獲得する。 ■ 多様性を活かすコミュニケーション＆ファシリテーションの意識とスキルを高める。 ■ チームで「探求」に取り組み、課題解決力を身につける。 ■ 社会で起きている出来事に目を向けるようになる。 ■ 自分への自信を高める。 		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 授業：授業ガイダンス / 社会人基礎力とは（ペアワーク） 復習：自分なりにキャリアについて考える</p> <p>【第2回】 予習：自分のキャリアについて考える 授業：社会で求められる心構えと能力（グループワーク） 復習：特に学びたい社会人としての力を考える</p> <p>【第3回】 予習：自己紹介を考える 授業：コミュニケーションスキルに取り組む～知り合うワーク～（グループワーク） 復習：授業の振り返り（自身のコミュニケーションについて）</p> <p>【第4回】 予習：社会人マナーで不安なことを考える 授業：社会人としてのビジネスマナーなど（学生の希望により内容を検討する）（実習） 復習：ワークシート未記入箇所に取り組む</p> <p>【第5回】 予習：多様性について考える 授業：キャリア形成に必要な要素～価値観について考える～（ペアワーク） 復習：授業の振り返り（自身の価値観について）</p> <p>【第6回】 予習：自己主張がむずかしい場面を考える 授業：アサーティブコミュニケーション（自己分析とコミュニケーションに関する知識）（ディスカッション） 復習：ワークシート未記入箇所に取り組む（アサーション）</p> <p>【第7回】 予習：チームについて考える 授業：グループワーク～チームコミュニケーション～（グループワーク） 復習：授業の振り返り（自身の人との関わり方について）</p> <p>【第8回】 予習：「聞きながら書く」練習をする 授業：ファシリテーションを学ぶ～ホワイトボードを活用するミーティング～（ペアワーク） 復習：「聞きながら書く」練習をする</p> <p>【第9回】 予習：チームコミュニケーションについて考える 授業：グループワーク～合意形成に取り組む～（グループワーク / 課題解決型学習） 復習：ワークシート未記入箇所に取り組む（チームで働く）</p> <p>【第10回】 予習：「私」について考える 授業：自己概念～私について語る～（グループワーク） 復習：ワークシート未記入箇所に取り組む（自己概念）</p> <p>【第11回】 予習：SDGsについて調べる 授業：探求学習とSDGs（ディスカッション） 復習：社会で起きている問題に目を向ける</p> <p>【第12回】</p>			

<p>予習：社会で起きている問題に目を向ける 授業：ゲームを通じてSDGsを深める（グループワーク） 復習：ワークシート未記入箇所に取り組む（社会の課題）</p> <p>【第13回】 予習：KPIについて調べる 授業：伝える力を高める～プレゼンテーションを学ぶ（グループワーク） 復習：社会で起きている問題を自分なりに整理する</p> <p>【第14回】 予習：プレゼンテーション準備 授業：プレゼンテーション資料作成（グループワーク） 復習：プレゼンテーション準備</p> <p>【第15回】 予習：プレゼンテーション準備 授業：プレゼンテーション「Z世代からの提案」（プレゼンテーション） 復習：授業全体の振り返りを行い、今後の学生生活に活かしていく</p>								
授業開始前学習	新聞やテレビ、ネットなどのニュースを通して、社会で起きている出来事に目を向けてください。さらにその出来事に対して、自分なりの考えを持つようにしてください。SDGsについても関心を寄せましょう。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎回、授業終了時に振り返りシートを提出してください。次回講義時に返却します。							
テキスト・教材	毎回、資料を配布します。							
参考書								
評価の基準と方法	平常点（授業態度など）（60%）と最終プレゼンテーション（40%）を基本に総合評価をします。毎回の授業で記入する振り返りシートも評価の対象です。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎		○	○			○	
関連科目	一年次必修「進路設計」							
その他	社会人になる準備をするための授業です。基本的なマナー（挨拶、身だしなみ、言葉遣い、立ち振舞い等）に気を配り、主体的に取り組ましましょう。遅刻・私語厳禁です。毎回、ペアやグループで演習や話し合いに取り組み、体験学習で学びを深めます。コミュニケーションにチャレンジし、楽しみましよう。学生の希望を授業内容に取り入れるため、シラバスの変更も生じます。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容	ビジネスマン、キャリアコンサルタント、企業研修講師等の実務経験があり、社会や企業で求められる心構え・能力について講義し、体験学習による学びを促進する。							

科目名称	☆キャリアと教養演習 B / 社会と教養演習 B		
科目分類	100-130-22 (J)	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Career and Liberal Arts Exercises B / Seminar on Career B	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	樋口 浩子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	樋口 浩子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	本授業は、社会で必要とされている「社会人基礎力」について知り、身につけるための取り組み方法や強化ポイントについて、グループワークを通じて学ぶことを目標とします。多様な人との関わりの中で、社会の一員として責任を果たし、貢献、成長していくためには、大きく3つの力「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」が必要とされます（経済産業省「社会人基礎力」）。これらは、社会人になっても、継続的に取り組む必要があるものです。授業のテーマは、この3つの力を構成する12の能力要素となります。		
到達目標	本授業は、就職活動の準備として、社会で必要とされている「社会人基礎力」について知り、身につけるための取り組み方法や強化ポイントについて学ぶことを目標とします。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：自己理解（過去の行動などについて振り返る）をしておく 授業：授業ガイダンス 復習：自己理解（過去の行動などについて振り返る）をしておく</p> <p>【第2回】 予習：自己理解（過去の行動などについて振り返る）をしておく 授業：社会人基礎力とは（4～10ページ） 復習：ワークシート未記入箇所に取り組む</p> <p>【第3回】 予習：前回までの復習をする 授業：＜前に踏み出す力①＞主体性（12～19ページ）（グループディスカッション） 復習：ワークシート未記入箇所に取り組む</p> <p>【第4回】 予習：前回までの復習をする 授業：＜前に踏み出す力②＞働きかけ力（20～25ページ）（グループディスカッション） 復習：ワークシート未記入箇所に取り組む</p> <p>【第5回】 予習：前回までの復習をする 授業：＜前に踏み出す力③＞実行力（26～30ページ）（グループディスカッション） 復習：ワークシート未記入箇所に取り組む</p> <p>【第6回】 予習：前回までの復習をする 授業：＜考え抜く力①＞課題発見力（36～42ページ）（グループディスカッション） 復習：ワークシート未記入箇所に取り組む</p> <p>【第7回】 予習：前回までの復習をする 授業：＜考え抜く力②＞計画力（43～50ページ）（グループディスカッション） 復習：ワークシート未記入箇所に取り組む</p> <p>【第8回】 予習：前回までの復習をする 授業：＜考え抜く力③＞創造力（51～56ページ）（グループディスカッション） 復習：ワークシート未記入箇所に取り組む</p> <p>【第9回】 予習：前回までの復習をする 授業：＜チームワーク①＞発信力（62～68ページ）&アサーショントレーニング（グループワーク） 復習：ワークシート未記入箇所に取り組む、アサーションを生活に取り入れる</p> <p>【第10回】 予習：前回までの復習をする 授業：＜チームワーク②＞傾聴力（69～77ページ）&アクティブラーニングトレーニング（ペアワーク） 復習：ワークシート未記入箇所に取り組む、アクティブラーニングを生活に取り入れる</p> <p>【第11回】 予習：前回までの復習をする 授業：＜チームワーク③＞柔軟性（78～84ページ）（グループワーク） 復習：ワークシート未記入箇所に取り組む</p> <p>【第12回】 予習：前回までの復習をする</p>			

<p>授業：＜チームワーク④＞状況把握力（85～90ページ）（グループディスカッション） 復習：ワークシート未記入箇所に取り組む 【第13回】 予習：前回までの復習をする 授業：＜チームワーク⑤＞規律性（91～97ページ）（グループディスカッション） 復習：ワークシート未記入箇所に取り組む 【第14回】 予習：前回までの復習をする 授業：＜チームワーク⑥＞ストレスコントロール力（98～106ページ） 復習：ワークシート未記入箇所に取り組む、テキストを見直し社会人基礎力全体を理解する 【第15回】 予習：テキストすべてに目を通しておく 授業：まとめのワーク 復習：最終回までの復習をする</p>								
授業開始前学習	授業内容欄の予習を参照							
授業内課題の フィードバックの方法	コメントを入れて授業講義時に返却							
テキスト・教材	富士通エフ・オー・エム株式会社（FOM出版）「社会人基礎力 社会で働くための基礎を学ぶ」2010年発売							
参考書								
評価の基準と方法	平常点（授業態度・課題提出など）（60%）と最終まとめレポート（40%）を基本に総合評価します。 毎回の授業で記入する振り返りシートも評価対象です。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎		○	○			○	
関連科目								
その他	社会人になる準備をするための授業です。基本的なマナー（挨拶、身だしなみ、言葉遣い、立居振舞など）を守り、主体的に取り組ましましょう。遅刻・私語厳禁です。 3～4名1組のグループ分けをします。多様な人との関わりの中で学ぶために、グループは何回か変更して行います。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容	社会で必要とされている能力について、企業で 20 年以上の社会人経験を活かし講義する。 また、キャリアカウンセラーとして就職活動を支援している経験からも、社会で必要とされている能力について学生生活の中でどのように身につけていくかを伝える。							

科目名称	☆キャリアと教養演習 C / 社会と教養演習 C		
科目分類	100-130-22 (J)	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Career and Liberal Arts Exercises C / Seminar on Career C	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	新井 香子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	新井 香子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	本授業は、社会で必要とされる「社会人基礎力」について知り、身につけるための取り組み方について、演習を通して学ぶことを目標とします。多様な人との関わりの中で、社会の一員として責任を果たし、貢献、成長していくためには、大きく3つの力「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」が必要とされます。社会で必要な力を身につけ、大学生活をさらに充実させていくことを目指します。また、グループディスカッションなどを通して、多様な人たちと関わるコミュニケーションスキルも高めています。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ① 社会で必要とされる「社会人基礎力」の理解を深め、身につけるための取り組み方法を獲得する。 ② 自己理解と他者理解を図り、多様な人と関わる力を獲得する。 ③ 社会人基礎力を伸ばすための大学生活での行動計画が立てられる。 		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：学科シラバスに目を通す 授業：授業全体のガイダンス（進め方、評価方法、約束事）、社会人基礎力とは 復習：特に身につけたい社会人としての力を考える</p> <p>【第2回】 予習：自分のことを伝える準備をする 授業：相互理解のコミュニケーション（ペアワーク・グループワーク） 復習：自分のコミュニケーションスタイルを振り返る</p> <p>【第3回】 予習：自分のコミュニケーション課題を考える 授業：アサーティブコミュニケーション（自己分析とコミュニケーションに関する知識）（ペアワーク・グループワーク） 復習：自分のコミュニケーションスタイルを振り返る</p> <p>【第4回】 予習：チームについて考える 授業：チームビルディング、チームコンセンサス（グループディスカッション） 復習：自分のチームでの関わり方を振り返る</p> <p>【第5回】 予習：グループディスカッションの進め方について考える 授業：グループディスカッション体験（グループディスカッション） 復習：自分のチームでの役割、貢献度を振り返る</p> <p>【第6回】 予習：社会の出来事で気になるテーマを調べておく 授業：社会で求められる課題解決力とは、気になる社会課題について考える（グループディスカッション） 復習：課題解決力について振り返る</p> <p>【第7回】 予習：気になる社会課題に関する情報を調べておく 授業：課題解決型プロジェクトに取り組む（チーム活動） 復習：チーム活動の振り返り</p> <p>【第8回】 予習：プロジェクトの準備 授業：課題解決型プロジェクトに取り組む（チーム活動） 復習：チーム活動の振り返り</p> <p>【第9回】 予習：プレゼンテーションの準備 授業：課題解決型プロジェクトのプレゼンテーション（プレゼンテーション） 復習：プレゼンテーションの振り返り</p> <p>【第10回】 予習：チーム活動で得た力や気づきを整理する 授業：課題解決型プロジェクトの振り返り（グループワーク） 復習：チーム活動で得た力の活かし方を考える</p> <p>【第11回】 予習：世の中にどのような業界・企業・職種があるか調べておく（授業時間内に説明） 授業：業界、企業、職種について、多様な働き方（グループディスカッション） 復習：業界、企業、職種について整理する</p>			

<p>【第12回】 予習：企業・職種リサーチ（授業時間内に説明） 授業：企業や仕事で求められる力についてリサーチ結果の発表（プレゼンテーション） 復習：プレゼンテーションの振り返り</p> <p>【第13回】 予習：働く上での法とルールについて調べておく（授業時間内に説明） 授業：働く上での法とルールについて（グループディスカッション） 復習：ワークシート未記入箇所に取り組む</p> <p>【第14回】 予習：第13回授業までのワークを振り返る、目標シートに記載することを考えてくる 授業：目標の立て方について学ぶ、今後の大学生活から将来に向けての目標設定 復習：目標シートを見直し、プレゼンテーションの準備をする</p> <p>【第15回】 予習：プレゼンテーション準備 授業：社会人基礎力を伸ばすための大学生活での行動計画の発表（プレゼンテーション） 復習：授業全体の振り返りを行い、今後の大学生活に活かしていく</p>								
授業開始前学習	なし							
授業内課題の フィードバックの方法	毎回の授業で得た気づき、感想、質問などをリアクションペーパーにまとめて提出。 提出されたリアクションペーパーに対して講師が次の授業にてコメントする。							
テキスト・教材	毎回、資料を配布します。							
参考書	必要に応じて授業内で紹介します。							
評価の基準と方法	平常点（授業態度及び各回のリアクションペーパー内容の評価：60%）とプレゼンテーション・提出課題（40%）を基準とし、総合的に判断します。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎		○	○			○	
関連科目	一年次必修「進路設計」							
その他	① 本授業は社会に出る準備の場です。基本的なマナー（あいさつ、言葉遣い、立ち振る舞い等）を守り、主体的に取り組みましょう。 ② 毎回、ペアやグループで演習やディスカッションに取り組み、体験学習で学びを深めます。主体的にワークに取り組むことがより自分の成長に繋がります。遅刻や欠席は共に学ぶメンバーに迷惑が掛かります。学生の希望を授業内容に取り入れるため、シラバスの変更も生じます。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容	民間企業で 20 年以上の社会人経験、行政・産業・学校・地域領域においてキャリアコンサルティングの面談や研修・ワークショップ・講演等の実務経験あり。国家資格キャリアコンサルタント。 社会や企業で求められる心構え・能力について講義し、体験学習による学びを促進する。							

科目名称	☆キャリアと教養演習 D / 社会と教養演習 D		
科目分類	100-130-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Career and Liberal Arts Exercises D / Seminar on Career D	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	橋本 衆宝	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	橋本 衆宝	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	前期 水曜日 09:00~12:00 後期 水曜日 09:00~12:00	研究室	10-616
授業概要	社会生活に必要な言語的知識と表現方法を習得し、社会人として、対人関係やその場、状況に応じて適切な言葉遣いを実践できるようにする。進路実現に向けて、就職試験に対応した言語分野における知識習得の演習と時事問題に関する新聞コラムを利用したクリティカル・リーディングの演習を行う。		
到達目標	社会生活において必要な言語的知識と表現方法を習得し、就職試験における言語分野の問題に慣れ、迅速かつ正確に解けるようになることを目標とする。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
【第 1 回】 予習：言語分野で特に学修したいことを考えておく。就職適性検査における言語分野（日本語）の出題傾向を調べておく。 授業：授業内容の説明 / 就職適性検査における言語分野（日本語）の出題内容について（実習） 復習：【第 1 回】配付資料を読み返し、復習する。			
【第 2 回】 予習：配付資料の（難読漢字）を読む。 授業：難読漢字の読み方と意味を確認し、実践問題に取り組む。 復習：【第 2 回】配付資料を読み返し、復習する。			
【第 3 回】 予習：配付資料の（対義語と類義語 1）を読む。 授業：対義語と類義語 1：対義語の主な構成。 復習：【第 3 回】配付資料を読み返し、復習する。			
【第 4 回】 予習：配付資料の（対義語と類義語 2）を読む。 授業：対義語と類義語 2：対義語の問題に取り組む / 類義語の主な構成 復習：【第 4 回】配付資料を読み返し、復習する。			
【第 5 回】 予習：配付資料の（対義語と類義語 3）を読む。 授業：対義語と類義語 3：類義語の問題に取り組む。 復習：【第 5 回】配付資料を読み返し、復習する。			
【第 6 回】 予習：配付資料の（語句の意味）を読む。 授業：語句の意味に関する問題に取り組む。 復習：【第 6 回】配付資料を読み返し、復習する。			
【第 7 回】 予習：配付資料の（四字熟語）を読む。 授業：四字熟語の問題に取り組む。 復習：【第 7 回】配付資料を読み返し、復習する。			
【第 8 回】 予習：配付資料の（二語の関係 1）を読む。 授業：二語の関係（包含関係、役割など）を問う問題に取り組む。 復習：【第 8 回】配付資料を読み返し、復習する。			
【第 9 回】 予習：配付資料の（二語の関係 2）を読む。 授業：二語の関係（材料、同列など）を問う問題に取り組む。 復習：【第 9 回】配付資料を読み返し、復習する。			
【第 10 回】 予習：配付資料の（語句・文の並べ替え 1）を読む。 授業：語句や文の並べ替え問題に取り組む。 復習：【第 10 回】配付資料を読み返し、復習する。			
【第 11 回】 予習：配付資料の（語句の並べ替え 2 / 文法）を読む。 授業：文や文章の並べ替え問題に取り組む / 主な文法事項について説明する。 復習：【第 11 回】配付資料を読み返し、復習する。			
【第 12 回】 予習：配付資料の（文法 2 / 読解 1）を読む。 授業：文法に関する問題・長文読解問題に取り組む。 復習：【第 12 回】配付資料を読み返し、復習する。			

<p>【第13回】 予習：配付資料の（読解2）を読む。 授業：文章の主旨や正誤を問う問題に取り組む。 復習：【第13回】配付資料を読み返し、復習する。</p> <p>【第14回】 予習：配付資料の（読解3）を読む。 授業：総合的な長文読解問題に取り組む。 復習：【第14回】配付資料を読み返し、復習する。</p> <p>【第15回】 予習：【第14回】までに配付した資料を読む。 授業：第1～14回の内容に関連した総合問題に取り組む。 復習：授業で学んだことをまとめる。</p>								
授業開始前学習	就職適性検査問題集に目を通し、言語分野（日本語）の出題傾向を知っておく							
授業内課題のフィードバックの方法	授業内容に即した課題を課す。課題のフィードバックは原則として翌授業時に行う。							
テキスト・教材	プリントを配付する							
参考書	学修内容に応じて、適宜、授業内で提示する。							
評価の基準と方法	定期試験（60%）と授業内課題・復習テスト（40%）で評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎		○	○			○	
関連科目	キャリアと教養演習A～C。言語表現演習I・II							
その他	第1回授業において、受講者の学修・進路ニーズを確認する。授業計画を再編する場合がある。その場合は、シラバスを再配付し、授業内容および課題、評価方法について改めて説明する。 この授業は同時双方向型授業と課題研究型授業を組み合わせで行う。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	☆ビジネスとキャリア／キャリアリテラシー		
科目分類	100-130-13 (J)	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Business and Career／Career Literacy	授業区分	講義
科目責任者	永久 理恵	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	永久 理恵	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	就活を取り巻く環境が変化中、本授業では就活の不安を緩和し、前向きな気持ちで行動していくことを目指し、自分の「軸」を見出すプロセスを学びます。個人やチームで企業や社会について調べ、考え、「グループワーク」「相互フィードバック」「課題解決」「プレゼンテーション」などの演習中心で授業を進め、経験を通して社会に出てから役立つ意識やスキルを習得していきます。知らなかった業界や職種にも視野を広げ、自分の可能性を広げ、納得感のある就職活動にチャレンジしていきましょう。そして自分の未来を明るく思い描いていきましょう。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ■ 就活に関する知識と情報を習得し、不安が緩和されることで、就活への意識が高まり前向きになる。 ■ 就活を取り巻く環境が変化する時だからこそ、自分の軸をしっかりとする。 ■ 対人関係やチーム活動に必要な要素を体験しながら学び、人と関わることに自信が持てるようになる。 ■ チームで課題解決に取り組むことで、社会人としての仕事をイメージできるようになる。 ■ 自分に向き合うことで自己認識を深め、就活に向けてさまざまな葛藤を乗り越えるコツを得る。 ■ 自分の将来を前向きに考えられるようになる。 		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 授業：授業ガイダンス&就職活動の流れ／キャリアについて考える（グループワーク） 復習：就職活動の流れと、本授業への取り組み方をイメージする</p> <p>【第2回】 予習：就活への不安、授業参加に向けて目標を設定する 授業：自分に向き合う① 就活に向けて行っていくこと（グループワーク） 復習：授業の振り返り ワークシート未記入分を記入</p> <p>【第3回】 予習：自己紹介を考える 授業：チームコミュニケーション① チームをつくる 聴く力と伝える力（ペアワーク） 復習：授業の振り返り ワークシート未記入分を記入</p> <p>【第4回】 予習：気になる企業を考える 授業：社会に目を向けよう～経済問題、時事問題など～（グループワーク） 復習：授業の振り返り ワークシート未記入分を記入</p> <p>【第5回】 予習：気になる業界について考える 授業：社会を知る① 業界とは 企業とは 会社研究の方法（グループディスカッション） 復習：授業の振り返り ワークシート未記入分を記入</p> <p>【第6回】 予習：気になる職種を考える 授業：社会を知る② 職種とは（グループディスカッション） 復習：授業の振り返り ワークシート未記入分を記入</p> <p>【第7回】 予習：志望動機を書く 授業：自分と社会のすり合わせ① 自分らしい志望動機の書き方（グループディスカッション） 復習：授業の振り返り ワークシート未記入分を記入</p> <p>【第8回】 予習：就活サイトなどをチェックする 授業：自分に向き合う② 自身の興味を知る（グループワーク） 復習：授業の振り返り ワークシート未記入分を記入</p> <p>【第9回】 予習：インターンシップの情報を収集する 授業：自分に向き合う③ 「働く」を考える 「価値観」を見つめる（グループワーク）（ペアワーク） 復習：授業の振り返り ワークシート未記入分を記入</p> <p>【第10回】 予習：インターンシップの効果を考える 授業：自分と社会のすり合わせ② インターンシップの概要と効果を知る（グループワーク） 復習：授業の振り返り ワークシート未記入分を記入</p> <p>【第11回】 予習：自己PRを考える 授業：自己PRを伝える（グループワーク）</p>			

<p>復習：授業の振り返り ワークシート未記入分を記入 【第12回】 予習：インターンシップの情報を収集する 授業：チームコミュニケーション② コミュニケーションゲーム（グループワーク） 復習：授業の振り返り ワークシート未記入分を記入 【第13回】 予習：自身の未来へ向けてモデル（観察学習）を探る 授業：チームコミュニケーション③ チームで仕事に取り組む（グループワーク／課題解決型学習） 復習：授業の振り返り ワークシート未記入分を記入 【第14回】 予習：オンデマンド教材で学ぶ 授業：自分に向き合う③ 「将来」を考える 復習：授業の振り返り ワークシート未記入分を記入 【第15回】 予習：自身の将来を考える 授業：キャリア理論総まとめ／自分の未来について語り合う（グループワーク） 復習：授業全体を振り返る／夏休みへ向けて行動計画を立てる</p>								
授業開始前学習	新聞やネットなどのニュースに目を向け、社会で起きている出来事に目を向けるようにしてください。							
授業内課題の フィードバックの方法	毎回、振り返りシートを提出していただきます。次の授業で学びや質問への回答を共有します。							
テキスト・教材	プリントを毎回、配布します。							
参考書								
評価の基準と方法	チーム活動への参加態度（60%）、振り返りシート・課題成果物（40%）を目途に総合評価。振り返りシートは毎回提出。授業中盤に1度レポート提出。終盤に最終課題（レポート又はプレゼンテーション）。オンデマンド教材の視聴もあり。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		○	○			◎	
関連科目	「進路設計」、「キャリアと教養演習」、正課外「進路支援プログラム」。キャリア形成へ向けての関連性があります。							
その他	<p>※注意：感染防止に務めながらグループワークを実施。社会に出てから必要になる意識やスキルを体験しながら学びます。就活対策講座ではありません。主体的に取り組むことを望みます。</p> <p>この授業で何をどれだけ得られるか、それは自分次第です。主体的に取り組み、経験をしっかり振り返ることで学びを深め、就活や将来に役立つ考えやスキルを習得し、モチベーションを高めていきましょう。さらにチーム活動をすることで、人と関わることに少しでも自信をもてるようになりましょう。真摯に取り組めば、必ず成長できます。また、この授業は社会人になる準備をしていく実践的なプログラムです。基本的なマナー（あいさつ、身だしなみ、言葉遣い、立ち居振る舞い）はもとより、欠席や遅刻、私語のない行動、態度を求めます。</p>							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容	ビジネスマン、キャリアコンサルタント、企業研修講師等の実務経験があり、社会や企業で求められる心構え・能力について講義し、体験学習による学びを促進する。							

科目名称	就業への知識と技能 A		
科目分類	100-130-12 (J)	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Knowledge and Skills for Employment A	授業区分	講義
科目責任者	田澤 秀司	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	就業への知識と技能 A 担当者	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	<p>さまざまな業界について、その具体的な内容や歴史、展望などを解説する。実業界で豊富な経験を積んだ特別招聘講師がエピソードを交えながら、業界や業種を研究するための基礎知識を提供する。</p> <p>※授業の内容や順番など、講師の事情により変更になる場合があります。詳しくは初回の授業で説明します。</p>		
到達目標	業界・業種の社会的な使命とその実態を知ることにより、社会の動向に関心を深めながら自分に適した業界や業種を客観的に考えられるようになる。		
アクティブ・ラーニング型授業	無		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】担当 田澤 予習：業界や業種について調べる 授業：講師プロフィール、会社の成り立ち 復習：課題をまとめる</p> <p>【第2回】担当 伴 予習：不動産業について調べる 授業：不動産業① 復習：課題をまとめる</p> <p>【第3回】担当 伴 予習：（担当講師から説明） 授業：不動産業② 復習：課題をまとめる</p> <p>【第4回】担当 森 予習：製造業について調べる 授業：製造業① 復習：課題をまとめる</p> <p>【第5回】担当 森 予習：（担当講師から説明） 授業：製造業② 復習：課題をまとめる</p> <p>【第6回】担当 飯村 予習：海運・物流業について調べる 授業：海運・物流業① 復習：課題をまとめる</p> <p>【第7回】担当 飯村 予習：（担当講師から説明） 授業：海運・物流業② 復習：課題をまとめる</p> <p>【第8回】担当 瀬尾 予習：出版・流通業について調べる 授業：出版・流通業① 復習：課題をまとめる</p> <p>【第9回】担当 瀬尾 予習：（担当講師から説明） 授業：出版・流通業② 復習：課題をまとめる</p> <p>【第10回】担当 関根 予習：小売業について調べる 授業：小売業① 復習：課題をまとめる</p> <p>【第11回】担当 関根 予習：（担当講師から説明） 授業：小売業② 復習：課題をまとめる</p> <p>【第12回】担当 野地 予習：航空業について調べる 授業：航空業① 復習：課題をまとめる</p>			

<p>【第13回】担当 野地 予習：(担当講師から説明) 授業：航空業② 復習：課題をまとめる</p> <p>【第14回】担当 菅谷 予習：(担当講師から説明) 授業：航空業、ホテル業① 復習：課題をまとめる</p> <p>【第15回】担当 菅谷 予習：(担当講師から説明) 授業：航空業、ホテル業② 復習：課題をまとめる</p>								
授業開始前学習	日頃から新聞やテレビのニュース解説に親しみ、経済や政治の仕組みや活動について関心を深める。							
授業内課題の フィードバックの方法	6業種8人の講師が担当する授業において、それぞれミニトペーパーやワークシートの記入を行う。評価や講評を記入して各自に返却し、授業内容の振り返りや進路の構想に活用する。 ※前期と後期は同じ内容です							
テキスト・教材	授業で適宜、配布する。							
参考書	授業で適宜、紹介する。							
評価の基準と方法	各担当が実施する確認テストや提出物を最大10点で評価する。最終回に「総合テスト」(資料・ノート持ち込み可)を最大50点で評価し、合計得点を100点満点に換算する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎		○	○			○	
関連科目								
その他								
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 60 時間 (4 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容	企業や団体で活躍し、豊富な知識、社会経験をもつ近隣(稲城市、調布市、多摩市、川崎市等)在住の市民を特別招聘講師として授業を行う。							

科目名称	就業への知識と技能 B		
科目分類	100-130-12 (J)	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Knowledge and Skills for Employment B	授業区分	講義
科目責任者	田澤 秀司	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	就業への知識と技能 B 担当者	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	さまざまな業界について、その具体的な内容や歴史、展望などを解説する。実業界で豊富な経験を積んだ特別招聘講師がエピソードを交えながら、業界や業種を研究するための基礎知識を提供する。 ※授業の内容や順番など、講師の事情により変更になる場合があります。詳しくは初回の授業で説明します。		
到達目標	業界・業種の社会的な使命とその実態を知ることにより、社会の動向に関心を深めながら自分に適した業界や業種を客観的に考えられるようになる。		
アクティブ・ラーニング型授業	無		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】担当 田澤 予習：業界や業種について調べる 授業：講師プロフィール、会社の成り立ち 復習：課題をまとめる</p> <p>【第2回】担当 伴 予習：不動産業について調べる 授業：不動産業① 復習：課題をまとめる</p> <p>【第3回】担当 伴 予習：（担当講師から説明） 授業：不動産業② 復習：課題をまとめる</p> <p>【第4回】担当 森 予習：製造業について調べる 授業：製造業① 復習：課題をまとめる</p> <p>【第5回】担当 森 予習：（担当講師から説明） 授業：製造業② 復習：課題をまとめる</p> <p>【第6回】担当 飯村 予習：海運・物流業について調べる 授業：海運・物流業① 復習：課題をまとめる</p> <p>【第7回】担当 飯村 予習：（担当講師から説明） 授業：海運・物流業② 復習：課題をまとめる</p> <p>【第8回】担当 瀬尾 予習：出版・流通業について調べる 授業：出版・流通業① 復習：課題をまとめる</p> <p>【第9回】担当 瀬尾 予習：（担当講師から説明） 授業：出版・流通業② 復習：課題をまとめる</p> <p>【第10回】担当 関根 予習：小売業について調べる 授業：小売業① 復習：課題をまとめる</p> <p>【第11回】担当 関根 予習：（担当講師から説明） 授業：小売業② 復習：課題をまとめる</p> <p>【第12回】担当 野地 予習：航空業について調べる 授業：航空業① 復習：課題をまとめる</p>			

<p>【第13回】担当 野地 予習：(担当講師から説明) 授業：航空業② 復習：課題をまとめる</p> <p>【第14回】担当 菅谷 予習：(担当講師から説明) 授業：航空業、ホテル業① 復習：課題をまとめる</p> <p>【第15回】担当 菅谷 予習：(担当講師から説明) 授業：航空業、ホテル業② 復習：課題をまとめる</p>								
授業開始前学習	日頃から新聞やテレビのニュース解説に親しみ、経済や政治の仕組みや活動について関心を深める。							
授業内課題の フィードバックの方法	6業種8人の講師が担当する授業において、それぞれミニットペーパーやワークシートの記入を行う。評価や講評を記入して各自に返却し、授業内容の振り返りや進路の構想に活用する。 ※前期と後期は同じ内容です							
テキスト・教材	授業で適宜、配布する。							
参考書	授業で適宜、紹介する。							
評価の基準と方法	各担当が実施する確認テストや提出物を最大10点で評価する。最終回に「総合テスト」(資料・ノート持ち込み可)を最大50点で評価し、合計得点を100点満点に換算する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎		○	○			○	
関連科目								
その他								
予習・復習の 所要時間	講義時間30時間(2時間×15週) + 予習・復習時間60時間(4時間×15週)							
実務経験を活かした 教育内容	企業や団体で活躍し、豊富な知識、社会経験をもつ近隣(稲城市、調布市、多摩市、川崎市等)在住の市民を特別招聘講師として授業を行う。							

科目名称	女性と健康 I		
科目分類	100-130-11	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Women and Health I	授業区分	講義
科目責任者	丸山 麻子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	丸山 麻子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	<p>本授業（女性の健康）では女性が生涯を通じて健康で明るく、充実した日々を自立して過ごすための能力を養うことを目的とする。具体的には女性の各ライフステージにおける様々な健康問題の特徴について取り上げ、その問題の予防や改善のための知識について演習・実技も含めた講義とする。</p> <p>女性と健康 I では、健康に関する基礎知識と「成人期」に起こりやすい健康課題を取り上げる。</p> <p>女性と健康 II では、「思春期」「妊娠・出産」「更年期」「老年期」に起こりやすい健康課題を取り上げる。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 女性のライフサイクルの視点からみた健康について理解できる。 2. 女性の心身の健康ケアへのアプローチについて理解できる 3. 女性がよりよく生きることが出来る状態を計画・実践できる 		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
第 1 回	予習：健康とは何か、なぜ健康が必要なのかについて考える 授業：健康の定義、女性の健康とは 復習：授業で学んだ事項をノートにまとめる		
第 2 回	予習：様々な女性の生き方について調べる 授業：女性のライフステージの種類と特徴について 復習：授業で学んだ事項をノートにまとめる		
第 3 回	予習：自分の体力の状態を考える 授業：健康と身体活動・運動 復習：授業で学んだ事項をノートにまとめる		
第 4 回	予習：体力改善のための運動を実践する 授業：女性と身体活動・運動 1 復習：授業で学んだ事項をノートにまとめる		
第 5 回	予習：体力改善のための運動を実践する 授業：女性と身体活動・運動 2 復習：授業で学んだ事項をノートにまとめる		
第 6 回	予習：普段の食生活を振り返り、食生活について意識していることをまとめる 授業：女性と栄養・食生活 1 復習：授業で学んだ事項をノートにまとめる		
第 7 回	予習：自分の食生活の問題点を整理し、見直す 授業：女性と栄養・食生活 2 復習：授業で学んだ事項をノートにまとめる		
第 8 回	予習：お酒を飲むことで起こる健康への悪影響を調べる 授業：女性と飲酒 復習：授業で学んだ事項をノートにまとめる		
第 9 回	予習：タバコを吸うことで起こる健康への悪影響を調べる 授業：女性と喫煙 復習：授業で学んだ事項をノートにまとめる		
第 10 回	予習：自分の睡眠状況を調べ、把握する 授業：女性の睡眠・休養 復習：授業で学んだ事項をノートにまとめる		
第 11 回	予習：自分の心の状態を考える 授業：女性のメンタルヘルス 復習：授業で学んだ事項をノートにまとめる		
第 12 回	予習：第 1 回から第 11 回までの内容を振り返る 授業：女性と健康の基本要素に関するテスト 復習：自分の考えをレポートにまとめる		
第 13 回	予習：自分の月経状況を把握し、まとめる 授業：女性ホルモンと月経 復習：授業で学んだ事項をノートにまとめる		
第 14 回	予習：婦人科系疾患について調べる 授業：女性特有の疾病 1 復習：授業で学んだ事項をノートにまとめる		
第 15 回	予習：AYA 世代の婦人科系疾患について調べる 授業：女性特有の疾病 2、女性と健康 I 総括 復習：授業で学んだ事項をレポートにまとめる		

授業開始前学習	新聞やニュースに掲載された女性の健康に関する記事を読んでおくこと。							
授業内課題の フィードバックの方法	授業内で実施した小テスト・レポートについては、次回以降の授業にて返却・回答を行う。							
テキスト・教材	適宜、授業内に資料を使用する。							
参考書	授業中に適宜、紹介する。							
評価の基準と方法	小テスト・レポート 40 点、授業内テスト 50 点・最終提出課題 10 点 ※定期テストは行わない。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△				
関連科目	女性と健康 II							
その他	講義に対する質問や個別連絡については、メールを使用すること。 なお、受講者数や授業の進捗状況、また、社会情勢により講義の予定を変更することがある。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	女性と健康Ⅱ		
科目分類	100-130-11	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Women and Health Ⅱ	授業区分	講義
科目責任者	丸山 麻子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	丸山 麻子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	<p>本授業では女性が生涯を通じて健康で明るく、充実した日々を自立して過ごすための能力を養うことを目的とする。具体的には女性の各ライフステージにおける様々な健康問題の特徴について取り上げ、その問題の予防や改善のための知識について演習・実技も含めた講義とする。</p> <p>女性と健康Ⅰでは、健康に関する基礎知識と「成人期」に起こりやすい健康課題を取り上げる。</p> <p>女性と健康Ⅱでは、「思春期」「妊娠・出産」「更年期」「老年期」に起こりやすい健康課題を取り上げる。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 女性のライフサイクルの視点からみた健康について理解できる。 2. 女性の心身の健康ケアへのアプローチについて理解できる 3. 女性がよりよく生きることができている状態を計画・実践できる 		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
第1回	予習：健康とは何か、なぜ健康が必要なのかについて考える 授業：オリエンテーション 女性と健康Ⅰの総復習 復習：授業で学んだ事項をノートにまとめる		
第2回	予習：自らのこれまでに生じた心身の問題を振り返る 授業：女性の思春期に生じやすい問題 1 復習：授業で学んだ事項をノートにまとめる		
第3回	予習：自らのこれまでに生じた心身の問題を振り返る 授業：女性の思春期に生じやすい問題 2 復習：授業で学んだ事項をノートにまとめる		
第4回	予習：妊娠と出産について中学校・高等学校等で学んだことをまとめる 授業：妊娠と出産 1 女性ホルモンの役割 復習：授業で学んだ事項をノートにまとめる		
第5回	予習：妊娠と出産に関する最近の情報を調べる 授業：妊娠と出産 2 妊娠・出産時期特有の疾患 復習：授業で学んだ事項をノートにまとめる		
第6回	予習：不妊治療に関する最近の情報を調べる 授業：妊娠と出産 3 妊孕性と不妊治療 復習：授業で学んだ事項をノートにまとめる		
第7回	予習：自分の今後のキャリアについて考える 授業：女性と仕事 復習：授業で学んだ事項をノートにまとめる		
第8回	予習：更年期障害について調べる 授業：更年期障害 復習：授業で学んだ事項をノートにまとめる		
第9回	予習：更年期の婦人科系疾患について調べる 授業：更年期に生じやすい疾患 1 がん 復習：授業で学んだ事項をノートにまとめる		
第10回	予習：更年期の婦人科系疾患について調べる 授業：更年期に生じやすい疾患 2 うつ、生活習慣病 復習：授業で学んだ事項をノートにまとめる		
第11回	予習：老年期の疾患について調べる 授業：老年期に生じやすい疾患 1 骨粗鬆症、フレイル 復習：授業で学んだ事項をノートにまとめる		
第12回	予習：認知症について調べる 授業：老年期に生じやすい疾患 2 認知症 復習：授業で学んだ事項をノートにまとめる		
第13回	予習：第1回から第12回までの内容を振り返る 授業：女性と健康に関するテスト 復習：自分の考えをレポートにまとめる		
第14回	予習：アンチエイジングについて調べる 授業：女性とアンチエイジング 復習：授業で学んだ事項をノートにまとめ、実践する		
第15回	予習：自身のこれからの人生を考える 授業：自身の人生設計、女性と健康Ⅱ 総括 復習：授業で学んだ事項をレポートにまとめる		

授業開始前学習	新聞やニュースに掲載された女性の健康に関する記事を読んでおくこと。							
授業内課題の フィードバックの方法	授業内で実施した小テスト・レポートについては、次回以降の授業にて返却・回答を行う。							
テキスト・教材	適宜、授業内に資料を使用する。							
参考書	授業中に適宜、紹介する。							
評価の基準と方法	小テスト・レポート 40 点、授業内テスト 50 点・最終提出課題 10 点 ※定期テストは行わない。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	◎	○		△				
関連科目	女性と健康 I							
その他	講義に対する質問や個別連絡については、メールを使用すること。 なお、受講者数や授業の進捗状況、また、社会情勢により講義の予定を変更することがある。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	スポーツ I		
科目分類	100-131-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Physical Education I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	丸山 麻子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	丸山 麻子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	生涯にわたり健康的な生活を送る上で、自分自身の身体に関する知識・関心を持つことは重要である。そして、心身の健康を維持・増進するためには、運動を取り入れることが望ましい。しかし、誤った方法での運動は効果がないばかりか、心身を害することもあるため、正しい運動の実施方法を理解し、修得することが必要である。 本授業では様々な種類のスポーツを行うことにより、生涯を通して続けられるようなスポーツ・運動を見つけ、上達する方法について探究する。		
到達目標	本授業では様々なスポーツについて調べたうえで体験し、健やかな心身を形成するための運動に関する知識を得るとともに、様々な人と関わりながら互いに協力し合う力を身につけることを目的とする。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第 1 回】 予習：体育実技にふさわしい服装の準備 授業：オリエンテーション、スポーツを行う上での注意点 復習：伝達事項ポイントの復習</p> <p>【第 2 回】 予習：ニュースポーツ（ピロポロなど）のルールを調べる 授業：ニュースポーツ（ピロポロなど） 復習：伝達事項ポイントの復習</p> <p>【第 3 回】 予習：ドッジボールのルールを調べる 授業：ドッジボール（球技系スポーツ1）（実習） 復習：プレー・ポイントの復習</p> <p>【第 4 回】 予習：卓球（シングルス）のルールを調べる 授業：卓球（シングルス）（ラケット系スポーツ1）（実習） 復習：プレー・ポイントの復習</p> <p>【第 5 回】 予習：卓球（ダブルス）のルールを調べる 授業：卓球（ダブルス）（ラケット系スポーツ2）（実習） 復習：プレー・ポイントの復習</p> <p>【第 6 回】 予習：卓球（団体戦）のルールを調べる 授業：卓球（団体戦）（ラケット系スポーツ3）（実習） 復習：プレー・ポイントの復習</p> <p>【第 7 回】 予習：バドミントン（シングルス）のルールを調べる 授業：バドミントン（シングルス）（ラケット系スポーツ4）（実習） 復習：プレー・ポイントの復習</p> <p>【第 8 回】 予習：バドミントン（ダブルス）のルールを調べる 授業：バドミントン（ダブルス）（ラケット系スポーツ5）（実習） 復習：プレー・ポイントの復習</p> <p>【第 9 回】 予習：テニスボールのルールを調べる 授業：テニスボール（球技系スポーツ2）（実習） 復習：プレー・ポイントの復習</p> <p>【第 10 回】 予習：バスケットボールのルールを調べる 授業：バスケットボール（球技系スポーツ3）（実習） 復習：プレー・ポイントの復習</p> <p>【第 11 回】 予習：戦略を考える 授業：バスケットボール（球技系スポーツ4）（実習） 復習：プレー・ポイントの復習</p> <p>【第 12 回】 予習：レクリエーションスポーツ（バドボン等）のルールを調べる 授業：レクリエーションスポーツ（バドボン等）（実習） 復習：プレー・ポイントの復習</p>			

<p>【第13回】 予習：ソフトバレーボールのルールを調べる 授業：ソフトバレーボール（球技系スポーツ5）（実習） 復習：プレー・ポイントの復習</p> <p>【第14回】 予習：シッティングバレーボールのルールを調べる 授業：シッティングバレーボール（球技系スポーツ5）（実習） 復習：プレー・ポイントの復習</p> <p>【第15回】 予習：ルールを調べる 授業：バレーボール（球技系スポーツ7）（実習） 復習：プレー・ポイントの復習</p>								
授業開始前学習	日ごろから体を動かす習慣を作り、自らの体をよく知ること。また、受講前に行うスポーツを見るなどして事前にルール等の知識を得てから受講すること。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎授業において回収するレポートに対しては、理解度の確認および適宜個別にコメントし、授業内にて全体の講評等を行う。							
テキスト・教材	なし							
参考書								
評価の基準と方法	レポート課題（60%）、学習意欲（20%）、授業参加態度（20%）を総合して評価を行う。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○	○	○	○				
関連科目	なし							
その他	受講の際には、ジャージ等運動着、靴下、運動靴（外履き不可）にて臨むこと。運動を行うために適していないと判断される服装の場合には、受講を認めない。また、筆記用具および水分補給のための飲み物を持参すること。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	スポーツ I		
科目分類	100-131-21 (J)	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Physical Education I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	塩嶋 理恵	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	塩嶋 理恵	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	健康・体力づくりは、国民全体の大きな課題となっている。この科目の目標は、スポーツその他の身体運動を通して継続できるスポーツを選択しながら、健康志向への動機付けを図り、それらの実践に関する知識や技術を得ると共に、その方法を自分自身に当てはめ、応用展開する能力を体験して養ってもらうことである。 スポーツ I の実技種目は、インドア（体育館）で体操・バドミントン・バレーボールなどを行う。		
到達目標	各種スポーツにおけるルールの理解・個々のスキルアップを目指す。 またチームプレイを通して協調性を養う。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第 1 回】 予習：体育実技にふさわしい服装の準備 授業：ガイダンス（授業説明・注意事項） 復習：高等学校で使用した体育館専用シューズの確認</p> <p>【第 2 回】 予習：体育実技にふさわしい服装と体育館専用シューズの準備 授業：ゆがみ修正体操（実習） 復習：ゆがみ修正体操 復習</p> <p>【第 3 回】 予習：服装とシューズの準備 授業：バドミントン（基本練習・サーブ）（実習） 復習：バドミンのサーブの復習</p> <p>【第 4 回】 予習：バドミンのルール確認。服装とシューズの準備 授業：バドミントン（ゲーム・ルール説明）（実習） 復習：バドミンのルールの復習</p> <p>【第 5 回】 予習：バドミンのゲーム方法の確認。服装とシューズの準備 授業：バドミントン（ゲーム・マナー）（実習） 復習：バドミンのゲームとマナーの復習</p> <p>【第 6 回】 予習：バドミンのゲーム方法の確認。服装とシューズの準備 授業：バドミントン（ゲーム・フォーメーション）（実習） 復習：バドミンのゲームとフォーメーションの復習</p> <p>【第 7 回】 予習：バドミンのシングルスゲーム方法の確認。服装とシューズの準備 授業：バドミントン（ゲーム・フォーメーション）（実習） 復習：バドミンのゲームとフォーメーションの復習</p> <p>【第 8 回】 予習：バドミンのダブルスゲーム方法の確認。服装とシューズの準備 授業：バドミントン（ゲーム・フォーメーション）（実習） 復習：バドミンのゲームとフォーメーションの復習</p> <p>【第 9 回】 予習：バレーボールのオーバー・アンダーハンドパスの予習 授業：バレーボール（基本練習、オーバー・アンダーハンドパス）（実習） 復習：バレーボールのオーバー・アンダーハンドパスの復習</p> <p>【第 10 回】 予習：バレーボールのアンダーサーブ・オーバーサーブの予習 授業：バレーボール（基本練習・サーブ）（実習） 復習：バレーボールのアンダー・オーバーサーブの復習</p> <p>【第 11 回】 予習：バレーボールのサーブとレシーブの予習 授業：バレーボール（基本練習・サーブとレシーブ）（実習） 復習：バレーボールのサーブとレシーブの復習</p> <p>【第 12 回】 予習：バレーボールのゲーム・ルールの予習 授業：バレーボール（ゲーム・ルール説明）（実習） 復習：バレーボールのゲーム・ルールの復習</p>			

<p>【第13回】 予習：バレーボールのルールとマナーの予習 授業：バレーボール（ゲーム・ルールとマナー説明）（実習） 復習：バレーボールのルールとマナーの復習</p> <p>【第14回】 予習：バレーボールのルールとマナーの予習 授業：バレーボール（ゲーム・ルールとマナー説明）（実習） 復習：バレーボールのルールとマナーの復習</p> <p>【第15回】 予習：バスケットボールのドリブルの予習 授業：バスケットボール（基本練習・ドリブル）（実習） 復習：バスケットボールのドリブルの復習</p>								
授業開始前学習	体育実技にふさわしい服装の準備と高等学校で使用した体育館専用シューズの確認							
授業内課題のフィードバックの方法	授業8回目、14回目に各種目ごとのゲーム結果を発表し、個人、チーム全体の講評を行う。個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	特にありません							
参考書								
評価の基準と方法	実技態度 70%、技術・試合評価 30%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○	○	○	○				
関連科目	スポーツⅡ、スポーツⅢ							
その他	人数調整等により卓球などの他のスポーツを並行して実施することもある。体操では各自バスタオルを準備すること。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容	競技チアリーディング上級指導資格・審査員資格をもち、幼児から大学生までを指導してきた経験を活かし、体のストレッチングや柔軟性を高めるよう授業に取り入れて行う。							

科目名称	スポーツⅡ		
科目分類	100-131-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Physical Education II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	三辻 浩子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	三辻 浩子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	自分の身体とは一生つきあって行かねばならない。そして健康を維持する事が幸せにつながる。更になりたい自分の身体づくりをすることは楽しさにもつながる。脂肪燃焼の仕方、筋肉の適正な付け方、きれいな姿勢など身体を意識していく。この授業ではエアロビクス（有酸素運動）に楽しい音楽を用いて心肺機能向上、脂肪燃焼を目指す。またフレックスクッション、バランスボール、ダンベルも用いて楽しみながら Body Making の方法を学ぶ。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・全身持久力・筋持久力の向上・脂肪燃焼促進の方法を学ぶ。 ・基本的な STEP を習得し楽しく動く事を学ぶ。 ・正しい姿勢を習得することを学ぶ。 		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 授業：エアロビクスとは 実技1（フレックスクッション導入）（実習） 予習：エアロビクスについて調べておく 復習：本日のSTEPを合致させておく</p> <p>【第2回】 授業：ウォームアップについて 実技2（実習） 予習：ウォームアップについて調べておく 復習：本日のSTEPを覚える</p> <p>【第3回】 授業：メインエクササイズについて 実技3（実習） 予習：本日のSTEPを合致させておく 復習：本日のSTEPを覚える</p> <p>【第4回】 授業：筋肉強化エクササイズについて 実技4（ダンベル導入）（実習） 予習：本日のSTEPを合致させておく 復習：本日のSTEPを覚える</p> <p>【第5回】 授業：クールダウンについて 実技5（バランスボール導入）（実習） 予習：本日のSTEPを合致させておく 復習：本日のSTEPを覚える</p> <p>【第6回】 授業：創作の仕方（1）STEPのコンビネーション 実技6（実習） 予習：本日のSTEPを合致させておく 復習：32カウントの創作（足の動きを考えておく）</p> <p>【第7回】 授業：創作の仕方（2）アームス導入 実技7（実習） 予習：発表者のみ自分の作品を考えてくる 復習：32カウントアームスを導入し創作</p> <p>【第8回】 授業：創作の仕方（3）フォーメーション・方向の導入 実技8（実習） 予習：発表者のみ自分の作品を考えてくる 復習：32カウント方向を導入し創作</p> <p>【第9回】 授業：創作の仕方（4）キューイングの導入 実技9（実習） 予習：発表者のみ自分の作品を練習してくる 復習：32カウントの創作をしキューイング練習</p>			

<p>【第10回】 授業：グループ創作（1）＝グループ分け 実技10（実習） ＊グループ創作を行わない場合はレッスンを続ける 予習：発表者のみ自分の作品を練習してくる 復習：本日の創作作成内容を覚える</p> <p>【第11回】 授業：グループ創作（2） 実技11（実習） ＊グループ創作を行わない場合はレッスンを続ける 予習：作成した内容を覚えてくる 復習：本日の創作内容を覚える</p> <p>【第12回】 授業：グループ創作（3） 実技12（実習） ＊グループ創作を行わない場合はレッスンを続ける 予習：作成した内容を覚えてくる 復習：本日の創作内容を覚える</p> <p>【第13回】 授業：グループ創作（4） 実技13（実習） ＊グループ創作を行わない場合はレッスンを続ける 予習：作成した内容を覚えてくる 復習：本日の創作内容を覚える</p> <p>【第14回】 授業：グループ創作（5） 実技14（実習） ＊グループ創作を行わない場合はレッスンを続ける 予習：作成した内容を覚えてくる 復習：作品を練習してくる</p> <p>【第15回】 授業：創作発表会（ビデオ撮影）・まとめ（撮影したビデオを教室で見る） ＊創作発表を行わない場合はレッスンを続ける 予習：作品を練習してくる</p>

授業開始前学習	『エアロピクス』が生まれた背景を調べておく。ケネス・H・クーバー、ジャッキー・ソーレンセン、ジェーン・フォンダの3人物を調べておくこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	少しずつ学び覚えた Step を組み合わせ創作を行う。その Step Sheet（用紙あり）を提出する。それに対してコメント（フィードバック）を行う。							
テキスト・教材	プリント配布							
参考書								
評価の基準と方法	実技＋授業態度（片付け・協力度）・・・(70%) グループワーク（創作活動）＋提出物（グループで1セット）・・・(30%)							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○	○	○	○				
関連科目								
その他	シューズ・ソックス・ウエアー（動ける用意）・筆記用具・タオル・飲料（水分補給）を持参のこと							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	スポーツⅡ		
科目分類	100-131-21 (J)	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Physical Education II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	塩嶋 理恵	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	塩嶋 理恵	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	健康・体力づくりは、国民全体の大きな課題となっている。この科目の目標は、スポーツその他の身体運動を通して継続できるスポーツを選択しながら、健康志向への動機付けを図り、それらの実践に関する知識や技術を得ると共に、その方法を自分自身に当てはめ、応用展開する能力を体験して養ってもらうことである。 スポーツⅡの実技種目は、インドア（体育館）でソフトバレーボール・卓球・軽スポーツなどを行う。		
到達目標	各種スポーツにおけるルールの理解・個々のスキルアップを目指す。 またチームプレイを通して協調性を養う。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：体育実技にふさわしい服装の準備 授業：ガイダンス（授業説明・注意事項） 復習：高等学校で使用した体育館専用シューズの確認</p> <p>【第2回】 予習：体育実技にふさわしい服装と体育館専用シューズの準備 授業：リラックスヨガ（実習） 復習：リラックスヨガ 復習</p> <p>【第3回】 予習：服装とシューズの準備 授業：ソフトバレーボール（基本練習・サーブ）（実習） 復習：ソフトバレーボールサーブの復習</p> <p>【第4回】 予習：ソフトバレーボールのルール確認。服装とシューズの準備 授業：ソフトバレーボール（ゲーム・ルール説明）（実習） 復習：ソフトバレーボールのルールの復習</p> <p>【第5回】 予習：ソフトバレーボールのゲーム方法の確認。服装とシューズの準備 授業：ソフトバレーボール（ゲーム・マナー）（実習） 復習：ソフトバレーボールのゲームとマナーの復習</p> <p>【第6回】 予習：ソフトバレーボールのゲーム方法の確認。服装とシューズの準備 授業：ソフトバレーボール（ゲーム・フォーメーション）（実習） 復習：ソフトバレーボールのゲームとフォーメーションの復習</p> <p>【第7回】 予習：ソフトバレーボールゲーム方法の確認。服装とシューズの準備 授業：ソフトバレーボール（ゲーム・フォーメーション）（実習） 復習：ソフトバレーボールのフォーメーションの復習</p> <p>【第8回】 予習：ソフトバレーボールゲーム方法の確認。服装とシューズの準備 授業：ソフトバレーボール（ゲーム・フォーメーション）（実習） 復習：ソフトバレーボールのゲームとフォーメーションの復習</p> <p>【第9回】 予習：卓球のフォア・バックの予習 授業：卓球（基本練習、フォア・バック）（実習） 復習：卓球のフォア・バックの復習</p> <p>【第10回】 予習：卓球のサーブの予習 授業：卓球（基本練習・サーブ）（実習） 復習：卓球のサーブの復習</p> <p>【第11回】 予習：卓球のサーブとレシーブの予習 授業：卓球（基本練習・サーブとレシーブ）（実習） 復習：卓球のサーブとレシーブの復習</p> <p>【第12回】 予習：卓球のゲーム・ルールの予習 授業：卓球（ゲーム・ルール説明）（実習） 復習：卓球のゲーム・ルールの復習</p>			

<p>【第13回】 予習：卓球のルールとマナーの予習 授業：卓球（ゲーム・ルールとマナー説明）（実習） 復習：卓球のルールとマナーの復習</p> <p>【第14回】 予習：卓球のルールとマナーの予習 授業：卓球（ゲーム・ルールとマナー説明）（実習） 復習：卓球のルールとマナーの復習</p> <p>【第15回】 予習：卓球のゲームとルールの予習 授業：卓球（ゲーム・ルールの説明）（実習） 復習：卓球のゲームとルールの復習</p>								
授業開始前学習	体育実技にふさわしい服装の準備と高等学校で使用した体育館専用シューズの確認							
授業内課題のフィードバックの方法	授業8回目、14回目に各種目ごとのゲーム結果を発表し、個人、チーム全体の講評を行う。個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	特にありません							
参考書								
評価の基準と方法	実技態度 70%、技術・試合評価 30%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○	○	○	○				
関連科目	スポーツⅡ、スポーツⅢ							
その他	人数に応じて、バドミントンや軽スポーツなどの他のスポーツを並行して実施することもあります。リラックスヨガでは各自バスタオルを準備すること。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容	競技チアリーディング上級指導資格・審査員資格をもち、幼児から大学生までを指導してきた経験を活かし、体のストレッチングや柔軟性を高めるよう授業に取り入れて行う。							

科目名称	言語表現演習 I		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Seminar on Japanese Representation I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	各担当教員	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	松村・木内・青木・橋本・大内・中尾	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	前期 水曜日 13:00～14:30 木曜日 13:00～14:30 後期 水曜日 13:00～14:30 木曜日 13:00～14:30	研究室	10-617
授業概要	ふだん意識せずに使っている日本語の特徴や、自分の日本語に関する知識を確認しながら、コミュニケーションツールとしての日本語を適切に使いこなすための基礎的な技術を学ぶ。敬語の使い方、文法上問題のある表現、文章の形式や構成などについて、教科書の問題を考え、実際に文章を書いて理解を深めていく。この授業では課題解決型学習を行う。		
到達目標	敬語や文法などの日本語の基礎を身に付け、状況に応じて適切な文章を書けるようになる。日本語についての知識と教養を深め、専門分野での発表やレポート作成に必要な日本語力を身につけることを目標とする。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
【第1回】 予習：教科書2冊（aとb）を準備して目を通す。教科書aの12～14頁を読んでおく。 授業：前期の授業の進め方について説明する。教科書a「敬語の種類と使い分け」（12～14頁）について説明する。 復習：教科書aの12～14頁を復習する。			
【第2回】 予習：教科書aの15～17頁の練習・応用問題を予習する。 授業：教科書a「敬語の種類と使い分け」の練習・応用問題（15～17頁）の答え合わせと解説を行う（課題解決型学習）。 復習：教科書aの15～17頁を復習する。			
【第3回】 予習：教科書aの18～20頁を読み、21～23頁の練習・応用問題を予習しておく。 授業：教科書a「注意すべき敬語」（18～20頁）について説明し、練習・応用問題（21～23頁）の答え合わせと解説を行う（課題解決型学習）。 復習：教科書aの18～23頁を復習する			
【第4回】 予習：教科書aの24～26頁と、教科書bの39～46頁を読んでおく。 授業：教科書a「配慮を示す言葉」（24～26頁）について説明する。教科書b「手紙を書こう」（39～46頁）について説明する。 復習：教科書aの24～26頁と、教科書bの39～46頁を復習する。			
【第5回】 予習：教科書bの39～46頁を読み直す。 授業：教科書b「手紙を書こう」（39～46頁）の知識が身に付いているかを小テスト1で確認する。作文課題1（手紙文）を授業時間内に書いて提出する（課題解決型学習）。 復習：手紙文の書き方を復習する。			
【第6回】 予習：教科書aの27～29頁の練習・応用問題を予習しておく。 授業：作文課題1を返却し、解説する。教科書a「配慮を示す言葉」の練習・応用問題（27～29頁）の答え合わせと解説を行う（課題解決型学習）。 復習：教科書aの27～29頁を復習する。			
【第7回】 予習：教科書aの32～34頁を読み、35～36頁の練習問題を予習しておく。 授業：教科書a「品詞・活用の種類」（32～34頁）について説明してから、練習問題（35～36頁）の答え合わせと解説を行う（課題解決型学習）。 復習：教科書aの32～36頁を復習する。			
【第8回】 予習：教科書aの37頁の応用問題を予習しておく。教科書bの5～10頁を読んでおく。 授業：教科書a「品詞・活用の種類」の応用問題（37頁）の答え合わせと解説を行う（課題解決型学習）。教科書b「まずは書いてみよう」（5～10頁）について説明する。 復習：教科書aの37頁と、教科書bの5～10頁を復習する。			
【第9回】 予習：教科書bの11～18頁を読んでおく。 授業：教科書b「よい文章を書くために」（11～18頁）の「(1)「文」を書くときの注意点」（11～13頁）について説明してから、作文課題2（原稿用紙に書く）を授業時間内に書いて提出する（課題解決型学習）。 復習：「文」を書くときの注意点と、原稿用紙の使い方を復習する。			
【第10回】 予習：教科書bの11～18頁を読み直す。 授業：作文課題2を返却し、解説する。教科書b「よい文章を書くために」（11～18頁）の「(2)「文」から「文章」へ」以降（13～18頁）について説明する。 復習：教科書bの11～18頁を復習する。			

【第11回】
 予習：教科書 a の 38～40 頁を読んでおく。教科書 b の 5～18 頁を読み直す。
 授業：教科書 b「まずは書いてみよう」（5～10 頁）・「よい文章を書くために」（11～18 頁）の知識が身に付いているかを小テスト 2 で確認する。
 教科書 a「ら抜き言葉・レタス言葉・さ入れ言葉」（38～40 頁）について説明する。
 復習：教科書 a の 38～40 頁と、教科書 b の 5～18 頁を復習する。

【第12回】
 予習：教科書 a の 41～43 頁の練習・応用問題を予習し、44～46 頁を読んでおく。
 授業：教科書 a「ら抜き言葉・レタス言葉・さ入れ言葉」の練習・応用問題（41～43 頁）の答え合わせと解説を行い（課題解決型学習）、「文のねじれと言葉の係り受け・あいまい文」（44～46 頁）について説明する。
 復習：教科書 a の 41～46 頁を復習する。

【第13回】
 予習：教科書 b の 19～21 頁を読んでおく。
 授業：教科書 b「さあ文章を書いてみよう」（19～21 頁）を説明してから、作文課題 3（論理的な文章）の下書き（構成）を考えさせた上で、宿題にする（課題解決型学習）。
 復習：教科書 b の 19～21 頁を復習する。作文課題 3 を書いて Classroom に提出する。

【第14回】
 予習：教科書 a の 47～49 頁の練習・応用問題を予習する。
 授業：教科書 a「文のねじれと言葉の係り受け・あいまい文」の練習・応用問題（47～49 頁）の答え合わせと解説を行う（課題解決型学習）。教科書 a で前期に学んだことを振り返る。
 復習：教科書 a の 47～49 頁と、教科書 a で前期に学んだことを復習する。

【第15回】
 予習：教科書 b の 19～21 頁を読み直す。前期の授業内容を振り返る。
 授業：教科書 b の「さあ文章を書いてみよう」（19～21 頁）の知識が身に付いているかを小テスト 3 で確認する。作文課題 3 を解説する。教科書 b で前期に学んだことを振り返る。
 復習：教科書 b で前期の授業で学んだことを復習する。

授業開始前学習	教科書に目を通して、どんなことを学ぶのか内容を確認しておくこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	日本語についての基礎的な問題や、作文課題、授業内テストを実施する。課題は返却後講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	a『スキルアップ! 日本語力』名古屋大学日本語研究会 GK7 著（東京書籍） b『日本語表現法 新訂版』庄司達也・山岸郁子・小野美典・安達原達晴著（翰林書房） 教科書は必ず 2 冊とも買うこと。							
参考書								
評価の基準と方法	定期試験（60%）と作文課題・授業内テスト（40%）で評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				○	
関連科目								
その他	毎回、国語辞典（電子辞書可）を持ってくること。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	言語表現演習Ⅱ		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Seminar on Japanese Representation II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	各担当教員	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	松村・木内・青木・橋本・大内・中尾	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	前期 水曜日 13:00～14:30 木曜日 13:00～14:30 後期 水曜日 13:00～14:30 木曜日 13:00～14:30	研究室	10-617
授業概要	ふだん意識せずに使っている日本語の特徴や、自分の日本語に関する知識を確認しながら、コミュニケーションツールとしての日本語を適切に使いこなすための基礎的な技術を学ぶ。文の構造や文体、表記の仕方、文章の形式や構成などについて、教科書の問題を考え、実際に文章を書いて理解を深めていく。この授業では課題解決型学習を行う。		
到達目標	文体、言葉の意味、表記などの日本語の基礎を身に付け、状況に応じて適切な文章を書けるようになる。日本語についての知識と教養を深め、専門分野での発表やレポート作成に必要な日本語力を身につけることを目標とする。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
【第1回】 予習：教科書2冊（aとb）を準備して目を通す。教科書aの50～52頁を読み、53～54頁の練習問題を予習する。 授業：後期の授業の進め方について説明する。教科書a「接続語・指示語と文章」（50～52頁）について説明し、53～54頁の練習問題の答え合わせと解説を行う（課題解決型学習）。 復習：教科書aの50～54頁を復習する。			
【第2回】 予習：教科書aの55頁の応用問題を予習し、58～60頁を読んでおく。 授業：教科書a「接続語・指示語と文章」の応用問題（55頁）の答え合わせと解説を行い（課題解決型学習）、「類義語・対義語」（58～60頁）について説明する。 復習：教科書aの55頁、58～60頁を復習する。			
【第3回】 予習：教科書aの61～63頁の練習・応用問題を予習する。教科書bの47～52頁を読んでおく。 授業：教科書a「類義語・対義語」の練習・応用問題（61～63頁）の答え合わせと解説を行い（課題解決型学習）、教科書bの「効果的な電子メールとは？」（47～52頁）について説明する。作文課題1（電子メールの文章）を宿題にする（課題解決型学習）。 復習：教科書aの61～63頁、教科書bの47～52頁を復習し、作文課題1を書いてClassroomに提出する。			
【第4回】 予習：教科書bの23～27頁を読んでおく。 授業：作文課題1について解説する。教科書bの「インターネットとデジタル機器を用いた文章作成」（23～27頁）について説明する。 復習：電子メールの書き方と、教科書bの23～27頁を復習する。			
【第5回】 予習：教科書aの64～66頁を読んでおく。教科書bの23～27頁と47～52頁を読み直す。 授業：教科書b「効果的な電子メールとは？」（47～52頁）と「インターネットとデジタル機器を用いた文章作成」（23～27頁）の知識が身に付いているかを小テスト1で確認する。教科書aの「動詞の自他・視点」（64～66頁）について説明する。 復習：教科書aの64～66頁を復習する。			
【第6回】 予習：教科書aの67～69頁の練習・応用問題を予習し、70～72頁を読んでおく。 授業：教科書a「動詞の自他・視点」の練習・応用問題（67～69頁）の答え合わせと解説を行い（課題解決型学習）、「文体・話し言葉・書き言葉」（70～72頁）について説明する。 復習：教科書aの67～72頁を復習する。			
【第7回】 予習：教科書aの73～75頁の練習・応用問題を予習する。教科書bの53～57頁を読んでおく。 授業：教科書a「文体・話し言葉・書き言葉」の練習・応用問題（73～75頁）の答え合わせと解説を行い（課題解決型学習）、教科書b「効果的な文書作成」（53～57頁）について説明する。 復習：教科書aの73～75頁、教科書bの53～57頁を復習する。			
【第8回】 予習：教科書bの53～57頁を読み直す。 授業：教科書b「効果的な文書作成」（53～57頁）の知識が身に付いているかを小テスト2で確認する。作文課題2（履歴書・エントリーシート）を授業時間内に書いて提出する（課題解決型学習）。 復習：履歴書・エントリーシートの書き方について復習する。			
【第9回】 予習：教科書aの76～78頁を読んでおく。 授業：作文課題2を返却し、解説する。教科書a「コロケーション」（76～78頁）について説明する。 復習：教科書aの76～78頁を復習する。			
【第10回】 予習：教科書aの79～81頁の練習・応用問題を予習し、84～86頁を読んでおく。 授業：教科書a「コロケーション」の練習・応用問題（79～81頁）の答え合わせと解説を行い（課題解決型学習）、「部首・音訓・熟語」（84～86頁）について説明する。 復習：教科書aの79～81頁と84～86頁を復習する。			

【第11回】
 予習：教科書 a の 87～89 頁の練習・応用問題を予習し、教科書 b の 59～63 頁を読んでおく。
 授業：教科書 a 「部首・音訓・熟語」の練習・応用問題（87～89 頁）の答え合わせと解説を行い（課題解決型学習）、教科書 b の「冠婚葬祭・贈答のしきたり」（59～63 頁）について説明する。
 復習：教科書 a の 87～89 頁と、教科書 b の 59～63 頁を復習する。

【第12回】
 予習：教科書 b の 59～63 頁を読み直す。教科書 a の 90～92 頁を読んでおく。
 授業：教科書 b 「冠婚葬祭・贈答のしきたり」（59～63 頁）の知識が身に付いているかを小テスト 3 で確認する。教科書 a 「仮名遣い・送り仮名」（90～92 頁）について説明する。
 復習：冠婚葬祭について復習する。教科書 a の 90～92 頁を復習する。

【第13回】
 予習：教科書 a の 93～95 頁の練習・応用問題を予習する。
 授業：教科書 a 「仮名遣い・送り仮名」の練習・応用問題（93～95 頁）の答え合わせと解説を行う（課題解決型学習）。作文課題 3（授業で学んだこと）を宿題にする（課題解決型学習）。
 復習：教科書の 93～95 頁を復習する。作文課題 3 を書いて Classroom に提出する。

【第14回】
 予習：教科書 b の 29～31 頁と 33～38 頁を読んでおく。
 授業：教科書 b 「プレゼンテーションをより効果的に」（29～31 頁）と「敬語を適切に使おう」（33～38 頁）について説明する。
 復習：教科書 b の 29～31 頁と 33～38 頁を復習する。

【第15回】
 予習：教科書 b の 33～38 頁を読んでおく。
 授業：教科書 b の「敬語を適切に使おう」（33～38 頁）の内容を理解しているか問題を出して確認する。教科書 a・b で後期の授業で学んだことを振り返る。
 復習：後期の授業で学んだことを復習する。

授業開始前学習	教科書に目を通して、どんなことを学ぶのか内容を確認しておくこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	日本語についての基礎的な問題や、作文課題、授業内テストを実施する。課題は返却後講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	a『スキルアップ! 日本語力』名古屋大学日本語研究会 GK 7 著（東京書籍） b『日本語表現法 新訂版』庄司達也・山岸郁子・小野美典・安達原達晴著（翰林書房） 教科書は必ず 2 冊とも買うこと。							
参考書								
評価の基準と方法	定期試験（60 %）と作文課題・授業内テスト（40%）で評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				○	
関連科目								
その他	毎回、国語辞典（電子辞書可）を持ってくること。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 A I		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishA I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	Rena Yoshida	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	R.ヨシダ	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	<p>Required English AI lessons are aimed at integrating the four skills (listening, speaking, reading and writing) through group works, discussions, presentations, etc. to develop basic functional ability in English. English AI has a particular focus on improving the productive skills of speaking and writing. The lessons are designed to help develop students' confidence and fluency in communicating in English through the use of various vocabulary, essential grammar and engaging topics.</p> <p>In principle, lessons are conducted in English.</p>		
到達目標	<p>English AI aims to improve students' confidence and proficiency in their spoken and written English. With the guidance of the teacher, students speak and write English using basic syntax.</p> <p>Each student will have many opportunities to:</p> <ul style="list-style-type: none"> - produce simple, isolated phrases about people, places and events - ask/answer simple questions and initiate/respond to simple statements - obtain basic vocabulary of isolated words and a limited control of a few simple grammatical structures 		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第 1 回 予習 : Don't forget your textbook! 授業 : Class orientation; Unit 0 (pp.8-11); Unit 1 (pp.12-14): Personal information - vocabulary; listening; conversation 復習 : Vocabulary review</p> <p>第 2 回 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 1 (pp.15-18): Personal information - grammar; pair/group work; discussions 復習 : Grammar review</p> <p>第 3 回 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 2 (pp.20-22): Appearance - vocabulary; listening; conversation 復習 : Vocabulary review</p> <p>第 4 回 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 2 (pp.23-26): Appearance - grammar; pair/group work; discussions 復習 : Grammar review</p> <p>第 5 回 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 3 (pp.28-30): Daily activities - vocabulary; listening; conversation 復習 : Vocabulary review</p> <p>第 6 回 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 3 (pp.31-35): Daily activities - grammar; pair/group work; discussions 復習 : Vocabulary review</p> <p>第 7 回 予習 : preparation for Midterm Task 1 授業 : Midterm Task 1: Students submit a review of content learned in Units 0-3; Preparation for Midterm Task 2 復習 : Grammar & Vocabulary review</p> <p>第 8 回 予習 : preparation for Midterm Task 2 授業 : Midterm Task 2 (speaking): Students give individual presentations 復習 : Grammar & Vocabulary review</p> <p>第 9 回 予習 : Vocabulary 授業 : Students receive feedback on Midterm Task 1 (writing) and Task 2 (speaking); Unit 4 (pp.36-38): Locations - vocabulary; listening; conversation 復習 : Vocabulary review</p>			

<p>第 10 回 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 4 (pp.39-42): Locations - grammar; pair/group work; discussions 復習 : Grammar review</p> <p>第 11 回 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 5 (pp.44-46): Directions - vocabulary; listening; conversation 復習 : Vocabulary review</p> <p>第 12 回 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 5 (pp.47-51): Directions - grammar; pair/group work; discussions 復習 : Grammar review</p> <p>第 13 回 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 6 (pp.52-59): Past events - vocabulary; listening; grammar; pair/group work; discussions 復習 : Grammar & Vocabulary review</p> <p>第 14 回 予習 : preparation for Final Task 1 授業 : Final Task 1: Students submit a review of content learned in Units 4-6; Preparation for Final Task 2 復習 : Grammar & Vocabulary review</p> <p>第 15 回 予習 : preparation for Final Task 2 授業 : Final Task 2 (speaking): Students give individual presentations 復習 : Self reflection</p>								
授業開始前学習	Take every opportunity to encounter and enjoy English through movies, music, TV, the Internet, etc.							
授業内課題の フィードバックの方法	<p>- Each "Review Quiz" (weekly quiz given at the beginning of each class) will be marked and returned in the following week.</p> <p>- A written feedback will be provided for each Midterm and Final task.</p>							
テキスト・教材	English Firsthand 1 (Pearson) ISBN: 978-981-313-022-7							
参考書	Information will be given in class							
評価の基準と方法	Students are evaluated on a total of class participation points 40% (review quizzes, submitted assignments, effort & attitude) and midterm and final tasks 60% (midterm 30% & final 30%).							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	<p>出席重視。最低限必要な出席率: 2/3</p> <p>It is important for students to attend each class. Credit will not be given to students who miss more than a third of the classes. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival 30 minutes or more after the class has started will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class.</p>							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	英語 A I		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishA I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	リチャード バラダッド	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	R.バラダッド	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	インタラクティブな練習を通じて英語の聞き取りと会話を体感します。英語 A I では、英語の基礎的な運用能力の習得のために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の 4 技能を効果的に統合したグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。特に「ライティング」と「スピーキング」という英語を発信する能力の向上を目標とする		
到達目標	この授業では、さまざまな楽しく興味深いリスニングや発音、スピーキングアクティビティー（個人、ペア、グループアクティビティーなど）を通して、英語を話す力、および理解力を向上させることに焦点を当てます。基本的な構文を使って、英文を書いたり英語を話したりできる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第 1 回 予習 : Read pp. 8-11 授業 : Self-Introductions/Course goals, Q&A, get to know other 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>第 2 回 予習 : Read pp. 12-15 授業 : Hobbies, Interests, pair work 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>第 3 回 予習 : Read pp. 16-19 授業 : Personal Questions, group work 復習 : Review notes/ Do homework/ Do GC video presentation 1</p> <p>第 4 回 予習 : Read pp. 20-23 授業 : Appearance adjectives, pair work, Unit 1 Quiz 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>第 5 回 予習 : Read pp. 24-27 授業 : Describing friends, group work 復習 : Review notes/ Do homework/ Do GC video presentation 2</p> <p>第 6 回 予習 : Read pp. 28-31 授業 : Describing routines and schedules, pair work, Unit 2 Quiz 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>第 7 回 予習 : Read pp. 32-35 授業 : Talking about things you do, group work 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>第 8 回 予習 : Prepare for quiz 授業 : Quiz for units 1-3 / Speaking exercise in pairs 復習 : Preview Unit 4 / Do homework</p> <p>第 9 回 予習 : Read pp. 36-39 授業 : Talking about locations, furniture and household furnishings, pair work 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>第 10 回 予習 : Read pp. 40-43 授業 : Describing a place that is special for you, group work 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>第 11 回 予習 : Read pp. 44-47 授業 : Giving directions; stores and services, pair work, Unit 4 Quiz 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>第 12 回 予習 : Read pp. 48-51 授業 : Giving and understanding map directions, group work 復習 : Review notes/ Do homework</p>			

<p>第 13 回 予習 : Read pp. 52-55 授業 : Talking about important life events and past activities, pair work, Unit 5 Quiz 復習 : Review notes/ Do homework / Do GC video presentation 3</p> <p>第 14 回 予習 : Read pp. 56-59 授業 : Talking about your experiences, group work 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>第 15 回 予習 : Prepare for quiz 授業 : Quiz for units 4 - 6 / Speaking exercise in pairs 復習 : Do Portal evaluations in class (after quiz)</p>								
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる							
授業内課題の フィードバックの方法	毎時間授業の冒頭で小テストを行う。授業 7 回目、1 3 回目に提出するまとめについては、2 週間後（授業 9 回目、1 5 回目）に全体の講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	English Firsthand 1, 5th Edition (Marc Helgesen), Pearson							
参考書								
評価の基準と方法	定期試験 40%（小テスト、課題提出、プレゼンテーション、授業態度など）、定期試験 60%の組み合わせで評価します。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始 30 分以上の遅刻は欠席をみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	英語 A I		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishA I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	ミラーウエイン	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	W.ミラー	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	Required English AI is aimed at integrating the four skills (listening, speaking, reading, and writing) through group work, discussions, presentations, etc., to develop basic functional ability in English. English AI has a particular focus on improving the productive skills of writing and speaking. In principle, classes will be conducted entirely in English.		
到達目標	Students speak and write basic English using basic syntax.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第 1 回 予習： Read Unit 0 'Welcome to English Firsthand 1', p.8-11 授業： Course goals and structure will be explained. Q & A activities (pair work) 復習： Review notes</p> <p>第 2 回 予習： Read Unit 1 'It's nice to meet you.', p.12-16 授業： Build vocabulary about hobbies, interests, and occupations to use in dialogues (pair work) 復習： Review notes</p> <p>第 3 回 予習： Finish Reading Unit 1 'It's nice to meet you.', p.17-19 授業： Grammar: Q & A using simple present form / Group work / Real Stories: 'My Introduction' 復習： Review notes / Do homework: Unit 1 Assignment in Google Classroom</p> <p>第 4 回 予習： Read Unit 2 'Who are they talking about?', p.20-24 授業： Build vocabulary about appearance to use in model dialogues (pair work) 復習： Review notes</p> <p>第 5 回 予習： Finish Reading Unit 2 'Who are they talking about?', p.25-27 授業： Grammar: Using simple present: be vs. have / Group work / Real Stories: 'My Family' 復習： Review notes / Do homework: Unit 2 Assignment in Google Classroom</p> <p>第 6 回 予習： Read Unit 3 'When do you start?', p.28-32 授業： Build vocabulary about daily activities to use in model dialogues (pair work) 復習： Review notes</p> <p>第 7 回 予習： Finish Reading Unit 3 'When do you start?', p.33-35 授業： Grammar: Using adverbs of frequency / Group work / Real Stories: 'My Routine' 復習： Review notes / Do homework: Unit 3 Assignment in Google Classroom</p> <p>第 8 回 予習： Review all homework assignments and textbook p. 12-35 授業： Midterm Quiz of Unit 1 ~ Unit 3 復習： Reread textbook p. 36-40</p> <p>第 9 回 予習： Read Unit 4 'Where does this go?', p.36-40 授業： Build vocabulary about locations to use in model dialogues (pair work) 復習： Review notes</p> <p>第 10 回 予習： Finish Reading Unit 4 'Where does this go?', p.41-43 授業： Grammar: Using to, at, from, on, in, with directions / Group work / Real Stories: 'My Room' 復習： Review notes / Do homework: Unit 4 Assignment in Google Classroom</p> <p>第 11 回 予習： Read Unit 5 'How do I get there?', p.44-48 授業： Build vocabulary about directions to use in model dialogues (pair work) 復習： Review notes</p> <p>第 12 回 予習： Finish Reading Unit 5 'How do I get there?', p.49-51 授業： Grammar: Using prepositions with there is and there are / Group work / Real Stories: 'My Farewell Party' 復習： Review notes / Do homework: Unit 5 Assignment in Google Classroom</p>			

<p>第 13 回 予習 : Read Unit 6 'What happened?', p.52-56 授業 : Build vocabulary about important life events, leisure activities to use in model dialogues (pair work) 復習 : Review notes</p> <p>第 14 回 予習 : Finish Reading Unit 6 'What happened?', p.57-59 授業 : Grammar: Using the past tense: Irregular verbs / Group work / Real Stories: 'My Trip' 復習 : Review notes / Do homework: Unit 6 Assignment in Google Classroom</p> <p>第 15 回 予習 : Review all homework assignments and textbook p. 36-59 授業 : Final Quiz of Unit 4 ~ Unit 6 復習 : Complete course Questionnaire on the Komajo Portal.</p>								
授業開始前学習	Practice listening to spoken English through videos or audio recordings and read English books, magazines, or comics. Look up unknown words in a dictionary.							
授業内課題のフィードバックの方法	Both written and oral feedback will be provided to all students for tasks and assignments. Students are encouraged to ask questions, which the teacher will answer.							
テキスト・教材	English Firsthand 1 (Fifth Edition), Pearson Longman, by Helgesen et al							
参考書								
評価の基準と方法	Students are evaluated on total class participation, which is 40% of grade (quizzes, submitted coursework, presentations, class participation etc.) and regular examinations are 60% of grade.							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	It is important for students to attend each class. Credit will not be given to students who miss more than a third of the classes. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival 30 minutes or more after the class has started will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class.							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 A I		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishA I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	K.バーンズ	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	K.バーンズ	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	The emphasis of this class will be on speaking. However, listening, reading and writing will also be developed. This class though, focuses on improving the productive skills of speaking. In principle, lessons are conducted in English. If we are online we will still do speaking using software.		
到達目標	After this class, students will be able to communicate more freely in English. They will be able to have a basic conversation in English.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
The topics of the class will follow the text book.			
第 1 回 予習 : Read pp. 8 -11 in the textbook 授業 : Self-Introductions/Course goals/Pairwork-Q&A activities to get to know each other 復習 : Review notes/ Do homework			
第 2 回 予習 : Read pp. 12-19 授業 : Hobbies and Interests/Pairwork 復習 : Review notes/ Do homework			
第 3 回 予習 : Read pp. 20-24 授業 : Appearance adjectives/Pairwork 復習 : Review notes/ Do homework			
第 4 回 予習 : Read pp. 25 -27 授業 : Simple Present Pairwork and Group work 復習 : Review notes/ Do homework			
第 5 回 予習 : Read pp. 28-32 授業 : Daily activities and routines Pairwork and Discussion 復習 : Review notes/ Do homework			
第 6 回 予習 : Read pp. 33-35 授業 : Adverbs of Frequency Pairwork 復習 : Review notes/ Do homework			
第 7 回 予習 : Review all homework assignments 授業 : General review - Pairwork 復習 : Reread textbook pp.8 -24			
第 8 回 予習 : Review all homework assignments 授業 : General review/Group Work prepare a Group Presentation (Project Based Learning) 復習 : Reread textbook pp.25-35			
第 9 回 予習 : Read pp. 36-39 授業 : Furniture, household furnishing,and locations/Group Work - Prepare a Presentation (Project Based Learning) 復習 : Review notes/ Do homework			

<p>第10回 予習 : Read pp. 40-43 授業 : Prepositions-There is and There are/ Pairwork / Groupwork - Perform Presentations (Project Based Learning) 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>第11回 予習 : Read pp. 44-47 授業 : Giving Directions - Pairwork 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>第12回 予習 : Read pp. 48-51 授業 : To,at,from,on,in with directions - Pairwork and Discussion 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>第13回 予習 : Read pp. 52-55 授業 : Important life events,past activities Pairwork and Group work 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>第14回 予習 : Read pp. 56-59 授業 : Talk about a trip you took - Pairwork 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>第15回 予習 : Review all homework assignments 授業 : General review 復習 : Reread textbook pp.36-59</p>								
授業開始前学習	Before the class starts students can prepare by listening to English recordings and reading English books, magazines or comics. Look up words in the dictionary.							
授業内課題のフィードバックの方法	Comprehensive feedback will be provided on coursework. Once class starts, evaluated homework assignments will be provided after each class to help students review and better understand the material.							
テキスト・教材	English Firsthand 1 by Helgesen et al (Pearson Longman)							
参考書								
評価の基準と方法	Students are evaluated on a total of class participation points of 40% (mini tests, submitted coursework, presentations, class participation etc.) and regular examinations 60%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目	English Conversation							
その他	It is important for students to attend each class. Credit will not be given to students who miss more than a third of the classes. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival after 30 minutes or more after the start of class will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class.							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 A I		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishA I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	Mark Oseland	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	M.オーズランド	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	Required English AI is aimed at integrating the four skills (listening, speaking, reading and writing) through group work, discussions, presentations etc. to develop basic functional ability in English. English AI has a particular focus on improving the productive skills of writing and speaking.		
到達目標	Students speak and write basic English using basic syntax.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習 : Overview unit 1. Prepare a short introductory speech (2 minutes). 授業 : Unit 1; Where are you from? Introductions and greetings. pp.2-4. Pair-work, groupwork. 復習 : Review unit pp.2-4</p> <p>【第2回】 予習 : Overview unit 1 pp. 5-7 授業 : Unit 1 continued; pp.5-7. Pair-work, groupwork, writing exercise. 復習 : Review unit 1.</p> <p>【第3回】 予習 : Overview Unit 2. 授業 : Unit 2; What do you do? Asking for and giving opinions. pp.8-10. Pair-work, groupwork, discussions. 復習 : Review unit 2 pp.8-10.</p> <p>【第4回】 予習 : Overview unit 2 pp.11-13 授業 : Unit 2 continued. pp.11-13. Pair-work, groupwork, writing exercise. 復習 : Review unit 2.</p> <p>【第5回】 予習 : Overview Unit 3. 授業 : Unit 3; How much are these? Shopping and prices. pp.16-18. Pair-work, groupwork, discussion. 復習 : Review unit 3 pp.16-18</p> <p>【第6回】 予習 : Overview Unit 3 pp.19-21 授業 : Unit 3 continued. Pp.19-21. Pair-work, groupwork, writing exercise, short presentation. 復習 : Review Unit 3.</p> <p>【第7回】 予習 : Review units 1-3. Prepare a short, written report. 授業 : General Comprehension exercises. 復習 : Reflect on personal performance and skills that need more work.</p> <p>【第8回】 予習 : Overview Unit 4. 授業 : Unit 4; Do you play the guitar? Likes and dislikes. pp.22-24. Pair-work, groupwork. 復習 : Review Unit 4 pp.22-24</p> <p>【第9回】 予習 : Overview Unit 4 pp.25-27. 授業 : Unit 4 continued. pp25-27. Pair-work, groupwork, writing exercise. 復習 : Review Unit 4</p> <p>【第10回】 予習 : Overview Unit 6. 授業 : Unit 6; How often do you run? Describing routines, discussing exercise/sports. pp.36-38. Pair-work, groupwork. 復習 : Review Unit 6 pp.36-38</p> <p>【第11回】 予習 : Overview Unit 6 pp.39-41. 授業 : Unit 6 continued; pp.39-41. Pair-work, groupwork, writing exercise. 復習 : Review Unit 6.</p> <p>【第12回】 予習 : Overview Unit 7. 授業 : We went dancing; Talking about past events and experiences. pp.44-46. Pair-work, groupwork. 復習 : Review pp.44-46</p>			

<p>【第13回】 予習 : Overview Unit 7 pp.47-49. 授業 : Unit 7 continued; pp47-49. Pair-work, groupwork, writing exercise. 復習 : Review Unit 7.</p> <p>【第14回】 予習 : Overview Unit 8. 授業 : Unit 8; How's the neighbourhood? Asking about and describing locations pp.50-52. Pair-work, groupwork. 復習 : Review unit 8.</p> <p>【第15回】 予習 : Review units 4,6,7 and 8. Prepare a short, written report. 授業 : General comprehension exercises. 復習 : Reflect on personal performance and skills that need more work.</p>								
授業開始前学習	Prepare yourself to actively participate in classes in English. Consider your strong points and those that need improvement. Focus on topics that interest you, review vocabulary and listen to as much English as possible before the course.							
授業内課題のフィードバックの方法	Students take a quiz at the beginning of every class or submit assignments and comprehensive feedback on these will be provided. Any questions from individual students will be answered.							
テキスト・教材	Richards, R.C, Hull, J., Proctor, S., Interchange 1 Students Book (Cambridge: C.U.P., 2020) ISBN: 978-1-316-62031-1							
参考書								
評価の基準と方法	Students are evaluated on a total of class participation points 40% (mini tests, submitted coursework, presentations, class participation etc.) and regular examination 60%.							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	It is important for students to attend each class. Credit will not be given to students who miss more than a third of the classes. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival 30 minutes or more after the class has started will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class.							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 A I		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishA I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	江連 成美	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	江連 成美	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 A I では、英語の基礎的な運用能力の習得のために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の 4 技能を効果的に統合したグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。特に「ライティング」と「スピーキング」という英語を発信する能力の向上を目標とする。		
到達目標	基本的な構文を使って、英文を書いたり話したりできる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第 1 回】 予習： テキストの Welcome Unit に目を通しておく 授業： オリエンテーション（授業の進め方・オンラインアプリの登録などの説明） 復習： オリエンテーションの内容を確認する（登録が終わっていない場合は、第 2 回までに必ず登録を終わらせておく）</p> <p>【第 2 回】 予習： App Unit 1 - Lesson 1 Vocabulary 1 授業： Unit 1 : What do you do? (pp.5~9) (ペアワーク) 復習： App Unit 1 - Lesson 1 and 2</p> <p>【第 3 回】 予習： App Unit 1 - Lesson 3 Vocabulary 1 and 2 授業： Unit 1 : What do you do? (pp.10, 11, 14, 15) (グループワーク) 復習： App Unit 1 - Lesson 3</p> <p>【第 4 回】 予習： App Unit 2 - Lesson 1 Vocabulary 2, Lesson 2 Vocabulary 1 授業： Unit 2 : What's that? (pp. 17-21) (ペアワーク) 復習： App Unit 2 - Lesson 1 and 2</p> <p>【第 5 回】 予習： App Unit 2 - Lesson 3 Vocabulary 1 and 2 授業： Unit 2 : What do you do? (pp. 22, 23, 26, 27) (グループワーク) 復習： App Unit 2 - Lesson 3</p> <p>【第 6 回】 予習： App Unit 3 - Lesson 1 Vocabulary 1 and 2, Lesson 2 Vocabulary 1 授業： Unit 3 : What are you doing today? (pp. 29-33) (ペアワーク) 復習： App Unit 3 - Lesson 1 and 2</p> <p>【第 7 回】 予習： App Unit 3 - Lesson 3 Vocabulary 1 授業： Unit 3 : What are you doing today? (pp. 34, 35, 38, 39) (グループワーク) 復習： App Unit 3 - Lesson 3</p> <p>【第 8 回】 予習： pp. 125-132 の中から特に苦手な部分を自分で選び、問題を解く 授業： Unit 1~3 の前期前半の振り返り 復習： Unit 1~3 で理解できていなかった点を整理しておく</p> <p>【第 9 回】 予習： App Unit 4 - Lesson 1 Vocabulary 1 and 2, Lesson 2 Vocabulary 1 授業： Unit 4 : Whose phone is this? (pp. 41-45) (ペアワーク) 復習： App Unit 4 - Lesson 1 and 2</p> <p>【第 10 回】 予習： App Unit 4 - Lesson 3 Vocabulary 1 and 2 授業： Unit 4 : Whose phone is this? (pp. 46, 47, 50, 51) (グループワーク) 復習： App Unit 4 - Lesson 3</p> <p>【第 11 回】 予習： App Unit 5 - Lesson 1 Vocabulary 1, Lesson 2 Vocabulary 1 (両方) 授業： Unit 5 : Any plans for the weekend? (pp. 53-57) (ペアワーク) 復習： App Unit 5 - Lesson 1 and 2</p> <p>【第 12 回】 予習： App Unit 5 - Lesson 3 Vocabulary 1 and 2 授業： Unit 5 : Any plans for the weekend? (pp. 58, 59, 62, 63) (グループワーク) 復習： App Unit 5 - Lesson 3</p>			

<p>【第13回】 予習： Unit 1～5の単語や表現をもう一度整理する 授業： Unit 1 から5の単語や表現を使ったグループワーク 復習： 教室内で行われたフィードバックを復習する</p> <p>【第14回】 予習： pp. 133－137の中から特に苦手な部分を自分で選び、問題を解く 授業： 前期後半の振り返り 復習： Unit 1～5を通して理解できていなかった点を整理する</p> <p>【第15回】 予習： Unit 1～5のAppで取り組んでいないpracticeに取り組む 授業： Unit 1～5のPut it Together 復習： 前期に学習した項目を整理し、後期に備える</p>								
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	隔週で授業冒頭で小テストを行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材	テキスト名：StartUp Level 2: Student Book & Interactive eBook with Digital Resources & App 出版社：Pearson ※課題としてアプリのOnline Practiceに取り組んでもらうので、最初のページのアクセスコードが使用済みになっている教科書は購入しないでください。また、初回にアプリの登録を行うので、教科書を購入し、授業に持参してください。							
参考書	特になし。							
評価の基準と方法	平常点40%（小テスト、課題提出、Presentation、授業態度等）および定期試験60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の3分の1以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻3回で欠席1回とみなす。講義開始後30分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間30時間（2時間×15週）＋予習・復習時間15時間（1時間×15週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 A I		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishA I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	サイモン・スティーブンス	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	S.スティーブンス	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	Required English AI integrates the four skills (listening, speaking, reading and writing). We focus on pair/group work, discussions, surveys and presentations to develop students functional ability in using everyday, practical English.		
到達目標	<p>1. Students' communicative ability will be developed through guided pair and group discussion activities (using the target language in a meaningful way, linking classroom language learning to real-world activities).</p> <p>2. They will learn an extensive range of communicative activity types including interviews, surveys, class presentations and mini projects.</p> <p>3. Students will also develop listening skills through listening to a variety of scripted and authentic audio/video material.</p> <p>4. Vocabulary learning methods and record keeping skills will also be developed.</p>		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第 1 回 予習 : Don't forget your textbook ! Buy a notebook for classwork and vocabulary work. 授業 : Class orientation; Personal information - getting to know each other. Classroom language. 復習 : Vocabulary review/Homework.</p> <p>第 2 回 予習 : Do assigned tasks Warm up unit questions p11/Reading p14. 授業 : Unit 1 Food pp. 11-15 (vocabulary, listening and discussions). 復習 : Vocabulary review/homework.</p> <p>第 3 回 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Unit 1 Food pp. 16-18 (video, discussion and project work). 復習 : Vocabulary review/Homework.</p> <p>第 4 回 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Unit 2 Festivals pp. 19-23 (vocabulary, listening and discussions). 復習 : Vocabulary review/Homework.</p> <p>第 5 回 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Unit 2 Festivals pp. 24-26 (video, discussion and project work). 復習 : Vocabulary review/Homework.</p> <p>第 6 回 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Unit 3 Cities pp. 31-34 (vocabulary, listening and discussions). 復習 : Vocabulary review/Homework.</p> <p>第 7 回 予習 : Preparation for Mid-term Poster Presentations. 授業 : Unit 3 Cities pp. 36-38 (video, discussion and project work). 復習 : Vocabulary review/Homework.</p> <p>第 8 回 予習 : Prepare for Mid-term Poster presentations. 授業 : Mid-term Poster presentations. 復習 : Vocabulary review/Homework.</p> <p>第 9 回 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Students receive feedback on Poster presentations. Unit 4 Jobs pp. 39-43 (vocabulary, listening and discussions). 復習 : Vocabulary review/Homework.</p> <p>第 10 回 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Unit 4 Jobs pp.43-46 (video, discussion and project work). 復習 : Vocabulary review/Homework.</p>			

<p>第 11 回 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Unit 5 Music pp.51-54 (vocabulary, listening and discussions). 復習 : Vocabulary review/Homework.</p> <p>第 12 回 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Unit 5 Music pp. 55-58 (video, discussion and project work). 復習 : Vocabulary review preparation/ Homework.</p> <p>第 13 回 予習 : Preparation for Final Vocabulary Review. 授業 : Final vocabulary review. 復習 : Poster presentations preparation.</p> <p>第 14 回 予習 : Preparation for Final Speaking Poster Presentations. 授業 : Final Speaking Task : Poster presentations based on units 1-5. 復習 : Vocabulary review and self reflections on their presentations.</p> <p>第 15 回 予習 : Preparation for Final Speaking Poster Presentations. 授業 : Final Speaking Task : Poster presentations based on units 1-5. 復習 : Feedback on class presentations.</p>								
授業開始前学習	Before class students can try to review vocabulary, use graded readers, and do listening activities using various listening websites. Also try to take every opportunity to encounter and enjoy English through movies, music, TV, and the Internet.							
授業内課題のフィードバックの方法	There will be teacher oral/written feedback on assignments and homework. Additionally, there will be development of students' peer to peer feedback, particularly with presentations.							
テキスト・教材	INSPIRE 2 by Pamela Hartmann, Nancy Douglas and Andrew Boon. ISBN: 978-1-133-96368-4							
参考書								
評価の基準と方法	Students are evaluated on a total of class participation points 40% (review quizzes, submitted assignments, effort & attitude) and regular examinations 60% (midterm & final tasks).							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	Attendance is very important because it is part of your participation grade. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival 30 minutes or more after the class has started will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class. It is a communication class, so it is important to interact with the teacher, each other and express your opinions. This will build your confidence.							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 A I		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishA I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	M.ブラウン	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	M.ブラウン	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	前期 月曜日 13:00~14:30 水曜日 13:00~14:30 後期 月曜日 13:00~14:30 水曜日 13:00~14:30	研究室	10-619
授業概要	Required EnglishA I is aimed at integrating the four skills (listening, speaking, reading and writing) through group works, discussions, presentations etc. to develop basic functional ability in English. EnglishA I has a particular focus on improving the productive skills of writing and speaking.		
到達目標	Students speak and write basic English using basic syntax.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第 1 回】 予習：Read the introduction to the textbook 授業：Self- and course introductions, pairwork 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第 2 回】 予習：Read pages 7 - 10 in the textbook 授業：Speaking strategies, groupwork activities 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第 3 回】 予習：Read pages 11 - 14 授業：Pairwork and discuss interests 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第 4 回】 予習：Read pages 15 -18 授業：Practice adjectives, pairwork 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第 5 回】 予習：Read pages 19 - 22 授業：Pairwork and Groupwork 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第 6 回】 予習：Read pages 23 - 26 授業：Daily activities and routines, discussion 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第 7 回】 予習：Read pages 27 - 30 授業：Frequency adverbs, pairwork 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第 8 回】 予習：Review all homework assignments 授業：General review and mid-term quiz 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第 9 回】 予習：Read pages 31 - 35 授業：Homes, locations; Groupwork 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第 10 回】 予習：Read pages 36 - 38 授業：Prepositions (grammar study), Pairwork 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第 11 回】 予習：Read pages 39 - 42 授業：Directions, Pairwork and Discussion 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第 12 回】 予習：Read pages 43 - 46 授業：Prepositions and Directions, Pairwork and Discussion 復習：Review notes / Do homework</p>			

<p>【第13回】 予習：Read pages 47 - 50 授業：Life events, past events, Pairwork and Groupwork 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第14回】 予習：Read pages 51 - 54 授業：Trips, Pairwork 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第15回】 予習：Review all homework assignments 授業：Final review and quiz, discussion 復習：Review notes</p>								
授業開始前学習	Take every opportunity to encounter English through movies, music, TV, newspapers etc. Use a dictionary to check the meaning of words and phrases that interest you.							
授業内課題のフィードバックの方法	Students take a quiz at the beginning of every class or submit assignments, and comprehensive feedback on these will be provided. Any questions from individual students will be answered.							
テキスト・教材	Nice Talking With You 1							
参考書								
評価の基準と方法	Students are evaluated on a total of class participation points 40% (mini tests, submitted coursework, presentations, class participation etc.) and regular examination 60%.							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	It is important for students to attend each class. Credit will not be given to students who miss more than a third of the classes. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival 30 minutes or more after the class has started will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class.							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 A I		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishA I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	Z.モハツラミプール	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	Z. モハツラミプール	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	Required English AI is aimed at integrating the four skills (listening, speaking, reading and writing) through group works, discussions, presentations etc. to develop basic functional ability in English. English AI has a particular focus on improving the productive skills of writing and speaking.		
到達目標	Students speak and write basic English using basic syntax.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：Read the introduction to the textbook. 授業：Class Orientation. Getting to know each other. Pair work and group work. 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第2回】 予習：Read pages 8-11. 授業：Unit 1 Meeting people/introducing yourself. Vocabulary, Listening, pair work. 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第3回】 予習：：Read pages 12-19. 授業：Unit 1 Meeting people/introducing yourself. Grammar, Group work, Real Stories. 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第4回】 予習：Read pages 20-24. 授業：Unit 2 Describing people. Vocabulary, Listening, pair work. 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第5回】 予習：Read pages 25-27. 授業：Unit 2 Describing people. Grammar, Group work, Real Stories. 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第6回】 予習：Read pages 28-32. 授業：Unit 3 Schedules and frequency. Vocabulary, Listening, pair work. 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第7回】 予習：Read pages 33-35. 授業：Unit 3 Schedules and frequency. Grammar, Group work, Real Stories. 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第8回】 予習：Review all homework assignments. 授業：General review and quiz 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第9回】 予習：Read pages 36-39. 授業：Unit 4 Stating locations. Vocabulary, Listening, pair work. 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第10回】 予習：Read pages 40-43. 授業：Unit 4 Stating locations. Grammar, Group work, Real Stories. 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第11回】 予習：Read pages 44-47. 授業：Unit 5 Giving directions. Vocabulary, Listening, pair work. 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第12回】 予習：Read pages 48-51. 授業：Unit 5 Giving directions. Grammar, Group work, Real Stories. 復習：Review notes / Do homework</p>			

<p>【第13回】 予習 : Read pages 52-55. 授業 : Unit 6 Talking about past events. Vocabulary, Listening, pair work. 復習 : Review notes / Do homework</p> <p>【第14回】 予習 : Read pages 56-59. 授業 : Unit 6 Talking about past events. Grammar, Group work, Real Stories. 復習 : Review notes / Do homework</p> <p>【第15回】 予習 : Review all homework assignments. 授業 : Final review and quiz 復習 : Review notes</p>								
授業開始前学習	Take every opportunity to encounter English through movies, music, TV, newspapers etc. Use a dictionary to check the meaning of words and phrases that interest you.							
授業内課題のフィードバックの方法	Students take a quiz at the beginning of every class or submit assignments, and comprehensive feedback on these will be provided. Any questions from individual students will be answered.							
テキスト・教材	English Firsthand Level 1 (5th edition)							
参考書								
評価の基準と方法	Students are evaluated on a total of class participation points 40% (mini tests, submitted coursework, presentations, class participation etc.) and regular examination 60%.							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	It is important for students to attend each class. Credit will not be given to students who miss more than a third of the classes. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival 30 minutes or more after the class has started will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class.							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 A I		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishA I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	薬師 英子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	薬師 英子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 A I では、英語の基礎的な運用能力の習得のために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の 4 技能を効果的に統合したグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。特に「ライティング」と「スピーキング」という英語を発信する能力の向上を目標とする。		
到達目標	基本的な構文で書かれた英文を、複数回にわたり聞き取りをすると、理解できる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第 1 回 予習：自分の英語学習を振り返る 授業：オリエンテーション（授業のねらい、授業の進め方等について） グループワーク 復習：家庭学習を考える</p> <p>第 2 回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 1 This is my first trip abroad. (pp.8~13) 〈be 動詞〉話しかける／自己紹介をする グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 3 回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 2 Do you have anything to declare? (pp.14~19) 〈一般動詞（現在形）〉人を誘う／別れ際の挨拶 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 4 回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 2 Do you have anything to declare? (pp.14~19) Unit 1 & 2 Review & Group Activities 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 5 回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 3 How was your flight to Los Angeles? (pp.20~25) 〈一般動詞（過去形）〉グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 6 回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 3 How was your flight to Los Angeles? (pp.20~25) Review & Group Activities 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 7 回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 4 Are you still feeling tired? (pp.26~31)〈未来形〉予定を述べる／説明する グループワーク、 これまで学んできた Unit1~4(pp.8~31)についてのまとめ提出 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 8 回 予習：ここまでの授業を総復習する 授業：前期前半のまとめをする 復習：まとめを振り返る</p> <p>第 9 回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 5 What are we going to do in the afternoon? (pp.32~37)〈進行形〉詳細を尋ねる／理由を述べる グループワーク、 これまで学んできた Unit1~5(pp.8~37)についてのまとめの講評 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 10 回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 5 What are we going to do in the afternoon? (pp.32~37) Review & Activity 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 11 回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 6 It's called Mountain Grove. (pp.38~43)〈受動態〉意向を尋ねる／好みを述べる グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 12 回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 6 It's called Mountain Grove. (pp.38~43) Review & Activities 復習：授業中の活動を振り返る</p>			

<p>第 13 回 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 7 How would you like your steak? (pp.44~49)、これまで学んできた Unit1~7(pp.8~49)についてのまとめ提出 復習 : 授業中の活動を振り返る</p> <p>第 14 回 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 8 How long have you felt this way? (pp.50~55) Review & Activities 復習 : 授業中の活動を振り返る</p> <p>第 15 回 予習 : 今まで授業で学んだことを振り返る 授業 : Review of Unit 1 This is my first trip to abroad. ~ Unit 8 How long have you felt this way? (pp.8~55)、これまで学んできた Unit1~8(pp.8~55)についてのまとめの講評 復習 : 自分の課題を見つけ対策を立てる</p>								
授業開始前学習	学習予定の Unit の内容・単語の予習と小テストに向けての学習を必ず行うこと。映画・音楽・テレビ・新聞記事など、英語に触れる機会を多く持ち、国際的な事柄に積極的に興味を持つこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎時間授業の冒頭で小テストを行う。授業 7 回目、13 回目に提出するまとめについては、2 週間後（授業 9 回目、15 回目）に全体の講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	『Let's Read Aloud & Learn English -Going Abroad-』角山 照彦、Simon Capper、遠藤 利昌、（成美堂）、2021							
参考書	授業中に紹介する。							
評価の基準と方法	試験 60%、平常点 40%（小テスト、課題提出、Presentation、授業参加意欲）							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。テキスト忘れ、授業内での携帯電話使用等は授業参加意欲の減点対象とする。その他、1 回目の授業で説明する。欠席した回の学習内容はシラバス、配信資料等に確認し、各自でフォローアップする。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 A I		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishA I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	佐々木 千恵	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	佐々木 千恵	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 A I では、英語の基礎的な運用能力の習得のために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の 4 技能を効果的に統合したグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。特に「ライティング」と「スピーキング」という英語を発信する能力の向上を目標とする。		
到達目標	基本的な構文を使って、英文を書いたり英語を話したりできる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第 1 回 予習：とくにありません。 授業：オリエンテーション。今後の授業の進め方等の説明。プリントを使用して学習。 復習：授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p> <p>第 2 回 予習： p11～13 の中で知らない単語は意味調べしておく。 授業： p11 写真を見ながらスピーキング練習。単語と文章を音読。12p リスニング & ディクテーション。 p 13 をグループワークによりスピーキング練習。その表現を用いてライティング練習。 復習：授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p> <p>第 3 回 予習： p14～16 の中で知らない単語は意味調べしておく。 授業：前回の単語チェックテスト。p14 の表現を用いて暗唱スピーキング練習。p15 写真を見ながらスピーキング練習。単語と文章を音読。 p 16 リスニング & ディクテーション。 復習：授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p> <p>第 4 回 予習： p17～19 の中で知らない単語は意味調べておく。 授業：前回の単語チェックテスト。p 17 をグループワークによりスピーキング練習。その表現を用いてライティング練習。 p18 の表現を用いて暗唱スピーキング練習。p 19 の写真を見ながらスピーキング練習。単語と文章を音読。 復習：授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p> <p>第 5 回 予習： p20～22 の中で知らない単語は意味調べておく。 授業：前回の単語チェックテスト。p 20 リスニング & ディクテーション。p 21 をグループワークによりスピーキング練習。 その表現を用いてライティング練習。 p 22 の表現を用いて暗唱スピーキング練習。 復習：授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p> <p>第 6 回 予習 p23～25 の中で知らない単語は意味調べておく。 授業：前回の単語チェックテスト。p23 写真を見ながらスピーキング練習。単語と文章を音読。p24 リスニング & ディクテーション。 p 25 をグループワークによりスピーキング練習。その表現を用いてライティング練習。 復習：授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p> <p>第 7 回 予習： p26～28 の中で知らない単語は意味調べておく。 授業：前回の単語チェックテスト。 p26 の表現を用いて暗唱スピーキング練習。p27 写真を見ながらスピーキング練習。 単語と文章を音読。 p 28 リスニング & ディクテーション。 復習：授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p> <p>第 8 回 予習：ここまでの授業を総復習する。 授業：前期前半の振り返り。 復習：自分の弱点を見極めて重点的に復習をする。</p> <p>第 9 回 予習： p29～31 の中で知らない単語は意味調べておく。 授業： p 29 をグループワークによりスピーキング練習。その表現を用いてライティング練習。 p30 の表現を用いて暗唱スピーキング練習。p 31 の写真を見ながらスピーキング練習。単語と文章を音読。 復習：授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p> <p>第 10 回 予習： p32～34 の中で知らない単語は意味調べておく。 授業：前回の単語チェックテスト。 p 32 リスニング & ディクテーション。p 33 をグループワークによりスピーキング練習。 その表現を用いてライティング練習。p 34 の表現を用いて暗唱スピーキング練習。 復習：授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p>			

<p>第 11 回 予習 : p35~37 の中で知らない単語は意味調しておく。 授業 : 前回の単語チェックテスト。p35 写真を見ながらスピーキング練習。単語と文章を音読。p36 リスニング & ディクテーション。 p 37 をグループワークによりスピーキング練習。その表現を用いてライティング練習。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p> <p>第 12 回 予習 : p38~40 の中で知らない単語は意味調しておく。 授業 : 前回の単語チェックテスト。p38 の表現を用いて暗唱スピーキング練習。p39 写真を見ながらスピーキング練習。 単語と文章を音読。 p 40 リスニング & ディクテーション。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p> <p>第 13 回 予習 : p41~43 の中で知らない単語は意味調しておく。 授業 : 前回の単語チェックテスト。p 41 をグループワークによりスピーキング練習。その表現を用いてライティング練習。 p42 の表現を用いて暗唱スピーキング練習。p 43 の写真を見ながらスピーキング練習。単語と文章を音読。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p> <p>第 14 回 予習 : p44~46 の中で知らない単語は意味調しておく。 授業 : 前回の単語チェックテスト。 p 44 リスニング & ディクテーション。p 45 をグループワークによりスピーキング練習。 その表現を用いてライティング練習。p 46 の表現を用いて暗唱スピーキング練習。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p> <p>第 15 回 予習 : ここまでの授業を総復習する。 授業 : 前期後半の振り返り。 復習 : 自分の課題を見つけ今後の対策を立てる。</p>								
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる習慣をつけておくこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎時間授業冒頭で小テストを行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材	『English Listening and Speaking Patterns 1 』 Andrew E. Bennett 南雲堂							
参考書	特にありません。							
評価の基準と方法	平常点 40% (小テスト、課題提出、Presentation、授業態度等) および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 A I		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishA I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	中川 優一	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	中川 優一	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 A I では、英語の基礎的な運用能力の習得のために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の 4 技能を効果的に統合したグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。特に「ライティング」と「スピーキング」という英語を発信する能力の向上を目標とする。		
到達目標	基本的な構文を使って、英文を書いたり英語を話したりできる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
各回において適宜グループワーク、ディスカッションおよびプレゼンテーション等の活動を行う。			
<p>第 1 回 予習：教科書や辞書の確認をする。自分の今までの英語学習を振り返り、今学期の目標を考える。 授業：オリエンテーション（授業のねらいと課題解決型学習について）。 復習：授業の内容を振り返る。ワークシート。</p> <p>第 2 回 予習：教科書の該当箇所に目を通す（pp. 5-7）。 授業：ワークシートの解き直し。Scene 1 It's So Nice to Meet You! 復習：授業の内容を振り返り、ワークシートを使って文法、表現を確認する。</p> <p>第 3 回 予習：教科書の該当箇所に目を通す（pp. 8-10）。 授業：ワークシートの解き直し。Scene 1 It's So Nice to Meet You! 復習：授業の内容を振り返り、ワークシートを使って単語、表現を確認する。</p> <p>第 4 回 予習：教科書の該当箇所に目を通す（pp. 11-13）。 授業：ワークシートの解き直し。Scene 2 Is He a Popular Professor? 復習：授業の内容を振り返り、ワークシートを使って文法、表現を確認する。</p> <p>第 5 回 予習：教科書の該当箇所に目を通す（pp. 14-16）。 授業：ワークシートの解き直し。Scene 2 Is He a Popular Professor? 復習：授業の内容を振り返り、ワークシートを使って単語、表現を確認する。</p> <p>第 6 回 予習：教科書の該当箇所に目を通す（pp. 17-19）。 授業：ワークシートの解き直し。Scene 3 He Showed Me "a" Way 復習：授業の内容を振り返り、ワークシートを使って文法、表現を確認する。</p> <p>第 7 回 予習：教科書の該当箇所に目を通す（pp. 20-22）。 授業：ワークシートの解き直し。Scene 3 He Showed Me "a" Way 復習：授業の内容を振り返り、ワークシートを使って単語、表現を確認する。</p> <p>第 8 回 予習：これまでの授業を総復習する。 授業：中間試験を行う。 復習：試験で解けなかった問題を確認する。</p> <p>第 9 回 予習：教科書の該当箇所に目を通す（pp. 23-25）。 授業：中間試験の講評、及び Scene 4 For Here or To Go? 復習：授業の内容を振り返り、ワークシートを使って文法、表現を確認する。</p>			

<p>第 10 回 予習：教科書の該当箇所に目を通す (pp. 26-28)。 授業：ワークシートの解き直し。Scene 4 For Here or To Go? 復習：授業の内容を振り返り、ワークシートを使って単語、表現を確認する。</p> <p>第 11 回 予習：教科書の該当箇所に目を通す (pp. 29-31)。 授業：ワークシートの解き直し。Scene 5 She is So Beautiful 復習：授業の内容を振り返り、ワークシートを使って文法、表現を確認する。</p> <p>第 12 回 予習：教科書の該当箇所に目を通す (pp. 32-34)。 授業：ワークシートの解き直し。Scene 5 She is So Beautiful 復習：授業の内容を振り返り、ワークシートを使って単語、表現を確認する。</p> <p>第 13 回 予習：教科書の該当箇所に目を通す (pp. 35-37)。 授業：ワークシートの解き直し。Scene 6 Catching a Cab 復習：授業の内容を振り返り、ワークシートを使って文法、表現を確認する。</p> <p>第 14 回 予習：これまでの授業を総復習する。 授業：期末試験を行う。 復習：試験で解けなかった問題を確認する。</p> <p>第 15 回 予習：教科書の該当箇所に目を通す (pp. 38-40)。 授業：期末試験の講評、及び Scene 6 Catching a Cab 復習：まとめの内容を振り返り、自分の課題を見つける。</p>								
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる。							
授業内課題の フィードバックの方法	毎時間授業冒頭で小テストを行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材	土屋武久他著『Hello New York! (映像で学ぶはじめての NY ホームステイ)』(金星堂)							
参考書								
評価の基準と方法	平常点 40% (小テスト、課題提出、Presentation、授業態度等) および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	英語 A I		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishA I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	浅川 真知子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	浅川 真知子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	前期 水曜日 09:00～10:30 木曜日 10:30～12:00 後期 水曜日 09:00～10:30 木曜日 10:30～12:00	研究室	10-603
授業概要	英語 A I では、英語の基礎的な運用能力の習得のために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の 4 技能を効果的に統合したグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。特に「ライティング」と「スピーキング」を中心に英語を発信する能力の向上を目標とする。		
到達目標	基本的な構文を使って、英文を書いたり英語を話したりできる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第 1 回 予習：自分の今までの英語学習を振り返り、今学期の目標を立てる 授業：オリエンテーション（授業の進め方・ねらい）、Unit 0、Unit 1 復習：学習した語句・表現を復習する</p> <p>第 2 回 予習：Unit 1 の Vocabulary（p.12）を覚える、Language Check(p.17)を確認する 授業：Unit 1 “Introductions”に関する語句・表現を練習する（グループワーク） 復習：学習した語句・表現を復習する</p> <p>第 3 回 予習：Unit 2 (p.20-27)に目を通す 授業：Unit 2 “Describing clothes”に関する語句・表現を練習する（ペアワーク） 復習：学習した語句・表現を復習する</p> <p>第 4 回 予習：Unit 2 の Vocabulary（p.20）を覚える、Language Check(p.25)を確認する 授業：Unit 2 “Describing clothes”に関する語句・表現を練習する（グループワーク） 復習：学んだ語句・表現を復習する</p> <p>第 5 回 予習：Unit 3 (p.28-35)に目を通す 授業：Unit 3 “Giving advice for staying healthy”に関する語句・表現を練習する（ペアワーク） 復習：学習した語句・表現を復習する</p> <p>第 6 回 予習：Unit 3 の Vocabulary（p.28）を覚える、Language Check(p.33)を確認する 授業：Unit 3 “Giving advice for staying healthy”に関する語句・表現を練習する（グループワーク） 復習：学んだ語句・表現を復習する</p> <p>第 7 回 予習：Unit 1～3 の復習 授業：第 1 回～第 6 回の学習の振り返り、課題提出、self-assessment 復習：課題点を明らかにする</p> <p>第 8 回 予習：Unit 4 (p.36-43)に目を通す 授業：Unit 4 “Giving and understanding directions”に関する語句・表現を練習する（ペアワーク） 復習：学習した語句・表現を復習する</p> <p>第 9 回 予習：Unit 4 の Vocabulary（p.36）を覚える、Language Check(p.41)を確認する 授業：Unit 4 “Giving and understanding directions”に関する語句・表現を練習する（グループワーク） 復習：学習した語句・表現を復習する</p> <p>第 10 回 予習：Unit 5 (p.44-51)に目を通す 授業：Unit 5 “Describing objects and materials”に関する語句・表現を練習する（ペアワーク） 復習：学習した語句・表現を復習する</p> <p>第 11 回 予習：Unit 5 の Vocabulary（p.44）を覚える、Language Check(p.49)を確認する 授業：Unit 5 “Describing objects and materials”に関する語句・表現を練習する（グループワーク） 復習：学習した語句・表現を復習する</p> <p>第 12 回 予習：Unit 6 (p.52-59)に目を通す 授業：Unit 6 “Talking about goals and dreams”に関する語句・表現を練習する（ペアワーク） 復習：学習した語句・表現を復習する</p>			

<p>第 13 回 予習：Unit 6 の Vocabulary (p.52) を覚える、Language Check(p.57)を確認する 授業：Unit 6 “Talking about goals and dreams”に関する語句・表現を練習する（グループワーク） 復習：学習した語句・表現を復習する</p> <p>第 14 回 予習：Unit 4 ～ 6 の復習 授業：第 8 回～第 13 回の学習の振り返り、最終プレゼンテーション①、self-assessment, peer-assessment を行う、課題提出 復習：課題点を明らかにする</p> <p>第 15 回 予習：Unit 4 ～ 6 の復習 授業：第 8 回～第 13 回の学習の振り返り、最終プレゼンテーション②、self-assessment, peer-assessment を行う 復習：前期の学習を振り返り、後期の目標を立てる</p>								
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。							
授業内課題の フィードバックの方法	小テスト・課題・活動に対するフィードバックはその都度授業中や返却時に行う。							
テキスト・教材	“English Firsthand SUCCESS” (Fifth Edition), Marc Helgesen et al, Pearson [ISBN: 9789813130210]							
参考書	授業で適宜紹介する。							
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト・課題提出・授業内活動）、および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	英語 A I		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishA I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	薬師 英子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	薬師 英子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 A I では、英語の基礎的な運用能力の習得のために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の 4 技能を効果的に統合したグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。特に「ライティング」と「スピーキング」という英語を発信する能力の向上を目標とする。		
到達目標	基本的な構文で書かれた英文を、複数回にわたり聞き取りをすると、理解できる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第 1 回 予習：自分の英語学習を振り返る 授業：オリエンテーション（授業のねらい、授業の進め方等について）グループワーク 復習：家庭学習を考える</p> <p>第 2 回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 1 Icebreaking (pp.16~18) Unit の Dialogue を活用したグループワークとディスカッション 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 3 回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 1 Icebreaking (pp.19~21) Review & Activity 前週のディスカッションをふまえた発表 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 4 回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 2 Describing People (Character) (pp.22~24) Unit の Dialogue を活用したグループワークとディスカッション 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 5 回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 2 Describing People (Character) (pp.25~27) Review & Activity 前週のディスカッションをふまえた発表 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 6 回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 3 Describing People (Appearance) (pp.28~30) Unit の Dialogue を活用したグループワーク 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 7 回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 3 Describing People (Appearance) (pp.31~33) Review & Activity、 これまで学んできた Unit1~3(pp.16~33)についてのまとめ提出 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 8 回 予習：ここまでの授業を総復習する 授業：前期前半のまとめをする 復習：まとめを振り返る</p> <p>第 9 回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 4 Inviting People (pp.34~36)、これまで学んできた Unit1~4(pp.16~36)についてのまとめの講評 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 10 回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 4 Inviting People (pp.37~39) Review & Activity Unit の Dialogue を活用したグループワーク 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 11 回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 5 Giving Directions (pp.40~42) Unit の Dialogue を活用したグループワークとディスカッション 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 12 回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 5 Giving Directions (pp.43~45) Review & Activity 前週のディスカッションをふまえた発表 復習：授業中の活動を振り返る</p>			

<p>第 13 回 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 6 Complaining & Apologizing (pp.46~48)、これまで学んできた Unit1~6(pp.16~48)についてのまとめ提出 復習 : 授業中の活動を振り返る</p> <p>第 14 回 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 6 Complaining & Apologizing (pp.49~51) Review & Activity グループワーク 復習 : 授業中の活動を振り返る</p> <p>第 15 回 予習 : 今まで授業で学んだことを振り返る 授業 : Review of Unit 1 Icebreaking ~ Unit 6 Complaining & Apologizing (pp.16~51)、 これまで学んできた Unit1~6(pp.16~51)についてのまとめの講評 復習 : 自分の課題を見つけ対策を立てる</p>								
授業開始前学習	学習予定の Unit の内容・単語の予習と小テストに向けての学習を必ず行うこと。映画・音楽・テレビ・新聞記事など、英語に触れる機会を多く持ち、国際的な事柄に積極的に興味を持つこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎時間授業の冒頭で小テストを行う。授業 7 回目、13 回目に提出するまとめについては、2 週間後（授業 9 回目、15 回目）に全体の講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	吉富 昇著『Communication Builder -Revised Edition』（南雲堂）							
参考書	授業中に紹介する。							
評価の基準と方法	試験 60%、平常点 40%（小テスト、課題提出、Presentation、授業参加意欲）							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。テキスト忘れ、授業内での携帯使用等は授業参加意欲の減点対象とする。その他、1 回目の授業で説明する。欠席した回の学習内容はシラバス、配信資料等に確認し、各自でフォローアップする。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 A II		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishA II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	Rena Yoshida	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	R.ヨシダ	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	Required English AII continues to integrate the four skills (listening, speaking, reading and writing), based on what students learned in AI. We focus on group works, discussions, presentations etc. to further develop functional ability in English. English AII has a particular focus on improving the productive skills of speaking and writing. The lessons are designed to help develop students' confidence and fluency in communicating in English.		
到達目標	<p>English AII aims to improve students' confidence and proficiency in their spoken and written English. Students speak and write English using basic syntax, receiving guidance where necessary.</p> <p>Each student will have many opportunities to:</p> <ul style="list-style-type: none"> - produce simple, isolated phrases about people, places and events - ask/answer simple questions and initiate/respond to simple statements - obtain basic vocabulary of isolated words and a limited control of a few simple grammatical structures 		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第 1 回 予習 : Don't forget your textbook! 授業 : Unit 7 (pp.60-62): Jobs - vocabulary; listening; conversation 復習 : Vocabulary review</p> <p>第 2 回 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 7 (pp.63-67): Jobs - grammar; pair/group work; discussions 復習 : Grammar review</p> <p>第 3 回 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 8 (pp.68-70): Entertainment - vocabulary; listening; conversation 復習 : Vocabulary review</p> <p>第 4 回 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 8 (pp.71-75): Entertainment - grammar; pair/group work; discussions 復習 : Grammar review</p> <p>第 5 回 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 9 (pp.76-78): Plans & activities - vocabulary; listening; conversation 復習 : Vocabulary review</p> <p>第 6 回 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 9 (pp.79-83): Plans & activities - grammar; pair/group work; discussions 復習 : Grammar review</p> <p>第 7 回 予習 : preparation for Midterm Task 1 授業 : Midterm Task 1: Students submit a review of content learned in Units 7-9; Preparation for Midterm Task 2 復習 : Grammar & Vocabulary review</p> <p>第 8 回 予習 : preparation for Midterm Task 2 授業 : Midterm Task 2 (speaking): Students give individual presentations 復習 : Grammar & Vocabulary review</p> <p>第 9 回 予習 : Vocabulary 授業 : Students receive feedback on Midterm Task 1 (writing) and Task 2 (speaking); Unit 10 (pp.84-86): Shopping - vocabulary; listening; conversation 復習 : Vocabulary review</p> <p>第 10 回 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 10 (pp.87-91): Shopping - grammar; pair/group work; discussions 復習 : Grammar review</p>			

<p>第 11 回 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 11 (pp.92-94): Giving instructions - vocabulary; listening; conversation 復習 : Vocabulary review</p> <p>第 12 回 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 11 (pp.92-94): Giving instructions - grammar; pair/group work; discussions 復習 : Grammar review</p> <p>第 13 回 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 12 (pp.95-99): Opinions - vocabulary; listening; grammar; pair/group work; discussions 復習 : Grammar & Vocabulary review</p> <p>第 14 回 予習 : preparation for Final Task 1 授業 : Final Task 1: Students submit a review of content learned in Units 10-12 復習 : Grammar & Vocabulary review</p> <p>第 15 回 予習 : preparation for Final Task 2 授業 : Final Task 2 (speaking): Students give individual presentations 復習 : Self reflection</p>								
授業開始前学習	Take every opportunity to encounter and enjoy English through movies, music, TV, the Internet, etc.							
授業内課題の フィードバックの方法	<p>- Each "Review Quiz" (weekly quiz given at the beginning of each class) will be marked and returned in the following week.</p> <p>- A written feedback will be provided for each Midterm and Final task.</p>							
テキスト・教材	English Firsthand 1 (Pearson) ISBN: 978-981-313-022-7							
参考書	Information will be given in class							
評価の基準と方法	Students are evaluated on a total of class participation points 40% (review quizzes, submitted assignments, effort & attitude) and midterm and final tasks 60% (midterm 30% & final 30%).							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	<p>出席重視。最低限必要な出席率: 2/3</p> <p>It is important for students to attend each class. Credit will not be given to students who miss more than a third of the classes. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival 30 minutes or more after the class has started will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class.</p>							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	英語 A II		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishA II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	リチャード バラダッド	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	R.バラダッド	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	インタラクティブな練習を通じて英語の聞き取りと会話を体感します。英語 A II では、英語 A I で修得した英語の運用能力をさらに向上させるために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の 4 技能を効果的に統合したグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。特に「ライティング」と「スピーキング」という英語を発信する能力のさらなる向上を目標とする。		
到達目標	この授業では、さまざまな楽しく興味深いリスニングや発音、スピーキングアクティビティ（個人、ペア、グループアクティビティなど）を通して、英語を話す力、および理解力を向上させることに焦点を当てます。標準的な構文を使って、英文を書いたり英語を話したりできる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第 1 回 予習 : Come prepared to talk about your summer vacation 授業 : Introduction/ Course goals/ talking about summer vacation, Q&A activities 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>第 2 回 予習 : Read pp. 60-63 授業 : Talking about types of jobs and job skills, pair work 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>第 3 回 予習 : Read pp. 64-67 授業 : Exchanging job skill information, group work 復習 : Review notes/ Do homework/ do GC video presentation Unit 7</p> <p>第 4 回 予習 : Read pp. 68-71 授業 : Talking about entertainment, pair work, Unit 7 quiz 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>第 5 回 予習 : Read pp. 72-75 授業 : Inviting and suggesting, group work 復習 : Review notes/ Do homework/ do GC video presentation Unit 8</p> <p>第 6 回 予習 : Read pp. 76-79 授業 : Talking about the future, pair work, Unit 8 Quiz 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>第 7 回 予習 : Read pp. 80-83 授業 : Talking about your partner's future, group work 復習 : Do homework/review 64-83 for mid-term quiz</p> <p>第 8 回 予習 : Prepare for quiz 授業 : Quiz for units 7-9 / Speaking exercise in pairs 復習 : Preview Unit 10/ Do homework</p> <p>第 9 回 予習 : Read pp. 84-87 授業 : Talking about shopping, clothing, and electronics, pair work 復習 : Review notes/ Do homework</p>			

<p>第 10 回 予習 : Read pp. 88-91 授業 : Talking about shopping experiences, group work 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>第 11 回 予習 : Read pp. 92-95 授業 : Describing processes, pair work, Unit 10 Quiz 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>第 12 回 予習 : Read pp. 96-99 授業 : Grammar focus: Using sequence markers and imperatives, group work 復習 : Review notes/ Do homework/ do GC video presentation Unit 11</p> <p>第 13 回 予習 : Read pp. 100-103 授業 : Talking about and giving opinions about music, pair work, Unit 11 Quiz 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>第 14 回 予習 : Read pp. 104-107 授業 : Talking about a personal story or series of events, group work 復習 : Do homework/ review 84-107 for mid-term quiz</p> <p>第 15 回 予習 : Prepare for quiz 授業 : Quiz for units 10-12 / Speaking exercise in pairs 復習 : Do Portal evaluations in class (after quiz)</p>								
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる。							
授業内課題の フィードバックの方法	毎時間授業の冒頭で小テストを行う。授業 7 回目、1 3 回目に提出するまとめについては、2 週間後（授業 9 回目、1 5 回目）に全体の講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	English Firsthand 1, 5th Edition (Marc Helgesen)							
参考書								
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト、課題提出、プレゼンテーション、授業態度など）及び定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始 30 分以上の遅刻は欠席をみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	英語 A II		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishA II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	ミラーウエイン	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	W.ミラー	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	Required English AII continues to integrate the four skills (listening, speaking, reading, and writing) based on what students learned in AI. We focus on group work, discussions, presentations, etc., to further develop functional ability in English. English AII has a particular focus on improving the productive skills of writing and speaking. In principle, classes will be conducted entirely in English.		
到達目標	Students speak and write various kinds of English using basic syntax.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第 1 回 予習： Read Unit 0 'Welcome to English Firsthand 1', p.8-11 授業： Course goals and structure will be explained. Q & A activities to get to know others. (pair work) 復習： Review notes</p> <p>第 2 回 予習： Read Unit 7 'I'd love that job.', p.60-64 授業： Build vocabulary about different occupations to use in model dialogues (pair work) 復習： Review notes</p> <p>第 3 回 予習： Finish Reading Unit 7 'I'd love that job.', p.65-67 授業： Grammar: Use enjoy..., like ..., good at ... / Group work / Real Stories: 'My Hobby' 復習： Review notes / Do homework: Unit 7 Assignment in Google Classroom</p> <p>第 4 回 予習： Read Unit 8 'What's playing?', p.68-72 授業： Build vocabulary about entertainment to use in model dialogues (pair work) 復習： Review notes</p> <p>第 5 回 予習： Finish Reading Unit 8 'What's playing?', p.73-75 授業： Grammar: Use various verb patterns for invitations / Group work / Real Stories: 'My Special Place' 復習： Review notes / Do homework: Unit 8 Assignment in Google Classroom</p> <p>第 6 回 予習： Read Unit 9 'What are you going to do?', p.76-80 授業： Build vocabulary about plans and activities to use in model dialogues (pair work) 復習： Review notes</p> <p>第 7 回 予習： Finish Reading Unit 9 'What are you going to do?', p.81-83 授業： Grammar: Use will and be going to for future events / Group work / Real Stories: 'Our One-Year Plan' 復習： Review notes / Do homework: Unit 9 Assignment in Google Classroom</p> <p>第 8 回 予習： Review all homework assignments and textbook p. 60-83 授業： Midterm Quiz of Unit 7 ~ Unit 9 復習： Review notes</p> <p>第 9 回 予習： Read Unit 10 'How much is this?', p.84-88 授業： Build vocabulary about shopping to use in model dialogues (pair work) 復習： Review notes</p> <p>第 10 回 予習： Finish Reading Unit 10 'How much is this?', p.89-91 授業： Grammar: Use comparative adjectives + intensifiers / Group work / Real Stories: 'My Way' 復習： Review notes / Do homework: Unit 10 Assignment in Google Classroom</p> <p>第 11 回 予習： Read Unit 11 'How do you make it?', p.92-96 授業： Build vocabulary about instructions to use in model dialogues (pair work) 復習： Review notes</p> <p>第 12 回 予習： Finish Reading Unit 11 'How do you make it?', p.97-99 授業： Grammar: Use sequence markers and imperatives / Group work / Real Stories: 'My Passion' 復習： Review notes / Do homework: Unit 11 Assignment in Google Classroom</p>			

<p>第 13 回 予習 : Read Unit 12 'Listen to the music.', p.100-104 授業 : Build vocabulary about opinions to use in model dialogues (pair work) 復習 : Review notes</p> <p>第 14 回 予習 : Finish Reading Unit 12 'Listen to the music.', p.105-107 授業 : Grammar: Use simple past vs. present perfect / Group work / Real Stories: 'My Favorite Trend' 復習 : Review notes / Do homework: Unit 12 Assignment in Google Classroom</p> <p>第 15 回 予習 : Review all homework assignments and textbook p. 81-107 授業 : Final Quiz of Unit 10 ~ Unit 12 復習 : Complete course Questionnaire on the Komajo Portal.</p>								
授業開始前学習	Practice listening to spoken English through videos or audio recordings and read English books, magazines, or comics. Look up unknown words in a dictionary.							
授業内課題の フィードバックの方法	Both written and oral feedback will be provided to all students for tasks and assignments. Students are encouraged to ask questions, which the teacher will answer.							
テキスト・教材	English Firsthand 1 (Fifth Edition), Pearson Longman, by Helgesen et al							
参考書								
評価の基準と方法	Students are evaluated on total class participation, which is 40% of grade (quizzes, submitted coursework, presentations, class participation etc.) and regular examinations are 60% of grade.							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	It is important for students to attend each class. Credit will not be given to students who miss more than a third of the classes. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival 30 minutes or more after the class has started will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class.							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	英語 A II		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishA II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	K.バーンズ	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	K.バーンズ	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	The emphasis of this class will be on speaking. However, listening, reading and writing will also be developed. This class though, focuses on improving the productive skills of speaking. In principle, lessons are conducted in English. If we are online we will still do speaking using software.		
到達目標	After this class, students will be able to communicate more freely in English.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第 1 回 予習 : Come prepared to talk about your summer vacation 授業 : Introduction/ Course goals/Talking about summer vacation -Pairwork 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>第 2 回 予習 : Read pp. 64-67 授業 : Occupations Pairwork and Discussion 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>第 3 回 予習 : Read pp. 68-71 授業 : Enjoy, like, good at and good with Pairwork and Group work 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>第 4 回 予習 : Read pp. 72-75 授業 : Entertainment Pairwork and Group work 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>第 5 回 予習 : Read pp. 76-79 授業 : Plan a Perfect Day Out Pairwork and Discussion 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>第 6 回 予習 : Read pp. 80-83 授業 : Future Plans and activities Pairwork and Group work 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>第 7 回 予習 : Read pp. 84-87 授業 : Future Tense 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>第 8 回 予習 : Review all homework assignments 授業 : General review - Project Based Learning/Group work 復習 : Reread textbook pp.64-87</p> <p>第 9 回 予習 : Read pp. 88-91 授業 : Clothing, electronics, and personal items -Pairwork, Project Based Learning 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>第 10 回 予習 : Read pp. 92-95 授業 : Buy and Sell things at a Flea Market (Presentations) 復習 : Review notes/ Do homework</p>			

<p>第 11 回 予習 : Read pp. 96-99 授業 : Processes - Pairwork 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>第 12 回 予習 : Read pp. 100-103 授業 : Learn and teach origami paper folding -Pairwork and Group work 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>第 13 回 予習 : Read pp. 104-107 授業 : Opinions and Music - Pairwork and Discussion 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>第 14 回 予習 : Read pp. 107-111 授業 : Talk about your musical history - Pairwork 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>第 15 回 予習 : Review all homework assignments 授業 : General review 復習 : Reread textbook pp.64-111</p>								
授業開始前学習	Before the class starts students can prepare by listening to English recordings and reading English books, magazines or comics. Look up words in the dictionary.							
授業内課題の フィードバックの方法	Comprehensive feedback will be provided on coursework. Once class starts, evaluated homework assignments will be provided after each class to help students review and better understand the material.							
テキスト・教材	English Firsthand 1 by Helgesen et al (Pearson Longman)							
参考書								
評価の基準と方法	Students are evaluated on a total of class participation points of 40% (mini tests, submitted coursework, presentations, class participation etc.) and regular examinations 60%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目	English Conversation							
その他	It is important for students to attend each class. Credit will not be given to students who miss more than a third of the classes. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival after 30 minutes or more after the start of class will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class.							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	英語 A II		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishA II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	Mark Oseland	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	M.オーズランド	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	Required English AII continues to integrate the four skills (listening, speaking, reading and writing), based on what students learned in AI. We focus on group works, discussions, presentations etc. to further develop functional ability in English. English AII has a particular focus on improving the productive skills of writing and speaking.		
到達目標	Students speak and write various kinds of English using basic syntax.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習 : Overview unit 10. Prepare a short speech about your summer vacation (2 minutes). 授業 : Unit 10; Have you ever been there? Describing past experiences. pp.64-66. Pair-work, groupwork, discussions. 復習 : Review unit 10 pp.64-66.</p> <p>【第2回】 予習 : Overview unit 10 pp.67-69 授業 : Unit 10 continued. pp.67-69. Pair-work, groupwork, writing exercise. 復習 : Review unit 10.</p> <p>【第3回】 予習 : Overview Unit 11. 授業 : Unit 11; It's a really nice city. Describing cities. Giving suggestions. pp.72-74. Pair-work, groupwork. 復習 : Review Unit 11 pp.72-74.</p> <p>【第4回】 予習 : Overview Unit 11 pp.74-76 授業 : Unit 11 continued. pp.74-76. Pair-work, groupwork, discussions. 復習 : Review Unit 11.</p> <p>【第5回】 予習 : Overview Unit 12. 授業 : Unit 12; It's important to get rest. Talking about health. pp.78-80. Pair-work, groupwork, discussion. 復習 : Review unit 12 pp.78-80</p> <p>【第6回】 予習 : Overview Unit 12 pp.81-83 授業 : Unit 12 continued. Pp.81-83. Pair-work, groupwork, writing exercise, short presentation. 復習 : Review Unit 12.</p> <p>【第7回】 予習 : Review units 10-12. Prepare a short, written report. 授業 : General Comprehension exercises. 復習 : Reflect on personal performance and skills that need more work.</p> <p>【第8回】 予習 : Overview Unit 13. 授業 : Unit 13; What would you like? Food and restaurants. Likes and dislikes. pp.86-88. Pair-work, groupwork. 復習 : Review Unit 13 pp.86-88</p> <p>【第9回】 予習 : Overview Unit 13 pp.89-91. 授業 : Unit 13 continued. pp89-91. Pair-work, groupwork, writing exercise. 復習 : Review Unit 13</p> <p>【第10回】 予習 : Overview Unit 14. 授業 : Unit 14; It's the coldest city. Describing countries. Expressing opinions. pp.92-94. Pair-work, groupwork. 復習 : Review Unit 14 pp.92-94</p> <p>【第11回】 予習 : Overview Unit 14 pp.95-97. 授業 : Unit 14 continued; pp95-97. Pair-work, groupwork, writing exercise. 復習 : Review Unit 14.</p> <p>【第12回】 予習 : Overview Unit 15. 授業 : Unit 15; What are you doing later?; Talking about plans. Accepting/refusing. pp.100-102. Pair-work, groupwork. 復習 : Review pp.100-102</p>			

<p>【第13回】 予習 : Overview Unit 15 pp.103-105. 授業 : Unit 15 continued; pp103-105. Pair-work, groupwork, writing exercise. 復習 : Review Unit 15.</p> <p>【第14回】 予習 : Overview Unit 16. 授業 : Unit 16; How have you changed? Describing change and plans for the future. pp.106-111. Pair-work, groupwork. 復習 : Review unit 16.</p> <p>【第15回】 予習 : Review units 13-16. Prepare a short, written report. 授業 : General comprehension exercises. 復習 : Reflect on personal performance and skills that need more work.</p>								
授業開始前学習	Prepare yourself to actively participate in classes in English. Consider your strong points and those that need improvement. Focus on topics that interest you, review vocabulary and listen to as much English as possible before the course.							
授業内課題の フィードバックの方法	Students take a quiz at the beginning of every class or submit assignments and comprehensive feedback on these will be provided. Any questions from individual students will be answered.							
テキスト・教材	Richards, R.C, Hull, J., Proctor, S., Interchange 1 Students Book (Cambridge: C.U.P., 2020) ISBN: 978-1-316-62031-1							
参考書								
評価の基準と方法	Students are evaluated on a total of class participation points 40% (mini tests, submitted coursework, presentations, class participation etc.) and regular examination 60%.							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目	This course follows on from the first semester course Required English AI-f and uses the same textbook.							
その他	It is important for students to attend each class. Credit will not be given to students who miss more than a third of the classes. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival 30 minutes or more after the class has started will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class.							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	英語 A II		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishA II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	江連 成美	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	江連 成美	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 A II では、英語 A I で修得した英語の運用能力をさらに向上させるために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の 4 技能を効果的に統合したグループワーク、プレゼンテーション等の活動を行う。特に「ライティング」と「スピーキング」という英語を発信する能力のさらなる向上を目標とする。		
到達目標	標準的な構文を使って、英文を書いたり話したりできる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第 1 回】 予習： App Unit 6 - Lesson 1 Vocabulary 1, Lesson 2 Vocabulary 1 and 2 授業： Unit 6 : Are you OK? (pp.65-69) (ペアワーク) 復習： App Unit 6 - Lesson 1 and 2</p> <p>【第 2 回】 予習： App Unit 6 - Lesson 3 Vocabulary 1 and 2 授業： Unit 6 : Are you OK? (pp.70, 71, 74, 75) (グループワーク) 復習： App Unit 1 - Lesson 3</p> <p>【第 3 回】 予習： App Unit 7 - Lesson 1 Vocabulary 1, Lesson 2 Vocabulary 1 授業： Unit 7 : How do I get there? (pp. 77-81) (ペアワーク) 復習： App Unit 7 - Lesson 1 and 2</p> <p>【第 4 回】 予習： App Unit 7 - Lesson 3 Vocabulary 1 and 2 授業： Unit 7 : How do I get there? (pp. 82, 83, 86, 87) (グループワーク) 復習： App Unit 7 - Lesson 3</p> <p>【第 5 回】 予習： App Unit 8 - Lesson 1 Vocabulary 1 and 2, Lesson 2 Vocabulary 1 授業： Unit 8 : How was your vacation? (pp. 89-93) (ペアワーク) 復習： App Unit 8 - Lesson 1 and 2</p> <p>【第 6 回】 予習： App Unit 8 - Lesson 3 Vocabulary 1 授業： Unit 8 : How was your vacation? (pp. 94, 95, 98, 99) (グループワーク) 復習： App Unit 8 - Lesson 3</p> <p>【第 7 回】 予習： pp. 138-141 の中から特に苦手な部分を自分で選び、問題を解く 授業： Unit 6～8 の単語や表現を使ったグループワーク 復習： Unit 6～8 の App の問題でできなかった箇所をもう一度解く</p> <p>【第 8 回】 予習： pp. 142-144 の中から特に苦手な部分を自分で選び、問題を解く 授業： 後期前半の振り返り 復習： Unit 6～8 で苦手な学習項目を補強しておく</p> <p>【第 9 回】 予習： App Unit 9 - Lesson 1 Vocabulary 1 and 2, Lesson 2 Vocabulary 1 授業： Unit 9 : What's for dinner? (pp. 101-105) (ペアワーク) 復習： App Unit 9 - Lesson 1 and 2</p> <p>【第 10 回】 予習： App Unit 9 - Lesson 3 Vocabulary 1 and 2 授業： Unit 9 : What's for dinner? (pp. 106, 107, 110, 111) (グループワーク) 復習： App Unit 9 - Lesson 3</p> <p>【第 11 回】 予習： App Unit 10 - Lesson 1 Vocabulary 1, Lesson 2 Vocabulary 1 授業： Unit 10 : Where are you going? (pp. 113-117) (ペアワーク) 復習： App Unit 10 - Lesson 1 and 2</p> <p>【第 12 回】 予習： App Unit 10 - Lesson 3 Vocabulary 1 and 2 授業： Unit 10 : Where are you going? (pp. 118, 119, 122, 123) (グループワーク) 復習： App Unit 10 - Lesson 3</p>			

<p>【第13回】 予習：Unit 9～10の単語や表現をもう一度整理する 授業：Unit 1から10の単語や表現を使ったグループワーク 復習：教室内で行われたフィードバックを復習する</p> <p>【第14回】 予習：pp. 145-149の中から特に苦手な部分を自分で選び、問題を解く 授業：後期後半の振り返り 復習：Unit 9～10を通して理解できていなかった点を整理する</p> <p>【第15回】 予習：Unit 9～10のAppで取り組んでいないpracticeに取り組む 授業：Unit 6～10のPut it Together 復習：1年を通して学習した項目を整理し、次年度に備える</p>								
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	隔週で授業冒頭で小テストを行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材	テキスト名：StartUp Level 2: Student Book & Interactive eBook with Digital Resources & App 出版社：Pearson ※前期で使用したものを引き続き使用します							
参考書	特になし。							
評価の基準と方法	平常点40%（小テスト、課題提出、Presentation、授業態度等）および定期試験60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の3分の1以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻3回で欠席1回とみなす。講義開始後30分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間30時間（2時間×15週）＋予習・復習時間15時間（1時間×15週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 A II		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	English A II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	サイモン・スティーブンス	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	S.スティーブンス	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	Required English A II integrates the four skills (listening, speaking, reading and writing). We focus on pair/group work, discussions, surveys and presentations to develop students functional ability in using everyday, practical English.		
到達目標	<p>1. Students' communicative ability will be developed through guided pair and group discussion activities (using the target language in a meaningful way, linking classroom language learning to real-world activities).</p> <p>2. They will learn an extensive range of communicative activity types including interviews, surveys, class presentations and mini projects.</p> <p>3. Students will also develop listening skills through listening to a variety of scripted and authentic audio/video material.</p> <p>4. Vocabulary learning methods and record keeping skills will also be developed.</p>		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第 1 回 予習 : Don't forget your textbook ! Bring notebook for classwork and vocabulary work. 授業 : Class orientation; Personal information - discussion on summer holidays. 復習 : Vocabulary review/Homework.</p> <p>第 2 回 予習 : Do assigned tasks : Warm up unit questions p59 /Reading p62. 授業 : Unit 6 Journeys pp. 59-63 (vocabulary, listening and discussions). 復習 : Vocabulary review/homework.</p> <p>第 3 回 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Unit 6 Journeys pp. 63-66 (video, discussion and project work). 復習 : Vocabulary review/Homework.</p> <p>第 4 回 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Unit 7 Family pp. 71-74 (vocabulary, listening and discussions). 復習 : Vocabulary review/Homework.</p> <p>第 5 回 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Unit 7 Family pp. 75-78 (video, discussion and project work). 復習 : Vocabulary review/Homework.</p> <p>第 6 回 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Unit 8 Nature pp. 79-82 (vocabulary, listening and discussions). 復習 : Vocabulary review/Homework.</p> <p>第 7 回 予習 : Preparation for Mid-term Poster Presentations. 授業 : Unit 8 Nature pp. 83-86 (video, discussion and project work). 復習 : Vocabulary review/Homework.</p> <p>第 8 回 予習 : Prepare for Mid-term Poster presentations. 授業 : Mid-term Poster presentations. 復習 : Vocabulary review/Homework.</p> <p>第 9 回 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Students receive feedback on Poster presentations. Unit 9 Happiness pp. 91-95 (vocabulary, listening and discussions). 復習 : Vocabulary review/Homework.</p> <p>第 10 回 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Unit 9 Happiness pp.96-98 (video, discussion and project work). 復習 : Vocabulary review/Homework.</p> <p>第 11 回 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Unit 10 Conservation pp.99-102 (vocabulary, listening and discussions).</p>			

復習 : Vocabulary review/Homework.								
第 12 回								
予習 : Do assigned tasks.								
授業 : Unit 10 Conservation pp.103-110 (video, discussion and project work).								
復習 : Vocabulary review preparation/ Homework.								
第 13 回								
予習 : Preparation for Final Vocabulary Review.								
授業 : Final vocabulary review.								
復習 : Poster presentations preparation.								
第 14 回								
予習 : Preparation for Final Speaking Poster Presentations.								
授業 : Final Speaking Task : Poster presentations based on units 6-10.								
復習 : Vocabulary review and self reflections on their presentations.								
第 15 回								
予習 : Preparation for Final Speaking Poster Presentations.								
授業 : Final Speaking Task : Poster presentations based on units 6-10.								
復習 : Feedback on class presentations.								
授業開始前学習	Before class students can try to review vocabulary, use graded readers, and do listening activities using various listening websites. Also try to take every opportunity to encounter and enjoy English through movies, music, TV, and the Internet.							
授業内課題のフィードバックの方法	There will be teacher oral/written feedback on assignments and homework. Additionally, there will be development of students' peer to peer feedback, particularly with presentations.							
テキスト・教材	INSPIRE 2 by Pamela Hartmann, Nancy Douglas and Andrew Boon. ISBN: 978-1-133-96368-4							
参考書								
評価の基準と方法	Students are evaluated on a total of class participation points 40% (review quizzes, submitted assignments, effort & attitude) and regular examinations 60% (midterm & final tasks).							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	Attendance is very important because it is part of your participation grade. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival 30 minutes or more after the class has started will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class. It is a communication class, so it is important to interact with the teacher, each other and express your opinions. This will build your confidence.							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 A II		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishA II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	M.ブラウン	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	M.ブラウン	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	前期 月曜日 13:00~14:30 水曜日 13:00~14:30 後期 月曜日 13:00~14:30 水曜日 13:00~14:30	研究室	10-619
授業概要	Required English AII continues to integrate the four skills (listening, speaking, reading and writing), based on what students learned in AI. We focus on group works, discussions, presentations etc. to further develop functional ability in English. English AII has a particular focus on improving the productive skills of writing and speaking.		
到達目標	Students speak and write various kinds of English using basic syntax.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第 1 回】 予習：Come prepared to talk about your summer break 授業：Introduce course goals, talk about summer, pairwork 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第 2 回】 予習：Read pages 59-62 in the textbook 授業：Occupations, pairwork and discussion 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第 3 回】 予習：Read pages 63-66 授業：Pastime verbs, Pairwork and Groupwork 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第 4 回】 予習：Read pages 67 - 70 授業：Entertainment, Pairwork and Groupwork 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第 5 回】 予習：Read pages 71-74 授業：A day out, Pairwork and Discussion 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第 6 回】 予習：Read pages 75-78 授業：Future plans, Pairwork and Groupwork 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第 7 回】 予習：Read pages 79-82 授業：Future grammatical patterns, Pairwork and Discussion 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第 8 回】 予習：Review all homework assignments 授業：General review and mid-term quiz, Groupwork 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第 9 回】 予習：Read pages 83-86 授業：Personal items, Pairwork 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第 10 回】 予習：Read pages 87-90 授業：Buying and Selling, Pairwork and Discussion 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第 11 回】 予習：Read pages 91-94 授業：Processes, Pairwork 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第 12 回】 予習：Read pages 95-98 授業：Instructions and close listening, Pairwork and Discussion 復習：Review notes / Do homework</p>			

<p>【第13回】 予習：Read pages 99-102 授業：Opinions, Groupwork and Discussion 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第14回】 予習：Read pages 103-106 授業：Music, Pairwork and Discussion 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第15回】 予習：Review all homework assignments 授業：Final review and quiz, Discussion 復習：Review notes</p>								
授業開始前学習	Take every opportunity to encounter English through movies, music, TV, newspapers etc. Use a dictionary to check the meaning of words and phrases that interest you.							
授業内課題の フィードバックの方法	Students take a quiz at the beginning of every class or submit assignments, and comprehensive feedback on these will be provided. Any questions from individual students will be answered.							
テキスト・教材	Nice Talking With You 1							
参考書								
評価の基準と方法	Students are evaluated on a total of class participation points 40% (mini tests, submitted coursework, presentations, class participation etc.) and regular examination 60%.							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	It is important for students to attend each class. Credit will not be given to students who miss more than a third of the classes. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival 30 minutes or more after the class has started will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class.							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	英語 A II		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishA II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	Z.モハツミプール	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	Z. モハツミプール	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	Required English AII continues to integrate the four skills (listening, speaking, reading and writing), based on what students learned in AI. We focus on group works, discussions, presentations etc. to further develop functional ability in English. English AII has a particular focus on improving the productive skills of writing and speaking.		
到達目標	Students speak and write various kinds of English using basic syntax.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：Prepare to talk about your summer break. 授業：Talk about summer, pair work and groupwork. 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第2回】 予習：Read pages 60-64. 授業：Unit 7 Abilities and interests. Vocabulary, Listening, pair work. 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第3回】 予習：Read pages 65-67. 授業：Unit 7 Abilities and interests. Grammar, Group work, Real Stories. 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第4回】 予習：Read pages 68-72. 授業：Unit 8 Entertainment and opinions. Vocabulary, Listening, pair work. 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第5回】 予習：Read pages 73-75. 授業：Unit 8 Entertainment and opinions. Grammar, Group work, Real Stories. 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第6回】 予習：Read pages 76-80. 授業：Unit 9 Future plans and predictions. Vocabulary, Listening, pair work. 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第7回】 予習：Read pages 81-83. 授業：Unit 9 Future plans and predictions. Grammar, Group work, Real Stories. 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第8回】 予習：Review all homework assignments. 授業：General review and quiz 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第9回】 予習：Read pages 84-88. 授業：Unit 10 Shopping. Vocabulary, Listening, pair work. 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第10回】 予習：Read pages 89-91. 授業：Unit 10 Shopping. Grammar, Group work, Real Stories. 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第11回】 予習：Read pages 92-96. 授業：Unit 11 Giving instructions. Vocabulary, Listening, pair work. 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第12回】 予習：Read pages 97-99. 授業：Unit 11 Giving instructions. Grammar, Group work, Real Stories. 復習：Review notes / Do homework</p>			

<p>【第13回】 予習 : Read pages 100-104. 授業 : Unit 12 Giving opinions about music. Vocabulary, Listening, pair work. 復習 : Review notes / Do homework</p> <p>【第14回】 予習 : Read pages 105-107. 授業 : Unit 12 Giving opinions about music. Grammar, Group work, Real Stories. 復習 : Review notes / Do homework</p> <p>【第15回】 予習 : Review all homework assignments. 授業 : Final review and quiz 復習 : Review notes</p>								
授業開始前学習	Take every opportunity to encounter English through movies, music, TV, newspapers etc. Use a dictionary to check the meaning of words and phrases that interest you.							
授業内課題のフィードバックの方法	Students take a quiz at the beginning of every class or submit assignments, and comprehensive feedback on these will be provided. Any questions from individual students will be answered.							
テキスト・教材	English Firsthand Level 1 (5th edition)							
参考書								
評価の基準と方法	Students are evaluated on a total of class participation points 40% (mini tests, submitted coursework, presentations, class participation etc.) and regular examination 60%.							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	It is important for students to attend each class. Credit will not be given to students who miss more than a third of the classes. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival 30 minutes or more after the class has started will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class.							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 A II		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishA II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	薬師 英子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	薬師 英子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 A II では、英語 A I で修得した英語の運用能力をさらに向上させるために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の 4 技能を効果的に統合したグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。特に「ライティング」と「スピーキング」という英語を発信する能力のさらなる向上を目標とする。		
到達目標	標準的な構文を使って、英文を書いたり話したりできる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第 1 回】 予習：自分の英語学習を振り返る 授業：Talk About Summer Vacation / Review of the first term & Introduction グループワーク 復習：家庭学習を考える</p> <p>【第 2 回】 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 9 I think I'm lost. (pp.56~61)〈助動詞〉道順を尋ねる／感謝する グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>【第 3 回】 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 9 I think I'm lost. (pp.56~61) Review & Activity 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>【第 4 回】 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 10 Do you want me to take your picture? (pp.62~67)〈不定詞〉問題点を述べる／依頼する グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>【第 5 回】 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 10 Do you want me to take your picture? (pp.62~67) Review & Activity 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>【第 6 回】 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 11 I've lost my phone. (pp.68~73) 〈関係詞〉理由を述べる／理解を示す グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>【第 7 回】 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 12 I love roller coasters! (pp.74~79) 〈形容詞・副詞〉意見を尋ねる／励ます グループワーク、これまで学んできた Unit 9~12(pp.56~79)についてのまとめ提出 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>【第 8 回】 予習：ここまでの授業を総復習する 授業：後期前半のまとめをする 復習：まとめを振り返る</p> <p>【第 9 回】 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 13 Let me introduce my friend. (pp.80~85)〈接続詞・前置詞〉近況を尋ねる／確信を示す、これまで学んできた Unit 9 I think I'm lost. ~Unit 13 Let me introduce my friend. (pp.56~85)についてのまとめの講評 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>【第 10 回】 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 13 Let me introduce my friend. (pp.80~85) Review & Activity 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>【第 11 回】 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 14 I'd like to pay by credit card. (pp.86~91)〈動名詞〉賛同する／不安を示す 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>【第 12 回】 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 14 I'd like to pay by credit card. (pp.86~91) Review & Activity</p>			

<p>復習：授業中の活動を振り返る 【第 13 回】 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 15 I'm looking forward to seeing you again. (pp.92~97)〈分詞〉相槌を打つ／予定を尋ねる グループワーク、これまで学んできた Unit 9 I think I'm lost. ~ Unit 15 I'm looking forward to seeing you again.(pp.56~97)についてのまとめ提出 復習：授業中の活動を振り返る 【第 14 回】 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Let's review. (pp.98~112)〈比較〉希望を尋ねる／注文する グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る 【第 15 回】 予習：今まで授業で学んだことを振り返る 授業：Overall Review、これまで学んできた Unit 9~15 & Let's Review (pp.56~112)についてのまとめの講評 復習：自分の課題を見つけ対策を立てる</p>								
授業開始前学習	学習予定の Unit の内容・単語の予習と小テストに向けての学習を必ず行うこと。映画・音楽・テレビ・新聞記事など、英語に触れる機会を多く持ち、国際的な事柄に積極的に興味を持つこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎時間授業の冒頭で小テストを行う。授業 7 回目、13 回目提出するまとめについては、2 週間後（授業 9 回目、15 回目）に全体の講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	『Let's Read Aloud & Learn English -Going Abroad-』角山 照彦、Simon Capper、遠藤 利昌（成美堂）							
参考書	授業中に紹介する。							
評価の基準と方法	試験 60%、平常点 40%（小テスト、課題提出、Presentation、授業参加意欲）							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻、早退は欠席とみなす。テキスト忘れ、授業内での携帯電話使用等は授業参加意欲の減点対象とする。その他、1 回目の授業で説明する。欠席した回の授業内容はシラバスや配信資料等を確認し、各自フォローアップする。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 A II		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishA II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	佐々木 千恵	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	佐々木 千恵	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 A II では、英語 A I で修得した英語の運用能力をさらに向上させるために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の4技能を効果的に統合したグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。特に「ライティング」と「スピーキング」という英語を発信する能力のさらなる向上を目標とする。		
到達目標	標準的な構文を使って、英文を書いたり英語を話したりできる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第1回 予習：p47～49の中で知らない単語は意味調べしておく。 授業：p47 写真を見ながらスピーキング練習。単語と文章を音読。48p リスニング & ディクテーション。 p49 をグループワークによりスピーキング練習。その表現を用いてライティング練習。 復習：授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p> <p>第2回 予習：p50～52の中で知らない単語は意味調べしておく。 授業：前回の単語チェックテスト。p50の表現を用いて暗唱スピーキング練習。p51 写真を見ながらスピーキング練習。単語と文章を音読。 p52 リスニング & ディクテーション。 復習：授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p> <p>第3回 予習：p53～55の中で知らない単語は意味調べておく。 授業：前回の単語チェックテスト。p53 をグループワークによりスピーキング練習。その表現を用いてライティング練習。 p54 の表現を用いて暗唱スピーキング練習。p55 の写真を見ながらスピーキング練習。単語と文章を音読。 復習：授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p> <p>第4回 予習：p56～58の中で知らない単語は意味調べておく。 授業：前回の単語チェックテスト。p56 リスニング & ディクテーション。p57 をグループワークによりスピーキング練習。 その表現を用いてライティング練習。p58 の表現を用いて暗唱スピーキング練習。 復習：授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p> <p>第5回 予習：p59～61の中で知らない単語は意味調べしておく。 授業：前回の単語チェックテスト。p59 写真を見ながらスピーキング練習。単語と文章を音読。p60 リスニング & ディクテーション。 p61 をグループワークによりスピーキング練習。その表現を用いてライティング練習。 復習：授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p> <p>第6回 予習：p62～64の中で知らない単語は意味調べておく。 授業：前回の単語チェックテスト。p62の表現を用いて暗唱スピーキング練習。p63 写真を見ながらスピーキング練習。単語と文章を音読。 p64 リスニング & ディクテーション。 復習：授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p> <p>第7回 予習：p65～67の中で知らない単語は意味調べておく。 授業：p65 をグループワークによりスピーキング練習。その表現を用いてライティング練習。 p66 の表現を用いて暗唱スピーキング練習。p67 の写真を見ながらスピーキング練習。単語と文章を音読。 復習：授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p> <p>第8回 予習：ここまでの授業を総復習する。 授業：後期前半の振り返り。 復習：自分の弱点を見極めて重点的に復習をする。</p> <p>第9回 予習：p68～70の中で知らない単語は意味調べておく。 授業：p68 リスニング & ディクテーション。p69 をグループワークによりスピーキング練習。 その表現を用いてライティング練習。p70 の表現を用いて暗唱スピーキング練習。 復習：授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p> <p>第10回 予習：p71～73の中で知らない単語は意味調べておく。 授業：前回の単語チェックテスト。p71 写真を見ながらスピーキング練習。単語と文章を音読。p72 リスニング & ディクテーション。 p73 をグループワークによりスピーキング練習。その表現を用いてライティング練習。 復習：授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p>			

<p>第 11 回 予習 : p74~76 の中で知らない単語は意味調しておく。 授業 : 前回の単語チェックテスト。p74 の表現を用いて暗唱スピーキング練習。p75 写真を見ながらスピーキング練習。単語と文章を音読。 p76 リスニング&ディクテーション。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p> <p>第 12 回 予習 : p77~79 の中で知らない単語は意味調しておく。 授業 : 前回の単語チェックテスト。p77 をグループワークによりスピーキング練習。その表現を用いてライティング練習。 p78 の表現を用いて暗唱スピーキング練習。p79 の写真を見ながらスピーキング練習。単語と文章を音読。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p> <p>第 13 回 予習 : p80~82 の中で知らない単語は意味調しておく。 授業 : 前回の単語チェックテスト。p80 リスニング&ディクテーション。p81 をグループワークによりスピーキング練習。 その表現を用いてライティング練習。p82 の表現を用いて暗唱スピーキング練習。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p> <p>第 14 回 予習 : p83~85 の中で知らない単語は意味調べしておく。 授業 : 前回の単語チェックテスト。p83 写真を見ながらスピーキング練習。単語と文章を音読。p84 リスニング&ディクテーション。 p85 をグループワークによりスピーキング練習。その表現を用いてライティング練習。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p> <p>第 15 回 予習 : ここまでの授業を総復習する。 授業 : 後期後半の振り返り。 復習 : 自分の課題を見つけ今後の対策を立てる。</p>								
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる習慣をつけること。							
授業内課題の フィードバックの方法	毎時間授業冒頭で小テストを行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材	『English Listening and Speaking Patterns 1 』 Andrew E. Bennett 南雲堂							
参考書	特にありません。							
評価の基準と方法	平常点 40% (小テスト、課題提出、Presentation、授業態度等) および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	英語 A II		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishA II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	中川 優一	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	中川 優一	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 A II では、英語 A I で修得した英語の運用能力をさらに向上させるために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の 4 技能を効果的に統合したグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。特に「ライティング」と「スピーキング」という英語を発信する能力のさらなる向上を目標とする。標準的な構文を使って、英文を書いたり英語を話したりできる。		
到達目標	標準的な構文を使って、英文を書いたり英語を話したりできる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
各回において適宜グループワーク、ディスカッションおよびプレゼンテーション等の活動を行う。			
<p>第 1 回 予習：今学期の目標を考える。教科書の該当箇所に目を通す（pp. 41-43）。 授業：オリエンテーション。Scene 7 How Romantic! 復習：授業の内容を振り返り、ワークシートを使って文法、表現を確認する。</p> <p>第 2 回 予習：教科書の該当箇所に目を通す（pp. 44-46）。 授業：ワークシートの解き直し。Scene 7 How Romantic! 復習：授業の内容を振り返り、ワークシートを使って単語、表現を確認する。</p> <p>第 3 回 予習：教科書の該当箇所に目を通す（pp. 47-49）。 授業：ワークシートの解き直し。Scene 8 I'm Not Feeling Well 復習：授業の内容を振り返り、ワークシートを使って文法、表現を確認する。</p> <p>第 4 回 予習：教科書の該当箇所に目を通す（pp. 50-52）。 授業：ワークシートの解き直し。Scene 8 I'm Not Feeling Well 復習：授業の内容を振り返り、ワークシートを使って単語、表現を確認する。</p> <p>第 5 回 予習：教科書の該当箇所に目を通す（pp. 53-55）。 授業：ワークシートの解き直し。Scene 9 Tickets for a Yankees Game 復習：授業の内容を振り返り、ワークシートを使って文法、表現を確認する。</p> <p>第 6 回 予習：教科書の該当箇所に目を通す（pp. 56-58）。 授業：ワークシートの解き直し。Scene 9 Tickets for a Yankees Game 復習：授業の内容を振り返り、ワークシートを使って単語、表現を確認する。</p> <p>第 7 回 予習：教科書の該当箇所に目を通す（pp. 59-61）。 授業：ワークシートの解き直し。Scene 10 What's on the Shopping List? 復習：授業の内容を振り返り、ワークシートを使って文法、表現を確認する。</p> <p>第 8 回 予習：これまでの授業を総復習する。 授業：中間試験を行う。 復習：試験で解けなかった問題を確認する。</p> <p>第 9 回 予習：教科書の該当箇所に目を通す（pp. 62-64）。 授業：中間試験の講評、及び Scene 10 What's on the Shopping List? 復習：授業の内容を振り返り、ワークシートを使って単語、表現を確認する。</p> <p>第 10 回 予習：教科書の該当箇所に目を通す（pp. 65-67）。</p>			

授業：ワークシートの解き直し。Scene 11 MoMA is Fun!
 復習：授業の内容を振り返り、ワークシートを使って文法、表現を確認する。

第 11 回

予習：教科書の該当箇所に目を通す (pp. 68-70)。
 授業：ワークシートの解き直し。Scene 11 MoMA is Fun!
 復習：授業の内容を振り返り、ワークシートを使って単語、表現を確認する。

第 12 回

予習：教科書の該当箇所に目を通す (pp. 71-73)。
 授業：ワークシートの解き直し。Scene 12 The "Fourth of July" Is Coming Up
 復習：授業の内容を振り返り、ワークシートを使って文法、表現を確認する。

第 13 回

予習：教科書の該当箇所に目を通す (pp. 74-76)。
 授業：ワークシートの解き直し。Scene 12 The "Fourth of July" Is Coming Up
 復習：授業の内容を振り返り、ワークシートを使って単語、表現を確認する。

第 14 回

予習：これまでの授業を総復習する。
 授業：期末試験を行う。
 復習：試験で解けなかった問題を確認する。

第 15 回

予習：教科書の該当箇所に目を通す (pp. 77-79)。
 授業：期末試験の講評、及び Scene 13 Who Is That Guy?
 復習：まとめの内容を振り返り、自分の課題を見つける。

授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる。							
授業内課題の フィードバックの方法	毎時間授業冒頭で小テストを行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材	土屋武久他著『Hello New York! (映像で学ぶはじめての NY ホームステイ) 』（金星堂）							
参考書								
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト、課題提出、Presentation、授業態度等）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 3 0 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	英語 A II		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishA II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	浅川 真知子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	浅川 真知子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	前期 水曜日 09:00～10:30 木曜日 10:30～12:00 後期 水曜日 09:00～10:30 木曜日 10:30～12:00	研究室	10-603
授業概要	英語 A II では、英語 A I で修得した英語の運用能力をさらに向上させるために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の 4 技能を効果的に統合したグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。特に「ライティング」と「スピーキング」を中心に英語を発信する能力のさらなる向上を目標とする。		
到達目標	標準的な構文を使って、英文を書いたり英語を話したりできる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第 1 回 予習：前期の学習をふまえて今学期の目標を立てる、Unit 7 (p.60-67)に目を通す 授業：オリエンテーション（授業の進め方等）、Unit 7 “Talking about the past” 復習：学習した語句・表現を復習する</p> <p>第 2 回 予習：Unit 7 の Vocabulary (p.60) を覚える、Language Check(p.65)を確認する 授業：Unit 7 “Talking about the past”に関する語句・表現を練習する（グループワーク） 復習：学習した語句・表現を復習する</p> <p>第 3 回 予習：Unit 8 (p.68-75)に目を通す 授業：Unit 8 “Describing nature”に関する語句・表現を練習する（ペアワーク） 復習：学習した語句・表現を復習する</p> <p>第 4 回 予習：Unit 8 の Vocabulary (p.68) を覚える、Language Check(p.73)を確認する 授業：Unit 8 “Describing nature”に関する語句・表現を練習する（グループワーク） 復習：学んだ語句・表現を復習する</p> <p>第 5 回 予習：Unit 9 (p.76-83)に目を通す 授業：Unit 9 “Talking about abilities”に関する語句・表現を練習する（ペアワーク） 復習：学習した語句・表現を復習する</p> <p>第 6 回 予習：Unit 9 の Vocabulary (p.76) を覚える、Language Check(p.81)を確認する 授業：Unit 9 “Talking about abilities”に関する語句・表現を練習する（グループワーク） 復習：学んだ語句・表現を復習する</p> <p>第 7 回 予習：Unit 7～9 の復習 授業：第 1 回～第 6 回の学習の振り返り、課題提出、self-assessment 復習：課題点を明らかにする</p> <p>第 8 回 予習：Unit 1 0 (p.84-91)に目を通す 授業：Unit 1 0 “Discussing likes and dislikes”に関する語句・表現を練習する（ペアワーク） 復習：学習した語句・表現を復習する</p> <p>第 9 回 予習：Unit 1 0 の Vocabulary (p.84) を覚える、Language Check(p.89)を確認する 授業：Unit 1 0 “Discussing likes and dislikes”に関する語句・表現を練習する（グループワーク） 復習：学習した語句・表現を復習する</p> <p>第 10 回 予習：Unit 1 1 (p.92-99)に目を通す 授業：Unit 1 1 “Talking about rules”に関する語句・表現を練習する（ペアワーク） 復習：学習した語句・表現を復習する</p> <p>第 11 回 予習：Unit 1 1 の Vocabulary (p.92) を覚える、Language Check(p.97)を確認する 授業：Unit 1 1 “Talking about rules”に関する語句・表現を練習する（グループワーク） 復習：学習した語句・表現を復習する</p> <p>第 12 回 予習：Unit 1 2 (p.100-107)に目を通す 授業：Unit 1 2 “Telling stories”に関する語句・表現を練習する（ペアワーク） 復習：学習した語句・表現を復習する</p>			

<p>第 13 回 予習：Unit 1 2 の Vocabulary (p.100) を覚える、Language Check(p.105)を確認する 授業：Unit 1 2 “Telling stories”に関する語句・表現を練習する（グループワーク） 復習：学習した語句・表現を復習する</p> <p>第 14 回 予習：Unit 1 0 ～ 1 2 の復習 授業：第 8 回～第 1 3 回の学習の振り返り、最終プレゼンテーション①、self-assessment, peer-assessment を行う、課題提出 復習：課題点を明らかにする</p> <p>第 15 回 予習：Unit 1 0 ～ 1 2 の復習 授業：第 8 回～第 1 3 回の学習の振り返り、最終プレゼンテーション②、self-assessment, peer-assessment を行う 復習：後期の学習を振り返り、次年度の目標を立てる</p>								
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。							
授業内課題の フィードバックの方法	小テスト・課題・活動に対するフィードバックはその都度授業中や返却時に行う。							
テキスト・教材	“English Firsthand SUCCESS” (Fifth Edition), Marc Helgesen et al, Pearson [ISBN: 9789813130210]							
参考書	授業で適宜紹介する。							
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト・課題提出・授業内活動）、および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 3 0 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	英語 A II		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishA II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	薬師 英子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	薬師 英子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 A II では、英語 A I で修得した英語の運用能力をさらに向上させるために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の 4 技能を効果的に統合したグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。特に「ライティング」と「スピーキング」という英語を発信する能力のさらなる向上を目標とする。		
到達目標	標準的な構文を使って、英文を書いたり話したりできる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第 1 回 予習：自分の英語学習を振り返る 授業：Talk about Summer Vacation / Review of the first term & Introduction ペアワーク 復習：家庭学習を考える</p> <p>第 2 回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 7 Giving Advice (pp.52~54) Unit の Dialogue を活用したグループワークとディスカッション 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 3 回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 7 Giving Advice (pp.55~57) Review & Activity 前週のディスカッションをふまえた発表 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 4 回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 8 Getting Information (pp.58~60) Unit の Dialogue を活用したグループワークとディスカッション 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 5 回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 8 Getting Information (pp.61~63) Review & Activity 前週のディスカッションをふまえた発表 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 6 回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 9 Comparing & Contrasting (pp.64~66) Unit の Dialogue を活用したグループワークとディスカッション 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 7 回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 9 Comparing & Contrasting (pp.67~69) Review & Activity、これまで学んできた Unit7~9(pp.52~69)についてのまとめ提出 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 8 回 予習：ここまでの授業を総復習する 授業：後期前半のまとめをする 復習：まとめを振り返る</p> <p>第 9 回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 10 Talking about Experiences (pp.70~72)、これまで学んできた Unit7~10(pp.52~72)についてのまとめの講評 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 10 回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 10 Talking about Experiences (pp.73~75) Review & Activity グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 11 回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 11 Interviewing (pp.76~78) Unit の Dialogue を活用したグループワークとディスカッション 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 12 回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 11 Interviewing (pp.79~81) Review & Activity 前週のディスカッションをふまえた発表 復習：授業中の活動を振り返る</p>			

<p>第 13 回 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Prepare for Presentation、これまで学んできた Unit7~11(pp.52~81)についてのまとめ提出 復習 : 授業中の活動を振り返る</p> <p>第 14 回 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Presentation 復習 : 授業中の活動を振り返る</p> <p>第 15 回 予習 : 今までの授業で学んだことを振り返る 授業 : Review of Unit 7 Giving Advice ~ Unit 11 Interviewing (pp.52~81) 、これまで学んできた Unit7~11(pp.52~81)についてのまとめの講評 復習 : 自分の課題を見つけ対策を立てる</p>								
授業開始前学習	学習予定の Unit の内容・単語の予習と小テストに向けての学習を必ず行うこと。映画・音楽・テレビ・新聞記事など、英語に触れる機会を多く持ち、国際的な事柄に積極的に興味を持つこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎時間授業の冒頭で小テストを行う。授業 7 回目、13 回目に提出するまとめについては、2 週間後（授業 9 回目、15 回目）に全体の講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	吉富 昇著『Communication Builder -Revised Edition』（南雲堂）							
参考書	授業中に紹介する。							
評価の基準と方法	試験 60%、平常点 40%（小テスト、課題提出、Presentation、授業参加意欲）							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。テキスト忘れ、授業内での携帯使用等は授業参加意欲の減点対象とする。その他、1 回目の授業で説明する。欠席した回の授業内容はシラバスや配信資料等を確認し、各自フォローアップする。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 AⅢ		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishAⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	Rena Yoshida	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	R.ヨシダ	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	Required English AIII is aimed at integrating the four skills (listening, speaking, reading and writing) through group works, discussions, presentations etc. to develop advanced functional ability in English. English AIII has a particular focus on further improving the productive skills of speaking and writing.		
到達目標	<p>English AIII aims to improve students' confidence and proficiency in their spoken and written English. With the guidance of the teacher, students speak and write English using more complex syntax.</p> <p>Each student will have many opportunities to:</p> <ul style="list-style-type: none"> - give a reasonably fluent description or presentation on a variety of subjects - understand the main points of clear standard speech on familiar matters - communicate with some confidence on familiar matters, and express thoughts on more abstract topics - utilize sufficient vocabulary to express ideas on a range of topics 		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第 1 回</p> <p>予習 : Don't forget your textbook!</p> <p>授業 : Class orientation; Unit 0 (pp.8-11); Unit 1 (pp.12-14): Relationships - vocabulary; listening; conversation</p> <p>復習 : Vocabulary review</p> <p>第 2 回</p> <p>予習 : preparation for Review quiz</p> <p>授業 : Unit 1 (pp.15-19): Relationships - grammar; pair/group work; discussions</p> <p>復習 : Grammar review</p> <p>第 3 回</p> <p>予習 : preparation for Review quiz</p> <p>授業 : Unit 2 (pp.20-22): Emotions - vocabulary; listening; conversation</p> <p>復習 : Vocabulary review</p> <p>第 4 回</p> <p>予習 : preparation for Review quiz</p> <p>授業 : Unit 2 (pp.23-27): Emotions - grammar; pair/group work; discussions</p> <p>復習 : Grammar review</p> <p>第 5 回</p> <p>予習 : preparation for Review quiz</p> <p>授業 : Unit 3 (pp.28-30): Descriptions - vocabulary; listening; conversation</p> <p>復習 : Vocabulary review</p> <p>第 6 回</p> <p>予習 : preparation for Review quiz</p> <p>授業 : Unit 3 (pp.31-35): Descriptions - grammar; pair/group work; discussions</p> <p>復習 : Vocabulary review</p> <p>第 7 回</p> <p>予習 : preparation for Midterm Task 1</p> <p>授業 : Midterm Task 1: Students submit a review of content learned in Units 0-3; Preparation for Midterm Task 2</p> <p>復習 : Grammar & Vocabulary review</p> <p>第 8 回</p> <p>予習 : preparation for Midterm Task 2</p> <p>授業 : Midterm Task 2 (speaking): Students give individual presentations</p> <p>復習 : Grammar & Vocabulary review</p> <p>第 9 回</p> <p>予習 : Vocabulary</p> <p>授業 : Students receive feedback on Midterm Task 1 (writing) and Task 2 (speaking); Unit 4 (pp.36-38): Opinions - vocabulary; listening; conversation</p> <p>復習 : Vocabulary review</p> <p>第 10 回</p> <p>予習 : preparation for Review quiz</p> <p>授業 : Unit 4 (pp.39-43): Locations - grammar; pair/group work; discussions</p> <p>復習 : Grammar review</p>			

<p>第 11 回 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 5 (pp.44-46): Apologies and Problems - vocabulary; listening; conversation 復習 : Vocabulary review</p> <p>第 12 回 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 5 (pp.47-51): Apologies and Problems - grammar; pair/group work; discussions 復習 : Grammar review</p> <p>第 13 回 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 6 (pp.52-59); Symbols and Traditions - vocabulary; listening; grammar; pair/group work; discussions 復習 : Grammar & Vocabulary review</p> <p>第 14 回 予習 : preparation for Final Task 1 授業 : Final Task 1: Students submit a review of content learned in Units 4-6; Preparation for Final Task 2 復習 : Grammar & Vocabulary review</p> <p>第 15 回 予習 : preparation for Final Task 2 授業 : Final Task 2 (speaking): Students give individual presentations 復習 : Self reflection</p>								
授業開始前学習	Take every opportunity to encounter and enjoy English through movies, music, TV, the Internet, etc.							
授業内課題の フィードバックの方法	<p>- Each "Review Quiz" (weekly quiz given at the beginning of each class) will be marked and returned in the following week.</p> <p>- A written feedback will be provided for each Midterm and Final task.</p>							
テキスト・教材	English Firsthand 2 (Pearson) ISBN: 978-981-313-023-4							
参考書	Information will be given in class							
評価の基準と方法	Students are evaluated on a total of class participation points 40% (review quizzes, submitted assignments, effort & attitude) and midterm and final tasks 60% (midterm 30% & final 30%).							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席重視。最低限必要な出席率: 2/3 It is important for students to attend each class. Credit will not be given to students who miss more than a third of the classes. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival 30 minutes or more after the class has started will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class.							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	英語 AⅢ		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishAⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	Mark Oseland	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	M.オーズランド	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	This is a four skills Integrated General English course with a particular emphasis on developing productive speaking and writing skills. Students explore a variety of topics, participate in pair-work, small-group work, and produce short written reports.		
到達目標	By the end of the course students should have: 1. Enhanced their productive speaking and writing skills using more complex syntax. 2. Gained further confidence in using General English for daily communication.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習 : Overview unit 1. Prepare a short introductory speech (2 minutes). 授業 : Unit 1; Good memories. Introductions and exchanging personal information. pp.2-4. Pair-work, groupwork. 復習 : Review unit pp.2-4</p> <p>【第2回】 予習 : Overview unit 1 pp. 5-7 授業 : Unit 1 continued; pp.5-7. Pair-work, groupwork, writing exercise. 復習 : Review unit 1</p> <p>【第3回】 予習 : Overview Unit 2. 授業 : Unit 2; Life in the city. Evaluating services. pp.8-10. Pair-work, groupwork, discussions. 復習 : Review unit 2 pp.8-10.</p> <p>【第4回】 予習 : Overview unit 2 pp.11-13 授業 : Unit 2 continued. pp.11-13. Pair-work, groupwork, writing exercise. 復習 : Review unit 2.</p> <p>【第5回】 予習 : Overview Unit 3. 授業 : Unit 3; Making Changes. Describing positive and negative features. pp.16-18. Pair-work, groupwork, discussion. 復習 : Review unit 3 pp.16-18</p> <p>【第6回】 予習 : Overview Unit 3 pp.19-21 授業 : Unit 3 continued. Pp.19-21. Pair-work, groupwork, writing exercise, short presentation. 復習 : Review Unit 3.</p> <p>【第7回】 予習 : Review units 1-3. Prepare a short, written report. 授業 : General Comprehension exercises. 復習 : Reflect on personal performance and skills that need more work.</p> <p>【第8回】 予習 : Overview Unit 4. 授業 : Unit 4; Have you ever tried it? Talking about food. pp.22-24. Pair-work, groupwork. 復習 : Review Unit 4 pp.22-24</p> <p>【第9回】 予習 : Overview Unit 4 pp.25-27. 授業 : Unit 4 continued. pp.25-27. Pair-work, groupwork, writing exercise. 復習 : Review Unit 4</p> <p>【第10回】 予習 : Overview Unit 5 授業 : Unit 5; Hit the road! Talking about travel, vacations, plans. pp.30-32 復習 : Review Unit 5 pp.30-32</p> <p>【第11回】 予習 : Overview Unit 5 pp.33-35. 授業 : Unit 5 continued; pp.33-35. Pair-work, groupwork, writing exercise. 復習 : Review Unit 5.</p> <p>【第12回】 予習 : Overview Unit 6. 授業 : Unit 6; Sure, I'll do it! Making/refusing requests, complaining, apologizing pp.36-38. Pair-work, groupwork. 復習 : Review Unit 6 pp.36-38</p> <p>【第13回】</p>			

<p>予習 : Overview Unit 6 pp.39-41. 授業 : Unit 6 continued; pp.39-41. Pair-work, groupwork, writing exercise. 復習 : Review Unit 6. 【第14回】 予習 : Overview Unit 8 授業 : Unit 8; Time to celebrate! Describing customs, festivals, special events. pp.50-55 復習 : 【第15回】 予習 : Review units 4,5,6 and 8. Prepare a short, written report. 授業 : General comprehension exercises. 復習 : Reflect on personal performance and skills that need more work.</p>								
授業開始前学習	Prepare yourself to actively participate in classes in English. Consider your strong points and those that need improvement. Focus on topics that interest you, review vocabulary and listen to as much English as possible before the course.							
授業内課題のフィードバックの方法	Students take a quiz at the beginning of every class or submit assignments and comprehensive feedback on these will be provided. Any questions from individual students will be answered.							
テキスト・教材	Richards, R.C, Hull, J., Proctor, S., Interchange 2 Students Book (Cambridge: C.U.P., 2020) ISBN: 978-1-316-62032-6							
参考書								
評価の基準と方法	Students are evaluated on a total of class participation points 40% (mini tests, submitted coursework, presentations, class participation etc.) and regular examination 60%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目	This course continues on from Required English AII-f. Please note the textbook is different from the first year.							
その他	It is important for students to attend each class. Credit will not be given to students who miss more than a third of the classes. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival 30 minutes or more after the class has started will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class.							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 AⅢ		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishAⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	ミラーウエイン	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	W.ミラー	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	Required English AIII is aimed at integrating the four skills (listening, speaking, reading, and writing) through group work, discussions, presentations etc., to develop advanced functional ability in English. English AIII has a particular focus on further improving the productive skills of writing and speaking. In principle, classes will be conducted entirely in English.		
到達目標	Students speak and write English using more complex syntax.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第1回 予習： Read Unit 0 'Welcome to English Firsthand 2', p.8-11 授業： Course goals and structure will be explained. Q & A activities (pair work) 復習： Review notes</p> <p>第2回 予習： Read Unit 1 'Have you two met?', p.12-16 授業： Build vocabulary about relationships to use in dialogues (pair work) 復習： Review notes</p> <p>第3回 予習： Finish Reading Unit 1 'Have you two met?', p.17-19 授業： Grammar: review verb tenses / Group work / Real Stories: 'My Personal Statement' 復習： Review notes / Do homework: Unit 1 Assignment in Google Classroom</p> <p>第4回 予習： Read Unit 2 'You must be excited!', p.20-24 授業： Build vocabulary about emotions to use in model dialogues (pair work) 復習： Review notes</p> <p>第5回 予習： Finish Reading Unit 2 'You must be excited!', p.25-27 授業： Grammar: Using real conditionals for present, future / Group work / Real Stories: 'My Unusual Club' 復習： Review notes / Do homework: Unit 2 Assignment in Google Classroom</p> <p>第6回 予習： Read Unit 3 'Where should I go?', p.28-32 授業： Build vocabulary about descriptions to use in model dialogues (pair work) 復習： Review notes</p> <p>第7回 予習： Finish Reading Unit 3 'Where should I go?', p.33-35 授業： Grammar: Using comparatives, superlatives / Group work / Real Stories: 'My Trip to Asia' 復習： Review notes / Do homework: Unit 3 Assignment in Google Classroom</p> <p>第8回 予習： Review all homework assignments and textbook p. 12-35 授業： Midterm Quiz of Unit 1 ~ Unit 3 復習： Reread textbook p. 36-40</p> <p>第9回 予習： Read Unit 4 'I love that!', p.36-40 授業： Build vocabulary about opinions to use in model dialogues (pair work) 復習： Review notes</p> <p>第10回 予習： Finish Reading Unit 4 'I love that!', p.41-43 授業： Grammar: Use cause and result clauses / Group work / Real Stories: 'My Students' Excuses' 復習： Review notes / Do homework: Unit 4 Assignment in Google Classroom</p> <p>第11回 予習： Read Unit 5 'How do I get there?', p.44-48 授業： Build vocabulary about directions to use in model dialogues (pair work) 復習： Review notes</p> <p>第12回 予習： Finish Reading Unit 5 'How do I get there?', p.49-51 授業： Grammar: Using prepositions with there is and there are / Group work / Real Stories: 'My Farewell Party' 復習： Review notes / Do homework: Unit 5 Assignment in Google Classroom</p>			

<p>第 13 回 予習 : Read Unit 6 'What it like there?', p.52-56 授業 : Build vocabulary about symbols and traditions to use in model dialogues (pair work) 復習 : Review notes</p> <p>第 14 回 予習 : Finish Reading Unit 6 'What it like there?', p.57-59 授業 : Grammar: Use relative pronouns in adjective clauses / Group work / Real Stories: 'My Band' 復習 : Review notes / Do homework: Unit 6 Assignment in Google Classroom</p> <p>第 15 回 予習 : Review all homework assignments and textbook p. 36-59 授業 : Final Quiz of Unit 4 ~ Unit 6 復習 : Complete course Questionnaire on the Komajo Portal.</p>								
授業開始前学習	Practice listening to spoken English through videos or audio recordings and read English books, magazines, or comics. Look up unknown words in a dictionary.							
授業内課題のフィードバックの方法	Both written and oral feedback will be provided to all students for tasks and assignments. Students are encouraged to ask questions, which the teacher will answer.							
テキスト・教材	English Firsthand 2 (Fifth Edition), Pearson Longman, by Helgesen et al							
参考書								
評価の基準と方法	Students are evaluated on total class participation, which is 40% of grade (quizzes, submitted coursework, presentations, class participation etc.) and regular examinations are 60% of grade.							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	It is important for students to attend each class. Credit will not be given to students who miss more than a third of the classes. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival 30 minutes or more after the class has started will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class.							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 AⅢ		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishAⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	K.バーンズ	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	K.バーンズ	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	The emphasis of this class will be on speaking. However, listening, reading and writing will also be developed. This class though, focuses on improving the productive skills of speaking. In principle, lessons are conducted in English. If we are online we will still do speaking using software.		
到達目標	After this class, students will be able to communicate more freely in English.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
The topics of the class will follow the text book.			
第 1 回 予習 : Read pp. 8 -11 in the textbook 授業 : Self-Introductions/Course goals Q&A Getting to Know Each other - Pairwork 復習 : Review notes/ Do homework			
第 2 回 予習 : Read pp. 12-19 授業 : Hobbies and Interests - Pairwork 復習 : Review notes/ Do homework			
第 3 回 予習 : Read pp. 20-24 授業 : Describe your feelings - Pairwork 復習 : Review notes/ Do homework			
第 4 回 予習 : Read pp. 25 -27 授業 : Express Empathy - Pairwork and Group work 復習 : Review notes/ Do homework			
第 5 回 予習 : Read pp. 28-32 授業 : Talk about a trip - Discussion and Pairwork 復習 : Review notes/ Do homework			
第 6 回 予習 : Read pp. 33-35 授業 : Make recommendations - Pairwork and Group Work 復習 : Review notes/ Do homework			
第 7 回 予習 : Review all homework assignments 授業 : General review - Pairwork 復習 : Reread textbook pp.8 -24			
第 8 回 予習 : Review all homework assignments 授業 : General review -Project Based Learning 復習 : Reread textbook pp.25-35			
第 9 回 予習 : Read pp. 36-39 授業 : Share opinions - Project Based Learning 復習 : Review notes/ Do homework			

<p>第 10 回 予習 : Read pp. 40-43 授業 : Express agreement and disagreement - Presentations 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>第 11 回 予習 : Read pp. 44-47 授業 : Make requests - Pairwork 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>第 12 回 予習 : Read pp. 48-51 授業 : Accept and refuse offers - Pairwork and Group Work 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>第 13 回 予習 : Read pp. 52-55 授業 : Talk about traditions in your country - Discussion and Pairwork 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>第 14 回 予習 : Read pp. 56-59 授業 : Talk about symbols and traditions of other countries - Pairwork 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>第 15 回 予習 : Review all homework assignments 授業 : General review 復習 : Reread textbook pp.36-59</p>								
授業開始前学習	Before the class starts students can prepare by listening to English recordings and reading English books, magazines or comics. Look up words in the dictionary.							
授業内課題の フィードバックの方法	Comprehensive feedback will be provided on coursework. Once class starts, evaluated homework assignments will be provided after each class to help students review and better understand the material.							
テキスト・教材	English Firsthand 2 by Helgesen et al (Pearson Longman)							
参考書								
評価の基準と方法	Students are evaluated on a total of class participation points of 40% (mini tests, submitted coursework, presentations, class participation etc.) and regular examinations 60%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目	English Conversation							
その他	It is important for students to attend each class. Credit will not be given to students who miss more than a third of the classes. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival after 30 minutes or more after the start of class will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class.							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	英語 AⅢ		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishAⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	リチャード バラダッド	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	R.バラダッド	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	この授業では、さまざまな楽しく興味深いリスニングや発音、スピーキングアクティビティ（個人、ペア、グループアクティビティなど）を通して、英語を話す力、および理解力を向上させることに焦点を当てます。英語 AⅢ では、英語の発展的な運用能力の習得のために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の 4 技能を効果的に統合したグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。特に「ライティング」と「スピーキング」という英語を発信する能力の向上を目標とする。		
到達目標	インタラクティブな練習を通じて英語の聞き取りと会話を体感します。複雑な構文を使って、英文を書いたり英語を話したりできる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第 1 回 予習 : Purchase Textbook 授業 : Self-Introductions/Course goals, Q&A, get to know other (pp. 8-11) 復習 : Review notes / Do homework</p> <p>第 2 回 予習 : New vocabulary 授業 : Unit 1: Relationships (pp. 12-15), pair work 復習 : Review notes / Do homework</p> <p>第 3 回 予習 : Review vocabulary 授業 : Meeting People (pp. 16-19), group work 復習 : Review notes / Do homework/ Do GC video presentation 1</p> <p>第 4 回 予習 : New vocabulary 授業 : Unit 2: Emotions (pp. 20-23), pair work, Unit 1 Quiz 復習 : Review notes / Do homework / GC short writing 1</p> <p>第 5 回 予習 : Review vocabulary 授業 : Unit 2: Discussing emotions (pp. 24-27), group work 復習 : Review notes / Do homework</p> <p>第 6 回 予習 : New vocabulary 授業 : Unit 3: Places & travel (pp. 28-31) pair work, Unit 2 Quiz 復習 : Review notes / Do homework / GC short writing 2</p> <p>第 7 回 予習 : Review vocabulary 授業 : Unit 3: Planning a vacation (pp. 32-35), group work 復習 : Review notes / Do homework / Do GC video presentation 2</p> <p>第 8 回 予習 : Prepare for quiz 授業 : Quiz for units 1-3 / Speaking exercise in pairs 復習 : Preview Unit 4 / Do homework</p> <p>第 9 回 予習 : New vocabulary 授業 : Unit 4: Interests and opinions (pp. 36-39), pair work 復習 : Review notes / Do homework</p> <p>第 10 回 予習 : Review vocabulary 授業 : Unit 4: Describing an experience (pp. 40-43), group work 復習 : Review notes / Do homework / GC short writing 3</p>			

第 11 回
 予習 : New vocabulary
 授業 : Unit 5: Problems and reasons (pp. 44-47), pair work
 復習 : Review notes / Do homework / Language check 5

第 12 回
 予習 : Review vocabulary
 授業 : Unit 5: Giving excuses (pp. 47-51), group work
 復習 : Review notes / Do homework / GC short writing 4

第 13 回
 予習 : New vocabulary
 授業 : Unit 6: Cultural symbols & traditions (pp. 52-56), pair work
 復習 : Review notes / Do homework / Do GC video presentation 3

第 14 回
 予習 : Review vocabulary / Final speaking exercise
 授業 : Customs and Culture (pp. 57-59), group work, Speaking exercise in pairs
 復習 : Review 4 ? 6 notes / Do homework

第 15 回
 予習 : Prepare for quiz
 授業 : Quiz for units 4 - 6
 復習 : Do Portal course evaluations in class (after quiz)

授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる。							
授業内課題の フィードバックの方法	毎時間授業の冒頭で小テストを行う。授業 7 回目、1 3 回目に提出するまとめについては、2 週間後（授業 9 回目、1 5 回目）に全体の講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	English Firsthand 2, 5th Edition Pearson							
参考書								
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト、課題提出、プレゼンテーション、授業態度など）及び定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始 30 分以上の遅刻は欠席をみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	英語 AⅢ		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishAⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	サイモン・スティーブンス	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	S.スティーブンス	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	<p>Required English AⅢ integrates the four skills (listening, speaking, reading and writing). It will build on the skills learnt in the first year classes.</p> <p>We focus on pair/group work, discussions, surveys and presentations to develop students functional ability in using everyday, practical English.</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. Students' communicative ability will be developed through guided pair and group discussion activities (using the target language in a meaningful way, linking classroom language learning to real-world activities). 2. They will learn an extensive range of communicative activity types including interviews, surveys, class presentations and mini projects. 3. Students will also develop listening skills through listening to a variety of scripted and authentic audio/video material. 4. Vocabulary learning methods and record keeping skills will also be developed. 		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第1回 予習： Don't forget your textbook ! Buy a notebook for classwork and vocabulary work. 授業： Class orientation; Personal information - getting to know each other. Classroom language. 復習： Vocabulary review/Homework.</p> <p>第2回 予習： Do assigned tasks Warm up unit questions p11/Reading p14. 授業： Unit 1 Friendship pp. 11-15 (vocabulary, listening and discussions). 復習： Vocabulary review/homework.</p> <p>第3回 予習： Do assigned tasks. 授業： Unit 1 Friendship pp. 16-18 (video, discussion and project work). 復習： Vocabulary review/Homework.</p> <p>第4回 予習： Do assigned tasks. 授業： Unit 2 Fear pp. 19-23 (vocabulary, listening and discussions). 復習： Vocabulary review/Homework.</p> <p>第5回 予習： Do assigned tasks. 授業： Unit 2 Fear pp. 24-26 (video, discussion and project work). 復習： Vocabulary review/Homework.</p> <p>第6回 予習： Do assigned tasks. 授業： Unit 3 Health pp. 31-34 (vocabulary, listening and discussions). 復習： Vocabulary review/Homework.</p> <p>第7回 予習： Preparation for Mid-term Poster Presentations. 授業： Unit 3 Health pp. 35-38 (video, discussion and project work). 復習： Vocabulary review/Homework.</p> <p>第8回 予習： Prepare for Mid-term Poster presentations. 授業： Mid-term Poster presentations. 復習： Vocabulary review/Homework.</p> <p>第9回 予習： Do assigned tasks. 授業： Students receive feedback on Poster presentations. Unit 4 Change pp. 39-43 (vocabulary, listening and discussions). 復習： Vocabulary review/Homework.</p> <p>第10回 予習： Do assigned tasks. 授業： Unit 4 Change pp.43-46 (video, discussion and project work).</p>			

<p>復習 : Vocabulary review/Homework.</p> <p>第 11 回 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Unit 5 Success pp.51-54 (vocabulary, listening and discussions). 復習 : Vocabulary review/Homework.</p> <p>第 12 回 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Unit 5 Success pp. 55-58 (video, discussion and project work). 復習 : Vocabulary review preparation/ Homework.</p> <p>第 13 回 予習 : Preparation for Final Vocabulary Review. 授業 : Final vocabulary review. 復習 : Poster presentations preparation.</p> <p>第 14 回 予習 : Preparation for Final Speaking Poster Presentations. 授業 : Final Speaking Task : Poster presentations based on units 1-5. 復習 : Vocabulary review and self reflections on their presentations.</p> <p>第 15 回 予習 : Preparation for Final Speaking Poster Presentations. 授業 : Final Speaking Task : Poster presentations based on units 1-5. 復習 : Feedback on class presentations.</p>								
授業開始前学習	Before class students can try to review vocabulary, use graded readers, and do listening activities using various listening websites. Also try to take every opportunity to encounter and enjoy English through movies, music, TV, and the Internet.							
授業内課題のフィードバックの方法	There will be teacher oral/written feedback on assignments and homework. Additionally, there will be development of students' peer to peer feedback, particularly with presentations.							
テキスト・教材	INSPIRE 3 by Nancy Douglas and Andrew Boon ISBN: 978-1-133-96342-4							
参考書								
評価の基準と方法	Students are evaluated on a total of class participation points 40% (review quizzes, submitted assignments, effort & attitude) and regular examinations 60% (midterm & final tasks).							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	Attendance is very important because it is part of your participation grade. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival 30 minutes or more after the class has started will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class. It is a communication class, so it is important to interact with the teacher, each other and express your opinions. This will build your confidence.							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 AⅢ		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishAⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	Z.モハツミプール	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	Z. モハツミプール	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	Required English AIII is aimed at integrating the four skills (listening, speaking, reading and writing) through group works, discussions, presentations etc. to develop advanced functional ability in English. English AIII has a particular focus on further improving the productive skills of writing and speaking.		
到達目標	Students speak and write English using more complex syntax.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：Read the introduction to the textbook. 授業：Class Orientation. Getting to know each other. Pair work and group work. 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第2回】 予習：Read pages 12-16. 授業：Unit 1 Introductions and relationships. Vocabulary, Listening, pair work. 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第3回】 予習：Read pages 17-19. 授業：Unit 1 Introductions and relationships. Grammar, Group work, Real Stories. 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第4回】 予習：Read pages 20-24. 授業：Unit 2 Talking about emotions. Vocabulary, Listening, pair work. 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第5回】 予習：Read pages 25-27. 授業：Unit 2 Talking about emotions. Grammar, Group work, Real Stories. 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第6回】 予習：Read pages 28-32. 授業：Unit 3 Making recommendations. Vocabulary, Listening, pair work. 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第7回】 予習：Read pages 33-35. 授業：Unit 3 Making recommendations. Grammar, Group work, Real Stories. 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第8回】 予習：Review all homework assignments. 授業：General review and quiz 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第9回】 予習：Read pages 36-40. 授業：Unit 4 Sharing opinions. Vocabulary, Listening, pair work. 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第10回】 予習：Read pages 41-43. 授業：Unit 4 Sharing opinions. Grammar, Group work, Real Stories. 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第11回】 予習：Read pages 44-48. 授業：Unit 5 Asking to borrow things, giving reasons, making excuses. Vocabulary, Listening, pair work. 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第12回】 予習：Read pages 49-51. 授業：Unit 5 Asking to borrow things, giving reasons, making excuses. Grammar, Group work, Real Stories. 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第13回】</p>			

予習 : Read pages 52-56.
 授業 : Unit 6 Talking about culture. Vocabulary, Listening, pair work.
 復習 : Review notes / Do homework
 【第14回】
 予習 : Read pages 57-59.
 授業 : Unit 6 Talking about culture. Grammar, Group work, Real Stories.
 復習 : Review notes / Do homework
 【第15回】
 予習 : Review all homework assignments.
 授業 : Final review and quiz
 復習 : Review notes

授業開始前学習	Take every opportunity to encounter English through movies, music, TV, newspapers etc. Use a dictionary to check the meaning of words and phrases that interest you.							
授業内課題のフィードバックの方法	Students take a quiz at the beginning of every class or submit assignments, and comprehensive feedback on these will be provided. Any questions from individual students will be answered.							
テキスト・教材	English Firsthand Level 2 (5th edition)							
参考書								
評価の基準と方法	Students are evaluated on a total of class participation points 40% (mini tests, submitted coursework, presentations, class participation etc.) and regular examination 60%.							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	It is important for students to attend each class. Credit will not be given to students who miss more than a third of the classes. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival 30 minutes or more after the class has started will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class.							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 AⅢ		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishAⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	M.ブラウン	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	M.ブラウン	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	前期 月曜日 13:00～14:30 水曜日 13:00～14:30 後期 月曜日 13:00～14:30 水曜日 13:00～14:30	研究室	10-619
授業概要	Required EnglishA III is aimed at integrating the four skills (listening, speaking, reading and writing) through group works, discussions, presentations etc. to develop advanced functional ability in English. EnglishA III has a particular focus on further improving the productive skills of writing and speaking.		
到達目標	Students speak and write English using more complex syntax.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：Read the textbook's introduction 授業：Self- and course-introductions, Pairwork and Discussion 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第2回】 予習：Read pages 7-10 in the textbook 授業：Getting to know one another, Pairwork 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第3回】 予習：Read pages 11-14 in the textbook 授業：Interests, Pairwork and Discussion 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第4回】 予習：Read pages 15-18 授業：Feelings, Pairwork and Discussion 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第5回】 予習：Read pages 19-22 授業：Empathy, Pairwork and Groupwork 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第6回】 予習：Read pages 23-26 授業：Trips, Pairwork and Discussion 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第7回】 予習：Read pages 27-30 授業：Recommendations, Pairwork and Groupwork 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第8回】 予習：Review all homework assignments 授業：General review and mid-term quiz, Discussion 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第9回】 予習：Read pages 31-34 授業：Opinions, Pairwork and Discussion 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第10回】 予習：Read pages 35-38 授業：Agreeing and Disagreeing, Pairwork and Groupwork 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第11回】 予習：Read pages 39-43 授業：Requests, Pairwork and Discussion 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第12回】 予習：Read pages 44-46 授業：Offers, Pairwork and Groupwork 復習：Review notes / Do homework</p>			

<p>【第13回】 予習：Read pages 47-50 授業：Traditions, Pairwork and Discussion 復習：Review notes / Do homework 【第14回】 予習：Read pages 51-54 授業：National symbols and customs, Pairwork and Discussion 復習：Review notes / Do homework 【第15回】 予習：Review all homework assignments 授業：Final review and quiz, Discussion 復習：Review notes</p>								
授業開始前学習	Take every opportunity to encounter English through movies, music, TV, newspapers etc. Use a dictionary to check the meaning of words and phrases that interest you.							
授業内課題のフィードバックの方法	Students take a quiz at the beginning of every class or submit assignments, and comprehensive feedback on these will be provided. Any questions from individual students will be answered.							
テキスト・教材	Nice Talking With You 2							
参考書								
評価の基準と方法	Students are evaluated on a total of class participation points 40% (mini tests, submitted coursework, presentations, class participation etc.) and regular examination 60%.							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	It is important for students to attend each class. Credit will not be given to students who miss more than a third of the classes. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival 30 minutes or more after the class has started will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class.							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 AⅢ		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishAⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	遠藤 玲奈	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	遠藤 玲奈	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 AⅢ では、英語の発展的な運用能力の習得のために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の 4 技能を効果的に統合したグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。特に「ライティング」と「スピーキング」という英語を発信する能力の向上を目標とする。		
到達目標	複雑な構文を使って、英文を書いたり英語を話したりできる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第 1 回 予習：シラバスを読んでおく。テキストと辞書（電子辞書可）を用意する 授業：オリエンテーション（授業概要、到達目標、授業の進め方について）、グループワーク 復習：授業中に説明を受けた授業概要、到達目標、授業の進め方をもとに、今学期の目標を立てる</p> <p>第 2 回 予習：Unit 1 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 1（前半：pp. 8-11）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 3 回 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 1（後半：pp. 12-14）グループワーク、Unit 1（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 4 回 予習：Unit 2 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 2（前半：pp. 15-18）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする</p> <p>第 5 回 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 2（後半：pp. 19-21）グループワーク、Unit 2（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 6 回 予習：Unit 3 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 3（前半：pp. 22-25）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする</p> <p>第 7 回 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 3（後半：pp. 26-28）グループワーク、Unit 3（全体）小テスト、前期前半の振り返り 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 8 回 予習：Unit 4 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 4（前半：pp. 29-32）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする</p> <p>第 9 回 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 4（後半：pp. 33-35）グループワーク、Unit 4（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 10 回 予習：Unit 5 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 5（前半：pp. 36-39）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする</p> <p>第 11 回 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 5（後半：pp. 40-42）グループワーク、Unit 5（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 12 回 予習：Unit 6 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 6（前半：pp. 43-46）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする</p>			

<p>第 13 回 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 6（後半：pp. 47-49）グループワーク、Unit 6（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 14 回 予習：Unit 7 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 7（前半：pp. 50-53）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする</p> <p>第 15 回 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 7（後半：pp. 54-56）グループワーク、Unit 7（全体）小テスト、前期後半の振り返り 復習：自分の課題を見つけ対策を立てる</p>								
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。また、学習予定の Unit の内容・単語の予習と小テストの準備を必ず行うこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	2 週に 1 回、各 Unit の学習を終えたところで小テストを行う。翌週、返却時に解説を行う。授業 7 回目、15 回目に授業内容の復習を行い、クラスおよび個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	Tadashi Shiozawa, Adam Martinelli『Activator Next』（金星堂）							
参考書	授業内で適宜紹介する。							
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト、課題提出、授業態度等）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 AⅢ		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishAⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	佐々木 千恵	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	佐々木 千恵	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 AⅢでは、英語の発展的な運用能力の習得のために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の4技能を効果的に統合したグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。特に「ライティング」と「スピーキング」という英語を発信する能力の向上を目標とする。		
到達目標	複雑な構文を使って、英文を書いたり話したりできる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第1回 予習：シラバスとテキスト（既に持っていれば）を読んで全体の流れを把握しておく。 授業：オリエンテーション（授業のねらい、授業の進め方等について）。 復習：とくにありません。</p> <p>第2回 予習：Lesson1 p6の文章を音読し、p6-8の知らない単語は意味調しておく。 授業：Lesson1 p6をCDで聞き、音読。p7、8の語彙チェック、文法確認、内容把握、リスニング、ライティング。 復習：授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p> <p>第3回 予習：Lesson1 p9-11の知らない単語は意味調しておく。 授業：前回のチェックテスト。Lesson1 9-10のexerciseをやる。p11のActivitiesでペアワーク、ライティング練習。 復習：授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p> <p>第4回 予習：Lesson2 p12の文章を音読し、p12-14の知らない単語は意味調しておく。 授業：前回のチェックテスト。Lesson2 p12をCDで聞き、音読。p13、14の語彙チェック、文法確認、内容把握、リスニング、ライティング。 復習：授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p> <p>第5回 予習：Lesson2 p15-17の知らない単語は意味調しておく。 授業：前回のチェックテスト。Lesson2 p15-16のexerciseをやる。p17のActivitiesでペアワーク、ライティング練習。 復習：授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p> <p>第6回 予習：Lesson3 p18を音読し、p18-20の知らない単語は意味調しておく。 授業：前回のチェックテスト。Lesson3p18をCDで聞き、音読。p19、20の語彙チェック、文法確認、内容把握、リスニング、ライティング。 復習：授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p> <p>第7回 予習：Lesson3 p21-23の知らない単語は意味調しておく。 授業：前回のチェックテスト返却・解説。p21-22のexerciseをやる。p23のActivitiesでペアワーク、ライティング練習。 復習：授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p> <p>第8回 予習：ここまでの授業を総復習する。 授業：前期前半の振り返り。 復習：自分の弱点を見極めて重点的に復習をする。</p> <p>第9回 予習：Lesson4 p24の文章を音読し、p24-26の知らない単語は意味調しておく。 授業：Lesson4 p24をCDで聞き、音読。p25、26の語彙チェック、文法確認、内容把握、リスニング、ライティング。 復習：授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p> <p>第10回 予習：Lesson4 p27-29の知らない単語は意味調しておく。 授業：前回のチェックテスト。Lesson4 p27-28のexerciseをやる。p29のActivitiesでペアワーク、ライティング練習。 復習：授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p> <p>第11回 予習：Lesson5 p30を音読し、p30-31の知らない単語は意味調しておく。 授業：前回のチェックテスト。Lesson5p30をCDで聞き、音読。p31、32の語彙チェック、文法確認、内容把握、リスニング、ライティング。 復習：授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p> <p>第12回 予習：Lessonr5 p33-35の知らない単語は意味調しておく。 授業：前回のチェックテスト。Lesson5 p33-34のexerciseをやる。p35のActivitiesでペアワーク、ライティング練習。 復習：授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p>			

<p>第 13 回 予習 : Lesson6 p36 の文章を音読し、p36-38 の知らない単語は意味調しておく。 授業 : 前回のチェックテスト。Lesson6 p36 を CD で聞き、音読。p37、38 の語彙チェック、文法確認、内容把握、リスニング、ライティング。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p> <p>第 14 回 予習 : Lesson p39-41 の知らない単語は意味調しておく。 授業 : 前回のチェックテスト。Lesson6 p39-40 の exercise をやる。p41 の Activities でペアワーク、ライティング練習。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p> <p>第 15 回 予習 : 今まで授業で学んだことを振り返る 授業 : 前期後半の振り返り。 復習 : 自分の課題を見つけ対策を立てる</p>								
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる。							
授業内課題の フィードバックの方法	適宜小テストを行い、知識の定着を図る。それを次の授業で返却するさいに各自が弱点を認識できるように指導する。							
テキスト・教材	『Make it simple 』Kazuko Morita 他、三修社							
参考書	特にありません。							
評価の基準と方法	平常点 40% (小テスト、課題提出、Presentation、授業態度等) および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	英語 AⅢ		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishAⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	岸山 健	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	岸山 健	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 AⅢ では、英語の発展的な運用能力の習得のために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の 4 技能を効果的に統合したグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。特に「ライティング」と「スピーキング」という英語を発信する能力の向上を目標とする。		
到達目標	複雑な構文を使って、英文を書いたり話したりできる。与えられたトピックに対して 100--150 単語のエッセイを書ける。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第 1 回】 予習：いままでの英語学習の振り返り 授業：オリエンテーション（1. 到達目標 2. 授業の進め方 3. 評価方法の共有、アンケートの実施など） 復習：到達目標と各回のテーマの確認</p> <p>【第 2 回】 予習：Unit 1 の Targets (Listening と Target) の確認、Reading から新出単語/表現の書き出し 授業：Targets の確認（教科書 pp.9-11）、ペアワーク(Conversation) 復習：新出単語、フレーズの確認</p> <p>【第 3 回】 予習：Unit 1 の Grammar Exercise と Reading の確認 授業：Grammar Exercise の解説（教科書 pp.12-14）とグループワーク(テーマに関する意見交換) 復習：新出単語、フレーズの確認</p> <p>【第 4 回】 予習：Unit 2 の Targets (Listening と Target) の確認、Reading から新出単語/表現の書き出し 授業：Targets の確認（教科書 pp.15-17）、ペアワーク(Conversation) 復習：新出単語、フレーズの確認</p> <p>【第 5 回】 予習：Unit 2 の Grammar Exercise と Reading の確認 授業：Grammar Exercise の解説（教科書 pp.18-20）とグループワーク(テーマに関する意見交換) 復習：新出単語、フレーズの確認</p> <p>【第 6 回】 予習：Unit 3 の Targets (Listening と Target) の確認、Reading から新出単語/表現の書き出し 授業：Targets の確認（教科書 pp.21-23）、ペアワーク(Conversation) 復習：新出単語、フレーズの確認</p> <p>【第 7 回】 予習：Unit 3 の Grammar Exercise と Reading の確認 授業：Grammar Exercise の解説（教科書 pp.24-26）とグループワーク、これまで学んできた項目についてのまとめ提出 復習：新出単語、フレーズの確認</p> <p>【第 8 回】 予習：前期前半の授業内容の復習 授業：前期前半のまとめ、フィードバック、アンケートの実施 復習：フィードバックの確認</p> <p>【第 9 回】 予習：Unit 4 の Targets (Listening と Target) の確認、Reading から新出単語/表現の書き出し 授業：Targets の確認（教科書 pp.27-29）、ペアワーク(Conversation)、これまで学んできた項目についてのまとめの講評 復習：新出単語、フレーズの確認</p> <p>【第 10 回】 予習：Unit 4 の Grammar Exercise と Reading の確認 授業：Grammar Exercise の解説（教科書 pp.30-32）とグループワーク(テーマに関する意見交換) 復習：新出単語、フレーズの確認</p> <p>【第 11 回】 予習：Unit 5 の Targets (Listening と Target) の確認、Grammar Exercise 授業：Targets の確認（教科書 pp.33-38）、Grammar Exercise の解説とペアワーク(Conversation) 復習：新出単語、フレーズの確認</p> <p>【第 12 回】 予習：Unit 6 の Targets (Listening と Target) の確認、Grammar Exercise 授業：Targets の確認（教科書 pp.39-41）、Grammar Exercise の解説とペアワーク(Conversation) 復習：新出単語、フレーズの確認</p> <p>【第 13 回】</p>			

<p>予習 : Unit 6 の Grammar Exercise と Reading の確認 授業 : Grammar Exercise の解説 (教科書 pp.42 - 44) とグループワーク(テーマに関する意見交換) 復習 : 新出単語、フレーズの確認 【第 14 回】 予習 : Unit 7 の Targets (Listening と Target) の確認、Grammar Exercise 授業 : Targets の確認 (教科書 pp.45 - 50) 、Grammar Exercise の解説とペアワーク(Conversation) 復習 : 新出単語、フレーズの確認 【第 15 回】 予習 : 前期後半の授業内容の復習 授業 : 前期後半のまとめ、フィードバック、これまで学んできた項目についてのまとめの講評、アンケートの実施 復習 : フィードバックの確認</p>								
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。また、指定した範囲にあるわからない単語があれば調べること。							
授業内課題のフィードバックの方法	小テストに関しては毎時間コメントする。							
テキスト・教材	【 タイトル 】 Trend Scope / 読んで発信、社会のいま 【 ISBN 】 9784791972654							
参考書								
評価の基準と方法	平常点 40% (小テスト、課題提出、授業態度等) および定期試験(レポート)60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 3 0 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 AⅢ		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishAⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	江連 成美	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	江連 成美	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 AⅢ では、英語の発展的な運用能力の習得のために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の 4 技能を効果的に統合したグループワーク、プレゼンテーション等の活動を行う。特に「ライティング」と「スピーキング」という英語を発信する能力の向上を目標とする。		
到達目標	複雑な構文を使って、英文を書いたり英語を話したりできる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第 1 回】 予習： テキストの Content Chart と Learning Overview に目を通しておく 授業： オリエンテーション（授業の進め方などについての説明） 復習： オリエンテーションの内容を確認する（Google Classroom の登録が終わっていない場合は、第 2 回までに必ず登録を終わらせておく）</p> <p>【第 2 回】 予習： Unit 1 - Vocabulary 1 授業： Unit 1 : Meeting People (pp.9-13) (ペアワーク) 復習： Unit 1 - Review (Google Classroom)</p> <p>【第 3 回】 予習： Unit 1 - Vocabulary 2 授業： Unit 1 : Meeting People (pp.14-16) (グループワーク) 復習： Unit 1 - My Profile</p> <p>【第 4 回】 予習： Unit 2 - Vocabulary 1 授業： Unit 2 : Time to Eat (pp. 17-21) (ペアワーク) 復習： Unit 2 - Review (Google Classroom)</p> <p>【第 5 回】 予習： Unit 2 - Vocabulary 2 授業： Unit 2 : Time to Eat (pp. 22-24) (グループワーク) 復習： Unit 2 - Create a Recipe</p> <p>【第 6 回】 予習： Unit 3 - Vocabulary 1 授業： Unit 3 : Living with Technology (pp. 25-29) (ペアワーク) 復習： Unit 3 - Review (Google Classroom)</p> <p>【第 7 回】 予習： Unit 3 - Vocabulary 2 授業： Unit 3 : Living with Technology (pp. 30-32) (グループワーク) 復習： Unit 3 - Chat Messages</p> <p>【第 8 回】 予習： Unit 1~3 で学習した語彙や文法を復習する 授業： 前期前半の振り返り 復習： Unit 1~3 で理解できていなかった点を整理しておく</p> <p>【第 9 回】 予習： Unit 4 - Vocabulary 1 授業： Unit 4 : Shopping for Clothes (pp. 33-37) (ペアワーク) 復習： Unit 4 - Review (Google Classroom)</p> <p>【第 10 回】 予習： Unit 4 - Vocabulary 2 授業： Unit 4 : Shopping for Clothes (pp. 38-40) (グループワーク) 復習： Unit 4 - Write a Review</p> <p>【第 11 回】 予習： Unit 5 - Vocabulary 1 授業： Unit 5 : A Helping Hand at Home (pp. 41-45) (ペアワーク) 復習： Unit 5 - Review</p> <p>【第 12 回】 予習： Unit 5 - Vocabulary 2 授業： Unit 5 : A Helping Hand at Home (pp. 46-48) (グループワーク) 復習： Unit 5 - Write an Item Description</p> <p>【第 13 回】</p>			

予習：Unit 6 - Vocabulary 1 授業：Unit 6 : Going Places (pp. 49-53) (ペアワーク) 復習：Unit 6 - Review 【第 14 回】 予習：Unit 6 - Vocabulary 2 授業：Unit 6 : Going Places (pp. 55-56) (グループワーク) 復習：Unit 6 - Giving Directions 【第 15 回】 予習：Unit 4～6 で学習した語彙や文法を復習する 授業：前期後半の振り返り 復習：前期に学習した項目を整理し、後期に備える								
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	隔週で授業冒頭で小テストを行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材	テキスト名：New Connection Book 1 出版社：成美堂 ※課題としてアプリの Online Practice に取り組んでもらうので、最初のページのアクセスコードが使用済みになっている教科書は購入しないでください。また、初回にアプリの登録を行うので、教科書を購入し、授業に持参してください。							
参考書	特になし。							
評価の基準と方法	平常点 40% (小テスト、課題提出、Presentation、授業態度等) および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 AⅢ		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishAⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	浅川 真知子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	浅川 真知子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	前期 水曜日 09:00～10:30 木曜日 10:30～12:00 後期 水曜日 09:00～10:30 木曜日 10:30～12:00	研究室	10-603
授業概要	英語 AⅢでは、英語の発展的な運用能力の習得のために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の4技能を効果的に統合したグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。特に「ライティング」と「スピーキング」を中心に英語を発信する能力の向上を目標とする。		
到達目標	複雑な構文を使って、英文を書いたり英語を話したりできる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第1回 予習：自分の今までの英語学習を振り返り、今学期の目標を立てる 授業：オリエンテーション（授業の進め方・ねらい）、Unit 1 “Family” 復習：学習した語句・表現を復習する</p> <p>第2回 予習：Unit 2の Warm-up (p.15) に目を通す 授業：Unit 2 “Friends”に関する語句・表現を練習する（ペアワーク） 復習：学習した語句・表現を復習する</p> <p>第3回 予習：Unit 1, 2の単語を覚える 授業：Unit 1, 2に関する語句・表現を練習する（グループワーク） 復習：学習した語句・表現を復習する</p> <p>第4回 予習：Unit 3の Warm-up (p.19) に目を通す 授業：Unit 3 “Culture”に関する語句・表現を練習する（ペアワーク） 復習：学習した語句・表現を復習する</p> <p>第5回 予習：Unit 4の Warm-up (p.23) に目を通す 授業：Unit 4 “Education”に関する語句・表現を練習する（ペアワーク） 復習：学習した語句・表現を復習する</p> <p>第6回 予習：Unit 3, 4の単語を覚える 授業：Unit 3, 4に関する語句・表現を練習する（グループワーク） 復習：学習した語句・表現を復習する</p> <p>第7回 予習：Unit 1～4の復習 授業：第1回～第6回の学習の振り返り、課題提出、self-assessment 復習：課題点を明らかにする</p> <p>第8回 予習：Unit 5の Warm-up (p.27) に目を通す 授業：Unit 5 “Sports”に関する語句・表現を練習する（ペアワーク） 復習：学習した語句・表現を復習する</p> <p>第9回 予習：Unit 6の Warm-up (p.31) に目を通す 授業：Unit 6 “Work”に関する語句・表現を練習する（ペアワーク） 復習：学習した語句・表現を復習する</p> <p>第10回 予習：Unit 5, 6の単語を覚える 授業：Unit 5, 6に関する語句・表現を練習する（グループワーク） 復習：学習した語句・表現を復習する</p> <p>第11回 予習：Unit 7の Warm-up (p.35) に目を通す 授業：Unit 7 “Food”に関する語句・表現を練習する（ペアワーク） 復習：学習した語句・表現を復習する</p> <p>第12回 予習：Unit 8の Warm-up (p.39) に目を通す 授業：Unit 8 “Studying English”に関する語句・表現を練習する（ペアワーク） 復習：学習した語句・表現を復習する</p>			

<p>第 13 回 予習：Unit 7, 8の単語を覚える 授業：Unit 7, 8に関する語句・表現を練習する（グループワーク） 復習：学習した語句・表現を復習する</p> <p>第 14 回 予習：Unit 5～8の復習 授業：第 8 回～第 13 回の学習の振り返り、最終プレゼンテーション①、self-assessment, peer-assessment を行う、課題提出 復習：課題点を明らかにする</p> <p>第 15 回 予習：Unit 5～8の復習 授業：第 8 回～第 13 回の学習の振り返り、最終プレゼンテーション②、self-assessment, peer-assessment を行う 復習：前期の学習を振り返り、後期の目標を立てる</p>								
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	小テスト・課題・活動に対するフィードバックはその都度授業中や返却時に行う。							
テキスト・教材	“English Listening and Speaking Patterns 1” Andrew E. Bennett, 南雲堂							
参考書	授業で適宜紹介する。							
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト・課題提出・授業内活動）、および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 AⅢ		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishAⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	薬師 英子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	薬師 英子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 AⅢ では、英語の発展的な運用能力の習得のために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の 4 技能を効果的に統合したグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。特に「ライティング」と「スピーキング」という英語を発信する能力の向上を目標とする。		
到達目標	複雑な構文を使って、英文を書いたり英語を話したりできる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第 1 回 予習：自分の英語学習を振り返る 授業：オリエンテーション（授業のねらい、授業の進め方等について） グループワーク 復習：家庭学習を考える</p> <p>第 2 回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 1 What's your major? (pp.6~11) 〈be 動詞〉話しかける／自己紹介をする グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 3 回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 2 How do you like your new school? (pp.12~17) 〈一般動詞（現在形）〉人を誘う／別れ際の挨拶 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 4 回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 2 How do you like your new school? (pp.12~17) Review & Group Activities 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 5 回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 3 Let me introduce a new member to you. (pp.18~23) 〈一般動詞（過去形）〉グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 6 回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 3 Let me introduce a new member to you. (pp.18~23) Review & Group Activities 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 7 回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 4 How was your Golden Week? (pp.24~29)〈未来形〉予定を述べる／説明する グループワーク、 これまで学んできた Unit1~4(pp.6~29)についてのまとめ提出 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 8 回 予習：ここまでの授業を総復習する 授業：前期前半のまとめをする 復習：まとめを振り返る</p> <p>第 9 回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 5 I'm looking for a part-time job. (pp.30~35)〈進行形〉詳細を尋ねる／理由を述べる グループワーク、 これまで学んできた Unit1~5(pp.6~35)についてのまとめの講評 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 10 回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 5 I'm looking for a part-time job. (pp.30~35) Review & Activity 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 11 回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 6 What do you call this in Japanese? (pp.36~41)〈受動態〉意向を尋ねる／好みを述べる グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 12 回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 6 What do you call this in Japanese? (pp.36~41) Review & Activities</p>			

復習 : 授業中の活動を振り返る 第 13 回 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 7 Have you been there? (pp.42~47)、これまで学んできた Unit1~7(pp.6~47)についてのまとめ提出 復習 : 授業中の活動を振り返る 第 14 回 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 7 Have you been there? (pp.42~47) Review & Activities 復習 : 授業中の活動を振り返る 第 15 回 予習 : 今まで授業で学んだことを振り返る 授業 : Review of Unit 1 What's your major? ~ Unit 7 Have you been there? (pp.6~47)、 これまで学んできた Unit1~7(pp.6~47)についてのまとめの講評 復習 : 自分の課題を見つけ対策を立てる								
授業開始前学習	学習予定の Unit の内容・単語の予習と小テストに向けての学習を必ず行うこと。映画・音楽・テレビ・新聞記事など、英語に触れる機会を多く持ち、国際的な事柄に積極的に興味を持つこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎時間授業の冒頭で小テストを行う。授業 7 回目、13 回目に提出するまとめについては、2 週間後（授業 9 回目、15 回目）に全体の講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	角山 昭彦、Simon Capper、『Let's Read Aloud & Learn English : On Campus』（成美堂）							
参考書	授業中に紹介する。							
評価の基準と方法	試験 60%、平常点 40%（小テスト、課題提出、Presentation、授業参加意欲）							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。テキスト忘れ、授業内での携帯使用等は授業参加意欲の減点対象とする。その他、1 回目の授業で説明する。欠席した回の授業内容はシラバスや配信資料等を確認し、各自フォローアップする。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 AIV		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishAIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	Rena Yoshida	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	R.ヨシダ	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	Required English AIV continues to integrate the four skills (listening, speaking, reading and writing), based on what students learned in AIII. Emphasis is placed on group works, discussions, presentations etc. to develop advanced functional ability in English. English AIV has a particular focus on further improving the productive skills of speaking and writing.		
到達目標	<p>English AIV aims to improve students' confidence and proficiency in their spoken and written English. Students speak and write various kinds of English using more complex syntax, receiving guidance where necessary.</p> <p>Each student will have many opportunities to:</p> <ul style="list-style-type: none"> - give a reasonably fluent description or presentation on a variety of subjects - understand the main points of clear standard speech on familiar matters - communicate with some confidence on familiar matters, and express thoughts on more abstract topics - utilize sufficient vocabulary to express ideas on a range of topics 		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第 1 回 予習 : Don't forget your textbook! 授業 : Unit 7 (pp.60-62): Life Events - vocabulary; listening; conversation 復習 : Vocabulary review</p> <p>第 2 回 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 7 (pp.63-67): Life Events - grammar; pair/group work; discussions 復習 : Grammar review</p> <p>第 3 回 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 8 (pp.68-70): Social Events - vocabulary; listening; conversation 復習 : Vocabulary review</p> <p>第 4 回 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 8 (pp.71-75): Social Events - grammar; pair/group work; discussions 復習 : Grammar review</p> <p>第 5 回 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 9 (pp.76-78): Problems and Advice - vocabulary; listening; conversation 復習 : Vocabulary review</p> <p>第 6 回 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 9 (pp.79-83): Problems and Advice - grammar; pair/group work; discussions 復習 : Grammar review</p> <p>第 7 回 予習 : preparation for Midterm Task 1 授業 : Midterm Task 1: Students submit a review of content learned in Units 7-9; Preparation for Midterm Task 2 復習 : Grammar & Vocabulary review</p> <p>第 8 回 予習 : preparation for Midterm Task 2 授業 : Midterm Task 2 (speaking): Students give individual presentations 復習 : Grammar & Vocabulary review</p> <p>第 9 回 予習 : Vocabulary 授業 : Students receive feedback on Midterm Task 1 (writing) and Task 2 (speaking); Unit 10 (pp.84-86): Telling Stories - vocabulary; listening; conversations 復習 : Vocabulary review</p>			

<p>第10回 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 10 (pp.87-91): Telling Stories - grammar; pair/group work; discussions 復習 : Grammar review</p> <p>第11回 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 11 (pp.92-94): World Issues - vocabulary; listening; conversation 復習 : Vocabulary review</p> <p>第12回 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 11 (pp.95-100): World Issues - grammar; group work; discussions 復習 : Grammar review</p> <p>第13回 予習 : preparation for Review quiz 授業 : Unit 12 (pp.100-107): Dreams and Goals - vocabulary; listening; grammar; pair/group work; discussions 復習 : Grammar & Vocabulary review</p> <p>第14回 予習 : preparation for Final Task 1 授業 : Final Task 1: Students submit a review of content learned in Units 10-12 復習 : Grammar & Vocabulary review</p> <p>第15回 予習 : preparation for Final Task 2 授業 : Final Task 2 (speaking): Students give individual presentations 復習 : Self reflection</p>								
授業開始前学習	Take every opportunity to encounter and enjoy English through movies, music, TV, the Internet, etc.							
授業内課題の フィードバックの方法	<p>- Each "Review Quiz"(weekly quiz given at the beginning of each class) will be marked and returned in the following week.</p> <p>- A written feedback will be provided for each Midterm and Final task.</p>							
テキスト・教材	English Firsthand 2 (Pearson) ISBN: 978-981-313-023-4							
参考書	Information will be given in class							
評価の基準と方法	Students are evaluated on a total of class participation points 40% (review quizzes, submitted assignments, effort & attitude) and midterm and final tasks 60% (midterm 30%& final 30%).							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	<p>出席重視。最低限必要な出席率: 2/3</p> <p>It is important for students to attend each class. Credit will not be given to students who miss more than a third of the classes. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival 30 minutes or more after the class has started will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class.</p>							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	英語 AIV		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishAIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	Mark Oseland	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	M.オーズランド	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	Required English AIV continues to integrate the four skills (listening, speaking, reading and writing), based on what students learned in AIII. We focus on group works, discussions, presentations etc. to develop advanced functional ability in English. English AIV has a particular focus on further improving the productive skills of writing and speaking.		
到達目標	Students speak and write various kinds of English using more complex syntax.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習 : Overview unit 9. Prepare a short speech about your summer vacation (2 minutes). 授業 : Unit 9; Only time will tell. Talking about change. pp.58-60. Pair-work, groupwork, discussions. 復習 : Review unit 9 pp.58-60.</p> <p>【第2回】 予習 : Overview unit 9 pp.61-63. 授業 : Unit 9 continued. pp.61-63. Pair-work, groupwork, writing exercise. 復習 : Review unit 9.</p> <p>【第3回】 予習 : Overview Unit 11 授業 : Unit 11; It's really worth seeing. Landmarks and world knowledge pp.72-74. Pair-work, groupwork, discussions. 復習 : Review Unit 11 pp.72-74.</p> <p>【第4回】 予習 : Overview Unit 11 pp.75-77 授業 : Unit 11 continued. pp.75-77. Pair-work, groupwork, discussions. 復習 : Review Unit 11</p> <p>【第5回】 予習 : Overview Unit 12. 授業 : Unit 12; It's a long story. Storytelling, unexpected past events. pp.78-80. Pair-work, groupwork, discussion. 復習 : Review unit 12 pp.78-80</p> <p>【第6回】 予習 : Overview Unit 12 pp.81-83 授業 : Unit 12 continued. Pp.81-83. Pair-work, groupwork, writing exercise, short presentation. 復習 : Review Unit 12.</p> <p>【第7回】 予習 : Review units 9,11-12. Prepare a short, written report. 授業 : General Comprehension exercises. 復習 : Reflect on personal performance and skills that need more work.</p> <p>【第8回】 予習 : Overview Unit 13. 授業 : Unit 13; That's entertainment! Describing movies and books. pp.86-88. Pair-work, groupwork. 復習 : Review Unit 13 pp.86-88</p> <p>【第9回】 予習 : Overview Unit 13 pp.89-91. 授業 : Unit 13 continued. pp.89-91. Pair-work, groupwork, writing exercise. 復習 : Review Unit 13</p> <p>【第10回】 予習 : Overview Unit 14. 授業 : Unit 14; Now I get it! Interpreting body language. Describing behavior. pp.92-94. Pair-work, groupwork. 復習 : Review Unit 14 pp.92-94</p> <p>【第11回】 予習 : Overview Unit 14 pp.95-97. 授業 : Unit 14 continued; pp95-97. Pair-work, groupwork, writing exercise. 復習 : Review Unit 14.</p> <p>【第12回】 予習 : Overview Unit 15. 授業 : Unit 15; I wouldn't have done that. Speculating about past and future. pp.100-102. Pair-work, groupwork. 復習 : Review pp.100-102</p> <p>【第13回】</p>			

<p>予習 : Overview Unit 15 pp.103-105. 授業 : Unit 15 continued; pp103-105. Pair-work, groupwork, writing exercise. 復習 : Review Unit 15. 【第14回】 予習 : Overview Unit 16. 授業 : Unit 16; Making Excuses. Reported speech, requests and statements. pp.106-111. Pair-work, groupwork. 復習 : Review unit 16. 【第15回】 予習 : Review units 13-16. Prepare a short, written report. 授業 : General comprehension exercises. 復習 : Reflect on personal performance and skills that need more work.</p>								
授業開始前学習	Prepare yourself to actively participate in classes in English. Consider your strong points and those that need improvement. Focus on topics that interest you, review vocabulary and listen to as much English as possible before the course.							
授業内課題のフィードバックの方法	Students take a quiz at the beginning of every class or submit assignments and comprehensive feedback on these will be provided. Any questions from individual students will be answered.							
テキスト・教材	Richards, R.C, Hull, J., Proctor, S., Interchange 2 Students Book (Cambridge: C.U.P., 2020) ISBN: 978-1-316-62032-6							
参考書								
評価の基準と方法	Students are evaluated on a total of class participation points 40% (mini tests, submitted coursework, presentations, class participation etc.) and regular examination 60%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目	This course follows on from the first semester course Required English AIII-f and uses the same textbook.							
その他	It is important for students to attend each class. Credit will not be given to students who miss more than a third of the classes. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival 30 minutes or more after the class has started will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class.							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 AIV		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishAIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	ミラーウエイン	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	W.ミラー	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	Required English AIV continues to integrate the four skills (listening, speaking, reading, and writing), based on what students learned in AIII. We focus on group work, discussions, presentations, etc., to develop advanced functional ability in English. English AIV has a particular focus on further improving the productive skills of writing and speaking. In principle, classes will be conducted entirely in English.		
到達目標	Students speak and write various kinds of English using more complex syntax.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第1回 予習： Read Unit 0 'Welcome to English Firsthand 1', p.8-11 授業： Course goals and structure will be explained. Q & A activities to get to know others. (pair work) 復習： Review notes</p> <p>第2回 予習： Read Unit 7 'Do you remember when...?', p.60-64 授業： Build vocabulary about life events to use in model dialogues (pair work) 復習： Review notes</p> <p>第3回 予習： Finish Reading Unit 7 'Do you remember when...?', p.65-67 授業： Grammar: Use irregular past tense verbs / Group work / Real Stories: 'My Gratitude Letter' 復習： Review notes / Do homework: Unit 7 Assignment in Google Classroom</p> <p>第4回 予習： Read Unit 8 'Let's have a get-together!', p.68-72 授業： Build vocabulary about social events to use in model dialogues (pair work) 復習： Review notes</p> <p>第5回 予習： Finish Reading Unit 8 'Let's have a get-together!', p.73-75 授業： Grammar: Use modal auxiliary verbs / Group work / Real Stories: 'How I Spend My Day' 復習： Review notes / Do homework: Unit 8 Assignment in Google Classroom</p> <p>第6回 予習： Read Unit 9 'What should I do?', p.76-80 授業： Build vocabulary about problems and advice to use in model dialogues (pair work) 復習： Review notes</p> <p>第7回 予習： Finish Reading Unit 9 'What should I do?', p.81-83 授業： Grammar: Use unreal conditionals / Group work / Real Stories: 'The Science of Happiness' 復習： Review notes / Do homework: Unit 9 Assignment in Google Classroom</p> <p>第8回 予習： Review all homework assignments and textbook p. 60-83 授業： Midterm Quiz of Unit 7 ~ Unit 9 復習： Review notes</p> <p>第9回 予習： Read Unit 10 'Tell me a story.', p.84-88 授業： Build vocabulary about telling stories to use in model dialogues (pair work) 復習： Review notes</p> <p>第10回 予習： Finish Reading Unit 10 'Tell me a story.', p.89-91 授業： Grammar: Use simple past, past continuous / Group work / Real Stories: 'What Does My Dream Mean' 復習： Review notes / Do homework: Unit 10 Assignment in Google Classroom</p> <p>第11回 予習： Read Unit 11 'In my opinion...', p.92-96 授業： Build vocabulary about world issues to use in model dialogues (pair work) 復習： Review notes</p> <p>第12回 予習： Finish Reading Unit 11 'In my opinion...', p.97-99 授業： Grammar: Use present perfect / Group work / Real Stories: 'Grave Apartments' 復習： Review notes / Do homework: Unit 11 Assignment in Google Classroom</p>			

<p>第 13 回 予習 : Read Unit 12 'It's my dream!', p.100-104 授業 : Build vocabulary about dreams and goals to use in model dialogues (pair work) 復習 : Review notes</p> <p>第 14 回 予習 : Finish Reading Unit 12 'It's my dream!', p.105-107 授業 : Grammar: Talk about future using will, be going to / Group work / Real Stories: 'My Five-Year Plan' 復習 : Review notes / Do homework: Unit 12 Assignment in Google Classroom</p> <p>第 15 回 予習 : Review all homework assignments and textbook p. 81-107 授業 : Final Quiz of Unit 10 ~ Unit 12 復習 : Complete course Questionnaire on the Komajo Portal.</p>								
授業開始前学習	Practice listening to spoken English through videos or audio recordings and read English books, magazines, or comics. Look up unknown words in a dictionary.							
授業内課題のフィードバックの方法	Both written and oral feedback will be provided to all students for tasks and assignments. Students are encouraged to ask questions, which the teacher will answer.							
テキスト・教材	English Firsthand 2 by Helgesen et al (Pearson Longman)							
参考書								
評価の基準と方法	Students are evaluated on a total of class participation points of 40% (mini tests, submitted coursework, presentations, class participation etc.) and regular examinations 60%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	It is important for students to attend each class. Credit will not be given to students who miss more than a third of the classes. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival 30 minutes or more after the class has started will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class.							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 AIV		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishAIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	K.バーンズ	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	K.バーンズ	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	The emphasis of this class will be on speaking. However, listening, reading and writing will also be developed. This class though, focuses on improving the productive skills of speaking. In principle, lessons are conducted in English. If we are online we will still do speaking using software.		
到達目標	Goal: Students will be able to communicate more freely in English at the end of this class.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第1回 予習 : Come prepared to talk about your summer vacation 授業 : Introduction/ Course goals/Talking about summer vacation - Pairwork 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>第2回 予習 : Read pp. 60-64 授業 : Life Events - Pairwork 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>第3回 予習 : Read pp. 65-67 授業 : Past Events - Pairwork and Discussion 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>第4回 予習 : Read pp. 68-71 授業 : Social Events - Pairwork and Group work 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>第5回 予習 : Read pp. 72-75 授業 : Obligations - Pairwork 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>第6回 予習 : Read pp. 76-79 授業 : Problems and Advice - Pairwork and Discussion 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>第7回 予習 : Read pp. 80-83 授業 : Possibilities - Pairwork and Discussion 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>第8回 予習 : Review all homework assignments 授業 : General review - Project Based Learning 復習 : Reread textbook pp.60-83</p> <p>第9回 予習 : Read pp. 84-86 授業 : Telling Stories - Project Based Learning 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>第10回 予習 : Read pp. 87-91 授業 : Talking about the past - Presentations 復習 : Review notes/ Do homework</p>			

第 11 回
 予習 : Read pp. 92-94
 授業 : World Issues - Pairwork
 復習 : Review notes/ Do homework

第 12 回
 予習 : Read pp. 95-99
 授業 : Talking about the present - Pairwork and Group Work
 復習 : Review notes/ Do homework

第 13 回
 予習 : Read pp. 100-103
 授業 : Dreams and Goals - Pairwork and Discussion
 復習 : Review notes/ Do homework

第 14 回
 予習 : Read pp. 104-107
 授業 : Predictions - Pairwork
 復習 : Review notes/ Do homework

第 15 回
 予習 : Review all homework assignments
 授業 : General review
 復習 : Reread textbook pp.60-107

授業開始前学習	Before the class starts students can prepare by listening to English recordings and reading English books, magazines or comics. Look up words in the dictionary.							
授業内課題の フィードバックの方法	Comprehensive feedback will be provided on coursework. Once class starts, evaluated homework assignments will be provided after each class to help students review and better understand the material.							
テキスト・教材	English Firsthand 2 by Helgesen et al (Pearson Longman)							
参考書								
評価の基準と方法	Students are evaluated on a total of class participation points of 40% (mini tests, submitted coursework, presentations, class participation etc.) and regular examinations 60%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目	English Conversation							
その他	It is important for students to attend each class. Credit will not be given to students who miss more than a third of the classes. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival after 30 minutes or more after the start of class will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class.							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	英語 AIV		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishAIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	リチャード バラダッド	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	R.バラダッド	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	<p>インタラクティブな練習を通じて英語の聞き取りと会話を体感します。英語 A IVでは、英語 A IIIで身につけた発展的な英語運用能力をさらに向上させるために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の4技能を効果的に統合したグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。特に「ライティング」と「スピーキング」という英語を発信する能力のさらなる向上を目標とする。</p>		
到達目標	<p>この授業では、さまざまな楽しく興味深いリスニングや発音、スピーキングアクティビティ（個人、ペア、グループアクティビティなど）を通して、英語を話す力、および理解力を向上させることに焦点を当てます。複雑な構文を使って、主体的に英文を書いたり英語を話したりできる。</p>		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第1回 予習 : Purchase textbook 授業 : Introductions and course overview 復習 : Review classmate introductions / Preview new vocabulary</p> <p>第2回 予習 : New vocabulary 授業 : Unit 7: Past experiences (pp. 60-64) 復習 : Review notes / Do homework</p> <p>第3回 予習 : Review vocabulary 授業 : Unit 7: A meaningful experience (pp. 65-67), group work 復習 : GC short writing 1 / do GC video presentation Unit 7</p> <p>第4回 予習 : New vocabulary 授業 : Unit 8: Making plans (pp. 68-72), pair work, Unit 7 quiz 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>第5回 予習 : Review vocabulary 授業 : Unit 8: Obligations (pp. 73-75), group work 復習 : GC Short writing 2 / do GC video presentation Unit 8</p> <p>第6回 予習 : New vocabulary 授業 : Unit 9: Talking about possibilities (pp. 76-79), pair work, Unit 8 quiz 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>第7回 予習 : Review vocabulary / Review 授業 : Unit 9: Giving advice (pp. 80-83), group work 復習 : Do homework/review 64-83 for mid-term quiz</p> <p>第8回 予習 : Prepare for quiz 授業 : Quiz for units 7-9 / Speaking exercise in pairs 復習 : Preview Unit 10/ Do homework</p> <p>第9回 予習 : New vocabulary 授業 : Unit 10: Telling stories (pp. 84-88), pair work 復習 : Review notes/ Do homework</p>			

<p>第 10 回 予習 : Review vocabulary 授業 : Unit 10: Talking about the past (pp. 89-91), group work 復習 : GC short writing 3</p> <p>第 11 回 予習 : New vocabulary 授業 : Unit 11: Agreeing and disagreeing (pp. 92-96), Unit 10 quiz 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>第 12 回 予習 : Review vocabulary 授業 : Unit 11: Discussing a controversial issue (pp. 97-99), group work 復習 : GC short writing 4</p> <p>第 13 回 予習 : New vocabulary 授業 : Unit 12: Talking about dreams & goals (pp. 100-104), pair work, Unit 11 Quiz 復習 : Review notes / Do homework / Do GC video presentation Unit 12</p> <p>第 14 回 予習 : Review vocabulary 授業 : Unit 12 Predictions (pp.105-107), group work 復習 : Do homework / review 84-107 for quiz</p> <p>第 15 回 予習 : Prepare for quiz 授業 : Quiz for units 10-12 / Speaking exercise in pairs 復習 : Do Portal evaluations in class (after quiz)</p>								
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎時間授業の冒頭で小テストを行う。授業 7 回目、1 3 回目に提出するまとめについては、2 週間後（授業 9 回目、1 5 回目）に全体の講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	English Firsthand 2, 5th Edition, Pearson							
参考書								
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト、課題提出、プレゼンテーション、授業態度など）及び定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始 30 分以上の遅刻は欠席をみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 AIV		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishAIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	サイモン・スティーブンス	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	S.スティーブンス	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	Required English A IV integrates the four skills (listening, speaking, reading and writing). We build on the skills learnt in the first year classes. We focus on pair/group work, discussions, surveys and presentations to develop students functional ability in using everyday, practical English.		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. Students' communicative ability will be developed through guided pair and group discussion activities (using the target language in a meaningful way, linking classroom language learning to real-world activities). 2. They will learn an extensive range of communicative activity types including interviews, surveys, class presentations and mini projects. 3. Students will also develop listening skills through listening to a variety of scripted and authentic audio/video material. 4. Vocabulary learning methods and record keeping skills will also be developed. 		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第 1 回 予習 : Don't forget your textbook ! Bring your notebook for classwork and vocabulary work. 授業 : Class orientation; Personal information - discussion on summer holidays. 復習 : Vocabulary review/Homework.</p> <p>第 2 回 予習 : Do assigned tasks : Warm up unit questions p59 /Reading p62. 授業 : Unit 6 Consumerism pp. 59-63 (vocabulary, listening and discussions). 復習 : Vocabulary review/homework.</p> <p>第 3 回 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Unit 6 Consumerism pp. 63-70 (video, discussion and project work). 復習 : Vocabulary review/Homework.</p> <p>第 4 回 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Unit 7 Art pp. 71-74 (vocabulary, listening and discussions). 復習 : Vocabulary review/Homework.</p> <p>第 5 回 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Unit 7 Art pp. 75-78 (video, discussion and project work). 復習 : Vocabulary review/Homework.</p> <p>第 6 回 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Unit 8 Collaboration pp. 79-82 (vocabulary, listening and discussions). 復習 : Vocabulary review/Homework.</p> <p>第 7 回 予習 : Preparation for Mid-term Poster Presentations. 授業 : Unit 8 Collaboration pp. 83-86 (video, discussion and project work). 復習 : Vocabulary review/Homework.</p> <p>第 8 回 予習 : Prepare for Mid-term Poster presentations. 授業 : Mid-term Poster presentations. 復習 : Vocabulary review/Homework.</p> <p>第 9 回 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Students receive feedback on Poster presentations. Unit 9 Survival pp. 91-95 (vocabulary, listening and discussions). 復習 : Vocabulary review/Homework.</p> <p>第 10 回 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Unit 9 Survival pp.96-98 (video, discussion and project work). 復習 : Vocabulary review/Homework.</p>			

<p>第 11 回 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Unit 10 Innovation pp.99-102 (vocabulary, listening and discussions). 復習 : Vocabulary review/Homework.</p> <p>第 12 回 予習 : Do assigned tasks. 授業 : Unit 10 innovation pp.103-110 (video, discussion and project work). 復習 : Vocabulary review preparation/ Homework.</p> <p>第 13 回 予習 : Preparation for Final Vocabulary Review. 授業 : Final vocabulary review. 復習 : Poster presentations preparation.</p> <p>第 14 回 予習 : Preparation for Final Speaking Poster Presentations. 授業 : Final Speaking Task : Poster presentations based on units 6-10. 復習 : Vocabulary review and self reflections on their presentations.</p> <p>第 15 回 予習 : Preparation for Final Speaking Poster Presentations. 授業 : Final Speaking Task : Poster presentations based on units 6-10. 復習 : Feedback on class presentations.</p>								
授業開始前学習	Before class students can try to review vocabulary, use graded readers, and do listening activities using various listening websites. Also try to take every opportunity to encounter and enjoy English through movies, music, TV, and the Internet.							
授業内課題のフィードバックの方法	There will be teacher oral/written feedback on assignments and homework. Additionally, there will be development of students' peer to peer feedback, particularly with presentations.							
テキスト・教材	INSPIRE 3 by Nancy Douglas and Andrew Boon ISBN: 978-1-133-96342-4							
参考書								
評価の基準と方法	Students are evaluated on a total of class participation points 40% (review quizzes, submitted assignments, effort & attitude) and regular examinations 60% (midterm & final tasks).							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	Attendance is very important because it is part of your participation grade. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival 30 minutes or more after the class has started will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class. It is a communication class, so it is important to interact with the teacher, each other and express your opinions. This will build your confidence.							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 AIV		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishAIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	Z.モハツラミプール	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	Z. モハツラミプール	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	Required English AIV continues to integrate the four skills (listening, speaking, reading and writing), based on what students learned in AIII. We focus on group works, discussions, presentations etc. to develop advanced functional ability in English. English AIV has a particular focus on further improving the productive skills of writing and speaking.		
到達目標	Students speak and write various kinds of English using more complex syntax.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：Prepare to talk about your summer break. 授業：Talk about summer, pair work and groupwork. 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第2回】 予習：Read pages 60-64. 授業：Unit 7 Talking about the past, personal experiences. Vocabulary, Listening, pair work. 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第3回】 予習：Read pages 65-67. 授業：Unit 7 Talking about the past, personal experiences. Grammar, Group work, Real Stories. 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第4回】 予習：Rad pages 68-72. 授業：Unit 8 Planning an event. Vocabulary, Listening, pair work. 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第5回】 予習：Read pages 73-75. 授業：Unit 8 Planning an event. Grammar, Group work, Real Stories. 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第6回】 予習：Read pages 76-80. 授業：Unit 9 Asking for/giving advice. Vocabulary, Listening, pair work. 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第7回】 予習：Read pages 81-83. 授業：Unit 9 Asking for/giving advice. Grammar, Group work, Real Stories. 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第8回】 予習：Review all homework assignments. 授業：General review and quiz 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第9回】 予習：Read pages 84-88. 授業：Unit 10 Storytelling. Vocabulary, Listening, pair work. 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第10回】 予習：Read pages 89-91. 授業：Unit 10 Storytelling. Grammar, Group work, Real Stories. 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第11回】 予習：Read pages 92-96. 授業：Unit 11 Agreeing and disagreeing. Vocabulary, Listening, pair work. 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第12回】 予習：Read pages 97-99. 授業：Unit 11 Agreeing and disagreeing. Grammar, Group work, Real Stories. 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第13回】</p>			

<p>予習 : Read pages 100-104. 授業 : Unit 12 Future plans and dreams. Vocabulary, Listening, pair work. 復習 : Review notes / Do homework 【第14回】 予習 : Read pages 105-107. 授業 : Unit 12 Future plans and dreams. Grammar, Group work, Real Stories. 復習 : Review notes / Do homework 【第15回】 予習 : Review all homework assignments. 授業 : Final review and quiz 復習 : Review notes</p>								
授業開始前学習	Take every opportunity to encounter English through movies, music, TV, newspapers etc. Use a dictionary to check the meaning of words and phrases that interest you.							
授業内課題のフィードバックの方法	Students take a quiz at the beginning of every class or submit assignments, and comprehensive feedback on these will be provided. Any questions from individual students will be answered.							
テキスト・教材	English Firsthand Level 2 (5th edition)							
参考書	Students are evaluated on a total of class participation points 40% (mini tests, submitted coursework, presentations, class participation etc.) and regular examination 60%.							
評価の基準と方法	Students are evaluated on a total of class participation points 40% (mini tests, submitted coursework, presentations, class participation etc.) and regular examination 60%.							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	It is important for students to attend each class. Credit will not be given to students who miss more than a third of the classes. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival 30 minutes or more after the class has started will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class.							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 AIV		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishAIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	M.ブラウン	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	M.ブラウン	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	前期 月曜日 13:00~14:30 水曜日 13:00~14:30 後期 月曜日 13:00~14:30 水曜日 13:00~14:30	研究室	10-619
授業概要	Required EnglishA IV continues to integrate the four skills (listening, speaking, reading and writing), based on what students learned in A III. We focus on group works, discussions, presentations etc. to develop advanced functional ability in English. EnglishA IV has a particular focus on further improving the productive skills of writing and speaking.		
到達目標	Students speak and write various kinds of English using more complex syntax.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：Come prepared to talk about you summer break 授業：Introduction to the course and course goals, talk about summer, Pairwork and Groupwork 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第2回】 予習：Read pages 59-63 in the textbook 授業：Life events, Pairwork and Discussion 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第3回】 予習：Read pages 64-66 授業：Past events, Groupwork and Discussion 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第4回】 予習：Read pages 67-70 授業：Social events, Pairwork and Groupwork 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第5回】 予習：Read pages 71-74 授業：Obligations, Pairwork and Discussion 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第6回】 予習：Read pages 75-78 授業：Advice, Pairwork and Groupwork 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第7回】 予習：Read pages 79-82 授業：Possibilities, Groupwork and Discussion 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第8回】 予習：Review all homework assignments 授業：General review and mid-term quiz, Discussion 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第9回】 予習：Read pages 83-86 授業：Telling stories, Groupwork and Discussion 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第10回】 予習：Read pages 87-90 授業：Talking about the past, Pairwork and Discussion 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第11回】 予習：Read pages 91-95 授業：World Issues, Pairwork and Discussion 復習：Review notes / Do homework</p> <p>【第12回】 予習：Read pages 96-98 授業：Talking about the present, Pairwork and Groupwork 復習：Review notes / Do homework</p>			

<p>【第13回】 予習：Read pages 99-103 授業：Dreams and Goals, Pairwork and Discussion 復習：Review notes / Do homework 【第14回】 予習：Read pages 104-106 授業：Predictions, Pairwork 復習：Review notes / Do homework 【第15回】 予習：Review all homework assignments 授業：Final review and quiz, Discussion 復習：Review notes</p>								
授業開始前学習	Take every opportunity to encounter English through movies, music, TV, newspapers etc. Use a dictionary to check the meaning of words and phrases that interest you.							
授業内課題のフィードバックの方法	Students take a quiz at the beginning of every class or submit assignments, and comprehensive feedback on these will be provided. Any questions from individual students will be answered.							
テキスト・教材	Nice Talking With You 2							
参考書								
評価の基準と方法	Students are evaluated on a total of class participation points 40% (mini tests, submitted coursework, presentations, class participation etc.) and regular examination 60%.							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	It is important for students to attend each class. Credit will not be given to students who miss more than a third of the classes. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival 30 minutes or more after the class has started will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class.							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 AIV		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishAIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	遠藤 玲奈	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	遠藤 玲奈	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 A IVでは、英語 A IIIで身につけた発展的な英語運用能力をさらに向上させるために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の4技能を効果的に統合したグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。特に「ライティング」と「スピーキング」という英語を発信する能力のさらなる向上を目標とする。		
到達目標	複雑な構文を使って、主体的に英文を書いたり英語を話したりできる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第1回 予習：Unit 8 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 8（前半：pp. 57-60）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。今学期の目標を立てる</p> <p>第2回 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 8（後半：pp. 61-63）グループワーク、Unit 8（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第3回 予習：Unit 9 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 9（前半：pp. 64-67）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする</p> <p>第4回 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 9（後半：pp. 68-70）グループワーク、Unit 9（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第5回 予習：Unit 10 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 10（前半：pp. 71-74）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする</p> <p>第6回 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 10（後半：pp. 75-77）グループワーク、Unit 10（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第7回 予習：Unit 11 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 11（前半：pp. 78-81）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする</p> <p>第8回 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 11（後半：pp. 82-84）グループワーク、Unit 3（全体）小テスト、後期前半の振り返り 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第9回 予習：Unit 12 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 12（前半：pp. 85-88）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする</p> <p>第10回 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 12（後半：pp. 89-91）グループワーク、Unit 12（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第11回 予習：Unit 13 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 13（前半：pp. 92-95）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする</p> <p>第12回 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 13（後半：pp. 96-98）グループワーク、Unit 13（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る</p>			

<p>第 13 回 予習：Unit 14 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 14（前半：pp. 99-102）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする</p> <p>第 14 回 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 14（後半：pp. 103-105）グループワーク、Unit 14（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 15 回 予習：今まで授業で学んだことを振り返る 授業：後期後半の振り返り 復習：自分の課題を見つけ対策を立てる</p>								
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。また、学習予定の Unit の内容・単語の予習と小テストの準備を必ず行うこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	2 週に 1 回、各 Unit の学習を終えたところで小テストを行う。翌週、返却時に解説を行う。授業 8 回目、15 回目に授業内容の復習を行い、クラスおよび個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	Tadashi Shiozawa, Adam Martinelli『Activator Next』（金星堂）							
参考書	授業内で適宜紹介する。							
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト、課題提出、授業態度等）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 AIV		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishAIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	佐々木 千恵	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	佐々木 千恵	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 A IV では、英語 A III で身につけた発展的な英語運用能力をさらに向上させるために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の 4 技能を効果的に統合したグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。特に「ライティング」と「スピーキング」という英語を発信する能力のさらなる向上を目標とする。		
到達目標	複雑な構文を使って、主体的に英文を書いたり話したりできる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第 1 回 予習 : Lesson7 p42-44 の知らない単語は意味調しておく。 授業 : Lesson7 p42-44 を CD で聞き、語彙チェック、文法確認、内容把握、リスニング、ライティング。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p> <p>第 2 回 予習 : Lesson7 p45-47 の知らない単語は意味調しておく。 授業 : 前回のチェックテスト。Lesson7 p45-46 の exercise をやる。p47 の Activities でペアワーク、ライティング練習。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p> <p>第 3 回 予習 : Lesson8 p48-50 の知らない単語は意味調しておく。 授業 : 前回のチェックテスト。Lesson7 のチェックテスト。Lesson8 p48-50 を CD で聞き、語彙チェック、文法確認、内容把握、リスニング、ライティング。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p> <p>第 4 回 予習 : Lesson8 p51-53 の知らない単語は意味調しておく。 授業 : 前回のチェックテスト。Lesson8 p51-52 の exercise をやる。p53 の Activities でペアワーク、ライティング練習。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p> <p>第 5 回 予習 : Lesson9 p54 を音読し、p54-56 の知らない単語は意味調しておく。 授業 : 前回のチェックテスト。Lesson9p54 を CD で聞き、音読。p19、20 の語彙チェック、文法確認、内容把握、リスニング、ライティング。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p> <p>第 6 回 予習 : Lesson9 p57-59 の知らない単語は意味調しておく。 授業 : 前回のチェックテスト返却・解説。Lessonp57-58 の exercise をやる。p59 の Activities でペアワーク、ライティング練習。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p> <p>第 7 回 予習 : Lesson10 p60--62 の知らない単語は意味調しておく。 授業 : 前回のチェックテスト。Lesson10 p60-62 を CD で聞き、語彙チェック、文法確認、内容把握、リスニング、ライティング。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p> <p>第 8 回 予習 : ここまでの授業を総復習する。 授業 : 後期前半の振り返り。 復習 : 自分の弱点を見極めて重点的に復習をする。</p> <p>第 9 回 予習 : Lesson10 p63-65 の知らない単語は意味調しておく。 授業 : Lesson10 p63-64 の exercise をやる。p65 の Activities でペアワーク、ライティング練習。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p> <p>第 10 回 予習 : Lesson11 p66-68 の知らない単語は意味調しておく。 授業 : 前回のチェックテスト。Lesson11 p66-68 を CD で聞き、語彙チェック、文法確認、内容把握、リスニング、ライティング。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p> <p>第 11 回 予習 : Lesson11 p69-71 の知らない単語は意味調しておく。 授業 : 前回のチェックテスト返却・解説。Lesson11 p69-70 の exercise をやる。p71 の Activities でペアワーク、ライティング練習。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p> <p>第 12 回 予習 : Lesson12 p72-75 の知らない単語は意味調しておく。 授業 : 前回のチェックテスト。Lesson12p72-75 の語彙チェック、文法確認、内容把握、リスニング、ライティング。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p>			

<p>第 13 回 予習 : Lesson12 p76-77 の知らない単語は意味調しておく。 授業 : 前回のチェックテスト返却・解説。Lesson12 p76-77 でペアワーク、ライティング練習。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p> <p>第 14 回 予習 : Lesson 13p78-82 の知らない単語は意味調しておく。 授業 : 前回のチェックテスト。Lesson13 p78-82 の語彙チェック、文法確認、内容把握、リスニング、ライティング。 復習 : 授業で扱った文を繰り返し音読しフレーズの定着を図る。</p> <p>第 15 回 予習 : 今まで授業で学んだことを振り返る 授業 : 後期後半の振り返り。 復習 : 自分の課題を見つけ対策を立てる</p>								
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる。							
授業内課題の フィードバックの方法	適宜小テストを行い、知識の定着を図る。それを次の授業で返却するさいに各自が弱点を認識できるように指導する。							
テキスト・教材	『Make it simple』 Kazuko Morita 他。三修社							
参考書	特にありません。							
評価の基準と方法	平常点 40% (小テスト、課題提出、Presentation、授業態度等) および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 3 0 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	英語 AIV		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishAIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	岸山 健	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	岸山 健	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 A IVでは、英語 A IIIで身につけた発展的な英語運用能力をさらに向上させるために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の4技能を効果的に統合したグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。特に「ライティング」と「スピーキング」という英語を発信する能力のさらなる向上を目標とする。		
到達目標	複雑な構文を使って、主体的に英文を書いたり話したりできる。与えられたトピックに対して 150 単語以上のエッセイを書ける。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第 1 回】 予習：いままでの英語学習の振り返り 授業：オリエンテーション（1. 到達目標 2. 授業の進め方 3. 評価方法の共有、アンケートの実施など） 復習：到達目標と各回のテーマの確認</p> <p>【第 2 回】 予習：Unit 8 の Targets (Listening と Target) の確認、Reading から新出単語/表現の書き出し 授業：Targets の確認（教科書 pp.51－53）、ペアワーク(Conversation) 復習：新出単語、フレーズの確認</p> <p>【第 3 回】 予習：Unit 8 の Grammar Exercise と Reading の確認 授業：Grammar Exercise の解説（教科書 pp.54－56）とグループワーク(テーマに関する意見交換) 復習：新出単語、フレーズの確認</p> <p>【第 4 回】 予習：Unit 9 の Targets (Listening と Target) の確認、Reading から新出単語/表現の書き出し 授業：Targets の確認（教科書 pp.57－59）、ペアワーク(Conversation) 復習：新出単語、フレーズの確認</p> <p>【第 5 回】 予習：Unit 9 の Grammar Exercise と Reading の確認 授業：Grammar Exercise の解説（教科書 pp.60－62）とグループワーク(テーマに関する意見交換) 復習：新出単語、フレーズの確認</p> <p>【第 6 回】 予習：Unit 10 の Targets (Listening と Target) の確認、Reading から新出単語/表現の書き出し 授業：Targets の確認（教科書 pp.63－68）、ペアワーク(Conversation) 復習：新出単語、フレーズの確認</p> <p>【第 7 回】 予習：Unit 11 の Grammar Exercise と Reading の確認 授業：Grammar Exercise の解説（教科書 pp.69－74）とグループワーク、これまで学んできた項目についてのまとめ提出 復習：新出単語、フレーズの確認</p> <p>【第 8 回】 予習：後期前半の授業内容の復習 授業：後期前半のまとめ、フィードバック、アンケートの実施 復習：フィードバックの確認</p> <p>【第 9 回】 予習：Unit 12 の Targets (Listening と Target) の確認、Reading から新出単語/表現の書き出し 授業：Targets の確認（教科書 pp.75－77）、ペアワーク(Conversation)、これまで学んできた項目についてのまとめの講評 復習：新出単語、フレーズの確認</p> <p>【第 10 回】 予習：Unit 12 の Grammar Exercise と Reading の確認 授業：Grammar Exercise の解説（教科書 pp.78－80）とグループワーク(テーマに関する意見交換) 復習：新出単語、フレーズの確認</p> <p>【第 11 回】 予習：Unit 13 の Targets (Listening と Target) の確認、Reading から新出単語/表現の書き出し 授業：Targets の確認（教科書 pp.81－83）、ペアワーク(Short Passages) 復習：新出単語、フレーズの確認</p> <p>【第 12 回】 予習：Unit 13 の Grammar Exercise と Reading の確認 授業：Grammar Exercise の解説（教科書 pp.84－86）とグループワーク(テーマに関する意見交換) 復習：新出単語、フレーズの確認</p> <p>【第 13 回】</p>			

予習 : Unit 14 の Targets (Listening と Target) の確認、Grammar Exercise 授業 : Targets の確認 (教科書 pp.87-92) 、Grammar Exercise の解説とペアワーク(Short Passages) 復習 : 新出単語、フレーズの確認 【第 14 回】 予習 : Unit 15 の Targets (Listening と Target) の確認、Grammar Exercise 授業 : Targets の確認 (教科書 pp.93-98) 、Grammar Exercise の解説とペアワーク(Short Passages) 復習 : 新出単語、フレーズの確認 【第 15 回】 予習 : 後期後半の授業内容の復習 授業 : 後期後半のまとめ、フィードバック、これまで学んできた項目についてのまとめの講評、アンケートの実施 復習 : フィードバックの確認								
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。また、指定した範囲にあるわからない単語があれば調べること。							
授業内課題のフィードバックの方法	小テストに関しては毎時間コメントする。							
テキスト・教材	【 タイトル 】 Trend Scope / 読んで発信、社会のいま 【 ISBN 】 9784791972654							
参考書								
評価の基準と方法	平常点 40% (小テスト、課題提出、授業態度等) および定期試験 (レポート) 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 AIV		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishAIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	江連 成美	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	江連 成美	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 A IVでは、英語 A IIIで身につけた発展的な英語運用能力をさらに向上させるために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の4技能を効果的に統合したグループワーク、プレゼンテーション等の活動を行う。特に「ライティング」と「スピーキング」という英語を発信する能力のさらなる向上を目標とする。		
到達目標	複雑な構文を使って、主体的に英文を書いたり英語を話したりできる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習： Unit 7 - Vocabulary 1 授業： Unit 7： Not Feeling So Good(pp.57-61) (ペアワーク) 復習： Unit 1 - Review (Google Classroom)</p> <p>【第2回】 予習： Unit 7 - Vocabulary 2 授業： Unit 7： Not Feeling So Good (pp.62-64) (グループワーク) 復習： Unit 7 - Writing about when you were sick</p> <p>【第3回】 予習： Unit 8 - Vocabulary 1 授業： Unit 8： The Big Screen (pp. 65-69) (ペアワーク) 復習： Unit 2 - Review (Google Classroom)</p> <p>【第4回】 予習： Unit 8 - Vocabulary 2 授業： Unit 8： The Big Screen (pp. 70-72) (グループワーク) 復習： Unit 8 - Write a Movie Review</p> <p>【第5回】 予習： Unit 9 - Vocabulary 1 授業： Unit 9： How do you Feel? (pp. 73-77) (ペアワーク) 復習： Unit 9 - Review (Google Classroom)</p> <p>【第6回】 予習： Unit 9 - Vocabulary 2 授業： Unit 9： How do you Feel? (pp. 78-80) (グループワーク) 復習： Unit 9 - My Scary Experience</p> <p>【第7回】 予習： Unit 7~9 で学習した語彙や文法を復習する 授業： 後期前半の振り返り 復習： Unit 7~9 で理解できていなかった点を整理しておく</p> <p>【第8回】 予習： Unit 10 - Vocabulary 1 授業： Unit 10： All in Good Fun (pp. 81-85) (ペアワーク) 復習： Unit 10 - Review (Google Classroom)</p> <p>【第9回】 予習： Unit 10 - Vocabulary 2 授業： Unit 10： All in Good Fun (pp. 86-88) (グループワーク) 復習： Unit 10 - Write an E-mail</p> <p>【第10回】 予習： Unit 11 - Vocabulary 1 授業： Unit 11： Game Time (pp. 89-93) (ペアワーク) 復習： Unit 11 - Review (Google Classroom)</p> <p>【第11回】 予習： Unit 11 - Vocabulary 2 授業： Unit 11： Game Time (pp. 94-96) (グループワーク) 復習： Unit 11 - Write a Profile</p> <p>【第12回】 予習： Unit 12 - Vocabulary 1 授業： Unit 12： Rain or Shine (pp. 97-101) (ペアワーク) 復習： Unit 12 - Review (Google Classroom)</p> <p>【第13回】</p>			

予習：Unit 14 - Vocabulary 1 授業：Unit 14 : School Life (pp. 113-117) (ペアワーク) 復習：Unit 14 - Review 【第 14 回】 予習：Unit 14 - Vocabulary 2 授業：Unit 14 : School Life (pp. 118-120) (グループワーク) 復習：Unit 14 - Giving Directions 【第 14 回】 予習：Unit 10~14 で学習した語彙や文法を復習する 授業：後期後半の振り返り 復習：一年を通して学習した項目を整理する								
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。							
授業内課題の フィードバックの方法	隔週で授業冒頭で小テストを行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材	テキスト名：New Connection Book 1 出版社：成美堂 ※前期に購入したテキストを引き続き使います。							
参考書	特になし。							
評価の基準と方法	平常点 40% (小テスト、課題提出、Presentation、授業態度等) および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の3分の1以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻3回で欠席1回とみなす。講義開始後30分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1回目の授業で説明する。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	英語 AIV		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishAIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	浅川 真知子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	浅川 真知子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	前期 水曜日 09:00～10:30 木曜日 10:30～12:00 後期 水曜日 09:00～10:30 木曜日 10:30～12:00	研究室	10-603
授業概要	英語 A IVでは、英語 A IIIで身につけた発展的な英語運用能力をさらに向上させるために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の4技能を効果的に統合したグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。特に「ライティング」と「スピーキング」を中心に英語を発信する能力のさらなる向上を目標とする。		
到達目標	複雑な構文を使って、英文を書いたり英語を話したりできる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第1回 予習：前期の学習をふまえて今学期の目標を立てる、Unit 9の Warm-up (p.43) に目を通す 授業：Unit 9 “Health”に関する語句・表現を練習する（ペアワーク） 復習：学習した語句・表現を復習する</p> <p>第2回 予習：Unit 1 0の Warm-up (p.47) に目を通す 授業：Unit 1 0 “Clothes”に関する語句・表現を練習する（ペアワーク） 復習：学習した語句・表現を復習する</p> <p>第3回 予習：Unit 9, 1 0の単語を覚える 授業：Unit 9, 1 0に関する語句・表現を練習する（グループワーク） 復習：学習した語句・表現を復習する</p> <p>第4回 予習：Unit 1 1の Warm-up (p.51) に目を通す 授業：Unit 1 1 “Traveling”に関する語句・表現を練習する（ペアワーク） 復習：学習した語句・表現を復習する</p> <p>第5回 予習：Unit 1 2の Warm-up (p.55) に目を通す 授業：Unit 1 2 “Music”に関する語句・表現を練習する（ペアワーク） 復習：学習した語句・表現を復習する</p> <p>第6回 予習：Unit 1 1, 1 2の単語を覚える 授業：Unit 1 1, 1 2に関する語句・表現を練習する（グループワーク） 復習：学習した語句・表現を復習する</p> <p>第7回 予習：Unit 9～1 2の復習 授業：第1回～第6回の学習の振り返り、課題提出、self-assessment 復習：課題点を明らかにする</p> <p>第8回 予習：Unit 1 3の Warm-up (p.59) に目を通す 授業：Unit 1 3 “Movies”に関する語句・表現を練習する（ペアワーク） 復習：学習した語句・表現を復習する</p> <p>第9回 予習：Unit 1 4の Warm-up (p.63) に目を通す 授業：Unit 1 4 “Shopping”に関する語句・表現を練習する（ペアワーク） 復習：学習した語句・表現を復習する</p> <p>第10回 予習：Unit 1 3, 1 4の単語を覚える 授業：Unit 1 3, 1 4に関する語句・表現を練習する（グループワーク） 復習：学習した語句・表現を復習する</p> <p>第11回 予習：Unit 1 5の Warm-up (p.67) に目を通す 授業：Unit 1 5 “Internet”に関する語句・表現を練習する（ペアワーク） 復習：学習した語句・表現を復習する</p> <p>第12回 予習：Unit 1 6の Warm-up (p.71) に目を通す 授業：Unit 1 6 “Weather”に関する語句・表現を練習する（ペアワーク） 復習：学習した語句・表現を復習する</p>			

<p>第 13 回 予習：Unit 1 5, 1 6 の単語を覚える 授業：Unit 1 5, 1 6 に関する語句・表現を練習する（グループワーク） 復習：学習した語句・表現を復習する</p> <p>第 14 回 予習：Unit 1 3～1 6 の復習 授業：第 8 回～第 1 3 回の学習の振り返り、最終プレゼンテーション①、self-assessment, peer-assessment を行う、課題提出 復習：課題点を明らかにする</p> <p>第 15 回 予習：Unit 1 3～1 6 の復習 授業：第 8 回～第 1 3 回の学習の振り返り、最終プレゼンテーション②、self-assessment, peer-assessment を行う 復習：後期の学習を振り返り、次年度の目標を立てる</p>								
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。							
授業内課題の フィードバックの方法	小テスト・課題・活動に対するフィードバックはその都度授業中や返却時に行う。							
テキスト・教材	“English Listening and Speaking Patterns 1” Andrew E. Bennett, 南雲堂							
参考書	授業で適宜紹介する。							
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト・課題提出・授業内活動）、および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 3 0 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	英語 AIV		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishAIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	薬師 英子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	薬師 英子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 A IVでは、英語 A IIIで身につけた発展的な英語運用能力をさらに向上させるために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の4技能を効果的に統合したグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。特に「ライティング」と「スピーキング」という英語を発信する能力のさらなる向上を目標とする。		
到達目標	複雑な構文を使って、主体的に英文を書いたり話したりできる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：自分の英語学習を振り返る 授業：Talk About Summer Vacation / Review of the first term & Introduction グループワーク 復習：家庭学習を考える</p> <p>【第2回】 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 8 Could you tell me how to get there? (pp.48~53)〈助動詞〉道順を尋ねる／感謝する グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>【第3回】 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 8 Could you tell me how to get there? (pp.48~53) Review & Activity 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>【第4回】 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 9 What do you want me to do? (pp.54~59)〈不定詞〉問題点を述べる／依頼する グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>【第5回】 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 9 What do you want me to do? (pp.54~59) Review & Activity 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>【第6回】 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 10 I'm on a tight budget. (pp.60~65) 〈関係詞〉理由を述べる／理解を示す グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>【第7回】 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 11 What do you think of this program? (pp.66~71) 〈形容詞・副詞〉意見を尋ねる／励ます グループワーク、これまで学んできた Unit 8~11(pp.48~71)についてのまとめ提出 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>【第8回】 予習：ここまでの授業を総復習する 授業：後期前半のまとめをする 復習：まとめを振り返る</p> <p>【第9回】 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 12 I'm reviewing what I studied. (pp.72~77)〈接続詞・前置詞〉近況を尋ねる／確信を示す、これまで学んできた Unit 8 Could you tell me how to get there? ~Unit 12 I'm reviewing what I studied. (pp.48~77)についてのまとめの講評 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>【第10回】 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 12 I'm reviewing what I studied (pp.72~77) Review & Activity 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>【第11回】 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 13 Final exam week is so stressful! (pp.78~83)〈動名詞〉賛同する／不安を示す 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>【第12回】 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 13 Final exam week is so stressful! (pp.78~83) Review & Activity</p>			

<p>復習：授業中の活動を振り返る 【第13回】 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 14 Is this your first trip abroad? (pp.84~89)〈分詞〉相槌を打つ／予定を尋ねる グループワーク、これまで学んできた Unit 8 Could you tell me how to get there? ~ Unit 14 Is this your first trip abroad?(pp.48~89)についてのまとめ提出 復習：授業中の活動を振り返る 【第14回】 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 15 What would you like to order? (pp.90~95)〈比較〉希望を尋ねる／注文する グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る 【第15回】 予習：今まで授業で学んだことを振り返る 授業：Overall Review、これまで学んできた Unit 8~15(pp.48~95)についてのまとめの講評 復習：自分の課題を見つけ対策を立てる</p>								
授業開始前学習	学習予定の Unit の内容・単語の予習と小テストに向けての学習を必ず行うこと。映画・音楽・テレビ・新聞記事など、英語に触れる機会を多く持ち、国際的な事柄に積極的に興味を持つこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎時間授業の冒頭で小テストを行う。授業 7 回目、13 回目提出するまとめについては、2 週間後（授業 9 回目、15 回目）に全体の講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	角山 照彦、Simon Capper、『Let's Read Aloud & Learn English : On Campus』（成美堂）							
参考書	授業中に紹介する。							
評価の基準と方法	試験 60%、平常点 40%（小テスト、課題提出、Presentation、授業参加意欲）							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。テキスト忘れ、授業内での携帯電話使用等は授業参加意欲の減点対象とする。その他、1 回目の授業で説明する。欠席した回の授業内容はシラバスや配信資料等を確認し、各自フォローアップする。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 B I		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	English B I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	境 奈津希	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	境 奈津希	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 B I では、基礎的な英語を読むのに必要な力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の基礎的な運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	基本的な構文で書かれた英文を、複数回にわたり聞き取りをすると、理解できる。基本的な構文で書かれた英文を、時間をかけて読むと理解できる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第 1 回 予習： Vocabulary Preparation（教科書 p.3） 授業： Unit 1（教科書 p.1-6）（グループワーク・ディスカッション） 復習： 授業で学んだ文法、語彙を復習する</p> <p>第 2 回 予習： Vocabulary Preparation（教科書 p.3） 授業： Unit 1（教科書 p.1-6）（グループワーク・ディスカッション） 復習： 授業で学んだ文法、語彙を復習する</p> <p>第 3 回 予習： Vocabulary Preparation（教科書 p.9） 授業： Unit 2（教科書 p.7-12）（グループワーク・ディスカッション） 復習： 授業で学んだ文法、語彙を復習する</p> <p>第 4 回 予習： Vocabulary Preparation（教科書 p.9,15） 授業： Unit 2-3（教科書 p.7-18）（グループワーク・ディスカッション） 復習： 授業で学んだ文法、語彙を復習する</p> <p>第 5 回 予習： Vocabulary Preparation（教科書 p.15） 授業： Unit 3（教科書 p.13-18）（グループワーク・ディスカッション） 復習： 授業で学んだ文法、語彙を復習する</p> <p>第 6 回 予習： Vocabulary Preparation（教科書 p.21） 授業： Unit 4（教科書 p.19-24）（グループワーク・ディスカッション） 復習： 授業で学んだ文法、語彙を復習する</p> <p>第 7 回 予習： Vocabulary Preparation（教科書 p.21） 授業： Unit 4（教科書 p.19-24）（グループワーク・ディスカッション） 復習： 授業で学んだ文法、語彙を復習する</p> <p>第 8 回 予習： 前期前半の授業で学んだことを復習する 授業： 前期前半の振り返り 復習： 前期前半の授業で学んだことを復習する</p> <p>第 9 回 予習： Vocabulary Preparation（教科書 p.27） 授業： Unit 5（教科書 p.25-30）（グループワーク・ディスカッション） 復習： 授業で学んだ文法、語彙を復習する</p> <p>第 10 回 予習： Vocabulary Preparation（教科書 p.27） 授業： Unit 5（教科書 p.25-30）（グループワーク・ディスカッション） 復習： 授業で学んだ文法、語彙を復習する</p> <p>第 11 回 予習： Vocabulary Preparation（教科書 p.33） 授業： Unit 6（教科書 p.31-36）（グループワーク・ディスカッション） 復習： 授業で学んだ文法、語彙を復習する</p> <p>第 12 回 予習： Vocabulary Preparation（教科書 p.33） 授業： Unit 6（教科書 p.31-36）（グループワーク・ディスカッション） 復習： 授業で学んだ文法、語彙を復習する</p>			

<p>第 13 回 予習： Vocabulary Preparation (教科書 p.45) 授業： Unit 7 (教科書 p.37-42) (グループワーク・ディスカッション) 復習： 授業で学んだ文法、語彙を復習する</p> <p>第 14 回 予習： Vocabulary Preparation (教科書 p.45) 授業： Unit 7 (教科書 p.37-42) (グループワーク・ディスカッション) 復習： 授業で学んだ文法、語彙を復習する</p> <p>第 15 回 予習： 前期後半の授業で学んだことを復習する 授業： 前期後半のふりかえり 復習： この授業を通して学んだことを復習する</p>								
授業開始前学習	中学校、高等学校で学んだことを再確認しておきましょう。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎時間授業冒頭で小テストを行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材	"English Challenger: リーディングに役立つ基本英文法" Kyoko Okamoto, Benedict Rowlett, Aya Kinoshita, Sara Ellis. 成美堂							
参考書	授業内で適宜配布します。							
評価の基準と方法	平常点 40% (小テスト、課題提出等) および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 B I		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishB I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	津村 早紀	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	津村 早紀	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 B I では、基礎的な英語を読むのに必要な力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の基礎的な運用能力向上のために、リスニングや、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	基本的な構文で書かれた英文を、複数回にわたり聞き取りをすると、理解できる。基本的な構文で書かれた英文を、時間をかけて読むと理解できる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第 1 回 予習：シラバスで授業内容を確認する 授業：ガイダンス（授業についての説明や事前指導、テキストについて）、Unit 1 Cross-Cultural Understanding (1) pp. 2-5 復習：第 1 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 2 回 予習：テキスト p. 6 Reading Focus に目を通しておく 授業：Unit 1 Cross-Cultural Understanding (2) pp. 4-7（解答確認時にグループワーク等を含む） 復習：第 2 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 3 回 予習：テキスト p.9 Listening Focus に目を通しておく 授業：Unit 2 Foods (1) pp. 8-11 復習：第 3 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 4 回 予習：テキスト p. 12 Reading Focus に目を通しておく 授業：Unit 2 Foods (2) pp. 10-13（解答確認時にグループワーク等を含む） 復習：第 4 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 5 回 予習：テキスト p.15 Listening Focus に目を通しておく 授業：Unit 3 Foreign Language Learning (1) pp. 14-17 復習：第 5 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 6 回 予習：テキスト p. 18 Reading Focus に目を通しておく 授業：Unit 3 Foreign Language Learning (2) pp. 16-19（解答確認時にグループワーク等を含む） 復習：第 6 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 7 回 予習：前期前半（Unit 1- Unit 3）の振り返り 授業：Unit 4 Sports (1) pp. 20-23、前期前半の振り返り 復習：第 7 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 8 回 予習：テキスト p. 24 Reading Focus に目を通しておく 授業：前期前半の振り返りについての講評、Unit 4 Sports (2) pp. 22-25 復習：第 8 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 9 回 予習：テキスト p.27 Listening Focus に目を通しておく 授業：Unit 5 Fashion (1) pp. 26-29 復習：第 9 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 10 回 予習：テキスト p. 30 Reading Focus に目を通しておく 授業：Unit 5 Fashion (2) pp. 28-31（解答確認時にグループワーク等を含む） 復習：第 10 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 11 回 予習：テキスト p.33 Listening Focus に目を通しておく 授業：Unit 6 Living Things (1) pp.32-35 復習：第 11 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 12 回 予習：テキスト p. 36 Reading Focus に目を通しておく 授業：Unit 6 Living Things (2) pp.34-37（解答確認時にグループワーク等を含む） 復習：第 12 回の授業中の活動を振り返る</p>			

<p>第 13 回 予習：テキスト p.39 Listening Focus に目を通しておく 授業：Unit 7 Art (1) pp. 38-41（解答確認時にグループワーク等を含む） 復習：第 13 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 14 回 予習：前期後半（Unit 4- Unit 7）の振り返り 授業：Unit 7 Art (2) pp. 40-43、前期後半の振り返り 復習：第 14 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 15 回 予習：テキスト p.45 Listening Focus に目を通しておく 授業：前期後半の振り返りについての講評、Unit 8 Global Issues (1) pp. 44-47 復習：第 15 回の授業中の活動を振り返る</p>								
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる。							
授業内課題の フィードバックの方法	授業 7 回目、14 回目に行う振り返りについては、それぞれ 1 週間後（授業 8 回目、15 回目）に講評を行い、質問に回答する。 毎時間授業冒頭で小テストを行い、収集時に確認する。また、課題提出を適宜行い、収集時に確認する。							
テキスト・教材	VELC 研究会教材開発グループ / 静哲人 / 望月正道 / 熊澤孝昭 編著 『AMBITIONS: Intermediate 4 技能統合型で学ぶ英語コース：中級編』 ISBN：978-4-7647-4056-3 （金星堂）							
参考書	英和辞典、英英辞典。その他、参考書がある場合は、適宜授業中に指示する。							
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト、課題提出、授業態度等）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	英語 B I		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishB I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	川上 真巳子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	川上 真巳子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 B I では、基礎的な英語を読むのに必要な力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の基礎的な運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	基本的な構文で書かれた英文を、複数回にわたり聞き取りをすると、理解できる。基本的な構文で書かれた英文を、時間をかけて読むと理解できる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第 1 回 予習：これまでの英語学習を振り返る。 授業：オリエンテーション（課題解決型学習のための自習の重要性と授業内容について） 復習：今後の学習の確認</p> <p>第 2 回 予習：Chapter 1 の指定箇所を読んでくる。Pre-Reading Questions 授業：Chapter 1 Smokey Bear: A Mascot with a Message / Reading, Comprehensive Questions & Summary 復習：既習個所の読みなおし</p> <p>第 3 回 予習：Grammar 接続詞 授業：Grammar 接続詞 , Dialogue, & Now it's Your Turn! ペアまたはグループワーク 復習：復習テスト準備</p> <p>第 4 回 予習：Chapter 2 の指定箇所を読んでくる。Pre-Reading Questions 授業：Chapter 1 復習テスト Chapter 2 Overtourism is a Problem ! / Reading, Comprehensive Questions & Summary 復習：既習個所の読みなおし</p> <p>第 5 回 予習：Grammar 現在形 授業：Grammar 現在形 , Dialogue & Now it's Your Turn! ペアまたはグループワーク 復習：復習テスト準備</p> <p>第 6 回 予習：Chapter 3 の指定箇所を読んでくる。Pre-Reading Questions 授業：Chapter 2 復習テスト Chapter 3: Gender Equality in the Workplace/ Reading, Comprehensive Questions & Summary 復習：既習個所の読みなおし</p> <p>第 7 回 予習：Grammar 助動詞 授業：Grammar 助動詞, Dialogue & Now it's Your Turn! ペアまたはグループワーク 復習：復習テスト準備</p> <p>第 8 回 予習：Unit 1~3 の復習 授業：前期前半の振り返り 復習：授業で学んだことを見直す。</p> <p>第 9 回 予習：Chapter 4 指定箇所を読んでくる。Pre-Reading Questions 授業：Chapter 4 : Changing Definitions of Beauty / Reading, Comprehensive Questions & Summary 復習：既習個所の読みなおし</p> <p>第 10 回 予習：Grammar 進行形 授業：Grammar 進行形, Dialogue, & Now it's Your Turn! ペアまたはグループワーク 復習：復習テスト準備</p>			

第 11 回

予習： Chapter 5 の指定箇所を読んでくる。Pre-Reading Questions

授業： Chapter 4 復習テスト Chapter 5： Romeo & Juliet： A Tragic Story about Intolerance / Reading, Comprehensive Questions & Summary

復習： 既習箇所の読みなおし

第 12 回

予習： Chapter 5 Grammar 過去形

授業： Grammar 過去形, Dialogue & Now it's Your Turn! ペアまたはグループワーク

復習： 復習テスト準備

第 13 回

予習： 自分の担当部分について調べる。

授業： Chapter 5 復習テスト グループワーク

復習： 調べた箇所を発展させる。

第 14 回

予習： グループ発表練習

授業： グループ発表

復習： Refelction Paper の提出準備

第 15 回

予習： Unit 4~5

授業： 前期後半の振り返り

復習： 授業で学んだことを見直す。

授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる。							
授業内課題の フィードバックの方法	各課終了後、次の授業冒頭で小テストを行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材	"Changing Times, Changing Worlds," Joan McConnell, Kiyoshi Yamaguchi, Seibido							
参考書	英和辞書、英英辞書							
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト、課題提出、Presentation、授業態度等）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の3分の1以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻3回で欠席1回とみなす。講義開始後30分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1回目の授業で説明する。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	英語 B I		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	English B I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	小室 竜也	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	小室 竜也	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 B I では、基礎的な英語を読むのに必要な力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の基礎的な運用能力向上のために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の 4 技能を効果的に統合した学習活動を行う。英語のより深い理解を目的とし、授業では「課題解決型学習」および「発見学習」を取り入れ、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	基本的な構文で書かれた英文を、複数回にわたり聞き取りをすると、理解できる。基本的な構文で書かれた英文を、時間をかけて読むと理解できる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
(授業の形態によってシラバスから大きく変更がある可能性があります)			
【第 1 回】 予習：自身の英語力に関して振り返る、シラバスの確認 授業：オリエンテーション（授業の目的や授業の進め方、予習の仕方等について） 復習：授業形式についての確認			
【第 2 回】 予習：教科書の Preview と Vocabulary を確認 授業：教科書 Unit 1 復習：授業で学習した単語・表現・文法を確認			
【第 3 回】 予習：教科書 Unit 1 の本文の音読 授業：教科書 Unit 1 の本文の Gap-filling, Sentence-Writing, Group Chat 復習：授業で学習した単語・表現・文法を確認			
【第 4 回】 予習：教科書の Preview と Vocabulary を確認 授業：教科書 Unit 2 復習：授業で行った活動における単語・表現等の復習			
【第 5 回】 予習：教科書 Unit 2 の本文の音読 授業：教科書 Unit 2 の本文の Gap-filling, Discussion 復習：授業で学習した単語・表現・文法を確認			
【第 6 回】 予習：教科書の Preview と Vocabulary を確認 授業：教科書 Unit 3 復習：授業で行った活動における単語・表現等の復習			
【第 7 回】 予習：教科書 Unit 3 の本文の音読 授業：教科書 Unit 3 の本文の Gap-filling, Sentence-Writing, Group Chat 復習：間違えた問題を解き直し、授業で学習した単語・表現・文法を確認			
【第 8 回】 予習：これまでに学習した内容の振り返り 授業：前期前半の振り返り 復習：間違えた問題を解き直し、授業で学習した単語・表現・文法を確認			
【第 9 回】 予習：教科書の Preview と Vocabulary を確認 授業：教科書 Unit 4 復習：授業で学習した単語・表現・文法を確認			
【第 10 回】 予習：教科書 Unit 4 の本文の音読 授業：教科書 Unit 4 の本文の Gap-filling, Discussion 復習：授業で学習した単語・表現・文法を確認			
【第 11 回】 予習：教科書の Preview と Vocabulary を確認 授業：教科書 Unit 5 復習：授業で学習した単語・表現・文法を確認			

<p>【第 12 回】 予習 : 教科書 Unit 5 の本文の音読 授業 : 教科書 Unit 5 の本文の Gap-filling, Sentence-Writing, Group Chat 復習 : 授業で学習した単語・表現・文法を確認</p> <p>【第 13 回】 予習 : 教科書の Preview と Vocabulary を確認 授業 : 教科書 Unit 6 復習 : 授業で行った活動における単語・表現等の復習</p> <p>【第 14 回】 予習 : 教科書 Unit 6 の本文の音読 授業 : 教科書 Unit 6 の本文の Gap-filling, Discussion 復習 : 授業で学習した単語・表現・文法を確認</p> <p>【第 15 回】 予習 : これまでに学習した内容の振り返り 授業 : 前期後半の振り返り 復習 : 間違えた問題を解き直し、授業で学習した単語・表現・文法を確認</p>								
授業開始前学習	高校で学習した単語や表現・文法等をひととおり復習しておく授業が理解しやすい。また、映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業内課題の解説を Google Classroom に掲示し、全体で適宜確認する。							
テキスト・教材	卯城祐司・名畑目真吾・長谷川佑介・木村雪乃・濱田彰・Peter Serafin・Xanthe Smith Serafin 著『Reading Cycle 循環型で学ぶ英語リーディング演習』金星堂							
参考書	安井稔『英文法総覧』開拓社 江川泰一郎『英文法解説』金子書房 吉川美夫『考える英文法』ちくま学芸文庫 野村益寛『英文法の考え方 英語学習者のための認知英文法講義』							
評価の基準と方法	平常点 40% (小テスト、課題提出、Presentation、授業態度等) および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 B I		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	English B I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	遠藤 玲奈	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	遠藤 玲奈	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 B I では、基礎的な英語を読むのに必要な力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の基礎的な運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	基本的な構文で書かれた英文を、複数回にわたり聞き取りをすると、理解できる。基本的な構文で書かれた英文を、時間をかけて読むと理解できる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第 1 回 予習：シラバスを読んでおく。テキストと辞書（電子辞書可）を用意する 授業：オリエンテーション（授業概要、到達目標、授業の進め方について）、グループワーク 復習：授業中に説明を受けた授業概要、到達目標、授業の進め方をもとに、今学期の目標を立てる</p> <p>第 2 回 予習：Unit 1 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 1（前半：pp. 9-13）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 3 回 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 1（後半：pp. 14-16）グループワーク、Unit 1（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 4 回 予習：Unit 2 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 2（前半：p. 17-21）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする</p> <p>第 5 回 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 2（後半：pp. 22-24）グループワーク、Unit 2（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 6 回 予習：Unit 3 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 3（前半：pp. 25-29）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする</p> <p>第 7 回 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 3（後半：pp. 30-32）グループワーク、Unit 3（全体）小テスト、前期前半の振り返り 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 8 回 予習：Unit 4 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 4（前半：pp. 33-37）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする</p> <p>第 9 回 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 4（後半：pp. 38-40）グループワーク、Unit 4（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 10 回 予習：Unit 5 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 5（前半：pp. 41-45）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする</p> <p>第 11 回 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 5（後半：pp. 46-48）グループワーク、Unit 5（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 12 回 予習：Unit 6 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 6（前半：pp. 49-53）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする</p>			

<p>第 13 回 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 6（後半：pp. 54-56）グループワーク、Unit 6（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 14 回 予習：Unit 7 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 7（前半：pp. 57-61）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする</p> <p>第 15 回 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 7（後半：pp. 62-64）グループワーク、Unit 7（全体）小テスト、前期後半の振り返り 復習：自分の課題を見つけ対策を立てる</p>								
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。また、学習予定の Unit の内容・単語の予習と小テストの準備を必ず行うこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	2 週に 1 回、各 Unit の学習を終えたところで小テストを行う。翌週、返却時に解説を行う。授業 7 回目、15 回目に授業内容の復習を行い、クラスおよび個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	Atsushi Iino, Sayo Nakamura, Brian Wistner, Toshihiko Wada, Yukiko Yabuta『Voice Your Opinion』（金星堂）							
参考書	授業内で適宜紹介する。							
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト、課題提出、授業態度等）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 B I		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishB I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	鈴木 悠理	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	鈴木 悠理	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 B I では、基礎的な英語を読むのに必要な力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の基礎的な運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	基本的な構文で書かれた英文を、複数回にわたり聞き取りをすることで理解できる。基本的な構文で書かれた英文を、時間をかけて読むと理解できる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>〈第 1 回〉 予習：シラバスを確認する。テキストと辞書（電子辞書可）を用意する。 授業：ガイダンス（授業概要、到達目標、授業の進め方について） 復習：授業で説明を受けたガイダンスをもとに、前期の目標を立てる。</p> <p>〈第 2 回〉 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 1（前半）グループワーク 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。</p> <p>〈第 3 回〉 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。 授業：Unit 1（後半）グループワーク、Unit 1（全体）小テスト</p> <p>〈第 4 回〉 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 2（前半）グループワーク 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。</p> <p>〈第 5 回〉 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。 授業：Unit 2（後半）グループワーク、Unit 2（全体）小テスト 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。</p> <p>〈第 6 回〉 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 3（前半）グループワーク 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。</p> <p>〈第 7 回〉 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。 授業：Unit 3（後半）グループワーク、Unit 3（全体）小テスト、前期前半の振り返り 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。</p> <p>〈第 8 回〉 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 4（前半）グループワーク 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。</p> <p>〈第 9 回〉 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。 授業：Unit 4（後半）グループワーク、Unit 4（全体）小テスト 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。</p> <p>〈第 10 回〉 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 5（前半）グループワーク 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。</p> <p>〈第 11 回〉 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。 授業：Unit 5（後半）グループワーク、Unit 5（全体）小テスト 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。</p> <p>〈第 12 回〉 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 6（前半）グループワーク 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。</p> <p>〈第 13 回〉 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。</p>			

<p>授業：Unit 6（後半）グループワーク、Unit 6（全体）小テスト 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。 〈第 14 回〉 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 7（前半）グループワーク 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。 〈第 15 回〉 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。 授業：Unit 7（後半）グループワーク、Unit 7（全体）小テスト、前期後半の振り返り 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。前期で得た自分の強みと今後の課題を明らかにする。</p>								
授業開始前学習	時事ニュースや文化（映画・音楽・ファッションなど）を通して英語に触れる機会を持つこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	2 週に 1 回、各 Unit の学習を終えたところで小テストを行う。翌週、返却時に解説を行う。授業 7 回目、15 回目に授業内容の復習を行い、クラスおよび個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	Arnold Arano、三原京、巴波義典、木村博是『Answers to Everyday Questions 2 〈Pre-Intermediate〉身近な不思議を英語で学ぶ〈準中級〉』（南雲堂）							
参考書	英和辞典・和英辞典は必須（電子辞典可）。その他は授業内で適宜紹介する。							
評価の基準と方法	平常点 40%（授業参加態度、小テスト、課題提出など）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業の 3 分の 1 以上を欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。その他、公欠についてなどは第 1 回の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 B I		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishB I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	池上 俊彦	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	池上 俊彦	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	本授業では、実践的英語力の育成のために、TOEIC 試験で一定の得点を取得できる英語力を身につけることを目指す。ただし、問題演習に終始するのではなく、英語の基礎的な運用能力向上のために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の4技能を効果的に統合したグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。		
到達目標	基本的な構文で書かれた英文を、複数回にわたり聞き取りをすると、理解できる。基本的な構文で書かれた英文を、時間をかけて読むと理解できる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
毎時間ペアワーク等を適宜行う			
1回 予習：シラバスを確認しておく 授業：Introduction 復習：新出単語と文法項目の暗記			
2回 予習：リーディングセクションの音読 授業：Chapter 1 The Country of Diversity (pp. 10-13) 復習：新出単語と文法項目の暗記			
3回 予習：リーディングセクションの音読 授業：Chapter 1 The Country of Diversity (pp. 14-15) 復習：新出単語と文法項目の暗記			
4回 予習：リーディングセクションの音読 授業：Chapter 2 England, Wales, Scotland, and Northern Ireland (pp. 16-19) 復習：新出単語と文法項目の暗記			
5回 予習：リーディングセクションの音読 授業：Chapter 2 England, Wales, Scotland, and Northern Ireland (pp. 20-21) 復習：新出単語と文法項目の暗記			
6回 予習：リーディングセクションの音読 授業：Chapter 3 The Power of the Commonwealth (pp. 22-25) 復習：新出単語と文法項目の暗記			
7回 予習：リーディングセクションの音読 授業：Chapter 3 The Power of the Commonwealth (pp. 26-27)、課題提出 復習：新出単語と文法項目の暗記			
8回 予習：リーディングセクションの音読 授業：前期前半の振り返り 復習：新出単語と文法項目の暗記			
9回 予習：リーディングセクションの音読 授業：Chapter 4 The Birth of Cultural Studies in the UK (pp. 28-31)、提出課題のおさらい（グループワーク） 復習：新出単語と文法項目の暗記			
10回 予習：リーディングセクションの音読 授業：Chapter 4 The Birth of Cultural Studies in the UK (pp. 32-33) 復習：新出単語と文法項目の暗記			
11回 予習：リーディングセクションの音読 授業：Chapter 5 The Languages of the UK (pp. 36-39) 復習：新出単語と文法項目の暗記			
12回 予習：リーディングセクションの音読 授業：Chapter 5 The Languages of the UK (pp. 40-41)			

復習：新出単語と文法項目の暗記 13回 予習：リーディングセクションの音読 授業：Chapter 6 The Development of Journalism in the UK (pp. 42-45)、課題提出 復習：新出単語と文法項目の暗記 14回 予習：リーディングセクションの音読 授業：Chapter 6 The Development of Journalism in the UK (pp. 46-47) 復習：新出単語と文法項目の暗記 15回 予習：リーディングセクションの音読 授業：前期後半の振り返り、提出課題のおさらい（グループワーク） 復習：新出単語と文法項目の暗記								
授業開始前学習	英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を辞書で調べる。教科書のリーディングセクションの音読。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業 7 回目、13 回目に提出する課題については、2 週間後（授業 9、15 回目）に全体の講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	原田範行、Andrew Houwen、森田彰 『Aspects of British Culture: Academic Approaches 真実のイギリス文化、社会、芸術そして科学』 金星堂、2022 年。(ISBN 978-4-7647-4149-2) 適宜プリント							
参考書								
評価の基準と方法	授業態度と課題提出 40% テスト 60%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 B I		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishB I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	岸山 健	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	岸山 健	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 B I では、基礎的な英語を読むのに必要な力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の基礎的な運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	基本的な構文で書かれた英文を、複数回にわたり聞き取りをすると、理解できる。基本的な構文で書かれた英文を、時間をかけて読むと理解できる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第 1 回 予習： Introduction を読んでおく 授業： 授業の目標と評価の説明 復習： 教科書の進め方の確認</p> <p>第 2 回 予習： 内容理解課題の作成 授業： Unit 1 A Dream for all Nations (p.9-11) 復習： 内容と語彙の復習</p> <p>第 3 回 予習： 議論の準備 授業： Unit 1 A Dream for all Nations (p.11-14) 復習： 議論の整理</p> <p>第 4 回 予習： 内容理解課題の作成 授業： Unit 2 Brain Drain (p.15-18) 復習： 内容と語彙の復習</p> <p>第 5 回 予習： 議論の準備 授業： Unit 2 Brain Drain (p.18-21) 復習： 議論の整理</p> <p>第 6 回 予習： 内容理解課題の作成 授業： Unit 3 Cosmetic Tourism (p.21-24) 復習： 内容と語彙の復習</p> <p>第 7 回 予習： 議論の準備 授業： Unit 3 Cosmetic Tourism (p.24-27) 復習： 議論の整理</p> <p>第 8 回 予習： 前期前半の復習 授業： 中間試験と前期前半の振り返り 復習： 内容の再確認</p> <p>第 9 回 予習： 内容理解課題の作成 授業： Unit 4 Changing Breakfasts (p.27-30) 復習： 内容と語彙の復習</p> <p>第 10 回 予習： 議論の準備 授業： Unit 4 Changing Breakfasts (p.30-33) 復習： 議論の整理</p> <p>第 11 回 予習： 内容理解課題の作成 授業： Unit 5 Modern Love (p.33-36) 復習： 内容と語彙の復習</p> <p>第 12 回 予習： 議論の準備 授業： Unit 5 Modern Love (p.36-39) 復習： 議論の整理</p> <p>第 13 回 予習： 内容理解課題の作成 授業： Unit 6 Special Need (p.39-42) 復習： 内容と語彙の復習</p> <p>第 14 回 予習： 議論の準備 授業： Unit 6 Special Need (p.42-45) 復習： 議論の整理</p> <p>第 15 回 予習： 前期前半の復習 授業： 期末試験と前期後半の振り返り 復習： 内容の再確認</p>			
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる。		
授業内課題の	課題提出を適宜行い、返却時に確認する。		

フィードバックの方法								
テキスト・教材	【 タイトル 】 Reading for Bright Future 明るい未来を拓く英語リーディング 【 ISBN 】 9784523179450							
参考書								
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト、課題提出、Presentation、授業態度等） および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 B I		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishB I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	金沢 じゅん	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	金沢 じゅん	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 B I では、基礎的な英語を読むのに必要な力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の基礎的な運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	基本的な構文で書かれた英文を、複数回にわたり聞き取りをすると、理解できる。基本的な構文で書かれた英文を、時間をかけて読むと理解できる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第 1 回】 予習：シラバスの確認 授業：オリエンテーション（授業の目的や進め方や評価、課題について）と Chapter 1（pp.8-10）、適宜、グループワークやディスカッションを行う。 復習：授業形式についての確認と該当箇所を振り返る</p> <p>【第 2 回】 予習：小テストの準備 授業：Chapter 1（pp.11-12）、適宜、グループワークやディスカッションを行う。 復習：該当箇所を振り返る</p> <p>【第 3 回】 予習：小テストの準備 授業：Chapter 2（pp.13-15）、適宜、グループワークやディスカッションを行う。 復習：該当箇所を振り返る</p> <p>【第 4 回】 予習：小テストの準備 授業：Chapter 2（pp.16-17）、適宜、グループワークやディスカッションを行う。 復習：該当箇所を振り返る</p> <p>【第 5 回】 予習：小テストの準備 授業：Chapter 3（pp.18-20）、適宜、グループワークやディスカッションを行う。 復習：該当箇所を振り返る</p> <p>【第 6 回】 予習：小テストの準備 授業：Chapter 3（pp.21-22）、適宜、グループワークやディスカッションを行う。 復習：該当箇所を振り返る</p> <p>【第 7 回】 予習：既習箇所を振り返る 授業：前半の振り返り 復習：既習箇所を振り返る</p> <p>【第 8 回】 予習：小テストの準備 授業：Chapter 4（pp.23-25）、適宜、グループワークやディスカッションを行う。 復習：該当箇所を振り返る</p> <p>【第 9 回】 予習：小テストの準備 授業：Chapter 4（pp.26-27）、適宜、グループワークやディスカッションを行う。 復習：該当箇所を振り返る</p> <p>【第 10 回】 予習：小テストの準備 授業：Chapter 5（pp.28-30）、適宜、グループワークやディスカッションを行う。 復習：該当箇所を振り返る</p> <p>【第 11 回】 予習：小テストの準備 授業：Chapter 5（pp.31-32）、適宜、グループワークやディスカッションを行う。 復習：該当箇所を振り返る</p> <p>【第 12 回】 予習：小テストの準備 授業：Chapter 6（pp.33-35）、適宜、グループワークやディスカッションを行う。 復習：該当箇所を振り返る</p> <p>【第 13 回】</p>			

<p>予習：小テストの準備 授業：Chapter 6 (pp.36-37)、適宜、グループワークやディスカッションを行う。 復習：該当箇所を振り返る 【第14回】 予習：小テストの準備 授業：Chapter 7 (pp.38-42)、適宜、グループワークやディスカッションを行う。 復習：該当箇所を振り返る 【第15回】 予習：既習箇所を振り返る 授業：後半の振り返り 復習：既習箇所を振り返る</p> <p>* 進捗状況により変更の可能性がある。</p>								
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を辞書で調べる。							
授業内課題の フィードバックの方法	小テストや演習問題は授業内で解説する。 ライティング課題等は添削し、返却時に確認する。							
テキスト・教材	Dian H. Nagatomo 著『CHAT AND SHARE! TOPIC STARTERS FOR TODAY'S STUDENTS』（金星堂）							
参考書	英和・英英辞典							
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト、課題提出、アクティビティへの参加、授業態度等）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の3分の1以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻3回で欠席1回とみなす。講義開始後30分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1回目の授業で説明する。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	英語 B I		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishB I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	中川 優一	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	中川 優一	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 B I では、基礎的な英語を読むのに必要な力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の基礎的な運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	基本的な構文で書かれた英文を、複数回にわたり聞き取りをすると、理解できる。基本的な構文で書かれた英文を、時間をかけて読むと理解できる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第 1 回 予習：今まで学習した英語（特に単語と英文法）を見直しておく。 授業：オリエンテーション（今後の授業方針について、成績評価基準の説明等）</p> <p>第 2 回 予習：Unit 1 (Getting Up, P12-14)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 1 (Getting Up, P12-14) Vocabulary, Grammar, Listening およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 2 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。</p> <p>第 3 回 予習：Unit 1 (Getting Up, P15-17)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 1 (Getting Up, P15-17) Reading, Writing およびそれに付随したグループワーク・ディスカッション。 復習：第 3 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。</p> <p>第 4 回 予習：Unit 2 (Breakfast Time, P18-20)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 2 (Breakfast Time, P18-20) Vocabulary, Grammar, Listening およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 4 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。</p> <p>第 5 回 予習：Unit 2 (Breakfast Time, P21-23)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 2 (Breakfast Time, P21-23) Reading, Writing およびそれに付随したグループワーク・ディスカッション。 復習：第 5 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。</p> <p>第 6 回 予習：Unit 3 (Getting Ready for School, P24-26)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 3 (Getting Ready for School, P24-26)Vocabulary, Grammar, Listening およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 6 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。</p> <p>第 7 回 予習：Unit 3 (Getting Ready for School, P27-29)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 3 (Getting Ready for School, P27-29) Reading, Writing およびそれに付随したグループワーク・ディスカッション。 復習：第 7 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。</p> <p>第 8 回 予習：第 1 回～第 7 回までの復習 授業：中間試験を行う。 復習：解けなかった問題の確認。</p> <p>第 9 回 予習：Unit 4 (First Class of the Day, P30-32)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：中間試験のフィードバック及び Unit 4 (First Class of the Day, P30-32)Vocabulary, Grammar, Listening およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 9 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。</p> <p>第 10 回 予習：Unit 4 (First Class of the Day, P33-35)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 4 (First Class of the Day, P33-35) Reading, Writing およびそれに付随したグループワーク・ディスカッション。 復習：第 10 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。</p>			

第 11 回

予習：Unit 5 (Lunchtime, P36-38)概観し、わからない単語等を調べておく。

授業：Unit 5 (Lunchtime, P36-38) Vocabulary, Grammar, Listening およびそれに付随したグループワーク。

復習：第 11 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。

第 12 回

予習：Unit 5 (Lunchtime, P39-41)を概観し、わからない単語等を調べておく。

授業：Unit 5 (Lunchtime, P39-41) Reading, Writing およびそれに付随したグループワーク・ディスカッション。

復習：第 12 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。

第 13 回

予習：Unit 6 (Shopping, P42-44)を概観し、わからない単語等を調べておく。

授業：Unit 6 (Shopping, P42-44) Vocabulary, Grammar, Listening およびそれに付随したグループワーク。

復習：第 13 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。

第 14 回

予習：第 9 回～第 13 回までの復習

授業：期末試験を行う。

第 15 回

予習：期末試験の復習及び Unit 6 (Shopping, P45-47)を概観し、わからない単語等を調べておく。

授業：期末試験のフィードバック及び Unit 6 (Shopping, P45-47) Reading, Writing およびそれに付随したグループワーク・ディスカッション。

復習：フィードバックの確認及び後期に向けてわからなかった点の再確認。

授業開始前学習	高校までの英単語、英文法をできるだけ見直しておくこと。映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持ち、興味がある文章や単語を、辞書で調べること。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎時間授業の冒頭で小テストを行う。また、課題提出を適宜行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材	English Day! (2023) Robert Hickling, 金星堂							
参考書								
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト、課題提出、Presentation、授業態度等）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	その他 出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 3 0 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 B I		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishB I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	本村 万喜子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	本村 万喜子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 B I では、基礎的な英語を読むのに必要な力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の基礎的な運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	基本的な構文で書かれた英文を、複数回にわたり聞き取りをすると、理解できる。基本的な構文で書かれた英文を、時間をかけて読むと理解できる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>※ペアワークやディスカッションを含む回がある。</p> <p>第 1 回 予習：これまでの英語学習を振り返る 授業：オリエンテーション（授業のすすめ方について）、Unit1:名詞と冠詞(pp.5-7) 復習：授業のすすめ方を確認し、学習計画を立てる</p> <p>第 2 回 予習：Unit2 の内容を確認し、分からない単語は調べておく 授業：Unit2:2 語以上で動詞(V)の場合(pp.8-10) 復習：Unit2 の課題に取り組む</p> <p>第 3 回 予習：Unit3 の内容を確認し、分からない単語は調べておく 授業：Unit3:主語(S)と主部(pp.11-13) 復習：Unit3 の課題に取り組む</p> <p>第 4 回 予習：Unit4,5 の内容を確認し、分からない単語は調べておく 授業：Unit4:三単現の S(pp.14-16)、Unit5:過去形(過去分詞形)の作り方(pp.17-19) 復習：Unit4,5 の課題に取り組む</p> <p>第 5 回 予習：Unit6 の内容を確認し、分からない単語は調べておく 授業：Unit6:未来形と関連表現(pp.20-22) 復習：Unit6 の課題に取り組む</p> <p>第 6 回 予習：Unit7 の内容を確認し、分からない単語は調べておく 授業：Unit7:現在完了(pp.23-25) 復習：Unit7 の課題に取り組む</p> <p>第 7 回 予習：Unit1~7 の内容を確認する 授業：Unit1~7 の振り返り 復習：前期前半の学習を振り返り、前期後半の学習計画を立てる</p> <p>第 8 回 予習：Unit8 の内容を確認し、分からない単語は調べておく 授業：Unit8:進行形(pp.26-28) 復習：Unit8 の課題に取り組む</p> <p>第 9 回 予習：Unit9,10 の内容を確認し、分からない単語は調べておく 授業：Unit9:疑問文、否定文の作り方(pp.29-31)、Unit10:疑問詞を使った疑問文(pp.32-34) 復習：Unit9,10 の課題に取り組む</p> <p>第 10 回 予習：Unit11 の内容を確認し、分からない単語は調べておく 授業：Unit11:文の主要素と五文型(pp.35-37) 復習：Unit11 の課題に取り組む</p> <p>第 11 回 予習：Unit12,13 の内容を確認し、分からない単語は調べておく 授業：Unit12:受動態(pp.38-40)、Unit13:受動態は過去分詞(pp.41-43) 復習：Unit12,13 の課題に取り組む</p> <p>第 12 回 予習：Unit14 の内容を確認し、分からない単語は調べておく 授業：Unit14:能動態は-ing 形か不定詞(pp.44-46) 復習：Unit14 の課題に取り組む</p>			

<p>第 13 回 予習：Unit15 の内容を確認し、分からない単語は調べておく 授業：Unit15:主語(S)と主部(pp.47-49) 復習：Unit15 の課題に取り組む</p> <p>第 14 回 予習：Unit8~15 の内容を確認する 授業：Unit8~15 の振り返り 復習：前期後半の学習を振り返る</p> <p>第 15 回 予習：前期の学習内容を確認する 授業：前期の学習についての講評 復習：苦手な学習内容等、自分の課題を見つけ、前期の学習を分析する</p>								
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる。							
授業内課題の フィードバックの方法	小テスト、課題提出を適宜行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材	表 正幸 著『文法から学ぶ大学基礎英語 - Gateway to College English』（南雲堂）							
参考書								
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト、課題提出）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	英語 B I		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishB I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	薬師 英子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	薬師 英子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 B I では、基礎的な英語を読むのに必要な力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の基礎的運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。		
到達目標	基本的な構文で書かれた英文を、複数回にわたり聞き取りをすると、理解できる。基本的な構文で書かれた英文を、時間をかけて読むと理解できる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第 1 回 予習：自分の英語学習を振り返る 授業：ガイダンス：（授業についての説明や事前指導） Lesson 1: Random Acts of Kindness「親切習慣」(P6-7)導入 復習：授業の活動を振り返る</p> <p>第 2 回 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Lesson 1：Random Acts of Kindness (P6-8) グループワーク 復習：授業の活動を振り返る</p> <p>第 3 回 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Lesson 2：College Drinking (P9-11) グループワーク 復習：授業の活動を振り返る</p> <p>第 4 回 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Lesson 3：The Importance of Baseball (P12-14) 復習：授業の活動を振り返る</p> <p>第 5 回 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Lesson 4：No Popcorn, No Movies (P15-17) グループワーク 復習：授業の活動を振り返る</p> <p>第 6 回 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Lesson 5：Fatherless America (P18-20) グループワーク 復習：授業の活動を振り返る</p> <p>第 7 回 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Lesson 1～5 Review：(P6-20) これまで学んできた Reading 内容と Grammar についてのまとめの提出 復習：授業の活動を振り返る</p> <p>第 8 回 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：第 1 回～第 7 回の学習のまとめ 復習：授業の活動を振り返る</p> <p>第 9 回 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Lesson 6 ①：Stolen Car (P21-23) グループワーク これまで学んできた Reading 内容と Grammar についてのまとめの講評。 復習：授業の活動を振り返る</p> <p>第 10 回 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Lesson 6 ②：Stolen Car (P21-23) 復習：授業の活動を振り返る</p> <p>第 11 回 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Lesson 7 ①: Human Interest I (P24-26) グループワーク 復習：授業の活動を振り返る</p>			

<p>第 12 回 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Lesson 7 ②: Human Interest I (P24-26) 復習：授業の活動を振り返る</p> <p>第 13 回 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Lesson 8 ①: Human Interest II (P27-29) グループワーク これまで学んできた Reading 内容と Grammar についてのまとめの提出 復習：授業の活動を振り返る</p> <p>第 14 回 予習：教科書の該当箇所の予習をする 授業：Lesson 8 ②: Human Interest II (P27-29) 復習：授業の活動を振り返る</p> <p>第 15 回 予習：教科書の該当箇所の予習をする 授業：第 8 回～第 14 回の学習のまとめ これまで学んできた Reading 内容と Grammar についてのまとめの講評。 復習：授業の活動を振り返る</p>								
授業開始前学習	学習予定の Unit の内容・単語の予習と小テストに向けての学習を必ず行うこと。映画・音楽・テレビ・新聞記事など、英語に触れる機会を多く持ち、国際的な事柄に積極的に興味を持つこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎時間授業の冒頭で小テストを行う。授業 7 回目、13 回目に提出するまとめについては、2 週間後（授業 9 回目、15 回目）に全体の講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	"Simply Listening ～American life Today～"、小島義朗、南雲堂							
参考書	授業中に紹介する。							
評価の基準と方法	試験 60%、平常点 40%（小テスト、課題提出、Presentation、授業参加意欲）							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻、早退は欠席とみなす。テキスト忘れ、授業内での携帯電話使用等は授業参加意欲の減点対象とする。その他、1 回目の授業で説明する。欠席した回の授業内容はシラバスや配信資料等を確認し、各自フォローアップする。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 B I		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	English B I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	加藤 健太	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	加藤 健太	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 B I では、基礎的な英語を読むのに必要な力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の基礎的な運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	基本的な構文で書かれた英文を、複数回にわたり聞き取りをすると、理解できる。基本的な構文で書かれた英文を、時間をかけて読むと理解できる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第 1 回】 予習：シラバスの確認 授業：オリエンテーション（授業の目的や進め方、課題について） 復習：授業形式についての確認</p> <p>【第 2 回】 予習：教科書の Chapter 1 を読み、問題を解く 授業：Chapter 1 (pp. 31-36)：リーディング 復習：Chapter 1 の復習</p> <p>【第 3 回】 予習：教科書の Chapter 1 の内容について自分の考えを書く 授業：Chapter 1 (pp. 31-36)：ディスカッション 復習：Chapter 1 の復習</p> <p>【第 4 回】 予習：教科書の Chapter 2 を読み、問題を解く 授業：Chapter 2 (pp. 37-44)：リーディング 復習：Chapter 2 の復習</p> <p>【第 5 回】 予習：教科書の Chapter 2 の内容について自分の考えを書く 授業：Chapter 2 (pp. 37-44)：ディスカッション 復習：Chapter 2 の復習</p> <p>【第 6 回】 予習：教科書の Chapter 3 を読み、問題を解く 授業：Chapter 3 (pp. 45-50)：リーディング 復習：Chapter 3 の復習</p> <p>【第 7 回】 予習：教科書の Chapter 3 の内容について自分の考えを書く 授業：Chapter 3 (pp. 45-50)：ディスカッション 復習：Chapter 3 の復習</p> <p>【第 8 回】 予習：Chapter 1 ～ 3 で習った内容を再確認する 授業：Chapter 1 ～ 3 の振り返り 復習：Chapter 1 ～ 3 の復習</p> <p>【第 9 回】 予習：教科書の Chapter 4 を読み、問題を解く 授業：Chapter 4 (pp. 51-58)：リーディング 復習：Chapter 4 の復習</p> <p>【第 10 回】 予習：教科書の Chapter 4 の内容について自分の考えを書く 授業：Chapter 4 (pp. 51-58)：ディスカッション 復習：Chapter 4 の復習</p> <p>【第 11 回】 予習：教科書の Chapter 5 を読み、問題を解く 授業：Chapter 5 (pp. 59-64)：リーディング 復習：Chapter 5 の復習</p> <p>【第 12 回】 予習：教科書の Chapter 5 の内容について自分の考えを書く 授業：Chapter 5 (pp. 59-64)：ディスカッション 復習：Chapter 5 の復習</p> <p>【第 13 回】</p>			

予習：教科書の Chapter 6 を読み、問題を解く 授業：Chapter 6 (pp. 65-70)：リーディング 復習：Chapter 6 の復習 【第 14 回】 予習：教科書の Chapter 6 の内容について自分の考えを書く 授業：Chapter 6 (pp. 65-70)：ディスカッション 復習：Chapter 6 の復習 【第 15 回】 予習：Chapter 4 ～ 6 で習った内容を再確認する 授業：Chapter 4 ～ 6 の振り返り 復習：Chapter 4 ～ 6 の復習								
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる。							
授業内課題のフィードバックの方法	課題提出を適宜行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材	大門正幸/デービッド・ローレンス著『大学生のための英語リーディング技法』（金星堂）							
参考書								
評価の基準と方法	平常点 40%（課題提出、授業態度など）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 3 0 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 B I		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	English B I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	薬師 英子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	薬師 英子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 B I では、基礎的な英語を読むのに必要な力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の基礎的な運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。		
到達目標	基本的な構文で書かれた英文を、複数回にわたり聞き取りをすると、理解できる。基本的な構文で書かれた英文を、時間をかけて読むと理解できる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第 1 回 予習：自分の英語学習を振り返る 授業：ガイダンス：（授業についての説明や事前指導） Pre-Test 復習：授業の活動を振り返る</p> <p>第 2 回 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Unit 1 ① Home Appliances (P1-9) 写真問題：Part 1 写真の見方を強化する グループワーク 復習：授業の活動を振り返る</p> <p>第 3 回 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Unit 1 ② Home Appliances (P1-9) 疑問詞・代名詞を学ぶ 復習：授業の活動を振り返る</p> <p>第 4 回 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Unit 2 ① Recreation (P10-18) 会話問題：Part 3 会話問題の設問の種類を知る グループワーク 復習：授業の活動を振り返る</p> <p>第 5 回 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Unit 2 ② Recreation (P10-18) 長文穴埋め問題：Part 6 読み物のジャンルと流れを知る。 復習：授業の活動を振り返る</p> <p>第 6 回 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Unit 3 ① Restaurants(P19-27) 説明文問題：Part 4 設問の先読みをする。 グループワーク 復習：授業の活動を振り返る</p> <p>第 7 回 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Unit 3 ②：Restaurants (P19-27) 読解問題：Part 7 頻出の読み物の特徴と流れを知る。 これまで学んできた TOEIC の問題についてのまとめの提出 復習：授業の活動を振り返る</p> <p>第 8 回 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：第 1 回～第 7 回の学習のまとめ 復習：授業の活動を振り返る</p> <p>第 9 回 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Unit 4 ①：Supermarket Shopping (P28-36) 応答問題：Part 2 疑問詞の応答に慣れる。グループワーク これまで学んできた TOEIC の問題についてのまとめの講評。 復習：授業の活動を振り返る</p> <p>第 10 回 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Unit 4 ②：Supermarket Shopping (P28-36) 接続詞を学ぶ。 復習：授業の活動を振り返る</p> <p>第 11 回 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Unit 5 ①: Housing (P37-45) 問題提起と問題解決のための提案を知る。 グループワーク 復習：授業の活動を振り返る</p> <p>第 12 回 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Unit 5 ②: Housing (P37-45) ストーリーの流れと逆接の表現を学ぶ。 復習：授業の活動を振り返る</p>			

<p>第 13 回 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Unit 6 ①: Business (P46-55) 会話の種類と電話メッセージ グループワーク これまで学んできた TOEIC の問題についてのまとめの提出 復習：授業の活動を振り返る</p> <p>第 14 回 予習：教科書の該当箇所の予習をする 授業：Unit 6 ②: Business (P46-55) ストーリーの流れと逆接の追加表現を学ぶ。 復習：授業の活動を振り返る</p> <p>第 15 回 予習：教科書の該当箇所の予習をする 授業：第 8 回～第 14 回の学習のまとめ これまで学んできた TOEIC の問題についてのまとめの講評。 復習：授業の活動を振り返る</p>								
授業開始前学習	学習予定の Unit の内容・単語の予習と小テストに向けての学習を必ず行うこと。映画・音楽・テレビ・新聞記事など、英語に触れる機会を多く持ち、国際的な事柄に積極的に興味を持つこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎時間授業の冒頭で小テストを行う。授業 7 回目、13 回目に提出するまとめについては、2 週間後（授業 9 回目、15 回目）に全体の講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	"AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST"、? 寛美、Eleanor Smith、福井 美奈子、中井 達也、倉田 誠 著、成美堂							
参考書	授業中に紹介する。							
評価の基準と方法	試験 60%、平常点 40%（小テスト、課題提出、Presentation、授業参加意欲）							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。テキスト忘れ、授業内での携帯電話使用等は授業参加意欲の減点対象とする。その他、1 回目の授業で説明する。欠席した回の授業内容はシラバスや配信資料等を確認し、各自フォローアップする。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 B II		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishB II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	境 奈津希	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	境 奈津希	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 B I に引き続き、英語 B II では、標準的な英語を読むのに必要な力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	標準的な構文で書かれた英文を聞き取り、理解することができる。標準的な構文で書かれた英文を読むと理解することができる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第 1 回 予習： Vocabulary Preparation（教科書 p.45） 授業： Unit 8（教科書 p.43-48）（グループワーク・ディスカッション） 復習： 授業で学んだ文法、語彙を復習する</p> <p>第 2 回 予習： Vocabulary Preparation（教科書 p.45,51） 授業： Unit 8-9（教科書 p.43-54.）（グループワーク・ディスカッション） 復習： 授業で学んだ文法、語彙を復習する</p> <p>第 3 回 予習： Vocabulary Preparation（教科書 p.51） 授業： Unit 9（教科書 p.49-54）（グループワーク・ディスカッション） 復習： 授業で学んだ文法、語彙を復習する</p> <p>第 4 回 予習： Vocabulary Preparation（教科書 p.57） 授業： Unit 10（教科書 p.55-60）（グループワーク・ディスカッション） 復習： 授業で学んだ文法、語彙を復習する</p> <p>第 5 回 予習： Vocabulary Preparation（教科書 p.57） 授業： Unit 10（教科書 p.55-60）（グループワーク・ディスカッション） 復習： 授業で学んだ文法、語彙を復習する</p> <p>第 6 回 予習： Vocabulary Preparation（教科書 p.63） 授業： Unit 11（教科書 p.61-66）（グループワーク・ディスカッション） 復習： 授業で学んだ文法、語彙を復習する</p> <p>第 7 回 予習： Vocabulary Preparation（教科書 p.63） 授業： Unit 11（教科書 p.61-66）（グループワーク・ディスカッション） 復習： 授業で学んだ文法、語彙を復習する</p> <p>第 8 回 予習： 前期前半の授業で学んだことを復習する 授業： 前期前半の振り返り 復習： 前期前半の授業で学んだことを復習する</p> <p>第 9 回 予習： Vocabulary Preparation（教科書 p.69） 授業： Unit 12（教科書 p.67-72）（グループワーク・ディスカッション） 復習： 授業で学んだ文法、語彙を復習する</p> <p>第 10 回 予習： Vocabulary Preparation（教科書 p.69） 授業： Unit 12（教科書 p.67-72）（グループワーク・ディスカッション） 復習： 授業で学んだ文法、語彙を復習する</p> <p>第 11 回 予習： Vocabulary Preparation（教科書 p.75） 授業： Unit 13（教科書 p.73-78）（グループワーク・ディスカッション） 復習： 授業で学んだ文法、語彙を復習する</p> <p>第 12 回 予習： Vocabulary Preparation（教科書 p.75） 授業： Unit 13（教科書 p.73-78）（グループワーク・ディスカッション） 復習： 授業で学んだ文法、語彙を復習する</p>			

<p>第 13 回 予習： Vocabulary Preparation (教科書 p.81) 授業： Unit 14 (教科書 p.79-84) (グループワーク・ディスカッション) 復習： 授業で学んだ文法、語彙を復習する</p> <p>第 14 回 予習： Vocabulary Preparation (教科書 p.81) 授業： Unit 14 (教科書 p.79-84) (グループワーク・ディスカッション) 復習： 授業で学んだ文法、語彙を復習する</p> <p>第 15 回 予習： 前期後半の授業で学んだことを復習する 授業： 前期後半のふりかえり 復習： この授業を通して学んだことを復習する</p>								
授業開始前学習	中学校、高等学校で学んだこと、及び英語 B I で学んだことを再確認しておきましょう。							
授業内課題の フィードバックの方法	毎時間授業冒頭で小テストを行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材	"English Challenger: リーディングに役立つ基本英文法" Kyoko Okamoto, Benedict Rowlett, Aya Kinoshita, Sara Ellis. 成美堂							
参考書	授業内で適宜配布します。							
評価の基準と方法	平常点 40% (小テスト、課題提出等) および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	英語 B II		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishB II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	津村 早紀	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	津村 早紀	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 B I に引き続き、英語 B II では、標準的な英語を読むのに必要な力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の基礎的な運用能力向上のために、リスニングや、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	標準的な構文で書かれた英文を聞き取り、理解することができる。標準的な構文で書かれた英文を読むと理解することができる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第 1 回 予習：シラバスで授業内容を確認する 授業：ガイダンス（授業についての説明や事前指導、テキストについて）、Unit 8 Global Issues (2) pp. 46-49 復習：第 1 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 2 回 予習：テキスト p. 51 Listening Focus に目を通しておく 授業：Unit 9 Japanese Culture (1) pp. 50-53（解答確認時にグループワーク等を含む） 復習：第 2 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 3 回 予習：テキスト p.54 Reading Focus に目を通しておく 授業：Unit 9 Japanese Culture (2) pp. 52-55 復習：第 3 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 4 回 予習：テキスト p. 57 Listening Focus に目を通しておく 授業：Unit 10 Human Rights (1) pp. 56-59（解答確認時にグループワーク等を含む） 復習：第 4 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 5 回 予習：テキスト p.60 Reading Focus に目を通しておく 授業：Unit 10 Human Rights (2) pp. 58-61 復習：第 5 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 6 回 予習：テキスト p. 63 Listening Focus に目を通しておく 授業：Unit 11 Health & Medical Issues (1) pp. 62-65（解答確認時にグループワーク等を含む） 復習：第 6 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 7 回 予習：後期前半（Unit 8- Unit 11）の振り返り 授業：Unit 11 Health & Medical Issues (2) pp. 64-67、後期前半の振り返り 復習：第 7 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 8 回 予習：テキスト p. 69 Listening Focus に目を通しておく 授業：後期前半の振り返りについての講評、Unit 12 Environmental Issues (1) pp. 68-71 復習：第 8 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 9 回 予習：テキスト p.72 Reading Focus に目を通しておく 授業：Unit 12 Environmental Issues (2) pp. 70-73 復習：第 9 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 10 回 予習：テキスト p. 75 Listening Focus に目を通しておく 授業：Unit 13 Economy & Industry (1) pp. 74-77（解答確認時にグループワーク等を含む） 復習：第 10 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 11 回 予習：テキスト p.78 Reading Focus に目を通しておく 授業：Unit 13 Economy & Industry (2) pp. 76-79 復習：第 11 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 12 回 予習：テキスト p. 81 Listening Focus に目を通しておく 授業：Unit 14 Legal Issues (1) pp.80-83（解答確認時にグループワーク等を含む） 復習：第 12 回の授業中の活動を振り返る</p>			

<p>第 13 回 予習：テキスト p.84 Reading Focus に目を通しておく 授業：Unit 14 Legal Issues (2) pp.82-85 (解答確認時にグループワーク等を含む) 復習：第 13 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 14 回 予習：後期後半 (Unit 11- Unit 14) の振り返り 授業：Unit 15 Science & Technology (1) pp. 86-89、後期後半の振り返り 復習：第 14 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 15 回 予習：テキスト p.90 Reading Focus に目を通しておく 授業：後期後半の振り返りについての講評、Unit 15 Science & Technology (2) pp. 88-91 復習：第 15 回の授業中の活動を振り返る</p>								
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる。							
授業内課題の フィードバックの方法	授業 7 回目、14 回目に行う振り返りについては、それぞれ 1 週間後 (授業 8 回目、15 回目) に講評を行い、質問に回答する。 毎時間授業冒頭で小テストを行い、収集時に確認する。また、課題提出を適宜行い、収集時に確認する。							
テキスト・教材	VELC 研究会教材開発グループ / 静哲人 / 望月正道 / 熊澤孝昭 編著 『AMBITIONS: Intermediate 4 技能統合型で学ぶ英語コース：中級編』 ISBN : 978-4-7647-4056-3 (金星堂)							
参考書	英和辞典、英英辞典。その他、参考書がある場合は、適宜授業中に指示する。							
評価の基準と方法	平常点 40% (小テスト、課題提出、授業態度等) および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席や授業内での取り組みを重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	英語 B II		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	English B II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	川上 真巳子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	川上 真巳子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 B I に引き続き、英語 B II では、標準的な英語を読むのに必要な力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	標準的な構文で書かれた英文を聞き取り、理解することができる。標準的な構文で書かれた英文を読むと理解することができる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第 1 回 予習：これまでの英語学習を振り返る。 授業：オリエンテーション（課題解決型学習のための自習の重要性と授業内容について） 復習：今後の学習の確認</p> <p>第 2 回 予習：Chapter 6 指定個所を読んでくる。Pre-Reading Questions 授業：Chapter 6 Nature and Health / Reading, Comprehension Questions, & Summary 復習：既習個所を読み直す</p> <p>第 3 回 予習：Grammar 動名詞 授業：Chapter 6 Grammar 動名詞 Dialogue, Now it's your Turn ペアワークまたはグループワーク 復習：復習テスト準備</p> <p>第 4 回 予習：Chapter 7 指定個所を読んでくる。Pre-Reading Questions 授業：Chapter 6 復習テスト Chapter 7 Golden Years and Silver Divorces / Reading, Comprehension Questions, & Summary 復習：既習個所を読み直す</p> <p>第 5 回 予習：Grammar 否定文 授業：Chapter 7 Grammar 否定文 Dialogue, Now it's your Turn ペアワークまたはグループワーク 復習：復習テスト準備</p> <p>第 6 回 Chapter 8 指定個所を読んでくる。Pre-Reading Questions 授業：Chapter 7 復習テスト Chapter 8 Trees: A Gift from Nature / Reading, Comprehension Questions, & Summary 復習：既習個所を読み直す</p> <p>第 7 回 予習：Grammar 不定詞 授業：Chapter 8 Grammar 不定詞 Dialogue, Now it's your Turn ペアワークまたはグループワーク 復習：復習テスト準備</p> <p>第 8 回 予習：Unit 6~8 の復習 授業：後期前半の振り返り 復習：授業で学んだことを見直す。</p> <p>第 9 回 Chapter 9 指定個所を読んでくる。Pre-Reading Questions 授業：Chapter 9 Tattoos / Reading, Comprehension Questions, & Summary 復習：既習個所を読み直す</p> <p>第 10 回 予習：Grammar 前置詞 授業：Chapter 9 Grammar 前置詞 Dialogue, Now it's your Turn ペアワークまたはグループワーク</p>			

復習：復習テスト準備

第 11 回
Chapter 10 指定箇所を読んでくる。Pre-Reading Questions
授業：Chapter 9 復習テスト Chapter 10 Redefining Gender and Marriage / Reading, Comprehension Questions, & Summary
復習：既習箇所を読み直す

第 12 回
予習：Grammar 現在完了形
授業：Chapter 10 Grammar 現在完了形 Dialogue, Now it's your Turn ペアワークまたはグループワーク
復習：復習テスト準備

第 13 回
予習：自分の担当部分の予習
授業：Chapter 10 復習テスト グループワーク Chapter 11~15
復習：授業内での活動の振り返り

第 13 回
予習：グループ発表準備
授業：グループ発表
復習：プレゼンテーションの振り返り、Reflection Paper を書く。

第 15 回
予習：Chapter 9~10 の復習、自分たちのグループの担当部分の復習
授業：後期後半の振り返り
復習：授業で学んだことを見直す。

授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる。							
授業内課題のフィードバックの方法	各課終了後、次の授業冒頭で小テストを行い、返却時に確認する							
テキスト・教材	"Changing Times, Changing Worlds," Joan McConnell, Kiyoshi Yamaguchi, Seibido							
参考書	英和辞書、英英辞書							
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト、課題提出、Presentation、授業態度等）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 B II		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	English B II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	小室 竜也	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	小室 竜也	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 B I に引き続き、英語 B II では、標準的な英語を読むのに必要な力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の基礎的な運用能力向上のために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の4技能を効果的に統合した学習活動を行う。英語のより深い理解を目的とし、授業では「課題解決型学習」および「発見学習」を取り入れ、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	標準的な構文で書かれた英文を聞き取り、理解することができる。標準的な構文で書かれた英文を読むと理解することができる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
(授業の形態によってシラバスから大きく変更がある可能性があります)			
【第1回】 予習：自身の英語力に関して振り返る、シラバスの確認 授業：オリエンテーション（授業の目的や授業の進め方、予習の仕方等について） 復習：授業形式についての確認			
【第2回】 予習：教科書の Preview と Vocabulary を確認 授業：教科書 Unit 7 復習：授業で学習した単語・表現・文法を確認			
【第3回】 予習：教科書 Unit 7 の本文の音読 授業：教科書 Unit 7 の本文の Gap-filling, Sentence-Writing, Group Chat 復習：授業で学習した単語・表現・文法を確認			
【第4回】 予習：教科書の Preview と Vocabulary を確認 授業：教科書 Unit 8 復習：授業で行った活動における単語・表現等の復習			
【第5回】 予習：教科書 Unit 8 の本文の音読 授業：教科書 Unit 8 の本文の Gap-filling, Discussion 復習：授業で学習した単語・表現・文法を確認			
【第6回】 予習：教科書の Preview と Vocabulary を確認 授業：教科書 Unit 9 復習：授業で行った活動における単語・表現等の復習			
【第7回】 予習：教科書 Unit 9 の本文の音読 授業：教科書 Unit 9 の本文の Gap-filling, Sentence-Writing, Group Chat 復習：間違えた問題を解き直し、授業で学習した単語・表現・文法を確認			
【第8回】 予習：これまでに学習した内容の振り返り 授業：前期前半の振り返り 復習：間違えた問題を解き直し、授業で学習した単語・表現・文法を確認			
【第9回】 予習：教科書の Preview と Vocabulary を確認 授業：教科書 Unit 10 復習：授業で学習した単語・表現・文法を確認			
【第10回】 予習：教科書 Unit 10 の本文の音読 授業：教科書 Unit 10 の本文の Gap-filling, Discussion 復習：授業で学習した単語・表現・文法を確認			
【第11回】 予習：教科書の Preview と Vocabulary を確認 授業：教科書 Unit 11 復習：授業で学習した単語・表現・文法を確認			
【第12回】 予習：教科書 Unit 11 の本文の音読 授業：教科書 Unit 11 の本文の Gap-filling, Sentence-Writing, Group Chat			

復習 : 授業で学習した単語・表現・文法を確認 【第 13 回】 予習 : 教科書の Preview と Vocabulary を確認 授業 : 教科書 Unit 12 復習 : 授業で行った活動における単語・表現等の復習 【第 14 回】 予習 : 教科書 Unit 12 の本文の音読 授業 : 教科書 Unit 12 の本文の Gap-filling, Discussion 復習 : 授業で学習した単語・表現・文法を確認 【第 15 回】 予習 : これまでに学習した内容の振り返り 授業 : 前期後半の振り返り 復習 : 間違えた問題を解き直し、授業で学習した単語・表現・文法を確認								
授業開始前学習	高校で学習した単語や表現・文法等をひととおり復習しておくこと授業が理解しやすい。また、映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業内課題の解説を Google Classroom に掲示し、全体で適宜確認する。							
テキスト・教材	卯城祐司・名畑目真吾・長谷川佑介・木村雪乃・濱田彰・Peter Serafin・Xanthe Smith Serafin 著『Reading Cycle 循環型で学ぶ英語リーディング演習』金星堂							
参考書	安井稔『英文法総覧』開拓社 江川泰一郎『英文法解説』金子書房 吉川美夫『考える英文法』ちくま学芸文庫 野村益寛『英文法の考え方 英語学習者のための認知英文法講義』							
評価の基準と方法	平常点 40% (小テスト、課題提出、Presentation、授業態度等) および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 B II		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishB II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	遠藤 玲奈	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	遠藤 玲奈	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 B I に引き続き、英語 B II では、標準的な英語を読むのに必要な力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	標準的な構文で書かれた英文を聞き取り、理解することができる。標準的な構文で書かれた英文を読むと理解することができる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第 1 回 予習：Unit 8 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 8（前半：pp. 65-69）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。今学期の目標を立てる</p> <p>第 2 回 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 8（後半：pp. 70-72）グループワーク、Unit 8（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 3 回 予習：Unit 9 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 9（前半：pp. 73-77）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする</p> <p>第 4 回 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 9（後半：pp. 78-80）グループワーク、Unit 9（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 5 回 予習：Unit 10 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 10（前半：pp. 81-85）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする</p> <p>第 6 回 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 10（後半：pp. 86-88）グループワーク、Unit 10（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 7 回 予習：Unit 11 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 11（前半：pp. 89-93）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする</p> <p>第 8 回 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 11（後半：pp. 94-96）グループワーク、Unit 3（全体）小テスト、後期前半の振り返り 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 9 回 予習：Unit 12 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 12（前半：pp. 97-101）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする</p> <p>第 10 回 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 12（後半：pp. 102-104）グループワーク、Unit 12（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 11 回 予習：Unit 13 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 13（前半：pp. 105-109）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする</p> <p>第 12 回 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 13（後半：pp. 110-112）グループワーク、Unit 13（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 13 回</p>			

<p>予習：Unit 14 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 14（前半：pp. 113-117）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする 第 14 回 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 14（後半：pp. 118-120）グループワーク、Unit 14（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る 第 15 回 予習：今まで授業で学んだことを振り返る 授業：後期後半の振り返り 復習：自分の課題を見つけ対策を立てる</p>								
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。また、学習予定の Unit の内容・単語の予習と小テストの準備を必ず行うこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	2 週に 1 回、各 Unit の学習を終えたところで小テストを行う。翌週、返却時に解説を行う。授業 8 回目、15 回目に授業内容の復習を行い、クラスおよび個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	Atsushi Iino, Sayo Nakamura, Brian Wistner, Toshihiko Wada, Yukiko Yabuta『Voice Your Opinion』（金星堂）							
参考書	授業内で適宜紹介する。							
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト、課題提出、授業態度等）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 B II		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishB II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	鈴木 悠理	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	鈴木 悠理	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 B II では英語 BI に引き続き、標準的な英語を読むのに必要な力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の基礎的な運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	標準的な構文で書かれた英文を聞き取り、理解することができる。標準的な構文で書かれた英文を読み、理解することができる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>〈第 1 回〉 予習：シラバスを確認する。Reading 部分の音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 8（前半）グループワーク 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。後期の目標を立てる。</p> <p>〈第 2 回〉 予習：Reading 部分の音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。 授業：Unit 8（後半）グループワーク、Unit 8（全体）小テスト 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。</p> <p>〈第 3 回〉 予習：Reading 部分の音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 9（前半）グループワーク 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。</p> <p>〈第 4 回〉 予習：Reading 部分の音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。 授業：Unit 9（後半）グループワーク、Unit 9（全体）小テスト 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。</p> <p>〈第 5 回〉 予習：Reading 部分の音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 10（前半）グループワーク 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。</p> <p>〈第 6 回〉 予習：Reading 部分の音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。 授業：Unit 10（後半）グループワーク、Unit 10（全体）小テスト 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。</p> <p>〈第 7 回〉 予習：Reading 部分の音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 11（前半）グループワーク 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。</p> <p>〈第 8 回〉 予習：Reading 部分の音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。 授業：Unit 11（後半）グループワーク、Unit 11（全体）小テスト、後期前半の振り返り 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。</p> <p>〈第 9 回〉 予習：Reading 部分の音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 12（前半）グループワーク 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。</p> <p>〈第 10 回〉 予習：Reading 部分の音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。 授業：Unit 12（後半）グループワーク、Unit 12（全体）小テスト 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。</p> <p>〈第 11 回〉 予習：Reading 部分の音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 13（前半）グループワーク 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。</p> <p>〈第 12 回〉 予習：Reading 部分の音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。 授業：Unit 13（後半）グループワーク、Unit 13（全体）小テスト 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。</p> <p>〈第 13 回〉</p>			

<p>予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 14（前半）グループワーク 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。 〈第 14 回〉 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。 授業：Unit 14（後半）グループワーク、Unit 14（全体）小テスト 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。前期で得た自分の強みと今後の課題を明らかにする。 〈第 15 回〉 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 15（全体）グループワーク、後期後半の振り返り 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。後期で得た自分の強みと今後の課題を明らかにする。</p>								
授業開始前学習	時事ニュースや文化（映画・音楽・ファッションなど）を通して英語に触れる機会を持つこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	2 週に 1 回、各 Unit の学習を終えたところで小テストを行う。翌週、返却時に解説を行う。授業 8 回目、15 回目に授業内容の復習を行い、クラスおよび個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	Arnold Arano、三原京、巳波義典、木村博是『Answers to Everyday Questions 2 〈Pre-Intermediate〉身近な不思議を英語で学ぶ〈準中級〉』（南雲堂） *前期と同じテキスト							
参考書	英和辞典・和英辞典は必須（電子辞典可）。その他は授業内で適宜紹介する。							
評価の基準と方法	平常点 40%（授業参加態度、小テスト、課題提出など）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業の 3 分の 1 以上を欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。その他、公欠についてなどは第 1 回の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 B II		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishB II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	池上 俊彦	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	池上 俊彦	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	本授業では、実践的英語力のさらなる育成のために、TOEIC 試験で一定の得点を取得できる英語力を身につけることを目指す。ただし、問題演習に終始するのではなく、英語の運用能力向上のために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の4技能を効果的に統合したグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。		
到達目標	標準的な構文で書かれた英文を聞き取り、理解することができる。標準的な構文で書かれた英文を読むと理解することができる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
毎時間ペアワーク等を適宜行う			
1回 予習：リーディングセクションの音読 授業：Chapter 7 The Vessel of Worldwide Art and Culture (pp. 48-51) 復習：新出単語と文法項目の暗記			
2回 予習：リーディングセクションの音読 授業：Chapter 7 The Vessel of Worldwide Art and Culture (pp. 52-53) 復習：新出単語と文法項目の暗記			
3回 予習：リーディングセクションの音読 授業：Chapter 8 The Relationship between Japan and the UK (pp. 54-57) 復習：新出単語と文法項目の暗記			
4回 予習：リーディングセクションの音読 授業：Chapter 8 The Relationship between Japan and the UK (pp. 58-59) 復習：新出単語と文法項目の暗記			
5回 予習：リーディングセクションの音読 授業：Chapter 9 The History of British Democracy (pp. 62-65) 復習：新出単語と文法項目の暗記			
6回 予習：リーディングセクションの音読 授業：Chapter 9 The History of British Democracy (pp. 66-67) 復習：新出単語と文法項目の暗記			
7回 予習：リーディングセクションの音読 授業：Chapter 10 The British Debate about the Economy (pp. 68-71)、課題提出 復習：新出単語と文法項目の暗記			
8回 予習：リーディングセクションの音読 授業：後期前半の振り返り 復習：新出単語と文法項目の暗記			
9回 予習：リーディングセクションの音読 授業：Chapter 10 The British Debate about the Economy (pp. 72-73)、提出課題のおさらい（グループワーク） 復習：新出単語と文法項目の暗記			
10回 予習：リーディングセクションの音読 授業：Chapter 11 With or Without God: The Development of the Natural Sciences (pp. 74-77) 復習：新出単語と文法項目の暗記			
11回 予習：リーディングセクションの音読 授業：Chapter 11 With or Without God: The Development of the Natural Sciences (pp. 78-79) 復習：新出単語と文法項目の暗記			
12回 予習：リーディングセクションの音読 授業：Chapter 12 The Country of Satire (pp. 82-85)			

復習：新出単語と文法項目の暗記 13回 予習：リーディングセクションの音読 授業：Chapter 12 The Country of Satire (pp. 86-87)、課題提出 復習：新出単語と文法項目の暗記 14回 予習：リーディングセクションの音読 授業：Chapter 13 Nature and British People (pp. 82-85) 復習：新出単語と文法項目の暗記 15回 予習：リーディングセクションの音読 授業：後期後半の振り返り、提出課題のおさらい（グループワーク） 復習：新出単語と文法項目の暗記								
授業開始前学習	英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる。教科書のリーディングセクションの音読。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業7回目、13回目に提出する課題については、2週間後（授業9、15回目）に全体の講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	原田範行、Andrew Houwen、森田彰 『Aspects of British Culture: Academic Approaches 真実のイギリス文化、社会、芸術そして科学』 金星堂、2022年。(ISBN 978-4-7647-4149-2) 適宜プリント							
参考書								
評価の基準と方法	授業態度と課題提出 40% テスト 60%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の3分の1以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻3回で欠席1回とみなす。講義開始後30分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30時間（2時間×15週）＋予習・復習時間 15時間（1時間×15週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 B II		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishB II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	岸山 健	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	岸山 健	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 B I に引き続き、英語 B II では、標準的な英語を読むのに必要な力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	標準的な構文で書かれた英文を聞き取り、理解することができる。標準的な構文で書かれた英文を読むと理解することができる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第 1 回 予習：前期の振り返り 授業：授業の目標と評価の説明 復習：教科書の進め方の確認</p> <p>第 2 回 予習：内容理解課題の作成 授業：Unit 7 Culinary Diplomacy (p.45-48)] 復習：内容と語彙の復習</p> <p>第 3 回 予習：議論の準備 授業：Unit 7 Culinary Diplomacy (p.48-51) 復習：議論の整理</p> <p>第 4 回 予習：内容理解課題の作成 授業：Unit 8 2nd- and 3rd-Generation Immigrants (p.51-54) 復習：内容と語彙の復習</p> <p>第 5 回 予習：議論の準備 授業：Unit 8 2nd- and 3rd-Generation Immigrants (p.54-57) 復習：議論の整理</p> <p>第 6 回 予習：内容理解課題の作成 授業：Unit 9 Happily Single (p.57-60) 復習：内容と語彙の復習</p> <p>第 7 回 予習：議論の準備 授業：Unit 9 Happily Single (p.60-63) 復習：議論の整理</p> <p>第 8 回 予習：後期前半の復習 授業：中間試験と後期前半の振り返り 復習：内容の再確認</p> <p>第 9 回 予習：内容理解課題の作成 授業：Unit 10 The Magic of the Smartphone (p.63-66) 復習：内容と語彙の復習</p> <p>第 10 回 予習：議論の準備 授業：Unit 10 The Magic of the Smartphone (p.66-69) 復習：議論の整理</p> <p>第 11 回 予習：内容理解課題の作成 授業：Unit 11 Mindfulness (p.69-72) 復習：内容と語彙の復習</p> <p>第 12 回 予習：議論の準備 授業：Unit 11 Mindfulness (p.72-75) 復習：議論の整理</p> <p>第 13 回 予習：内容理解課題の作成 授業：Unit 12 Marriage (p.75-78) 復習：内容と語彙の復習</p> <p>第 14 回 予習：議論の準備 授業：Unit 12 Marriage (p.78-80) 復習：議論の整理</p> <p>第 15 回 予習：後期後半の復習 授業：期末試験と後期後半の振り返り 復習：内容の再確認</p>			
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる。		
授業内課題の	課題提出を適宜行い、返却時に確認する。		

フィードバックの方法								
テキスト・教材	【 タイトル 】 Reading for Bright Future 明るい未来を拓く英語リーディング 【 ISBN 】 9784523179450							
参考書								
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト、課題提出、Presentation、授業態度等） および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 B II		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishB II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	金沢 じゅん	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	金沢 じゅん	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 B I に引き続き、英語 B II では、標準的な英語を読むのに必要な力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	標準的な構文で書かれた英文を聞き取り、理解することができる。標準的な構文で書かれた英文を読むと理解することができる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第 1 回】 予習：シラバスの確認 授業：オリエンテーション（授業の目的や進め方や評価、課題について）と Chapter 8（pp.43-45）、適宜、グループワークやディスカッションを行う。 復習：授業形式についての確認と該当箇所を振り返る</p> <p>【第 2 回】 予習：小テストの準備 授業：Chapter 8（pp.46-47）、適宜、グループワークやディスカッションを行う。 復習：該当箇所を振り返る</p> <p>【第 3 回】 予習：小テストの準備 授業：Chapter 9（pp.48-50）、適宜、グループワークやディスカッションを行う。 復習：該当箇所を振り返る</p> <p>【第 4 回】 予習：小テストの準備 授業：Chapter 9（pp.51-52）、適宜、グループワークやディスカッションを行う。 復習：該当箇所を振り返る</p> <p>【第 5 回】 予習：小テストの準備 授業：Chapter 10（pp.53-55）、適宜、グループワークやディスカッションを行う。 復習：該当箇所を振り返る</p> <p>【第 6 回】 予習：小テストの準備 授業：Chapter 10（pp.56-57）、適宜、グループワークやディスカッションを行う。 復習：該当箇所を振り返る</p> <p>【第 7 回】 予習：既習箇所を振り返る 授業：前半の振り返り 復習：既習箇所を振り返る</p> <p>【第 8 回】 予習：小テストの準備 授業：Chapter 11（pp.58-60）、適宜、グループワークやディスカッションを行う。 復習：該当箇所を振り返る</p> <p>【第 9 回】 予習：小テストの準備 授業：Chapter 11（pp.61-62）、適宜、グループワークやディスカッションを行う。 復習：該当箇所を振り返る</p> <p>【第 10 回】 予習：小テストの準備 授業：Chapter 12（pp.63-65）、適宜、グループワークやディスカッションを行う。 復習：該当箇所を振り返る</p> <p>【第 11 回】 予習：小テストの準備 授業：Chapter 12（pp.66-67）、適宜、グループワークやディスカッションを行う。 復習：該当箇所を振り返る</p> <p>【第 12 回】 予習：小テストの準備 授業：Chapter 13（pp.68-70）、適宜、グループワークやディスカッションを行う。 復習：該当箇所を振り返る</p> <p>【第 13 回】</p>			

予習：小テストの準備 授業：Chapter 13 (pp.71-72)、適宜、グループワークやディスカッションを行う。 復習：該当箇所を振り返る 【第14回】 予習：小テストの準備 授業：Chapter 14 (pp.73-77)、適宜、グループワークやディスカッションを行う。 復習：該当箇所を振り返る 【第15回】 予習：既習箇所を振り返る 授業：後半の振り返り 復習：既習箇所を振り返る ＊進捗状況により変更の可能性がある。								
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を辞書で調べる。							
授業内課題の フィードバックの方法	小テストや演習問題は授業内で解説する。 ライティング課題等は添削し、返却時に確認する。							
テキスト・教材	Dian H. Nagatomo 著『CHAT AND SHARE! TOPIC STARTERS FOR TODAY'S STUDENTS』（金星堂）							
参考書	英和・英英辞典							
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト、課題提出、アクティビティへの参加、授業態度等）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の3分の1以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻3回で欠席1回とみなす。講義開始後30分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1回目の授業で説明する。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	英語 B II		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishB II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	中川 優一	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	中川 優一	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 B I に引き続き、英語 B II では、標準的な英語を読むのに必要な力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	標準的な構文で書かれた英文を聞き取り、理解することができる。標準的な構文で書かれた英文を読むと理解することができる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第 1 回 予習：前期に学習した英語（特に単語と文法）を見直しておく。 授業：オリエンテーション（前期の振り返り、今後の授業方針について、成績評価基準の説明等） 復習：前期の単語や文法を今一度見直す。</p> <p>第 2 回 予習：Unit 7 (Getting Lost, P48-50)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 7 (Getting Lost, P48-50)Vocabulary, Grammar, Listening, Reading およびそれに付随したペアワーク・グループワーク。 復習：第 2 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。</p> <p>第 3 回 予習：Unit 7 (Getting Lost, P51-53)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 7 (Getting Lost, P51-53), Reading, Writing およびそれに付随したグループワーク・ディスカッション。 復習：第 3 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。</p> <p>第 4 回 予習：Unit 8 (In the Museum, P54-56)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 8 (In the Museum, P54-56) Vocabulary, Grammar, Listening, Reading およびそれに付随したペアワーク・グループワーク。 復習：第 4 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。</p> <p>第 5 回 予習：Unit 8 (In the Museum, P57-59)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 8 (In the Museum, P57-59), Reading, Writing およびそれに付随したグループワーク・ディスカッション。 復習：第 5 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。</p> <p>第 6 回 予習：Unit 9 (At a Cafe, P60-62)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 9 (At a Cafe, P60-62) Vocabulary, Grammar, Listening, Reading およびそれに付随したペアワーク・グループワーク。 復習：第 6 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。</p> <p>第 7 回 予習：Unit 9 (At a Cafe, P63-65)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 9 (At a Cafe, P63-65), Reading, Writing およびそれに付随したグループワーク・ディスカッション。 復習：第 7 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。</p> <p>第 8 回 予習：第 1 回～第 7 回までの復習 授業：中間試験を行う。 復習：解けなかった問題の確認。</p> <p>第 9 回 予習：Unit 10 (Part-Time Job, P66-68)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 10 (Part-Time Job, P66-68) Vocabulary, Grammar, Listening, Reading およびそれに付随したペアワーク・グループワーク。 復習：第 9 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。</p> <p>第 10 回 予習：Unit 10 (Part-Time Job, P69-71)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 10 (Part-Time Job, P69-71), Reading, Writing およびそれに付随したグループワーク・ディスカッション。 復習：第 10 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。</p>			

第 11 回

予習：Unit 11 (After Work, P72-74)を概観し、わからない単語等を調べておく。

授業：Unit 11 (After Work, P72-74) Vocabulary, Grammar, Listening, Reading およびそれに付随したペアワーク・グループワーク。

復習：第 11 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。

第 12 回

予習：Unit 11 (After Work, P75-77)を概観し、わからない単語等を調べておく。

授業：Unit 11 (After Work, P75-77), Reading, Writing およびそれに付随したグループワーク・ディスカッション。

復習：第 12 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。

第 13 回

予習：Unit 12 (Housework, P78-80)を概観し、わからない単語等を調べておく。

授業：Unit 12 (Housework, P78-80) Vocabulary, Grammar, Listening, Reading およびそれに付随したペアワーク・グループワーク。

復習：第 13 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。

第 14 回

予習：第 9 回～第 13 回までの復習

授業：期末試験を行う。

復習：解けなかった問題の復習。

第 15 回

予習：期末試験の復習及び Unit 12 (Housework, P81-83)を概観し、わからない単語等を調べておく。

授業：期末試験のフィードバック及び Unit 12 (Housework, P81-83), Reading, Writing およびそれに付随したグループワーク・ディスカッション。

復習：この一年で学んだことの総復習。

授業開始前学習	高校までの英単語、英文法をできるだけ見直しておくこと。映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持ち、興味がある文章や単語を、辞書で調べる。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎時間授業の冒頭で小テストを行う。また、課題提出を適宜行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材	English Day! (2023) Robert Hickling, 金星堂							
参考書								
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト、課題提出、Presentation、授業態度等）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 B II		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishB II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	本村 万喜子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	本村 万喜子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 B I に引き続き、英語 B II では、標準的な英語を読むのに必要な力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	標準的な構文で書かれた英文を聞き取り、理解することができる。標準的な構文で書かれた英文を読むと理解することができる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>※ペアワークやディスカッションを含む回がある。</p> <p>第 1 回 予習：これまでの英語学習を振り返る 授業：オリエンテーション（授業のすすめ方について）、Unit16:接続詞(pp.50-52) 復習：授業のすすめ方を確認し、学習計画を立てる</p> <p>第 2 回 予習：Unit17,18 の内容を確認し、分からない単語は調べておく 授業：Unit17:疑問詞のない間接疑問文(pp.53-55)、Unit18:疑問詞のある間接疑問文と譲歩構文(pp.56-57) 復習：Unit17,18 の課題に取り組む</p> <p>第 3 回 予習：Unit19 の内容を確認し、分からない単語は調べておく 授業：Unit19:名詞と代名詞(pp.59-61) 復習：Unit19 の課題に取り組む</p> <p>第 4 回 予習：Unit20,21 の内容を確認し、分からない単語は調べておく 授業：Unit20:関係代名詞(pp.62-64)、Unit21:関係代名詞 what(pp.65-67) 復習：Unit20,21 の課題に取り組む</p> <p>第 5 回 予習：Unit22 の内容を確認し、分からない単語は調べておく 授業：Unit22:関係副詞(pp.68-70) 復習：Unit22 の課題に取り組む</p> <p>第 6 回 予習：Unit23 の内容を確認し、分からない単語は調べておく 授業：Unit23:時制の単純化(pp.71-73) 復習：Unit23 の課題に取り組む</p> <p>第 7 回 予習：Unit15~23 の内容を確認する 授業：Unit15~23 の振り返り 復習：後期前半の学習を振り返り、後期後半の学習計画を立てる</p> <p>第 8 回 予習：Unit24 の内容を確認し、分からない単語は調べておく 授業：Unit24:仮定法過去(pp.74-76) 復習：Unit24 の課題に取り組む</p> <p>第 9 回 予習：Unit25,26 の内容を確認し、分からない単語は調べておく 授業：Unit25:仮定法過去完了(pp.77-79)、Unit26:仮定法を使った構文(pp.80-82) 復習：Unit26,26 の課題に取り組む</p> <p>第 10 回 予習：Unit27 の内容を確認し、分からない単語は調べておく 授業：Unit27:Backshift(pp.83-85) 復習：Unit27 の課題に取り組む</p> <p>第 11 回 予習：Unit28 の内容を確認し、分からない単語は調べておく 授業：Unit28:話法の転換（平叙文）(pp.86-88) 復習：Unit28 の課題に取り組む</p> <p>第 12 回 予習：Unit29 の内容を確認し、分からない単語は調べておく 授業：Unit29:話法の転換（疑問文）(pp.89-91) 復習：Unit29 の課題に取り組む</p>			

<p>第 13 回 予習：Unit30 の内容を確認し、分からない単語は調べておく 授業：Unit30: 語法の転換（疑問文など）(pp.92-94) 復習：Unit30 の課題に取り組む</p> <p>第 14 回 予習：Unit24~30 の内容を確認する 授業：Unit24~30 の振り返り 復習：後期後半の学習を振り返る</p> <p>第 15 回 予習：後期の学習内容を確認する 授業：後期の学習についての講評 復習：苦手な学習内容等、自分の課題を見つけ、後期の学習を分析する</p>								
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる。							
授業内課題の フィードバックの方法	小テスト、課題提出を適宜行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材	表 正幸 著『文法から学ぶ大学基礎英語 - Gateway to College English』（南雲堂）							
参考書								
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト、課題提出）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	英語 B II		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	English B II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	薬師 英子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	薬師 英子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 B I に引き続き、英語 B II では、標準的な英語を読むのに必要な力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	標準的な構文で書かれた英文を聞き取り理解できる。標準的な構文で書かれた英文を読むと理解できる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第1回 予習：自分の英語学習を振り返る 授業：ガイダンス（授業についての説明や事前指導） Lesson 9 ①：Mix-up (P30-32) 導入 グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第2回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Lesson 9 ②：Mix-up (P30-32) 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第3回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Lesson 10 ①：Thank you for not swearing (P33-35) グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第4回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Lesson 10 ②：Thank you for not swearing (P33-35) Grammar 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第5回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Lesson 11 ① Non-violent Language (P36-37) グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第6回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Lesson 11 ② Non-violent Language (P36-37) Grammar 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第7回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Handout material ① これまで学んできた Reading 問題と Grammar についてのまとめ提出。 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第8回 予習：ここまでの授業を総復習する 授業：第1回～第7回の学習のまとめ 復習：まとめを振り返る</p> <p>第9回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Lesson 12：Loans and grants (P39-41) これまで学んできた Lesson 9～12(pp.30～41)についてのまとめの講評 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第10回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Lesson 13 ①：Gun Swap (P42-44) グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第11回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Lesson 13 ②：Gun Swap (P42-44) Grammar 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第12回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Lesson 14 ①：Reverse brain drain (P45-47) 復習：授業中の活動を振り返る</p>			

<p>第 13 回 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Lesson 14 ② : Reverse brain drain (P45-47) Grammar これまで学んできた Reading 問題と Grammar についてのまとめ提出。 復習 : 授業中の活動を振り返る</p> <p>第 14 回 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Handout material ② 復習 : 授業中の活動を振り返る</p> <p>第 15 回 予習 : 今までの授業で学んだことを振り返る 授業 : 第 8 回～第 14 回の学習のまとめ これまで学んできた Reading 問題と Grammar についてのまとめの講評。 復習 : 自分の課題を見つけ対策を立てる</p>								
授業開始前学習	学習予定の Unit の内容・単語の予習と小テストに向けての学習を必ず行うこと。映画・音楽・テレビ・新聞記事など、英語に触れる機会を多く持ち、国際的な事柄に積極的に興味を持つこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎時間授業の冒頭で小テストを行う。授業 7 回目、13 回目に提出するまとめについては、2 週間後（授業 9 回目、15 回目）に全体の講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	"Simply Listening ～American Life Today～"、小島義朗、南雲堂							
参考書	授業中に紹介する。							
評価の基準と方法	試験 60%、平常点 40%（小テスト、課題提出、Presentation、授業参加意欲）							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻、早退は欠席とみなす。テキスト忘れ、授業内での携帯電話使用等は授業参加意欲の減点対象とする。その他、1 回目の授業で説明する。欠席した回の授業内容はシラバスや配信資料等を確認し、各自フォローアップする。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 B II		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	English B II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	加藤 健太	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	加藤 健太	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 B I に引き続き、英語 B II では、標準的な英語を読むのに必要な力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	標準的な構文で書かれた英文を聞き取り、理解することができる。標準的な構文で書かれた英文を読むと理解することができる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第 1 回】 予習：シラバスの確認 授業：オリエンテーション（授業の目的や進め方、課題について） 復習：授業形式についての確認</p> <p>【第 2 回】 予習：教科書の Chapter 7 を読み、問題を解く 授業：Chapter 7 (pp. 71-78)：リーディング 復習：Chapter 7 の復習</p> <p>【第 3 回】 予習：教科書の Chapter 7 の内容について自分の考えを書く 授業：Chapter 7 (pp. 71-78)：ディスカッション 復習：Chapter 7 の復習</p> <p>【第 4 回】 予習：教科書の Chapter 8 を読み、問題を解く 授業：Chapter 8 (pp. 79-84)：リーディング 復習：Chapter 8 の復習</p> <p>【第 5 回】 予習：教科書の Chapter 8 の内容について自分の考えを書く 授業：Chapter 8 (pp. 79-84)：ディスカッション 復習：Chapter 8 の復習</p> <p>【第 6 回】 予習：教科書の Chapter 9 を読み、問題を解く 授業：Chapter 9 (pp. 85-92)：リーディング 復習：Chapter 9 の復習</p> <p>【第 7 回】 予習：教科書の Chapter 9 の内容について自分の考えを書く 授業：Chapter 9 (pp. 85-92)：ディスカッション 復習：Chapter 9 の復習</p> <p>【第 8 回】 予習：Chapter 7 ～ 9 で習った内容を再確認する 授業：Chapter 7 ～ 9 の振り返り 復習：Chapter 7 ～ 9 の復習</p> <p>【第 9 回】 予習：教科書の Chapter 10 を読み、問題を解く 授業：Chapter 10 (pp. 93-98)：リーディング 復習：Chapter 10 の復習</p> <p>【第 10 回】 予習：教科書の Chapter 10 の内容について自分の考えを書く 授業：Chapter 10 (pp. 93-98)：ディスカッション 復習：Chapter 10 の復習</p> <p>【第 11 回】 予習：教科書の Chapter 11 を読み、問題を解く 授業：Chapter 11 (pp. 99-104)：リーディング 復習：Chapter 11 の復習</p> <p>【第 12 回】 予習：教科書の Chapter 11 の内容について自分の考えを書く 授業：Chapter 11 (pp. 99-104)：ディスカッション 復習：Chapter 11 の復習</p> <p>【第 13 回】</p>			

<p>予習：教科書の Chapter 12 を読み、問題を解く 授業：Chapter 12 (pp. 105-112)：リーディング 復習：Chapter 12 の復習 【第 14 回】 予習：教科書の Chapter 12 の内容について自分の考えを書く 授業：Chapter 12 (pp. 105-112)：ディスカッション 復習：Chapter 12 の復習 【第 15 回】 予習：Chapter 10 ～ 12 で習った内容を再確認する 授業：Chapter 10 ～ 12 の振り返り 復習：Chapter 10 ～ 12 の復習</p>								
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる。							
授業内課題の フィードバックの方法	課題提出を適宜行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材	大門正幸/デービッド・ローレンス著『大学生のための英語リーディング技法』（金星堂）							
参考書								
評価の基準と方法	平常点 40%（課題提出、授業態度など）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	英語 B II		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	English B II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	薬師 英子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	薬師 英子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 B I に引き続き、英語 B II では、標準的な英語を読むのに必要な力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。		
到達目標	標準的な構文で書かれた英文を聞き取り理解できる。標準的な構文で書かれた英文を、読むと理解できる。身近な話題について、主体的に書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第 1 回 予習：自分の英語学習を振り返る 授業：ガイダンス（授業についての説明や事前指導） TOEIC Pre-Test 復習：授業で学んだ語彙・文法・活動を振り返る</p> <p>第 2 回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 7 ①：Bank & Post office (P57-65) 人間や物の位置関係を表す表現を学ぶ。 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 3 回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 7 ②：Bank & Post office (P57-65) 不定詞と動名詞 グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 4 回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 8 ①：Job Hunting (P66-74) 会話の詳細な情報を聞き取る グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 5 回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 8 ②：Job Hunting (P66-74) ストーリーの流れ：例示、追加表現の使い方 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 6 回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 9 ① Health (P75-86) 全体把握のための鍵を知る。 グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 7 回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 9 ② Health (P75-86) これまで学んできた TOEIC の問題についてのまとめ提出。 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 8 回 予習：ここまでの授業を総復習する 授業：第 1 回～第 7 回の学習のまとめ 復習：まとめを振り返る</p> <p>第 9 回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 10 ①：Tourism：Travel by Land (P87-95) 物が主語になる受動態の表現 これまで学んできた Unit7～9(pp.67～86)についてのまとめの講評・ 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 10 回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 10 ②：Tourism：Travel by Land (P87-95) 比較表現を学ぶ グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 11 回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 11 ①：Tourism：Travel by Air (P96-104) 意図問題：文の真意を理解する グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 12 回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 11 ②：Tourism：Travel by Air (P96-104) ストーリーの流れ：結論を述べる表現を学ぶ 復習：授業中の活動を振り返る</p>			

<p>第 13 回 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 12 ① : Tourism: Hotels (P105-115) 図表問題 : グラフの見方と情報を聞き取る これまで学んできた TOEIC の問題についてのまとめ提出。 復習 : 授業中の活動を振り返る</p> <p>第 14 回 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 12 ② : Tourism: Hotels (P105-115) ストーリーの流れ : 追加・結論の表現を学ぶ 復習 : 授業中の活動を振り返る</p> <p>第 15 回 予習 : 今までの授業で学んだことを振り返る 授業 : 第 8 回～第 14 回の学習のまとめ これまで学んできた TOEIC の問題についてのまとめの講評。 復習 : 自分の課題を見つけ対策を立てる</p>								
授業開始前学習	学習予定の Unit の内容・単語の予習と小テストに向けての学習を必ず行うこと。映画・音楽・テレビ・新聞記事など、英語に触れる機会を多く持ち、国際的な事柄に積極的に興味を持つこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎時間授業の冒頭で小テストを行う。授業 7 回目、13 回目に提出するまとめについては、2 週間後（授業 9 回目、15 回目）に全体の講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	"AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST"、? 寛美、Eleanor Smith、福井 美奈子、中井 達也、倉田 誠 著、成美堂							
参考書	授業中に紹介する。							
評価の基準と方法	試験 60%、平常点 40%（小テスト、課題提出、Presentation、授業参加意欲）							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。テキスト忘れ、授業内での携帯電話の使用等は授業参加意欲の減点対象とする。その他、1 回目の授業で説明する。欠席した回の授業内容はシラバスや配信資料等を確認し、各自フォローアップする。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 BⅢ		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishBⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	川上 真巳子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	川上 真巳子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 BⅢ では、どのような英文にも対応できる発展的読解力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	複雑な構文で書かれた英文を、複数回にわたり聞き取りをすると理解できる。複雑な構文で書かれた英文を、時間をかけて読むと理解できる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>※ペアワークやグループワークなどを適宜行う。</p> <p>第 1 回 予習：これまでの英語学習を振り返る。 授業：オリエンテーション（課題解決型学習のための自習の重要性と授業内容について） 復習：今後の学習の確認</p> <p>第 2 回 予習：Chapter 1 該当箇所を読む。 授業：Chapter 1 Our Internal Clock: It's about Time p.16-19. 復習：既習箇所を読み直す。</p> <p>第 3 回 予習：Chapter 1 該当箇所を読む。 授業：Chapter 1 p.20-23. グループワーク、ディスカッション 復習：既習箇所を読み直す。復習テスト準備</p> <p>第 4 回 予習：Chapter 2 該当箇所を読む。 授業：Chapter 1 復習テスト、Chapter 2 Is It OK to Be Late? p.24-27. 復習：既習箇所を読み直す。</p> <p>第 5 回 予習：Chapter 2 該当箇所を読む。 授業：Chapter 2 p. 28-31. グループワーク、ディスカッション 復習：既習箇所を読み直す。復習テスト準備</p> <p>第 6 回 予習：Chapter 3 該当箇所を読む。 授業：Chapter 2 復習テスト Chapter 3 Technology Competes with Family Time p. 32-35. 復習：既習箇所を読み直す。</p> <p>第 7 回 予習：Chapter 3 該当箇所を読む。 授業：Chapter 3 p.36-39. グループワーク、ディスカッション 復習：既習箇所を読み直す。復習テスト準備</p> <p>第 8 回： 予習：Chapter 1-3 の見直し 授業：前期前半の振り返り 復習：授業中学習した項目の確認</p> <p>第 9 回 予習：Chapter 4 該当箇所を読む。 授業：Chapter 4 Sign Language for Everyone p.42-45. 復習：既習箇所を読み直す。</p> <p>第 10 回 予習：Chapter 4 該当箇所を読む。</p>			

授業： Chapter 4 p.46-49. グループワーク、ディスカッション
 復習： 既習箇所を読み直す。復習テスト準備

第 11 回

予習 Chapter 5 該当箇所を読む。

授業： Chapter 4 復習テスト Chapter 5 Our Kids Are Growing Up Too Fast ! p.50-53.

復習： 既習箇所を読み直す。

第 12 回

予習： Chapter 5 該当箇所を読む。

授業： Chapter 5 p.54-57. グループワーク、ディスカッション

復習： 既習箇所を読み直す。復習テスト準備

第 13 回

予習： Chapter 6 該当箇所を読む。

授業： Chapter 5 復習テスト Chapter 6 Loneliness: How Can We Overcome It? p.58-61.

復習： 既習箇所を読み直す。

第 14 回：

予習： Chapter 6 該当箇所を読む。

授業： Chapter 6 p.62-65. グループワーク、ディスカッション

復習：

既習箇所を読み直す。復習テスト準備

第 15 回

予習： Chapter 4-6 の見直し

授業： 前期後半の振り返り

復習： 授業中学んだ項目の確認

授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる。							
授業内課題の フィードバックの方法	各課終了後、次の授業冒頭で復習テストを行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材	“ READING CHOICE” Miyako Yamashina, Misturu Yokoyama, Yasuko Okino, NATIONAL GEOGRAPHIC LEARNING							
参考書	英和辞書、英英辞書							
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト、課題提出、Presentation、授業態度等）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	英語 BⅢ		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishBⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	金沢 じゅん	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	金沢 じゅん	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 BⅢ では、どのような英文にも対応できる発展的読解力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	複雑な構文で書かれた英文を、複数回にわたり聞き取りをすると理解できる。複雑な構文で書かれた英文を、時間をかけて読むと理解できる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第 1 回】 予習：シラバスの確認 授業：オリエンテーション（授業の目的や進め方や評価、課題について）と Unit 1（pp.11-14）、適宜、グループワークやディスカッションを行う。 復習：授業形式についての確認と該当箇所を振り返る</p> <p>【第 2 回】 予習：小テストの準備 授業：Unit 1（pp.15-16）、適宜、グループワークやディスカッションを行う。 復習：該当箇所を振り返る</p> <p>【第 3 回】 予習：小テストの準備 授業：Unit 2（pp.17-20）、適宜、グループワークやディスカッションを行う。 復習：該当箇所を振り返る</p> <p>【第 4 回】 予習：小テストの準備 授業：Unit 2（pp.21-22）、適宜、グループワークやディスカッションを行う。 復習：該当箇所を振り返る</p> <p>【第 5 回】 予習：小テストの準備 授業：Unit 3（pp.23-26）、適宜、グループワークやディスカッションを行う。 復習：該当箇所を振り返る</p> <p>【第 6 回】 予習：小テストの準備 授業：Unit 3（pp.27-28）、適宜、グループワークやディスカッションを行う。 復習：該当箇所を振り返る</p> <p>【第 7 回】 予習：既習箇所を振り返る 授業：前半の振り返り 復習：既習箇所を振り返る</p> <p>【第 8 回】 予習：小テストの準備 授業：Unit 4（pp.29-32）、適宜、グループワークやディスカッションを行う。 復習：該当箇所を振り返る</p> <p>【第 9 回】 予習：小テストの準備 授業：Unit 4（pp.33-34）、適宜、グループワークやディスカッションを行う。 復習：該当箇所を振り返る</p> <p>【第 10 回】 予習：小テストの準備 授業：Unit 5（pp.35-38）、適宜、グループワークやディスカッションを行う。 復習：該当箇所を振り返る</p> <p>【第 11 回】 予習：小テストの準備 授業：Unit 5（pp.39-40）、適宜、グループワークやディスカッションを行う。 復習：該当箇所を振り返る</p> <p>【第 12 回】 予習：小テストの準備 授業：Unit 6（pp.41-44）、適宜、グループワークやディスカッションを行う。 復習：該当箇所を振り返る</p> <p>【第 13 回】</p>			

予習：小テストの準備 授業：Unit 6 (pp.45-46)、適宜、グループワークやディスカッションを行う。 復習：該当箇所を振り返る 【第 14 回】 予習：小テストの準備 授業：Unit 7 (pp.47-52)、適宜、グループワークやディスカッションを行う。 復習：該当箇所を振り返る 【第 15 回】 予習：既習箇所を振り返る 授業：後半の振り返り 復習：既習箇所を振り返る ＊進捗状況により変更の可能性がある。								
授業開始前学習	今まで受講した英語科目で習ったことを復習しておく。							
授業内課題の フィードバックの方法	小テストや演習問題は授業内で解説する。 ライティング課題等は添削し、返却時に確認する。							
テキスト・教材	Osamu Takeuchi/Tomoko Yabukoshi/Machiko Ueki/Seijiro Sumi/Brent Cotsworth 著『ENGLISH STREAM Intermediate』（金星堂）							
参考書	英和・英英辞典							
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト、課題提出、アクティビティへの参加、授業態度等）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	英語 BⅢ		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishBⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	小室 竜也	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	小室 竜也	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 BⅢ では、どのような英文にも対応できる発展的読解力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の 4 技能を効果的に統合した学習活動を行う。英語のより深い理解を目的とし、授業では「課題解決型学習」および「発見学習」を取り入れ、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	複雑な構文で書かれた英文を、複数回にわたり聞き取りをすると理解できる。複雑な構文で書かれた英文を、時間をかけて読むと理解できる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
(授業の形態によってシラバスから大きく変更がある可能性があります)			
【第 1 回】 予習：自身の英語力に関して振り返る、シラバスの確認 授業：オリエンテーション（授業の目的や授業の進め方、予習の仕方等について） 復習：授業形式についての確認			
【第 2 回】 予習：教科書の Warm-in 授業：教科書 Unit 1 復習：授業で学習した単語・表現・文法を確認			
【第 3 回】 予習：教科書 Unit 1 の本文の音読 授業：教科書 Unit 1 の本文の Gap-filling, Sentence-Writing, Group Chat 復習：授業で学習した単語・表現・文法を確認			
【第 4 回】 予習：教科書の Warm-in 授業：教科書 Unit 2 復習：授業で行った活動における単語・表現等の復習			
【第 5 回】 予習：教科書 Unit 2 の本文の音読 授業：教科書 Unit 2 の本文の Gap-filling, Discussion 復習：授業で学習した単語・表現・文法を確認			
【第 6 回】 予習：教科書の Warm-in 授業：教科書 Unit 3 復習：授業で行った活動における単語・表現等の復習			
【第 7 回】 予習：教科書 Unit 3 の本文の音読 授業：教科書 Unit 3 の本文の Gap-filling, Sentence-Writing, Group Chat 復習：間違えた問題を解き直し、授業で学習した単語・表現・文法を確認			
【第 8 回】 予習：これまでに学習した内容の振り返り 授業：前期前半の振り返り 復習：間違えた問題を解き直し、授業で学習した単語・表現・文法を確認			
【第 9 回】 予習：教科書の Warm-in 授業：教科書 Unit 4 復習：授業で学習した単語・表現・文法を確認			
【第 10 回】 予習：教科書 Unit 4 の本文の音読 授業：教科書 Unit 4 の本文の Gap-filling, Discussion 復習：授業で学習した単語・表現・文法を確認			
【第 11 回】 予習：教科書の Warm-in 授業：教科書 Unit 5 復習：授業で学習した単語・表現・文法を確認			

<p>【第12回】 予習：教科書 Unit 5 の本文の音読 授業：教科書 Unit 5 の本文の Gap-filling, Sentence-Writing, Group Chat 復習：授業で学習した単語・表現・文法を確認</p> <p>【第13回】 予習：教科書の Warm-in 授業：教科書 Unit 6 復習：授業で行った活動における単語・表現等の復習</p> <p>【第14回】 予習：教科書 Unit 6 の本文の音読 授業：教科書 Unit 6 の本文の Gap-filling, Discussion 復習：授業で学習した単語・表現・文法を確認</p> <p>【第15回】 予習：これまでに学習した内容の振り返り 授業：前期後半の振り返り 復習：間違えた問題を解き直し、授業で学習した単語・表現・文法を確認</p>								
授業開始前学習	高校で学習した単語や表現・文法等をひととおり復習しておくことと授業が理解しやすい。また、映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業内課題の解説を Google Classroom に掲示し、全体で適宜確認する。							
テキスト・教材	Yuji Ushiro, Robert Juppe, & Andrew Jorn 著『Creative Reader』CreAid Learning + Plus							
参考書	安井稔『英文法総覧』開拓社 江川泰一郎『英文法解説』金子書房 吉川美夫『考える英文法』ちくま学芸文庫 野村益寛『英文法の考え方 英語学習者のための認知英文法講義』							
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト、課題提出、Presentation、授業態度等）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 BⅢ		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishBⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	薬師 英子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	薬師 英子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 BⅢ では、どのような英文にも対応できる発展的読解力を養うことを目標とする。ただし同時に、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。		
到達目標	複雑な構文で書かれた英文を、複数回にわたり聞き取りをすると、理解できる。複雑な構文で書かれた英文を、時間をかけて読むと理解できる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第1回 予習：自分の英語学習を振り返る 授業：ガイダンス：（授業についての説明や事前指導）Pre-Test（前年度の学習を振り返る） 復習：授業の活動を振り返る</p> <p>第2回 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Unit 1：The Amazing Flying Chair (P1-6) 目的語と補語を学ぶ。グループワーク 復習：授業の活動を振り返る</p> <p>第3回 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Unit 2：Dropping Out of High School (P7-12) SVOO を学ぶ。グループワーク 復習：授業の活動を振り返る</p> <p>第4回 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Unit 3：Bad Medical Advice? (P13-18) SVOC グループワーク 復習：授業の活動を振り返る</p> <p>第5回 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Unit 4：The Colonel's Bad Luck (P19-24) 単文・複文（1）を学ぶ。グループワーク 復習：授業の活動を振り返る</p> <p>第6回 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Unit 5 ①: A World Without Birds (P25-30) 単文・複文（2） グループワーク 復習：授業の活動を振り返る</p> <p>第7回 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Unit 5 ②：A World Without Birds (P25-30) 単文・複文（2）を学ぶ。 これまで学んできた Reading & Grammar の問題についてのまとめの提出 復習：授業の活動を振り返る</p> <p>第8回 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：第1回～第7回の学習のまとめ 復習：授業の活動を振り返る</p> <p>第9回 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Unit 6 ①：The Great Invention (P31-36) 補語：名詞節 that の文法を学ぶ。 これまで学んできた TOEIC の問題についてのまとめの講評。 復習：授業の活動を振り返る</p> <p>第10回 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Unit 6 ②：The Great Invention (P31-36) 補語：名詞節 that の文法を学ぶ。 復習：授業の活動を振り返る</p> <p>第11回 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Unit 7 ①: Garlic, Wonder Root (P37-42) 接続詞 グループワーク 復習：授業の活動を振り返る</p> <p>第12回 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Unit 7 ②: Garlic, Wonder Root (P37-42) 接続詞を学ぶ。</p>			

<p>復習：授業の活動を振り返る 第 13 回 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Unit 8 ①: John Chapman, a Strange, but Heroic Man (P43-48) 修飾語 (1) を学ぶ。グループワーク これまで学んできた Reading & Grammar の問題についてのまとめの提出 復習：授業の活動を振り返る 第 14 回 予習：教科書の該当箇所の予習をする 授業：Unit 8 ②: John Chapman, a Strange, but Heroic Man (P43-48) 修飾語 (1) を学ぶ。 復習：授業の活動を振り返る 第 15 回 予習：教科書の該当箇所の予習をする 授業：第 8 回～第 14 回の学習のまとめ これまで学んできた Reading & Grammar の問題についてのまとめの講評。 復習：授業の活動を振り返る</p>								
授業開始前学習	学習予定の Unit の内容・単語の予習と小テストに向けての学習を必ず行うこと。映画・音楽・テレビ・新聞記事など、英語に触れる機会を多く持ち、国際的な事柄に積極的に興味を持つこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎時間授業の冒頭で小テストを行う。授業 7 回目、13 回目に提出するまとめについては、2 週間後（授業 9 回目、15 回目）に全体の講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	"Premium Reader -Pre-intermediate-" Robert Juppe、馬場 幸雄、金星堂、2015							
参考書	授業中に紹介する。							
評価の基準と方法	試験 60%、平常点 40%（小テスト、課題提出、Presentation、授業参加意欲）							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻、早退は欠席とみなす。テキスト忘れ、授業内での携帯電話使用等は授業参加意欲の減点対象とする。その他、1 回目の授業で説明する。欠席した回の授業内容はシラバスや配信資料等を確認し、各自フォローアップする。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 BⅢ		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishBⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	境 奈津希	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	境 奈津希	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 BⅢ では、どのような英文にも対応できる発展的読解力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	複雑な構文で書かれた英文を、複数回にわたり聞き取りをすると理解できる。複雑な構文で書かれた英文を、時間をかけて読むと理解できる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第 1 回 予習： 語彙の意味調べ、現在形・進行形の復習 授業： Unit 1（教科書 p.8-13）（グループワーク、ディスカッション） 復習： 文法及び語彙の復習</p> <p>第 2 回 予習： 語彙の意味調べ、現在形・進行形の復習 授業： Unit 1（教科書 p.8-13）（グループワーク、ディスカッション） 復習： 文法及び語彙の復習</p> <p>第 3 回 予習： 語彙の意味調べ、現在形・進行形の復習 授業： Unit 2（教科書 p.14-19）（グループワーク、ディスカッション） 復習： 文法及び語彙の復習</p> <p>第 4 回 予習： 語彙の意味調べ、過去形の復習 授業： Unit 3（教科書 p.20-25）（グループワーク、ディスカッション） 復習： 文法及び語彙の復習</p> <p>第 5 回 予習： 語彙の意味調べ、過去形の復習 授業： Unit 4（教科書 p.26-31）（グループワーク、ディスカッション） 復習： 文法及び語彙の復習</p> <p>第 6 回 予習： 語彙の意味調べ、未来形の復習 授業： Unit 5（教科書 p.32-37）（グループワーク、ディスカッション） 復習： 文法及び語彙の復習</p> <p>第 7 回 予習： 語彙の意味調べ、場所を表す前置詞の復習 授業： Unit 6（教科書 p.38-43）（グループワーク、ディスカッション） 復習： 文法及び語彙の復習</p> <p>第 8 回 予習： 教科書(p.8-43)の文法と語彙の確認 授業： 前期前半の振り返り 復習： 前期前半に学習したことを確認する</p> <p>第 9 回 予習： 語彙の意味調べ、手段・道具を表す前置詞の復習 授業： Unit 7（教科書 p.44-49）（グループワーク、ディスカッション） 復習： 文法及び語彙の復習（教科書 p.33-38）</p> <p>第 10 回 予習： 語彙の意味調べ、There is 構文の復習 授業： Unit 8（教科書 p.50-55）（グループワーク、ディスカッション） 復習： 文法及び語彙の復習（教科書 p.33-44）</p> <p>第 11 回 予習： 語彙の意味調べ、代名詞の復習 授業： Unit 9（教科書 p.56-61）（グループワーク、ディスカッション） 復習： 文法及び語彙の復習（教科書 p.39-44）</p> <p>第 12 回 予習： 語彙の意味調べ、代名詞の復習 授業： Unit 10（教科書 p.62-67）（グループワーク、ディスカッション） 復習： 文法及び語彙の復習（教科書 p.45-50）</p>			

<p>第 13 回 予習：語彙の意味調べ、命令文の復習 授業：Unit 11 (教科書 p.68-73) (グループワーク、ディスカッション) 復習：文法及び語彙の復習 (教科書 p.45-56)</p> <p>第 14 回 予習：語彙の意味調べ、疑問文の復習 授業：Unit 12 (教科書 p.74-79) (グループワーク、ディスカッション) 復習：文法及び語彙の復習 (教科書 p.51-56)</p> <p>第 15 回 予習：教科書(p.38-79)の文法と語彙の確認 授業：前期後半の振り返り 復習：前期に学習したことを確認する</p>								
授業開始前学習	中学校、高等学校、昨年度の英語の授業で学んだことを再確認しておきましょう。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎時間授業冒頭で小テストを行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材	"総合英語パワーアップ<基礎編>：リスニングからリーディング (Power-Up English <Basic>)" JACET リスニング研究会, 南雲堂							
参考書	授業内で適宜配布します。							
評価の基準と方法	平常点 40% (小テスト、課題提出等) および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 BⅢ		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishBⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	薬師 英子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	薬師 英子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 BⅢ では、どのような英文にも対応できる発展的読解力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	複雑な構文で書かれた英文を、複数回にわたり聞き取りをすると、理解できる。複雑な構文で書かれた英文を、時間をかけて読むと理解できる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第1回 予習：自分の英語学習を振り返る 授業：ガイダンス：（授業についての説明や事前指導）Pre-Test（前年度の学習を振り返る） 復習：授業の活動を振り返る</p> <p>第2回 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Unit 1：What Did People Use Before Erasers? (P7-12) 現在時制・過去時制。グループワーク 復習：授業の活動を振り返る</p> <p>第3回 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Unit 2：Who Is Barbie? (P13-18) 助動詞。グループワーク 復習：授業の活動を振り返る</p> <p>第4回 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Unit 3：How Did T-shirts Become Popular (P19-24) 完了形 グループワーク 復習：授業の活動を振り返る</p> <p>第5回 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Unit 4：Who Invented Cotton Candy? (P25-30) 受動態 グループワーク 復習：授業の活動を振り返る</p> <p>第6回 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Unit 5 ①: Which Came First, the TV or the RC? (P31-36) There の構文 グループワーク 復習：授業の活動を振り返る</p> <p>第7回 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Unit 5 ②：Which Came First, the TV or the RC? (P31-36) There の構文。 これまで学んできた Reading 問題と Grammar についてのまとめの提出 復習：授業の活動を振り返る</p> <p>第8回 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：第1回～第7回の学習のまとめ 復習：授業の活動を振り返る</p> <p>第9回 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Unit 6 ①：Why Do ATM PINs Have Only Four Numbers? (P37-42) 冠詞・名詞。 これまで学んできた Reading 問題と Grammar についてのまとめの講評。 復習：授業の活動を振り返る</p> <p>第10回 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Unit 6 ②：Why Do ATM PINs Have Only Four Numbers? (P37-42) 冠詞・名詞。 復習：授業の活動を振り返る</p> <p>第11回 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Unit 7 ①: Why Are Pencils Yellow? (P43-48) 不定詞・動名詞 グループワーク 復習：授業の活動を振り返る</p> <p>第12回 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Unit 7 ②: Why Are Pencils Yellow? (P43-48) 不定詞・動名詞。</p>			

<p>復習：授業の活動を振り返る 第 13 回 予習：教科書の該当箇所を予習する 授業：Unit 8 ①: What Are the Ends of Shoelaces Called? (P49-54) 形容詞・副詞 グループワーク これまで学んできた TOEIC の問題についてのまとめの提出 復習：授業の活動を振り返る 第 14 回 予習：教科書の該当箇所の予習をする 授業：Unit 8 ②: What Are the Ends of Shoelaces Called? (P49-54) 形容詞・副詞。 復習：授業の活動を振り返る 第 15 回 予習：教科書の該当箇所の予習をする 授業：第 8 回～第 14 回の学習のまとめ これまで学んできた Reading 問題と Grammar についてのまとめの講評。 復習：授業の活動を振り返る</p>								
授業開始前学習	学習予定の Unit の内容・単語の予習と小テストに向けての学習を必ず行うこと。映画・音楽・テレビ・新聞記事など、英語に触れる機会を多く持ち、国際的な事柄に積極的に興味を持つこと。							
授業内課題の フィードバックの方法	毎時間授業の冒頭で小テストを行う。授業 7 回目、13 回目に提出するまとめについては、2 週間後（授業 9 回目、15 回目）に全体の講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	"Answers to Everyday Questions 3 ~Intermediate~" Arnold Arao, 三原 京、巴波 義典、木村 博是、南雲堂							
参考書	授業中に紹介する。							
評価の基準と方法	試験 60%、平常点 40%（小テスト、課題提出、Presentation、授業参加意欲）							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻、早退は欠席とみなす。テキスト忘れ、授業内での携帯電話使用等は授業参加意欲の減点対象とする。その他、1 回目の授業で説明する。欠席した回の授業内容はシラバスや配信資料等を確認し、各自フォローアップする。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	英語 BⅢ		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishBⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	中川 優一	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	中川 優一	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 BⅢ では、どのような英文にも対応できる発展的読解力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	複雑な構文で書かれた英文を複数回にわたり聞き取りをすと理解ができる。複雑な構文で書かれた英文を、時間をかけて読むと理解できる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第 1 回 予習：今まで学習した英語（特に単語と英文法）を見直しておく。 授業：オリエンテーション（今後の授業方針について、成績評価基準の説明等） 復習：今後の学習の確認</p> <p>第 2 回 予習：Unit 1 (Traveling, P15-17)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 1 (Traveling, P15-17) およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 2 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。</p> <p>第 3 回 予習：Unit 1 (Traveling, P18-21)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 1 (Traveling, P18-21) およびそれに付随したグループワーク・ディスカッション。 復習：第 3 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。</p> <p>第 4 回 予習：Unit 2 (Daily Life & Shopping, P23-25)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 2 (Daily Life & Shopping, P23-25) およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 4 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。</p> <p>第 5 回 予習：Unit 2 (Daily Life & Shopping, P26-29)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 2 (Daily Life & Shopping, P26-29)およびそれに付随したグループワーク・ディスカッション。 復習：第 5 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。</p> <p>第 6 回 予習：Unit 3 (At Restaurants, P31-33)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 3 (At Restaurants, P31-33)およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 6 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。</p> <p>第 7 回 予習：Unit 3 (At Restaurants, P34-37)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 3 (At Restaurants, P34-37) およびそれに付随したグループワーク・ディスカッション。 復習：第 7 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。</p> <p>第 8 回 予習：第 1 回～第 7 回までの復習 授業：中間試験を行う。 復習：試験でわからなかったところの確認。</p> <p>第 9 回 予習：Unit 4 (Job Hunting, P39-41)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：中間試験のフィードバック及び Unit 4 (Job Hunting, P39-41) およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 9 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。</p> <p>第 10 回 予習：Unit 4 (Job Hunting, P42-47)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 4 (Job Hunting, P42-47) およびそれに付随したグループワーク・ディスカッション。 復習：第 10 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。</p>			

第 11 回

予習：Unit 5 (At the office, P49-51)を概観し、わからない単語等を調べておく。

授業：Unit 5 (At the office, P49-51)およびそれに付随したグループワーク。

復習：第 11 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。

第 12 回

予習：Unit 5 (At the office, P52-55) を概観し、わからない単語等を調べておく。

授業：Unit 5 (At the office, P52-55) およびそれに付随したグループワーク・ディスカッション。

復習：第 12 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。

第 13 回

予習：Unit 6 (At the office 2, P57-59) を概観し、わからない単語等を調べておく。

授業：Unit 6 (At the office 2, P57-59) およびそれに付随したグループワーク。

復習：第 13 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。

第 14 回

予習：第 9 回～第 13 回までの復習

授業：期末試験を行う。

復習：試験でわからなかったところの確認。

第 15 回

予習：Unit 6 (At the office 2, P60-63) を概観し、わからない単語等を調べておく。

授業：期末試験のフィードバック及び Unit 6 (At the office 2, P60-63) およびそれに付随したグループワーク・ディスカッション。

復習：後期に向けて、前期でわからなかったところの再確認。

授業開始前学習	高校までの英単語、英文法をできるだけ見直しておくこと。映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持ち、興味がある文章や単語を、辞書で調べること。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎時間授業の冒頭で小テストを行う。また、課題提出を適宜行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材	Illuminating the Path to the TOEIC L&R Test, (2022) Michiko Ueki, et al., 金星堂							
参考書								
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト、課題提出、Presentation、授業態度等）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 BⅢ		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishBⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	池上 俊彦	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	池上 俊彦	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	本授業では、実践的英語力の育成のために、TOEIC 試験で一定の得点を取得できる英語力を身につけることを目指す。ただし、問題演習に終始するのではなく、英語の基礎的な運用能力向上のために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の4技能を効果的に統合したグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。		
到達目標	基本的な構文で書かれた英文を、複数回にわたり聞き取りをすると、理解できる。基本的な構文で書かれた英文を、時間をかけて読むと理解できる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
毎時間ペアワーク等を適宜行う			
1回 予習：シラバスを確認しておく 授業：Introduction 復習：新出単語と文法項目の暗記			
2回 予習：リーディングセクションの音読 授業：Johannes Vermeer & The Milkmaid pp. 2-3 復習：新出単語と文法項目の暗記			
3回 予習：リーディングセクションの音読 授業：Johannes Vermeer & The Milkmaid pp. 4-5 復習：新出単語と文法項目の暗記			
4回 予習：リーディングセクションの音読 授業：Jean-Francois Millet & Woman Baking Bread pp. 6-7 復習：新出単語と文法項目の暗記			
5回 予習：リーディングセクションの音読 授業：Jean-Francois Millet & Woman Baking Bread pp. 8-9 復習：新出単語と文法項目の暗記			
6回 予習：リーディングセクションの音読 授業：Vincent van Gogh & The Potato Eaters pp. 10-11 復習：新出単語と文法項目の暗記			
7回 予習：リーディングセクションの音読 授業：Vincent van Gogh & The Potato Eaters pp. 12-13、課題提出 復習：新出単語と文法項目の暗記			
8回 予習：リーディングセクションの音読 授業：前期前半の振り返り 復習：新出単語と文法項目の暗記			
9回 予習：リーディングセクションの音読 授業：Paul Gauguin & Where Do We Come From? What Are We? Where Are We Going? pp. 14-15、提出課題のおさらい（グループワーク） 復習：新出単語と文法項目の暗記			
10回 予習：リーディングセクションの音読 授業：Paul Gauguin & Where Do We Come From? What Are We? Where Are We Going? pp. 16-17 復習：新出単語と文法項目の暗記			
11回 予習：リーディングセクションの音読 授業：Michelangelo Merisi da Caravaggio & Supper at Emmaus pp. 18-19 復習：新出単語と文法項目の暗記			
12回 予習：リーディングセクションの音読			

授業：Michelangelo Merisi da Caravaggio & Supper at Emmaus pp. 20-21 復習：新出単語と文法項目の暗記 13回 予習：リーディングセクションの音読 授業：Jean-Baptiste Simeon Chardin & The Prayer before Meal pp. 22-23、課題提出 復習：新出単語と文法項目の暗記 14回 予習：リーディングセクションの音読 授業：Jean-Baptiste Simeon Chardin & The Prayer before Meal pp. 24-25 復習：新出単語と文法項目の暗記 15回 予習：リーディングセクションの音読 授業：前期後半の振り返り、提出課題のおさらい（グループワーク） 復習：新出単語と文法項目の暗記								
授業開始前学習	英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を辞書で調べる。教科書のリーディングセクションの音読。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業 7 回目、13 回目に提出する課題については、2 週間後（授業 9、15 回目）に全体の講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	Josh Norman、松井真帆、本山ふじ子 『A View From Painters' Palettes : Food And Culture 絵画を彩る食文化』朝日出版社、2010 年。(ISBN: 9784255156446) 適宜プリント							
参考書								
評価の基準と方法	授業態度と課題提出 40% テスト 60%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 BⅢ		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishBⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	鈴木 悠理	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	鈴木 悠理	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 B I II では、どのような英文にも対応できる発展的読解力を目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の基礎的な運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	複雑な構文で書かれた英文を、複数回にわたり聞き取りをすると理解できる。複雑な構文で書かれた英文を、時間をかけて読むと理解できる。身近な話題について、書いたり話したりすることができる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>〈第 1 回〉 予習：シラバスを確認する。テキストと辞書（電子辞書可）を用意する。 授業：ガイダンス（授業概要、到達目標、授業の進め方について） 復習：授業で説明を受けたガイダンスをもとに、前期の目標を立てる。</p> <p>〈第 2 回〉 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 1（前半）グループワーク 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。</p> <p>〈第 3 回〉 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。 授業：Unit 1（後半）グループワーク、Unit 1（全体）小テスト</p> <p>〈第 4 回〉 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 2（前半）グループワーク 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。</p> <p>〈第 5 回〉 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。 授業：Unit 2（後半）グループワーク、Unit 2（全体）小テスト 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。</p> <p>〈第 6 回〉 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 3（前半）グループワーク 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。</p> <p>〈第 7 回〉 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。 授業：Unit 3（後半）グループワーク、Unit 3（全体）小テスト、前期前半の振り返り 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。</p> <p>〈第 8 回〉 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 4（前半）グループワーク 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。</p> <p>〈第 9 回〉 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。 授業：Unit 4（後半）グループワーク、Unit 4（全体）小テスト 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。</p> <p>〈第 10 回〉 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 5（前半）グループワーク 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。</p> <p>〈第 11 回〉 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。 授業：Unit 5（後半）グループワーク、Unit 5（全体）小テスト 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。</p> <p>〈第 12 回〉 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 6（前半）グループワーク 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。</p> <p>〈第 13 回〉 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。</p>			

<p>授業：Unit 6（後半）グループワーク、Unit 6（全体）小テスト 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。 〈第 14 回〉 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 7（前半）グループワーク 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。 〈第 15 回〉 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。 授業：Unit 7（後半）グループワーク、Unit 7（全体）小テスト、前期後半の振り返り 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。前期で得た自分の強みと今後の課題を明らかにする。</p>								
授業開始前学習	時事ニュースや文化（映画・音楽・ファッションなど）を通して英語に触れる機会を持つこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	2 週に 1 回、各 Unit の学習を終えたところで小テストを行う。翌週、返却時に解説を行う。授業 7 回目、15 回目に授業内容の復習を行い、クラスおよび個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	Arnold Arano、三原京、巴波義典、木村博是『Answers to Everyday Questions 3<Intermediate>身近な不思議を英語で学ぶ<中級>』（南雲堂）							
参考書	英和辞典・和英辞典は必須（電子辞典可）。その他は授業内で適宜紹介する。							
評価の基準と方法	平常点 40%（授業参加態度、小テスト、課題提出など）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業の 3 分の 1 以上を欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。その他、公欠についてなどは第 1 回の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 BⅢ		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishBⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	加藤 健太	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	加藤 健太	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 BⅢ では、どのような英文にも対応できる発展的読解力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	複雑な構文で書かれた英文を、複数回にわたり聞き取りをすると理解できる。複雑な構文で書かれた英文を、時間をかけて読むと理解できる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第 1 回】 予習：シラバスの確認 授業：オリエンテーション（授業の目的や進め方、課題について） 復習：授業形式についての確認</p> <p>【第 2 回】 予習：教科書の Unit 1 を読み、問題を解く 授業：Unit 1 (pp. 1-6)：リーディング 復習：Unit 1 の復習</p> <p>【第 3 回】 予習：教科書の Unit 1 の内容について自分の考えを書く 授業：Unit 1 (pp. 1-6)：ディスカッション 復習：Unit 1 の復習</p> <p>【第 4 回】 予習：教科書の Unit 2 を読み、問題を解く 授業：Unit 2 (pp. 7-12)：リーディング 復習：Unit 2 の復習</p> <p>【第 5 回】 予習：教科書の Unit 2 の内容について自分の考えを書く 授業：Unit 2 (pp. 7-12)：ディスカッション 復習：Unit 2 の復習</p> <p>【第 6 回】 予習：教科書の Unit 3 を読み、問題を解く 授業：Unit 3 (pp. 13-18)：リーディング 復習：Unit 3 の復習</p> <p>【第 7 回】 予習：教科書の Unit 3 の内容について自分の考えを書く 授業：Unit 3 (pp. 13-18)：ディスカッション 復習：Unit 3 の復習</p> <p>【第 8 回】 予習：Unit 1 ～ 3 で習った内容を再確認する 授業：Unit 1 ～ 3 の振り返り 復習：Unit 1 ～ 3 の復習</p> <p>【第 9 回】 予習：教科書の Unit 4 を読み、問題を解く 授業：Unit 4 (pp. 19-24)：リーディング 復習：Unit 4 の復習</p> <p>【第 10 回】 予習：教科書の Unit 4 の内容について自分の考えを書く 授業：Unit 4 (pp. 19-24)：ディスカッション 復習：Unit 4 の復習</p> <p>【第 11 回】 予習：教科書の Unit 5 を読み、問題を解く 授業：Unit 5 (pp. 25-30)：リーディング 復習：Unit 5 の復習</p> <p>【第 12 回】 予習：教科書の Unit 5 の内容について自分の考えを書く 授業：Unit 5 (pp. 25-30)：ディスカッション 復習：Unit 5 の復習</p> <p>【第 13 回】</p>			

予習：教科書の Unit 6 を読み、問題を解く 授業：Unit 6 (pp. 31-36)：リーディング 復習：Unit 6 の復習 【第 14 回】 予習：教科書の Unit 6 の内容について自分の考えを書く 授業：Unit 6 (pp. 31-36)：ディスカッション 復習：Unit 6 の復習 【第 15 回】 予習：Unit 4 ～ 6 で習った内容を再確認する 授業：Unit 4 ～ 6 の振り返り 復習：Unit 4 ～ 6 の復習								
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる。							
授業内課題のフィードバックの方法	課題提出を適宜行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材	本名信行 / 竹下裕子 / James D'Angelo 著『グローバル化社会の英語を考える』（金星堂）							
参考書								
評価の基準と方法	平常点 40%（課題提出、授業態度など）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 BⅢ		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishBⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	遠藤 玲奈	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	遠藤 玲奈	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 BⅢ では、どのような英文にも対応できる発展的読解力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	複雑な構文で書かれた英文を、複数回にわたり聞き取りをすると理解できる。複雑な構文で書かれた英文を、時間をかけて読むと理解できる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第 1 回 予習：シラバスを読んでおく。テキストと辞書（電子辞書可）を用意する 授業：オリエンテーション（授業概要、到達目標、授業の進め方について）、グループワーク 復習：授業中に説明を受けた授業概要、到達目標、授業の進め方をもとに、今学期の目標を立てる</p> <p>第 2 回 予習：Unit 1 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 1（前半：pp. 9-11）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 3 回 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 1（後半：pp. 12-14）グループワーク、Unit 1（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 4 回 予習：Unit 2 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 2（前半：pp. 15-17）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする</p> <p>第 5 回 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 2（後半：pp. 18-20）グループワーク、Unit 2（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 6 回 予習：Unit 3 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 3（前半：pp. 21-23）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする</p> <p>第 7 回 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 3（後半：pp. 24-26）グループワーク、Unit 3（全体）小テスト、前期前半の振り返り 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 8 回 予習：Unit 4 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 4（前半：pp. 27-29）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする</p> <p>第 9 回 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 4（後半：pp. 30-32）グループワーク、Unit 4（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 10 回 予習：Unit 5 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 5（前半：pp. 33-35）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする</p> <p>第 11 回 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 5（後半：pp. 36-38）グループワーク、Unit 5（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 12 回 予習：Unit 6 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 6（前半：pp. 39-41）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする</p>			

<p>第 13 回 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 6（後半：pp. 42-44）グループワーク、Unit 6（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第 14 回 予習：Unit 7 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 7（前半：pp. 45-47）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする</p> <p>第 15 回 予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 7（後半：pp. 48-50）グループワーク、Unit 7（全体）小テスト、前期後半の振り返り 復習：自分の課題を見つけ対策を立てる</p>								
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。また、学習予定の Unit の内容・単語の予習と小テストの準備を必ず行うこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	2 週に 1 回、各 Unit の学習を終えたところで小テストを行う。翌週、返却時に解説を行う。授業 7 回目、15 回目に授業内容の復習を行い、クラスおよび個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	Tatsuki Sato, Ayed Hasian, Shunsuke Uchino『Get the Signal!!』（金星堂）							
参考書	授業内で適宜紹介する。							
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト、課題提出、授業態度等）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 BⅢ		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishBⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	津村 早紀	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	津村 早紀	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 BⅢ では、どのような英文にも対応できる発展的読解力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、リスニングやグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	複雑な構文で書かれた英文を、複数回にわたり聞き取りをすると理解できる。複雑な構文で書かれた英文を、時間をかけて読むと理解できる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第 1 回 予習：シラバスで授業内容を確認する 授業：ガイダンス（授業についての説明や事前指導、テキストについて）、Area 1 Europe (1) pp. 8-10 復習：第 1 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 2 回 予習：テキスト p. 12 に目を通しておく 授業：Area 1 Europe (2) pp.11-13（解答確認時にグループワーク等を含む） 復習：第 2 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 3 回 予習：テキスト p.16 に目を通しておく 授業：Area 2 Africa (1) pp. 14-16 復習：第 3 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 4 回 予習：テキスト p. 18 に目を通しておく 授業：Area 2 Africa (2) pp. 17-19（解答確認時にグループワーク等を含む） 復習：第 4 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 5 回 予習：テキスト p.22 に目を通しておく 授業：Area 3 The Middle East (1) pp. 20-22 復習：第 5 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 6 回 予習：テキスト p.24 に目を通しておく 授業：Area 3 The Middle East (2) pp. 23-25（解答確認時にグループワーク等を含む） 復習：第 6 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 7 回 予習：前期前半（Area 1- Area 3）の振り返り 授業：前期前半の振り返り 復習：第 7 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 8 回 予習：テキスト p. 28 に目を通しておく 授業：前期前半の振り返りについての講評、Area 4 South Asia (1) pp. 26-28 復習：第 8 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 9 回 予習：テキスト p.30 に目を通しておく 授業：Area 4 South Asia (2) pp. 29-31 復習：第 9 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 10 回 予習：テキスト p. 34 に目を通しておく 授業：Area 5 Russia and its Neighboring Countries (1) pp. 32-34 復習：第 10 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 11 回 予習：テキスト p.36 に目を通しておく 授業：Area 5 Russia and its Neighboring Countries (2) pp. 35-37（解答確認時にグループワーク等を含む） 復習：第 11 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 12 回 予習：テキスト p. 40 に目を通しておく 授業：Area 6 East Asia (1) pp.38-40 復習：第 12 回の授業中の活動を振り返る</p>			

<p>第 13 回 予習：テキスト p. 42 に目を通しておく 授業：Area 6 East Asia (2) pp.41-43（解答確認時にグループワーク等を含む） 復習：第 13 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 14 回 予習：前期後半（Area 4- Area 6）の振り返り 授業：前期後半の振り返り 復習：第 14 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 15 回 予習：テキスト pp.84-89 に目を通しておく 授業：前期後半の振り返りについての講評、Exercises I - VI pp. 84-89 復習：第 15 回の授業中の活動を振り返る</p>								
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる。							
授業内課題の フィードバックの方法	授業 7 回目、14 回目に行う振り返りについては、それぞれ 1 週間後（授業 8 回目、15 回目）に講評を行い、質問に回答する。 毎時間授業冒頭で小テストを行い、収集時に確認する。また、課題提出を適宜行い、収集時に確認する。							
テキスト・教材	笹島 茂 編/ 仲谷 都 / 油木田美由紀 / 大和洋子 / Michele Joel 著 【2023 年度新刊】CLIL 英語と地図で学ぶ世界事情【改訂版】 ISBN：9784384335224 （三修社）							
参考書	英和辞典、英英辞典。その他、参考書がある場合は、適宜授業中に指示する。							
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト、課題提出、授業態度等）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	英語 BⅢ		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishBⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	本村 万喜子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	本村 万喜子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 BⅢ では、どのような英文にも対応できる発展的読解力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	複雑な構文で書かれた英文を、複数回にわたり聞き取りをすると理解できる。複雑な構文で書かれた英文を、時間をかけて読むと理解できる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>※ペアワークやディスカッションを含む回がある。</p> <p>第 1 回 予習：これまでの英語学習を振り返る 授業：オリエンテーション（授業のすすめ方について）、Unit1:Hobby/Entertainment(pp.9-10) 復習：授業のすすめ方を確認し、学習計画を立てる</p> <p>第 2 回 予習：Unit1 の内容を確認し、分からない単語は調べておく 授業：Unit1:Hobby/Entertainment(pp.11-12) 復習：Unit1((pp.11-12)の課題に取り組む</p> <p>第 3 回 予習：Unit2(pp.13-14)の内容を確認し、分からない単語は調べておく 授業：Unit2:Travel/Transport(pp.13-14) 復習：Unit2(pp.13-14)の課題に取り組む</p> <p>第 4 回 予習：Unit2(pp.15-16)の内容を確認し、分からない単語は調べておく 授業：Unit2:Travel/Transport(pp.15-16) 復習：Unit2(pp.15-16)の課題に取り組む</p> <p>第 5 回 予習：Unit3 の内容を確認し、分からない単語は調べておく 授業：Unit3:Sports(pp.17-20) 復習：Unit3(pp.17-20)の課題に取り組む</p> <p>第 6 回 予習：Unit4(pp.21-22)の内容を確認し、分からない単語は調べておく 授業：Unit4:Culture(pp.21-22) 復習：Unit4(pp.21-22)の課題に取り組む</p> <p>第 7 回 予習：Unit1~4（前半）の内容を確認する 授業：Unit1~4（前半）の振り返り 復習：前期前半の学習を振り返り、前期後半の学習計画を立てる</p> <p>第 8 回 予習：Unit4(pp.23-24)の内容を確認し、分からない単語は調べておく 授業：Unit4:Culture(pp.23-24) 復習：Unit4(pp.23-24)の課題に取り組む</p> <p>第 9 回 予習：Unit5(pp.25-26)の内容を確認し、分からない単語は調べておく 授業：Unit5:Health(pp.25-26) 復習：Unit5(pp.25-26)の課題に取り組む</p> <p>第 10 回 予習：Unit5(pp.27-28)の内容を確認し、分からない単語は調べておく 授業：Unit5:Health(pp.27-28) 復習：Unit5(pp.26-27)の課題に取り組む</p> <p>第 11 回 予習：Unit6(pp.29-30)の内容を確認し、分からない単語は調べておく 授業：Unit6:Career(pp.29-30) 復習：Unit6(pp.29-30)の課題に取り組む</p> <p>第 12 回 予習：Unit6(pp.31-32)の内容を確認し、分からない単語は調べておく 授業：Unit6:Career(pp.31-32) 復習：Unit6 の課題に取り組む</p>			

<p>第 13 回 予習：Unit7 の内容を確認し、分からない単語は調べておく 授業：Unit7:Education(pp.33-36) 復習：Unit7 の課題に取り組む</p> <p>第 14 回 予習：Unit4 後半～7 の内容を確認する 授業：Unit4 後半～7 の振り返り 復習：前期後半の学習を振り返る</p> <p>第 15 回 予習：前期の学習内容を確認する 授業：前期の学習についての講評 復習：苦手な学習内容等、自分の課題を見つけ、前期の学習を分析する</p>								
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる。							
授業内課題の フィードバックの方法	小テスト、課題提出を適宜行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材	JACET リスニング研究会 著『Power-Up College English <Basic>パワーアップ・イングリッシュ<基礎編>』（南雲堂）							
参考書								
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト、課題提出）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	英語 BⅢ		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishBⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	薬師 英子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	薬師 英子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 BⅢ では、どのような英文にも対応できる発展的読解力を養うことを目標とする。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。		
到達目標	複雑な構文で書かれた英文を、複数回にわたり聞き取りをすると、理解できる。複雑な構文で書かれた英文を、時間をかけて読むと理解できる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第 1 回】 予習：自分の英語学習を振り返る 授業：オリエンテーション（授業のねらい、授業の進め方等について）（グループワーク） 復習：家庭学習を考える</p> <p>【第 2 回】 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 1 Hungry Cat (pp.1~4) 復習：Unit 1 Hungry Cat の新出単語・重要熟語・文法事項の復習</p> <p>【第 3 回】 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 2 Chocolate Chip Cookies (pp.5~8) 復習：Unit 2 Chocolate Chip Cookies の新出単語・重要熟語・文法事項の復習</p> <p>【第 4 回】 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Review of Unit 1 & 2（グループワーク） 復習：Unit 1 Hungry Cat・Unit 2 Chocolate Chip Cookies の英語要約と文法 Exercise</p> <p>【第 5 回】 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 3 Hollywood's Hero (pp.9~12) 復習：Unit 3 Hollywood's Hero の新出単語・重要熟語・文法事項の復習</p> <p>【第 6 回】 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 4 Miscommunication (pp.13~16) 復習：Unit 4 Miscommunication の新出単語・重要熟語・文法事項の復習</p> <p>【第 7 回】 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Review of Unit 3 & Unit 4（グループワーク&プレゼンテーション） 復習：Unit 3 Hollywood's Hero・Unit 4 Miscommunication の英語要約と文法 Exercise</p> <p>【第 8 回】 予習：ここまでの授業を総復習する 授業：中間のまとめ 復習：まとめを振り返る</p> <p>【第 9 回】 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 5 The Lucky Ride (pp.17~19) 復習：Unit 5 The Lucky Ride の新出単語・重要熟語・文法事項の復習</p> <p>【第 10 回】 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 5 The Lucky Ride (p.20) Review & Activity（グループワーク） 復習：Unit 5 The Luchy Ride の英語要約と文法 Exercise</p> <p>【第 11 回】 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 6 A Real Monster (pp.21~23) 復習：Unit 6 A Real Monster の新出単語・重要熟語・文法事項の復習</p> <p>【第 12 回】 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 6 A Real Monster (p.24) Review & Activity（グループワーク） 復習：Unit 6 A Real Mosnter の英語要約と文法 Exercise</p> <p>【第 13 回】</p>			

予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 7 Lunchbox Revolution (pp.25~27) 復習 : Unit 7 Lunchbox Revolution の新出単語・重要熟語・文法事項の復習 【第 14 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 7 Lunchbox Revolution (p.28) Review & Activity (グループワーク) 復習 : Unit 7 Lunchbox Revolution の英語要約と文法 Exercise 【第 15 回】 予習 : 今まで授業で学んだことを振り返る 授業 : Review of Unit 1 The Hunry Cat ~ Unit 7 Lunchbox Revolution (プレゼンテーション) 復習 : 自分の課題を見つけ対策を立てる								
授業開始前学習	学習予定の Unit の内容・単語の予習と小テストに向けての学習を必ず行うこと。映画・音楽・テレビ・新聞記事など、英語に触れる機会を多く持ち、国際的な事柄に積極的に興味を持つこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎時間授業の冒頭で小テストを行う。授業 8 回目、15 回目に提出するまとめについては、全体の講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	Robert Juppe, 馬場 幸雄 『Premium Reader ~Elementary~』 (金星堂)							
参考書	授業中に紹介する。							
評価の基準と方法	試験 60%、平常点 40% (小テスト、課題提出、Presentation、授業態度)							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目	英語							
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻、早退は欠席とみなす。テキスト忘れ、授業内での携帯電話使用等は授業参加意欲の減点対象とする。その他、1 回目の授業で説明する。欠席した回の授業内容はシラバスや配信資料等を確認し、各自フォローアップする。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 BIV		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishBIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	川上 真巳子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	川上 真巳子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 B Ⅲに引き続き、英語 B IVではあらゆる英文に対応できる発展的読解力のさらなる育成を目指す。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	複雑な構文で書かれた英文を聞き取り、理解することができる。複雑な構文で書かれた英文を読むと理解できる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>※ペアワークやグループワークなどを適宜行う。</p> <p>第 1 回 予習：前期の学習の振り返り 授業：既習テーマについて グループワーク、ディスカッション 復習：既習箇所の振り返り。</p> <p>第 2 回 予習：Chapter 7 該当箇所を読む。 授業：Chapter 7 Solving Crimes with Modern Technology p.68-71. 復習：既習箇所を読み直す。</p> <p>第 3 回 予習：Chapter 7 該当箇所を読む。 授業：Chapter 7 p. 72-74. グループワーク、ディスカッション 復習：既習箇所を読み直す。復習テスト準備</p> <p>第 4 回 予習：Chapter 8 該当箇所を読む。 授業：Chapter 7 復習テスト Chapter 8 The Reliability of Eyewitnesses p.76-79. 復習：既習箇所を読み直す。</p> <p>第 5 回：Chapter 8 該当箇所を読む。 授業：Chapter 8 p.80-83. グループワーク、ディスカッション 復習：既習箇所を読み直す。復習テスト準備</p> <p>第 6 回 予習：Chapter 9 該当箇所を読む。 授業：Chapter 8 復習テスト Chapter 9 Innocent until Proven Guilty: The Criminal Court System p.84-87. 復習：既習箇所を読み直す。</p> <p>第 7 回 Chapter 9 該当箇所を読む。 授業：Chapter 9 p. 88-91. グループワーク、ディスカッション 復習：既習箇所を読み直す。復習テスト準備</p> <p>第 8 回 予習：Chapter 7-9 復習 授業：前期前半の振り返り 復習：授業中学んだ項目の確認</p> <p>第 9 回 予習：Chapter 10 該当箇所を読む。 授業：Chapter 10 Saving Lives with New Organs p.94-97. 復習：既習箇所を読み直す。</p> <p>第 10 回 予習：Chapter 10 該当箇所を読む。 授業：Chapter 10 p.98-101. グループワーク、ディスカッション 復習：既習箇所を読み直す。復習テスト準備</p>			

第 11 回

予習：Chapter 11 該当箇所を読む。

授業：Chapter 10 復習テスト Chapter 11 Object from Space: Hits and Misses p.102-106.

復習：既習箇所を読み直す。

第 12 回

予習 Chapter 11 該当箇所を読む。

授業：Chapter 11 p.107-111. グループワーク、ディスカッション

復習：既習箇所を読み直す。復習テスト準備

第 13 回

予習：Chapter 12 該当箇所を読む。

授業：Chapter 11 復習テスト Chapter 12 Medicine Today p.112-116.

復習：既習箇所を読み直す。

第 14 回

予習：Chapter 12 該当箇所を読む。

授業：Chapter 12 p.117-121. グループワーク、ディスカッション

復習：既習箇所を読み直す。

第 15 回

予習：Chapter 9-12 の復習

授業：後期後半の振り返り

復習：授業中学習した項目の確認

授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる。							
授業内課題の フィードバックの方法	各課終了後、次の授業冒頭で小テストを行い、返却時に確認する							
テキスト・教材	“READING CHOICE” Miyako Yamashina, Misturu Yokoyama, Yasuko Okino, NATIONAL GEOGRAPHIC LEARNING							
参考書	英和辞書、英英辞書							
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト、課題提出、Presentation、授業態度等）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	英語 BIV		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishBIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	金沢 じゅん	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	金沢 じゅん	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 B Ⅲに引き続き、英語 B Ⅳではあらゆる英文に対応できる発展的読解力のさらなる育成を目指す。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	複雑な構文で書かれた英文を聞き取り、理解することができる。複雑な構文で書かれた英文を読むと理解できる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第 1 回】 予習：シラバスの確認 授業：オリエンテーション（授業の目的や進め方や評価、課題について）と Unit 8（pp.53-56）、適宜、グループワークやディスカッションを行う。 復習：授業形式についての確認と該当箇所を振り返る</p> <p>【第 2 回】 予習：小テストの準備 授業：Unit 8（pp.57-58）、適宜、グループワークやディスカッションを行う。 復習：該当箇所を振り返る</p> <p>【第 3 回】 予習：小テストの準備 授業：Unit 9（pp.59-62）、適宜、グループワークやディスカッションを行う。 復習：該当箇所を振り返る</p> <p>【第 4 回】 予習：小テストの準備 授業：Unit 9（pp.63-64）、適宜、グループワークやディスカッションを行う。 復習：該当箇所を振り返る</p> <p>【第 5 回】 予習：小テストの準備 授業：Unit 10（pp.65-68）、適宜、グループワークやディスカッションを行う。 復習：該当箇所を振り返る</p> <p>【第 6 回】 予習：小テストの準備 授業：Unit 10（pp.69-70）、適宜、グループワークやディスカッションを行う。 復習：該当箇所を振り返る</p> <p>【第 7 回】 予習：既習箇所を振り返る 授業：前半の振り返り 復習：既習箇所を振り返る</p> <p>【第 8 回】 予習：小テストの準備 授業：Unit 11（pp.71-75）、適宜、グループワークやディスカッションを行う。 復習：該当箇所を振り返る</p> <p>【第 9 回】 予習：小テストの準備 授業：Unit 11（pp.76-78）、適宜、グループワークやディスカッションを行う。 復習：該当箇所を振り返る</p> <p>【第 10 回】 予習：小テストの準備 授業：Unit 12（pp.79-82）、適宜、グループワークやディスカッションを行う。 復習：該当箇所を振り返る</p> <p>【第 11 回】 予習：小テストの準備 授業：Unit 12（pp.83-84）、適宜、グループワークやディスカッションを行う。 復習：該当箇所を振り返る</p> <p>【第 12 回】 予習：小テストの準備 授業：Unit 13（pp.85-88）、適宜、グループワークやディスカッションを行う。 復習：該当箇所を振り返る</p> <p>【第 13 回】</p>			

<p>予習：小テストの準備 授業：Unit 13 (pp.89-90) 、適宜、グループワークやディスカッションを行う。 復習：該当箇所を振り返る 【第 14 回】 予習：小テストの準備 授業：Unit 14 (pp.91-96) 、適宜、グループワークやディスカッションを行う。 復習：該当箇所を振り返る 【第 15 回】 予習：既習箇所を振り返る 授業：後半の振り返り 復習：既習箇所を振り返る</p> <p>* 進捗状況により変更の可能性がある。</p>								
授業開始前学習	今まで受講した英語科目で習ったことを復習しておく。							
授業内課題の フィードバックの方法	小テストや演習問題は授業内で解説する。 ライティング課題等は添削し、返却時に確認する。							
テキスト・教材	Osamu Takeuchi/Tomoko Yabukoshi/Machiko Ueki/Seijiro Sumi/Brent Cotsworth 著『ENGLISH STREAM Intermediate』(金星堂)							
参考書	英和・英英辞典							
評価の基準と方法	平常点 40% (小テスト、課題提出、アクティビティへの参加、授業態度等) および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	英語 BIV		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishBIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	小室 竜也	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	小室 竜也	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英英語 B Ⅲに引き続き、英語 B IVではあらゆる英文に対応できる発展的読解力のさらなる育成を目指す。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の4技能を効果的に統合した学習活動を行う。英語のより深い理解を目的とし、授業では「課題解決型学習」および「発見学習」を取り入れ、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	複雑な構文で書かれた英文を聞き取り、理解することができる。複雑な構文で書かれた英文を読むと理解できる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
(授業の形態によってシラバスから大きく変更がある可能性があります)			
【第1回】 予習：自身の英語力に関して振り返る、シラバスの確認 授業：オリエンテーション（授業の目的や授業の進め方、予習の仕方等について） 復習：授業形式についての確認			
【第2回】 予習：教科書の Warm-in 授業：教科書 Unit 7 復習：授業で学習した単語・表現・文法を確認			
【第3回】 予習：教科書 Unit 7 の本文の音読 授業：教科書 Unit 7 の本文の Gap-filling, Sentence-Writing, Group Chat 復習：授業で学習した単語・表現・文法を確認			
【第4回】 予習：教科書の Warm-in 授業：教科書 Unit 8 復習：授業で行った活動における単語・表現等の復習			
【第5回】 予習：教科書 Unit 8 の本文の音読 授業：教科書 Unit 8 の本文の Gap-filling, Discussion 復習：授業で学習した単語・表現・文法を確認			
【第6回】 予習：教科書の Warm-in 授業：教科書 Unit 9 復習：授業で行った活動における単語・表現等の復習			
【第7回】 予習：教科書 Unit 9 の本文の音読 授業：教科書 Unit 9 の本文の Gap-filling, Sentence-Writing, Group Chat 復習：間違えた問題を解き直し、授業で学習した単語・表現・文法を確認			
【第8回】 予習：これまでに学習した内容の振り返り 授業：前期前半の振り返り 復習：間違えた問題を解き直し、授業で学習した単語・表現・文法を確認			
【第9回】 予習：教科書の Warm-in 授業：教科書 Unit 10 復習：授業で学習した単語・表現・文法を確認			
【第10回】 予習：教科書 Unit 10 の本文の音読 授業：教科書 Unit 10 の本文の Gap-filling, Discussion 復習：授業で学習した単語・表現・文法を確認			
【第11回】 予習：教科書の Warm-in 授業：教科書 Unit 11 復習：授業で学習した単語・表現・文法を確認			
【第12回】 予習：教科書 Unit 11 の本文の音読 授業：教科書 Unit 11 の本文の Gap-filling, Sentence-Writing, Group Chat			

復習：授業で学習した単語・表現・文法を確認 【第13回】 予習：教科書の Warm-in 授業：教科書 Unit 12 復習：授業で行った活動における単語・表現等の復習 【第14回】 予習：教科書 Unit 12 の本文の音読 授業：教科書 Unit 12 の本文の Gap-filling, Discussion 復習：授業で学習した単語・表現・文法を確認 【第15回】 予習：これまでに学習した内容の振り返り 授業：前期後半の振り返り 復習：間違えた問題を解き直し、授業で学習した単語・表現・文法を確認								
授業開始前学習	高校で学習した単語や表現・文法等をひととおり復習しておくこと授業が理解しやすい。また、映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業内課題の解説を Google Classroom に掲示し、全体で適宜確認する。							
テキスト・教材	Yuji Ushiro, Robert Juppe, & Andrew Jorn 著『Creative Reader』CreAid Learning + Plus							
参考書	安井稔『英文法総覧』開拓社 江川泰一郎『英文法解説』金子書房 吉川美夫『考える英文法』ちくま学芸文庫 野村益寛『英文法の考え方 英語学習者のための認知英文法講義』							
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト、課題提出、Presentation、授業態度等）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 BIV		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishBIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	薬師 英子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	薬師 英子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 B Ⅲに引き続き、英語 BIVではあらゆる英文に対応できる発展的読解力のさらなる育成を目指す。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。		
到達目標	複雑な構文で書かれた英文を聞き取り理解することができる。複雑な構文で書かれた英文を読むと理解できる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第1回 予習：自分の英語学習を振り返る 授業：ガイダンス（授業についての説明や事前指導） Review Test（前期に学んだ Unit の復習と演習） 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第2回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 9 ①：Baseball Curses（P49-54）修飾語（2） グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第3回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 9 ②：Baseball Curses（P49-54）修飾語（2）を学ぶ。 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第4回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 10 ①：Untimely Death（P55-60）前置詞の目的語 グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第5回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 10 ②：Untimely Death（P55-60）前置詞の目的語を学ぶ。 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第6回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 11 ①：Train Gropers（P61-66）関係代名詞（1）を学ぶ グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第7回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 11 ②：Train Gropers（P61-66）関係代名詞（2） これまで学んできた Reading & Grammer の問題についてのまとめ提出。 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第8回 予習：ここまでの授業を総復習する 授業：第1回～第7回の学習のまとめ 復習：まとめを振り返る</p> <p>第9回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 12：Japan Saves an Anime Star（P67-72）前置詞と慣用表現 これまで学んできた Unit 9～12（pp.49～72）についてのまとめの講評 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第10回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 13 ①：Seeing Red（P73-78）前置詞と接続詞 グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第11回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 13 ②：Seeing Red（P73-78）仮定法（1）を学ぶ。 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第12回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 14 ①：What's Your Wish?（P79-84）仮定法（2）を学ぶ。 グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る</p>			

<p>第 13 回 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 14 ② : What's Your Wish? (P79-84) 仮定法 (2) を学ぶ。 これまで学んできた Reading & Grammar の問題についてのまとめ提出。 復習 : 授業中の活動を振り返る</p> <p>第 14 回 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 15 : Bob's Part-time Jobs (P85-91) 語法を学ぶ。 復習 : 授業中の活動を振り返る</p> <p>第 15 回 予習 : 今までの授業で学んだことを振り返る 授業 : 第 8 回～第 14 回の学習のまとめ これまで学んできた Reading & Grammar の問題についてのまとめの講評。 復習 : 自分の課題を見つけ対策を立てる</p>								
授業開始前学習	学習予定の Unit の内容・単語の予習と小テストに向けての学習を必ず行うこと。映画・音楽・テレビ・新聞記事など、英語に触れる機会を多く持ち、国際的な事柄に積極的に興味を持つこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎時間授業の冒頭で小テストを行う。授業 7 回目、13 回目に提出するまとめについては、2 週間後（授業 9 回目、15 回目）に全体の講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	"Premium Reader -Pre-intermediate-" Robert Juppe、馬場 幸雄、金星堂							
参考書	授業中に紹介する。							
評価の基準と方法	試験 60%、平常点 40%（小テスト、課題提出、Presentation、授業参加意欲）							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻、早退は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。欠席した回の授業内容はシラバスや配信資料等を確認し、各自フォローアップする。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 BIV		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishBIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	境 奈津希	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	境 奈津希	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 B IIIに引き続き、英語 B IVではあらゆる英文に対応できる発展的読解力のさらなる育成を目指す。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	複雑な構文で書かれた英文を聞き取り、理解することができる。複雑な構文で書かれた英文を読むと理解できる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第 1 回 予習： 語彙の意味調べ、現在完了の復習 授業： Unit 13（教科書 p80-85）（グループワーク、ディスカッション） 復習： 文法及び語彙の復習</p> <p>第 2 回 予習： 語彙の意味調べ、現在完了の復習 授業： Unit 13（教科書 p.80-85）（グループワーク、ディスカッション） 復習： 文法及び語彙の復習</p> <p>第 3 回 予習： 語彙の意味調べ、疑問文の復習 授業： Unit 14（教科書 p.86-91）（グループワーク、ディスカッション） 復習： 文法及び語彙の復習</p> <p>第 4 回 予習： 語彙の意味調べ、疑問文の復習 授業： Unit 14, 15（教科書 p.86-97）（グループワーク、ディスカッション） 復習： 文法及び語彙の復習</p> <p>第 5 回 予習： 語彙の意味調べ、疑問文の復習 授業： Unit 15（教科書 p.92-97）（グループワーク、ディスカッション） 復習： 文法及び語彙の復習</p> <p>第 6 回 予習： 語彙の意味調べ、助動詞の復習 授業： Unit 16（教科書 p.98-103）（グループワーク、ディスカッション） 復習： 文法及び語彙の復習</p> <p>第 7 回 予習： 語彙の意味調べ、助動詞の復習 授業： Unit 17（教科書 p.104-109）（グループワーク、ディスカッション） 復習： 文法及び語彙の復習</p> <p>第 8 回 予習： 教科書(p.8-43)の文法と語彙の確認 授業： 前期前半の振り返り 復習： 前期前半に学習したことを確認する</p> <p>第 9 回 予習： 語彙の意味調べ、受動態の復習 授業： Unit 18（教科書 p.110-115）（グループワーク、ディスカッション） 復習： 文法及び語彙の復習（教科書 p.33-38）</p> <p>第 10 回 予習： 語彙の意味調べ、受動態の復習 授業： Unit 18（教科書 p.110-115）（グループワーク、ディスカッション） 復習： 文法及び語彙の復習（教科書 p.33-44）</p> <p>第 11 回 予習： 語彙の意味調べ、比較の復習 授業： Unit 19（教科書 p.116-121）（グループワーク、ディスカッション） 復習： 文法及び語彙の復習（教科書 p.39-44）</p> <p>第 12 回 予習： 語彙の意味調べ、比較の復習 授業： Unit 19, 20（教科書 p.116-127）（グループワーク、ディスカッション） 復習： 文法及び語彙の復習（教科書 p.45-50）</p> <p>第 13 回 予習： 語彙の意味調べ、比較の復習 授業： Unit 20（教科書 p.122-127）（グループワーク、ディスカッション） 復習： 文法及び語彙の復習（教科書 p.45-56）</p>			

<p>第 14 回 予習：語彙の意味調べ、関係代名詞の復習 授業：関係詞（グループワーク、ディスカッション） 復習：文法及び語彙の復習</p> <p>第 15 回 予習：教科書(p.110-127)、第 14 回で学んだ文法と語彙の確認 授業：前期後半の振り返り 復習：前期に学習したことを確認する</p>								
授業開始前学習	中学校、高等学校、英語Ⅲの授業で学んだことを再確認しておきましょう。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎時間授業冒頭で小テストを行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材	"総合英語パワーアップ<基礎編>：リスニングからリーディング（Power-Up English <Basic>）" JACET リスニング研究会，南雲堂							
参考書	授業内で適宜配布します。							
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト、課題提出等）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 BIV		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishBIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	薬師 英子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	薬師 英子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 BⅢに引き続き、英語 BⅣではあらゆる英文に対応できる発展的読解力のさらなる育成を目指す。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	複雑な構文で書かれた英文を聞き取り理解することができる。複雑な構文で書かれた英文を読むと理解できる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第1回 予習：自分の英語学習を振り返る 授業：ガイダンス（授業についての説明や事前指導） Review Test（前期に学んだ Unit の復習と演習） 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第2回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 9 ①： Why Are Gym Shoes Called "Sneakers"? (P55-60) 比較 グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第3回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 9 ②： Why Are Gym Shoes Called "Sneakers"? (P55-60) 比較 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第4回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 10 ①： Why Do We Drink So Much Coffee? (P61-66) 前置詞 グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第5回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 10 ②： Why Do We Drink So Much Coffee? (P61-66) 前置詞 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第6回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 11 ①： Which Came First, Lighters or Matches? (P67-72) 接続詞 グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第7回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 11 ②： Which Came First, Lighters or Matches? (P67-72) 接続詞 これまで学んできた Reading 問題と Grammar 問題についてのまとめ提出。 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第8回 予習：ここまでの授業を総復習する 授業：第1回～第7回の学習のまとめ 復習：まとめを振り返る</p> <p>第9回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 12： Why Is Meat from Pigs Called "Pork"? (P73-78) これまで学んできた Unit 9～12(pp.55～78)についてのまとめの講評 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第10回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 13 ①： Can You Wang a "Welly"? (P79-84) グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第11回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 13 ②： Can you Wang a "Welly"? (P79-84) 復習：授業中の活動を振り返る</p> <p>第12回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 14 ①： Why Do We Shake Hands? (P85-90) 分詞・分詞構文 グループワーク</p>			

<p>復習：授業中の活動を振り返る 第 13 回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 14 ②：Why Do We Shake Hands? (P85-90) これまで学んできた Reading 問題と Grammar についてのまとめ提出。 復習：授業中の活動を振り返る 第 14 回 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 15：What Did the First Webcam See? (P91-96) 復習：授業中の活動を振り返る 第 15 回 予習：今までの授業で学んだことを振り返る 授業：第 8 回～第 14 回の学習のまとめ これまで学んできた Reading 問題と Grammar についてのまとめの講評。 復習：自分の課題を見つけ対策を立てる</p>								
授業開始前学習	学習予定の Unit の内容・単語の予習と小テストに向けての学習を必ず行うこと。映画・音楽・テレビ・新聞記事など、英語に触れる機会を多く持ち、国際的な事柄に積極的に興味を持つこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎時間授業の冒頭で小テストを行う。授業 7 回目、13 回目に提出するまとめについては、2 週間後（授業 9 回目、15 回目）に全体の講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	"Answers to Everyday Questions 3 ~Intermediate~" Arnold Arao、三原 京、巴波 義典、木村 博是、南雲堂							
参考書	授業中に紹介する。							
評価の基準と方法	試験 60%、平常点 40%（小テスト、課題提出、Presentation、授業参加意欲）							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻、早退は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。欠席した回の授業内容はシラバスや配信資料等を確認し、各自フォローアップする。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）+ 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 BIV		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishBIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	中川 優一	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	中川 優一	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 B Ⅲに引き続き、英語 B Ⅳではあらゆる英文に対応できる発展的読解力のさらなる育成を目指す。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	複雑な構文で書かれた英文を聞き取り、理解することができる。複雑な構文で書かれた英文を読むと理解できる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第 1 回 予習：今まで学習した英語（特に単語と英文法）を見直しておく。 授業：オリエンテーション（今後の授業方針について、成績評価基準の説明等） 復習：今後の学習の確認</p> <p>第 2 回 予習：Unit 8 (Doing Business Online, P75-77) を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 8 (Doing Business Online, P75-77)およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 2 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。</p> <p>第 3 回 予習：Unit 8 (Doing Business Online, P78-81)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 8 (Doing Business Online, P78-81)およびそれに付随したグループワーク・ディスカッション。 復習：第 3 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。</p> <p>第 4 回 予習：Unit 9 (Housing, P83-85)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 9 (Housing, P83-85)およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 4 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。</p> <p>第 5 回 予習：Unit 9 (Housing, P86-91)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 9 (Housing, P86-91)およびそれに付随したグループワーク・ディスカッション。 復習：第 5 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。</p> <p>第 6 回 予習：Unit 10 (Making Deals & Contracts, P93-95) を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 10 (Making Deals & Contracts, P93-95) およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 6 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。</p> <p>第 7 回 予習：Unit 10 (Making Deals & Contracts, P96-99)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 10 (Making Deals & Contracts, P96-99) およびそれに付随したグループワーク・ディスカッション。 復習：第 7 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。</p> <p>第 8 回 予習：第 1 回～第 7 回までの復習 授業：中間試験を行う。 復習：試験でわからなかったところの確認。</p> <p>第 9 回 予習：Unit 11 (Public Service, P101-103)を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：中間試験のフィードバック及び Unit 11 (Public Service, P101-103) およびそれに付随したグループワーク。 復習：第 9 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。</p> <p>第 10 回 予習：Unit 11 (Public Service, P104-109) を概観し、わからない単語等を調べておく。 授業：Unit 11 (Public Service, P104-109) およびそれに付随したグループワーク・ディスカッション。 復習：第 10 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。</p>			

第 11 回

予習：Unit 12 (Banking & Finance, P111-113) を概観し、わからない単語等を調べておく。

授業：Unit 12 (Banking & Finance, P111-113)およびそれに付随したグループワーク。

復習：第 11 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。

第 12 回

予習：Unit 12 (Banking & Finance, P114-117) を概観し、わからない単語等を調べておく。

授業：Unit 12 (Banking & Finance, P114-117)およびそれに付随したグループワーク・ディスカッション。

復習：第 12 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。

第 13 回

予習：Unit 13 (At Seminars & Workshops, P119-121)を概観し、わからない単語等を調べておく。

授業：Unit 13 (At Seminars & Workshops, P119-121)およびそれに付随したグループワーク。

復習：第 13 回で学んだ内容（特に単語と文法）を見直す。

第 14 回

予習：第 9 回～第 13 回までの復習

授業：期末試験を行う。

復習：試験でわからなかったところの確認。

第 15 回

予習：Unit 13 (At Seminars & Workshops, P122-125)を概観し、わからない単語等を調べておく。

授業：期末試験のフィードバック及び Unit 13 (At Seminars & Workshops, P122-125)およびそれに付随したグループワーク・ディスカッション。

復習：この一年で学んだことの総復習。

授業開始前学習	高校までの英単語、英文法をできるだけ見直しておくこと。映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持ち、興味がある文章や単語を、辞書で調べること。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎時間授業の冒頭で小テストを行う。また、課題提出を適宜行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材	Illuminating the Path to the TOEIC L&R Test, (2022) Michiko Ueki, et al., 金星堂							
参考書								
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト、課題提出、Presentation、授業態度等） および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 BIV		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishBIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	池上 俊彦	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	池上 俊彦	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	本授業では、実践的かつ応用的な英語力のさらなる育成のために、TOEIC 試験で高得点を取得できる英語力の習得を目指す。同時に、英語の発展的かつ主体的な運用能力の習得のために、「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の4技能を効果的に統合したグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。		
到達目標	複雑な構文で書かれた英文を聞き取り、理解することができる。複雑な構文で書かれた英文を読むと理解できる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
毎時間ペアワーク等を適宜行う			
1回 予習：リーディングセクションの音読 授業：Edouard Manet & The Luncheon on the Grass pp. 30-31 復習：新出単語と文法項目の暗記			
2回 予習：リーディングセクションの音読 授業：Edouard Manet & The Luncheon on the Grass pp. 32-33 復習：新出単語と文法項目の暗記			
3回 予習：リーディングセクションの音読 授業：Pierre-Auguste Renoir & Luncheon of the Boating Party pp. 34-35 復習：新出単語と文法項目の暗記			
4回 予習：リーディングセクションの音読 授業：Pierre-Auguste Renoir & Luncheon of the Boating Party pp. 36-37 復習：新出単語と文法項目の暗記			
5回 予習：リーディングセクションの音読 授業：Utagawa Kuniyoshi & Enchu hassen ka pp. 38-39 復習：新出単語と文法項目の暗記			
6回 予習：リーディングセクションの音読 授業：Utagawa Kuniyoshi & Enchu hassen ka pp. 40-41 復習：新出単語と文法項目の暗記			
7回 予習：リーディングセクションの音読 授業：Alfons Maria Mucha & Biscuits LeFevre-Utile pp. 42-43、課題提出 復習：新出単語と文法項目の暗記			
8回 予習：リーディングセクションの音読 授業：後期前半の振り返り 復習：新出単語と文法項目の暗記			
9回 予習：リーディングセクションの音読 授業：Alfons Maria Mucha & Biscuits LeFevre-Utile pp. 44-45、提出課題のおさらい（グループワーク） 復習：新出単語と文法項目の暗記			
10回 予習：リーディングセクションの音読 授業：Marc Chagall & Birthday pp. 46-47 復習：新出単語と文法項目の暗記			
11回 予習：リーディングセクションの音読 授業：Marc Chagall & Birthday pp. 48-49 復習：新出単語と文法項目の暗記			
12回 予習：リーディングセクションの音読 授業：Edward Hopper & Nighthawks pp. 50-51			

復習：新出単語と文法項目の暗記 13回 予習：リーディングセクションの音読 授業：Edward Hopper & Nighthawks pp. 52-53、課題提出 復習：新出単語と文法項目の暗記 14回 予習：リーディングセクションの音読 授業：Andy Warhol & Campbell's Soup Cans pp. 54-55 復習：新出単語と文法項目の暗記 15回 予習：リーディングセクションの音読 授業：後期後半の振り返り、提出課題のおさらい（グループワーク） 復習：新出単語と文法項目の暗記								
授業開始前学習	英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる。教科書のリーディングセクションの音読。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業 7 回目、13 回目に提出する課題については、2 週間後（授業 9、15 回目）に全体の講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	Josh Norman、松井真帆、本山ふじ子『A View From Painters' Palettes : Food And Culture 絵画を彩る食文化』朝日出版社、2010 年。(ISBN: 9784255156446) 適宜プリント							
参考書								
評価の基準と方法	授業態度と課題提出 40% テスト 60%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 BIV		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishBIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	鈴木 悠理	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	鈴木 悠理	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 BIV では英語 BIII に引き続き、あらゆる英文に対応できる発展的読解力のさらなる育成を目指す。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の基礎的な運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	複雑な構文で書かれた英文を聞き取り、理解することができる。複雑な構文で書かれた英文を読み、理解することができる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>〈第 1 回〉 予習：シラバスを確認する。Reading 部分の音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 8（前半）グループワーク 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。後期の目標を立てる。</p> <p>〈第 2 回〉 予習：Reading 部分の音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。 授業：Unit 8（後半）グループワーク、Unit 8（全体）小テスト 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。</p> <p>〈第 3 回〉 予習：Reading 部分の音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 9（前半）グループワーク 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。</p> <p>〈第 4 回〉 予習：Reading 部分の音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。 授業：Unit 9（後半）グループワーク、Unit 9（全体）小テスト 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。</p> <p>〈第 5 回〉 予習：Reading 部分の音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 10（前半）グループワーク 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。</p> <p>〈第 6 回〉 予習：Reading 部分の音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。 授業：Unit 10（後半）グループワーク、Unit 10（全体）小テスト 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。</p> <p>〈第 7 回〉 予習：Reading 部分の音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 11（前半）グループワーク 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。</p> <p>〈第 8 回〉 予習：Reading 部分の音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。 授業：Unit 11（後半）グループワーク、Unit 11（全体）小テスト、後期前半の振り返り 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。</p> <p>〈第 9 回〉 予習：Reading 部分の音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 12（前半）グループワーク 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。</p> <p>〈第 10 回〉 予習：Reading 部分の音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。 授業：Unit 12（後半）グループワーク、Unit 12（全体）小テスト 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。</p> <p>〈第 11 回〉 予習：Reading 部分の音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 13（前半）グループワーク 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。</p> <p>〈第 12 回〉 予習：Reading 部分の音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。 授業：Unit 13（後半）グループワーク、Unit 13（全体）小テスト 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。</p> <p>〈第 13 回〉</p>			

<p>予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 14（前半）グループワーク 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。 〈第 14 回〉 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。小テストの準備をする。 授業：Unit 14（後半）グループワーク、Unit 14（全体）小テスト 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。前期で得た自分の強みと今後の課題を明らかにする。 〈第 15 回〉 予習：Reading パートの音声を聞き、音読をする。 授業：Unit 15（全体）グループワーク、後期後半の振り返り 復習：間違えた問題を解き直す。グループワークを振り返る。後期で得た自分の強みと今後の課題を明らかにする。</p>								
授業開始前学習	時事ニュースや文化（映画・音楽・ファッションなど）を通して英語に触れる機会を持つこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	2 週に 1 回、各 Unit の学習を終えたところで小テストを行う。翌週、返却時に解説を行う。授業 8 回目、15 回目に授業内容の復習を行い、クラスおよび個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	Arnold Arano、三原京、巴波義典、木村博是『Answers to Everyday Questions 3 〈Intermediate〉身近な不思議を英語で学ぶ〈中級〉』（南雲堂） *前期と同じテキスト							
参考書	英和辞典・和英辞典は必須（電子辞典可）。その他は授業内で適宜紹介する。							
評価の基準と方法	平常点 40%（授業参加態度、小テスト、課題提出など）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業の 3 分の 1 以上を欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。その他、公欠についてなどは第 1 回の授業で説明する。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英語 BIV		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishBIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	加藤 健太	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	加藤 健太	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 B Ⅲに引き続き、英語 B Ⅳではあらゆる英文に対応できる発展的読解力のさらなる育成を目指す。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	複雑な構文で書かれた英文を聞き取り、理解することができる。複雑な構文で書かれた英文を読むと理解できる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：シラバスの確認 授業：オリエンテーション（授業の目的や進め方、課題について） 復習：授業形式についての確認</p> <p>【第2回】 予習：教科書の Unit 7 を読み、問題を解く 授業：Unit 7 (pp. 37-42)：リーディング 復習：Unit 7 の復習</p> <p>【第3回】 予習：教科書の Unit 7 の内容について自分の考えを書く 授業：Unit 7 (pp. 37-42)：ディスカッション 復習：Unit 7 の復習</p> <p>【第4回】 予習：教科書の Unit 8 を読み、問題を解く 授業：Unit 8 (pp. 43-48)：リーディング 復習：Unit 8 の復習</p> <p>【第5回】 予習：教科書の Unit 8 の内容について自分の考えを書く 授業：Unit 8 (pp. 43-48)：ディスカッション 復習：Unit 8 の復習</p> <p>【第6回】 予習：教科書の Unit 9 を読み、問題を解く 授業：Unit 9 (pp. 49-54)：リーディング 復習：Unit 9 の復習</p> <p>【第7回】 予習：教科書の Unit 9 の内容について自分の考えを書く 授業：Unit 9 (pp. 49-54)：ディスカッション 復習：Unit 9 の復習</p> <p>【第8回】 予習：Unit 7～9 で習った内容を再確認する 授業：Unit 7～9 の振り返り 復習：Unit 7～9 の復習</p> <p>【第9回】 予習：教科書の Unit 10 を読み、問題を解く 授業：Unit 10 (pp. 55-60)：リーディング 復習：Unit 10 の復習</p> <p>【第10回】 予習：教科書の Unit 10 の内容について自分の考えを書く 授業：Unit 10 (pp. 55-60)：ディスカッション 復習：Unit 10 の復習</p> <p>【第11回】 予習：教科書の Unit 11 を読み、問題を解く 授業：Unit 11 (pp. 61-66)：リーディング 復習：Unit 11 の復習</p> <p>【第12回】 予習：教科書の Unit 11 の内容について自分の考えを書く 授業：Unit 11 (pp. 61-66)：ディスカッション 復習：Unit 11 の復習</p> <p>【第13回】</p>			

予習：教科書の Unit 12 を読み、問題を解く 授業：Unit 12 (pp. 67-72)：リーディング 復習：Unit 12 の復習 【第 14 回】 予習：教科書の Unit 12 の内容について自分の考えを書く 授業：Unit 12 (pp. 67-72)：ディスカッション 復習：Unit 12 の復習 【第 15 回】 予習：Unit 10 ～ 12 で習った内容を再確認する 授業：Unit 10 ～ 12 の振り返り 復習：Unit 10 ～ 12 の復習								
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる。							
授業内課題の フィードバックの方法	課題提出を適宜行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材	本名信行 / 竹下裕子 / James D'Angelo 著『グローバル化社会の英語を考える』（金星堂）							
参考書								
評価の基準と方法	平常点 40%（課題提出、授業態度など）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	英語 BIV		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishBIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	遠藤 玲奈	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	遠藤 玲奈	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 B Ⅲに引き続き、英語 B Ⅳではあらゆる英文に対応できる発展的読解力のさらなる育成を目指す。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	複雑な構文で書かれた英文を聞き取り、理解することができる。複雑な構文で書かれた英文を読むと理解できる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
第 1 回	予習：Unit 8 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 8（前半：pp. 51-53）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。今学期の目標を立てる		
第 2 回	予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 8（後半：pp. 54-56）グループワーク、Unit 8（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る		
第 3 回	予習：Unit 9 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 9（前半：pp. 57-59）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする		
第 4 回	予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 9（後半：pp. 60-62）グループワーク、Unit 9（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る		
第 5 回	予習：Unit 10 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 10（前半：pp. 63-65）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする		
第 6 回	予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 10（後半：pp. 66-68）グループワーク、Unit 10（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る		
第 7 回	予習：Unit 11 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 11（前半：pp. 69-71）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする		
第 8 回	予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 11（後半：pp. 72-74）グループワーク、Unit 3（全体）小テスト、後期前半の振り返り 復習：授業中の活動を振り返る		
第 9 回	予習：Unit 12 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 12（前半：pp. 75-77）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする		
第 10 回	予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 12（後半：pp. 78-80）グループワーク、Unit 12（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る		
第 11 回	予習：Unit 13 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 13（前半：pp. 81-83）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする		
第 12 回	予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 13（後半：pp. 84-86）グループワーク、Unit 13（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る		
第 13 回	予習：Unit 14 全体を読み、分からない単語を調べておく 授業：Unit 14（前半：pp. 87-89）グループワーク 復習：授業中の活動を振り返る。返却された小テストの復習をする		
第 14 回	予習：前回の復習をし、授業内で行う小テストの準備をする 授業：Unit 14（後半：pp. 90-92）グループワーク、Unit 14（全体）小テスト 復習：授業中の活動を振り返る		
第 15 回	予習：今まで授業で学んだことを振り返る 授業：後期後半の振り返り 復習：自分の課題を見つけ対策を立てる		
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。また、学習予定の Unit の内容・単語の予習と小テストの準備を必ず行うこと。		

授業内課題の フィードバックの方法	2週に1回、各Unitの学習を終えたところで小テストを行う。翌週、返却時に解説を行う。授業8回目、15回目に授業内容の復習を行い、クラスおよび個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	Tatsuki Sato, Ayed Hasian, Shunsuke Uchino『Get the Signal!!』（金星堂）							
参考書	授業内で適宜紹介する。							
評価の基準と方法	平常点40%（小テスト、課題提出、授業態度等）および定期試験60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の3分の1以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻3回で欠席1回とみなす。講義開始後30分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1回目の授業で説明する。							
予習・復習の 所要時間	講義時間30時間（2時間×15週）＋予習・復習時間15時間（1時間×15週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	英語 BIV		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishBIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	津村 早紀	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	津村 早紀	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 B IIIに引き続き、英語 B IVではあらゆる英文に対応できる発展的読解力のさらなる育成を目指す。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、リスニングやグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	複雑な構文で書かれた英文を聞き取り、理解することができる。複雑な構文で書かれた英文を読むと理解できる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第 1 回 予習：シラバスで授業内容を確認する 授業：ガイダンス(授業についての説明や事前指導、テキストについて)、Area 7 Southeast Asia (1) pp. 44-46（解答確認時にグループワーク等を含む） 復習：第 1 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 2 回 予習：テキスト p.48 に目を通しておく 授業：Area 7 Southeast Asia (2) pp. 47-49 復習：第 2 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 3 回 予習：テキスト p.52 に目を通しておく 授業：Area 8 North America (1) pp. 50-52 復習：第 3 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 4 回 予習：テキスト p.54 に目を通しておく 授業：Area 8 North America (2) pp. 53-55 復習：第 4 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 5 回 予習：テキスト p. 58 に目を通しておく 授業：Area 9 Central America and the Caribbean (1) pp. 56-58（解答確認時にグループワーク等を含む） 復習：第 5 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 6 回 予習：テキスト p.60 に目を通しておく 授業：Area 9 Central America and the Caribbean (2) pp. 59-61 復習：第 6 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 7 回 予習：後期前半（Area 7- Area 9）の振り返り 授業：後期前半の振り返り 復習：第 7 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 8 回 予習：テキスト p.64 に目を通しておく 授業：後期前半の振り返りについての講評、Area 10 South America (1) pp. 62-64（解答確認時にグループワーク等を含む） 復習：第 8 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 9 回 予習：テキスト p.66 に目を通しておく 授業：Area 10 South America (2) pp. 65-67 復習：第 9 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 10 回 予習：テキスト p.70 に目を通しておく 授業：Area 11 The South Pacific and the Antarctic(1) pp. 68-70（解答確認時にグループワーク等を含む） 復習：第 10 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 11 回 予習：テキスト p.72 に目を通しておく 授業：Area 11 The South Pacific and the Antarctic(2) pp. 71-73 復習：第 11 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 12 回 予習：テキスト p.76 に目を通しておく 授業：Area 12 Australia and New Zealand (1) pp. 74-76 復習：第 12 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 13 回 予習：テキスト p.78 に目を通しておく 授業：Area 12 Australia and New Zealand (2) pp. 77-79 復習：第 13 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 14 回 予習：後期後半（Area 10- Area 12）の振り返り 授業：後期後半の振り返り 復習：第 14 回の授業中の活動を振り返る</p> <p>第 15 回 予習：テキスト pp. 80-83 に目を通しておく 授業：後期後半の振り返りについての講評、テキスト全体の振り返り 復習：第 15 回の授業中の活動を振り返る</p>			
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる。		

授業内課題の フィードバックの方法	授業 7 回目、14 回目に行う振り返りについては、それぞれ 1 週間後（授業 8 回目、15 回目）に講評を行い、質問に回答する。 毎時間授業冒頭で小テストを行い、収集時に確認する。また、課題提出を適宜行い、収集時に確認する。							
テキスト・教材	笹島 茂 編/ 仲谷 都 / 油木田美由紀 / 大和洋子 / Michele Joel 著 【2023 年度新刊】CLIL 英語と地図で学ぶ世界事情 [改訂版] ISBN : 9784384335224 (三修社)							
参考書	英和辞典、英英辞典。その他、参考書がある場合は、適宜授業中に指示する。							
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト、課題提出、授業態度等）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席や授業内での取り組みを重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 3 0 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	英語 BIV		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishBIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	本村 万喜子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	本村 万喜子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 B Ⅲに引き続き、英語 B Ⅳではあらゆる英文に対応できる発展的読解力のさらなる育成を目指す。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動も行う。		
到達目標	複雑な構文で書かれた英文を聞き取り、理解することができる。複雑な構文で書かれた英文を読むと理解できる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>※ペアワークやディスカッションを含む回がある。</p> <p>第 1 回 予習：これまでの英語学習を振り返る 授業：オリエンテーション（授業のすすめ方について）、Unit8:Science(pp.37-38) 復習：授業のすすめ方を確認し、学習計画を立てる</p> <p>第 2 回 予習：Unit8 の内容を確認し、分からない単語は調べておく 授業：Unit8:Science(pp.39-40) 復習：Unit8(pp.39-40)の課題に取り組む</p> <p>第 3 回 予習：Unit9 の内容を確認し、分からない単語は調べておく 授業：Unit9:Business(pp.41-44) 復習：Unit9 の課題に取り組む</p> <p>第 4 回 予習：Unit10(pp.45-46)の内容を確認し、分からない単語は調べておく 授業：Unit10:Social Issues(pp.45-46) 復習：Unit10(pp.45-46)の課題に取り組む</p> <p>第 5 回 予習：Unit10(pp.47-48)の内容を確認し、分からない単語は調べておく 授業：Unit10:Social Issues(pp.47-48) 復習：Unit10(pp.47-48)の課題に取り組む</p> <p>第 6 回 予習：Unit11 の内容を確認し、分からない単語は調べておく 授業：Unit11:Natural Disasters(pp.49-52) 復習：Unit11 の課題に取り組む</p> <p>第 7 回 予習：Unit8~11 の内容を確認する 授業：Unit8~11 の振り返り 復習：後期前半の学習を振り返り、前期後半の学習計画を立てる</p> <p>第 8 回 予習：Unit12(pp.53-54)の内容を確認し、分からない単語は調べておく 授業：Unit12:International Issues(pp.53-54) 復習：Unit12(pp.53-54)の課題に取り組む</p> <p>第 9 回 予習：Unit12(pp.55-56)の内容を確認し、分からない単語は調べておく 授業：Unit12:International Issues(pp.55-56) 復習：Unit12(pp.55-56)の課題に取り組む</p> <p>第 10 回 予習：Unit13(pp.57-58)の内容を確認し、分からない単語は調べておく 授業：Unit13:Technology(pp.57-58) 復習：Unit13(pp.57-58)の課題に取り組む</p> <p>第 11 回 予習：Unit13(pp.59-60)の内容を確認し、分からない単語は調べておく 授業：Unit13:Technology(pp.59-60) 復習：Unit13(pp.59-60)の課題に取り組む</p> <p>第 12 回 予習：Unit14(pp.61-62)の内容を確認し、分からない単語は調べておく 授業：Unit14:Music(pp.61-62) 復習：Unit14(pp.61-62)の課題に取り組む</p>			

<p>第 13 回 予習：Unit14(pp.63-64)の内容を確認し、分からない単語は調べておく 授業：Unit14:Music(pp.63-64) 復習：Unit14(pp.63-64)の課題に取り組む</p> <p>第 14 回 予習：Unit12~14 の内容を確認する 授業：Unit12~14 の振り返り 復習：後期後半の学習を振り返る</p> <p>第 15 回 予習：後期の学習内容を確認する 授業：後期の学習についての講評 復習：苦手な学習内容等、自分の課題を見つけ、後期の学習を分析する</p>								
授業開始前学習	映画・音楽・テレビ・新聞など、英語に触れる機会を多く持つこと。興味がある文章や単語を、辞書で調べる。							
授業内課題の フィードバックの方法	小テスト、課題提出を適宜行い、返却時に確認する。							
テキスト・教材	JACET リスニング研究会 著『Power-Up College English <Basic>パワーアップ・イングリッシュ<基礎編>』（南雲堂）							
参考書								
評価の基準と方法	平常点 40%（小テスト、課題提出）および定期試験 60%を総合して評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目								
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。その他、1 回目の授業で説明する。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	英語 BIV		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	EnglishBIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	薬師 英子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	薬師 英子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	英語 BⅢに引き続き、英語 BⅣではあらゆる英文に対応できる発展的読解力のさらなる育成を目指す。ただし、リーディングに特化するのではなく、英語の運用能力向上のために、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等の活動を行う。		
到達目標	複雑な構文で書かれた英文を、聞き取り理解できる。複雑な構文で書かれた英文を、読むと理解できる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：自分の英語学習を振り返る 授業：Talk about your Summer Vacation / Reveiw of the first term & Introduction（グループワーク） 復習：家庭学習を考える</p> <p>【第2回】 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 8 How English Grew & Grows (pp.29~32) 復習：Unit 8 How English Grew & Grows の新出単語・重要熟語・文法事項の復習</p> <p>【第3回】 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 9 Hudson River Miracle (pp.33~36) 復習：Unit 9 Hudson River Miracle の新出単語・重要熟語・文法事項の復習</p> <p>【第4回】 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Review of Unit 8 & Unit 9（グループワーク） 復習：Unit 8 How English Grew & Grows・Unit 9 Hudson River Miracle の英語要約と文法 Exercise</p> <p>【第5回】 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 10 Odd Crimes (pp.37~40) 復習：Unit 10 Odd Crimes の新出単語・重要熟語・文法事項の復習</p> <p>【第6回】 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 11 The Lucky Traveler (pp.41~44) 復習：Unit 11 The Lucky Traveler の新出単語・重要熟語・文法事項の復習</p> <p>【第7回】 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Review of Unit 10 & 11（グループワーク&プレゼンテーション） 復習：Unit 10 Odd Crimes・Unit 11 The Lucky Traveler の英語要約と文法 Exercise</p> <p>【第8回】 予習：ここまでの授業を総復習する 授業：中間のまとめ 復習：まとめを振り返る</p> <p>【第9回】 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 12 Are Men Losing? (pp.45~48) 復習：Unit 12 Are Men Losing?の新出単語・重要熟語・文法事項の復習</p> <p>【第10回】 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 13 Super-Sized Dream (pp.49~52) 復習：Unit 13 Super-Sixed Dream の新出単語・重要熟語・文法事項の復習</p> <p>【第11回】 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Review of Unit 12 & 13（グループワーク） 復習：Unit 12 Are Men Losing?・Unit 13 Super-Sized Dream の英語要約と文法 Exercise</p> <p>【第12回】 予習：教科書の該当箇所を読む 授業：Unit 14 It's Against the Law (pp.53~54) 復習：Unit 14 It's Against the Law の新出単語・重要熟語・文法事項の復習</p> <p>【第13回】</p>			

予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Unit 15 Black Sunday (pp.55~56) 復習 : Unit 15 Black Sunday の新出単語・重要熟語・文法事項の復習 【第 14 回】 予習 : 教科書の該当箇所を読む 授業 : Review of Unit 14 &15 (グループワーク) 復習 : Unit 14 It's Against the Law・Unit 15 Black Sunday の英語要約と文法 Exercise 【第 15 回】 予習 : 今まで授業で学んだことを振り返る 授業 : Overall Review (プレゼンテーション) 復習 : 自分の課題を見つけ対策を立てる								
授業開始前学習	学習予定の Unit の内容・単語の予習と小テストに向けての学習を必ず行うこと。映画・音楽・テレビ・新聞記事など、英語に触れる機会を多く持ち、国際的な事柄に積極的に興味を持つこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎時間授業の冒頭で小テストを行う。授業 8 回目、15 回目に提出するまとめについては、全体の講評を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	Robert Juppe、馬場 幸雄『Premium Reader ~Elementary~』(金星堂)							
参考書	授業中に紹介する。							
評価の基準と方法	試験 60%、平常点 40% (小テスト、課題提出、Presentation、授業態度)							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				△	○
関連科目	英語							
その他	出席を重視する。全授業数の 3 分の 1 以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。講義開始後 30 分以上の遅刻、早退は欠席とみなす。テキスト忘れ、授業内での携帯電話使用等は授業参加の減点対象とする。その他、1 回目の授業で説明する。欠席した回の授業内容はシラバスや配信資料等を確認し、各自フォローアップする。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英会話 I		
科目分類	100-131-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	English Conversation I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	K.バーンズ	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	K.バーンズ	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	The emphasis of this class will be on speaking. However, listening, reading and writing will also be developed. This class though, focuses on improving the productive skills of speaking. In principle, lessons are conducted in English. If we are online we will still do speaking using software.		
到達目標	After this class, students will be able to communicate more freely in English. They will be able to have a basic conversation in English.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習 : Read pp. 9-12 in the textbook/ Listen to CD, tracks 3-7 授業 : Self-Introductions/Course goals 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>【第2回】 予習 : Read pp. 13-16/ Listen to tracks 10-14 授業 : Talking about entertainment ? movies and music 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>【第3回】 予習 : Read pp. 17-20/ Listen to tracks 17-21 授業 : Talking about art and impressions 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>【第4回】 予習 : Read pp. 21-24 /Listen to tracks 24-28 授業 : Talking about family members 復習 : Review notes/ Do homework p. 84</p> <p>【第5回】 予習 : Prepare a short talk about your family 授業 : Talking about family customs and traditions 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>【第6回】 予習 : Prepare any questions you have about class material 授業 : Consolidation and review 復習 : Reread textbook pp.9-24</p> <p>【第7回】 予習 : Prepare several topics you want to talk about 授業 : Conversation advice and coaching 復習 : Write self-evaluation for your conversation practice</p> <p>【第8回】 予習 : Review all homework assignments 授業 : General review 復習 : Reread textbook pp.9-24</p> <p>【第9回】 予習 : Read pp. 25-28/ Listen to tracks 31-35 授業 : Talking about beliefs and fears 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>【第10回】 予習 : Read pp. 29-32/ Listen to tracks 38-43 授業 : Talking about experiences 復習 : Review notes/ Do homework</p>			

【第 11 回】

予習 : Read pp. 33-36/ Listen to tracks 46-48

授業 : Telling stories

復習 : Review notes/ Do homework

【第 12 回】

予習 : Prepare some sentences about your plans for summer vacation

授業 : Talking about future plans

復習 : Review notes/ Do homework

【第 13 回】

予習 : Prepare any questions you have about class material

授業 : Consolidation and review

復習 : Reread textbook pp.25-36

【第 14 回】

予習 : Prepare several topics you want to talk about

授業 : Conversation advice and coaching

復習 : Write self-evaluation for your conversation practice

【第 15 回】

予習 : Review all homework assignments

授業 : General review

復習 : Reread textbook pp.9-36

授業開始前学習	Before the class starts students can prepare by listening to English recordings and reading English books, magazines or comics. Look up words in the dictionary.							
授業内課題の フィードバックの方法	Once class starts, homework assignments will be provided after each class to help students review and better understand the material.							
テキスト・教材	Impact Conversation 1 Kirsten Sullivan, Todd Beuckens (Pearson Longman)							
参考書								
評価の基準と方法	Students are evaluated on a total of class participation points of 40% (mini tests, submitted coursework, presentations, class participation etc.) and regular examinations 60%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当			◎				△	○
関連科目	English Conversation							
その他	It is important for students to attend each class. Credit will not be given to students who miss more than a third of the classes. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival after 30 minutes or more after the start of class will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class.							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	英会話 I		
科目分類	100-131-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	English Conversation I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	D.パートレイ	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	D.パートレイ	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	This course aims at enjoyment & interest. When you are interested in something, you will enjoy doing it, so this class is based on enjoyment & interest. The key to success in anything you do depends on how interesting it is & how much you enjoy doing it. Through interest & enjoyment, you will improve your ability to speak English.		
到達目標	The goal of this class is a purely practical one: to get you to speak English better. To do this, we must find out what you are interested in because when you are interested in something, you will want to talk about it. So our lessons are designed to be informal meetings at which you will talk about the things that interest you. Your success will depend on the amount of interest you have in what you are talking about, so this course relies on your interest & enjoyment.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第1回： 予習：Getting settled in 授業：Course Introduction: I will explain the policies (attendance, participation & assignments) & protocols (contact, feedback & evaluation) of this course. 復習：generally assess the English you have studied from high school until now.</p> <p>第2回： 予習：Checking class materials (paper, dictionary, writing implements). 授業：Preparation: What things interest you? 復習：Take stock of the English you have studied up until now.</p> <p>第3回： 予習：Review all class notes from the previous lesson, Q&A 授業：Practice: talking about what interests you with your classmates & I will explain how to prepare your class notes so that you can express your thoughts more easily. 復習：Review today's explanation about preparing your class notes, Q&A.</p> <p>第4回： 予習：Study your class notes in preparation for our discussion of the 1st topic. 授業：Begin our first group discussion on the 1st topic. 復習：Review & revise your class in preparation for our next discussion.</p> <p>第5回： 予習：Review class notes by going over the important points we discussed in the last lesson, Q&A 授業：Continue the discussion of the 1st topic. 復習：Review & revise your class in preparation for our next discussion.</p> <p>第6回： 予習：Review class notes by going over the important points we discussed in the last lesson 授業：Conclude our discussion of the 1st topic by presenting your final points or arguments to the group. 復習：Review & revise your class note in order to write your post-discussion report which will be due in 2-week's time.</p> <p>第7回： 予習：Prepare to announce & decide the 2nd topic of discussion. 授業：Decide the 2nd topic & have a free discussion on the second most popular topic decided by your group. 復習：Prepare your class notes by gathering information about the topic so that you will have something interesting to say in your group during the discussion.</p> <p>第8回： 予習：Review the class notes you prepared for today's discussion. 授業：Begin your group's discussion on the 2nd topic. 復習：Review & revise your class in preparation for our next discussion.</p> <p>第9回： 予習：Review class notes by going over the important points we discussed in the last discussion, Q&A 授業：Continue the discussion of the 2nd topic. 復習：Review & revise your class in preparation for our next discussion.</p> <p>第10回： 予習：Review class notes by going over the important points we discussed in the last lesson, Q&A. 授業：Conclude our discussion of the 2nd topic by presenting your final points or arguments to the group. 復習：Review & revise your class note in order to write your post-discussion report which will be due in 2-week's time.</p> <p>第11回： 予習：Prepare to announce & decide the 3rd topic of discussion. 授業：Decide the 3rd topic & have a free discussion on the second most popular topic decided by your group.</p>			

<p>復習 : Prepare your class notes by gathering information about the topic so that you will have something interesting to say in your group during the discussion.</p> <p>第 1 2 回 :</p> <p>予習 : Review the class notes you prepared for today's discussion.</p> <p>授業 : Begin your group's discussion on the 3rd topic.</p> <p>復習 : Review & revise your class in preparation for our next discussion.</p> <p>第 1 3 回 :</p> <p>予習 : Review class notes by going over the important points we discussed in the last discussion, Q&A</p> <p>授業 : Continue the discussion of the 2nd topic.</p> <p>復習 : Review & revise your class in preparation for our next discussion.</p> <p>第 1 4 回 :</p> <p>予習 : Review class notes by going over the important points we discussed in the last lesson, Q&A.</p> <p>授業 : Conclude our discussion of the 3rd topic by presenting your final points or arguments to the group.</p> <p>復習 : Review & revise your class note in order to write your post-discussion report which will be due in 2-week's time.</p> <p>第 1 5 回 :</p> <p>予習 : Prepare to submit all post-discussion rewrites (optional activity).</p> <p>授業 : We will have a general assessment of our progress this semester.</p> <p>復習 : Students will complete their final reports & submit them to me by email.</p>								
授業開始前学習	Students are encouraged to encounter English in their daily lives whenever & wherever possible whether it be watching TV, listening to music, or reading English newspapers.							
授業内課題のフィードバックの方法	Feedback is an essential part of the course & is embedded in every lesson. A thorough review of the previous lesson is assessed in the daily lesson activities which provide ample opportunities for both the student & the teacher to appraise her level of progress. In addition, I will always give generous feedback on every post-discussion report & encourage the student to rewrite them if they wish to improve their marks.							
テキスト・教材	No textbook is assigned for this course. All necessary & relevant materials will be provided by the teacher. However, every student is required to bring paper, a dictionary, & writing implements to every lesson.							
参考書	notebook, dictionary, pen & pencil							
評価の基準と方法	continuous assessment based on attendance, participation & post-discussion reports.							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当			◎				△	○
関連科目								
その他								
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	英会話Ⅱ		
科目分類	100-131-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	English Conversation II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	K.バーンズ	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	K.バーンズ	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	The emphasis of this class will be on speaking. However, listening, reading and writing will also be developed. This class though, focuses on improving the productive skills of speaking. In principle, lessons are conducted in English. If we are online we will still do speaking using software.		
到達目標	After this class, students will be able to communicate more freely in English. They will be able to have a basic conversation in English.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習 : Read pp. 37-40 in the textbook/ Listen to CD, tracks 51-55 授業 : Self-Introductions/Course goals 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>【第2回】 予習 : Read pp. 45-48/ Listen to tracks 58-59 授業 : Talking about health and habits 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>【第3回】 予習 : Read pp. 49-52/ Listen to track 62 授業 : Talking about friends and relationships 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>【第4回】 予習 : Read pp. 53-56/ Listen to tracks 65-69 授業 : Talking about family members 復習 : Review notes/ Do homework p. 84</p> <p>【第5回】 予習 : Prepare a short talk about a travel experience 授業 : Talking about travel and studying abroad 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>【第6回】 予習 : Prepare any questions you have about class material 授業 : Consolidation and review 復習 : Reread textbook pp.37-40,45-56</p> <p>【第7回】 予習 : Prepare several topics you want to talk about 授業 : Conversation advice and coaching 復習 : Write self-evaluation for your conversation practice</p> <p>【第8回】 予習 : Review all homework assignments 授業 : General review 復習 : Reread textbook pp.37-40,45-56</p> <p>【第9回】 予習 : Read pp. 57-60/ Listen to tracks 72-73 授業 : Talking about behavior and qualities in people 復習 : Review notes/ Do homework</p> <p>【第10回】 予習 : Read pp. 61-64/ Listen to tracks 76-77 授業 : Talking about cultural stereotypes 復習 : Review notes/ Do homework</p>			

【第 11 回】

予習 : Read pp. 65-68/ Listen to tracks 80-84

授業 : Talking about cooking and food

復習 : Review notes/ Do homework

【第 12 回】

予習 : Prepare some sentences about something interesting you have done recently

授業 : Talking about past experiences

復習 : Review notes/ Do homework

【第 13 回】

予習 : Prepare any questions you have about class material

授業 : Consolidation and review

復習 : Reread textbook pp.57-68

【第 14 回】

予習 : Prepare several topics you want to talk about

授業 : Conversation advice and coaching

復習 : Write self-evaluation for your conversation practice

【第 15 回】

予習 : Review all homework assignments

授業 : General review

復習 : Reread textbook pp. 37-40,45-68

授業開始前学習	Before the class starts students can prepare by listening to English recordings and reading English books, magazines or comics. Look up words in the dictionary.							
授業内課題の フィードバックの方法	Once class starts, homework assignments will be provided after each class to help students review and better understand the material.							
テキスト・教材	Impact Conversation 1 Kirsten Sullivan, Todd Beuckens (Pearson Longman)							
参考書								
評価の基準と方法	Students are evaluated on a total of class participation points of 40% (mini tests, submitted coursework, presentations, class participation etc.) and regular examinations 60%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当			◎				△	○
関連科目	English Conversation							
その他	It is important for students to attend each class. Credit will not be given to students who miss more than a third of the classes. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival after 30 minutes or more after the start of class will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class.							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	英会話Ⅱ		
科目分類	100-131-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	English Conversation II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	D.パートレイ	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	D.パートレイ	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	This course builds upon the foundation of the previous course & also aims at enjoyment & interest. When you are interested in something, you will enjoy doing it, so this class is based on enjoyment & interest. The key to success in anything you do depends on how interesting it is & how much you enjoy doing it. Through interest & enjoyment, you will improve your ability to speak English.		
到達目標	As in the previous course, this course, the goal of this class is a purely practical one: to get you to speak English better. To do this, we must find out what you are interested in because when you are interested in something, you will want to talk about it. So our lessons are designed to be informal meetings at which you will talk about the things that interest you. Your success will depend on the amount of interest you have in what you are talking about, so this course relies on your interest & enjoyment.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第1回： 予習：Getting settled in 授業：Course Introduction: I will explain the policies (attendance, participation & assignments) & protocols (contact, feedback & evaluation) of this course. 復習：generally assess the English you have studied from high school until now.</p> <p>第2回： 予習：Checking class materials (paper, dictionary, writing implements). 授業：Preparation: What things interest you? 復習：Take stock of the English you have studied up until now.</p> <p>第3回： 予習：Review all class notes from the previous lesson, Q&A 授業：Practice: talking about what interests you with your classmates & I will explain how to prepare your class notes so that you can express your thoughts more easily. 復習：Review today's explanation about preparing your class notes, Q&A.</p> <p>第4回： 予習：Study your class notes in preparation for our discussion of the 1st topic. 授業：Begin our first group discussion on the 1st topic. 復習：Review & revise your class in preparation for our next discussion.</p> <p>第5回： 予習：Review class notes by going over the important points we discussed in the last lesson, Q&A 授業：Continue the discussion of the 1st topic. 復習：Review & revise your class in preparation for our next discussion.</p> <p>第6回： 予習：Review class notes by going over the important points we discussed in the last lesson 授業：Conclude our discussion of the 1st topic by presenting your final points or arguments to the group. 復習：Review & revise your class note in order to write your post-discussion report which will be due in 2-week's time.</p> <p>第7回： 予習：Prepare to announce & decide the 2nd topic of discussion. 授業：Decide the 2nd topic & have a free discussion on the second most popular topic decided by your group. 復習：Prepare your class notes by gathering information about the topic so that you will have something interesting to say in your group during the discussion.</p> <p>第8回： 予習：Review the class notes you prepared for today's discussion. 授業：Begin your group's discussion on the 2nd topic. 復習：Review & revise your class in preparation for our next discussion.</p> <p>第9回： 予習：Review class notes by going over the important points we discussed in the last discussion, Q&A 授業：Continue the discussion of the 2nd topic. 復習：Review & revise your class in preparation for our next discussion.</p> <p>第10回： 予習：Review class notes by going over the important points we discussed in the last lesson, Q&A. 授業：Conclude our discussion of the 2nd topic by presenting your final points or arguments to the group. 復習：Review & revise your class note in order to write your post-discussion report which will be due in 2-week's time.</p> <p>第11回： 予習：Prepare to announce & decide the 3rd topic of discussion.</p>			

授業 : Decide the 3rd topic & have a free discussion on the second most popular topic decided by your group.
 復習 : Prepare your class notes by gathering information about the topic so that you will have something interesting to say in your group during the discussion.
 第 1 2 回 :
 予習 : Review the class notes you prepared for today's discussion.
 授業 : Begin your group's discussion on the 3rd topic.
 復習 : Review & revise your class in preparation for our next discussion.
 第 1 3 回 :
 予習 : Review class notes by going over the important points we discussed in the last discussion, Q&A
 授業 : Continue the discussion of the 2nd topic.
 復習 : Review & revise your class in preparation for our next discussion.
 第 1 4 回 :
 予習 : Review class notes by going over the important points we discussed in the last lesson, Q&A.
 授業 : Conclude our discussion of the 3rd topic by presenting your final points or arguments to the group.
 復習 : Review & revise your class note in order to write your post-discussion report which will be due in 2-week's time.
 第 1 5 回 :
 予習 : Prepare to submit all post-discussion rewrites (optional activity).
 授業 : We will have a general assessment of our progress this semester.
 復習 : Students will complete their final reports & submit them to me by email.

授業開始前学習	Students are encouraged to encounter English in their daily lives whenever & where-ever possible whether it be watching TV, listening to music or reading English newspapers.							
授業内課題の フィードバックの方法	Feedback is an essential part of the course & is embedded in every lesson. A thorough review of the previous lesson is assessed in the daily lesson activities which provide ample opportunities for both the student & the teacher to appraise her level of progress. In addition, I will always give generous feedback on every post-discussion report & encourage the student to rewrite them if they wish to improve their marks.							
テキスト・教材	No textbook is assigned for this course. All necessary & relevant materials will be provided by the teacher. However, every student is required to bring paper, a dictionary, & writing implements to every lesson.							
参考書	notebook, dictionary, pen & pencil							
評価の基準と方法	continuous assessment based on attendance, participation & module tests							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当			◎				△	○
関連科目								
その他								
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	英会話Ⅲ		
科目分類	100-131-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	English ConversationⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	W.ミラー	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	W.ミラー	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	The main emphasis of this course will be speaking. However, listening, reading, and writing will also be developed. This class will focus on speaking strategies and improving the skills of speaking. In principle, lessons will be conducted entirely in English.		
到達目標	After this class, students increased listening and speaking skills will allow them to participate in conversations more actively.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第1回 予習：Read p.9-12 授業：Self-introductions / Course goals 復習：Review notes / Do homework</p> <p>第2回 予習：Read p.13-16 授業：Interview classmates 復習：Review notes / Do homework</p> <p>第3回 予習：Read p.17-20 授業：Living Situations 復習：Prepare for 1st Dialog Task</p> <p>第4回 予習：Read p.21-24 授業：Favorite Foods: Expressing likes / dislikes and 1st Dialog Task 復習：Reflect on 1st Dialog Task</p> <p>第5回 予習：Read p.25-28 授業：Fashion: Expressing importance 復習：Review notes / Do homework</p> <p>第6回 予習：Read p.29-32 授業：Work experience: Expressing suitability 復習：Prepare for 2nd Dialog Task</p> <p>第7回 予習：Prepare for 2nd Dialog Task 授業：2nd Dialog Task 復習：Reflect on 2nd Dialog Task</p> <p>第8回 予習：Review all homework assignments 授業：General review 復習：Review notes / Do homework</p> <p>第9回 予習：Read p. 33-36 授業：Travel Advice / Recommending 復習：Review notes / Do homework</p> <p>第10回 予習：Read p. 37-40 授業：Weather Conditions: Expressing concern 復習：Prepare for 3rd Dialog Task</p> <p>第11回 予習：Prepare for 3rd Dialog Task 授業：Dealing with Stress: Expressing a need for a change 3rd Dialog Task 復習：Reflect on 3rd Dialog Task</p> <p>第12回 予習：Read p. 71-79 授業：Review Unit 1 / Conversation starters / Building fluency / Express yourself 復習：Review notes / Do homework</p> <p>第13回</p>			

予習 : Read p. 80-84 授業 : Conversation activity 復習 : Prepare for 4th Dialog Task 第 14 回 予習 : Prepare for 4th Dialog Task 授業 : 4th Dialog Task 復習 : Reflect on 4th Dialog Task 第 15 回 予習 : Complete Questionnaire on Komajo Portal 授業 : Take care of old business and discuss pros and cons of this course 復習 : Complete Questionnaire on Komajo Portal (if not completed yet)								
授業開始前学習	Watch movies and listen to the dialogues. Read comics in English. Look up unknown words in a dictionary. Seek opportunities to speak in English.							
授業内課題の フィードバックの方法	Both written and oral feedback will be provided to all students.							
テキスト・教材	Impact Conversation 2, Pearson Longman, by Sullivan and Beuckens							
参考書								
評価の基準と方法	Participation 20%, 1st Dialogue Task 20%, 2nd Dialogue Task 20%, 3rd Dialogue Task 20%, 4th Dialogue Task 20%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当			◎				△	○
関連科目								
その他	It is important for students to attend each class. Credit will not be given to students who miss more than a third of the classes. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival 30 minutes or more after the class has started will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class.							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	英会話IV		
科目分類	100-131-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	English ConversationIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	W.ミラー	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	W.ミラー	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	The main emphasis of this course will be speaking. However, listening, reading, and writing will also be developed. This class will focus on speaking strategies and improving the skills of speaking. In principle, lessons will be conducted entirely in English.		
到達目標	After this class, students increased listening and speaking skills will allow them to participate in conversations more actively.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第1回 予習：Read p.45-48 授業：Self-introductions / Course goals 復習：Review notes / Do homework</p> <p>第2回 予習：Read p.49-52 授業：Family Stories 復習：Review notes / Do homework</p> <p>第3回 予習：Read p.53-56 授業：Cleaning Habits 復習：Prepare for 1st Dialogue Task</p> <p>第4回 予習：Read p.57-60 授業：Strange Stories and 1st Dialogue Task 復習：Reflect on 1st Dialogue Task</p> <p>第5回 予習：Read p.61-64 授業：Relationship Problems 復習：Review notes / Do homework</p> <p>第6回 予習：Review all homework assignments 授業：General review 復習：Prepare for 2nd Dialogue Task</p> <p>第7回 予習：Prepare for 2nd Dialogue Task 授業：2nd Dialogue Task 復習：Reflect on 2nd Dialogue Task</p> <p>第8回 予習：Review all homework assignments 授業：General review 復習：Review notes / Do homework</p> <p>第9回 予習：Read p. 61-64 授業：Learning a Language 復習：Review notes / Do homework</p> <p>第10回 予習：Read p. 65-68 授業：School Memories 復習：Prepare for 3rd Dialogue Task</p> <p>第11回 予習：Read p. 69-72 授業：Special Events and 3rd Dialogue Task 復習：Reflect on 3rd Dialogue Task</p> <p>第12回 予習：Read p. 73-76 授業：Review Unit 1 / Conversation starters / Building fluency / Express yourself 復習：Review notes / Do homework</p> <p>第13回</p>			

予習 : Read p. 80-84 授業 : Conversation activity 復習 : Prepare for 4th Dialogue Task 第 14 回 予習 : Prepare for 4th Dialogue Task 授業 : 4th Dialogue Task 復習 : Reflect on 4th Dialogue Task 第 15 回 予習 : Complete Questionnaire on Komajo Portal 授業 : Take care of old business and discuss pros and cons of this course 復習 : Complete Questionnaire on Komajo Portal (if not completed yet)								
授業開始前学習	Watch movies and listen to the dialogues. Read comics in English. Look up unknown words in a dictionary. Seek opportunities to speak in English.							
授業内課題の フィードバックの方法	Both written and oral feedback will be provided to all students.							
テキスト・教材	Impact Conversation 2, Pearson Longman, by Sullivan and Beuckens							
参考書								
評価の基準と方法	Participation 20%, 1st Dialogue Task 20%, 2nd Dialogue Task 20%, 3rd Dialogue Task 20%, 4th Dialogue Task 20%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当			◎				△	○
関連科目								
その他	It is important for students to attend each class. Credit will not be given to students who miss more than a third of the classes. 3 late arrivals will be counted as 1 absence. Arrival 30 minutes or more after the class has started will be counted as an absence. Further explanation will be provided in the first class.							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	Receptive English I		
科目分類	100-130-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Receptive English I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	D.パートレイ	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	D.パートレイ	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	This course is built on your interest & enjoyment! The will consist of lively group discussions on various topics of the student's interest. The course will focus on improving skills both in listening & speaking as well as in reading & writing. This will be a thoroughly active course based on your interest & enjoyment to instill practical language skills in an open forum.		
到達目標	Because this course depends on your interest & enjoyment, we must find out what interests you so that you can enjoy the lessons. This course, therefore, aims to provide every student with maximal freedom of expression. To do this, the lessons will be conducted in a casual manner, like friendly gatherings at which students will talk about topics of interest to them. The students will, therefore, decide what topics to discuss. Through this course, the student will improve not only her listening & speaking skills but also her reading & writing skills, submitting reports & reading short articles related to the topics. Don't worry, activities are enjoyable when you are interested in what you are doing!		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第1回：</p> <p>予習：Getting settled in</p> <p>授業：Course Introduction: I will explain the policies (attendance, participation & assignments) & protocols (contact, feedback & evaluation) of this course.</p> <p>復習：generally assess the English you have studied from high school until now.</p> <p>第2回：</p> <p>予習：Checking class materials (paper, dictionary, writing implements).</p> <p>授業：Preparation: What things interest you?</p> <p>復習：Take stock of the English you have studied up until now.</p> <p>第3回：</p> <p>予習：Review all class notes from the previous lesson, Q&A</p> <p>授業：Practice: talking about what interests you with your classmates & I will explain how to prepare your class notes so that you can express your thoughts more easily.</p> <p>復習：Review today's explanation about preparing your class notes, Q&A.</p> <p>第4回：</p> <p>予習：Study your class notes in preparation for our discussion of the 1st topic.</p> <p>授業：Begin our first group discussion on the 1st topic.</p> <p>復習：Review & revise your class in preparation for our next discussion.</p> <p>第5回：</p> <p>予習：Review class notes by going over the important points we discussed in the last lesson, Q&A</p> <p>授業：Continue the discussion of the 1st topic.</p> <p>復習：Review & revise your class in preparation for our next discussion.</p> <p>第6回：</p> <p>予習：Review class notes by going over the important points we discussed in the last lesson</p> <p>授業：Conclude our discussion of the 1st topic by presenting your final points or arguments to the group.</p> <p>復習：Review & revise your class note in order to write your post-discussion report which will be due in 2-week's time.</p> <p>第7回：</p> <p>予習：Prepare to announce & decide the 2nd topic of discussion.</p> <p>授業：Decide the 2nd topic & have a free discussion on the second most popular topic decided by your group.</p> <p>復習：Prepare your class notes by gathering information about the topic so that you will have something interesting to say in your group during the discussion.</p> <p>第8回：</p> <p>予習：Review the class notes you prepared for today's discussion.</p> <p>授業：Begin your group's discussion on the 2nd topic.</p> <p>復習：Review & revise your class in preparation for our next discussion.</p> <p>第9回：</p> <p>予習：Review class notes by going over the important points we discussed in the last discussion, Q&A</p> <p>授業：Continue the discussion of the 2nd topic.</p> <p>復習：Review & revise your class in preparation for our next discussion.</p> <p>第10回：</p> <p>予習：Review class notes by going over the important points we discussed in the last lesson, Q&A.</p> <p>授業：Conclude our discussion of the 2nd topic by presenting your final points or arguments to the group.</p> <p>復習：Review & revise your class note in order to write your post-discussion report which will be due in 2-week's time.</p> <p>第11回：</p>			

<p>予習 : Prepare to announce & decide the 3rd topic of discussion. 授業 : Decide the 3rd topic & have a free discussion on the second most popular topic decided by your group. 復習 : Prepare your class notes by gathering information about the topic so that you will have something interesting to say in your group during the discussion. 第 1 2 回 : 予習 : Review the class notes you prepared for today's discussion. 授業 : Begin your group's discussion on the 3rd topic. 復習 : Review & revise your class in preparation for our next discussion. 第 1 3 回 : 予習 : Review class notes by going over the important points we discussed in the last discussion, Q&A 授業 : Continue the discussion of the 2nd topic. 復習 : Review & revise your class in preparation for our next discussion. 第 1 4 回 : 予習 : Review class notes by going over the important points we discussed in the last lesson, Q&A. 授業 : Conclude our discussion of the 3rd topic by presenting your final points or arguments to the group. 復習 : Review & revise your class note in order to write your post-discussion report which will be due in 2-week's time. 第 1 5 回 : 予習 : Prepare to submit all post-discussion rewrites (optional activity). 授業 : We will have a general assessment of our progress this semester. 復習 : Students will complete their final reports & submit them to me by email.</p>								
授業開始前学習	Students are encouraged to encounter English in their daily lives whenever & where-ever possible whether it be watching TV, listening to music or reading English newspapers.							
授業内課題の フィードバックの方法	Feedback is an essential part of the course & is embedded in every lesson. A thorough review of the previous lesson is assessed in the daily lesson activities which provide ample opportunities for both the student & the teacher to appraise her level of progress. In addition, I will always give generous feedback on every post-discussion report & encourage the student to rewrite them if they wish to improve their marks.							
テキスト・教材	No textbook is assigned for this course. All necessary & relevant materials will be provided by the teacher. However, every student is required to bring paper, a dictionary, & writing implements to every lesson.							
参考書	notebook, dictionary, pen & pencil							
評価の基準と方法	continuous assessment based on attendance, participation & reports							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	△		◎	○				
関連科目								
その他								
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	Receptive English II		
科目分類	100-130-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Receptive English II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	D.パートレイ	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	D.パートレイ	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	This course is based on interest & enjoyment. It is a slightly more intensive course that will, likewise, consist of lively group discussions on various topics of your interest. The course will focus on improving skills both in listening & speaking as well as in reading & writing. This will be a thoroughly active course based on your interest & enjoyment. Through your interest, this course will instill practical language skills in an open forum. That means a free & unrestricted way.		
到達目標	This course aims to provide every student maximal freedom of expression. To do this, the lessons will be conducted in a casual manner, like friendly gatherings at which students will talk about topics of interest to them. The students will, therefore, decide what topics to discuss. Through this course, the student will improve not only her listening & speaking skills but also her reading & writing skills, submitting reports & reading short articles related to the topics.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第1回： 予習：Getting settled in 授業：Course Introduction: I will explain the policies (attendance, participation & assignments) & protocols (contact, feedback & evaluation) of this course. 復習：generally assess the English you have studied from high school until now.</p> <p>第2回： 予習：Checking class materials (paper, dictionary, writing implements). 授業：Preparation: What things interest you? 復習：Take stock of the English you have studied up until now.</p> <p>第3回： 予習：Review all class notes from the previous lesson, Q&A 授業：Practice: talking about what interests you with your classmates & I will explain how to prepare your class notes so that you can express your thoughts more easily. 復習：Review today's explanation about preparing your class notes, Q&A.</p> <p>第4回： 予習：Study your class notes in preparation for our discussion of the 1st topic. 授業：Begin our first group discussion on the 1st topic. 復習：Review & revise your class in preparation for our next discussion.</p> <p>第5回： 予習：Review class notes by going over the important points we discussed in the last lesson, Q&A 授業：Continue the discussion of the 1st topic. 復習：Review & revise your class in preparation for our next discussion.</p> <p>第6回： 予習：Review class notes by going over the important points we discussed in the last lesson 授業：Conclude our discussion of the 1st topic by presenting your final points or arguments to the group. 復習：Review & revise your class note in order to write your post-discussion report which will be due in 2-week's time.</p> <p>第7回： 予習：Prepare to announce & decide the 2nd topic of discussion. 授業：Decide the 2nd topic & have a free discussion on the second most popular topic decided by your group. 復習：Prepare your class notes by gathering information about the topic so that you will have something interesting to say in your group during the discussion.</p> <p>第8回： 予習：Review the class notes you prepared for today's discussion. 授業：Begin your group's discussion on the 2nd topic. 復習：Review & revise your class in preparation for our next discussion.</p> <p>第9回： 予習：Review class notes by going over the important points we discussed in the last discussion, Q&A 授業：Continue the discussion of the 2nd topic. 復習：Review & revise your class in preparation for our next discussion.</p> <p>第10回： 予習：Review class notes by going over the important points we discussed in the last lesson, Q&A. 授業：Conclude our discussion of the 2nd topic by presenting your final points or arguments to the group. 復習：Review & revise your class note in order to write your post-discussion report which will be due in 2-week's time.</p> <p>第11回： 予習：Prepare to announce & decide the 3rd topic of discussion.</p>			

授業 : Decide the 3rd topic & have a free discussion on the second most popular topic decided by your group.
 復習 : Prepare your class notes by gathering information about the topic so that you will have something interesting to say in your group during the discussion.
 第 1 2 回 :
 予習 : Review the class notes you prepared for today's discussion.
 授業 : Begin your group's discussion on the 3rd topic.
 復習 : Review & revise your class in preparation for our next discussion.
 第 1 3 回 :
 予習 : Review class notes by going over the important points we discussed in the last discussion, Q&A
 授業 : Continue the discussion of the 2nd topic.
 復習 : Review & revise your class in preparation for our next discussion.
 第 1 4 回 :
 予習 : Review class notes by going over the important points we discussed in the last lesson, Q&A.
 授業 : Conclude our discussion of the 3rd topic by presenting your final points or arguments to the group.
 復習 : Review & revise your class note in order to write your post-discussion report which will be due in 2-week's time.
 第 1 5 回 :
 予習 : Prepare to submit all post-discussion rewrites (optional activity).
 授業 : We will have a general assessment of our progress this semester.
 復習 : Students will complete their final reports & submit them to me by email.

授業開始前学習	Students are encouraged to encounter English in their daily lives whenever & where-ever possible whether it be watching TV, listening to music or reading English newspapers.							
授業内課題の フィードバックの方法	Feedback is an essential part of the course & is embedded in every lesson. A thorough review of the previous lesson is assessed in the daily lesson activities which provide ample opportunities for both the student & the teacher to appraise her level of progress. In addition, I will always give generous feedback on every post-discussion report & encourage the student to rewrite them if they wish to improve their marks.							
テキスト・教材	No textbook is assigned for this course. All necessary & relevant materials will be provided by the teacher. However, every student is required to bring paper, a dictionary, & writing implements to every lesson.							
参考書	notebook, dictionary, pen & pencil							
評価の基準と方法	continuous assessment based on attendance, participation & reports							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	△		◎	○				
関連科目								
その他								
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	Productive English I		
科目分類	100-130-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Productive English I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	F.グリーンソン	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	F.グリーンソン	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	This course is designed to get students writing and speaking. The focus is on paragraph writing however speaking and listening skills are utilised in order for students to express their ideas during pair and group work. Thereby encouraging development of a well-balanced natural style of interactive communication.		
到達目標	By the end of this course students will be able to confidently plan, structure and write a paragraph as well as discuss its content. This will be achieved by studying the components of paragraph writing; Topic sentences; main idea; supporting sentences; concluding sentences; and mind mapping. The communication aspect will be achieved by directly discussing written content with fellow students and the teacher.		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習 : Pre-read the syllabus 授業 : Orientation: Syllabus review; Class guidelines. Review - What is a paragraph & topic sentence? What are supporting and concluding sentences; Fluency versus Accuracy 復習 : Review class notes</p> <p>【第2回】 予習 : Pre-read unit 9 Pages 73-78 授業 : Warm Up; Fluency: Free writing: your typical day; Practicing summarizing I (partner's day) 復習 : HW 1 Find a paragraph on the internet (news article, magazine article) bring to class</p> <p>【第3回】 予習 : Pre-read unit 9 continued 授業 : Fluency: Summarizing II (a paragraph on the internet) 復習 : HW 2 Reflecting page 78</p> <p>【第4回】 予習 : Pre-read unit 10 Pages 79-86 授業 : Warm Up; Accuracy: Analyzing a typical day paragraph; Practicing summarizing sentence by sentence 復習 : HW 3 Choose a paragraph to summarize see page 84 (Units 2 & 4 only)</p> <p>【第5回】 予習 : Pre-read unit 10 continued 授業 : Accuracy: Check partner's summary & revise your summary; Summarizing & writing a paragraph 復習 : HW 4 Submit 1st Assignment 10% (Review & Feedback)</p> <p>【第6回】 予習 : Pre-read unit 1 Pages 11-16 授業 : Warm Up; Fluency: Free writing I; Researching; Free writing II 復習 : HW 5 Prepare 10 Questions for interviewing partner about interesting things about them</p> <p>【第7回】 予習 : Pre-read unit 1 continued 授業 : Fluency: Interview partner (use HW Questions); Free writing III 復習 : HW 6 Reflecting page 16</p> <p>【第8回】 予習 : Pre-read unit 2 Pages 17-24 授業 : Warm Up; Accuracy: Analyzing a narrative paragraph; Mind mapping 復習 : HW 7 Mind Map: A great memory (see page 20)</p> <p>【第9回】 予習 : Pre-read unit 2 continued 授業 : Accuracy: Draft writing: A great memory (use HW mind map); Introduction to structuring; Find 15 mistakes 復習 : HW 8 Submit 2nd Assignment 10% (Review & Feedback)</p> <p>【第10回】 予習 : Pre-read unit 3 Pages 25-30 授業 : Warm Up; Fluency: Free writing I; Researching; Free writing II 復習 : HW 9 Prepare 10 Questions for interviewing partner about their friend</p> <p>【第11回】 予習 : Pre-read unit 3 continued 授業 : Fluency: Interview partner (use HW questions); Free writing III 復習 : HW 10 Reflecting page 30</p> <p>【第12回】</p>			

予習 : Pre-read unit 4 Pages 31-38 授業 : Warm Up; Accuracy: Analyzing a descriptive paragraph; Mind Mapping 復習 : HW 11 Mind map: Your favourite place 【第 13 回】 予習 : Pre-read unit 4 continued 授業 : Accuracy: Draft writing: Your favourite place (use your HW mind map); Find 15 mistakes 復習 : HW 12 Submit 3rd Assignment 10% (Review & Feedback) 【第 14 回】 予習 : Review Units 2,4,10 授業 : Review previous assignments. How could you improve them? 復習 : Review Units 2,4,10 【第 15 回】 予習 : Review Units 2,4,10 授業 : Assessment 30% (Test) 復習 : Consider continuing in Productive English II and use skills learnt here in other classes								
授業開始前学習	Read over the syllabus. If you do not understand please ask questions in the first class. Do the pre-reading before each class and review after each class.							
授業内課題のフィードバックの方法	Students will receive feedback on class participation and assignments. Assignments should be handed in on time.							
テキスト・教材	Andy Boon. (2017) Writing for Fluency and Accuracy (CENGAGE Learning)							
参考書								
評価の基準と方法	Written assignments: Planning & structuring paragraphs: 30% (3x10%); Participation & interaction 20%; General homework: 20%; End of semester assessment: 30%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当			◎	○				△
関連科目								
その他	Attendance: Students should arrive before class starts and do their best to attend all classes. Do not disturb others if you are late. Late passes are acceptable as long as they are filled out correctly. If you are absent it is your responsibility to contact the teacher (kjenglishfg@gmail.com). Also, ask the teacher or ask other students what you have missed. Classwork and homework is listed in the syllabus and will be posted on-line in Google Classroom as well. Important note: Credited absences due to illness or unforeseen circumstances will need official notification. Please bring a notebook to every class. You will need to keep your class notes, free-writing & draft notes in one place.							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	Productive English II		
科目分類	100-130-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Productive English II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	F.グリーンソン	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	F.グリーンソン	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	This course builds on the skills learnt in Productive English I. Students will further develop their writing and communicative ability. While the focus is on writing more challenging paragraphs there will also be scope for fine-tuning and strengthening existing skills.		
到達目標	After the completion of this course students will be more at ease with not only writing paragraphs that reflect their own ideas and opinions but they will be able to verbally express them as well.		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習 : Pre-read syllabus 授業 : Orientation: Syllabus review; Class guidelines. Review - What is a paragraph & topic sentence? What are supporting and concluding sentences; Fluency versus Accuracy 復習 : Review class notes</p> <p>【第2回】 予習 : Pre-read unit 5 Pages 39-44 授業 : Warm Up; Fluency: Free writing I; Researching; Free writing II 復習 : HW 1 Prepare 10 Questions for interviewing partner</p> <p>【第3回】 予習 : Pre-read unit 5 continued 授業 : Fluency: Interview partner (use HW questions); Free writing III 復習 : HW 2 Reflecting page 44</p> <p>【第4回】 予習 : Pre-read unit 6 Pages 45-51 授業 : Warm Up; Accuracy: Analyzing a compare and contrast paragraph; Venn diagram Video 復習 : HW 3 Compare and contrast your high school and your university. Create a Venn diagram (See page 48)</p> <p>【第5回】 予習 : Pre-read unit 6 continued 授業 : Accuracy: Draft writing in class (use HW Venn diagram); plan & write a draft paragraph; Find 15 mistakes 復習 : HW 4 Submit 1st Assignment 10% (Review & Feedback)</p> <p>【第6回】 予習 : Pre-read unit 7 Pages 59-64 授業 : Warm Up; Fluency: Free writing I; Researching; Free writing II 復習 : HW 5 Prepare 10 Questions for interviewing partner about their habits</p> <p>【第7回】 予習 : Pre-read unit 7 continued 授業 : Fluency: Interview partner (use HW Questions); Free writing III 復習 : HW 6 Reflecting page 64</p> <p>【第8回】 予習 : Pre-read unit 8 Pages 65-72 授業 : Warm Up; Accuracy: Analyzing a cause and effect paragraph: Listing 復習 : HW 7 Choose a topic; Make a list (See page 68)</p> <p>【第9回】 予習 : Pre-read unit 8 continued 授業 : Accuracy: Draft writing in class (use HW list): Relationships between people; Find 15 mistakes 復習 : HW 8 Submit 2nd Assignment 10% (Review & Feedback)</p> <p>【第10回】 予習 : Pre-read unit 11 Pages 87-92 授業 : Warm Up; Fluency: Free writing I, Researching, Free writing II 復習 : HW 9 Prepare 10 Questions for interviewing partner about their opinion</p> <p>【第11回】 予習 : Pre-read unit 11 continued 授業 : Fluency: Interview partner (use HW Questions), Free writing III 復習 : HW 10 Reflecting page 92</p> <p>【第12回】 予習 : Pre-read unit 12 Pages 93-102 授業 : Warm Up; Accuracy: Analyzing an opinion paragraph; Mind mapping 復習 : HW 11 What's your opinion? Prepare a mind map</p>			

<p>【第13回】 予習 : Pre-read unit 12 continued 授業 : Accuracy: Draft writing your opinion in class: Find 15 mistakes 復習 : HW 12 Submit 3rd Assignment 10% (Review & Feedback) 【第14回】 予習 : Review units 6,8,12 授業 : Revision: Review your previous assignments. How could you improve them? 復習 : Review units 6,8,12 【第15回】 予習 : Review units 6,8,12 授業 : In class Assessment 30% (Test) 復習 : Use writing skills you have learnt here in other classes.</p>								
授業開始前学習	Read over the syllabus. If you do not understand please ask questions in the first class and every class. Do the pre-reading before each class and review after each class. If you do not understand something it is your responsibility to ask the teacher for help.							
授業内課題のフィードバックの方法	Students will receive feedback on class participation, homework (HW) & assignments. Assignments should be handed in on time. If you are sick, have transport or internet problems please let the teacher know as soon as possible by sending an email.							
テキスト・教材	Andy Boon. (2017) Writing for Fluency and Accuracy (CENGAGE Learning)							
参考書								
評価の基準と方法	Written assignments: 30% (3×10%); participation & interaction: 20%; general homework: 20%; End of semester Assessment (Test): 30%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当			◎	○				△
関連科目								
その他	Attendance: Students should arrive before class starts and do their best to attend all classes. Do not disturb others if you are late. Late passes are acceptable as long as they are filled out correctly. If you are absent it is your responsibility to contact the teacher (kjenglishfg@gmail.com). Also, ask the teacher or ask other students what you have missed. Classwork and homework is listed in the syllabus and will be posted on-line in Google Classroom as well. Important note: Credited absences due to illness or unforeseen circumstances will need official notification. Please bring a notebook to every class. You will need to keep your class notes, free-writing & draft notes in one place.							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	English Summer Seminar							
科目分類	100-130-22			単位数	履修ガイド参照			
英文名称	English Summer Seminar			授業区分	演習・実習・実技			
科目責任者	アザ・ブロン			必修・選択	履修ガイド参照			
担当教員	アザ・ブロン			開講時期	履修ガイド参照			
オフィスアワー	-			研究室	-			
授業概要	This three-day, residential seminar has been designed to give you many opportunities to use English. Types of activities are pair and group work, peer-teaching and English activities and games.							
到達目標	The English summer seminar gives you many opportunities to become users of English outside of the classroom. The whole course is student-centered, interactive, and conducted entirely in English by both teachers and students. At the end of this intensive course, you will leave feeling more confident in your English communication skills and happy having made a closer connection with classmates.							
アクティブ・ラーニング 型授業	有							
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）								
Contents of the English Summer Seminar								
<p>*"Peer Teaching" sessions to be held for use of explanatory English practice. *"General Talk" sessions to be held for multipurpose English conversation practice. *"Seminar" sessions to be held for small group discussion practice.</p>								
授業開始前学習	Prepare your 'Peer Teaching' activity so that everyone participates in the activity on the day (not lecture/presentation based).							
授業内課題の フィードバックの方法	Students will be given individual feedback from the teachers on their "Peer Teaching" activities. Students will also submit a written self-reflection on their experiences.							
テキスト・教材	Teacher handouts							
参考書								
評価の基準と方法	Student peer teaching 50% Participation in activities 50%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当			◎				△	○
関連科目								
その他	Attend all meetings before going to the seminar. The first meeting will be announced at orientation.							

予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)
実務経験を活かした 教育内容	

科目名称	フランス語 I		
科目分類	100-130-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	French I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	松村 悠子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	松村 悠子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	基礎的な会話練習を主体にフランス語の学修を行う。会話から出発して、発音、文法、語彙、表現を学ぶ。文法解説・練習問題、発話練習、聞き取り、テキスト読解、作文を通して、文法学習と、話す・聞く・読む・書く、の 4 技能の訓練をバランスよく行う。		
到達目標	基礎的な文法、語彙、表現を習得して、初歩的な会話を理解し遂行できるようになる。これらの文法、語彙、表現を用いた短い文を読み、簡単な文が書けるようになる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第 1 回】 予習：フランス語やフランスについて調べる 授業：前期授業ガイダンス、辞書の紹介、自己紹介。 復習：身の回りにあるフランス語とアルファベについての課題に取り組む</p> <p>【第 2 回】 予習：フランス語の挨拶表現について調べる。 授業：フランス語の挨拶。フランス語が話されている地域、アルファベ、フランス語に特有の音（教科書 6 から 7 頁）（発見学習）。 復習：挨拶表現、フランス語に特有の音の練習、アルファベの復習</p> <p>【第 3 回】 予習：複母音字、鼻母音について調べる 授業：綴り字の読み方（プリント）（発見学習） 復習：綴り字の読み方の復習</p> <p>【第 4 回】 予習：レッスン 1 の会話音声聴く 授業：レッスン 1：挨拶、自分の名前を言う。国籍を言う。（教科書 8 から 9 頁）（ペアワーク）。 復習：挨拶、名前を言う表現の反復練習</p> <p>【第 5 回】 予習：レッスン 1 の会話音声聴く 授業：レッスン 1：挨拶、自分の名前を言う。国籍を言う、聞く、数字 1 から 5、練習問題。（教科書 10 から 11 頁）（ペアワーク）。 復習：挨拶、名前・国籍を言う表現の反復練習</p> <p>【第 6 回】 予習：レッスン 2 の音声教材を聴く 授業：語彙の練習、練習問題、会話練習（教科書 12 から 13 頁）（ペアワーク） 復習：授業で扱った語彙・表現の復習</p> <p>【第 7 回】 予習：レッスン 2 の音声教材を聴く 授業：職業を言う、数字 6 から 7、練習問題（教科書 14 から 15 頁） 復習：読解・作文したテキストの再考、復習</p> <p>【第 8 回】 予習：第 1 回目から第 8 回目授業内容の復習 授業：中間試験 復習：中間試験の問題再考</p> <p>【第 9 回】 予習：レッスン 3 の音声教材を聴く 授業：名前を言う、聞く（教科書 16）（ペアワーク） 復習：授業で扱った語彙・表現の復習</p> <p>【第 10 回】 予習：レッスン 3 の音声教材を聴く 授業：住んでいるところを言う、聞く（教科書 17 頁） 復習：授業で扱った語彙・表現の復習</p> <p>【第 11 回】 予習：レッスン 3 の音声教材を聴く 授業：国籍、名前、住んでいる場所を言う・聞く、練習問題（教科書 18 から 19 頁）（ペアワーク）。 復習：授業で扱った語彙・表現の復習</p> <p>【第 12 回】 予習：レッスン 4 の音声教材を聴く 授業：だれかについてやりとりする、だれかの職業を言う。（教科書 19 頁）（ペアワーク） 復習：授業で扱った語彙・表現の復習</p>			

<p>【第13回】 予習：レッスン4の音声教材を聴く 授業：だれかについてやりとりする、だれかの住んでいる所を言う。(教科書20頁) 復習：授業で扱った語彙・表現の復習</p> <p>【第14回】 予習：第9回目から第14回目授業内容の復習 授業：期末試験 復習：期末試験の問題再考</p> <p>【第15回】 予習：第14回目までの授業内容を振り返る 授業：前期授業のまとめ 復習：授業で扱った項目の復習</p>								
授業開始前学習								
授業内課題の フィードバックの方法	課題、小テスト、試験を返却後、問題を再考させ解説を行う。							
テキスト・教材	ロイク・ホゲス 著『ブティック・コンヴェルサシオン』駿河台出版社 (定価：2,300円+税) 仏和辞書 (主要なものを第1回目授業で紹介)							
参考書								
評価の基準と方法	小テスト20点、試験(中間・期末)60点、平常点(授業態度・課題提出)20点							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目	フランス文化紀行/異文化との出会いA(フランス) 言葉と心理 観光のフランス語							
その他	単位取得には3分の2以上の出席が必要。遅刻1回、あるいは早退1回を欠席3分の1回とみなす。つまり遅刻ないし早退3回で欠席1回と数える。授業開始時刻より30分以上遅れて到着した場合、授業終了時刻より30分以上早く早退した場合は欠席扱い。正当かつ重大な理由で遅刻・欠席・早退をし、かつ出席数配慮を希望する場合は、まず教務課を通すこと。出席数配慮は原則として証明書類の提出により検討する。 宿題を出すことがある。 全15回の授業計画を上に表示しているが、受講者やクラスの特性、また社会状況など諸々の都合に応じて若干変更になる場合がある。							
予習・復習の 所要時間	講義時間30時間(2時間×15週) + 予習・復習時間15時間(1時間×15週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	フランス語 I		
科目分類	100-130-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	French I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	米金 孝雄	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	米金 孝雄	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	前期 水曜日 10:10～10:40 木曜日 10:30～13:00 後期 水曜日 10:00～10:40 水曜日 12:10～13:00 木曜日 10:00～10:40 木曜日 12:10～13:00	研究室	10-711
授業概要	基礎的なフランス語の表現・成句を通して、様々なシチュエーションを想定した日常会話の習得を目指す。特に、フランス語特有の音に慣れ親しみ、文を暗誦するだけでなく、現実的な練習「ロール・プレイ」「シミュレーション」など、コミュニケーションのための言語使用に重点を置いた授業である。		
到達目標	初歩的なフランス語運用能力（話す・聞く・読む・書く）を習得することが目標である。フランス語特有のアルファベットの発音・基本的な挨拶の仕方・綴り字などを学び、積極的に使用する。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：自分の知っているフランス語、フランス文化の紹介 1 授業：自己紹介、授業概要、授業の進め方、勉強の仕方、教科書、辞書の紹介、注意点など 復習：アルファベットの復習</p> <p>【第2回】 予習：自分の知っているフランス語、フランス文化を紹介する 2 授業：特有の音、フランス語の使われている国、フランス語に慣れ親しむ（テキスト6-7頁） 復習：基本的なフランス語表現、アルファベットの復習</p> <p>【第3回】 予習：レッスン1の音声を聴くこと 授業：綴り字と発音の仕方、挨拶の仕方、名前を言う、国籍を言う、男性形と女性形（8-9頁）（ペアワーク） 復習：主語人称代名詞、s'appeler 動詞、Etre 動詞、国籍の表現</p> <p>【第4回】 予習：レッスン1の音声を聴くこと 授業：国籍、数の数え方、職業、名前、数字、アルファベットの練習（10-11頁）（ペアワーク） 復習：職業名詞、形容詞性数に一致</p> <p>【第5回】 予習：レッスン1,1+の音声を聴くこと 授業：名前・国籍、数字、アルファベットの練習、基本表現、アクセント記号（11頁、76-77頁）（ペアワーク） 復習：名前の言い方、対話練習</p> <p>【第6回】 予習：レッスン2の音声を聴くこと： 授業：綴り字と発音の仕方、国籍、職業（12-13頁）（ペアワーク） 復習：質問と答え</p> <p>【第7回】 予習：レッスン2の音声を聴くこと 授業：数の数え方、職業（14-15頁）（ペアワーク） 復習：女性形、自己紹介、職業</p> <p>【第8回】 予習：レッスン2,2+の音声を聴くこと 授業：国籍、職業、tuとvousの表現（78頁）（ペアワーク） 復習：女性形、自己紹介</p> <p>【第9回】 予習：レッスン3の音声を聴くこと 授業：発音の仕方、アポストロフ、名前・職業・国籍を言う、住んでいる場所を尋ねる、国名、都市、 人称代名詞強制形、En+国籍、冠詞の縮約形（16-17頁）（ペアワーク） 復習：Etre,Habiter, S'appeler 動詞の活用、対話練習、En+国籍、冠詞の縮約形</p> <p>【第10回】 予習：レッスン3,3+の音声を聴くこと 授業：否定文の答え方、名前、職業、国籍、住んでいる場所の質問と答え。（18頁、79頁）（ペアワーク） 復習：対話練習</p> <p>【第11回】 予習：レッスン3,3+の音声を聴くこと 授業：練習問題（19,79,91頁）（ペアワーク） 復習：練習問題の確認と再考</p> <p>【第12回】 予習：レッスン4の音声を聴くこと 授業：アンシェンヌマン、この人は誰？、場所を示す疑問文、Parler,habiter,etre 動詞活用の確認（20-21頁）（ペアワーク） 復習：人・場所を示す質問と答え、Parler,habiter,etre 動詞活用</p>			

<p>【第13回】 予習：レッスン4の音声を聴くこと 授業：parler 動詞を使った質問と答え、数字、紹介と質問の仕方、練習問題（22-23頁）（ペアワーク） 復習：「名前、国籍、職業、住んでいる場所、話せる言語」についての質問と答え</p> <p>【第14回】 予習：レッスン4,4+の音声を聴くこと 授業：er 動詞の確認、quel を使った疑問文、練習問題（80頁）（ペアワーク） 復習：er 動詞(aimer,preferer...),quel の用法、練習問題の確認と再考</p> <p>【第15回】 予習：フランス語を話す国・フランス語に慣れ親しむ・特有の音の確認と再考 授業：前期授業の復習と確認（Dans la classe1 から lecon4/4+）、場所の表現と都市(C'est ou ?)（6-25頁,77-80頁）（ペアワーク） 復習：前期学習事項を再考し、自分の弱点を克服すること</p>								
授業開始前学習	前回の学習事項の復習と、次回の学習事項の予習をすること。							
授業内課題のフィードバックの方法	課題(レポート・練習問題・小テスト等)を提出後、内容を再考させ、各人の弱点を把握させ、確実な学習事項の修得へと導く。							
テキスト・教材	Petites Conversations(プティットゥ・コンヴェルサスイオン)（駿河台出版社）							
参考書	適宜、授業内で資料を配布する。							
評価の基準と方法	【配点】：提出課題・レポート・小テスト80点，平常点20点							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目	海外観光資源研究 A(ヨーロッパ1) 文化交流論 A(日本とヨーロッパ) 言葉と心理 観光のフランス語							
その他	注意事項： 3回の遅刻で1回欠席とみなす 予習・復習を怠らないこと							
予習・復習の所要時間	講義時間30時間（2時間×15週）＋予習・復習時間15時間（1時間×15週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	フランス語Ⅱ		
科目分類	100-130-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	FrenchⅡ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	松村 悠子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	松村 悠子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	基礎的な会話練習を主体にフランス語の学修を行う。会話から出発して、発音、文法、語彙、表現を学ぶ。文法解説・練習問題、発話練習、聞き取り、テキスト読解、作文を通して、文法学習と、話す・聞く・読む・書く、の4技能の訓練をバランスよく行う。		
到達目標	基礎的な文法、語彙、表現を習得して、初歩的な会話を理解し遂行できるようになる。これらの文法、語彙、表現を用いた短い文を読み、簡単な文が書けるようになる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：前期に学習した項目の要点をまとめる 授業：後期授業ガイダンス、前期の復習 復習：授業で扱った文法、語彙、表現の復習</p> <p>【第2回】 予習：レッスン5の音声教材を聴く 授業：レッスン5、国籍、話せる言語について否定形を用いて表現する（教科書26頁）（ペアワーク）。 復習：授業で扱った語彙・表現の復習</p> <p>【第3回】 予習：レッスン5の音声教材を聴く 授業：レッスン5、だれかについて聞く、だれかの国籍、話せる言語について否定形を用いて表現する（教科書27頁）（ペアワーク） 復習：授業で扱った語彙・表現の復習</p> <p>【第4回】 予習：レッスン5の音声教材を聴く 授業：レッスン5、だれかについて聞く、だれかの国籍、職業について名詞と形容詞を組み合わせで表現する、数字16から20、練習問題（教科書28から29頁）（ペアワーク）。 復習：授業で扱った語彙・表現の復習</p> <p>【第5回】 予習：レッスン6の音声教材を聴く 授業：レッスン6、年齢を言う、さく、動詞avoir（教科書30頁）（ペアワーク） 復習：授業で扱った語彙・表現の復習</p> <p>【第6回】 予習：レッスン6の音声教材を聴く 授業：だれかの年齢を言う、さく、数字21から30（教科書31頁） 復習：授業で扱った語彙・表現の復習</p> <p>【第7回】 予習：レッスン6の音声教材を聴く 授業：曜日と1週間の時間割を言う、さく、練習問題（教科書32から33頁） 復習：授業で扱った語彙・表現の復習</p> <p>【第8回】 予習：第1回目から第8回目授業内容の復習 授業：中間試験 復習：中間試験の問題再考</p> <p>【第9回】 予習：レッスン7の音声教材を聴く 授業：レッスン7、動詞avoirを使った熟語（お腹が空いた等）（教科書36頁）（ペアワーク）。 復習：授業で扱った語彙・表現の復習</p> <p>【第10回】 予習：レッスン7の音声教材を聴く 授業：レッスン7、動詞avoirを使った熟語（お腹が空いた等）、数字31から40（教科書37頁）（ペアワーク） 復習：授業で扱った語彙・表現の復習</p> <p>【第11回】 予習：レッスン7の音声教材を聴く 授業：レッスン7、動詞êtreを使った表現（疲れた等）、練習問題（教科書38から39頁） 復習：授業で扱った語彙・表現の復習</p> <p>【第12回】 予習：レッスン8の音声教材を聴く 授業：レッスン8、物の名前、名詞の性、不定冠詞（教科書40から41頁）（ペアワーク） 復習：授業で扱った語彙・表現の復習</p>			

<p>【第13回】 予習：レッスン8の音声教材を聞く 授業：レッスン8、数字41から50、物の値段を言う、きく、練習問題（教科書42から43頁）（ペアワーク） 復習：授業で扱った語彙・表現の復習</p> <p>【第14回】 予習：第9回目から第14回目授業内容の復習 授業：期末試験 復習：期末試験の問題再考</p> <p>【第15回】 予習：第14回目までの授業を振り返る。 授業：後期授業のまとめ 復習：授業で扱った項目の復習</p>								
授業開始前学習								
授業内課題のフィードバックの方法	課題、小テスト、試験を返却後、問題を再考させ解説を行う。							
テキスト・教材	ロイク・ホゲス 著『ブティック・コンヴェルサシオン』駿河台出版社（定価：2,300円＋税） 仏和辞書							
参考書								
評価の基準と方法	小テスト20点、試験（中間・期末）60点、平常点（授業態度・課題提出）20点							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目	フランス文化紀行/異文化との出会いA（フランス） 言葉と心理 観光のフランス語							
その他	単位取得には3分の2以上の出席が必要。遅刻1回、あるいは早退1回を欠席3分の1回とみなす。つまり遅刻ないし早退3回で欠席1回と数える。授業開始時刻より30分以上遅れて到着した場合、授業終了時刻より30分以上早く早退した場合は欠席扱い。正当かつ重大な理由で遅刻・欠席・早退をし、かつ出席数配慮を希望する場合は、まず教務課を通すこと。出席数配慮は原則として証明書類の提出により検討する。 宿題を出すことがある。 全15回の授業計画を上にも示しているが、受講者やクラスの特長、また社会状況など諸々の都合に応じて若干変更になる場合がある。							
予習・復習の所要時間	講義時間30時間（2時間×15週）＋予習・復習時間15時間（1時間×15週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	フランス語Ⅱ		
科目分類	100-130-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	FrenchⅡ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	米金 孝雄	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	米金 孝雄	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	前期 水曜日 10:10～10:40 木曜日 10:30～13:00 後期 水曜日 10:00～10:40 水曜日 12:10～13:00 木曜日 10:00～10:40 木曜日 12:10～13:00	研究室	10-711
授業概要	基礎的なフランス語の表現・成句を通して、様々なシチュエーションを想定した日常会話の習得を目指す。 特に、フランス語特有の音に慣れ親しみ、文を暗誦するだけでなく、現実的な練習「ロール・プレイ」「シミュレーション」など、コミュニケーションのための言語使用に重点を置いた授業である。		
到達目標	初歩的なフランス語運用能力（話す・聞く・読む・書く）を習得することが目標である。 フランス語特有のアルファベットの発音・基本的な挨拶の仕方・綴り字などを学び、積極的に使用する。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：前期の復習(レッスン1-4)とレッスン5の音声を聴くこと 授業：前期の復習、前期課題の確認、否定形の作り方と答え方、エリゾン(26-27頁,80頁)（ペアワーク） 復習：国籍名詞、habiterの練習</p> <p>【第2回】 予習：レッスン5の音声を聴くこと 授業：どこに住んでるの、否定形、名前、職業、数字、不定冠詞、男性名詞、女性名詞（27-28頁）（ペアワーク） 復習：職業名詞、いいえの答え方、1-20の数字、C'est + 名詞の練習</p> <p>【第3回】 予習：レッスン5,5+の音声を聴くこと 授業：練習問題（女性形、否定文）、Etre de + 地名、対話練習（29頁、81頁）（ペアワーク） 復習：地図、国籍と名前の言い方</p> <p>【第4回】 予習：レッスン6の音声を聴くこと 授業：発音、年齢を言う、数字、リエゾン（30-31頁）（ペアワーク） 復習：1-30の数字、年齢表現</p> <p>【第5回】 予習：レッスン6の音声を聴くこと 授業：年号、曜日、科目名詞、練習問題（31-33頁）（ペアワーク） 復習：年号、曜日、科目名を言う</p> <p>【第6回】 予習：レッスン6,6+の音声を聴くこと 授業：前回の復習、自己紹介、会話練習、（34頁、82頁、92頁）（ペアワーク） 復習：自己紹介の練習</p> <p>【第7回】 予習：レッスン5,6の復習と確認 授業：レッスン5,6の課題（27-34頁、81-82頁、92頁）（ペアワーク） 復習：レッスン5,6の課題再考</p> <p>【第8回】 予習：レッスン7の音声を聴くこと 授業：中間試験再考、フランス語圏、体調を伝える、Onの用法、Avoir動詞の疑問文と答え（35-36頁）（ペアワーク） 復習：onの用法、Aoir動詞の確認、</p> <p>【第9回】 予習：レッスン7の音声を聴くこと 授業：数字、形容詞の質問と答え、Etreの否定文（37-38頁）（ペアワーク） 復習：1-40の数字、形容詞を使った表現</p> <p>【第10回】 予習：レッスン7,7+の音声を聴くこと 授業：練習問題(形容詞の用法とavoir/etre動詞)、（39頁、83頁）（ペアワーク） 復習：練習問題、レッスン5-7の復習</p> <p>【第11回】 予習：レッスン8の音声を聴くこと 授業：不定冠詞の種類と用法、「C'est～」表現（40-41頁）（ペアワーク） 復習：不定冠詞の練習、C'est～の練習</p> <p>【第12回】 予習：レッスン8の音声を聴くこと 授業：数字1～50、「C'est combien？」表現、練習問題（42-43頁）（ペアワーク） 復習：数字表現の練習、C'est～の練習</p> <p>【第13回】</p>			

予習：レッスン 8,8+の音声を聴くこと 授業：Revisions 会話表現, 練習問題(44-45 頁), (ペアワーク) 復習：聞き取り練習、応答練習 【第 14 回】 予習：レッスン 8,8+の音声を聴くこと 授業：「Qu'est-ce que c'est ?」の応答練習(84 頁) (ペアワーク) 復習：「Qu'est-ce que c'est ?」の練習、課題 【第 15 回】 予習：後期授業の復習 授業：1 年次授業内容・重要事項の確認 復習：1 年次授業内容再考								
授業開始前学習	前回の学習事項の復習と、次回の学習事項の予習をすること。							
授業内課題の フィードバックの方法	課題・レポート等提出後、内容を再考させ、各人の弱点を把握させ、確実な学習事項の習得へと導く。							
テキスト・教材	Petites Conversations(プティットウ・コンヴェルサシオン) (駿河台出版社)							
参考書	適宜、授業内で資料を配布する。							
評価の基準と方法	配点：：提出課題・レポート・小テスト 80 点, 平常点 20 点							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目	海外観光資源研究 A(ヨーロッパ1) 文化交流論 A(日本とヨーロッパ) 言葉と心理 観光のフランス語							
その他	注意事項： 3 回の遅刻で 1 回欠席とみなす 予習・復習を怠らないこと 必ず、[仏和辞典を] 持参すること							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	フランス語Ⅲ		
科目分類	100-130-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	FrenchⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	米金 孝雄	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	米金 孝雄	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	前期 水曜日 10:10～10:40 木曜日 10:30～13:00 後期 水曜日 10:00～10:40 水曜日 12:10～13:00 木曜日 10:00～10:40 木曜日 12:10～13:00	研究室	10-711
授業概要	フランス語Ⅰ・Ⅱで修得した知識を活用しながら、更なるフランス語の向上を目指す。 特に、フランス語特有の発音練習（リエゾン、アンシェンヌマン等）や聞き取り練習を繰り返し行い、コミュニケーション（「ロール・プレイ」「シミュレーション」）に慣れ親しみ、実践的な言語運用能力を身に付ける。		
到達目標	中級フランス語運用能力（話す・聞く・読む・書く）を修得し、積極的なフランス語での授業参加を目指す。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：1年次の復習、レッスン9の音声を聴くこと 授業：不定冠詞と定冠詞、冠詞の練習（46頁） 復習：冠詞の確認</p> <p>【第2回】 予習：レッスン9の音声を聴くこと 授業：il y a 表現と前置詞、数量の質問と答え（47-48頁）（ペアワーク） 復習：il y a と前置詞</p> <p>【第3回】 予習：レッスン9と9+の音声を聴くこと 授業：仏文和訳、絵を描く、疑問詞の練習、指示形容詞、練習問題（49,85,93頁）（ペアワーク） 復習：指示形容詞の復習</p> <p>【第4回】 予習：レッスン10の音声を聞くこと 授業：好き・嫌いの表現、疑問詞 Est-ce que と応答（50-51頁）（ペアワーク） 復習：食事の名詞、Est-ce que の練習</p> <p>【第5回】 予習：レッスン10の音声を聴くこと、 授業：質問と応答、聞き取り練習、数字（51-60）、対話練習（52-53頁）（ペアワーク） 復習：好き嫌い表現、疑問文と応答の練習</p> <p>【第6回】 予習：レッスン10,10+の音声を聴くこと： 授業：faire 動詞と用法、聞き取り、指示形容詞の練習、疑問文と応答の練習（86頁）（ペアワーク） 復習：faire 動詞と疑問文の確認</p> <p>【第7回】 予習：レッスン11の音声を聞く 授業：中間試験問題再考、スポーツ名詞と preferer 動詞（35頁、54頁）（ペアワーク） 復習：スポーツ名詞と preferer 動詞</p> <p>【第8回】 予習：レッスン11の音声を聴くこと 授業：基礎的な er 動詞と faire 動詞 質問と答え、mais の用法（55頁）（ペアワーク） 復習：er 動詞と faire 動詞の練習</p> <p>【第9回】 予習：レッスン11の音声を聴くこと 授業：相手に質問をする、er 動詞の演習、街を紹介する（56-57頁）（ペアワーク） 復習：動詞と名詞の関係の確認</p> <p>【第10回】 予習：レッスン11,11+の音声を聴くこと 授業：aller 動詞と縮約、manger 動詞、質問と答え（87頁）（ペアワーク） 復習：aller 動詞と縮約、manger 動詞</p> <p>【第11回】 予習：レッスン12の音声を聴くこと 授業：家族を紹介する(年齢・職業・好きこと・嫌いなこと)、数字(61-70)、質問と答え（58-59頁）（ペアワーク） 復習：数字、質問と答え</p> <p>【第12回】 予習：レッスン12の音声を聴くこと 授業：兄弟はいますか、所有形容詞、家族を紹介する、練習問題（60-61）（ペアワーク） 復習：所有形容詞の練習、家族の紹介の仕方</p> <p>【第13回】</p>			

<p>予習：レッスン 12,12+の音声を確認</p> <p>授業：会話練習、er 動詞の確認、Quel est~の表現、四季、練習問題 (62-63 頁, 88 頁)(ペアワーク)</p> <p>復習：会話練習、er 動詞の活用、Quel est~の表現、四季</p> <p>【第 14 回】</p> <p>予習：レッスン 12,12+の音声を確認</p> <p>授業：Quel est ~?, 四季を表す表現、会話練習、練習問題の確認 (88 頁)、練習問題(94 頁) (ペアワーク)</p> <p>復習：lecon12/12+の学習事項の確認と再考</p> <p>【第 15 回】</p> <p>予習：後期学習事項(Lecon9/9+~lecon12/12+)を復習すること</p> <p>授業：1 年次・2 年次前期の学習事項の再確認と再考、動詞活用表 (7-63 頁)(77-88 頁)(91-94 頁)</p> <p>復習：1 年次・2 年次前期学習事項の復習と再考</p>								
授業開始前学習	前回の学習事項の復習と、次回の学習事項の予習をすること。							
授業内課題のフィードバックの方法	課題(レポート、練習問題、小テスト等)を提出後、内容を再考させ、各人の弱点を把握させ、確実な学習事項の修得へと導く。							
テキスト・教材	Petites Conversations(プティットゥ・コンヴェルサシオン) (駿河台出版社)							
参考書	適宜、授業内で資料を配布する。							
評価の基準と方法	【配点】：提出課題・レポート・小テスト 80 点, 平常点 20 点							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目	海外観光資源研究 A(ヨーロッパ1) 文化交流論 A(日本とヨーロッパ) 言葉と心理 観光のフランス語							
その他	注意事項： 3 回の遅刻で 1 回欠席とみなす 予習・復習を怠らないこと							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	フランス語Ⅳ		
科目分類	100-130-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	FrenchⅣ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	米金 孝雄	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	米金 孝雄	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	前期 水曜日 10:10～10:40 木曜日 10:30～13:00 後期 水曜日 10:00～10:40 水曜日 12:10～13:00 木曜日 10:00～10:40 木曜日 12:10～13:00	研究室	10-711
授業概要	フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲで修得した知識を活用しながら、更なるフランス語の向上を目指す。 特に、フランス語特有の発音練習（リエゾン、アンシェンヌマン等）や聞き取り練習を繰り返し行い、コミュニケーション（「ロール・プレイ」「シミュレーション」）に慣れ親しみ、実践的な言語運用能力を身に付ける		
到達目標	中級フランス語運用能力（話す・聞く・読む・書く）を修得し、積極的なフランス語での授業参加を目指す。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：前期の復習、レッスン13の音声を聴くこと 授業：前期の復習、時間を言う、時間を質問する、(64-65頁)（ペアワーク） 復習：時間の質問と答え</p> <p>【第2回】 予習：レッスン13の音声を聴くこと 授業：フランス新幹線に乗る、科目と曜日と時間を表現する、数字(71-80)、練習問題(66頁)（ペアワーク） 復習：数字、時間、科目、曜日の復習</p> <p>【第3回】 予習：レッスン13,13+の音声を聴くこと 授業：穴埋め練習（形容詞、疑問詞、動詞）、電車の時刻表・スケジュールの聞き取り、質問と答え(67頁) arriver 動詞、partir 動詞の活用と用法(89頁)（ペアワーク） 復習：arriver, partir の活用と用法</p> <p>【第4回】 予習：レッスン14の音声を聴くこと 授業：レストランやカフェにて（食べ物・飲み物の語彙、注文する(68-69頁)）（ペアワーク） 復習：食べ物・飲み物の語彙、注文の表現の復習</p> <p>【第5回】 予習：レッスン14の音声を聴くこと、 授業：質問と応答、疑問詞 Qu'est-ce que...?, 数字(81-90)、聞き取り・会話を完成させる練習、数字(51-60)(70-71頁)（ペアワーク） 復習：数字の復習、疑問文と応答の練習</p> <p>【第6回】 予習：レッスン14,14+の音声を聴くこと 授業：質問を作る、文を完成させる、将来の夢や願望を語る（vouloir 動詞条件法、近接未来の用法）(71、90頁)（ペアワーク） 復習：Vouloir 動詞、近接未来の復習</p> <p>【第7回】 予習：レッスン13,14の復習と確認 授業：レッスン13,14の課題 (27-34頁、81-82頁、92頁)（ペアワーク） 復習：レッスン13,14の課題再考</p> <p>【第8回】 予習：レッスン15の音声を聴くこと、課題 授業：食べ物の材料の語彙、不定冠詞と部分冠詞の種類・用法・否定形、acheter 動詞(72-73頁)（ペアワーク） 復習：食べ物の材料の語彙と avoir 動詞、不定冠詞・部分冠詞の復習</p> <p>【第9回】 予習：レッスン15の音声を聴くこと 授業：数字(91-100)、faire 動詞の活用と用法、メモを取る、聞き取り・発話練習(74-75頁)（ペアワーク） 復習：数字、対話練習</p> <p>【第10回】 予習：レッスン15の音声を聴くこと 授業：否定文・和文仏訳の練習、基礎的な日常表現(75-76頁)（ペアワーク） 復習：否定形と食べ物の材料語彙の確認</p> <p>【第11回】 予習：Leçon13,14,15の音声を聴くこと 授業：Leçon13,14,15の作成、前期の復習(95頁)（ペアワーク） 復習：1年次からの授業内容の復習</p> <p>【第12回】 予習：1年次からの授業内容の復習、動詞活用の確認</p>			

授業 : 1 年次からの授業内容の復習、「動詞活用表」の確認 (97 頁～) (プリント) (ペアワーク)
 復習 : 動詞活用の復習
 【第 13 回】
 予習 : 近い未来・近い過去の用法について調べておく
 授業 : 近い未来・近い過去の用法と練習、前置詞と定冠詞の縮約と練習 (プリント) (ペアワーク)
 復習 : 近い未来・近い過去の練習、前置詞と定冠詞の縮約練習
 【第 14 回】
 予習 : 形容詞と副詞の比較級と最上級について調べておく
 授業 : 形容詞と副詞の比較級と最上級 (プリント) (ペアワーク)
 復習 : 形容詞と副詞の比較級と最上級の練習
 【第 15 回】
 予習 : 後期授業の復習
 授業 : 2 年次授業内容・重要事項の確認
 復習 : 2 年次授業内容再考

授業開始前学習	前回の学習事項の復習と、次回の学習事項の予習をすること。							
授業内課題の フィードバックの方法	課題・レポート等提出後、内容を再考させ、各人の弱点を把握させ、確実な学習事項の習得へと導く。							
テキスト・教材	Petites Conversations(プティットウ コンヴェルサシオン) (駿河台出版社)							
参考書	適宜、授業内で資料を配布する。							
評価の基準と方法	配点：提出課題・小テスト・レポート 80 点、平常点 20 点							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目	海外観光資源研究 A (ヨーロッパ 1) 文化交流論 A(日本とヨーロッパ) 言葉と心理 観光のフランス語							
その他	注意事項： 3 回の遅刻で 1 回欠席とみなす 予習・復習を怠らないこと 必ず、【仏和辞典を】持参すること							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	ドイツ語 I		
科目分類	100-130-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	German I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	山中 慎太郎	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	山中 慎太郎	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	主にドイツ語未習者を対象に、ドイツ語文法の基礎内容を学習し、ドイツ語圏の歴史や文物などを通じてドイツ語に対する理解をひらくことができるような授業を実施する。具体的な文法事項としては、アルファベットの読み方から発音の確認をはじめ、簡単な挨拶の表現を経て、ドイツ語学習の基本である人称代名詞、動詞の現在形の活用、ドイツ語の語順、冠詞のつかいかたとその活用の習得までを予定している。この授業は秋学期の「ドイツ語 II」、またさらにその先の授業へと続いていくため、丁寧に内容を反復することで、学生の理解の徹底、授業内容の定着を確実にすることを目標とした。また、各授業ごとに小テストや易しい文章の読解、作文などを盛り込むことで、ドイツ語の運用能力をバランスよく鍛え、文学作品や映画、ネットメディアなどで実際に用いられる表現などを取り上げることでドイツ語文化圏に対する学生の関心をより高めることを重要なことと考えている。		
到達目標	ドイツ語学習の基礎となる、人称代名詞の変化、動詞の現在形の活用、冠詞のつかいかたと活用について、それぞれの項目を覚え、自ら説明し、それを簡単な文章読解や作文の中で用いることができるようになることを最大の目標とする。また簡単な会話で用いられる表現をつかって学生同士で短いコミュニケーションをすることができること、短いインタビュー動画を見聞きし、その内容を理解できるようになることも重要な目標である。その他、身の周りの事物を中心とした単語の暗記や、辞書を正しく用いて単語を調べることができるようになることも大切な目標とした。		
アクティブ・ラーニング型授業	無		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第 1 回】 予習：シラバスのチェック 授業：ガイダンスとして授業計画の説明を行う。 ドイツ語について、その文化的な側面を中心に概観する。 復習：テキストの確認と授業計画の確認</p> <p>【第 2 回】 予習：テキスト p.1～9 を読んでおく。 授業：アルファベット、単語の発音の確認。ドイツ語文化圏の国々と数字の表現。よく使う挨拶の習得。 復習：アルファベットの読み方の確認、挨拶の表現を練習し、使えるようにする。</p> <p>【第 3 回】 予習：テキスト p.10～11 を読んでおく。 授業：前回の復習 + Lektion1.人称代名詞と現在人称変化 復習：変化表の確認。問題のやり直しをする。</p> <p>【第 4 回】 予習：テキスト p.12～13 を読んでおく。 授業：前回の復習 + Lektion1.sein 動詞と haben 動詞の現在人称変化。ドイツ語の語順 復習：変化表の確認。国名など単語の復習。</p> <p>【第 5 回】 予習：テキスト p.1～13 の既習事項の確認。 授業：前回の復習 + 小テスト(Lektion1)、Lektion2.名詞の性と冠詞、格変化 復習：変化表の確認。単語の復習。テストの確認。</p> <p>【第 6 回】 予習：テキスト p.16～18 を読んでおく。 授業：前回の復習 + Lektion2.疑問代名詞 was と wer。並列の接続詞。 復習：動詞の活用と冠詞の活用の区別、それぞれの変化を覚える。</p> <p>【第 7 回】 予習：テキスト p.20～21、24 を読んでおく。 授業：前回の復習 + Lektion2.職業についての対話 Was sind Sie von Beruf? + Lektion3.不規則変化動詞の現在人称変化 復習：単語の復習。新しく習った活用の練習。</p> <p>【第 8 回】 予習：テキスト p.24～26 の問題演習と内容確認。 授業：前回の復習 + Lektion3. 不規則変化動詞の現在人称変化、人称代名詞の 3 格と 4 格、非人称の es 復習：作文練習と穴埋め問題による活用、語順の確認。</p> <p>【第 9 回】 予習：テキスト p.26～29 の問題演習と内容確認。 授業：前回の復習 + 小テスト(Lektion2、3) Lektion3. 対話文 Was ist eigentlich dein Hobby? 復習：対話文中の単語と表現の確認。</p> <p>【第 10 回】 予習：テキスト p.30～32 の内容確認。 授業：前回の復習 + Lektion4. 名詞の複数形、冠詞類 復習：作文練習と穴埋め問題による活用の確認。</p>			

<p>【第11回】 予習：テキスト p.31~33 の内容確認。 授業：前回の復習 + Lektion4. 冠詞類、kein と nicht、否定疑問文 復習：作文練習と穴埋め問題による活用の確認。</p> <p>【第12回】 予習：テキスト p.34~35 の内容確認。 授業：前回の復習 + Lektion4. 対話文の読解。数字の言い方。 復習：新しい表現の練習。数字の言い方の練習。</p> <p>【第13回】 予習：テキスト p.30~35、38 の内容確認。 授業：前回の復習 + 小テスト(Lektion4)、Lektion5. 前置詞のつかいかた 復習：テストのやり直し。前置詞の種類を確認する。</p> <p>【第14回】 予習：テキスト p.38~40 の内容確認。 授業：前回の復習 + Lektion5. 前置詞と慣用表現 復習：作文練習と穴埋め問題による活用の確認。</p> <p>【第15回】 予習：これまで扱った内容の確認。 授業：前回の復習 + 単語の暗記テスト。動詞の活用の確認。冠詞の活用の確認 復習：それぞれの文法項目の暗記事項の確認と表現の練習。</p>								
授業開始前学習	適宜、ドイツ語文学作品の翻訳作品を読むことやドイツ語の映画を観ること、それに準ずるような歴史学や社会学、文化学的なドイツについての書籍を読むことでドイツ語文化圏についての知識を少しでも身につけられるような取り組みをしてください。							
授業内課題のフィードバックの方法	各授業ごとに作文や読解の実践練習をおこない、その中で必要な内容を共有できるようにします。また定期的に小テストを行い、既習事項の中で定着していない項目や理解が追いついていないと思われる点に関しては補足していきます。							
テキスト・教材	小野寿美子ほか『アー・ツェット 楽しく学ぶドイツ語』(朝日出版社)							
参考書	『クラウン独和辞典第5版』(三省堂) 参考図書として上記の辞書を挙げておきますが、必ずしもこの辞書である必要はありません。(例えば『アクセス独和辞典第4版』(三修社)なども可。)ただ、紙のもの、電子のものを問いませんが、必ず独和辞典を用意してください。 また、その他の参考図書については適宜授業内で説明します。							
評価の基準と方法	授業での発言や課題への取り組みを含めた平常点 50% + 期末試験 50%を総合的に評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目								
その他								
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	ドイツ語Ⅱ		
科目分類	100-130-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	German II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	岡野 史	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	岡野 史	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	ドイツ語Ⅰでの学習内容を復習しつつ、基礎文法についてさらに学習を進める。文法事項や単語などを繰り返し確認することで、初級ドイツ語の知識の定着を目指していく。前置詞・語法の助動詞・未来形・不定代名詞などの文法事項を新たに学び、ドイツ語の表現の幅を広げていく。また同時に、様々な資料を通してドイツ語圏の文化に対する理解を深める。動画や音声などを利用した学習により、ドイツ語の音に親しみ、自然なドイツ語の表現を学んでいく。		
到達目標	ドイツ語の初級文法を理解し、ドイツ語でさらに幅広い表現ができるようになる。ドイツ語の音に慣れ親しむことで、簡単な会話を聞き取り、さらにそれに答えることができるようになる。またドイツ語圏についての知識を得ることで、言葉だけでなくドイツ文化の理解も深める。		
アクティブ・ラーニング 型授業	無		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：シラバスの内容を確認。ドイツ語Ⅰでの既習事項について、復習と確認をすること。 授業：ガイダンス・Lektion 4 までの復習と確認。 復習：授業計画の内容確認。Lektion 4 までの範囲で不明点があるか確認。</p> <p>【第2回】 予習：Lektion 4 までの復習と確認。前回の授業での配布資料を確認。 授業：Lektion 4 までの復習と確認、発音の確認 復習：Lektion 4 までの範囲で不明点の再チェック。</p> <p>【第3回】 予習：テキスト p.38「前置詞の格支配」の予習。 授業：Lektion 5：前置詞の格支配 復習：テキスト p.38-39 の文法事項の確認をすること。配布資料の確認。</p> <p>【第4回】 予習：テキスト p.40「前置詞と定冠詞の融合形」の予習。 授業：Lektion 5：前置詞と定冠詞の融合形、前置詞の練習 復習：テキスト p.40-41 の文法事項と単語を確認すること。配布資料の確認。</p> <p>【第5回】 予習：テキスト p.42-43 単語の意味を調べておく。 授業：Lektion 5：どう行けばいいですか？、p.82「Mozartstadt」 復習：テキスト p.42-43, p.82 の表現と単語の確認、確認テストの準備。</p> <p>【第6回】 予習：テキスト p.44「語法の助動詞、未来形」の予習。 授業：確認テスト（Lektion5）、Lektion 6：語法の助動詞、未来形 復習：テキスト p.44-45 の文法事項と単語の確認をすること。配布資料の確認。</p> <p>【第7回】 予習：テキスト p.46「従属の接続詞と副文、時刻の表現、不定代名詞 man」の予習。 授業：Lektion 6：従属の接続詞と副文、時刻の表現、不定代名詞 man 復習：テキスト p.46-47 の文法事項と単語の確認をすること。配布資料の確認。</p> <p>【第8回】 予習：テキスト p.48-49 単語の性と意味を確認しておく。 授業：Lektion 6：ノイシュヴァンシュタイン城を見たい、p.82「Schloss Neuschwanstein」 復習：テキスト p.48-49, p.82 の表現と単語の確認、確認テストの準備。</p> <p>【第9回】 予習：テキスト p.52「形容詞の格変化」の予習。 授業：確認テスト（Lektion6）、Lektion7：形容詞の格変化 復習：テキスト p.52-53 の文法事項と単語の確認をすること。配布資料の確認。</p> <p>【第10回】 予習：テキスト p.54「形容詞・副詞の比較」の予習。 授業：Lektion 7：形容詞・副詞の比較 復習：テキスト p.54-55 の文法事項と単語の確認をすること。配布資料の確認。</p> <p>【第11回】 予習：テキスト p.56-57 の単語の性と意味を確認しておく。 授業：Lektion 7：レストランでの料理の注文、p.83「Restaurants in Deutschland」 復習：テキスト p.56-57, p.83 の表現と単語の確認、確認テストの準備。</p>			

<p>【第12回】 予習：テキスト p.58「分離動詞、非分離動詞」の予習。 授業：確認テスト（Lektion7）、Lektion8：分離動詞、非分離動詞 復習：テキスト p.58-59 の文法事項と単語の確認をすること。配布資料の確認。</p> <p>【第13回】 予習：テキスト p.60「zu 不定詞・zu 不定詞句」の予習。 授業：Lektion8 :zu 不定詞・zu 不定詞句 復習：テキスト p.60-61 の文法事項と単語の確認をすること。配布資料の確認。</p> <p>【第14回】 予習：テキスト p.62-63 単語の性と意味を確認しておく。 授業：Lektion 8 :週末の予定は？、p.83.「Oktoberfest」 復習：テキスト p.62-63, p.83 の表現と単語の確認。Lektion8 まで全体の復習。</p> <p>【第15回】 予習：ドイツ語 II で扱った内容について、不明点がないか確認。全体の復習。 授業：Lektion8 について理解度の確認、ドイツ語 II で扱った内容の確認 復習：Lektion5-8 の内容を確認、これまでの配布資料の確認。</p>								
授業開始前学習	ドイツ語 I で学習した内容を確認しておくこと。 またドイツ文学、映画、音楽などにふれ、ドイツ語文化圏への理解を深めておくこと。							
授業内課題の フィードバックの方法	一つの課が終わるごとに確認テストを行う。次週までに返却し、解説を行う。							
テキスト・教材	小野寿美子ほか『アー・ツェット 楽しく学ぶドイツ語』(朝日出版社)							
参考書	授業内で適宜紹介 独和辞典を持参すること（紙、電子など媒体は問わず）							
評価の基準と方法	平常点（授業内での課題への取り組み、確認テスト）50%、期末試験 50%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目	観光のドイツ語							
その他								
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	ドイツ語Ⅲ		
科目分類	100-130-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	GermanⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	山中 慎太郎	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	山中 慎太郎	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	<p>「ドイツ語Ⅰ、Ⅱ」の受講を経た学生を対象に更なる文法学習を進め、ドイツ語圏の歴史や文物などを通じてドイツ語に対する理解をひらくことができるような授業を実施する。「ドイツ語Ⅰ、Ⅱ」の授業における既習内容の復習から始め、さらに発展的な文法内容を確認し、各授業ごとに小テストや易しい文章の読解、作文などを盛り込むことで、ドイツ語の運用能力をバランスよく鍛え、文学作品や映画、ネットメディアなどで実際に用いられる表現などを取り上げることでドイツ語文化圏に対する学生の関心をより一層高めることを目標とする。また学習した内容を用いて会話の練習をしたり、動画教材による聞き取り練習などを取り入れることで、学習内容の定着と、その具体的な活用の機会を設けることに留意したい。理解の確認を丁寧に行うべく、適宜小テストを実施する予定なのでぜひ学習内容の確認の機会として活用してほしい。</p>		
到達目標	<p>不定詞をはじめ、分離動詞、現在完了形、関係詞などドイツ語の特徴的な文法事項を取り扱うことになるので、それらを用いて適切な作文をし、会話のコミュニケーションの中で活用できるようになること、既習内容を用いて「自分のこと」や「自分のまわりのこと」について表現することができるようになることを重要な目標としたい。またやや長めの、未習単語の含まれているような文章を、辞書を正しく活用しつつ、構文や活用に留意して読み解くことができるようになることも達成すべき大切な目標である。</p>		
アクティブ・ラーニング型授業	無		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：シラバスのチェック 授業：ガイダンスとして授業計画の説明を行う。 既習内容の進行と定着の確認。 復習：テキストの確認と授業計画の確認</p> <p>【第2回】 予習：テキスト p.1～11 を読んでおく。 授業：アルファベット、単語の発音、よく使う挨拶などの既習内容確認。Lektion1. 動詞の現在人称変化の確認。 復習：アルファベットの読み方の確認、挨拶の表現、動詞の現在人称変化の練習。</p> <p>【第3回】 予習：テキスト p.10～25 を復習しておく。 授業：前回の復習 + Lektion2. 名詞の性と冠詞、格変化 + Lektion3. 不規則動詞の現在人称変化 復習：変化表の確認。問題のやり直しをする。</p> <p>【第4回】 予習：テキスト p.26～39 を読んでおく。 授業：前回の復習 + Lektion3. 命令形、語順 + Lektion4. 冠詞と語順の確認 + Lektion5. 前置詞の種類と活用 復習：変化表の確認。作文問題練習</p> <p>【第5回】 予習：テキスト p.38～45 の確認。 授業：前回の復習 + Lektion5. 前置詞の種類と活用 + Lektion6. 話法の助動詞、未来形 復習：変化表の確認。単語の復習。テストの確認。</p> <p>【第6回】 予習：テキスト p.46～54 の確認。 授業：前回の復習 + Lektion7. 形容詞の活用、比較の文 + Lektion8. 分離動詞と非分離動詞 復習：形容詞の活用表の暗記。分離動詞の作文練習。</p> <p>【第7回】 予習：テキスト p.60～61 の確認。 授業：前回の復習 + Lektion8. zu 不定詞のつかいかた + 文章読解練習 復習：単語の復習。zu 不定詞の作文練習。</p> <p>【第8回】 予習：テキスト p.1～61 の問題演習と内容確認。 授業：前回の復習 + 小テスト(Lektion1～8) + 文章読解練習 復習：文章読解の確認。作文練習。</p> <p>【第9回】 予習：テキスト p.66～69 の問題演習と内容確認。 授業：前回の復習 + Lektion9. 動詞の3基本形、現在完了形 復習：対話文中の単語と表現の確認。</p> <p>【第10回】 予習：テキスト p.66～69 の内容確認。 授業：前回の復習 + 小テスト(Lektion9)、文章読解練習 復習：テストのやり直し。読解文の表現確認。</p>			

<p>【第11回】 予習：テキスト p.72~73 の内容確認。 授業：前回の復習 + Lektion10. 過去形のつくりかた 復習：作文練習と穴埋め問題による活用の確認。</p> <p>【第12回】 予習：テキスト p.72~76 の内容確認。 授業：前回の復習 + Lektion10. 過去形の練習、再帰代名詞のつかいかた。対話文の読解。 復習：過去形の不規則変化の暗記。問題演習。</p> <p>【第13回】 予習：テキスト p.94 の内容確認。 授業：前回の復習 + 小テスト(Lektion10) + 関係代名詞のつかいかた(テキスト p.94) 復習：練習問題のプリントを用いて関係代名詞を理解する。</p> <p>【第14回】 予習：テキスト p.94~95 の内容確認。 授業：前回の復習 + 関係代名詞と関係副詞 復習：作文練習と読解練習による関係詞の確認。</p> <p>【第15回】 予習：これまで扱った内容の確認。 授業：前回の復習 + 不規則変化動詞の確認。現在完了形と関係詞の確認。 復習：それぞれの文法項目の暗記事項の確認と表現の練習。</p>								
授業開始前学習	「ドイツ語 I、II」の既習事項の復習をしてください。 また適宜、ドイツ語文学作品の翻訳作品を読むことやドイツ語の映画を観ること、それに準ずるような歴史学や社会学、文化学的なドイツについての書籍を読むことでドイツ語文化圏についての知識を少しでも身につけられるような取り組みをしてください。							
授業内課題のフィードバックの方法	各授業ごとに作文や読解の実践練習をおこない、その中で必要な内容を共有できるようにします。また定期的に小テストを行い、既習事項の中で定着していない項目や理解が追いついていないと思われる点に関しては補足していきます。							
テキスト・教材	小野寿美子ほか『アー・ツェット 楽しく学ぶドイツ語』(朝日出版社)							
参考書	『クラウン独和辞典第5版』(三省堂) 参考図書として上記の辞書を挙げておきますが、必ずこの辞書である必要はありません。(例えば『アクセス独和辞典第4版』(三修社)なども可。)ただ、紙のもの電子のものを問いませんが、必ず独和辞典を用意してください。 また、その他の参考図書については適宜授業内で説明します。							
評価の基準と方法	授業での発言や課題への取り組みを含めた平常点 50% + 期末試験 50%を総合的に評価する。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目								
その他								
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	ドイツ語Ⅳ		
科目分類	100-130-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	GermanⅣ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	岡野 史	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	岡野 史	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	ドイツ語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲでの学習内容を復習しつつ、基礎文法についてさらに学習を進める。文法事項や単語などを繰り返し確認することで、初級ドイツ語の知識の定着を目指していく。時制や関係代名詞についての全体的な確認と受動態・仮定法などの文法事項を新たに学び、ドイツ語の表現の幅を広げていく。また同時に、様々な資料を通してドイツ語圏の文化に対する理解を深める。ドイツ語で書かれた文章に多く触れることで、初級ドイツ語文法の総括的な習得を目指す。		
到達目標	ドイツ語の基礎的な文法事項についての習得を一通り完了させる。過去や未来・もしもの話など、表現できるドイツ語の幅を広げる。これまで学んだ基礎知識を用いることで、多少複雑なドイツ語でも読解が可能になる。さらに映像や音声を通じ、ドイツ語圏についての様々な知識を得ることで、言葉だけでなくドイツ文化の理解も深める。		
アクティブ・ラーニング型授業	無		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：シラバスの内容を確認。ドイツ語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲでの既習事項について復習。 授業：ガイダンス・既習の文法事項について確認 復習：授業計画の内容確認。Lektion 10 までの範囲で不明点があるか確認。</p> <p>【第2回】 予習：Lektion 9 までの復習と確認。前回の授業での配布資料を確認。 授業：Lektion 9 の復習と確認、「動詞の3基本形と現在完了」 復習：Lektion 9 までの範囲で不明点の再チェック。配布資料の確認。</p> <p>【第3回】 予習：Lektion 10 の復習と確認。前回の授業での配布資料を確認。 授業：Lektion 10 の復習と確認、「過去形、再帰代名詞と再帰動詞」 復習：Lektion 10 までの範囲で不明点の再チェック。配布資料の確認。</p> <p>【第4回】 予習：Lektion 9・10 の復習と確認。前回の授業での配布資料を確認。 授業：これまでの動詞の時制の総復習 復習：Lektion 9・10 の文法事項の確認。配布資料の確認。確認テストの準備。</p> <p>【第5回】 予習：これまでに学んだ動詞の時制について復習。 授業：確認テスト（動詞の時制）。名詞の性についての確認 復習：テキスト p.88-89「名詞の性の見分け方」、配布資料の確認。</p> <p>【第6回】 予習：テキスト p.95「受動形（1）動作受動」の予習。 授業：受動形の基本的用法 復習：テキスト p.95「受動形（1）動作受動」の文法事項の確認をすること。配布資料の確認。</p> <p>【第7回】 予習：テキスト p.96「受動形（2）状態受動（3）自動詞の受動」の予習。 授業：状態受動、自動詞の受動について 復習：テキスト p.96「受動形（2）状態受動（3）自動詞の受動」の文法事項の確認をすること。配布資料の確認。</p> <p>【第8回】 予習：前2回の授業で扱った受動形について復習。 授業：その他の受動形、受動形の使い分け 復習：テキスト p.95-96 の文法事項、配布資料の確認。確認テストの準備。</p> <p>【第9回】 予習：これまでに学んだ受動形について復習。 授業：確認テスト（受動形）、形容詞の格変化の確認 復習：形容詞の格変化について確認。配布資料の確認。</p> <p>【第10回】 予習：テキスト p.96「分詞」の予習。 授業：現在分詞、過去分詞 復習：テキスト p.96 の文法事項の確認をすること。配布資料の確認。</p> <p>【第11回】 予習：テキスト p.97-99「接続法」の予習。 授業：接続法の用法、時制 復習：テキスト p.97-99 の文法事項の確認をすること。配布資料の確認。</p>			

<p>【第12回】 予習：テキスト p.97-99「接続法」の予習。前回配布資料の確認。 授業：接続法第一式（要求話法、間接話法） 復習：テキスト p.97-99 の文法事項の確認をすること。配布資料の確認。</p> <p>【第13回】 予習：テキスト p.97-99「接続法」の予習。前回配布資料の確認。 授業：接続法第二式（仮定法） 復習：テキスト p.97-99 の文法事項の確認をすること。配布資料の確認。</p> <p>【第14回】 予習：前3回の授業で扱った接続法について復習。 授業：接続法についての確認、接続法のヴァリエーション 復習：テキスト p.98-99 の文法事項、配布資料の確認。確認テストの準備。</p> <p>【第15回】 予習：これまで学んだ接続法について復習。 授業：確認テスト（接続法）、自己採点と解説 復習：Lektion1-10の内容を確認、「受動態」「接続法」を中心にテキストとこれまでの配布資料の確認。</p>								
授業開始前学習	ドイツ語 I・II・III で学習した内容を確認しておくこと。 またドイツ文学、映画、音楽などにふれ、ドイツ語文化圏への理解を深めておくこと。							
授業内課題の フィードバックの方法	一つの課が終わるごとに確認テストを行う。次週までに返却し、解説を行う。最後の接続法については、同授業時間内での答え合わせと解説を行う予定。							
テキスト・教材	小野寿美子ほか『アー・ツェット 楽しく学ぶドイツ語』(朝日出版社)							
参考書	授業内で適宜紹介 独和辞典を持参すること（紙、電子など媒体は問わず）							
評価の基準と方法	平常点（授業内での課題への取り組み、確認テスト）50%、期末試験 50%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目	観光のドイツ語							
その他								
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	スペイン語 I		
科目分類	100-130-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Spanish I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	木下 令子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	木下 令子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	<p>スペイン語は約 4 億人の人々が話す世界で最も使用人口が多い言語の一つです。20 か国に及ぶスペイン語圏の人々の文化は多様性に富み、魅力にあふれています。この授業はスペイン語の読み・書き・会話の基本的な力をつけることをテーマとします。今期はまずスペイン語の発音に親しみ、男性名詞・女性名詞、形容詞、動詞 ser と estar の用法などの基本的な文法事項を学びます。同時に、日常生活を題材とした会話表現を練習することにより、コミュニケーション能力を養います。</p>		
到達目標	<p>スペイン語の音声に慣れることがまず第一の目標です。次に文法の 2 つの柱、名詞と動詞の特徴を理解して身につけます。名詞には男性名詞・女性名詞、単数・複数があること、それによって形の変化する要素があること。動詞には主語によって形を変える活用があること。この 2 つを理解し、何回も声に出して言うことで自然に身につけていきましょう。会話では、簡単な挨拶ができ、基本的な単語を使って食べ物・飲み物を注文したり、自己紹介ができるようになることを目標とします。</p>		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第 1 回】 予習：シラバスと教科書 pp. i-iv.を読む。スペイン語がどの国で話されているか調べてみる。 授業：授業の概要、スペイン語の説明。アルファベット。（課題解決型学習） 復習：CD2 を聴きながらアルファベットを復習する。</p> <p>【第 2 回】 予習：教科書 pp. 1~2 を読む。 授業：発音の手引き。単語の発音練習。（課題解決型学習） 復習：CD3~4 を聴きながら教科書 pp. 1~2 を復習する。</p> <p>【第 3 回】 予習：教科書 p. 3 を読む。 授業：あいさつ。発音練習。数の 1~10。（ペア・ワーク） 復習：CD5~6 を聞きながら教科書 p. 3 を復習する。小テストのために 1~10 のスペルを覚える。</p> <p>【第 4 回】 予習：1 課。教科書 p. 4 を読む。 授業：数 1~10 のスペルのテスト。男性名詞と女性名詞。名詞の複数形。定冠詞と不定冠詞。（課題解決型学習） 復習：教科書 p. 4 の単語を音読し、意味を覚える。</p> <p>【第 5 回】 予習：1 課。教科書 p. 5 を読む。単語の意味を調べる。 授業：p. 4 の単語テスト。形容詞。Ejercicios。（課題解決型学習） 復習：冠詞・形容詞の名詞との一致を復習する。p. 5 を音読して意味を確認する。</p> <p>【第 6 回】 予習：1 課。教科書 p.6 を読む。単語の意味を調べる。 授業：Expresiones clave. 「カフェオレをお願いします」「ワインをお願いします」「少しお待ちください」 (ペア・ワーク) 復習：Expresiones clave を暗記する。会話表現を繰り返し練習し、意味を確認する。CD7~10 を聴く。</p> <p>【第 7 回】 予習：1 課。p. 7 を読む。単語の意味を調べる。 授業：Vamos a practicar. 「夕バス」飲み物や食べものを注文する。（ペア・ワーク） 復習：小テストのために 1 課を復習する。CD11, 12 を聴く。</p> <p>【第 8 回】 予習：2 課。教科書 p. 8 を読む。単語の意味を調べる。 授業：1 課の小テスト。主語の人称代名詞。動詞 ser の活用と用法。否定文。疑問文。（課題解決型学習） 復習：主語の人称代名詞と ser の活用を繰り返し練習して暗記する。</p> <p>【第 9 回】 予習：2 課。教科書 p. 9 を読む。単語の意味を調べる。 授業：動詞 ser 活用のテスト。指示詞。Ejercicios。（課題解決型学習） 復習：p.9 を音読して意味を確認する。</p> <p>【第 10 回】 予習：2 課。教科書 p. 10 を読む。単語の意味を調べる。 授業：Expresiones clave. 「やあ、みんな!」「どうぞよろしく」「それは何ですか?」(ペア・ワーク) 復習：Expresiones clave を暗記する。会話表現を繰り返し練習し、意味を確認する。CD13~16 を聴く。</p> <p>【第 11 回】 予習：2 課。教科書 p. 11 を読む。単語の意味を調べる。 授業：Vamos a practicar. 自己紹介、他己紹介。国籍や出身について質問し合う。（ペア・ワーク） 復習：小テストのために 2 課を復習する。CD17, 18 を聴く。</p> <p>【第 12 回】</p>			

予習 : 3 課。教科書 p. 12 を読む。単語の意味を調べる。
 授業 : 2 課の小テスト。動詞 estar の活用と用法。所有形容詞。疑問詞。(課題解決型学習)
 復習 : estar の活用、所有形容詞を繰り返し練習して暗記する。
 【第 13 回】
 予習 : 3 課。教科書 p. 13 を読む。単語の意味を調べる。
 授業 : 動詞 estar の活用テスト。Ejercicios。(課題解決型学習)
 復習 : 疑問詞を用いた例文を暗記する。p. 13 を音読して意味を確認する。
 【第 14 回】
 予習 : 3 課。教科書 p. 14 を読む。単語の意味を調べる。
 授業 : Expresiones clave. 「とてもおいしいです」「これは私のです」(ペア・ワーク)
 復習 : Expresiones clave を暗記する。会話表現を繰り返し練習し、意味を確認する。CD19, 21,22 を聴く。
 【第 15 回】
 予習 : 教科書 pp. 1~14 を見直す。
 授業 : プリントを配布し、第 1 回~第 14 回の授業内容を復習する。(課題解決型学習)
 復習 : 定期試験のために、プリントと教科書 pp. 1~14 を復習する。

授業開始前学習	テレビやラジオのスペイン語講座を視聴してみてください。							
授業内課題の フィードバックの方法	小テストを実施し、翌週返却し、合格点に達していない学生は再提出します。							
テキスト・教材	加藤ナツ子、木下令子、吉川恵美子著『スペイン語を話しますか?』大学書林							
参考書	『プログレッシブ スペイン語辞典』小学館 『パスポート 初級スペイン語辞典』白水社							
評価の基準と方法	平常点(毎回の授業参加態度、課題、小テストなど) 40%、定期試験 60%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目								
その他	授業では随時ビデオ、音楽 CD、インターネットサイトなどで、スペイン語圏の生活や文化を紹介します。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	スペイン語Ⅱ		
科目分類	100-130-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	SpanishⅡ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	木下 令子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	木下 令子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	この授業はスペイン語Ⅰを終了した人を対象とし、文法の基礎を理解し、読み・書き・会話の基本的な力をさらにつけることをテーマとします。今期は規則動詞・不規則動詞の活用と用法を中心に、目的語の代名詞、前置詞の用法などを理解し、身につけます。同時に、日常生活を題材とした会話表現を練習することにより、コミュニケーション能力をさらに養います。		
到達目標	文法では3種類の規則動詞と、よく使われる語幹母音変化動詞の活用と用法を身につけることが第一の到達目標です。もう一つの到達目標は、スペイン語の理解に大切な目的語の代名詞の使い方を理解することです。会話ではそれらを使って自分の日常生活について話し、依頼したり許可を求めたりする表現が使えるようになることを目指します。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：教科書 p. 13 までの復習。 授業：スペイン語Ⅰで学んだ教科書 p. 13 までを復習する。 復習：動詞 ser と estar の活用と用法を復習する。</p> <p>【第2回】 予習：教科書 p. 15 を読む。単語の意味を調べる。 授業：「観光案内所はこのあたりにありますか?」Vamos a practicar. (ペア・ワーク) 復習：小テストのために「施設」「位置の表現」を覚える。CD23, 24 を聴く。</p> <p>【第3回】 予習：4 課。教科書 p. 16 を読む。単語の意味を調べる。 授業：3 課の小テスト。規則動詞-ar 動詞, -er 動詞, -ir 動詞の活用。(課題解決型学習) 復習：3 種類の規則動詞の活用を繰り返し練習して暗記する。</p> <p>【第4回】 予習：4 課。教科書 pp. 16~17 を読む。単語の意味を調べる。 授業：規則動詞-ar 動詞, -er 動詞, -ir 動詞の用法。目的語と前置詞 a。疑問詞(2) (課題解決型学習) 復習：規則動詞の活用を復習し、単語の意味と例文を暗記する。</p> <p>【第5回】 予習：4 課。教科書 p. 17。単語の意味を調べる。 授業：Ejercicios。(課題解決型学習) 復習：p. 17 を音読して意味を確認する。</p> <p>【第6回】 予習：4 課。教科書 p. 18。単語の意味を調べる。 授業：Expresiones clave。「何語を話しますか?」「学生?それとも働いているの?」(ペア・ワーク) 復習：Expresiones clave を暗記する。会話表現を繰り返し練習し、意味を確認する。CD25~27 を聴く。</p> <p>【第7回】 予習：4 課。教科書 pp. 18~19。単語の意味を調べる。 授業：「日本では何を食べますか?」「千葉に住んでいます」Vamos a practicar. 「時刻」(ペア・ワーク) 復習：会話表現を繰り返し練習し、意味を確認する。CD28~30 を聴く。</p> <p>【第8回】 予習：4 課。教科書 p.19。単語の意味を調べる。 授業：Vamos a practicar. 規則動詞、疑問詞を使って会話練習をする。(ペア・ワーク) 復習：会話表現を繰り返し練習し、意味を確認する。小テストのために4 課を復習する。</p> <p>【第9回】 予習：5 課。教科書 p.20(1)。単語の意味を調べる。 授業：語幹母音変化動詞の活用と用法。(課題解決型学習) 復習：語幹母音変化動詞の活用を繰り返し練習し、意味と例文を暗記する。</p> <p>【第10回】 予習：5 課。教科書 p.20(2)~p. 21(3)。単語の意味を調べる。 授業：直接目的語の人称代名詞「~を」。主な前置詞。(課題解決型学習) 復習：授業で学んだ項目を復習し、例文を暗記する。</p> <p>【第11回】 予習：5 課。教科書 p. 21(4)と Ejercicios。単語の意味を調べる。 授業：前置詞後の人称代名詞。Ejercicios。(課題解決型学習) 復習：p. 21 を音読して意味を確認する。</p> <p>【第12回】 予習：5 課。教科書 p. 22。単語の意味を調べる。 復習：Expresiones clave。「今日の試合は何時から?」「買い物につきあってくれない?」(ペア・ワーク) 復習：Expresiones clave を暗記する。会話文を繰り返し読み、意味を確認する。CD31~33 を聴く。</p>			

<p>【第13回】 予習 : 5 課。教科書 pp. 22~23。単語の意味を調べる。 授業 : 「お手伝いしましょうか?」Vamos a practicar. 要求、依頼、許可を求める会話を練習する。(ペア・ワーク) 復習 : 会話表現を繰り返し練習し、意味を確認する。CD34 を聴く。</p> <p>【第14回】 予習 : 5 課。教科書 p. 23。単語の意味を調べる。 授業 : Vamos a practicar. 買い物での会話での会話を練習する。(ペア・ワーク) 復習 : 会話表現を繰り返し練習し、意味を確認する。CD35 を聴く。</p> <p>【第15回】 予習 : 教科書 pp. 14~23 を見直す。 授業 : 第1回~第14回の授業内容を復習する。(課題解決型学習) 復習 : 定期試験のために、教科書 pp. 14~23 を復習する。</p>								
授業開始前学習	テレビやラジオのスペイン語講座を視聴してみてください。							
授業内課題のフィードバックの方法	小テストを実施し、翌週返却し、合格点に達していない学生は再提出します。							
テキスト・教材	加藤ナツ子、木下令子、吉川恵美子 『スペイン語を話しますか?』 大学書林							
参考書	『プログレッシブ スペイン語辞典』小学館 『パスポート 初級スペイン語辞典』白水社							
評価の基準と方法	平常点 (毎回の授業参加態度と課題、小テスト) 40%、定期試験 60%。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目								
その他	授業では随時ビデオ、音楽 CD、インターネットサイトなどで、スペイン語圏の生活や文化を紹介します。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	スペイン語Ⅲ		
科目分類	100-130-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	SpanishⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	木下 令子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	木下 令子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	<p>スペイン語は約 4 億人の人々が話す世界で最も使用人口が多い言語の一つです。20 か国に及ぶスペイン語圏の人々の文化は多様性に富み、魅力にあふれています。この授業はスペイン語Ⅱを終了した人を対象とし、スペイン語の読み・書き・会話の基本的な力をさらにつけることをテーマとします。</p> <p>スペイン語Ⅰ・Ⅱで学んだ内容を使いこなすと共に、今期では不規則動詞を学んでさらに多くのことを表現できるようになります。</p>		
到達目標	<p>タイプの異なる不規則動詞の活用に慣れて使えるようになる。</p> <p>また、好みについて話をしたり、2つ以上の事柄を比較できるようになる。</p>		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第 1 回】 予習：教科書 pp.1-26 を読んで、スペイン語Ⅰ・Ⅱの復習をする。 授業：プリントを配布し、スペイン語Ⅰ・Ⅱの内容を復習する。（課題解決型学習） 復習：ser、estar、規則動詞、語幹母音変化動詞、不規則動詞の活用の復習をする。</p> <p>【第 2 回】 予習：テキスト p.26 の 3 授業：間接目的語の人称代名詞「～に」（課題解決型学習） 復習：授業で学んだ例文を復習し、意味を確認する。</p> <p>【第 3 回】 予習：テキスト p.27 Ejercicios の単語を辞書で調べる。 授業：Ejercicios（課題解決型学習） 復習：6 課の文法事項を復習する。</p> <p>【第 4 回】 予習：テキスト p.28 の単語を辞書で調べる。 授業：Ejercicios、Dialogos「ご飯にしよう」「何を作るの?」「車を貸してくれない?」（ペア・ワーク） 復習：授業で学んだ例文や会話文を音読し、意味を確認する。</p> <p>【第 5 回】 予習：テキスト p.29 の単語を辞書で調べる。 授業：Vamos a practicar—tener を使った表現（ペア・ワーク） 復習：小テストのために 6 課を復習する。</p> <p>【第 6 回】 予習：7 課 テキスト p.30 の 1 の活用表 授業：6 課の小テスト、1 人称単数形のみ不規則な動詞（1）hacer, poner, salir（課題解決型学習） 復習：動詞 hacer, poner, salir の意味と活用を覚える。授業で学んだ例文を復習する。</p> <p>【第 7 回】 予習：テキスト p.30 の 2 授業：動詞 gustar の用法（課題解決型学習） 復習：動詞 gustar の例文を復習して、好みを言えるようにする。</p> <p>【第 8 回】 予習：テキスト p.30 の 3 と 4 授業：不定語と否定語（1）、接続詞（1）、Ejercicios（課題解決型学習） 復習：授業で学んだ例文や練習問題を復習する。</p> <p>【第 9 回】 予習：テキスト p.32 の単語を辞書で調べる。 授業：Expresiones clave、Dialogos「明日何をするの?」「ピクニックに行かない?」「トドまでの往復切符 2 枚お願いします」（ペア・ワーク） 復習：授業で学んだ例文や会話文を音読し、意味を確認する。</p> <p>【第 10 回】 予習：テキスト p.33 の単語を辞書で調べる。 授業：Vamos a practicar—天気（ペア・ワーク） 復習：小テストのために 7 課を復習する。</p> <p>【第 11 回】 予習：8 課 テキスト p.34 の 1 授業：7 課の小テスト、1 人称単数形のみ不規則な動詞（2）conocer, saber, dar, ver（課題解決型学習） 復習：conocer, saber, dar, ver の意味と活用を覚える。授業で学んだ例文を復習する。</p> <p>【第 12 回】 予習：テキスト p.34 の 2 と 3 授業：比較級と最上級、不定語と否定語（2）（課題解決型学習） 復習：授業で学んだ例文を復習し、意味を確認する。</p>			

<p>【第13回】 予習 : テキスト pp.35-36 の単語を辞書で調べる。 授業 : Ejercicios, Dialogos 「どこかいいレストラン知ってる?」「いつから彼を知っているの?」「もっと熟したのはありませんか?」 (ペア・ワーク) 復習 : 授業で学んだ例文や会話文を音読し、意味を確認する。</p> <p>【第14回】 予習 : テキスト p.37 の単語を辞書で調べる。 授業 : Vamos a practicar- 8 課の文法事項を使った会話表現。「料理名」「レストランのメニュー」 (ペア・ワーク) 復習 : まとめテストのために 8 課を復習する。</p> <p>【第15回】 予習 : 6 課～8 課を復習しておく。 授業 : プリントを配布し、今期の学習内容を復習する。(課題解決型学習) 復習 : プリントとテキスト pp.23-37 を復習する。</p>								
授業開始前学習	インターネットやテレビ、新聞などのスペインや中南米に関する報道をチェックしよう。 また、自分の興味のある事柄をインターネットで調べてみよう。							
授業内課題の フィードバックの方法	各課終了時に行う小テストについては、返却時に解説を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	加藤ナツ子、木下令子、吉川恵美子著『スペイン語を話しますか?』(大学書林)							
参考書	『プログレッシブスペイン語辞典』小学館 『パスポート 初級スペイン語辞典』白水社							
評価の基準と方法	平常点 (授業参加態度、小テストなど) 40%、定期試験 60%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目								
その他	授業では随時ビデオ、音楽 CD、インターネットサイトなどで、スペイン語圏の生活や文化を紹介します。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	スペイン語Ⅳ		
科目分類	100-130-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	SpanishⅣ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	木下 令子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	木下 令子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	<p>スペイン語は約 4 億人の人々が話す世界で最も使用人口が多い言語の一つです。20 か国に及ぶスペイン語圏の人々の文化は多様性に富み、魅力にあふれています。この授業はスペイン語Ⅲを終了した人を対象とし、さらにスペイン語の読み・書き・話す力を伸ばすことをテーマとします。スペイン語Ⅳでは、再帰動詞や 2 人称の肯定命令を学び、動詞の直説法現在の学習を終了し、過去形の学習に進みます。</p>		
到達目標	<p>再帰動詞を使って日常の行為について話せるようになる。 2 人称の肯定命令を使って親しい人に指示をしたり、お願いができるようになる。 動詞の直説法現在を使って多様な表現ができるようになる。 直接法点過去を使って過去に起こった出来事を伝えることができるようになる。</p>		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第 1 回】 予習：テキスト pp.23-37 を読んで、スペイン語Ⅲの復習をする。 授業：プリントを配布し、スペイン語Ⅲの内容を復習する。（課題解決型学習） 復習：規則動詞、語幹母音変化動詞、不規則動詞の活用を復習する。</p> <p>【第 2 回】 予習：9 課 テキスト p.38 の単語を辞書で調べる。 授業：8 課の小テスト、再帰動詞（1）（課題解決型学習） 復習：再帰動詞の活用を覚える。授業で学んだ例文を復習する。</p> <p>【第 3 回】 予習：再帰動詞の用法の復習。 授業：再帰動詞の使い方(2)（課題解決型学習） 復習：授業で学んだ例文を復習し、意味を確認する。</p> <p>【第 4 回】 予習：テキスト p.38 の 2 と 3 授業：無人称文、受け身（1）（課題解決型学習） 復習：授業で学んだ例文を復習する。</p> <p>【第 5 回】 予習：テキスト p.39 の単語を辞書で調べる。 授業：Ejercicios（課題解決型学習） 復習：9 課の文法事項を復習する。</p> <p>【第 6 回】 予習：テキスト p.40 の単語を辞書で調べる。 授業：Expresiones clave、Dialogos「もう行かなくちゃ」「また会えてうれしいわ」「どこで売っていますか？」 （ペア・ワーク） 復習：授業で学んだ例文や会話文を音読し、意味を確認する。</p> <p>【第 7 回】 予習：テキスト p.41 の単語を辞書で調べる。 授業：Vamos a practicar –再帰動詞を使って 1 日の行動を説明する。「日常の行為」「身体」（ペア・ワーク） 復習：小テストのために 9 課の復習をする。</p> <p>【第 8 回】 予習：10 課 テキスト p.42 の 1 授業：9 課の小テスト、2 人称の肯定命令（課題解決型学習） 復習：授業で学んだ例文を復習する。</p> <p>【第 9 回】 予習：テキスト p.42 の 2 と 3、p.43 授業：現在分詞、進行形、Ejercicios（課題解決型学習） 復習：10 課の文法事項を復習する。</p> <p>【第 10 回】 予習：テキスト p.44 の単語を辞書で調べる。 授業：Expresiones clave、Dialogos「ネットで動画を見えています」「大型台風が接近中」「遅れてごめん」 （ペア・ワーク） 復習：授業で学んだ例文や会話文を音読し、意味を確認しておくこと。</p> <p>【第 11 回】 予習：テキスト p.45 の単語を辞書で調べる。 授業：Vamos a practicar – 2 人称の命令形や現在分詞を使っての会話練習（ペア・ワーク） 復習：小テストのために 10 課の復習をする。</p>			

<p>【第 14 回】 予習：11 課 テキスト p.48 の単語を辞書で調べる。 授業：10 課の小テスト。直説法点過去－規則動詞（課題解決型学習） 復習：規則動詞の点過去形の活用を覚える。授業で学んだ例文を復習する。</p> <p>【第 15 回】 予習：8 課～11 課を復習しておく。 授業：プリントを配布し、今期の学習内容を復習する。（課題解決型学習） 復習：プリントと pp.35-48 を復習する。</p>								
授業開始前学習	インターネットやテレビ、新聞などのスペインや中南米に関する報道をチェックしよう。また、自分の興味のある事柄をインターネットで調べてみよう。							
授業内課題のフィードバックの方法	各課終了時に行う小テストについては、返却時に解説を行い、個別の質問に回答する。							
テキスト・教材	加藤ナツ子、木下令子、吉川恵美子著『スペイン語を話しますか？』大学書林							
参考書	『プログレッシブ スペイン語辞典』小学館 『パスポート 初級スペイン語辞典』白水社							
評価の基準と方法	定期試験 60%、平常点（授業参加態度、小テストなど） 40%							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目								
その他	授業では随時ビデオ、音楽 CD、インターネットサイトなどで、スペイン語圏の生活や文化を紹介します。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	中国語 I		
科目分類	100-130-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Chinese I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	保坂 律子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	保坂 律子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	前期 木曜日 10:30～13:00 木曜日 16:10～16:40 後期 水曜日 10:00～13:00	研究室	10-709
授業概要	隣国中国は歴史的、地理的、文化的に日本と関わりが深い。さらに中国市場の開放や、経済的躍進などによって、中国に対する関心が高まっています。中国語は日本語と同様に漢字で表記されることもあり親しみやすいが、同じ漢字でも意味も発音も全く異なることが少なくないため、誤解を生むことも多々ある。授業では中国語と日本語の相違点なども取り上げながら、中国語の文法ルールを中国語の発想と共に学ぶ。		
到達目標	中国語のピンイン表記の規則を理解し、4つの声調と母音、子音が正しく発音できる。中国語で基本的な挨拶ができる。基本的な文法ルールを身につけ、中国語で簡単な意思疎通ができる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第1回 予習：テキスト8頁～9頁の講読 授業：中国語入門オリエンテーション、中国語の発音表記 復習：テキスト8～9頁の音読</p> <p>第2回 予習：テキスト10頁～12頁の講読 授業：4つの声調、単母音(テキスト10頁～12頁)（ペア・グループワーク） 復習：4つの声調、単母音の発音練習</p> <p>第3回 予習：テキスト13頁～15頁の講読 授業：複母音3タイプ(テキスト13頁～15頁)（ペア・グループワーク） 復習：複母音3タイプの発音練習</p> <p>第4回 予習：テキスト16頁～19頁の講読 授業：子音、無気音と有気音、そり舌音(テキスト16頁～19頁)（ペア・グループワーク） 復習：子音、無気音と有気音、そり舌音の発音練習</p> <p>第5回 予習：テキスト20頁～22頁の講読 授業：鼻音を伴う母音、声調変化の規則(テキスト20頁～22頁)（ペア・グループワーク） 復習：鼻音を伴う母音、声調変化の発音練習</p> <p>第6回 予習：テキスト23頁～25頁の講読 授業：ピンイン表記の規則、数字の読み方(テキスト23頁～25頁)（ペア・グループワーク） 復習：数字の読み方の発音練習</p> <p>第7回 予習：テキスト26頁～29頁の講読 授業：声調の組み合わせ、挨拶言葉(テキスト26頁～29頁)（ペア・グループワーク） 復習：声調の組み合わせ、挨拶言葉の発音練習</p> <p>第8回 予習：テキスト29頁までの復習 授業：中間テストと問題解説 復習：中間テストの解き直し</p> <p>第9回 予習：テキスト30頁～32頁の講読、単語の復習 授業：人称代名詞、動詞述語文(テキスト30頁～32頁) 復習：人称代名詞、動詞述語文のドリル</p> <p>第10回 予習：テキスト33頁～35頁の講読 授業：諸否疑問文、名前の聞き方(テキスト33頁～35頁)（ペア・グループワーク） 復習：諸否疑問文、名前の聞き方のドリル</p> <p>第11回 予習：テキスト36頁～38頁の講読 授業：指示代詞、連体修飾語(テキスト36頁～38頁) 復習：指示代詞、連体修飾語のドリル</p>			

<p>第12回 予習：テキスト39頁～41頁の講読 授業：経験の表し方(テキスト39頁～41頁) 復習：疑問詞疑問文のドリル</p> <p>第13回 予習：テキスト42頁～44頁の講読 授業：モノの数え方、所有の表し方(テキスト42頁～44頁) (ペア・グループワーク) 復習：モノの数え方、所有の表し方のドリル</p> <p>第14回 予習：テキスト45頁～47頁の講読 授業：数、数量のたずね方(テキスト45頁～47頁) (ペア・グループワーク) 復習：数、数量のたずね方のドリル</p> <p>第15回 予習：挨拶言葉の暗唱、単語のまとめ 授業：前期ポイントのまとめ 復習：前期ポイント構文の音読</p>

授業開始前学習	身の回りにみられる中国語表記や、中国に関するニュースに関心を持つように心がける。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業内で実施する中間テストは採点の上返却し、弱点の補強とステップアップのためのポイントについてアドバイスする。また適宜実施する小テスト(クイズ)についても都度解説する。							
テキスト・教材	『ケンタくんの中国語』(朝日出版社)							
参考書	辞書も含め授業内で適宜紹介する。							
評価の基準と方法	中間テスト40点、小テスト30点、平常点(授業態度・課題提出)30点とする。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目								
その他								
予習・復習の所要時間	講義時間30時間(2時間×15週) + 予習・復習時間15時間(1時間×15週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	中国語 I		
科目分類	100-130-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Chinese I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	西端 彩	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	西端 彩	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	隣国中国は、歴史的、地理的、文化的に日本と関わりが深い。さらに中国市場の開放や、経済的躍進などによって、中国に対する関心が高まっている。中国語は日本語と同様に、漢字で表記されることもあり親しみやすいが、同じ漢字でも意味も発音も全く異なることが少なくないため、誤解を生むことも多々ある。授業では中国語と日本語の相違点なども取り上げながら、中国語の文法ルールを中国語の発想と共に学ぶ。		
到達目標	中国語のピンイン表記の規則を理解し、4つの声調と母音、子音が正しく発音できる。中国語で基本的な挨拶ができる。基本的な文法ルールを身につけ、中国語で簡単な意思疎通ができる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第1回 予習：テキスト8頁～9頁の講読 授業：中国語入門オリエンテーション、中国語の発音表記 復習：テキスト8～9頁の音読</p> <p>第2回 予習：テキスト10頁～12頁の講読 授業：4つの声調、単母音(テキスト10頁～12頁) 復習：4つの声調、単母音の発音練習</p> <p>第3回 予習：テキスト13頁～15頁の講読 授業：複母音3タイプ(テキスト13頁～15頁) 復習：複母音3タイプの発音練習</p> <p>第4回 予習：テキスト16頁～19頁の講読 授業：子音、無気音と有気音、そり舌音(テキスト16頁～19頁) 復習：子音、無気音と有気音、そり舌音の発音練習</p> <p>第5回 予習：テキスト20頁～22頁の講読 授業：鼻音を伴う母音、声調変化の規則(テキスト20頁～22頁) 復習：鼻音を伴う母音、声調変化の発音練習</p> <p>第6回 予習：テキスト23頁～25頁の講読 授業：ピンイン表記の規則、数字の読み方(テキスト23頁～25頁)（ペア・ワーク） 復習：数字の読み方の発音練習</p> <p>第7回 予習：テキスト26頁～29頁の講読 授業：声調の組み合わせ、挨拶言葉(テキスト26頁～29頁)（ペア・ワーク） 復習：声調の組み合わせ、挨拶言葉の発音練習</p> <p>第8回 予習：テキスト29頁までの復習 授業：中間テストと問題解説 復習：中間テストの解き直し</p> <p>第9回 予習：テキスト30頁～32頁の講読、単語の復習 授業：人称代名詞、動詞述語文(テキスト30頁～32頁)（ペア・ワーク） 復習：人称代名詞、動詞述語文のドリル</p> <p>第10回 予習：テキスト33頁～35頁の講読 授業：諾否疑問文、名前の聞き方(テキスト33頁～35頁)（ペア・ワーク） 復習：諾否疑問文、名前の聞き方のドリル</p> <p>第11回 予習：テキスト36頁～38頁の講読 授業：指示代詞、連体修飾語(テキスト36頁～38頁)（ペア・ワーク） 復習：指示代詞、連体修飾語のドリル</p> <p>第12回 予習：テキスト39頁～41頁の講読 授業：疑問詞疑問文(テキスト39頁～41頁)（ペア・ワーク） 復習：疑問詞疑問文のドリル</p>			

<p>第 13 回 予習 : テキスト 42 頁～44 頁の講読 授業 : モノの数え方、所有の表し方(テキスト 42 頁～44 頁) (ペア・ワーク) 復習 : モノの数え方、所有の表し方のドリル</p> <p>第 14 回 予習 : テキスト 45 頁～47 頁の講読 授業 : 数、数量のたずね方(テキスト 45 頁～47 頁) (ペア・ワーク) 復習 : 数、数量のたずね方のドリル</p> <p>第 15 回 予習 : 挨拶言葉の暗唱、単語のまとめ 授業 : 前期ポイントのまとめ 復習 : 前期ポイント構文の音読</p>								
授業開始前学習	身の回りにみられる中国語表記や、中国に関するニュースに関心を持つように心がける。							
授業内課題の フィードバックの方法	授業内で実施する小テストおよび中間テストは採点の上翌週までに返却し、弱点の補強とステップアップのポイントについてアドバイスする。							
テキスト・教材	『ケンタくんの中国語』(朝日出版社)							
参考書	授業内で適宜紹介する。							
評価の基準と方法	中間テスト 40 点、小テスト 30 点、平常点(授業態度・課題提出) 30 点とする。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目								
その他	履修希望者多数の場合は履修制限(抽選)することがあります。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間(2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間(1 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	中国語 I		
科目分類	100-130-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Chinese I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	盧 尤	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	盧 尤	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	隣国中国は歴史的、地理的、文化的に日本と関わりが深い。さらに中国市場の開放や、経済的躍進などによって、中国に対する関心が高まっています。中国語は日本語と同様に漢字で表記されることもあり親しみやすいが、同じ漢字でも意味も発音も全く異なることが少なくないため、誤解を生むことも多々ある。授業では中国語と日本語の相違点なども取り上げながら、中国語の文法ルールを中国語の発想と共に学ぶ。		
到達目標	中国語のピンイン表記の規則を理解し、4つの声調と母音、子音が正しく発音できる。中国語で基本的な挨拶ができる。基本的な文法ルールを身につけ、中国語で簡単な意思疎通ができる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第1回 予習：テキスト8頁～9頁の講読 授業：中国語入門オリエンテーション、中国語の発音表記 復習：テキスト8～9頁の音読</p> <p>第2回 予習：テキスト10頁～12頁の講読 授業：4つの声調、単母音(テキスト10頁～12頁)（ペア・ワーク） 復習：4つの声調、単母音の発音練習</p> <p>第3回 予習：テキスト13頁～15頁の講読 授業：複母音3タイプ(テキスト13頁～15頁)（ペア・ワーク） 復習：複母音3タイプの発音練習</p> <p>第4回 予習：テキスト16頁～19頁の講読 授業：子音、無気音と有気音、そり舌音(テキスト16頁～19頁)（ペア・ワーク） 復習：子音、無気音と有気音、そり舌音の発音練習</p> <p>第5回 予習：テキスト20頁～22頁の講読 授業：鼻音を伴う母音、声調変化の規則(テキスト20頁～22頁)（ペア・ワーク） 復習：鼻音を伴う母音、声調変化の発音練習</p> <p>第6回 予習：テキスト23頁～25頁の講読 授業：ピンイン表記の規則、数字の読み方(テキスト23頁～25頁)（ペア・ワーク） 復習：数字の読み方の発音練習</p> <p>第7回 予習：テキスト26頁～29頁の講読 授業：声調の組み合わせ、挨拶言葉(テキスト26頁～29頁)（ペア・ワーク） 復習：声調の組み合わせ、挨拶言葉の発音練習</p> <p>第8回 予習：テキスト29頁までの復習 授業：中間テストと問題解説 復習：中間テストの解き直し</p> <p>第9回 予習：テキスト30頁～32頁の講読、単語の復習 授業：人称代名詞、動詞述語文(テキスト30頁～32頁)（ペア・ワーク） 復習：人称代名詞、動詞述語文のドリル</p> <p>第10回 予習：テキスト33頁～35頁の講読 授業：諾否疑問文、名前の聞き方(テキスト33頁～35頁)（ペア・ワーク） 復習：諾否疑問文、名前の聞き方のドリル</p> <p>第11回 予習：テキスト36頁～38頁の講読 授業：指示代詞、連体修飾語(テキスト36頁～38頁)（ペア・ワーク） 復習：指示代詞、連体修飾語のドリル</p> <p>第12回 予習：テキスト39頁～41頁の講読 授業：経験の表し方(テキスト39頁～41頁) 復習：疑問詞疑問文のドリル</p>			

<p>第 13 回 予習 : テキスト 42 頁～44 頁の講読 授業 : モノの数え方、所有の表し方(テキスト 42 頁～44 頁) (ペア・ワーク) 復習 : モノの数え方、所有の表し方のドリル</p> <p>第 14 回 予習 : テキスト 45 頁～47 頁の講読 授業 : 数、数量のたずね方(テキスト 45 頁～47 頁) (ペア・ワーク) 復習 : 数、数量のたずね方のドリル</p> <p>第 15 回 予習 : 挨拶言葉の暗唱、単語のまとめ 授業 : 前期ポイントのまとめ 復習 : 前期ポイント構文の音読</p>								
授業開始前学習	身の回りにみられる中国語表記や、中国に関するニュースに関心を持つように心がける。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業内で実施する中間テストは採点の上返却し、弱点の補強とステップアップのためのポイントについてアドバイスする。また適宜実施する小テスト(クイズ)についても都度解説する。							
テキスト・教材	『ケンタくんの中国語』(朝日出版社)							
参考書	辞書も含め授業内で適宜紹介する。							
評価の基準と方法	中間テスト 40 点、小テスト 30 点、平常点(授業態度・課題提出) 30 点とする。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目								
その他	履修希望者多数の場合は履修制限(抽選)することがあります。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間(2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間(1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	中国語Ⅱ		
科目分類	100-130-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	ChineseⅡ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	保坂 律子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	保坂 律子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	前期 木曜日 10:30～13:00 木曜日 16:10～16:40 後期 水曜日 10:00～13:00	研究室	10-709
授業概要	隣国中国は歴史的、地理的、文化的に日本と関わりが深い。さらに中国市場の開放や、経済的躍進などによって、中国に対する関心はますます高まっている。中国語は日本語と同様に漢字で表記されることもあり親しみやすいが、同じ漢字でも意味も発音も全く異なることが少なくないため、誤解を生むことも多々ある。授業では中国語と日本語の相違点なども取り上げながら、中国語の文法ルールを中国語の発想と共に学ぶ。		
到達目標	中国語の基本文法を理解し、正しく簡体字を書くことができる。中国語の語彙を増やし、単文の基本文型が理解できる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第1回 予習：テキスト48頁～49頁の講読 授業：形容詞述語文、程度を表す副詞（テキスト48頁～49頁） 復習：形容詞述語文、程度を表す副詞のドリル</p> <p>第2回 予習：テキスト50頁～52頁の講読 授業：反復疑問文、名詞+“?”疑問文(テキスト50頁～52頁)（ペア・グループワーク） 復習：反復疑問文、名詞+“?”疑問文のドリル</p> <p>第3回 予習：テキスト53頁～55頁の講読 授業：場所を表す指示代詞、存在の表し方(テキスト53頁～55頁) 復習：場所を表す指示代詞、存在の表し方のドリル</p> <p>第4回 予習：テキスト56頁～58頁の講読 授業：願望を表す助動詞(テキスト56頁～58頁)（ペア・グループワーク） 復習：願望を表す助動詞のドリル</p> <p>第5回 予習：テキスト59頁～60頁の講読 授業：日付・時を表す言葉(テキスト59頁～60頁)（ペア・グループワーク） 復習：日付・時を表す言葉のドリル</p> <p>第6回 予習：テキスト61頁～62頁の講読 授業：名詞述語文(テキスト61頁～62頁)（ペア・グループワーク） 復習：名詞述語文のドリル</p> <p>第7回 予習：テキスト63頁～64頁の講読 授業：提案、推量の表し方(テキスト63頁～64頁) 復習：提案、推量の表し方のドリル</p> <p>第8回 予習：テキスト64頁までの復習 授業：中間テストと問題解説 復習：中間テストの解き直し</p> <p>第9回 予習：テキスト65頁～66頁の講読 授業：連動文(テキスト65頁～66頁) 復習：連動文のドリル</p> <p>第10回 予習：テキスト67頁～68頁の講読 授業：時間量、介詞(テキスト67頁～68頁) 復習：時間量、介詞のドリル</p> <p>第11回 予習：テキスト69頁～70頁の講読 授業：どれくらい～?のたずね方(テキスト69頁～70頁)（ペア・グループワーク） 復習：どれくらい～?のドリル</p> <p>第12回 予習：テキスト71頁～72頁の講読 授業：経験の表し方(テキスト71頁～72頁) 復習：経験の表し方のドリル</p>			

<p>第 13 回 予習 : テキスト 73 頁～74 頁の講読 授業 : 動詞の繰り返し型 (テキスト 73 頁～74 頁) (ペア・グループワーク) 復習 : 動詞の繰り返し型のドリル</p> <p>第 14 回 予習 : テキスト 75 頁～77 頁の講読 授業 : 選択疑問文(テキスト 75 頁～77 頁) (ペア・グループワーク) 復習 : 選択疑問文のドリル</p> <p>第 15 回 予習 : 挨拶言葉の暗誦、単語のまとめ 授業 : 後期ポイントのまとめ 復習 : 後期ポイント構文の音読</p>								
授業開始前学習	身の回りにみられる中国語表記や、中国に関するニュースに関心を持つようにしておく。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業内に実施する中間テストは返却時に全体の講評を行い、弱点補強とステップアップのためのポイントについてアドバイスする。また適宜実施する小テスト(クイズ)についても都度解説する。							
テキスト・教材	『ケンタくんの中国語』(朝日出版社)							
参考書	辞書も含め授業内で適宜紹介する。							
評価の基準と方法	中間テスト 40 点、小テスト 30 点、平常点(授業態度・課題提出) 30 点とする。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目								
その他								
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	中国語Ⅱ		
科目分類	100-130-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	ChineseⅡ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	西端 彩	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	西端 彩	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	隣国中国は、歴史的、地理的、文化的に日本と関わりが深い。さらに中国市場の開放や、経済的躍進などによって、中国に対する関心が高まっている。中国語は日本語と同様に、漢字で表記されることもあり、親しみやすいが、同じ漢字でも意味も発音も全く異なることが少なくないため、誤解を生むことも多々ある。授業では中国語と日本語の相違点なども取り上げながら、中国語の文法ルールを中国語の発想と共に学ぶ。		
到達目標	中国語の基本文法を理解し、正しく簡体字を書くことができる。中国語の語彙を増やし、単文の基本文型が理解できる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第1回 予習：テキスト47頁までの文法ポイント講読 授業：テキスト47頁までの文法ポイント復習 復習：テキスト47頁までの文法ポイント音読</p> <p>第2回 予習：テキスト48頁～50頁の講読 授業：形容詞述語文、程度を表す副詞（テキスト48頁～50頁）（ペア・ワーク） 復習：形容詞述語文、程度を表す副詞のドリル</p> <p>第3回 予習：テキスト51頁～53頁の講読 授業：反復疑問文、名詞+“?”疑問文(テキスト51頁～53頁)（ペア・ワーク） 復習：反復疑問文、名詞+“?”疑問文のドリル</p> <p>第4回 予習：テキスト54頁～56頁の講読 授業：場所を表す指示代詞、存在の表し方（テキスト54頁～56頁）（ペア・ワーク） 復習：場所を表す指示代詞、存在の表し方のドリル</p> <p>第5回 予習：テキスト57頁～59頁の講読 授業：願望を表す助動詞(テキスト57頁～59頁)（ペア・ワーク） 復習：願望を表す助動詞のドリル</p> <p>第6回 予習：テキスト60頁～62頁の講読 授業：日付・時を表す言葉（テキスト60頁～62頁）（ペア・ワーク） 復習：日付・時を表す言葉のドリル</p> <p>第7回 予習：テキスト63頁～65頁の講読 授業：名詞述語文、提案、推量の表し方(テキスト63頁～65頁)（ペア・ワーク） 復習：名詞述語文、提案、推量の表し方のドリル</p> <p>第8回 予習：テキスト65頁までの復習 授業：中間テストと問題解説 復習：中間テストの解き直し</p> <p>第9回 予習：テキスト66頁～67頁の講読 授業：連動文（テキスト66頁～67頁）（ペア・ワーク） 復習：連動文のドリル</p> <p>第10回 予習：テキスト68頁～69頁の講読 授業：時間量、介詞（テキスト68頁～69頁）（ペア・ワーク） 復習：時間量、介詞のドリル</p> <p>第11回 予習：テキスト70頁～71頁の講読 授業：どれくらい～？のたずね方(テキスト70頁～71頁)（ペア・ワーク） 復習：どれくらい～？のドリル</p> <p>第12回 予習：テキスト72頁～73頁の講読 授業：経験の表し方（テキスト72頁～73頁）（ペア・ワーク） 復習：経験の表し方のドリル</p>			

<p>第 13 回 予習 : テキスト 74 頁～75 頁の講読 授業 : 動詞の重ね型 (テキスト 74 頁～75 頁) (ペア・ワーク) 復習 : 動詞の重ね型のドリル</p> <p>第 14 回 予習 : テキスト 76 頁～77 頁の講読 授業 : 選択疑問文(テキスト 76 頁～77 頁) (ペア・ワーク) 復習 : 選択疑問文のドリル</p> <p>第 15 回 予習 : 本文の暗誦、単語のまとめ 授業 : 後期ポイントのまとめ 復習 : 後期ポイント構文の音読</p>								
授業開始前学習	身の回りにみられる中国語表記や、中国に関するニュースに関心を持つようにしておく。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業内に適宜実施する小テストおよび中間テストは採点の上翌週返却し、弱点の補強とステップアップのポイントについてアドバイスする。							
テキスト・教材	『ケンタくんの中国語』(朝日出版社)							
参考書	辞書も含め授業内で適宜紹介する。							
評価の基準と方法	中間テスト 40 点、小テスト 30 点、平常点 (授業態度・課題提出) 30 点とする。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目								
その他								
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	中国語Ⅱ		
科目分類	100-130-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	ChineseⅡ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	盧 尤	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	盧 尤	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	隣国中国は、歴史的、地理的、文化的に日本と関わりが深い。さらに中国市場の開放や、経済的躍進などによって、中国に対する関心が高まっている。中国語は日本語と同様に、漢字で表記されることもあり親しみやすいが、同じ漢字でも意味も発音も全く異なることが少なくないため、誤解を生むことも多々ある。授業では中国語と日本語の相違点なども取り上げながら、中国語の文法ルールを中国語の発想と共に学ぶ。		
到達目標	中国語の基本文法を理解し、正しく簡体字を書くことができる。中国語の語彙を増やし、単文の基本文型が理解できる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>第1回 予習：テキスト48頁～49頁の講読 授業：形容詞述語文、程度を表す副詞（テキスト48頁～49頁） 復習：形容詞述語文、程度を表す副詞のドリル</p> <p>第2回 予習：テキスト50頁～52頁の講読 授業：反復疑問文、名詞+“?”疑問文(テキスト50頁～52頁)（ペア・ワーク） 復習：反復疑問文、名詞+“?”疑問文のドリル</p> <p>第3回 予習：テキスト53頁～55頁の講読 授業：場所を表す指示代詞、存在の表し方(テキスト53頁～55頁) 復習：場所を表す指示代詞、存在の表し方のドリル</p> <p>第4回 予習：テキスト56頁～58頁の講読 授業：願望を表す助動詞(テキスト56頁～58頁)（ペア・ワーク） 復習：願望を表す助動詞のドリル</p> <p>第5回 予習：テキスト59頁～60頁の講読 授業：日付・時を表す言葉(テキスト59頁～60頁)</p> <p>第6回 予習：テキスト61頁～62頁の講読 授業：名詞述語文(テキスト61頁～62頁)（ペア・ワーク） 復習：名詞述語文のドリル</p> <p>第7回 予習：テキスト63頁～64頁の講読 授業：提案、推量の表し方(テキスト63頁～64頁) 復習：提案、推量の表し方</p> <p>第8回 予習：テキスト64頁までの復習 授業：小テストと問題解説 復習：小テストの解き直し</p> <p>第9回 予習：テキスト65頁～66頁の講読 授業：連動文(テキスト65頁～66頁)（ペア・ワーク） 復習：連動文のドリル</p> <p>第10回 予習：テキスト67頁～68頁の講読 授業：時間量、介詞(テキスト67頁～68頁) 復習：時間量、介詞のドリル</p> <p>第11回 予習：テキスト69頁～70頁の講読 授業：どれくらい～?のたずね方(テキスト69頁～70頁)（ペア・ワーク） 復習：どれくらい～?のドリル</p> <p>第12回 予習：テキスト71頁～72頁の講読 授業：経験の表し方(テキスト71頁～72頁) 復習：経験の表し方のドリル</p>			

<p>第 13 回 予習 : テキスト 73 頁～74 頁の講読 授業 : 動詞の繰り返し型 (テキスト 73 頁～74 頁) (ペア・ワーク) 復習 : 動詞の繰り返し型のドリル</p> <p>第 14 回 予習 : テキスト 75 頁～77 頁の講読 授業 : 選択疑問文(テキスト 75 頁～77 頁) 復習 : 選択疑問文のドリル</p> <p>第 15 回 予習 : 挨拶言葉の暗誦、単語のまとめ 授業 : 後期ポイントのまとめ 復習 : 後期ポイント構文の音読</p>								
授業開始前学習	中国に関するニュースに関心を持つようにしておく。							
授業内課題の フィードバックの方法	授業内に実施する小テストは返却時に全体の講評を行い、弱点補強とステップアップのための復習ポイントを提示する。							
テキスト・教材	『ケンタくんの中国語』朝日出版社							
参考書	辞書も含め、授業中に紹介する。							
評価の基準と方法	試験 40 点、小テスト 30 点、平常点 30 点 (授業態度・課題提出) とする。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目								
その他	履修希望者多数の場合は履修制限 (抽選) することがあります。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	中国語Ⅲ		
科目分類	100-130-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	ChineseⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	保坂 律子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	保坂 律子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	前期 木曜日 10:30～13:00 木曜日 16:10～16:40 後期 水曜日 10:00～13:00	研究室	10-709
授業概要	初級で習得した中国語文法を基礎とし、中国語検定も視野に入れて学習する。コミュニケーションの道具、手段として使える中国語へのレベルアップを目標に、言葉と同時に日中を取り巻く社会状況への理解を深め、コミュニケーション能力の強化を図る。		
到達目標	中国語の語彙、文法規則を学び、やや難易度の高い文章を正確に読み取り、聞き取ることができるようになる。また、身近な事柄について口頭および書面で表現することができるようになる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：テキスト8頁～15頁の講読 授業：発音編（一）（二）（テキスト8頁～15頁）（ペア・グループワーク） 復習：発音編（一）（二）の音読</p> <p>【第2回】 予習：テキスト16頁～23頁の講読 授業：発音編（三）（四）（テキスト16頁～23頁）（ペア・グループワーク） 復習：発音編（三）（四）の音読</p> <p>【第3回】 予習：テキスト24頁～27頁の講読 授業：発音編（五）挨拶言葉（テキスト24頁～27頁）（ペア・グループワーク） 復習：発音編（五）挨拶言葉の音読</p> <p>【第4回】 予習：テキスト78頁～81頁の講読 授業：比較文、二重目的語文（テキスト78頁～81頁） 復習：比較文、二重目的語のドリル</p> <p>【第5回】 予習：テキスト82頁～83頁の講読 授業：様態補語、お金の数え方、ものたずね方（テキスト81頁～83頁）（ペア・グループワーク） 復習：様態補語、お金の数え方、ものたずね方のドリル</p> <p>【第6回】 予習：テキスト84頁～87頁の講読 授業：動作の完了と完成（テキスト84頁～86頁） 復習：動作の完了と完成のドリル</p> <p>【第7回】 予習：テキスト88頁～89頁の講読 授業：可能表現（テキスト88頁～89頁） 復習：可能表現のドリル</p> <p>【第8回】 予習：テキスト89頁までの単語、構文の復習 授業：中間テスト及び問題解説 復習：中間テストの解き直し</p> <p>【第9回】 予習：テキスト90頁～91頁の講読 授業：動作の進行表現（テキスト90頁～91頁）（ペア・グループワーク） 復習：動作の進行表現のドリル</p> <p>【第10回】 予習：テキスト92頁～93頁の講読 授業：動作の持続表現（テキスト92頁～93頁）（ペア・グループワーク） 復習：動作の持続表現のドリル</p> <p>【第11回】 予習：テキスト94頁～95頁の講読 授業：動作を促す表現（テキスト94頁～95頁）（ペア・グループワーク） 復習：動作を促す表現のドリル</p> <p>【第12回】 予習：テキスト96頁～97頁の講読 授業：移動方向を表す補語（テキスト96頁～97頁） 復習：移動方向を表す補語のドリル</p>			

<p>【第13回】 予習：テキスト98頁～99頁の講読 授業：結果補語（テキスト98頁～99頁） 復習：結果補語のドリル</p> <p>【第14回】 予習：テキスト100頁～101頁の講読 授業：動作量を表す補語（テキスト100頁～101頁） 復習：動作量を表す補語のドリル</p> <p>【第15回】 予習：挨拶言葉の暗誦、単語帳のまとめ 授業：前期ポイントのまとめ 復習：前期ポイント構文の音読</p>								
授業開始前学習	身の回りで見られる中国語表記や、中国に関するニュースに関心を持つようしておく。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業内で実施する中間テストは採点の上返却し、弱点の補強とステップアップのためのポイントについてアドバイスする。また適宜する小テスト（クイズ）についても都度解説する。							
テキスト・教材	『ケンタくんの中国語』（朝日出版社）							
参考書	辞書も含め授業内で適宜紹介する。							
評価の基準と方法	中間テスト40点、小テスト30点、平常点（授業態度・課題提出）30点とする。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目								
その他								
予習・復習の所要時間	講義時間30時間（2時間×15週）＋予習・復習時間15時間（1時間×15週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	中国語Ⅲ		
科目分類	100-130-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	ChineseⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	盧 尤	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	盧 尤	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	初級で習得した中国語文法を基礎とし、中国語検定も視野に入れて学習する。コミュニケーションの道具、手段として使える中国語へのレベルアップを目標に、言葉と同時に日中を取り巻く社会状況への理解を深め、コミュニケーション能力の強化を図る。		
到達目標	中国語の語彙、文法規則を学び、やや難易度の高い文章を正確に読み取り、聞き取ることができるようになる。また、身近な事柄について口頭および書面で表現することができるようになる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：テキスト8頁～15頁の講読 授業：発音編（一）（二）（テキスト8頁～15頁）（ペア・ワーク） 復習：発音編（一）（二）の音読</p> <p>【第2回】 予習：テキスト16頁～23頁の講読 授業：発音編（三）（四）（テキスト16頁～23頁）（ペア・ワーク） 復習：発音編（三）（四）の音読</p> <p>【第3回】 予習：テキスト24頁～27頁の講読 授業：発音編（五）挨拶言葉（テキスト24頁～27頁）（ペア・ワーク） 復習：発音編（五）挨拶言葉の音読</p> <p>【第4回】 予習：テキスト78頁～81頁の講読 授業：比較文、二重目的語文（テキスト78頁～81頁）（ペア・ワーク） 復習：比較文、二重目的語のドリル</p> <p>【第5回】 予習：テキスト82頁～83頁の講読 授業：様態補語、お金の数え方、ものたずね方（テキスト81頁～83頁）（ペア・ワーク） 復習：様態補語、お金の数え方、ものたずね方のドリル</p> <p>【第6回】 予習：テキスト84頁～87頁の講読 授業：動作の完了と完成（テキスト84頁～86頁）（ペア・ワーク） 復習：動作の完了と完成のドリル</p> <p>【第7回】 予習：テキスト88頁～89頁の講読 授業：可能表現（テキスト88頁～89頁）（ペア・ワーク） 復習：可能表現のドリル</p> <p>【第8回】 予習：テキスト89頁までの単語、構文の復習 授業：中間テスト及び問題解説 復習：中間テストの解き直し</p> <p>【第9回】 予習：テキスト90頁～91頁の講読 授業：動作の進行表現（テキスト90頁～91頁）（ペア・ワーク） 復習：動作の進行表現のドリル</p> <p>【第10回】 予習：テキスト92頁～93頁の講読 授業：動作の持続表現（テキスト92頁～93頁）（ペア・ワーク） 復習：動作の持続表現のドリル</p> <p>【第11回】 予習：テキスト94頁～95頁の講読 授業：動作を促す表現（テキスト94頁～95頁）（ペア・ワーク） 復習：動作を促す表現のドリル</p> <p>【第12回】 予習：テキスト96頁～97頁の講読 授業：移動方向を表す補語（テキスト96頁～97頁）（ペア・ワーク） 復習：移動方向を表す補語のドリル</p> <p>【第13回】</p>			

予習 : テキスト 98 頁～99 頁の講読 授業 : 結果補語 (テキスト 98 頁～99 頁) (ペア・ワーク) 復習 : 結果補語のドリル 【第 14 回】 予習 : テキスト 100 頁～101 頁の講読 授業 : 動作量を表す補語 (テキスト 100 頁～101 頁) (ペア・ワーク) 復習 : 動作量を表す補語のドリル 【第 15 回】 予習 : 挨拶言葉の暗誦、単語帳のまとめ 授業 : 前期ポイントのまとめ 復習 : 前期ポイント構文の音読								
授業開始前学習	身の回りで見られる中国語表記や、中国に関するニュースに関心を持つようにしておく。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業内で実施する中間テストは採点の上返却し、弱点の補強とステップアップのためのポイントについてアドバイスする。また適宜する小テスト (クイズ) についても都度解説する。							
テキスト・教材	『ケンタくんの中国語』 (朝日出版社)							
参考書	辞書も含め授業内で適宜紹介する。							
評価の基準と方法	中間テスト 40 点、小テスト 30 点、平常点 (授業態度・課題提出) 30 点とする。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目								
その他								
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	中国語Ⅳ		
科目分類	100-130-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	ChineseⅣ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	保坂 律子	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	保坂 律子	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	前期 木曜日 10:30～13:00 木曜日 16:10～16:40 後期 水曜日 10:00～13:00	研究室	10-709
授業概要	初級で習得した中国語文法を基礎とし、中国語検定も視野に入れて学習する。コミュニケーションの道具、手段として使える中国語へのレベルアップを目標に、言葉と同時に日中を取り巻く社会状況への理解を深め、コミュニケーション能力の強化を図る。		
到達目標	中国語の語彙、文法規則を学び、やや難易度の高い文章を正確に読み取り、聞き取ることができるようになる。また、身近な事柄について口頭および書面で表現することができるようになる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：テキスト102頁～103頁の講読 授業：自然現象を表す無主語文（テキスト102頁～103頁） 復習：自然現象を表す無主語文のドリル</p> <p>【第2回】 予習：テキスト104頁～105頁の講読 授業：呼応表現（一）（テキスト104頁～105頁）（ペア・グループワーク） 復習：呼応表現（一）のドリル</p> <p>【第3回】 予習：テキスト106頁～107頁の講読 授業：呼応表現（二）（テキスト106頁～107頁）（ペア・グループワーク） 復習：呼応表現（二）のドリル</p> <p>【第4回】 予習：テキスト108頁～109頁の講読 授業：たとえの表現（テキスト108頁～109頁）（ペア・グループワーク） 復習：たとえの表現のドリル</p> <p>【第5回】 予習：テキスト110頁～111頁の講読 授業：禁止表現、不本意を表す「少し」（テキスト110頁～111頁） 復習：禁止表現、不本意を表す「少し」のドリル</p> <p>【第6回】 予習：テキスト112頁～113頁の講読 授業：同時進行の表現（テキスト112頁～113頁）（ペア・ワーク） 復習：同時進行の表現のドリル</p> <p>【第7回】 予習：テキスト114頁～115頁の講読 授業：いろいろな動詞述語文（テキスト114頁～115頁） 復習：いろいろな動詞述語文のドリル</p> <p>【第8回】 予習：テキスト115頁までの単語、構文の復習 授業：中間テスト及び問題解説 復習：中間テストの解き直し</p> <p>【第9回】 予習：テキスト116頁～117頁の講読 授業：形容詞述語文、名詞述語文、いろいろな疑問文（テキスト116頁～117頁）（ペア・グループワーク） 復習：形容詞述語文、名詞述語文、いろいろな疑問文のドリル</p> <p>【第10回】 予習：テキスト118頁～119頁の講読 授業：助動詞を中心とした文型、補語を中心とした文型（テキスト118頁～119頁） 復習：助動詞を中心とした文型、補語を中心とした文型のドリル</p> <p>【第11回】 予習：テキスト119頁までの単語の復習 授業：検定試験チャレンジ問題（準4級） 復習：検定試験チャレンジ問題の解き直し</p> <p>【第12回】 予習：検定試験チャレンジ問題の単語調べ 授業：検定試験チャレンジ問題及びステップアップポイントの解説 復習：自分に合ったステップアップのための学習方法を考える</p> <p>【第13回】</p>			

予習 : テキスト 119 頁までの構文の復習 授業 : 検定試験チャレンジ問題 (4 級) 復習 : 検定試験チャレンジ問題の解き直し 【第 14 回】 予習 : 検定試験チャレンジ問題の単語調べ 授業 : 検定試験チャレンジ問題及びステップアップポイントの解説 復習 : 自分に合ったステップアップのための学習計画を立案 【第 15 回】 予習 : 1 年間の学習の振り返り 授業 : 中国映画鑑賞 復習 : 映画の感想を簡単な中国語でまとめる								
授業開始前学習	中国に関するニュースに関心を持つようにすること。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業内に実施する中間テストは返却時に全体の講評を行い、弱点補強とステップアップのためのポイントについてアドバイスする。また適宜実施する小テスト(クイズ)についても都度解説する。							
テキスト・教材	『ケンタくんの中国語』(朝日出版社)							
参考書	辞書も含め授業内で適宜紹介する。							
評価の基準と方法	試験 40 点、小テスト 30 点、平常点(授業態度・課題提出) 30 点とする。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目								
その他								
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	中国語Ⅳ		
科目分類	100-130-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	ChineseⅣ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	盧 尤	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	盧 尤	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	初級で習得した中国語文法を基礎とし、中国語検定も視野に入れて学習する。コミュニケーションの道具、手段として使える中国語へのレベルアップを目標に、言葉と同時に日中を取り巻く社会状況への理解を深め、コミュニケーション能力の強化を図る。		
到達目標	中国語の語彙、文法規則を学び、やや難易度の高い文章を正確に読み取り、聞き取ることができるようになる。また、身近な事柄について口頭および書面で表現することができるようになる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：テキスト102頁～103頁の講読 授業：自然現象を表す無主語文（テキスト102頁～103頁）（ペア・ワーク） 復習：自然現象を表す無主語文のドリル</p> <p>【第2回】 予習：テキスト104頁～105頁の講読 授業：呼応表現（一）（テキスト104頁～105頁）（ペア・ワーク） 復習：呼応表現（一）のドリル</p> <p>【第3回】 予習：テキスト106頁～107頁の講読 授業：呼応表現（二）（テキスト106頁～107頁）（ペア・ワーク） 復習：呼応表現（二）のドリル</p> <p>【第4回】 予習：テキスト108頁～109頁の講読 授業：たとえの表現（テキスト108頁～109頁）（ペア・ワーク） 復習：たとえの表現のドリル</p> <p>【第5回】 予習：テキスト110頁～111頁の講読 授業：禁止表現、不本意を表す「少し」（テキスト110頁～111頁）（ペア・ワーク） 復習：禁止表現、不本意を表す「少し」のドリル</p> <p>【第6回】 予習：テキスト112頁～113頁の講読 授業：同時進行の表現（テキスト112頁～113頁）（ペア・ワーク） 復習：同時進行の表現のドリル</p> <p>【第7回】 予習：テキスト114頁～115頁の講読 授業：いろいろな動詞述語文（テキスト114頁～115頁）（ペア・ワーク） 復習：いろいろな動詞述語文のドリル</p> <p>【第8回】 予習：テキスト115頁までの単語、構文の復習 授業：中間テスト及び問題解説 復習：中間テストの解き直し</p> <p>【第9回】 予習：テキスト116頁～117頁の講読 授業：形容詞述語文、名詞述語文、いろいろな疑問文（テキスト116頁～117頁）（ペア・ワーク） 復習：形容詞述語文、名詞述語文、いろいろな疑問文のドリル</p> <p>【第10回】 予習：テキスト118頁～119頁の講読 授業：助動詞を中心とした文型、補語を中心とした文型（テキスト118頁～119頁）（ペア・ワーク） 復習：助動詞を中心とした文型、補語を中心とした文型のドリル</p> <p>【第11回】 予習：テキスト119頁までの単語の復習 授業：検定試験チャレンジ問題（準4級） 復習：検定試験チャレンジ問題の解き直し</p> <p>【第12回】 予習：検定試験チャレンジ問題の単語調べ 授業：検定試験チャレンジ問題及びステップアップポイントの解説 復習：自分に合ったステップアップのための学習方法を考える</p> <p>【第13回】</p>			

予習 : テキスト 119 頁までの構文の復習 授業 : 検定試験チャレンジ問題 (4 級) 復習 : 検定試験チャレンジ問題の解き直し 【第 14 回】 予習 : 検定試験チャレンジ問題の単語調べ 授業 : 検定試験チャレンジ問題及びステップアップポイントの解説 復習 : 自分に合ったステップアップのための学習計画立案 【第 15 回】 予習 : 1 年間の学習の振り返り 授業 : 中国映画鑑賞 復習 : 映画の感想を簡単な中国語でまとめる								
授業開始前学習	身の回りで見られる中国語表記や、中国に関するニュースに関心を持つようにしておく。							
授業内課題のフィードバックの方法	授業内で実施する中間テストは返却時に全体の講評を行い、弱点補強とステップアップのためのポイントについてアドバイスする。また適宜実施する小テスト(クイズ)についても都度解説する。							
テキスト・教材	『ケンタくんの中国語』(朝日出版社)							
参考書	辞書も含め授業内で適宜紹介する。							
評価の基準と方法	中間テスト 40 点、小テスト 30 点、平常点(授業態度・課題提出) 30 点とする。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目								
その他								
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	コンピュータ演習 I		
科目分類	100-111-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Computer Laboratory I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	各担当教員	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	高橋・末木・スワット・明田川・篠・星野	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	ここ数年の情報を取り巻く環境とそれを取り扱う情報機器の変化が著しい。コンピュータ中心だった情報処理からスマートフォンやタブレット端末が主流の情報共有に変化し、情報そのものも複雑化してきた。コロナ禍における社会の変化はますます、テレワークや遠隔授業など私たちの生活を一変させるものでした。また、小中高のおいても情報活用能力の育成と ICT 活用が新学習指導要領のもと全面实施されました。こうした中、コンピュータ演習 I および II では、ICT（情報通信技術）を中心とした情報リテラシーを身につけるため、基礎理論の講義とその演習を中心に広範囲にわたって授業を行う。本演習では、オフィス系ソフトのワープロとプレゼンテーションを中心に、基礎ゼミや専門ゼミ、2 年次以降の授業で活かせるよう課題解決型学習に準じて演習を行う。		
到達目標	コンピュータとスマートフォン（タブレット）を連携し、適切な情報収集および情報処理ができるようになる。具体的には、オフィス系ソフトが使えるようになる。併せてメールやクラウドの概念を理解し、情報のやり取りができるようになる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第 1 回】 予習：履修ガイド・学生生活ガイドを読んでおくこと 授業：コンピュータの仕組みと起動/KOMAJO ポータルの使い方/Google クラウドの使い方/メールの使い方 復習：KOMAJO ポータルのログインやメールの送受信などおさらいして慣れておくこと</p> <p>【第 2 回】 予習：教科書 P10～P13 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：タイピング（課題 2-1-1） 復習：タイピングのホームポジションを振り返っておくこと</p> <p>【第 3 回】 予習：教科書 P14～P15 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：四字熟語・慣用句の入力（課題 2-1-2・課題 2-1-3） 復習：四字熟語・慣用句の意味を振り返っておくこと</p> <p>【第 4 回】 予習：教科書 P16～P17 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：文書作成とレイアウト（課題 2-1-4・課題 2-2-1・課題 2-2-5） 復習：さまざまな文章のレイアウトを確認すること</p> <p>【第 5 回】 予習：教科書 P18～P21 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：罫線処理とレイアウト処理（時間割）（課題 2-3-1） 復習：作成した時間割から操作方法を振り返ること</p> <p>【第 6 回】 予習：教科書 P22～P23 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：罫線処理とレイアウト処理（履歴書）（課題 2-3-2） 復習：作成した履歴書から操作方法を振り返ること</p> <p>【第 7 回】 予習：教科書 P24～P25 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：罫線処理とレイアウト処理（レシピ）（課題 2-3-3） 復習：作成したレシピから操作方法を振り返ること</p> <p>【第 8 回】 予習：教科書 P26～P27 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：罫線処理とレイアウト処理（レシピ）（課題 2-3-3） 復習：作成したレシピから画像の取り扱いを振り返ること</p> <p>【第 9 回】 予習：教科書 P28～P30 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：ビジネス文書の作成（見積書）（課題 2-3-4） 復習：さまざまな表組みと文章を組み合わせた文書を確認すること</p> <p>【第 10 回】 予習：教科書 P31～P32 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：図形描画（キャラクタ）（課題 2-4-1） 復習：図形描画の操作方法を振り返ること</p> <p>【第 11 回】 予習：教科書 P33～P35 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：図形描画（地図）（課題 2-4-2） 復習：さまざまな表組みと文章を組み合わせた文書を確認すること</p> <p>【第 12 回】</p>			

<p>予習：教科書 P36～P40 を読んでおくこと 授業：ワープロ演習：ビジネス文書の作成（クラス会）（課題 2 - 4 - 3） 復習：文字データと図形データが混在した書類等を確認すること 【第 13 回】 予習：教科書 P41～P42 を読んでおくこと 授業：プレゼン演習：シナリオメイキングと情報収集（旅行計画） 復習：シナリオ（ストーリー）を何度も振り返ること 【第 14 回】 予習：教科書 P43～P44 を読んでおくこと 授業：プレゼン演習：情報の構造化と構成（旅行計画） 復習：さまざまなプレゼン資料を確認すること 【第 15 回】 予習：教科書 P45～P46 を読んでおくこと 授業：プレゼン演習：プレゼンテーションと演出（旅行計画） 復習：全体の流れの振り返りをする</p>								
授業開始前学習	高校の教科「情報」の教科書を読んでおくこと全体像をつかみやすい。							
授業内課題の フィードバックの方法	全体には、次の回到復習として解説を行う。個別には、課題返却時にアドバイスを行う。							
テキスト・教材	『講義と演習 情報のこころえ』ポラーノ出版							
参考書								
評価の基準と方法	毎回出される課題 40%、課題の内容および出来ばえ 40%と授業に対する取り組み（授業態度）20%で評価を決める。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				○	
関連科目	コンピュータ演習Ⅱ 情報と科学							
その他	GWE(Google Workspace for Education)を中心に、Microsoft オフィスもしくは、Google ドキュメント、スプレッドシート、スライドにて課題作成を行う。 課題の提出および資料の配布は、GWE を通して行う。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	コンピュータ演習Ⅱ		
科目分類	100-111-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Computer Laboratory Ⅱ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	各担当教員	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	高橋・末木・スワット・明田川・篠・星野	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	コンピュータ演習Ⅰと同様に、総合的に ICT（情報通信技術）を活用する知識とリテラシーを身につけるため、基礎理論の講義とその演習を広範囲にわたって授業を行う。本演習では、オフィス系ソフトのエクセル（スプレッドシート）を中心に、特に、数値処理や統計処理など基礎ゼミや専門ゼミ、2 年次以降の授業で活かせるよう課題解決型学習に準じて実務的な演習を行う。		
到達目標	コンピュータとスマートフォン（タブレット）を連携し、適切な情報収集および情報処理ができるようになる。具体的には、オフィス系ソフトが使えるようになる。併せてメールやクラウドの概念を理解し、情報のやり取りができるようになる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：教科書 P45～P46 を読んでおくこと 授業：表計算演習：作表（データ入力と罫線処理）（課題 3 - 1 - 1） 復習：時間割、カレンダーなど格子状のデータを確認すること</p> <p>【第2回】 予習：教科書 P47～P48 を読んでおくこと 授業：表計算演習：作表（複雑な罫線処理）（課題 3 - 1 - 2） 復習：フロアマップや料金表など複雑な表形式のデータを確認すること</p> <p>【第3回】 予習：教科書 P49～P50、P53～54 を読んでおくこと 授業：表計算演習：計算とグラフの基本（課題 3 - 2 - 1～課題 3 - 2 - 5） 復習：構造化された情報を紙に書き起こして見返すこと</p> <p>【第4回】 予習：教科書 P51～P52 を読んでおくこと 授業：表計算演習：世界の人口分布（課題 3 - 3 - 1） 復習：総務省統計局のさまざまなデータを確認すること</p> <p>【第5回】 予習：教科書 P56～P57 を読んでおくこと 授業：表計算演習：世界の主要都市の平均気温（課題 3 - 3 - 2） 復習：気象庁のさまざまなデータを確認すること</p> <p>【第6回】 予習：教科書 P58～P59 を読んでおくこと 授業：表計算演習：成績表（課題 3 - 3 - 3） 復習：基本統計量（その1）を振り返ること</p> <p>【第7回】 予習：教科書 P60～P62 を読んでおくこと 授業：表計算演習：成績表（課題 3 - 3 - 3） 復習：基本統計量（その2）を振り返ること</p> <p>【第8回】 予習：教科書 P63～P64 を読んでおくこと 授業：表計算演習：身体測定表（課題 3 - 3 - 4） 復習：複雑な理論式による求め方についてまとめておくこと</p> <p>【第9回】 予習：教科書 P65～P66 を読んでおくこと 授業：表計算演習：身体測定表（課題 3 - 3 - 4） 復習：プログラミングの概念を振り返ること</p> <p>【第10回】 予習：教科書 P67～P68 を読んでおくこと 授業：表計算演習：レシート（課題 3 - 4 - 1） 復習：さまざまなレシートを確認すること</p> <p>【第11回】 予習：教科書 P69～P71 を読んでおくこと 授業：表計算演習：レシピ（課題 3 - 4 - 7） 復習：栄養管理について確認すること</p> <p>【第12回】 予習：教科書 P72～P73 を読んでおくこと 授業：表計算演習：ローンシミュレーション（課題 3 - 4 - 4） 復習：金利について確認すること</p>			

<p>【第13回】 予習：教科書 P75～P77 を読んでおくこと 授業：表計算演習：歳入・歳出の概要（課題3-4-2） 復習：それぞれの区分について理解すること</p> <p>【第14回】 予習：次年度予算関連のニュース記事を確認すること 授業：表計算演習：歳入・歳出の概要（課題3-4-2） 復習：財政状況と時事問題を理解すること</p> <p>【第15回】 予習：いままでの課題について振り返ること 授業：表計算演習：見積書（課題3-4-3） 復習：それぞれの課題について振り返ること</p>								
授業開始前学習	高校の教科「情報」の教科書を読んでおくこと全体像をつかみやすい。コンピュータ演習 I の内容をおさらいしておくこと							
授業内課題の フィードバックの方法	全体には、次の回に復習として解説を行う。個別には、課題返却時にアドバイスを行う。							
テキスト・教材	『講義と演習 情報のこころえ』ポラーノ出版							
参考書								
評価の基準と方法	毎時間出される課題 40%、課題の内容および出来映え 40%と授業に対する取り組み（授業態度）20%で評価を決める。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				○	
関連科目	コンピュータ演習 I 情報と科学							
その他	GWE(Google Workspace for Education)を中心に、Microsoft オフィスもしくは、Google ドキュメント、スプレッドシート、スライドにて課題作成を行う。 課題の提出および資料の配布は、GWE を通して行う。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週） + 予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	コンピュータ演習Ⅲ		
科目分類	100-130-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Computer Laboratory Ⅲ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	星野 好晃	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	星野 好晃	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	情報機器の普及や情報共有環境の発達により、誰もが情報処理と発信を身近に扱うことができる時代となっている。コンピュータ演習 I/II では基礎的な情報の処理について学んだが、本演習ではコンピュータについてシステムの理解からより広い利活用の範囲までを取り扱う。システム理解については、ローカルシステム及びクラウドシステムでのファイルの管理・運用及びアプリケーション利用の同異点を取り扱い、現代のコンピュータシステムをより理解することを狙う。コンピュータ利活用については、より専門的な情報処理の一つとしてデジタルグラフィックスツールを取り扱う。いくつかの制作課題を通じて、グラフィックスツールの活用方法を体験的に学習し、画像素材や作品を自分で出力する技能を習得することを目的とする。		
到達目標	ローカルシステムとクラウドシステムでのファイルの管理・運用及びアプリケーション利用の同異点について実践的に学ぶ。またグラフィックスツールと画像処理について、素材の撮影、写真修整、加工といった一連の編集工程を、作品制作を通じて習得することで、さまざまな目的やメディアに対応可能な画像作成・加工編集技能を身につける。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：コンピュータ演習Ⅰ／Ⅱの内容を復習しておくこと 授業：ローカルシステムとクラウドシステム 復習：ローカル上のデータとクラウド上のデータの同異点を理解する</p> <p>【第2回】 予習：デジタルとアナログの違いについて調べておく 授業：ペイント系ツール入門1 - ペイント系ツールの環境構築と基本操作 復習：写真データの扱い方を確認しておく</p> <p>【第3回】 予習：写真の色調補正・明るさ・コントラストについて調べておく 授業：ペイント系ツール入門2 - 修整機能・フィルターの使用 復習：画像加工機能について確認しておく</p> <p>【第4回】 予習：デジタルカメラの機構について調べておく 授業：デジタルカメラとデジタル写真データの取り扱い 復習：デジタルカメラとデータについて確認しておく</p> <p>【第5回】 予習：写真の切り抜きについて調べておく 授業：ペイント系ツール入門3 - 切り取り・切り抜き1 復習：画像の切り抜きの仕組みを理解しておく</p> <p>【第6回】 予習：写真の切り抜きについて調べておく 授業：ペイント系ツール入門3 - 切り取り・切り抜き2 復習：画像の切り抜きの仕組みを理解しておく</p> <p>【第7回】 予習：制作の完成イメージを持ち、必要な素材の準備を始める 授業：ペイント系ツール入門4 - レイヤー・合成機能 復習：レイヤー機能による画像編集の役割について理解する</p> <p>【第8回】 予習：デジタル写真の撮り方について調べておく 授業：デジタルカメラによる写真撮影技能概説 復習：デジタルカメラの機能を理解しておく</p> <p>【第9回】 予習：授業で取り扱ってきた写真編集の機能について復習しておく 授業：実習・制作課題1 - コラージュ写真制作1 復習：必要な画像編集作業を進めておく</p> <p>【第10回】 予習：制作の完成イメージを確認しておく 授業：実習・制作課題1 - コラージュ写真制作2 復習：制作課題を進め、完成の目処を立てる</p> <p>【第11回】 予習：制作の完成イメージと必要な工程を確認しておく 授業：実習・制作課題1 - コラージュ写真制作3 復習：制作課題を進め、完成させる</p>			

【第 12 回】
 予習 : 写真素材を用意しておく
 授業 : 実習・制作課題 2 - フォトキューブ制作 1
 復習 : 制作の意図を理解し、作品に反映する
 【第 13 回】
 予習 : 写真素材の編集・加工しておく
 授業 : 実習・制作課題 2 - フォトキューブ制作 2
 復習 : 制作を進めておくこと
 【第 14 回】
 予習 : 制作課題を完了させておく
 授業 : 実習・制作課題 2 - フォトキューブ発表
 復習 : 自分が制作したもの、ほかの学生が制作したものを相互に評価する
 【第 15 回】
 予習 : これまでの学習内容を復習しておく
 授業 : まとめ
 復習 : 学習内容をふりかえり、まとめておくこと

授業開始前学習	コンピュータ演習 I および同 II の内容を復習しておくこと							
授業内課題の フィードバックの方法	次の回に復習として全体に解説を行う。返却時、個別にアドバイスを行う。							
テキスト・教材	適宜指示する							
参考書								
評価の基準と方法	毎時間出される課題 80%と授業態度 20%で評価を決める。課題に関しては、内容や出来映えも評価対象とする。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				○	
関連科目	コンピュータ演習 I、コンピュータ演習 II							
その他								
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	コンピュータ演習Ⅳ		
科目分類	100-130-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Computer Laboratory Ⅳ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	星野 好晃	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	星野 好晃	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	コンピュータ演習Ⅳではより広くコンピュータの仕組みについて取り扱う。コンピュータシステムの基盤のひとつとしてプログラムの基礎的な仕組みを知り、コンピュータ処理について体験的に学ぶ。また、情報発信の環境は従来の紙メディアによる発信だけでなくスマートフォンとSNSにより飛躍的に広がっている。コンピュータ演習Ⅲで扱ったさまざまなメディアへ対応する技能の一つとして、制作課題を通じてドロー系グラフィックツールの基本を取り扱う。ドロー系ツールの活用方法を体験的に学習する中で出力するメディアの特性を理解し、さまざまなメディアに対応して自分で制作・出力する技能を習得する。		
到達目標	プログラム処理の基礎及びグラフィックツールの基本を学ぶ。プログラム処理の基礎では、プログラミングの基礎的な仕組みと要素を知り、コンピュータ処理の流れを理解する。グラフィックツールの基本では、素材の撮影、オブジェクト作成、レイアウトといった一連の編集工程について作品制作を通じて習得することで、デジタル・アナログに依らない幅広い情報発信の技能を身につける。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
【第1回】 予習：プログラミングについて基本を確認しておくこと 授業：プログラミング基礎 1 復習：プログラミングの基礎と要素を確認・理解しておく			
【第2回】 予習：プログラミングについて基本と要素を理解しておくこと 授業：プログラミング基礎 2 復習：プログラミングの仕組みを確認し、プログラムの動作を設計する			
【第3回】 予習：プログラミングについて基本と要素を理解しておくこと 授業：プログラミング課題 復習：簡単なプログラムを完成させ、プログラミングの基礎を理解すること			
【第4回】 予習：ペンツールの機能について調べておく 授業：ドロー系ツール入門 1 - ペンツール 復習：ベジェ曲線の特徴と扱い方について復習しておくこと			
【第5回】 予習：トレースの手順について調べておく 授業：ドロー系ツール入門 2 - イラストレーションのトレース 復習：下絵からペンツールでトレースしてイラストレーションを描けるよう練習しておくこと			
【第6回】 予習：オープンパスとクローズパスについて調べておく 授業：ドロー系ツール入門 3 - パスの連結と塗りつぶし 復習：ペンツールで自由にオブジェクトを描けるよう練習しておくこと			
【第7回】 予習：イラストレーションの構造について調べておく 授業：ドロー系ツール入門 4 - オブジェクトの組み合わせ 復習：オブジェクトの組み合わせでのイラストレーション構築について理解すること			
【第8回】 予習：デジタル写真の撮り方について調べておく 授業：デジタルカメラによる写真撮影技能概説 復習：デジタルカメラの機能を理解しておく			
【第9回】 予習：グリッドシステムについて調べておく 授業：ドロー系ツール入門 5 - ガイドとグリッドシステムによるレイアウト 復習：さまざまなメディアのレイアウト技法について調べておくこと			
【第10回】 予習：テキスト機能について復習しておくこと 授業：ドロー系ツール入門 6 - テキスト機能とトリミング機能 復習：仕上げをおこない、制作を完成させておくこと			
【第11回】 予習：DTPや印刷メディアについて確認しておくこと 授業：実習・制作課題 - プロトタイプ 復習：プロトタイプを制作し、完成イメージを作っておく			

【第 12 回】
 予習 : 写真素材を用意しておく
 授業 : 実習・制作課題 - ブックレット制作
 復習 : プロトタイプを基にレイアウトの下地を制作する

【第 13 回】
 予習 : 完成イメージを具体的に決めておくこと
 授業 : 実習・制作課題 - ブックレット制作
 復習 : 必要な作業を進め完成の目処を立てておくこと

【第 14 回】
 予習 : 仕上げをおこない、制作を完成させておくこと
 授業 : 最終確認とデータ出力及び提出
 復習 : 印刷用データに必要な要件を確認しておくこと

【第 15 回】
 予習 : これまでの授業をふりかえっておくこと
 授業 : ふりかえり
 復習 : これまでの学習内容まとめ、理解すること

授業開始前学習	履修者はコンピュータ演習 I、II 及びコンピュータ演習 III の内容を復習しておくこと							
授業内課題の フィードバックの方法	次の回到復習として全体に解説を行う。返却時、個別にアドバイスを行う。							
テキスト・教材	適宜指示する							
参考書								
評価の基準と方法	毎時間出される課題 80%と授業態度 20%で評価を決める。課題に関しては、内容や出来映えも評価対象とする。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎				○	
関連科目	コンピュータ演習 I、コンピュータ演習 II、コンピュータ演習 III							
その他	本演習は実習的に授業を進めます。コンピュータ演習 III を修得していなくても履修できます。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	日本語 A I		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Japanese A I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	中尾 真樹	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	中尾 真樹	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	<p>大学で授業を受けるための総合的な日本語能力を身につけることを目標とする。「読む・書く・聞く・話す」という4技能の習得を目指す。特に講義を聞くための聴解力と、ゼミや研究発表のための口頭表現能力を養うことに重点を置く。同時に日本語能力試験 N1 レベルの語彙・文型を身につけ、表現力の向上を図る。</p> <p>聞きやすくなりやすい発音で話せるようになること、人前で話すことに慣れること、そして論理的な表現ができるようになることを目指す。この授業では発表とディスカッションを行う。</p>		
到達目標	<p>1) 語彙を増やし、話の内容に即した表現ができるようになる。</p> <p>2) 日本語能力検定試験 N1 レベルの語彙・文型が身につく。</p> <p>3) 時事問題について、幅広く意見を言えるようになる。</p>		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：印象に残る自己紹介を考えておく。 授業：自己紹介（1）：スピーチをするときの段取りを身につける。（発表） 「時間・時期に関する文型」の学習。 復習：授業で学習した文型を使って文を作る。</p> <p>【第2回】 予習：前回配布したプリントの内容を見直す。 授業：自己紹介（2）：聞き手が聞きとりやすい発声やスピードを身につける。（発表） 「立場・状況・場合に関する文型」の学習。 復習：立場・状況・場合に関する文型を使って文を作る。</p> <p>【第3回】 予習：前回配布したプリントの内容を見直す。 授業：時事問題を扱った新聞記事を読み、内容について話し合う。（ディスカッション） 「限定に関する文型」の学習。 復習：授業で取り上げた時事問題について調べ、意見をまとめる。限定の文型を使って文を作る。</p> <p>【第4回】 予習：前回配布したプリントの内容を見直す。 授業：前回取り上げた時事問題について、各自意見を発表する。（発表） 「例示・比喩に関する文型」の学習。 復習：例示・比喩に関する文型を使って文を作る。</p> <p>【第5回】 予習：ニュースや新聞を見て、時事問題を調べる。 授業：時事問題を扱った新聞記事を読み、内容について話し合う。（ディスカッション） 「対比に関する文型」の学習。 復習：前回取り上げた時事問題について調べ、意見をまとめる。対比に関する文型を使って文を作る。</p> <p>【第6回】 予習：これまでに学習した文型について復習する。 授業：文型に関する小テスト。 前回取り上げた時事問題について、各自意見を発表する。（発表） 復習：小テストで出題された文型を使って文を作る。</p> <p>【第7回】 予習：自分の出身地について、情報をまとめる。 授業：学生の出身地紹介（1）：聞き手が興味をもつようなテーマを選びを考える。（発表） 「同時・2つの事柄を述べる文型」の学習。 復習：同時・2つの事柄を述べる文型を使って文を作る。</p> <p>【第8回】 予習：前回学んだ発表の仕方について復習する。 授業：学生の出身地紹介（2）：発表に際しては問題点を絞って深く考察することを学ぶ。（発表） 「不変・無関係に関する文型」の学習。 復習：不変・無関係に関する文型を使って文を作る</p> <p>【第9回】 予習：ニュースや新聞を見て、時事問題を調べる。 授業：時事問題を扱った新聞記事を読み、内容について話し合う。（ディスカッション） 「強調・繰り返しに関する文型」の学習。 復習：強調・繰り返しに関する文型を使って文を作る。</p>			

<p>【第10回】 予習：前回取り上げた時事問題について調べ、意見をまとめる。 授業：前回取り上げた時事問題について、各自意見を発表する。(発表) 「逆接・意外な気持ちに関する文型」の学習。 復習：逆接・意外な気持ちに関する文型を使って文を作る。</p> <p>【第11回】 予習：ニュースや新聞を見て、時事問題を調べる。 授業：時事問題を扱った新聞記事を読み、内容について話し合う。(ディスカッション) 「結果に関する文型」の学習。 復習：結果に関する文型を使って文を作る。</p> <p>【第12回】 予習：前回取り上げた時事問題について調べ、意見をまとめる。 授業：前回取り上げた時事問題について、各自意見を発表する。(発表) 「条件に関する文型」の学習。 復習：条件に関する文型を使って文を作る。</p> <p>【第13回】 予習：ニュースや新聞を見て時事問題を調べる。 授業：時事問題を扱った新聞記事を読み、内容について話し合う。(ディスカッション) 「基準に関する文型」の学習 復習：基準に関する文型を使って文を作る。</p> <p>【第14回】 予習：前回取り上げた時事問題について調べ、意見をまとめる。これまでに学習した文型を見直す。 授業：文型に関する小テスト。 前回取り上げた時事問題について、各自意見を発表する。(発表) 復習：小テストで取り上げた文型を使って、文を作る。</p> <p>【第15回】 予習：ニュースや新聞を見て時事問題について調べる。 授業：時事問題について、問題点を明確にしながらかディスカッションする。(発表・ディスカッション) 復習：これまでに学んだ発表の仕方を復習する。</p>
--

授業開始前学習	N2,N3の語彙・文法などを復習しておくこと。							
授業内課題の フィードバックの方法	受講者の発表について、直すべきところなどを指摘する。随時小テストを実施して、次の授業でフィードバックする。							
テキスト・教材	テキストは使用しない。授業時にプリントを配布する。							
参考書	随時指示する。							
評価の基準と方法	課題への取り組みと到達度を総合的に評価する。発表 60%、ディスカッション 20%、小テスト 20%。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目								
その他	クラスの人数、レベルによって授業内容が多少変わることもある。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	日本語 B I		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Japanese B I	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	志賀 幹郎	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	志賀 幹郎	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	<p>日本語を読む力と書く力をつける。 授業は日本語を読む活動が中心で、課題として作文を課す。 読む活動では、日本語の語彙や表現について学ぶ。そして、内容に関して、 情報や意見を交換する。漢字を読む力を強化するために、読み物の中に出てきた 言葉を使って、漢字クイズを行う。 基本的に日本語 B I → 日本語 B II → 日本語 B III → 日本語 B IV と、レベルが上がる。 必要性、関心、実力に応じた課題が設定されることがある。</p> <p>日本語 B I では、主に短く平易なニュース記事を読む。 書く活動としては、人物紹介文、報告文などに取り組む。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの日本語や短いニュース記事が楽に読める ・短い分量で簡単な内容なら、適切な表現で文法を間違わずに書ける ・日本語を読んだり書いたりすることが楽しくなる 		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第 1 回】 予習：意味が分からない日本語を集めておく 授業：集めてきた日本語を紹介する（発表） 復習：分かるようになった日本語を確認する</p> <p>【第 2 回】 予習：自己紹介文を書く 授業：短いニュース記事（人物紹介）を読む（ディスカッション） 復習：人物を描写するための語彙を増やす</p> <p>【第 3 回】 予習：自己紹介文を仕上げる 授業：短いニュース記事（人物紹介）を読む（ディスカッション）／短文理解（設問形式。N3～N2 レベル） 復習：既習の文法を確認する</p> <p>【第 4 回】 予習：自己紹介文を読む練習をしておく 授業：自己紹介文（作文）を読む（発表／ディスカッション） 復習：クラスメートの自己紹介文を再読し、語彙・文法を確認する</p> <p>【第 5 回】 予習：人物紹介文を書く 授業：短いニュース記事（人物紹介）を読む（ディスカッション） 復習：人物を描写するための語彙を増やす</p> <p>【第 6 回】 予習：人物紹介文を仕上げる 授業：短いニュース記事（人物紹介）を読む（ディスカッション）／短文理解（設問形式。N3～N2 レベル） 復習：既習の文法を確認する</p> <p>【第 7 回】 予習：人物紹介文を読む練習をしておく 授業：人物紹介文（作文）を読む（発表／ディスカッション） 復習：クラスメートの人物紹介文を再読し、語彙・文法を確認する</p> <p>【第 8 回】 予習：身近な出来事を伝える作文を書く 授業：短いニュース記事（出来事）を読む（ディスカッション） 復習：出来事を伝えるための語彙を増やす</p> <p>【第 9 回】 予習：身近な出来事を伝える作文を仕上げる 授業：短いニュース記事（出来事）を読む（ディスカッション）／短文理解（設問形式。N3～N2 レベル） 復習：既習の文法を確認する</p> <p>【第 10 回】 予習：身近な出来事を伝える作文を読む練習をしておく 授業：身近な出来事を伝える作文を読む（発表／ディスカッション） 復習：身近な出来事を伝えるクラスメートの作文を再読し、語彙・文法を確認する</p>			

<p>【第11回】 予習：社会での出来事を伝える作文を書く 授業：短いニュース記事（出来事）を読む（ディスカッション） 復習：出来事を伝えるための語彙を増やす</p> <p>【第12回】 予習：社会での出来事を伝える作文を仕上げる 授業：短いニュース記事（出来事）を読む（ディスカッション）／短文理解（設問形式。N3～N2レベル） 復習：既習の文法を確認する</p> <p>【第13回】 予習：社会での出来事を伝える作文を読む練習をしておく 授業：社会での出来事を伝える作文を読む（発表／ディスカッション） 復習：社会での出来事を伝えるクラスメートの作文を再読し、語彙・文法を確認する</p> <p>【第14回】 予習：様々なニュース記事を読んでおく 授業：ニュースを紹介する（発表／ディスカッションー前半） 復習：新出語彙を理解する</p> <p>【第15回】 予習：様々なニュース記事を読んでおく 授業：ニュースを紹介する（発表／ディスカッションー後半） 復習：新出語彙を理解する</p>								
授業開始前学習	これまで学習した日本語の文字・語彙・文法について復習しておくこと。							
授業内課題の フィードバックの方法	課題（作文）は、提出の翌週に、添削して返却する。							
テキスト・教材	教科書は使用しない。適宜、プリントを配布する。							
参考書	授業時に、適宜紹介する。							
評価の基準と方法	エッセイ・作文 30%、漢字クイズ 30%、授業時の日本語力評価（発表・ディスカッション・ニュース記事音読・設問解答等）20%、平常点 20%（授業への取り組み、課題（作文等）提出）							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目	「日本語A I」「日本事情 I」。日本語科目は、それぞれが「聞く・話す」「読む・書く」を中心に授業を進めながら、4技能の力を高めていく。日本事情を知ることは、新聞記事等の内容理解に役立つ。							
その他	授業の進め方やプリント教材の内容は、学生の人数や日本語の力によって変更になる場合がある。学生からの提案も歓迎する。 「遅刻 3回で、欠席 1回分」「30分以上の遅刻は、欠席扱い」とする。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30時間（2時間×15週）＋予習・復習時間 15時間（1時間×15週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	日本語 A II		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Japanese A II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	中尾 真樹	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	中尾 真樹	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	<p>大学で授業を受けるための総合的な日本語能力を身につけることを目標とする。「読む・書く・聞く・話す」という4技能の習得を目指す。特に講義を聞くための聴解力と、ゼミや研究発表のための口頭表現能力を養うことに重点を置く。同時に日本語能力試験 N1レベルの語彙・文型を身につけ、表現力の向上を図る。</p> <p>聞きやすくなりやすい発音で話せるようになること、人前で話すことに慣れること、そして論理的な表現ができるようになることを目指す。この授業では発表、ディスカッションを行う。</p>		
到達目標	<p>1) 語彙を増やし、話の内容に即した表現ができるようになる。</p> <p>2) 日本語能力検定試験 N1レベルの語彙・文型が身につく。</p> <p>3) 時事問題について、幅広く意見を言えるようになる。</p>		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：ニュースや新聞を見て時事問題について調べる。 授業：時事問題を扱った新聞記事を読み、内容について話し合う。（ディスカッション） 「方法に関する文型」の学習。 復習：方法に関する文型を使って文を作る。</p> <p>【第2回】 予習：前回取り上げた時事問題について調べ、意見をまとめる。 授業：前回取り上げた時事問題について、各自意見を発表する。（発表） スピーチの導入について、言葉遣いや決まり文句を確認する。 「様子に関する文型」を学習する。 復習：様子に関する文型を使って文を作る。</p> <p>【第3回】 予習：ニュースや新聞を見て時事問題について調べる。 授業：時事問題を扱った新聞記事を読み、内容について話し合う。（ディスカッション） スピーチをする際に、声の大きさや姿勢などが重要であることを確認する。 「傾向に関する文型（1）」を学習する。 復習：傾向に関する文型を使って文を作る。</p> <p>【第4回】 予習：前回取り上げた時事問題について調べ、意見をまとめる。 授業：前回取り上げた時事問題について、各自意見を発表する。（発表） 予期せぬ質問などへの対応方法を考える。 「傾向に関する文型（2）」を学習する。 復習：傾向に関する文型を使って文を作る。</p> <p>【第5回】 予習：ニュースや新聞を見て時事問題について調べる。 授業：時事問題を扱った新聞記事を読み、内容について話し合う。（ディスカッション） パワーポイントなどの資料は、情報の読み取りやすさが重要であることを確認する。 「話題・対象に関する文型」を学習する。 復習：話題・対象に関する文型を使って文を作る。</p> <p>【第6回】 予習：これまでに学習した文型を見直す。前回取り上げた時事問題について調べ、意見をまとめる。 授業：小テスト：これまでに学習した文型について 前回取り上げた時事問題について、各自意見を発表する。（発表） スピーチはテーマを絞り、問題点を明確にする必要があることを確認する。 復習：小テストで扱った文型を使って文を作る。</p> <p>【第7回】 予習：ニュースや新聞を見て時事問題について調べる。 授業：時事問題を扱った新聞記事を読み、内容について話し合う。（ディスカッション） スピーチの内容を考える際には、聞き手が何を求めているかを考える必要があることを確認する。 「意思・意向に関する文型」を学習する。 復習：意思・意向に関する文型を使って文を作る。新聞記事の中から副詞を用いた接続表現を探し、ほかの言葉に置き換える。</p> <p>【第8回】 予習：前回取り上げた時事問題について調べ、意見をまとめる。 授業：前回取り上げた時事問題について、各自意見を発表する。（発表） 日頃から時事問題に接しておくことの必要性を考える。 「理由・根拠に関する文型」を学習する。</p>			

復習：理由・根拠に関する文型を使って文を作る。
【第9回】
予習：ニュースや新聞を見て時事問題について調べる。
授業：時事問題を扱った新聞記事を読み、内容について話し合う。(ディスカッション)
SNS 以外の情報に目配りすることの重要性を考える。
「目的に関する文型」を学習する。
復習：目的に関する文型を使って文を作る。
【第10回】
予習：前回取り上げた時事問題について調べ、意見をまとめる。
授業：前回取り上げた時事問題について、各自意見を発表する。(発表)
時事問題の情報源には信頼性に差があることを確認する。
「可能・不可能に関する文型」を学習する。
復習：可能・不可能に関する文型を使って文を作る。
【第11回】
予習：ニュースや新聞を見て時事問題について調べる。
授業：時事問題を扱った新聞記事を読み、内容について話し合う。(ディスカッション)
情報源の信頼性をどのように見分けるかを考える。
「評価に関する文型」を学習する。
復習：評価に関する文型を使って文を作る。
【第12回】
予習：前回取り上げた時事問題について調べ、意見をまとめる。
授業：前回取り上げた時事問題について、各自意見を発表する。(発表)
特定の時事問題について、いくつかの視点を設定して論じる練習をする。
「感想に関する文型」を学習する。
復習：感想に関する文型を使って文を作る。
【第13回】
予習：ニュースや新聞を見て時事問題について調べる。
授業：時事問題を扱った新聞記事を読み、内容について話し合う。(ディスカッション)
意見を述べる際には、まず問題点を明確にする必要があることを確認する。
「見方・考え方に関する文型」を学習する。
復習：見方・考え方に関する文型を使って文を作る。
【第14回】
予習：これまでに学んだ文型を見直す。
授業：小テスト：これまでに学習した文型について
前回取り上げた時事問題について、各自意見を発表する。(発表)
特定の時事問題について、各自が設定した視点を比較する。
「禁止に関する文型」を学習する。
復習：禁止に関する文型を使って文を作る。
【第15回】
予習：ニュースや新聞を見て時事問題について調べる。
授業：時事問題を扱った新聞記事を読み、内容について話し合う。(ディスカッション)
復習：授業で行ったディスカッションで、他者が設定した視点からあらためて問題を見直す。

授業開始前学習	N2,N3 の学習内容を確認しておくこと。							
授業内課題の フィードバックの方法	受講者の発表について、直すべきところなどを指摘する。随時小テストを実施して、次の授業でフィードバックする。							
テキスト・教材	テキストは使用しない。授業時にプリントを配布する。							
参考書	随時指示する。							
評価の基準と方法	課題への取り組みと到達度を総合的に評価する。発表 60%、ディスカッション 20%、小テスト 20%。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目								
その他	クラスの人数、レベルによって授業内容が多少変わることもある。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	日本語 B II		
科目分類	100-110-21	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Japanese B II	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	志賀 幹郎	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	志賀 幹郎	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	<p>日本語を読む力と書く力をつける。 授業は日本語を読む活動が中心で、課題として作文を課す。 読む活動では、日本語の語彙や表現について学ぶ。そして、内容に関して、 情報や意見を交換する。漢字を読む力を強化するために、読み物の中に出てきた 言葉を使って、漢字クイズを行う。 基本的に日本語 B I → 日本語 B II → 日本語 B III → 日本語 B IV と、レベルが上がる。 必要性、関心、実力に応じた課題が設定されることがある。</p> <p>日本語 B II では、レベル相当の読解問題を解くことにより、読解力の定着を図る。 また、様々なテキストに触れることで、読む楽しみを広げる。 書くことに関しては、意見文、解説文に取り組む。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・初級、中級の語彙・文法を用いた読解問題が解けるようになる。 ・テキストの種類に応じて読む進めることができるようになる。 ・論理的で説得力のある文章が書けることを目標とする。 		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第 1 回】 予習：N3～N2 レベルの語彙・文法を見直しておく 授業：長文理解（設問形式。N3～N2 レベル） 復習：間違った箇所について、納得がいくまで理解を進める</p> <p>【第 2 回】 予習：作文「日本語について気づいたこと」を書く 授業：長めのニュース記事（言語関連）を読む（ディスカッション） 復習：言語関連の語彙を増やす</p> <p>【第 3 回】 予習：作文「日本語について気づいたこと」を仕上げる 授業：長めのニュース記事（言語関連）を読む（ディスカッション）／長文理解（設問形式。N3～N2 レベル） 復習：既習の文法を確認する</p> <p>【第 4 回】 予習：作文「日本語について気づいたこと」を読む練習をしておく 授業：作文「日本語について気づいたこと」を読む（発表／ディスカッション） 復習：クラスメートの作文「日本語について気づいたこと」を再読し、語彙・文法を確認する</p> <p>【第 5 回】 予習：作文「教育について」を書く 授業：長めのニュース記事（教育関連）を読む（ディスカッション） 復習：教育関連の語彙を増やす</p> <p>【第 6 回】 予習：作文「教育について」を仕上げる 授業：長めのニュース記事（教育関連）を読む（ディスカッション）／長文理解（設問形式。N3～N2 レベル） 復習：既習の文法を確認する</p> <p>【第 7 回】 予習：作文「教育について」を読む練習をしておく 授業：作文「教育について」を読む（発表／ディスカッション） 復習：クラスメートの作文「教育について」を再読し、語彙・文法を確認する</p> <p>【第 8 回】 予習：作文「ニュース&コメント」を書く 授業：長めのニュース記事（時事問題）を読む（ディスカッション） 復習：時事問題の語彙を増やす</p> <p>【第 9 回】 予習：作文「ニュース&コメント」を仕上げる 授業：長めのニュース記事（時事問題）を読む（ディスカッション）／長文理解（設問形式。N3～N2 レベル） 復習：既習の文法を確認する</p> <p>【第 10 回】 予習：作文「ニュース&コメント」を読む練習をしておく 授業：作文「ニュース&コメント」を読む（発表／ディスカッション） 復習：クラスメートの作文「ニュース&コメント」を再読し、語彙・文法を確認する</p>			

<p>【第11回】 予習：作文「私の意見」を書く 授業：長めのニュース記事（論説）を読む（ディスカッション） 復習：意見を述べるための語彙を増やす</p> <p>【第12回】 予習：作文「私の意見」を仕上げる 授業：長めのニュース記事（論説）を読む（ディスカッション）／長文理解（設問形式。N3～N2レベル） 復習：既習の文法を確認する</p> <p>【第13回】 予習：作文「私の意見」を読む練習をしておく 授業：作文「私の意見」を読む（発表／ディスカッション） 復習：クラスメートの作文「私の意見」を再読み、語彙・文法を確認する</p> <p>【第14回】 予習：様々な主張や意見を知っておく 授業：主張や意見を紹介する（発表／ディスカッション前半） 復習：新出語彙を理解する</p> <p>【第15回】 予習：様々な主張や意見を知っておく 授業：主張や意見を紹介する（発表／ディスカッション後半） 復習：新出語彙を理解する</p>								
授業開始前学習	日本語 B I で学習した内容を復習しておく。							
授業内課題の フィードバックの方法	課題（作文）は、提出の翌週に、添削して返却する。							
テキスト・教材	教科書は使用しない。適宜、プリントを配布する。							
参考書	授業時に、適宜紹介する。							
評価の基準と方法	エッセイ・作文 30%、漢字クイズ 30%、授業時の日本語力評価（発表・ディスカッション・ニュース記事音読・設問解答等）20%、平常点 20%（授業への取り組み、課題（作文等）提出）							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目	「日本語 A II」「日本事情 II」。日本語科目は、それぞれが「聞く・話す」「読む・書く」を中心に授業を進めながら、4 技能の力を高めていく。日本事情を知ることが、新聞記事等の内容理解に役立つ。							
その他	授業の進め方やプリント教材の内容は、学生の人数や日本語の力によって変更になる場合がある。学生からの提案も歓迎する。 「遅刻 3 回で、欠席 1 回分」「30 分以上の遅刻は、欠席扱い」とする。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	日本語 AⅢ		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Japanese AⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	中尾 真樹	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	中尾 真樹	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	総合的な日本語力の向上を目指す、特に日本人学生の中でも臆せず自己表現できるよう、聴解力と口頭表現能力を伸ばすことに重点を置く。口頭要約表現や意見表明および論理的に相手を説得する方法を身につける。この授業では発表とディスカッションを行う。		
到達目標	1) 語彙を増やし、話の内容に即した表現ができるようになる。 2) 時事ニュースに親しむことで、広い視野が身につく。 3) 日中間のさまざまな問題について、日本語で討論できるようになる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：日本のニュースを見て疑問に思ったことを挙げておく。 授業：今年に入ってから気になったニュースについてコメントする。（発表・ディスカッション） 復習：授業で挙げられたニュースの中で、とくに気になったものをノートにまとめる。</p> <p>【第2回】 予習：日本の成人年齢について調べる。 授業：日本の成人年齢について。母国の成人年齢と比較し、問題点を話し合う。（ディスカッション） 復習：ディスカッションで挙げた問題点をノートにまとめる。</p> <p>【第3回】 予習：母国のネットで紹介されている日本の観光地を調べる。 授業：日本の有名観光地について。日本の観光地の人気ランキングをまとめ、理由を考察する。（発表・ディスカッション） 復習：神社仏閣、温泉など有名観光地の人気ランキングをノートにまとめる。</p> <p>【第4回】 予習：母国のブログなどで紹介されている日本の穴場的観光地を調べる。 授業：日本の穴場的観光地について。母国からの観光客が訪れる観光地が、近年どう変わってきたかを話し合う。（発表・ディスカッション） 復習：母国からの観光客が訪れる観光地が、近年どう変わってきたかをノートにまとめる。</p> <p>【第5回】 予習：自分の発表内容について、あらためて見直す。 授業：各自、日本に関するテーマを決めて発表を行う。（発表・ディスカッション） 復習：ディスカッションの内容をノートにまとめる。</p> <p>【第6回】 予習：母国のネットで紹介されている日本人の生活習慣を調べる。 授業：日本人の生活習慣について（入浴・挨拶など）日本の生活習慣が母国でどのように評価されているかを話し合う。（発表・ディスカッション） 復習：日本の生活習慣が母国でどのように評価されているかをノートにまとめる。</p> <p>【第7回】 予習：母国のネットで紹介されている日本人の公共意識を調べる。 授業：日本人の公共意識（マナーなど）について 日本と母国の公（おおよけ）意識の違いを話し合う。（発表・ディスカッション） 復習：日本と母国の公（おおよけ）意識の違いをノートにまとめる。</p> <p>【第8回】 予習：母国人がもつ日本の会社のイメージを調べる。 授業：日本人の労働に対する意識について 日本と中国の「仕事」に対する考え方の違いを話し合う。（発表・ディスカッション） 復習：日本と中国の「仕事」に対する考え方の違いをノートにまとめる。</p> <p>【第9回】 予習：日本と中国でそれぞれ人気のあるスポーツを調べる。 授業：日本人とスポーツについて 社会におけるスポーツの意味・重要性が、母国と日本で違うかどうか話し合う。（発表・ディスカッション） 復習：社会におけるスポーツの意味・重要性が、母国と日本でどう違うかノートにまとめる。</p> <p>【第10回】 予習：日本の家族の形態について調べる。 授業：恋愛・結婚意識について 日本と母国における結婚の条件について、共通点と相違点を話し合う。（発表・ディスカッション） 復習：日本と母国における結婚の条件について、共通点と相違点をノートにまとめる。</p> <p>【第11回】 予習：日本の少子化問題について調べる。 授業：少子化について 日本の少子化の原因と解決策について話し合う。（発表・ディスカッション） 復習：日本の少子化の原因と解決策についてノートにまとめる。</p> <p>【第12回】 予習：高齢化社会について調べる。 授業：高齢化社会について 日本と母国における高齢化問題の共通点と相違点を話し合う。（発表・ディスカッション） 復習：日本と母国における高齢化問題の共通点と相違点をノートにまとめる。</p>			

<p>【第 13 回】 予習：日本の格差問題について調べる。 授業：格差問題 日本と母国における格差問題の共通点と相違点を話し合う。(発表・ディスカッション) 復習：日本と母国における格差問題の共通点と相違点をノートにまとめる。</p> <p>【第 14 回】 予習：日本の学歴意識について調べる。 授業：学歴社会について 日本と母国における学歴意識の共通点と相違点を話し合う。(発表・ディスカッション) 復習：日本と母国における学歴意識の共通点と相違点をノートにまとめる。</p> <p>【第 15 回】 予習：自分の発表内容について、あらためて見直す。 授業：各自、日本に関するテーマを決めて発表を行う。(発表・ディスカッション) 復習：ディスカッションの内容をノートにまとめる。</p>								
授業開始前学習	N1,N2 の知識を復習しておく。							
授業内課題の フィードバックの方法	毎回のディスカッションについて授業中にフィードバックする。また、期間中、学生によるプレゼンテーションを 2 回実施し、内容、発表方法などについてコメントする。随時小テストを実施し、次回授業にてフィードバックする。							
テキスト・教材	必要に応じてプリントを配布する。							
参考書	随時指示する。							
評価の基準と方法	総合的に評価する。発表 60%、ディスカッション 20%、小テスト 20%。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目								
その他	クラスの数、レベルによって授業内容が変わることもある。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	日本語 BⅢ		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Japanese BⅢ	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	志賀 幹郎	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	志賀 幹郎	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	<p>日本語を読む力と書く力をつける。 授業は日本語を読む活動が中心で、課題として作文を課す。 読む活動では、日本語の語彙や表現について学ぶ。そして、内容に関して、情報や意見を交換する。漢字を読む力を強化するために、読み物の中に出てきた言葉を使って、漢字クイズを行う。 基本的に日本語 BⅠ→日本語 BⅡ→日本語 BⅢ→日本語 BⅣと、レベルが上がる。 必要性、関心、実力に応じた課題が設定されることがある。</p> <p>日本語 BⅢでは、学生の専門分野に関連したニュース記事等を読む。 書くことでは、自分の専門分野の面白さなどを生き生きと伝えるための表現力を磨く</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・長文を読み切る読解力を身につけることを目的とする。 ・自分の専門分野の基礎レベルの文章が読めるようになる。 ・専門に關係する語彙力を強化するとともに、面白さを伝えるための表現力を向上させる。 		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：春休みに取り組んだことについて話せるようにしておく 授業：春休みに取り組んだこと（発表／ディスカッション） 復習：新出語彙・表現について確認する</p> <p>【第2回】 予習：作文「専門に関する話」を書く 授業：長めのニュース記事（各専門関連）を読む（ディスカッション） 復習：専門に関する語彙を理解する</p> <p>【第3回】 予習：作文「専門に関する話」を仕上げる 授業：長めのニュース記事（各専門関連）を読む（ディスカッション）／短文理解（設問形式。N2～N1レベル） 復習：既習の文法を確認する</p> <p>【第4回】 予習：作文「専門に関する話」を読む練習をしておく 授業：作文「専門に関する話」を読む（発表／ディスカッション） 復習：クラスメートの作文「専門に関する話」を再読し、語彙・文法を確認する</p> <p>【第5回】 予習：作文「面白い授業」を書く 授業：長めのニュース記事（面白さを伝える内容）を読む（ディスカッション） 復習：面白さを伝えるための表現や工夫を理解する</p> <p>【第6回】 予習：作文「面白い授業」を仕上げる 授業：長めのニュース記事（面白さを伝える内容）を読む（ディスカッション）／短文理解（設問形式。N2～N1レベル） 復習：既習の文法を確認する</p> <p>【第7回】 予習：作文「面白い授業」を読む練習をしておく 授業：作文「面白い授業」を読む（発表／ディスカッション） 復習：クラスメートの作文「面白い授業」を再読し、語彙・表現を確認する</p> <p>【第8回】 予習：作文「故郷／私の好きな街」を書く 授業：長めのニュース記事（魅力を伝える内容）を読む（ディスカッション） 復習：魅力を伝えるための語彙や表現を身に付ける</p> <p>【第9回】 予習：作文「故郷／私の好きな街」を仕上げる 授業：長めのニュース記事（魅力を伝える内容）を読む（ディスカッション）／短文理解（設問形式。N2～N1レベル） 復習：既習の文法を確認する</p> <p>【第10回】 予習：作文「故郷／私の好きな街」を読む練習をしておく 授業：作文「故郷／私の好きな街」を読む（発表／ディスカッション） 復習：クラスメートの作文「故郷／私の好きな街」を再読し、語彙・表現を確認する</p>			

<p>【第11回】 予習：作文「歴史的イベント／忘れられないあの時」を書く 授業：長めのニュース記事（歴史的イベント）を読む（ディスカッション） 復習：歴史的イベントを報じる際の語彙や表現を確認する</p> <p>【第12回】 予習：作文「歴史的イベント／忘れられないあの時」を仕上げる 授業：長めのニュース記事（歴史的イベント）を読む（ディスカッション）／短文理解（設問形式。N2～N1レベル） 復習：既習の文法を確認する</p> <p>【第13回】 予習：作文「歴史的イベント／忘れられないあの時」を読む練習をしておく 授業：作文「歴史的イベント／忘れられないあの時」を読む（発表／ディスカッション） 復習：クラスメートの作文「歴史的イベント／忘れられないあの時」を再読み、語彙・表現を確認する</p> <p>【第14回】 予習：あらかじめ専門の面白さを考えておく 授業：自分の専門の面白さを語る（発表／ディスカッション－前半） 復習：新出語彙を理解する</p> <p>【第15回】 予習：あらかじめ専門の面白さを考えておく 授業：自分の専門の面白さを語る（発表／ディスカッション－後半） 復習：新出語彙を理解する</p>								
授業開始前学習	中級レベルの語彙・文法を身につけておくこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	課題（作文）は、提出の翌週に、添削して返却する。							
テキスト・教材	教科書は使用しない。適宜、プリントを配布する。							
参考書	授業時に、適宜紹介する。							
評価の基準と方法	エッセイ・作文 30%、漢字クイズ 30%、授業時の日本語力評価（発表・ディスカッション・ニュース記事音読・設問解答等）20%、平常点 20%（授業への取り組み、課題（作文等）提出）							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目	「日本語AⅢ」「日本事情Ⅲ」。日本語科目は、それぞれが「聞く・話す」「読む・書く」を中心に授業を進めながら、4技能の力を高めていく。日本事情を知ることは、新聞記事等の内容理解に役立つ。							
その他	授業の進め方やプリント教材の内容は、学生の人数や日本語の力によって変更になる場合がある。学生からの提案も歓迎する。 「遅刻3回で、欠席1回分」「30分以上の遅刻は、欠席扱い」とする。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	日本語 AIV		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Japanese AIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	中尾 真樹	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	中尾 真樹	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	パネルディスカッション、グラフを使った意見表明のスピーチ、ディベート（1対1）を通して、聴解力と口頭表現能力をさらに伸ばすことを目標とする。また、資料の読解、原稿やレポートの作成によって、総合的に日本語力が向上することを目指す。この授業ではディスカッションを行う。		
到達目標	1) 語彙を増やし、話の内容に即した表現ができるようになる。 2) 時事ニュースに親しみ、視野を広くすることができるようになる。		
アクティブ・ラーニング型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：夏期休業中のニュースを見て疑問に思ったことを挙げておく。 授業：夏期休業中、気になったニュースについてコメントする。（発表・ディスカッション） 復習：授業で挙げられたニュースの中で、とくに気になったものをノートにまとめる。</p> <p>【第2回】 予習：母国のネットで紹介されている日本のインフラ事情を調べる。 授業：日本のインフラが母国でどのように評価されているかを話し合う。（発表・ディスカッション） 復習：日本のインフラが母国でどのように評価されているかをノートにまとめる。</p> <p>【第3回】 予習：日本の自然災害について調べる。 授業：日本の火山活動と災害について。（ディスカッション） 復習：火山活動に関して、中国と日本の事情の相違をまとめる。</p> <p>【第4回】 予習：東日本大震災について調べる。 授業：東日本大震災の発生と被害について。（ディスカッション） 復習：東日本大震災の発生当時、海外にどのように情報が伝えられたのかまとめる。</p> <p>【第5回】 予習：防災について調べる。 授業：日本の防災意識について。（ディスカッション） 復習：身近なところからみられる災害対策を探してみる。</p> <p>【第6回】 予習：自分の発表内容について、あらためて見直す。 授業：各自、日本に関するテーマを決めて発表を行う。（発表・ディスカッション） 復習：ディスカッションの内容をノートにまとめる。</p> <p>【第7回】 予習：日本の少子化について調べる。 授業：少子化について。（ディスカッション） 復習：日本の少子化の原因と対策を考える。</p> <p>【第8回】 予習：日本の高齢化について調べる。 授業：高齢化社会について。（ディスカッション） 復習：日本と中国における高齢者の生活を比較する。</p> <p>【第9回】 予習：「公私」という概念を調べる。 授業：新聞記事「自分の子供の入学式のために仕事を休む教師」について。（ディスカッション） 復習：日本と中国における公私の概念の共通点と相違点を考える。</p> <p>【第10回】 予習：日本における夫婦別姓について。 授業：新聞記事「夫婦同姓は合憲」について。（ディスカッション） 復習：夫婦の姓について、各国の実情をまとめる。</p> <p>【第11回】 予習：日本の子育てに関する問題を調べる。 授業：新聞記事「子供に無断で触らないで」について。（ディスカッション） 復習：地域社会と子育ての関係について考える。</p> <p>【第12回】 予習：放送の公平性に関する政府見解を調べる。 授業：「放送の政治的公平性」について。（ディスカッション） 復習：日本と諸外国のジャーナリズムの政治性を比較する。</p> <p>【第13回】</p>			

<p>予習：日本における英語の早期教育について調べる。 授業：「小学校における英語教育」について。(ディスカッション) 復習：日本と中国の外国語教育を比較する。 【第14回】 予習：日本におけるインターネットの普及率を調べる。 授業：若者の生活とITの関係について。(ディスカッション) 復習：日本と中国の若者のIT利用の実態を比較する。 【第15回】 予習：自分の発表内容について、あらためて見直す。 授業：各自、日本に関するテーマを決めて発表を行う。(発表・ディスカッション) 復習：ディスカッションの内容をノートにまとめる。</p>								
授業開始前学習	N1,N2の知識を復習しておくこと。また、日頃からニュースや新聞を見て、社会問題に興味を持つこと。							
授業内課題のフィードバックの方法	毎回のディスカッションについて授業中にフィードバックする。また、期間中、学生によるプレゼンテーションを2回実施し、内容、発表方法などについてコメントする。随時小テストを実施し、次回授業にてフィードバックする。							
テキスト・教材	必要に応じてプリントを配布する。							
参考書								
評価の基準と方法	総合的に評価する。発表 60%、ディスカッション 20%、小テスト 20%。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目								
その他	クラスの人数、レベルによって授業内容が変わることもある。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 15 時間 (1 時間×15 週)							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	日本語 BIV		
科目分類	100-110-22	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Japanese BIV	授業区分	演習・実習・実技
科目責任者	志賀 幹郎	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	志賀 幹郎	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	-	研究室	-
授業概要	<p>日本語を読む力と書く力をつける。 授業は日本語を読む活動が中心で、課題として作文を課す。 読む活動では、日本語の語彙や表現について学ぶ。そして、内容に関して、 情報や意見を交換する。漢字を読む力を強化するために、読み物の中に出てきた 言葉を使って、漢字クイズを行う。 基本的に日本語 BⅠ→日本語 BⅡ→日本語 BⅢ→日本語 BⅣと、レベルが上がる。 必要性、関心、実力に応じた課題が設定されることがある。</p> <p>日本語 BⅣでは、N2~N1 レベル相当の読解問題を解くことにより、読解力の定着を図る。 また、小説を読み進めることで、読むことの充実感を味わう。 書くことに関しては、エッセイ（随筆）に取り組み、流れのある自然な日本語が作れるようにする。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・N2~N1 の語彙・文法を用いた読解問題が解けるようになる。 ・小説の筋や登場人物の人物描写が理解できるようになる。 ・文章全体の構成力と細かいエピソードを伝える描写力を身につけることを目標とする。 		
アクティブ・ラーニング 型授業	有		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：夏休みに取り組んだことについて話せるようにしておく 授業：夏休みに取り組んだこと（発表／ディスカッション） 復習：新出語彙・表現について確認する</p> <p>【第2回】 予習：エッセイ「季節の中で」を書く 授業：エッセイを読む（ディスカッション） 復習：読んだエッセイの内容に関連する語彙を調べる</p> <p>【第3回】 予習：エッセイ「季節の中で」を仕上げる 授業：エッセイを読む（ディスカッション）／長文理解（設問形式。N2~N1 レベル） 復習：既習の文法を確認する</p> <p>【第4回】 予習：エッセイ「季節の中で」を読む練習をしておく 授業：エッセイ「季節の中で」を読む（発表／ディスカッション） 復習：クラスメートのエッセイ「季節の中で」を再読し、語彙・表現を確認する</p> <p>【第5回】 予習：作文「私の好きな小説」を書く 授業：授業で読む小説（短編）の紹介文を読む（ディスカッション） 復習：授業で読む小説（短編）の作者などについて理解を深める</p> <p>【第6回】 予習：作文「私の好きな小説」を仕上げる 授業：授業で読む小説（短編）の紹介文を読む（続き）（ディスカッション）／長文理解（設問形式。N2~N1 レベル） 復習：既習の文法を確認する</p> <p>【第7回】 予習：作文「私の好きな小説」を読む練習をしておく 授業：作文「私の好きな小説」を読む（発表／ディスカッション） 復習：クラスメートの作文「私の好きな小説」を再読し、語彙・表現を確認する</p> <p>【第8回】 予習：授業で読む小説（短編）を読み始める（作品は未定。前年度は「ユニコーンを握らせる」（小川洋子）を読了） 授業：小説（短編）を読み始める（ディスカッション） 復習：読んだ部分の語彙・文法・表現を確認する</p> <p>【第9回】 予習：授業で読んでいる小説（短編）に関連したテーマの作文を書く 授業：小説（短編）を読み進める（ディスカッション）／長文理解（設問形式。N2~N1 レベル） 復習：既習の文法を確認する</p> <p>【第10回】 予習：授業で読んでいる小説（短編）に関連したテーマの作文を仕上げる 授業：小説（短編）を読み進める（ディスカッション） 復習：読んだ部分の語彙・文法・表現を確認する</p>			

<p>【第11回】 予習：授業で読んでいる小説（短編）に関連したテーマの作文を読む練習をしておく 授業：授業で読んでいる小説（短編）に関連したテーマの作文を読む（発表／ディスカッション） 復習：授業で読んでいる小説（短編）に関連したテーマのクラスメートの作文を再読し、語彙・表現を確認する</p> <p>【第12回】 予習：授業で読む部分について、大まかな内容を把握しておく 授業：小説（短編）を読み進める（ディスカッション）／長文理解（設問形式。N2～N1レベル） 復習：既習の文法を確認する</p> <p>【第13回】 予習：授業で読む部分について、語句の意味を確認しておく 授業：小説（短編）を読み進める（ディスカッション） 復習：読んだ部分の語彙・文法・表現を確認する</p> <p>【第14回】 予習：小説（短編）の構成と内容について整理しておく 授業：小説（短編）を読み終える（ディスカッション） 復習：小説（短編）読解で学習した語彙・文法・表現について確認する</p> <p>【第15回】 予習：読んだ小説（短編）の中で、理解が十分でない箇所を見つけておく 授業：読んだ小説（短編）について理解を深める（ディスカッション）／長文理解（設問形式。N2～N1レベル） 復習：既習の文法を確認する</p>								
授業開始前学習	日本語 BⅢで学習した内容を復習しておく。							
授業内課題の フィードバックの方法	課題（作文）は、提出の翌週に、添削して返却する。							
テキスト・教材	教科書は使用しない。適宜、プリントを配布する。							
参考書	授業時に、適宜紹介する。							
評価の基準と方法	エッセイ・作文 30%、漢字クイズ 30%、授業時の日本語力評価（発表・ディスカッション・ニュース記事音読・設問解答等）20%、平常点 20%（授業への取り組み、課題（作文等）提出）							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		◎	○			△	
関連科目	「日本語 AⅣ」「日本事情Ⅳ」。日本語科目は、それぞれが「聞く・話す」「読む・書く」を中心に授業を進めながら、4 技能の力を高めていく。日本事情を知ること、新聞記事等の内容理解に役立つ。							
その他	授業の進め方やプリント教材の内容は、学生の人数や日本語の力によって変更になる場合がある。学生からの提案も歓迎する。 「遅刻 3 回で、欠席 1 回分」「30 分以上の遅刻は、欠席扱い」とする。							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 15 時間（1 時間×15 週）							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	日本事情 I		
科目分類	100-110-11	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Studies of Japanese Society I	授業区分	講義
科目責任者	石川 創	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	石川 創	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	前期 月曜日 10:40～12:10 金曜日 10:40～12:10 後期 月曜日 10:40～12:10 金曜日 10:40～12:10	研究室	10-510
授業概要	日本社会でも特に教育や日常生活などさまざまな場面でみられる日本文化について、これまで得てきた知識を確認しながら、さらにそれを深めていくことを目的とする。一緒にプリントを読んだり、皆で話し合うほか、自身の日本における生活で気づいたことについて発表するなど、ともに知識を高め合うということを重視する。		
到達目標	日本での留学生活に必要な知識として、日本の教育や文化、習慣、社会事情などを理解することができる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	無		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：これまでの日本での生活を振り返る 授業：全15回の授業内容について／日本に関してのクイズ 復習：日本に関するクイズで不正解だった項目を、再確認する</p> <p>【第2回】 予習：日本の教育制度について調べる 授業：大学1 教育制度 復習：母国と比較する</p> <p>【第3回】 予習：現状について考える 授業：大学2 現状 復習：母国と比較する</p> <p>【第4回】 予習：現状をもとに、問題点を考える 授業：大学3 問題点 復習：母国と比較する</p> <p>【第5回】 予習：自分の意見をまとめておく 授業：大学4 意見交換 復習：さまざまな意見を整理する</p> <p>【第6回】 予習：就職・労働について考える 授業：若者の就業意識・日本人の労働意識1 現状 復習：母国と比較する</p> <p>【第7回】 予習：問題点を考える 授業：若者の就業意識・日本人の労働意識2 問題点 復習：母国と比較する</p> <p>【第8回】 予習：自分の意見をまとめておく 授業：若者の就業意識・日本人の労働意識3 意見交換 復習：さまざまな意見を整理する</p> <p>【第9回】 予習：1月～6月の行事を思い出す 授業：年中行事1 1月～6月 復習：母国の行事が説明できる</p> <p>【第10回】 予習：7月～12月の行事を思い出す 授業：年中行事2 7月～12月 復習：母国の行事が説明できる</p> <p>【第11回】 予習：訪問のマナーについて考える 授業：訪問のマナー 復習：母国と比較する</p> <p>【第12回】 予習：食事のマナーについて考える 授業：食事のマナー 復習：母国と比較する</p>			

<p>【第13回】 予習：暑中見舞いを書く内容（今、どのように過ごしているか）を考える 授業：季節のあいさつ 暑中見舞い 復習：お世話になっている方に、暑中見舞いを書く</p> <p>【第14回】 予習：これまでに見たり参加したりした伝統芸能・祭りを思い出す 授業：伝統芸能・祭り 復習：母国と比較する。</p> <p>【第15回】 予習：これまでの授業について復習しておく 授業：日本の教育と文化について、自分自身で学び理解したことをまとめる 復習：自身の記述を再確認し、日本の教育と文化について理解を深める</p>								
授業開始前学習	日本の自然、食べ物、行事、人々の生活等、さまざまなことに関心を持って過ごす。母国と比較したり、わからないことがあったら調べたりする。							
授業内課題のフィードバックの方法	課題を出した場合は、次の回の授業時にフィードバックを行う。課題や授業に関する質問は、随時受け付ける。							
テキスト・教材	テキストは使用しない。適宜教材を配布する。							
参考書	KOMAJO ポータル上で配布されている「学生生活ガイド 2021」などを事前に読んでおくと、より授業を理解しやすくなる。授業時に適宜、紹介する。							
評価の基準と方法	平常点（授業態度・課題）60%、最終回のレポートを40%とする。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		○	◎				△
関連科目	「日本語A I」「日本語B I」。しっかりとした日本語力を身につければ、日本事情を理解しやすくなる。							
その他	受講者数や受講者の日本滞在年数によって、授業内容は変更になる場合がある。「遅刻3回で、欠席1回分」「30分以上の遅刻は、欠席扱い」とする。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	日本事情Ⅱ		
科目分類	100-110-11	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Studies of Japanese Society Ⅱ	授業区分	講義
科目責任者	石川 創	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	石川 創	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	前期 月曜日 10:40～12:10 金曜日 10:40～12:10 後期 月曜日 10:40～12:10 金曜日 10:40～12:10	研究室	10-510
授業概要	日本で用いられている文字、あるいはそれを使って書かれた小説をはじめとする文学作品に目を向ける。また、折々の季節に応じた風習、突発的な出来事に対し日本ではどのようにしているか、などについても触れ、日本文化に対する知識を深める。		
到達目標	日本での留学生活に必要な知識として、日本の教育や文化、習慣、社会事情などを理解することができる。		
アクティブ・ラーニング 型授業	無		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：はがきと封筒、便箋の違いを確認する 授業：全15回の授業内容について／手紙1 手紙文 復習：母国の有名な手紙文を調べる</p> <p>【第2回】 予習：手紙に書く内容（夏休みの出来事）をまとめる 授業：手紙2 形式（書き方） 復習：お世話になっている方に、手紙を書く</p> <p>【第3回】 予習：知っている、または好きな日本の作家や小説の題を書く 授業：小説1 若者に人気がある作家・作品、著名な作家・作品 復習：興味を持った作品があれば、図書館で本を手にとってみる</p> <p>【第4回】 予習：高校生や大学生が紹介しそうな小説を予想する 授業：小説2 高等学校および大学のビブリオバトル 復習：興味を持った作品があれば、図書館で本を手にとってみる</p> <p>【第5回】 予習：知っている、または好きな日本の詩人や詩の題を書く 授業：詩 詩人が書いた詩、子供が書いた詩 復習：興味を持った作品があれば、図書館で本を手にとってみる</p> <p>【第6回】 予習：短歌、俳句、川柳の違いを考える 授業：短歌、俳句、川柳 著名な作家・作品。短歌を詠む 復習：興味を持った作品があれば、図書館で本を手にとってみる</p> <p>【第7回】 予習：祝儀、不祝儀の言葉の意味を調べる 授業：祝儀1 結婚式を例として、招待に対する返信はがきの書き方など 復習：母国と比較する</p> <p>【第8回】 予習：どのような言葉が適切か、不適切か考える 授業：祝儀2・不祝儀 お祝いやお悔やみの言葉など 復習：母国と比較する</p> <p>【第9回】 予習：年賀状に書く内容（今、どのように過ごしているか）を考える 授業：季節のあいさつ 年賀状 復習：お世話になっている方などに、年賀状を書く</p> <p>【第10回】 予習：クール・ジャパンの具体例を考える 授業：クール・ジャパン1 現状 復習：クール・* * *（母国）と言えるものは何か、考える</p> <p>【第11回】 予習：問題点を考える 授業：クール・ジャパン2 問題点 復習：クール・* * *（母国）にも問題点があるか考える</p> <p>【第12回】 予習：経験した出来事、食べたことのある料理を書く 授業：正月1 行事・料理 復習：母国と比較する</p>			

<p>【第13回】 予習：どのような遊びがあるか調べる 授業：正月2 遊び 復習：母国と比較する</p> <p>【第14回】 予習：知っている昔話の題を書く 授業：昔話、折り紙 復習：母国の昔話のあらすじが説明できる</p> <p>【第15回】 予習：これまでの授業について復習しておく 授業：文学・折々にあられる日本文化について、自身が学んだことをまとめる 復習：自身の文章を再確認し、日本文化についてさらに理解を深める</p>								
授業開始前学習	日本の自然、食べ物、行事、人々の生活等、さまざまなことに関心を持って過ごす。母国と比較したり、わからないことがあったら調べたりする。							
授業内課題のフィードバックの方法	課題を出した場合は、次の回の授業時にフィードバックを行う。課題や授業に関する質問は、随時受け付ける。							
テキスト・教材	テキストは使用しない。適宜教材を配付する。							
参考書	授業時に適宜、紹介する。							
評価の基準と方法	平常点（授業態度・課題）60%、最終回のレポートを40%とする。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		○	◎				△
関連科目	「日本語AⅡ」「日本語BⅡ」。しっかりとした日本語力を身につければ、日本事情を理解しやすくなる。							
その他	受講者数や受講者の日本滞在年数によって、授業内容は変更になる場合がある。 「遅刻3回で、欠席1回分」「30分以上の遅刻は、欠席扱い」とする。							
予習・復習の所要時間	講義時間 30 時間（2 時間×15 週）＋予習・復習時間 60 時間（4 時間×15 週）							
実務経験を活かした教育内容								

科目名称	日本事情Ⅲ		
科目分類	100-110-12	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Studies of Japanese Society Ⅲ	授業区分	講義
科目責任者	弥久保 宏	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	弥久保 宏	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	前期 水曜日 14:40～16:10 金曜日 13:00～14:30 後期 水曜日 14:40～16:10 金曜日 14:40～16:10	研究室	10-703
授業概要	日本事情について、多角的な観点から母国と比較しながらその特徴を探り、各項目ごとのタスクを通じて、自分の意見を発信できる能力を養う。		
到達目標	母国と日本、日本の都市と地方、日本の昔と現代、など多様な視点から比較するタスクを通じて、日本を多角的に知ることが出来る。 日本との比較によって母国の特徴について新しく気づくことが出来る。		
アクティブ・ラーニング型授業	無		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：シラバスを読んでおく。 授業：講義の進め方や単位についてのガイダンス。 復習：科目履修にあたっての注意事項の確認。</p> <p>【第2回】 予習：Unit 1「日本でどんな国？」section 1を読んでおく。 授業：Unit 1「日本でどんな国？」section 1 復習：授業のポイントを纏めておく。</p> <p>【第3回】 予習：Unit 1「日本でどんな国？」section 2を読んでおく。 授業：Unit 1「日本でどんな国？」section 2 復習：授業のポイントを纏めておく。</p> <p>【第4回】 予習：Unit 2「都市の暮らし・地方の暮らし」section 1を読んでおく。 授業：Unit 2「都市の暮らし・地方の暮らし」section 1 復習：授業のポイントを纏めておく。</p> <p>【第5回】 予習：Unit 2「都市の暮らし・地方の暮らし」section 2を読んでおく。 授業：Unit 2「都市の暮らし・地方の暮らし」section 2 復習：授業のポイントを纏めておく。</p> <p>【第6回】 予習：Unit 3「日本の旅を楽しもう」section 1を読んでおく。 授業：Unit 3「日本の旅を楽しもう」section 1 復習：授業のポイントを纏めておく。</p> <p>【第7回】 予習：Unit 3「日本の旅を楽しもう」section 2を読んでおく。 授業：Unit 3「日本の旅を楽しもう」section 2 復習：授業のポイントを纏めておく。</p> <p>【第8回】 予習：Unit 4「いただきます」section 1を読んでおく。 授業：Unit 4「いただきます」section 1 復習：授業のポイントを纏めておく。</p> <p>【第9回】 予習：Unit 4「いただきます」section 2を読んでおく。 授業：Unit 4「いただきます」section 2 復習：授業のポイントを纏めておく。</p> <p>【第10回】 予習：Unit 5「季節を楽しむ年中行事」section 1を読んでおく。 授業：Unit 5「季節を楽しむ年中行事」section 1 復習：授業のポイントを纏めておく。</p> <p>【第11回】 予習：Unit 5「季節を楽しむ年中行事」section 2を読んでおく。 授業：Unit 5「季節を楽しむ年中行事」section 2 復習：授業のポイントを纏めておく。</p> <p>【第12回】 予習：Unit 6「知っておきたい日本の歴史」section 1を読んでおく。 授業：Unit 6「知っておきたい日本の歴史」section 1 復習：授業のポイントを纏めておく。</p> <p>【第11回】</p>			

<p>予習：Unit 6「知っておきたい日本の歴史」section 2 を読んでおく。 授業：Unit 6「知っておきたい日本の歴史」section 2 復習：授業のポイントを纏めておく。 【第 13 回】 予習：Unit 7「伝統文化体験」section 1 を読んでおく。 授業：Unit 7「伝統文化体験」section 1 復習：授業のポイントを纏めておく。 【第 14 回】 予習：Unit 7「伝統文化体験」section 2 を読んでおく。 授業：Unit 7「伝統文化体験」section 2 復習：授業のポイントを纏めておく。 【第 15 回】 予習：前期の講義のポイントを纏めておく。 授業：前期の講義から日本事情を総括。 復習：試験に向けての準備。</p>								
授業開始前学習	新聞、テレビやインターネットで話題になっている日本のニュースについての関心事項をリストアップしておくこと。							
授業内課題の フィードバックの方法	予習学習の成果を授業での質疑応答で確認する。							
テキスト・教材	佐々木瑞枝 『クローズアップ日本事情 1 5』 (the japan times)							
参考書	随時紹介する。							
評価の基準と方法	100 点満点の配点は、受講意欲・態度 40 点、定期試験 60 点。6 回以上の欠席や出席で不正行為を行った場合は、単位取得は認めない。遅刻は 3 回で 1 回の欠席扱いにする。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける				
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		○	◎				△
関連科目	特になし							
その他	<p><重要事項> 履修登録は、ガイダンスの出席を義務づける。事情によりガイダンスを受けなかった場合は、研究室を訪ねて、ガイダンスの内容を了解した上で履修登録を行うこと。講義の録音は認めない。勝手に録音した場合は、機材を没収する。講義中のスマホや携帯電話の使用は厳禁。見つけ次第、没収し退室を命じる。また授業中に講義と関係のない他の作業を行った者も退出を命じる。履修登録にあたって、これらの事項を了解したうえで登録すること。</p>							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 60 時間 (4 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								

科目名称	日本事情Ⅳ		
科目分類	100-110-12	単位数	履修ガイド参照
英文名称	Studies of Japanese Society Ⅳ	授業区分	講義
科目責任者	弥久保 宏	必修・選択	履修ガイド参照
担当教員	弥久保 宏	開講時期	履修ガイド参照
オフィスアワー	前期 水曜日 14:40～16:10 金曜日 13:00～14:30 後期 水曜日 14:40～16:10 金曜日 14:40～16:10	研究室	10-703
授業概要	日本事情について、多角的な観点から母国と比較しながらその特徴を探り、各項目ごとのタスクを通じて、自分の意見を発信できる能力を養う。		
到達目標	母国と日本、日本の都市と地方、日本の昔と現代、など多様な視点から比較するタスクを通じて、日本を多角的に知ることが出来る。 日本との比較によって母国の特徴について新しく気づくことが出来る。		
アクティブ・ラーニング型授業	無		
各回の授業内容と課題学習（予習・復習）			
<p>【第1回】 予習：シラバスを読んでおく、特に【その他】の重要事項を熟読のこと。 授業：講義の進め方や単位についてのガイダンス。 復習：科目履修にあたっての注意事項の確認。</p> <p>【第2回】 予習：Unit 8「現代文化とポップカルチャー」section 1を読んでおく。 授業：Unit 8「現代文化とポップカルチャー」section 1 復習：授業のポイントを纏めておく。</p> <p>【第3回】 予習：Unit 8「伝統文化とポップカルチャー」section 2を読んでおく。 授業：Unit 8「伝統文化とポップカルチャー」section 2 復習：授業のポイントを纏めておく。</p> <p>【第4回】 予習：Unit 9「スポーツの楽しみ方」section 1を読んでおく。 授業：Unit 9「スポーツの楽しみ方」section 1 復習：授業のポイントを纏めておく。</p> <p>【第5回】 予習：Unit 9「スポーツの楽しみ方」section 2を読んでおく。 授業：Unit 9「スポーツの楽しみ方」section 2 復習：授業のポイントを纏めておく。</p> <p>【第6回】 予習：Unit 10「前進を続ける科学技術」section 1を読んでおく。 授業：Unit 10「前進を続ける科学技術」section 1 復習：授業のポイントを纏めておく。</p> <p>【第7回】 予習：Unit 10「前進を続ける科学技術」section 2を読んでおく。 授業：Unit 10「前進を続ける科学技術」section 2 復習：授業のポイントを纏めておく。</p> <p>【第8回】 予習：Unit 12「教育と子供たち」section 1を読んでおく。 授業：Unit 12「教育と子供たち」section 1 復習：授業のポイントを纏めておく。</p> <p>【第9回】 予習：Unit 12「教育と子供たち」section 2を読んでおく。 授業：Unit 12「教育と子供たち」section 2 復習：授業のポイントを纏めておく。</p> <p>【第10回】 予習：Unit 13「産業構造と経済」section 1を読んでおく。 授業：Unit 13「産業構造と経済」section 1 復習：授業のポイントを纏めておく。</p> <p>【第11回】 予習：Unit 13「産業構造と経済」section 2を読んでおく。 授業：Unit 13「産業構造と経済」section 2 復習：授業のポイントを纏めておく。</p> <p>【第12回】 予習：Unit 14「政治と憲法」section 1を読んでおく。 授業：Unit 14「政治と憲法」section 1 復習：授業のポイントを纏めておく。</p>			

<p>【第 11 回】 予習：Unit 14「政治と憲法」section 2 を読んでおく。 授業：Unit 14「政治と憲法」section 2 復習：授業のポイントを纏めておく。</p> <p>【第 13 回】 予習：Unit 15「多文化共生社会を目指して」section 1 を読んでおく。 授業：Unit 15「多文化共生社会を目指して」section 1 復習：授業のポイントを纏めておく。</p> <p>【第 14 回】 予習：Unit 15「多文化共生社会を」目指して」section 2 を読んでおく。 授業：Unit 15「多文化共生社会を」目指して」section 2 復習：授業のポイントを纏めておく。</p> <p>【第 15 回】 予習：後期の講義のポイントを纏めておく。 授業：後期の講義から日本事情を総括。 復習：試験に向けての準備。</p>								
授業開始前学習	新聞、テレビやインターネットで話題になっている日本のニュースについての関心事項をリストアップしておくこと。							
授業内課題の フィードバックの方法	予習学習の成果を授業での質疑応答で確認する。							
テキスト・教材	佐々木瑞枝 『クローズアップ日本事情 1 5』 (the japan times)							
参考書	随時紹介する。							
評価の基準と方法	100 点満点の配点は、受講意欲・態度 40 点、定期試験 60 点。6 回以上の欠席や出席で不正行為を行った場合は、単位取得は認めない。遅刻は 3 回で 1 回の欠席扱いにする。							
ディプロマポリシー	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性を身につける		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を身につける		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力を身につける		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力を身につける	
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
科目の該当	○		○	◎				△
関連科目	特になし。							
その他	<p><重要事項> 履修登録は、ガイダンスの出席を義務づける。事情によりガイダンスを受けなかった場合は、研究室を訪ねて、ガイダンスの内容を了解した上で履修登録を行うこと。講義の録音は認めない。勝手に録音した場合は、機材を没収する。講義中のスマホや携帯電話の使用は厳禁。見つけ次第、没収し退室を命じる。また授業中に講義と関係のない他の作業を行った者も退出を命じる。履修登録にあたって、これらの事項を了解したうえで登録すること。</p>							
予習・復習の 所要時間	講義時間 30 時間 (2 時間×15 週) + 予習・復習時間 60 時間 (4 時間×15 週)							
実務経験を活かした 教育内容								